平成29年度　受（Ⅲ）橋第1-2-2号　みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ）橋梁上部工（1号橋）その2工事

実　施

図　面　目　録　【上部工】Ｐ５-Ｐ９

図　面　名	図　番	図　面　名	図　番
橋　梁　位　置　図	1	巻き立てコンクリート　（ その１ ～ その１０）	164 ～ 173
橋　梁　一　般　図　（ その１ ～ その４ ）	2 ～ 5	支　承　詳　細　図　（ その１ ～ その２ ）［ 参考図 ］	174 ～ 175
【　上　部　工　】		伸　縮　装　置　（ その１ ～ その２ ）	176 ～ 177
線　形　図　（ その１ ～ その２ ）	6 ～ 7	鋼　製　排　水　溝　（ その１ ～ その３ ）［ 参考図 ］	178 ～ 180
上部工構造一般図	8	排　水　装　置　（ その１ ～ その７ ）	181 ～ 187
応　力　図　（ その１ ～ その２ ）	9 ～ 10	検　査　路　系　統　図	188
支　承　配　置　図	11	上　部　工　検　査　路　（ その１ ～ その７ ）［ 参考図 ］	189 ～ 195
キ　ャ　ン　バ　ー　図	12	下　部　工　検　査　路　（ その１ ～ その５ ）［ 参考図 ］	196 ～ 200
共　通　詳　細　図　（ その１ ～ その２ ）	13 ～ 14	落　橋　防　止　構　造　図　（ その１ ～ その２ ）	201 ～ 202
主　桁　Ｇ１（ その１ ～ その１７）	15 ～ 31	カバープレート詳細図	203
主　桁　Ｇ２（ その１ ～ その１７）	32 ～ 48	架　設　計　画　図　［ 参考図 ］	204
端　支　点　上　横　桁　（ その１ ～ その２ ）	49 ～ 50	床　版　架　設　計　画　図　［ 参考図 ］	205
中　間　支　点　横　桁　（ その１ ～ その２ ）	51 ～ 52	Ｐ５　橋脚構造一般図	206
中　間　横　桁	53	Ｐ６　橋脚構造一般図	207
主桁スタッド配置図　（ その１ ～ その６ ）	54 ～ 59	Ｐ７　橋脚構造一般図	208
ＰＣ　床　版　割　付　図	60	Ｐ８　橋脚構造一般図	209
ＰＣ　床　版　構　造　図　（ その１ ～ その１５）	61 ～ 75	Ｐ９　橋脚構造一般図	210
場所打ちＰＣ床版構造図　（ その１ ～ その８ ）	76 ～ 83	添　架　物　支　持　金　具　（ その１ ～ その２ ）［ 参考図 ］	211 ～ 212
ＰＣ　床　版　配　筋　図　（ その１ ～ その４６）	84 ～ 129		
場所打ち ＰＣ 床版配筋図　（ その１ ～ その１７）	130 ～ 146		
ＰＣ 床版接合部配筋図　（ その１ ～ その９ ）	147 ～ 155		
壁　高　欄　（ その１ ～ その８ ）	156 ～ 163		

位置図　S=1:50000

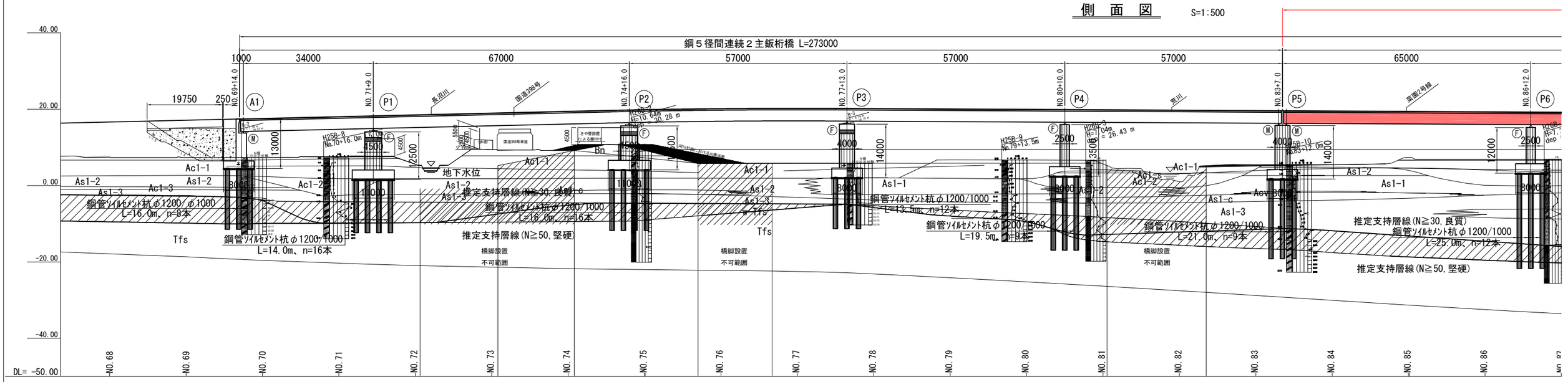


実　施

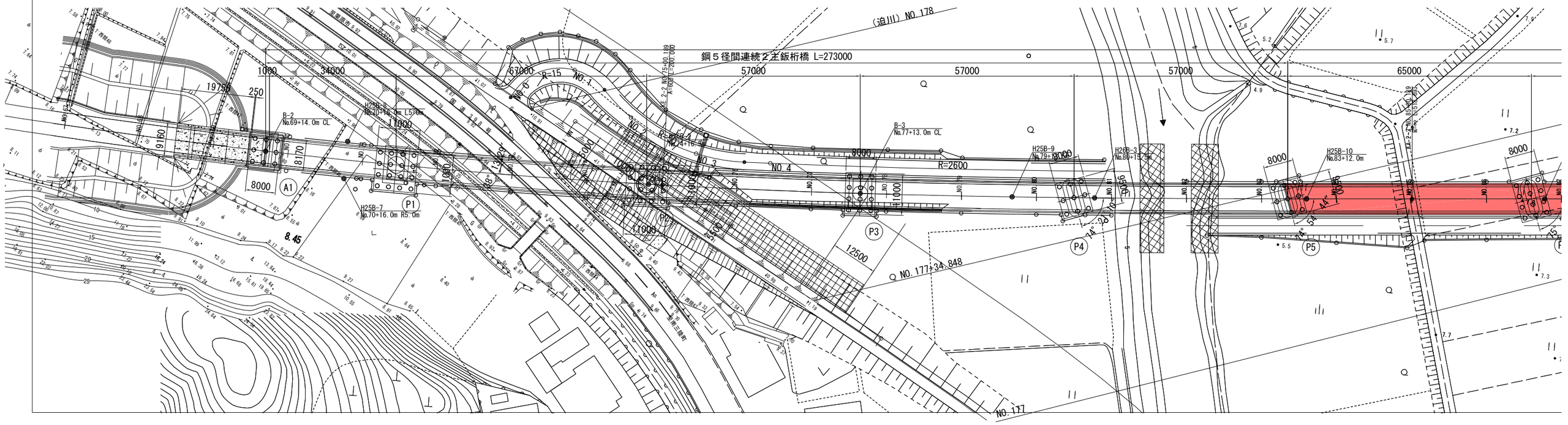
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	位置図		
縮尺	1:50000	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	1 / 212

佐沼工区

側　面　図　S=1:500



勾　配	
計 画 高	
地 盤 高	
追加距離	
測　点	
曲線方向	R=-1800.000m CL=709.639m
片 勾 配	
拡　幅	



佐沼工区１号橋（仮）　橋梁全体一般図（その１）

図　　S=1:500

平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号　みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)　橋梁上部工(１号橋)その２工事

施工延長 L=260.0m W=6.5(7.5)m

橋長 L=741000

鋼４径間連続２主鈑桁橋 L=260000

鋼３径間連続細幅箱桁橋 L=2

57000　65000　65000　65000　65000　65000　92000

荒川　英国1号線　迫川

NO.83+7.0　NO.86+12.0　NO.89+17.0　NO.93+2.0　NO.96+7.0　NO.99+12.0

P5　P6　P7　P8　P9　P10

H25B-10 No.83+12.0m L=12.0m　H26B-4 RE-T 29m dep = 32.44 m　H25B-11 No.91+11.7m　H26B-5 RE-T 00m dep = 38.00 m　H26B-14 RE-T 01.9m dep = 52.71 m　H25B-12 No.99+17.0m L2.0m　H26B-6 RE-T 85m dep = 46.38 m

HWL＝左岸：9.419、右岸：9.438 (TP)　最深河床高＝1.535 (TP)

Ac1-1　Ac1-s　c1-2　As1-2　As1-1　As1-c　As1-3　Acv 3000　Bn　Ac2　As2-1　As2-2　Ac3　Ac4-2　Ds

鋼管ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ杭φ1200/1000 L=21.0m、n=9本

推定支持層線(N≧30,良質)　鋼管ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ杭φ1200/1000 L=25.0m、n=12本

推定支持層線(N≧50,堅硬)

鋼管ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ杭φ1200/1000 L=26.0m、n=12本

鋼管ｿｲﾙｾﾒﾝﾄ杭φ1200/1000 L=27.5m、n=12本

打込み鋼管杭φ1000 L=29.0m、n=25本

打込み鋼管杭φ1000 L=38.0m、n=20本

橋脚設置不可範囲

NO.82　NO.83　NO.84　NO.85　NO.86　NO.87　NO.88　NO.89　NO.90　NO.91　NO.92　NO.93　NO.94　NO.95　NO.96　NO.97　NO.98　NO.99　NO.100　NO.101　NO.102

平　面　図

S=1:500

橋 長 = 741000

鋼４径間連続２主鈑桁橋 L=260000

鋼３径間連続細幅箱桁橋 L=2

57000　65000　65000　65000　65000　65000　92000

H25B-10 No.83+12.0m　H26B-4 No.86+15.5m　B-4 No.89+17.0m CL　H25B-11 No.91+11.7m　B-5 No.93+2.0m CL　H26B-5 No.95+6.5m　H26B-14 No.98+9.5m L4.0m　H25B-12 No.99+17.0m L2.0m　H26B-6 No.101+9.0m

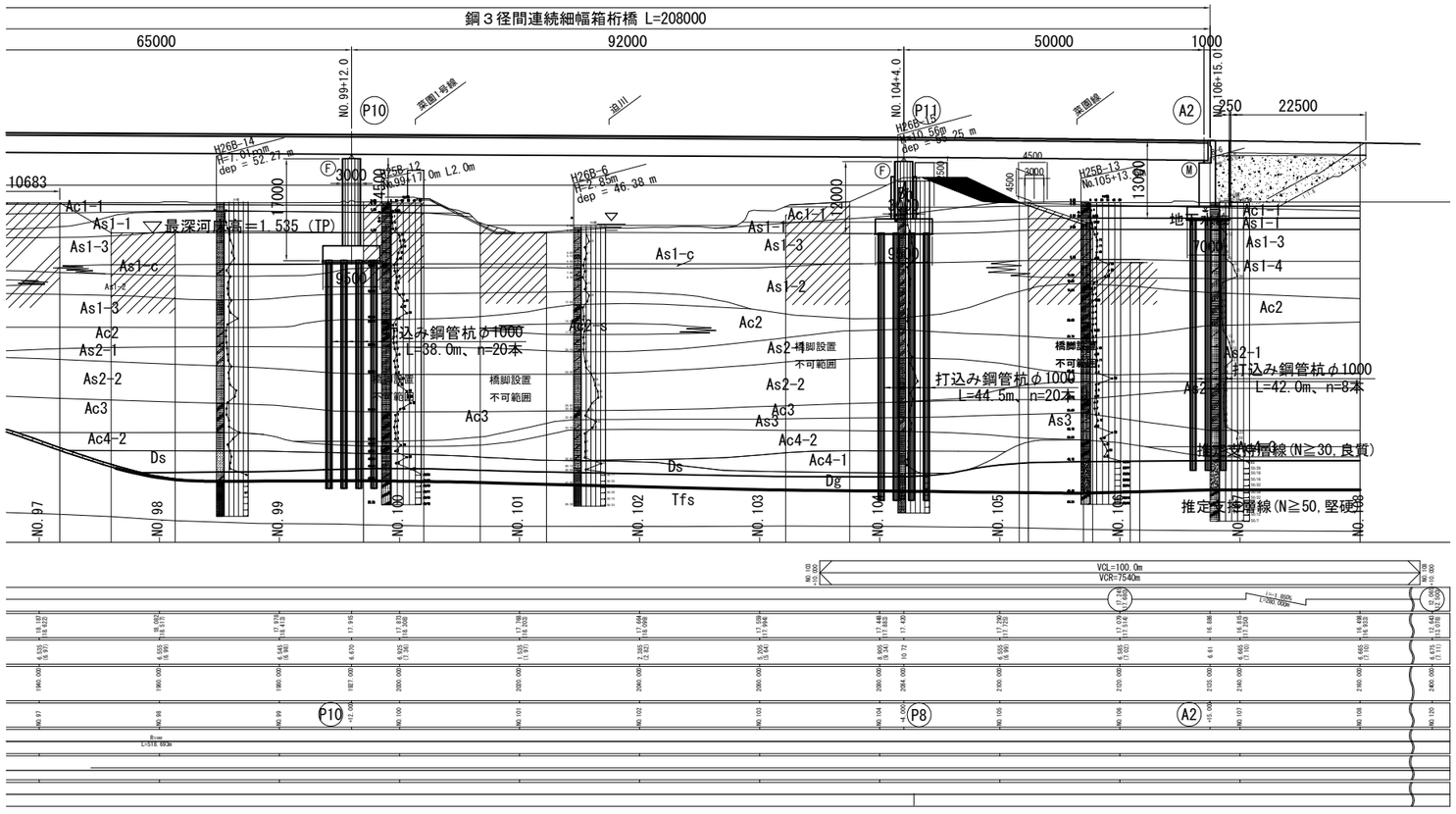
P5　P6　P7　P8　P9　P10

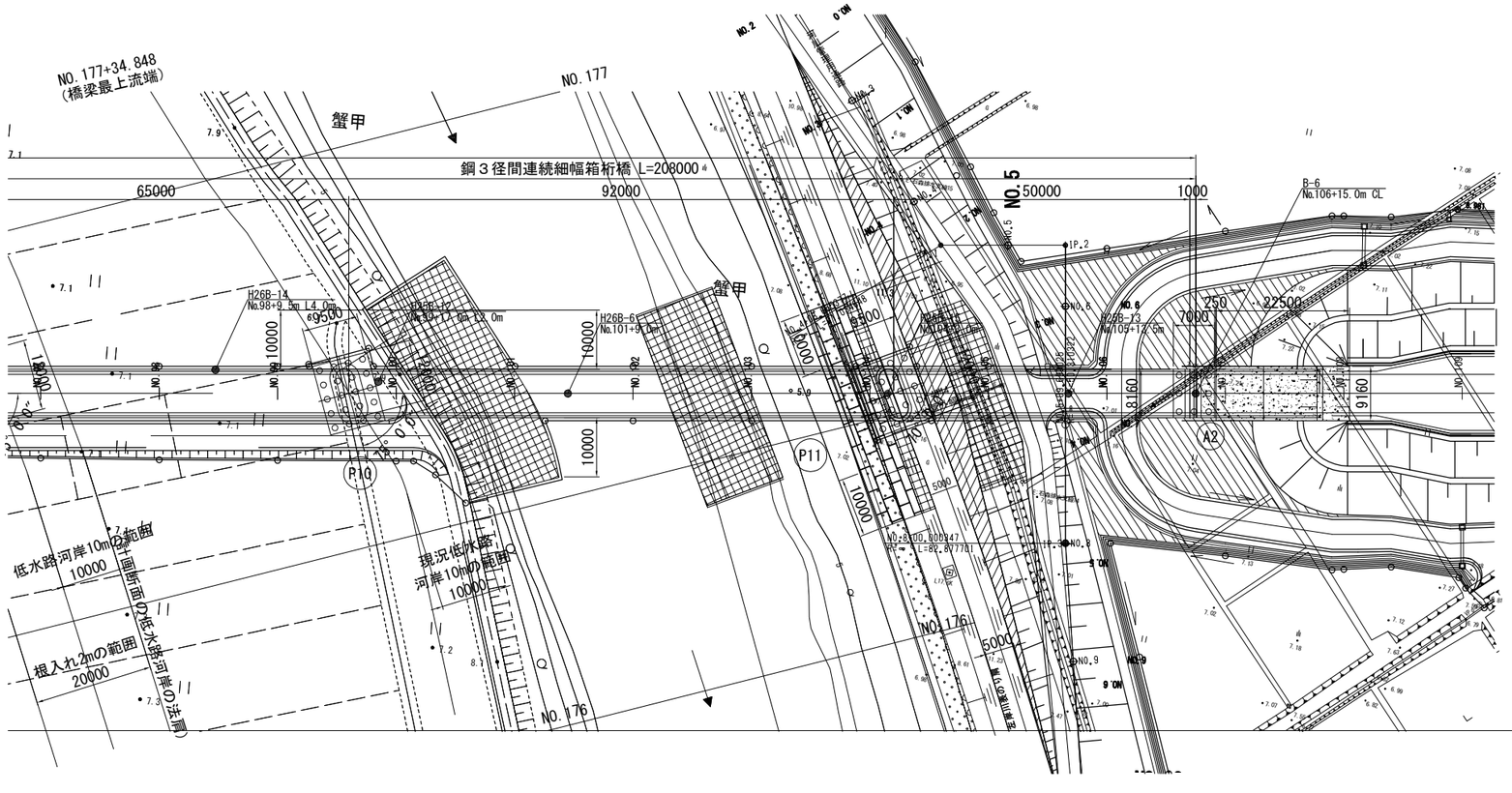
NO.177+34.848 (橋梁最上流端)　NO.177　蟹甲

NO.176+35.989 (橋梁最下流端)　NO.176

低水路河岸10m以内の範囲 10000　根入れ2mの範囲 20000　横断面の低水路河岸の法肩

現況低水路河岸10mの範囲 10000



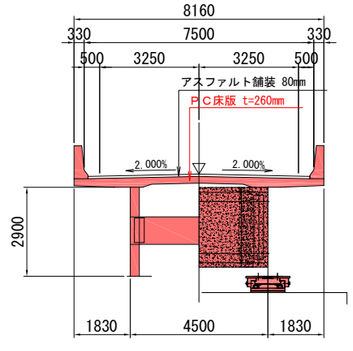


地層区分凡例

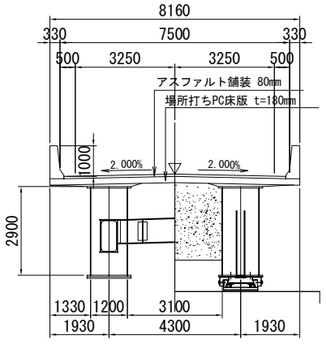
地質時代		地層区分 記号	地層区分 土層名	N値	土質・岩質
第四紀	完新世	Bn	盛土・表土	1～35	シルト質粘土、礫混り粘土
		Ac1-1	第1粘性土層-1	0～7	シルト質粘土、有機質粘土
		Ac1-2	第1粘性土層-2	2～4	砂混りシルト質粘土、砂質シルト
		Ac1-3	第1粘性土層-3	4	砂混りシルト質粘土
		Ac1-s	第1挟在砂質土層	2～6	シルト混り砂、シルト質砂
		Acv	火山灰質粘性土層	10～30	火山灰質粘土
		As1-1	第1砂質土層-1	1～19	シルト混り砂～シルト質砂
		As1-2	第1砂質土層-2	3～13	シルト質砂～砂
		As1-3	第1砂質土層-3	7～40	シルト混り砂、礫混り砂
		As1-4	第1砂質土層-4	20～30	礫混り砂
		As1-c	第1狭在粘性土層	3～36	砂混りシルト質粘土
		Ac2	第2粘性土層	3～6	シルト質粘土、砂質シルト
		Ac2-s	第2狭在砂質土層	6～10	礫混り砂～有機質砂
		As2-1	第2砂質土層-1	5～20	シルト混り砂～シルト混り砂
		As2-2	第2砂質土層-2	6～35	砂～礫混り砂
		As2-c	第2狭在粘性土層	－	砂混りシルト質粘土
		Ac3	第3粘性土層	5～12	シルト質粘土、有機質粘土
		Ac3-s	第3狭在砂質土層	23～30	シルト質砂～砂
		As3	第3砂質土層	10～30	シルト混り砂～砂
		Ac4-1	第4粘性土層-1	3～20	砂質シルト
		Ac4-2	第4粘性土層-2	7～32	砂質シルト、粘土混りシルト、貝殻混じりシルト
		Ac4-3	第4粘性土層-3	23～28	シルト質粘土～凝灰質粘土
	更新世	Ds	洪積砂質土層	9～41	シルト質砂～砂
		Dg	洪積礫質土層	50以上	礫混り砂、砂礫
新第三紀	鮮新世	Tfs	風化-凝灰質砂岩	20～50以上	風化-凝灰質砂岩、砂岩、泥岩、シルト岩
		Tfs	凝灰質砂岩	34～50以上	凝灰質砂岩、砂岩、泥岩、シルト岩

上部工断面図 S=1:100

①鋼5径間+鋼4径間連続2主鈑桁橋

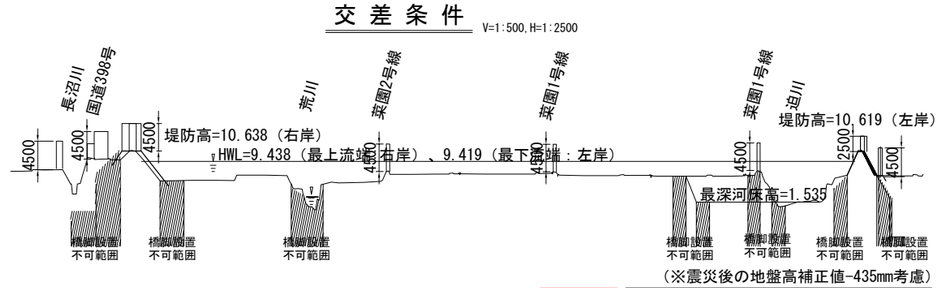


③鋼3径間連続細幅箱桁橋



交差条件

V=1:500, H=1:2500



（※震災後の地盤高補正値-435mm考慮）

交差物件	諸元および橋梁計画上の留意点等
迫川	計画計画流量：1000m3/s、計画堤防断面：川裏拡幅（左岸）・川表拡幅（右岸）・低水路部掘削考慮、管理用通路4.5m確保
荒川	計画計画流量：120m3/s、河川内橋脚設置不可、管理用通路4.5m確保
長沼川	基本計画流量：13.4m3/s（分水路整備前）、河川内橋脚設置不可、管理用通路4.5m確保（切り回し可）
国道398号	第３種第２級、凍結抑制剤散布（塩害対策考慮）
菜園１号線	建築限界4.5m確保
菜園２号線	建築限界4.5m確保
その他	堤防開削および河川内ベント等を除き、著しく河積阻害とならない工種は通年施工が可能

設計条件

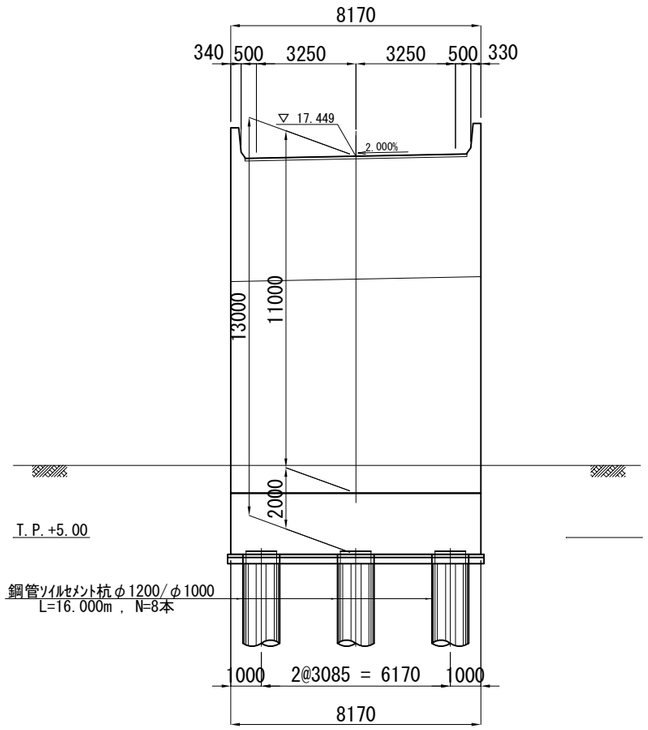
路線名	（主）築館登米線（みやぎ県北高速幹線道路Ⅲ期　佐沼工区）
道路規格	第３種 第１級
設計速度	V = 60km/h
橋梁名	（佐沼工区）１号橋梁
架橋位置	宮城県登米市迫町佐沼館北～登米市中田町石森西細谷
橋梁形式	鋼５径間連続少数鈑桁橋+鋼４径間連続少数鈑桁橋+鋼３径間連続細幅箱桁橋
橋長	741.000m
支間	【34.0+67.00+3857.0】+【4@65.0】+【65.0+92.0+50.0】
全幅	8.160 m
有効幅員	7.500 m （0.500m+3.250m+3.250m+0.500m）
斜角	A1, P1～P3, A2：90°　P4～P10：75°　P11：70°
平面線形	R= 1800m～A =600m～R=∞
横断勾配	2.000%（片勾配） ～ 2.000% 2.000%（拝み勾配）
縦断勾配	2.330% ～ 0.523% ～ 1.850%
活荷重	B活荷重
計画交通量	6,200台／日　(H42)
耐震性能	耐震性能２（レベル２地震動）
重要度区分	B種の橋
地域区分	A2地域
地域別補正係数	Cz=1.0, C z=1.0, C z=1.0
地盤種別	Ⅱ種地盤、Ⅲ種地盤
設計水平震度	レベル1　kh=0.25、kh=0.30
設計方針	鉛直方向荷重に対して床版の合成作用を考慮しない 非合成構造とする
解析手法	静的照査法（耐震性能1）、動的照査法（耐震性能2）
舗装	アスファルト舗装　t=80mm
床版	ＰＣ床版 t=260mm（少数主桁）、t=180mm（細幅箱桁）
支承形式	多点固定構造
検査路	上部工　G1-G2桁間に設置 下部工　各下部工に設置
添架物	東北電力、登米市水道管
落橋防止構造	掛違い部：P5、P9　端部：A2　にPCケーブルを設置
横変位拘束構造	３径間以上の一連の上部構造を有する橋より設置なし
使用材料	普通鋼材：SM570, SM490Y, SM400, SS400 トルシア形高力ボルト M22(S10T)
	コンクリート：σck=40N/mm²(床版)　σck=24N/mm²(壁高欄) σck=30N/mm²(橋台・橋脚)　σck=24N/mm²(橋台・橋脚)
	鉄筋：SD490, SD345
	鋼材（基礎）：SKK400, SKK490(基礎杭), SD490, SD345(杭頭鉄筋)
塗装仕様	C塗装系
施工上の条件	縦積み運搬を基本とするが、橋積み運搬も可 迫川渡河部は送出し架設、その他はクレーン架設
維持管理	排水装置や土砂溜りの清掃を計画的に実施すること
適用基準	道路橋示方書・同解説(平成24年3月 日本道路協会)
参考図書	設計要領第二集　東日本高速道路(株) 平成24年7月 宮城県 設計施工マニュアル（平成26年10月） 各種設計及び施工便覧(日本道路協会)

実　施

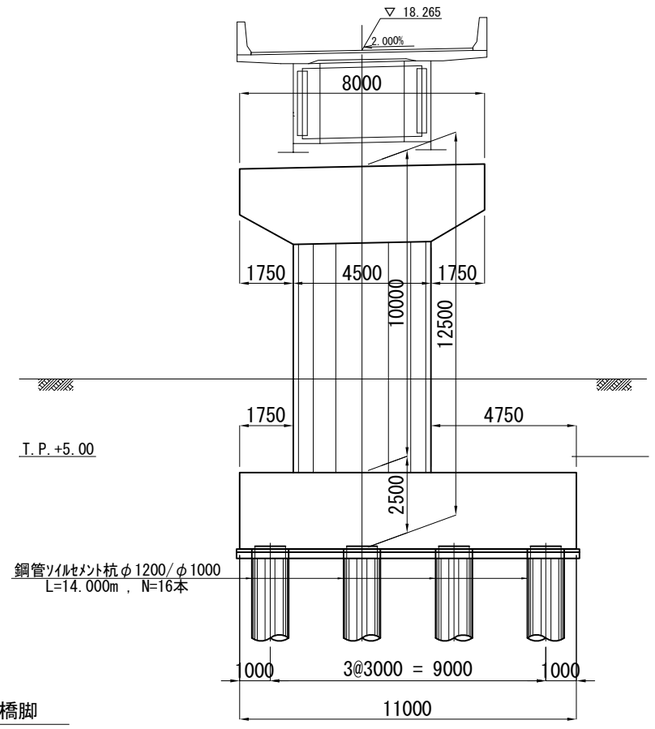
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	**佐沼工区１号橋（仮）橋梁全体一般図** （その１）		
縮尺	1:500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	2 / 212

佐沼工区１号橋（仮） 橋梁全体一般図（その２）

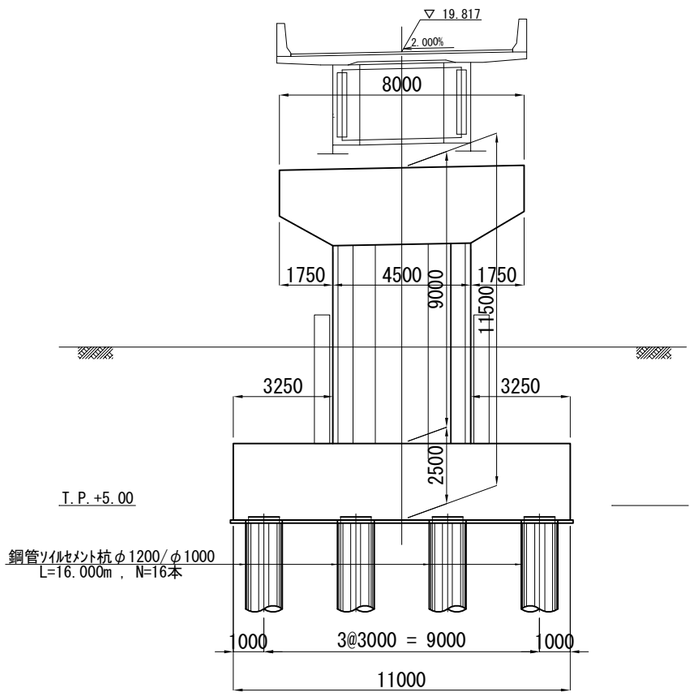
Ａ１橋台



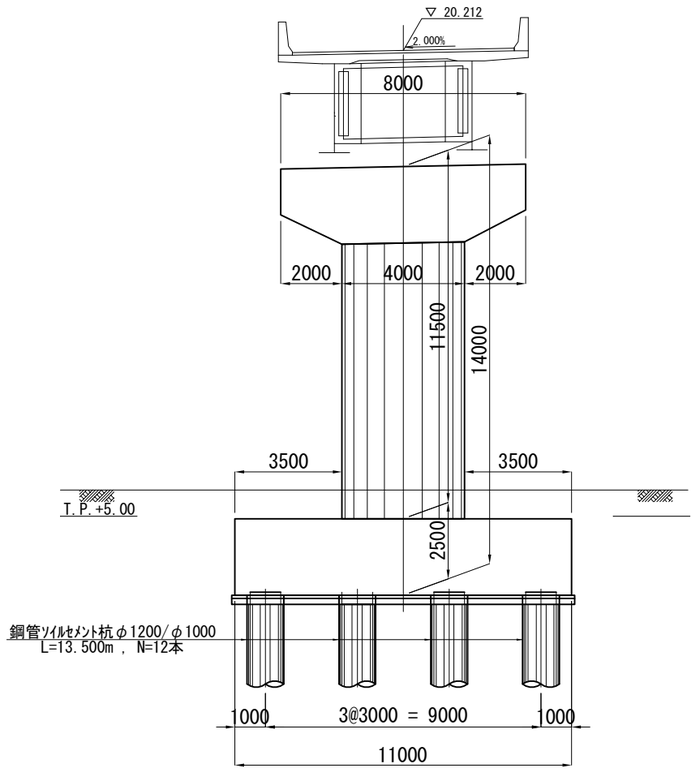
Ｐ１橋脚



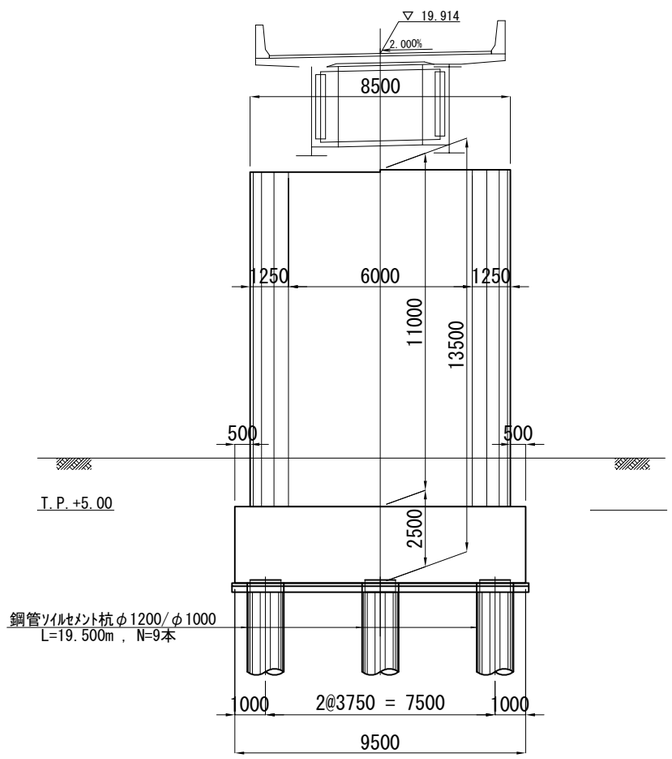
Ｐ２橋脚



Ｐ３橋脚



Ｐ４橋脚



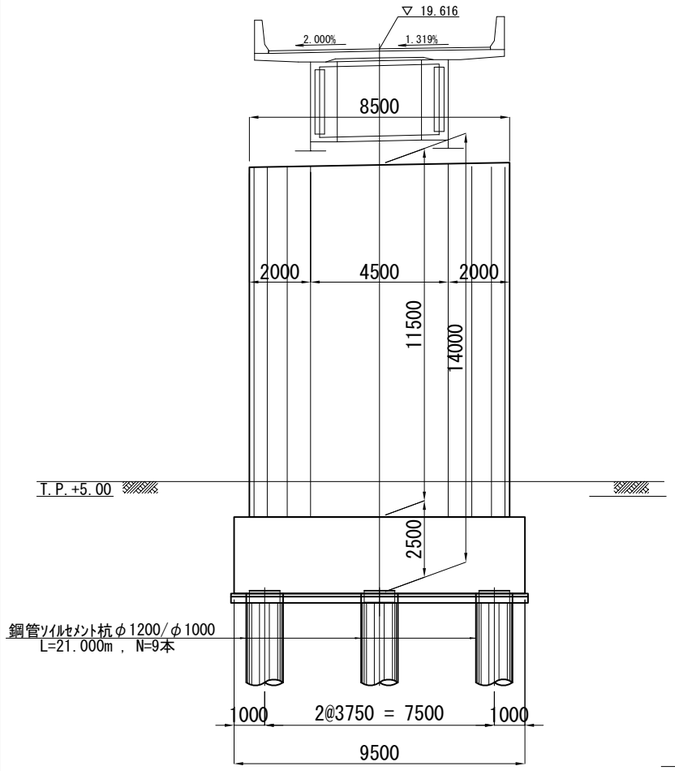
実　施

（※震災後の地盤高補正値-435mm考慮）

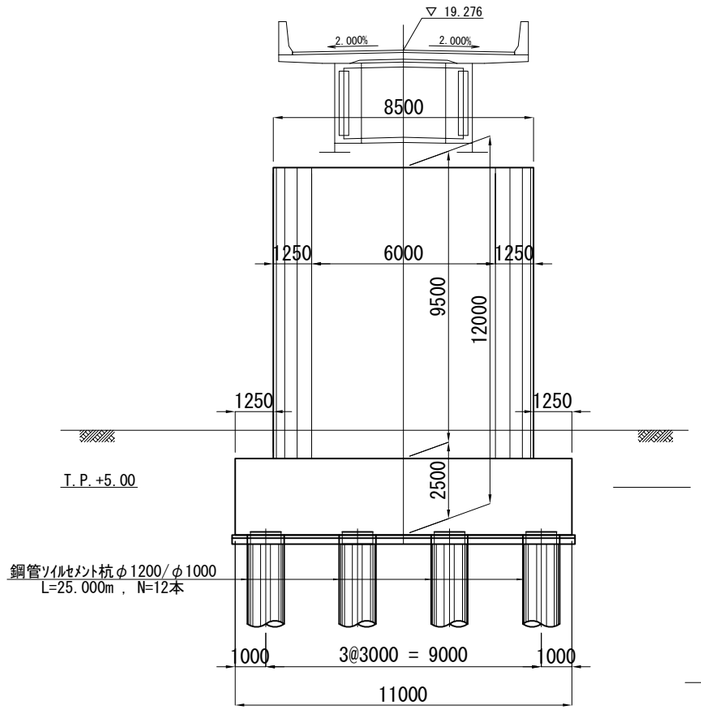
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	**佐沼工区１号橋（仮）橋梁全体一般図** （その２）		
縮尺	1:500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	3 / 212

佐沼工区１号橋（仮） 橋梁全体一般図（その３）

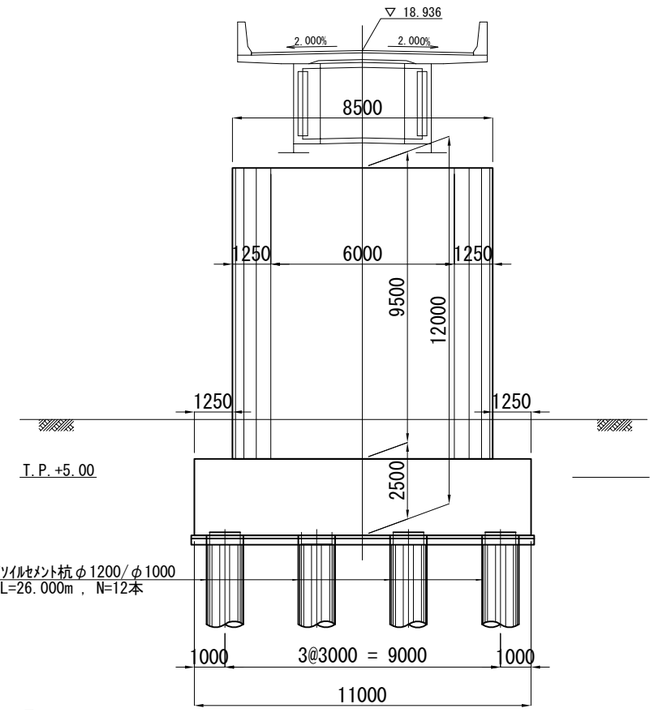
Ｐ５橋脚



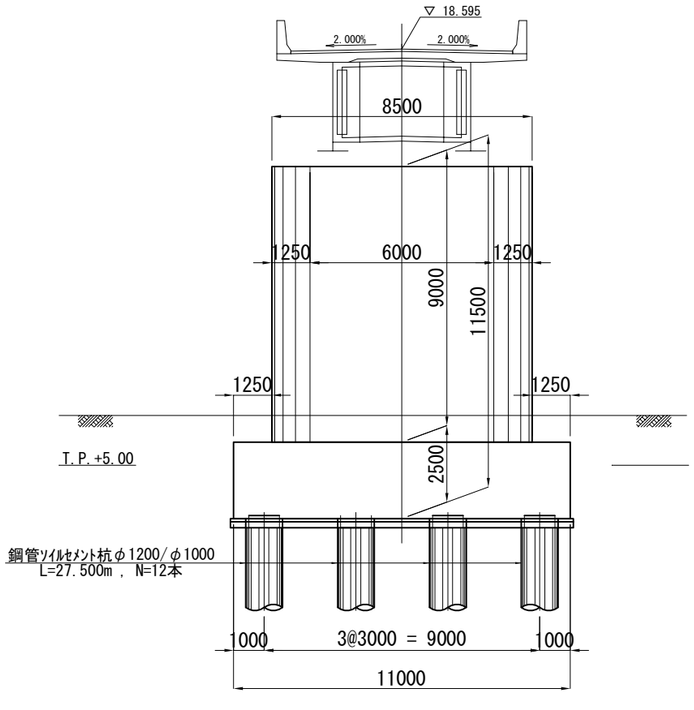
Ｐ６橋脚



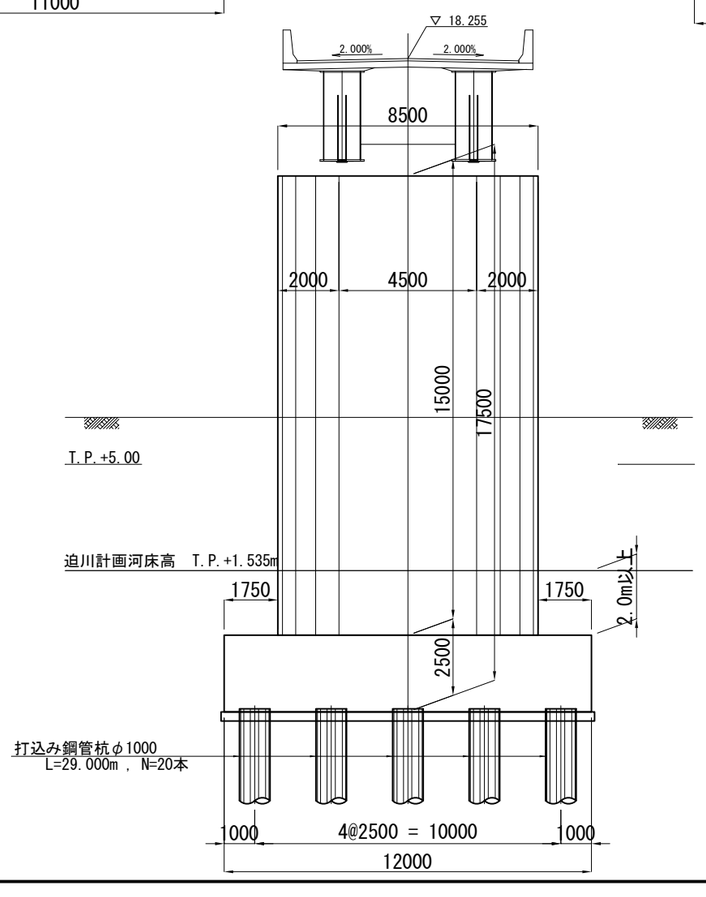
Ｐ７橋脚



Ｐ８橋脚



Ｐ９橋脚



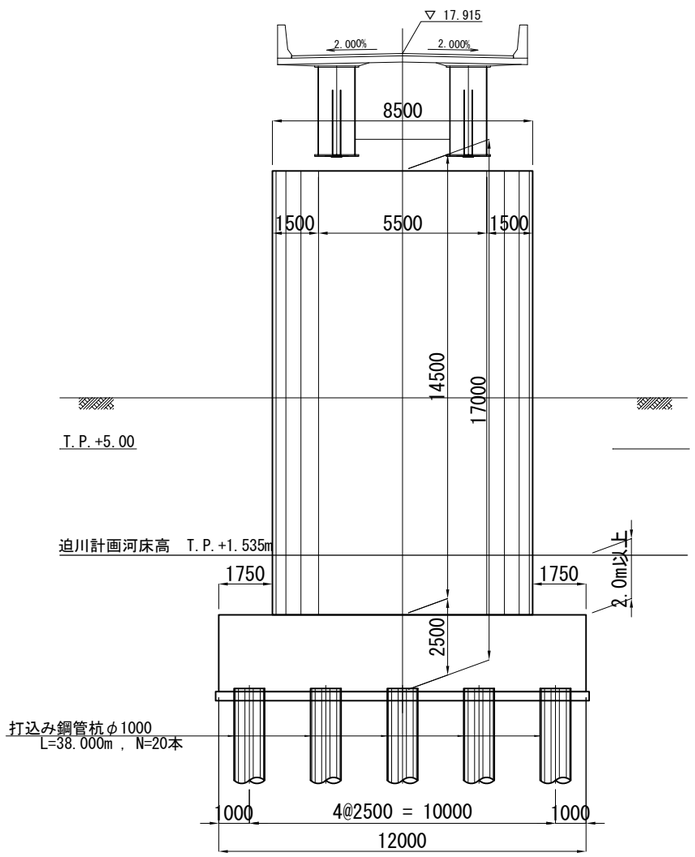
実 施

（※震災後の地盤高補正値-435mm考慮）

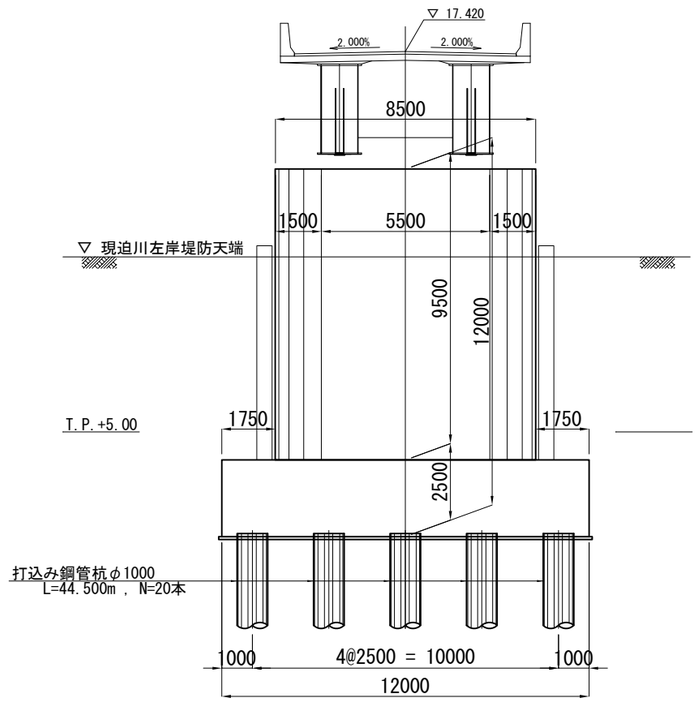
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	**佐沼工区１号橋（仮）橋梁全体一般図（その３）**		
縮尺	1:500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	4 / 212

佐沼工区１号橋（仮） 橋梁全体一般図（その４）

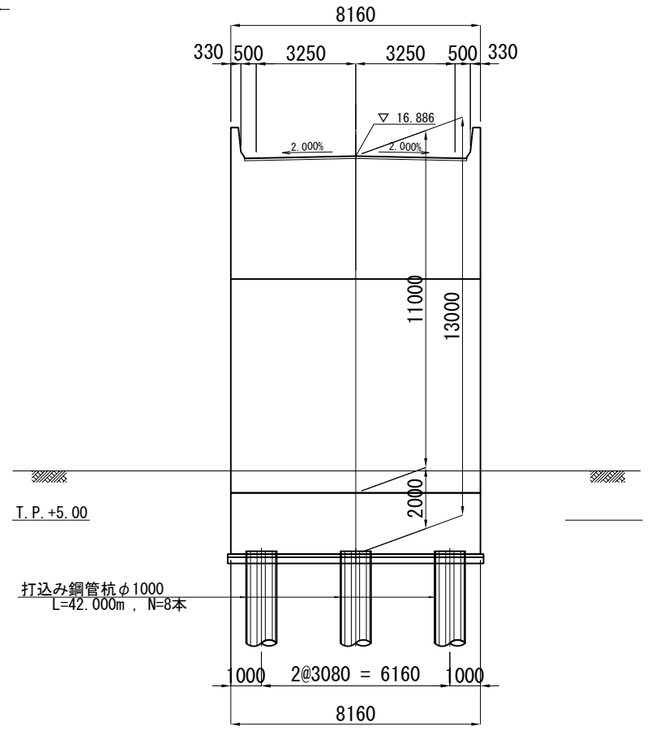
Ｐ１０橋脚



Ｐ１１橋脚



Ａ２橋台



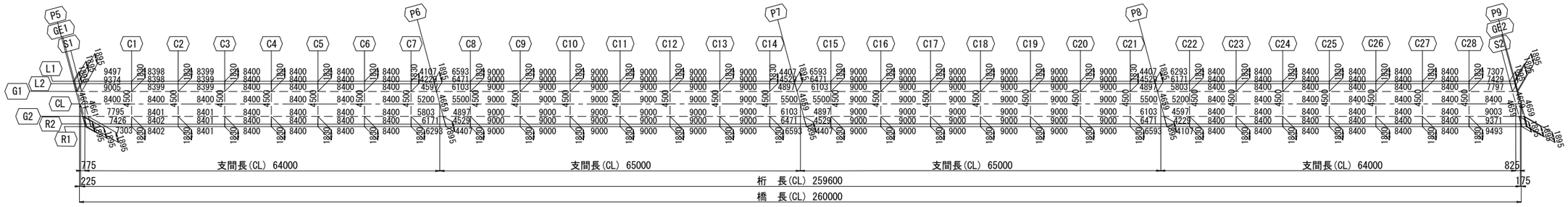
実　施

（※震災後の地盤高補正値-435mm考慮）

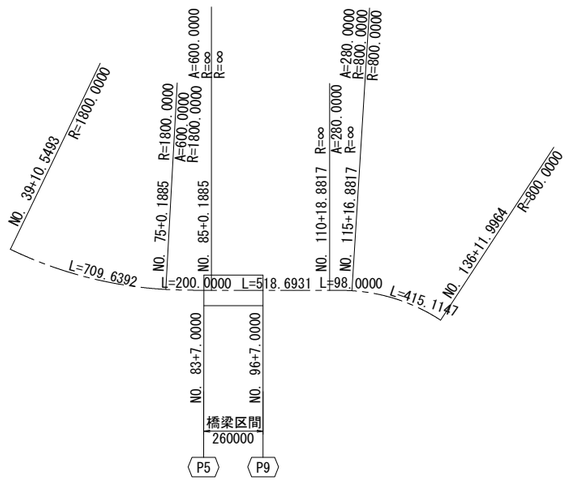
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	**佐沼工区１号橋（仮）橋梁全体一般図** （その４）		
縮尺	1:500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	5 / 212

P5～P9 線形図(その1) S=1:400

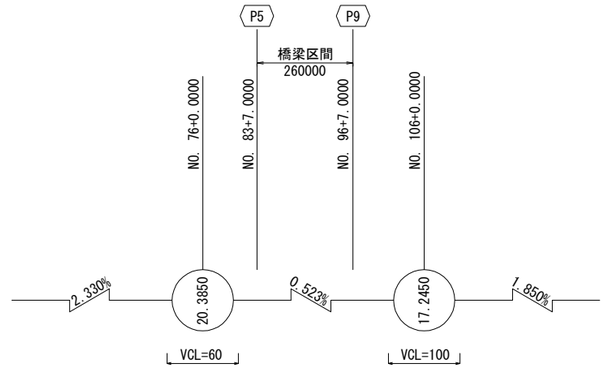
平 面 図



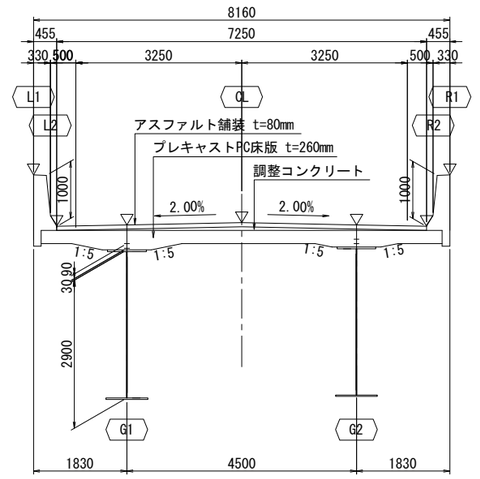
平面線形



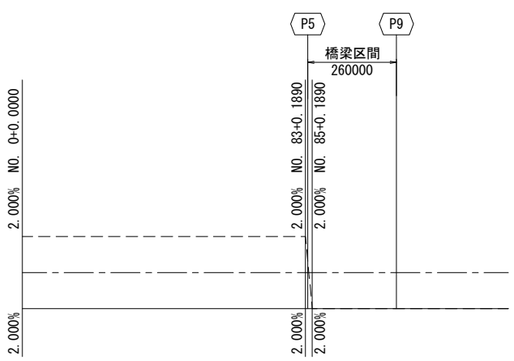
縦断線形



標準断面図 S=1:60

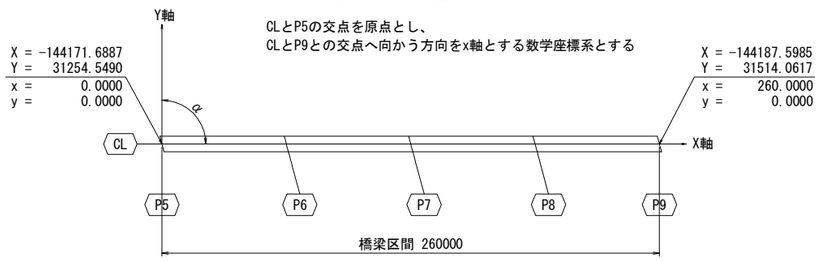


横断線形



小座標の設定

大座標系(X,Y),小座標系(x,y)



橋台・橋脚の配置

橋台・橋脚	測 点	X	Y	方位角(θ)	交角(α)
P5	No. 83+07.000	-144171.6887	31254.5490	105° 00′13″	105° 05′16″
P6	No. 86+12.000	-144175.6789	31319.4264	105° 00′13″	105° 00′00″
P7	No. 89+17.000	-144179.6521	31384.3048	105° 00′13″	105° 00′00″
P8	No. 93+02.000	-144183.6253	31449.1833	105° 00′13″	105° 00′00″
P9	No. 96+07.000	-144187.5985	31514.0617	105° 00′13″	105° 00′00″

コントロール点の座標・方向角(CL)

変 化 点	測 点	X	Y	要 素	要 素 長
KAE2-1	No. 39+10.549296	-143940.156306	30417.722600	R=1800.000	L=709.639231
KE2-2	No. 75+00.188527	-144157.816848	31088.336330	A= 600.000	L=200.000000
KA2-2	No. 85+00.188527	-144173.734335	31287.674387	R= ∞	L=518.693148
KA3-1	No.110+18.881675	-144205.440224	31805.397593	A= 280.000	L= 98.000000
KE3-1	No.115+16.881675	-144213.424930	31903.055375	R= 800.000	L=415.114701
KE3-2	No.136+11.996376	-144366.387120	32283.963341		

ブレーキ No.170+00.437849 → 0+00.000000

実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 線形図(その1)		
縮尺	1:400,1:60	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	6 / 212

P5～P9 線形図(その2)

小座標

		P5	GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	P6	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	P7	C15	C16	C17	C18	C19	C20	C21	P8	C22
L1	X	-1.0938	-0.8688	-0.0938	9.4029	17.8011	26.2000	34.5997	42.9997	51.3997	59.7997	63.9065	70.4997	79.4997	88.4997	97.4997	106.4997	115.4997	124.4997	128.9065	135.4997	144.4997	153.4997	162.4997	171.4997	180.4997	189.4997	193.9065	200.1997
	Y	4.0817	4.0813	4.0801	4.0699	4.0659	4.0649	4.0653	4.0659	4.0664	4.0670	4.0672	4.0677	4.0683	4.0688	4.0694	4.0700	4.0706	4.0712	4.0715	4.0719	4.0725	4.0731	4.0737	4.0742	4.0748	4.0754	4.0757	4.0761
	Z	20.5590	20.5578	20.5537	20.5040	20.4600	20.4161	20.3721	20.3282	20.2842	20.2402	20.2188	20.1843	20.1372	20.0901	20.0430	19.9959	19.9488	19.9017	19.8786	19.8441	19.7970	19.7499	19.7028	19.6557	19.6086	19.5615	19.5384	19.5055
L2	X	-0.9718	-0.7468	0.0282	9.4026	17.8009	26.2000	34.5998	42.9998	51.3998	59.7998	64.0284	70.4998	79.4998	88.4998	97.4998	106.4998	115.4998	124.4998	129.0284	135.4998	144.4998	153.4998	162.4998	171.4998	180.4998	189.4998	194.0284	200.1998
	Y	3.6265	3.6261	3.6250	3.6149	3.6109	3.6099	3.6103	3.6109	3.6114	3.6120	3.6122	3.6127	3.6133	3.6138	3.6144	3.6150	3.6156	3.6162	3.6165	3.6169	3.6175	3.6181	3.6187	3.6192	3.6198	3.6204	3.6207	3.6211
	Z	19.5483	19.5471	19.5431	19.4940	19.4500	19.4061	19.3621	19.3182	19.2742	19.2302	19.2081	19.1743	19.1272	19.0801	19.0330	18.9859	18.9388	18.8917	18.8679	18.8341	18.7870	18.7399	18.6928	18.6457	18.5986	18.5515	18.5278	18.4955
G1	X	-0.6032	-0.3782	0.3968	9.4016	17.8006	26.2000	34.5998	42.9998	51.3998	59.7998	64.3970	70.4998	79.4998	88.4998	97.4998	106.4998	115.4998	124.4998	129.3970	135.4998	144.4998	153.4998	162.4998	171.4998	180.4998	189.4998	194.3970	200.1998
	Y	2.2509	2.2506	2.2494	2.2399	2.2359	2.2349	2.2353	2.2359	2.2364	2.2370	2.2373	2.2377	2.2383	2.2388	2.2394	2.2400	2.2406	2.2412	2.2415	2.2419	2.2425	2.2431	2.2437	2.2442	2.2448	2.2454	2.2457	2.2461
	Z	19.5739	19.5727	19.5686	19.5215	19.4775	19.4336	19.3896	19.3457	19.3017	19.2577	19.2337	19.2018	19.1547	19.1076	19.0605	19.0134	18.9663	18.9192	18.8935	18.8616	18.8145	18.7674	18.7203	18.6732	18.6261	18.5790	18.5534	18.5230
	H	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200
	W	19.1096	19.1078	19.1037	19.0504	19.0006	18.9509	18.9021	18.8582	18.8142	18.7702	18.7462	18.7143	18.6672	18.6201	18.5730	18.5259	18.4788	18.4317	18.4060	18.3741	18.3270	18.2799	18.2328	18.1857	18.1386	18.0915	18.0659	18.0355
CL	X	0.0000	0.2250	1.0000	9.4000	17.8000	26.2000	34.6000	43.0000	51.4000	59.8000	65.0000	70.5000	79.5000	88.5000	97.5000	106.5000	115.5000	124.5000	130.0000	135.5000	144.5000	153.5000	162.5000	171.5000	180.5000	189.5000	195.0000	200.2000
	Y	0.0000	-0.0003	-0.0014	-0.0101	-0.0141	-0.0151	-0.0147	-0.0141	-0.0136	-0.0130	-0.0127	-0.0123	-0.0117	-0.0112	-0.0106	-0.0100	-0.0094	-0.0088	-0.0085	-0.0081	-0.0075	-0.0069	-0.0063	-0.0058	-0.0052	-0.0046	-0.0042	-0.0039
	Z	19.6157	19.6145	19.6105	19.5665	19.5225	19.4786	19.4346	19.3907	19.3467	19.3027	19.2755	19.2468	19.1997	19.1526	19.1055	19.0584	19.0113	18.9642	18.9354	18.9066	18.8595	18.8124	18.7653	18.7182	18.6711	18.6240	18.5952	18.5680
G2	X	0.6032	0.8282	1.6032	9.3984	17.7994	26.2000	34.6001	43.0001	51.4001	59.8001	65.6030	70.5001	79.5001	88.5001	97.5001	106.5001	115.5001	124.5001	130.6030	135.5001	144.5001	153.5001	162.5001	171.5001	180.5001	189.5001	195.6030	200.2001
	Y	-2.2509	-2.2512	-2.2522	-2.2601	-2.2641	-2.2651	-2.2647	-2.2641	-2.2636	-2.2630	-2.2627	-2.2623	-2.2617	-2.2612	-2.2606	-2.2600	-2.2594	-2.2588	-2.2584	-2.2581	-2.2575	-2.2569	-2.2563	-2.2558	-2.2552	-2.2546	-2.2542	-2.2539
	Z	19.6408	19.6392	19.6334	19.5750	19.5122	19.4493	19.3896	19.3457	19.3017	19.2577	19.2274	19.2018	19.1547	19.1076	19.0605	19.0134	18.9663	18.9192	18.8872	18.8616	18.8145	18.7674	18.7203	18.6732	18.6261	18.5790	18.5470	18.5230
	H	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200
	W	19.1757	19.1733	19.1676	19.1039	19.0353	18.9666	18.9021	18.8582	18.8142	18.7702	18.7399	18.7143	18.6672	18.6201	18.5730	18.5259	18.4788	18.4317	18.3997	18.3741	18.3270	18.2799	18.2328	18.1857	18.1386	18.0915	18.0595	18.0355
R2	X	0.9718	1.1968	1.9718	9.3974	17.7990	26.2000	34.6002	43.0002	51.4002	59.8002	65.9715	70.5002	79.5002	88.5002	97.5002	106.5002	115.5002	124.5002	130.9715	135.5002	144.5002	153.5002	162.5002	171.5002	180.5002	189.5002	195.9715	200.2002
	Y	-3.6264	-3.6267	-3.6277	-3.6351	-3.6391	-3.6401	-3.6397	-3.6391	-3.6386	-3.6380	-3.6376	-3.6373	-3.6367	-3.6362	-3.6356	-3.6350	-3.6344	-3.6338	-3.6334	-3.6331	-3.6325	-3.6319	-3.6313	-3.6308	-3.6302	-3.6296	-3.6292	-3.6289
	Z	19.6549	19.6529	19.6460	19.5802	19.5058	19.4314	19.3621	19.3182	19.2742	19.2302	19.1980	19.1743	19.1272	19.0801	19.0330	18.9859	18.9388	18.8917	18.8578	18.8341	18.7870	18.7399	18.6928	18.6457	18.5986	18.5515	18.5176	18.4955
R1	X	1.0938	1.3188	2.0938	9.3971	17.7989	26.2000	34.6003	43.0003	51.4003	59.8003	66.0935	70.5003	79.5003	88.5003	97.5003	106.5003	115.5003	124.5003	131.0935	135.5003	144.5003	153.5003	162.5003	171.5003	180.5003	189.5003	196.0935	200.2003
	Y	-4.0816	-4.0819	-4.0829	-4.0901	-4.0941	-4.0951	-4.0947	-4.0941	-4.0936	-4.0930	-4.0926	-4.0923	-4.0917	-4.0912	-4.0906	-4.0900	-4.0894	-4.0888	-4.0884	-4.0881	-4.0875	-4.0869	-4.0863	-4.0858	-4.0852	-4.0846	-4.0842	-4.0839
	Z	20.6638	20.6618	20.6549	20.5902	20.5158	20.4414	20.3721	20.3282	20.2842	20.2402	20.2073	20.1843	20.1372	20.0901	20.0430	19.9959	19.9488	19.9017	19.8671	19.8441	19.7970	19.7499	19.7028	19.6557	19.6086	19.5615	19.5270	19.5055

		C23	C24	C25	C26	C27	C28	S2	GE2	P9
L1	X	208.5997	216.9997	225.3997	233.7997	242.1997	250.5997	257.9065	258.7315	258.9065
	Y	4.0767	4.0772	4.0777	4.0783	4.0788	4.0794	4.0799	4.0799	4.0799
	Z	19.4615	19.4176	19.3736	19.3296	19.2857	19.2417	19.2035	19.1992	19.1983
L2	X	208.5998	216.9998	225.3998	233.7998	242.1998	250.5998	258.0284	258.8534	259.0284
	Y	3.6217	3.6222	3.6227	3.6233	3.6238	3.6244	3.6249	3.6249	3.6249
	Z	18.4515	18.4076	18.3636	18.3196	18.2757	18.2317	18.1928	18.1885	18.1876
G1	X	208.5998	216.9998	225.3998	233.7998	242.1998	250.5998	258.3970	259.2220	259.3970
	Y	2.2467	2.2472	2.2477	2.2483	2.2488	2.2494	2.2499	2.2499	2.2500
	Z	18.4790	18.4351	18.3911	18.3471	18.3032	18.2592	18.2184	18.2141	18.2132
	H	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200
	W	17.9915	17.9476	17.9036	17.8596	17.8157	17.7717	17.7309	17.7273	17.7257
CL	X	208.6000	217.0000	225.4000	233.8000	242.2000	250.6000	259.0000	259.8250	260.0000
	Y	-0.0033	-0.0028	-0.0023	-0.0017	-0.0012	-0.0006	-0.0001	0.0000	0.0000
	Z	18.5240	18.4801	18.4361	18.3921	18.3482	18.3042	18.2603	18.2559	18.2550
G2	X	208.6001	217.0001	225.4001	233.8001	242.2001	250.6001	259.6030	260.4280	260.6030
	Y	-2.2533	-2.2528	-2.2523	-2.2517	-2.2512	-2.2506	-2.2500	-2.2500	-2.2500
	Z	18.4790	18.4351	18.3911	18.3471	18.3032	18.2592	18.2121	18.2078	18.2069
	H	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200
	W	17.9915	17.9476	17.9036	17.8596	17.8157	17.7717	17.7246	17.7209	17.7194
R2	X	208.6002	217.0002	225.4002	233.8002	242.2002	250.6002	259.9715	260.7965	260.9715
	Y	-3.6283	-3.6278	-3.6273	-3.6267	-3.6262	-3.6256	-3.6250	-3.6249	-3.6249
	Z	18.4515	18.4076	18.3636	18.3196	18.2757	18.2317	18.1827	18.1784	18.1775
R1	X	208.6003	217.0003	225.4003	233.8003	242.2003	250.6003	260.0935	260.9185	261.0935
	Y	-4.0833	-4.0828	-4.0823	-4.0817	-4.0812	-4.0806	-4.0800	-4.0799	-4.0799
	Z	19.4615	19.4176	19.3736	19.3296	19.2857	19.2417	19.1920	19.1877	19.1868

注)
1. 座標値は小座標系を示す。
2. 記号の説明
   X.Y：平面座標
   Z：路面計画高
   H：ハンチ厚 ＋ モルタル厚
   W：上フランジ天端高

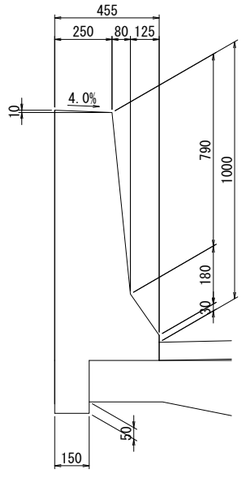
支点上構造高図

支点上構造高表

(m)

		S1		P6		P7		P8		S2	
		G1	G2	G1	G2	G1	G2	G1	G2	G1	G2
路面計画高	Z	19.569	19.633	19.234	19.227	18.894	18.887	18.553	18.547	18.218	18.212
舗装厚	T1	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080
調整コンクリート	T2	0.005	0.005	0.028	0.028	0.028	0.028	0.028	0.028	0.027	0.027
床版厚	T3	0.260	0.260	0.260	0.260	0.260	0.260	0.260	0.260	0.260	0.260
ハンチ厚	T4	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090
モルタル厚	T5	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030
桁高	H1	2.900	2.900	2.900	2.900	2.900	2.900	2.900	2.900	2.900	2.900
下フランジ厚	T6	0.030	0.026	0.064	0.064	0.043	0.043	0.064	0.064	0.026	0.031
ソールプレート厚	T7	0.039	0.039	0.062	0.062	0.062	0.062	0.062	0.062	0.039	0.039
支承高	H2	0.252	0.252	0.431	0.431	0.431	0.431	0.431	0.431	0.252	0.252
モルタル厚	T8	0.030	0.030	0.041	0.034	0.041	0.034	0.040	0.034	0.030	0.030
台座高	T9	0.131	0.133	－	－	－	－	－	－	0.141	0.130
合計	Σ	3.847	3.845	3.986	3.979	3.965	3.958	3.985	3.979	3.875	3.869
下部工天端高	Z1	15.722	15.788	15.248	15.248	14.929	14.929	14.568	14.568	14.343	14.343

壁高欄詳細図 S=1:60

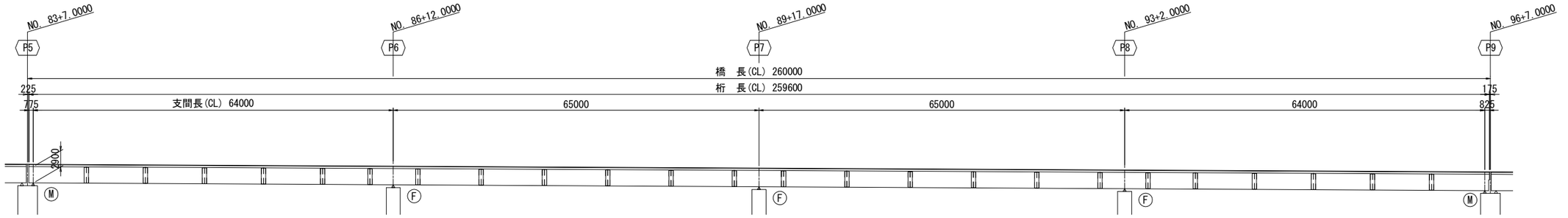


実　施

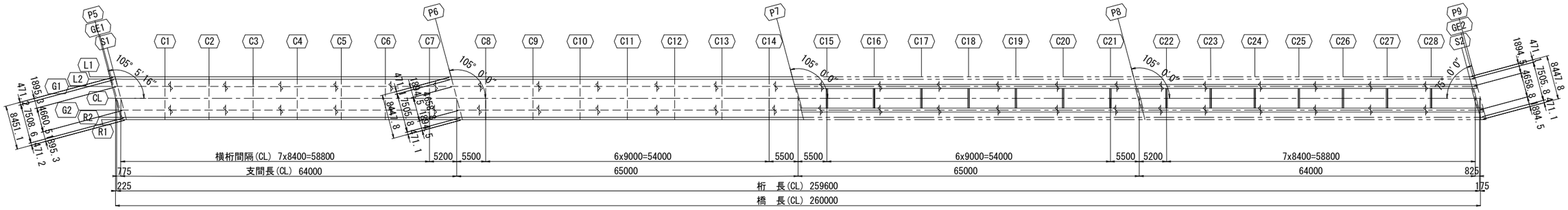
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 線形図(その2)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	7 / 212

P5～P9 上部工構造一般図　S=1:400

側 面 図

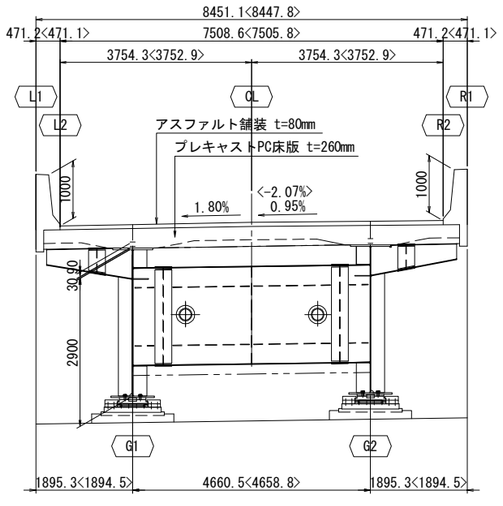


平 面 図

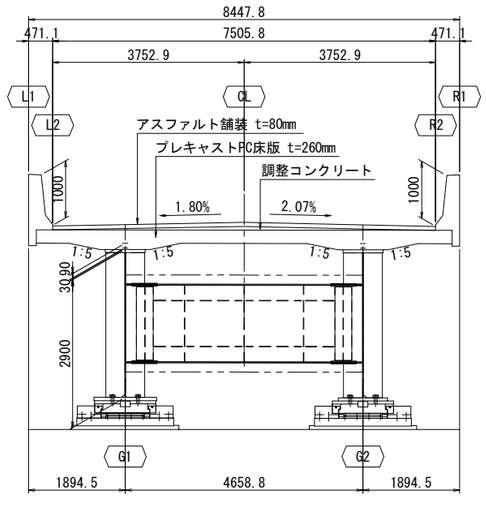


断 面 図　S=1:60

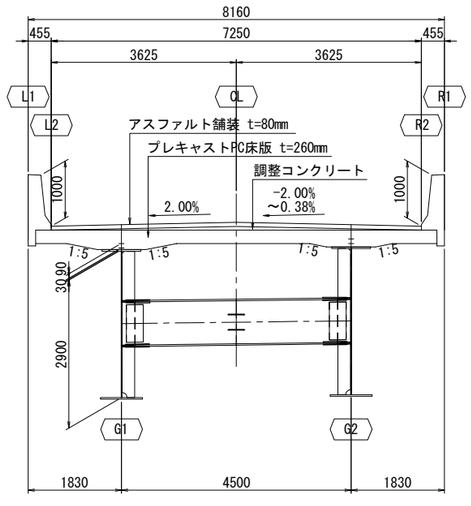
端支点部
S1,<S2>



中間支点部
P6～P8



中間部



設計条件

構造形式	鋼4径間連続少数鈑桁橋
道路規格	第3種第1級
設計速度	V=60km/h
橋　長	260.000m
支 間 長	64.000 + 65.000 + 65.000 + 64.000 = 258.000m(CL上)
幅　員	総 幅 員：8.160m
	有効幅員：7.500m
斜　角	P5：74° 54′45″，P6～P9：75° 0′0″
設計荷重	B活荷重
計画交通量	6200台／日
大型車交通量	480台／日・方向(大型車混入率12.9%)
橋の重要度	B種の橋
平面線形	R=1800m～A=600m～R=∞～A=280m～R=800m
縦断勾配	i=0.523% ＼
横断勾配	i=2.00%（片勾配）～i=2.00%（拝み勾配）
床　版	プレキャストPC床版　t=260mm(σck=50N/mm2)
舗　装	アスファルト舗装　t=80mm
使用鋼材	SM570, SM490Y, SM400, SS400, S10T
適用示方書	道路橋示方書・同解説Ⅰ～Ⅴ（日本道路協会 平成24年 3月） 設計要領第二集（東日本高速道路(株) 平成24年7月） 宮城県 設計施工マニュアル（平成26年10月） 鋼道路橋の疲労設計指針（日本道路協会 平成14年3月） 道路橋支承便覧（日本道路協会 平成16年4月） 鋼道路橋塗装・防食便覧（日本道路協会 平成17年12月）

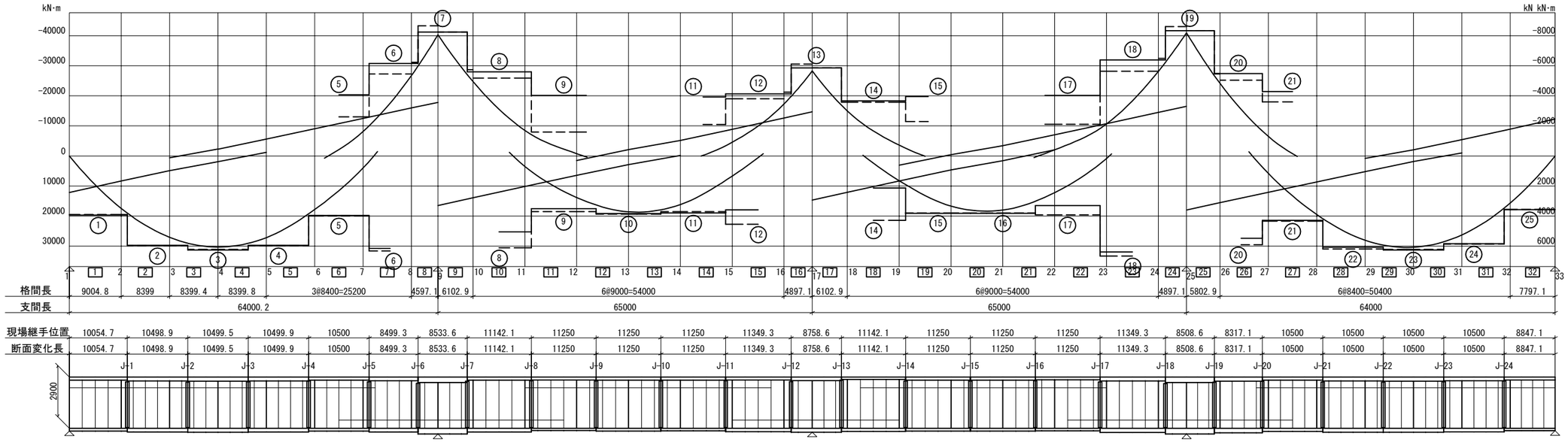
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（1号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 上部工構造一般図		
縮　尺	1:400, 1:60	位置	
設計者		設計年度	
宮　城　県		図番	8 / 212

P5～P9 応力図(その1)　S=1:400

G1

上フランジ ――――――
下フランジ － － － － － －



単位：mm　N/mm2

		1		2	3	4	5			6			7		8			9			10	11			12			13		14		15			16
断面名		Sec-1		Sec-2	Sec-3	Sec-4	Sec-5			Sec-6			Sec-7		Sec-8			Sec-9			Sec-10	Sec-11			Sec-12			Sec-13		Sec-14		Sec-15			Sec-16
上フランジ	幅	760		760	760	760	760			760			760		760			760			760	760			760			760		760		760			760
	厚	35(3)		44(8)	47(8)	44(8)	35(3)			43(8)			62(8)		37(4)			33(3)			35(3)	35(3)			33(3)			41(8)		27(3)		35(3)			35(3)
腹板	高さ	2865	2865	2856	2853	2856	2865	2865	2865	2857	2857	2857	2838	2838	2863	2863	2863	2867	2867	2867	2865	2865	2865	2865	2867	2867	2867	2859	2859	2873	2873	2873	2865	2865	2865	2865
	厚	16(3)		16(4)	16(4)	16(4)	16(3)			20(4)			20(4)		20(4)			20(3)			14(3)	14(3)			18(3)			18(4)		18(3)		14(3)			14(3)
下フランジ	幅	820		820	820	820	820			820			820		820			820			820	820			820			820		820		820			820
	厚	30(3)		41(8)	43(8)	41(8)	31(3)			42(8)			64(8)		41(8)			25(3)			31(3)	29(3)			37(3)			43(8)		35(3)		30(3)			30(3)
上フランジ	σ	0	-198	-250	-247	-250	-198	-19	103	-15	83	248	250	250	247	-47	64	-54	74	-170	-198	-192	-87	36	-82	34	201	247	247	193	-109	29	-102	27	-192	-196
	σa	210	204	255	255	255	204	204	210	255	255	255	255	255	255	230	255	183	210	183	203	203	203	210	182	210	210	255	255	210	122	210	203	210	203	203
	σa-σ	210	6	5	8	5	6	185	107	240	172	7	5	5	8	183	191	129	136	13	5	11	116	174	100	176	9	8	8	17	13	181	101	183	11	7
下フランジ	σ	0	206	248	249	249	203	19	-106	15	-81	-241	-234	-234	-225	43	-59	59	-80	185	203	203	92	-38	75	-31	-183	-230	-230	-165	94	-25	106	-28	200	204
	σa	210	210	255	255	255	210	210	137	255	220	251	251	239	239	255	216	210	90	210	210	210	210	119	210	176	196	249	239	175	210	175	210	127	210	210
	σa-σ	210	4	7	6	6	7	191	31	240	139	10	17	5	14	212	157	151	10	25	7	7	118	81	135	145	13	19	9	10	116	150	104	99	10	6
腹板	τ	53	35	17	10	19	38	56	56	45	45	57	63	58	50	34	34	34	34	18	13	20	42	42	33	33	51	57	57	48	30	30	39	39	17	13
	τa	120	120	145	145	145	120	120	120	145	145	145	145	145	145	145	145	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	145	145	120	120	120	120	120	120	120
	合成	0.20	0.99	0.91	0.90	0.92	0.99	0.23	0.46	0.10	0.20	1.05	1.07	1.04	1.01	0.09	0.12	0.16	0.22	0.77	0.91	0.93	0.31	0.15	0.22	0.10	1.06	1.04	1.04	0.98	0.33	0.08	0.35	0.12	0.89	0.92
計算点位置		左	J-1	J-2	最大値	J-3	J-4	J-5	J-5	左	左	J-6	**最大値 左**	**最大値 右**	J-7	右	右	J-8	J-8	J-9	最大値	J-10	J-11	J-11	J-11	J-11	J-12	**最大値 左**	**最大値 右**	J-13	J-14	J-14	J-14	J-14	J-15	最大値
上フランジ孔引き後σ									128			248			247				91					45		43	201			202		36		33		
下フランジ孔引き後σ			206	248		249	203	25										77		206		203	120		98					122		138		207	
決定要因	上フランジ	B		B	B	B	B			A			A		A			B			B	B			A			A		B		B			B
	下フランジ	A		A	A	A	A			B			B		B			D			A	A			B			B		B		A			A

単位：mm　N/mm2

		17			18			19		20			21			22	23	24	25	
断面名		Sec-17			Sec-18			Sec-19		Sec-20			Sec-21			Sec-22	Sec-23	Sec-24	Sec-25	
上フランジ	幅	760			760			760		760			760			760	760	760	760	
	厚	32(3)			45(8)			63(8)		47(7)			37(3)			45(8)	47(8)	43(8)	34(3)	
腹板	高さ	2868	2868	2868	2855	2855	2855	2837	2837	2853	2853	2853	2863	2863	2863	2855	2853	2857	2866	2866
	厚	20(3)			20(4)			20(4)		20(3)			16(3)			16(4)	16(4)	16(4)	16(3)	
下フランジ	幅	820			820			820		820			820			820	820	820	820	
	厚	28(3)			45(8)			64(8)		50(7)			35(3)			43(8)	43(8)	40(4)	26(3)	
上フランジ	σ	-158	-27	95	-21	73	249	251	251	205	-28	64	-36	81	-204	-249	-248	-249	-187	0
	σa	172	172	210	255	255	255	255	255	210	210	210	210	210	210	255	255	255	192	210
	σa-σ	14	145	115	234	182	6	4	4	5	182	146	174	129	6	6	7	6	5	210
下フランジ	σ	161	28	-97	20	-70	-238	-237	-237	-190	26	-59	36	-80	202	244	249	249	205	0
	σa	210	210	113	255	216	249	249	241	194	210	179	210	174	210	255	255	255	210	210
	σa-σ	49	182	16	235	146	11	12	4	4	184	120	174	94	8	11	6	6	5	210
腹板	τ	20	36	36	36	36	53	58	63	56	44	44	55	55	36	17	10	18	37	53
	τa	120	120	120	145	145	145	145	145	120	120	120	120	120	120	145	145	145	120	120
	合成	0.60	0.11	0.30	0.07	0.14	1.03	1.05	1.08	1.11	0.15	0.22	0.24	0.35	0.99	0.91	0.91	0.92	1.01	0.20
計算点位置		J-16	J-17	J-17	左	左	J-18	**最大値 左**	**最大値 右**	J-19	右	右	J-20	J-20	J-21	J-22	最大値	J-23	J-24	右
上フランジ孔引き後σ				117			250			205				100						
下フランジ孔引き後σ		194	37										47		202	247		249	205	
決定要因	上フランジ	B			A			A		A			B			B	B	B	B	
	下フランジ	B			B			B		B			A			A	A	A	A	

材質　(1):SM400
(2):SM490
(3):SM490Y
(4):SM570
(5):SM400-H
(6):SM490-H
(7):SM520-H
(8):SM570-H

決定要因　A:引張応力度
B:圧縮応力度
C:孔引応力度
D:フランジ自由突出
E:フランジ板厚差

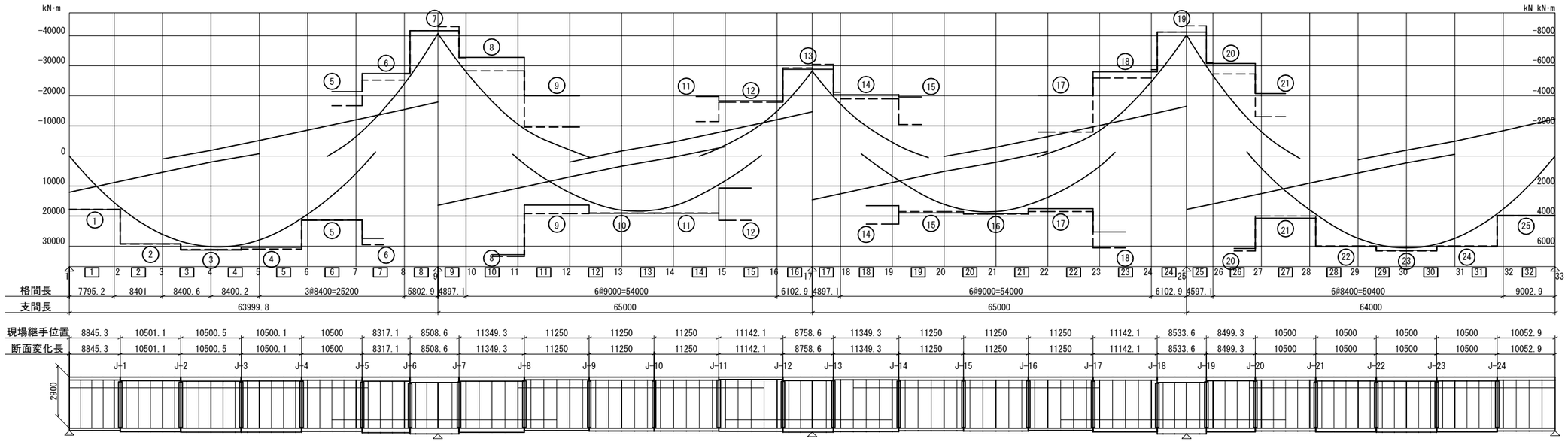
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 応力図(その1)		
縮尺	1:400	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	9 / 212

P5～P9 応力図(その2)　S=1:400

G2

上フランジ ――――――
下フランジ －－－－－－－



単位：mm　N/mm2

		1		2	3	4	5			6			7		8			9			10	11			12			13		14		15			16
断面名		Sec-1		Sec-2	Sec-3	Sec-4	Sec-5			Sec-6			Sec-7		Sec-8			Sec-9			Sec-10	Sec-11			Sec-12			Sec-13		Sec-14		Sec-15			Sec-16
上フランジ	幅	760		760	760	760	760			760			760		760			760			760	760			760			760		760		760			760
	厚	34(3)		43(8)	47(8)	45(8)	37(3)			47(7)			63(8)		47(8)			32(3)			35(3)	35(3)			27(3)			40(4)		32(3)		35(3)			35(3)
腹板	高さ	2866	2866	2857	2853	2855	2863	2863	2863	2853	2853	2853	2837	2837	2853	2853	2853	2868	2868	2868	2865	2865	2865	2865	2873	2873	2873	2860	2860	2868	2868	2868	2865	2865	2865	2865
	厚	16(3)		16(4)	16(4)	16(4)	16(3)			20(3)			20(4)		20(4)			20(3)			14(3)	14(3)			18(3)			18(4)		18(3)		14(3)			14(3)
下フランジ	幅	820		820	820	820	820			820			820		820			820			820	820			820			820		820		820			820
	厚	26(3)		40(4)	43(8)	43(8)	34(3)			50(7)			64(8)		45(8)			27(3)			30(3)	30(3)			35(3)			43(8)		37(3)		29(3)			31(3)
上フランジ	σ	0	-186	-249	-247	-248	-204	-37	81	-28	63	204	250	250	241	-21	70	-28	95	-159	-196	-192	-102	27	-109	29	193	250	250	204	-84	35	-87	36	-191	-197
	σa	210	192	255	255	255	210	210	210	210	210	210	255	255	255	255	255	172	210	172	203	203	203	210	122	210	210	255	255	210	171	210	203	210	203	203
	σa-σ	210	6	6	8	7	6	173	129	182	147	6	5	5	14	234	185	144	115	13	7	11	101	183	13	181	17	5	5	6	87	175	116	174	12	6
下フランジ	σ	0	204	248	248	243	205	37	-82	26	-59	-189	-236	-236	-236	21	-69	30	-99	165	204	200	106	-28	94	-25	-165	-231	-231	-183	75	-32	92	-39	203	202
	σa	210	210	255	255	255	210	210	165	210	179	194	241	249	249	255	216	210	105	210	210	210	210	127	210	175	175	239	249	196	210	176	210	119	210	210
	σa-σ	210	6	7	7	12	5	173	83	184	120	5	5	13	13	234	147	180	6	45	6	10	104	99	116	150	10	8	18	13	135	144	118	80	7	8
腹板	τ	53	37	18	10	17	36	54	54	44	44	56	63	58	52	36	36	36	36	20	13	17	39	39	30	30	48	57	57	51	32	32	42	42	20	13
	τa	120	120	145	145	145	120	120	120	120	120	120	145	145	145	145	145	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	145	145	120	120	120	120	120	120	120
	合成	0.19	0.99	0.91	0.90	0.90	0.99	0.23	0.35	0.15	0.22	1.10	1.07	1.04	0.97	0.07	0.13	0.11	0.30	0.62	0.92	0.89	0.35	0.12	0.33	0.08	0.98	1.07	1.07	1.09	0.23	0.10	0.31	0.15	0.92	0.90
計算点位置		左	J-1	J-2	最大値	J-3	J-4	J-5	J-5	左	左	J-6	**最大値 左**	**最大値 右**	J-7	右	右	J-8	J-8	J-9	最大値	J-10	J-11	J-11	J-11	J-11	J-12	**最大値 左**	**最大値 右**	J-13	J-14	J-14	J-14	J-14	J-15	最大値
上フランジ孔引き後σ									100			204			248					117				33			36	202			204		43		45		
下フランジ孔引き後σ			204	248		246	205	48										39		198		207	138		122						98		120		203	
決定要因	上フランジ	B		B	B	B	B			A			A		A			B			B	B			B			A		A		B			B
	下フランジ	A		A	A	A	A			B			B		B			B			A	A			B			B		B		A			A

単位：mm　N/mm2

		17			18			19		20			21			22	23	24	25	
断面名		Sec-17			Sec-18			Sec-19		Sec-20			Sec-21			Sec-22	Sec-23	Sec-24	Sec-25	
上フランジ	幅	760			760			760		760			760			760	760	760	760	
	厚	33(3)			37(4)			62(8)		43(8)			36(3)			45(8)	47(8)	45(8)	35(3)	
腹板	高さ	2867	2867	2867	2863	2863	2863	2838	2838	2857	2857	2857	2864	2864	2864	2855	2853	2855	2865	2865
	厚	20(3)			20(4)			20(4)		20(4)			16(3)			16(4)	16(4)	16(4)	16(3)	
下フランジ	幅	820			820			820		820			820			820	820	820	820	
	厚	25(3)			41(8)			64(8)		42(8)			31(3)			41(8)	44(8)	41(8)	31(3)	
上フランジ	σ	-170	-53	74	-47	65	246	249	249	248	-16	83	-20	101	-197	-248	-248	-248	-199	0
	σa	183	183	210	230	255	255	255	255	255	255	255	210	210	210	255	255	255	204	210
	σa-σ	13	130	136	183	190	9	6	6	7	239	172	190	109	13	7	7	7	5	210
下フランジ	σ	184	58	-80	43	-59	-225	-233	-233	-241	16	-80	20	-105	204	250	247	250	203	0
	σa	210	210	90	255	216	239	239	251	251	255	220	210	137	210	255	255	255	210	210
	σa-σ	26	152	10	212	157	14	6	18	10	239	140	190	32	6	5	8	5	7	210
腹板	τ	18	34	34	34	34	50	58	63	58	45	45	57	57	38	19	10	17	35	54
	τa	120	120	120	145	145	145	145	145	145	145	145	120	120	120	145	145	145	120	120
	合成	0.77	0.15	0.22	0.09	0.12	1.01	1.04	1.07	1.05	0.10	0.20	0.23	0.46	1.00	0.92	0.90	0.92	0.98	0.20
計算点位置		J-16	J-17	J-17	左	左	J-18	**最大値 左**	**最大値 右**	J-19	右	右	J-20	J-20	J-21	J-22	最大値	J-23	J-24	右
上フランジ孔引き後σ				91			246			248				125						
下フランジ孔引き後σ		205	76										27		204	250		250	203	
決定要因	上フランジ	B			A			A		A			B			B	B	B	B	
	下フランジ	B			B			B		B			A			A	A	A	A	

材質　(1):SM400
(2):SM490
(3):SM490Y
(4):SM570
(5):SM400-H
(6):SM490-H
(7):SM520-H
(8):SM570-H

決定要因　A:引張応力度
B:圧縮応力度
C:孔引応力度
D:フランジ自由突出
E:フランジ板厚差

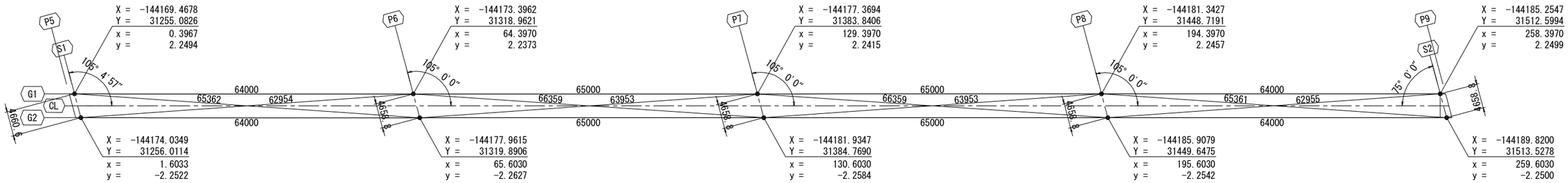
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 応力図(その2)		
縮尺	1:400	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	10 / 212

P5～P9 支承配置図

平面図

大座標系(X,Y)，小座標系(x,y)



支承平面座標

		P5(S1)		P6		P7		P8		P9(S2)	
		G1	G2	G1	G2	G1	G2	G1	G2	G1	G2
大座標系	X	-144169.4678	-144174.0349	-144173.3962	-144177.9615	-144177.3694	-144181.9347	-144181.3427	-144185.9079	-144185.2547	-144189.8200
	Y	31255.0826	31256.0114	31318.9621	31319.8906	31383.8406	31384.7690	31448.7191	31449.6475	31512.5994	31513.5278
小座標系	x	0.3967	1.6033	64.3970	65.6030	129.3970	130.6030	194.3970	195.6030	258.3970	259.6030
	y	2.2494	-2.2522	2.2373	-2.2627	2.2415	-2.2584	2.2457	-2.2542	2.2499	-2.2500

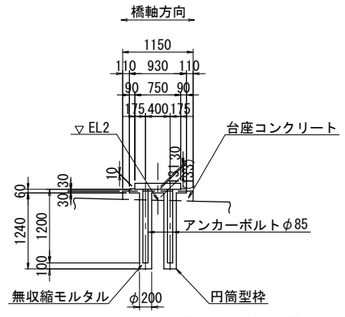
構造高表

(m)

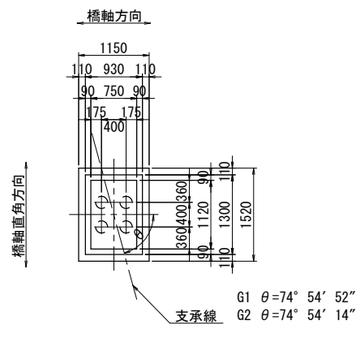
		S1		P6		P7		P8		S2	
		G1	G2	G1	G2	G1	G2	G1	G2	G1	G2
路面計画高	Z	19.569	19.633	19.234	19.227	18.894	18.887	18.553	18.547	18.218	18.212
舗装厚	T1	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080
調整コンクリート	T2	0.005	0.005	0.028	0.028	0.028	0.028	0.028	0.028	0.027	0.027
床版厚	T3	0.260	0.260	0.260	0.260	0.260	0.260	0.260	0.260	0.260	0.260
ハンチ厚	T4	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090
モルタル厚	T5	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030
桁高	H1	2.900	2.900	2.900	2.900	2.900	2.900	2.900	2.900	2.900	2.900
下フランジ厚	T6	0.030	0.026	0.064	0.064	0.043	0.043	0.064	0.064	0.026	0.031
ソールプレート厚	T7	0.039	0.039	0.062	0.062	0.062	0.062	0.062	0.062	0.039	0.039
支承高	H2	0.252	0.252	0.431	0.431	0.431	0.431	0.431	0.431	0.252	0.252
モルタル厚	T8	0.030	0.030	0.041	0.034	0.041	0.034	0.040	0.034	0.030	0.030
台座高	T9	0.131	0.133	–	–	–	–	–	–	0.141	0.130
合計	Σ	3.847	3.845	3.986	3.979	3.965	3.958	3.985	3.979	3.875	3.869
下部工天端高	Z1	15.722	15.788	15.248	15.248	14.929	14.929	14.568	14.568	14.343	14.343

支承箱抜き詳細図 S=1:50

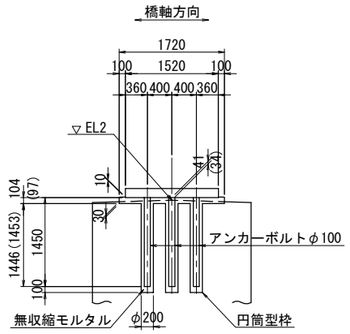
P5橋脚



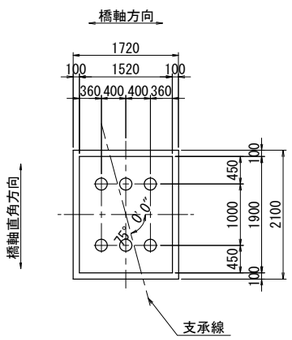
※( )内はG2側を示す。



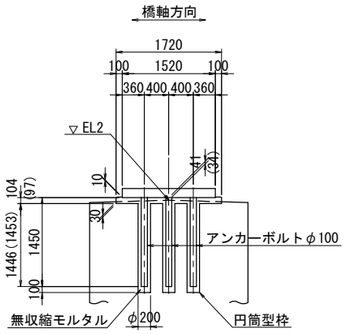
P6橋脚



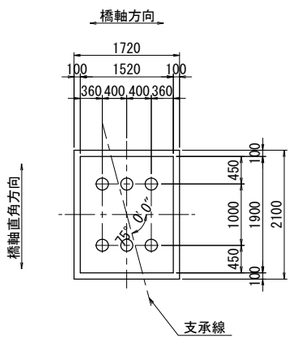
※( )内はG2側を示す。



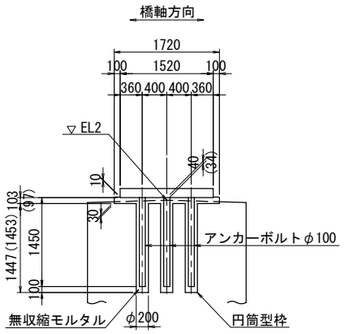
P7橋脚



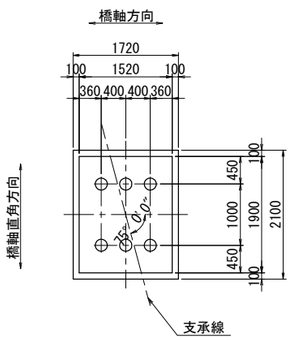
※( )内はG2側を示す。



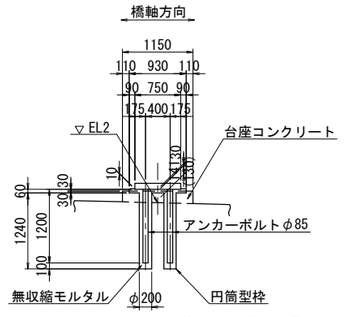
P8橋脚



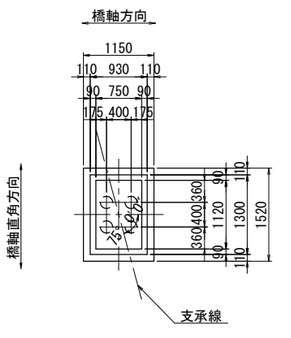
※( )内はG2側を示す。



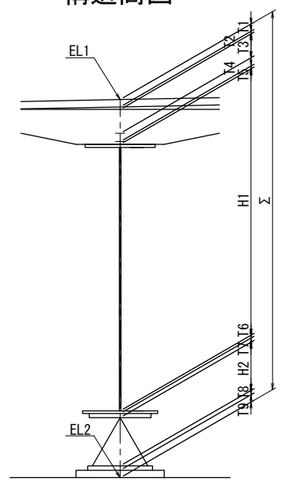
P9橋脚



※( )内はG2側を示す。



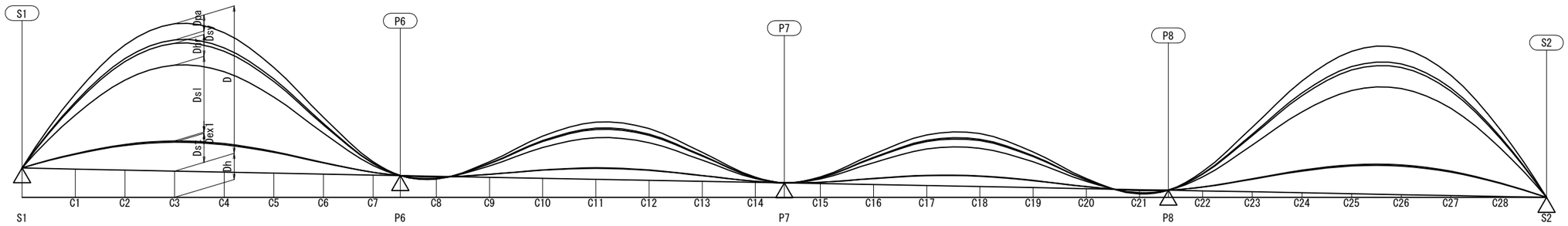
構造高図



実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 支承配置図		
縮尺	1:400, 1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	11 / 212

P5～P9 キャンバー図　S=1:400



単位　mm

		S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	P6	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	P7	C15	C16	C17	C18	C19	C20	C21	P8	C22	C23	C24	C25	C26	C27	C28	S2
G-1	Dh	1373	1319	1270	1220	1171	1127	1083	1039	1015	983	936	889	842	795	748	701	675	643	596	549	502	455	408	361	335	305	261	217	173	129	85	41	0
	Dst	0	17	29	34	32	24	13	3	0	−1	3	9	13	12	7	1	0	1	7	11	12	8	2	−1	0	4	15	25	32	33	27	15	0
	Dex1	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0
	Dsl	0	45	75	88	84	63	34	8	0	−2	10	26	35	32	18	3	0	4	18	31	32	22	6	−3	0	12	39	68	86	89	73	40	0
	Dhr	0	13	22	25	24	18	10	2	0	−1	3	7	10	9	5	1	0	1	5	9	9	6	2	−1	0	3	11	19	24	25	20	11	0
	Dsy	0	2	4	4	4	3	2	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	2	3	4	4	3	2	0
	Dpa	0	10	16	19	18	13	7	2	0	0	2	5	7	6	4	1	0	1	4	6	7	4	1	−1	0	2	8	14	18	18	15	8	0
	D	0	87	146	171	162	123	66	16	0	−3	18	49	67	60	34	6	0	8	35	59	62	42	12	−5	0	22	75	130	166	170	140	77	0
G-2	Dh	1443	1379	1311	1242	1178	1134	1090	1046	1015	990	943	895	848	801	754	707	675	650	602	555	508	461	414	367	335	311	267	223	179	135	91	47	0
	Dst	0	15	27	33	32	25	15	4	0	−1	2	8	12	11	7	1	0	1	7	12	13	9	3	−1	0	3	13	24	32	34	29	17	0
	Dex1	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0
	Dsl	0	40	72	87	85	67	38	11	0	−2	7	22	33	31	19	4	0	3	17	31	34	25	9	−2	0	8	35	65	85	90	76	46	0
	Dhr	0	11	20	25	24	19	11	3	0	−1	2	6	9	9	5	1	0	1	5	9	10	7	3	−1	0	2	10	18	24	25	21	13	0
	Dsy	0	2	3	4	4	3	2	1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1	2	1	0	0	0	0	2	3	4	4	4	2	0
	Dpa	0	8	15	18	18	14	8	2	0	−1	1	4	7	6	4	1	0	1	4	6	7	5	2	0	0	2	7	13	18	19	16	9	0
	D	0	77	139	169	164	129	74	22	0	−5	12	42	62	60	36	8	0	6	33	60	66	48	18	−4	0	16	67	124	164	173	147	88	0

Dh　：縦断勾配
Dst　：鋼重によるたわみ
Dex1：添架物によるたわみ
Dsl　：床版によるたわみ
Dhr　：高欄によるたわみ
Dsy　：遮音壁によるたわみ
Dpa　：舗装によるたわみ
D　　：合　計

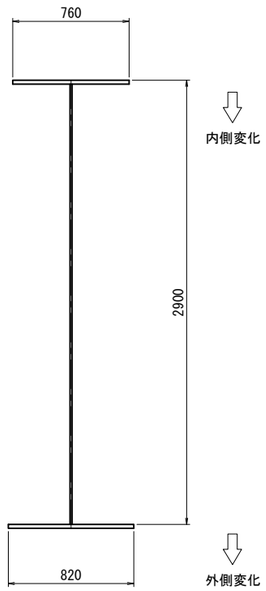
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 キャンバー図		
縮尺	1:400	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	12 / 212

P5～P9 共通詳細図(その1) S=1:20

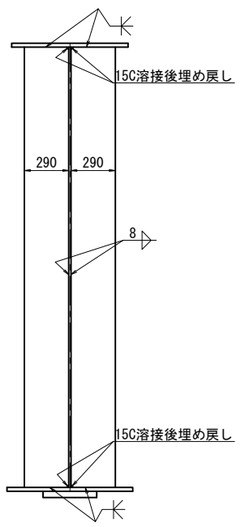
主桁板厚変化方向

⇩ は、フランジの板厚変化方向を示す。

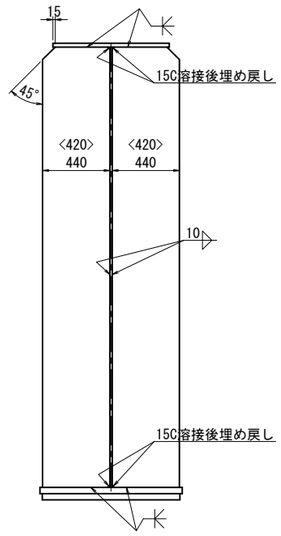


垂直補剛材詳細

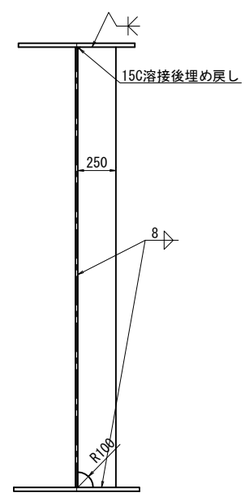
端支点部
S1, S2



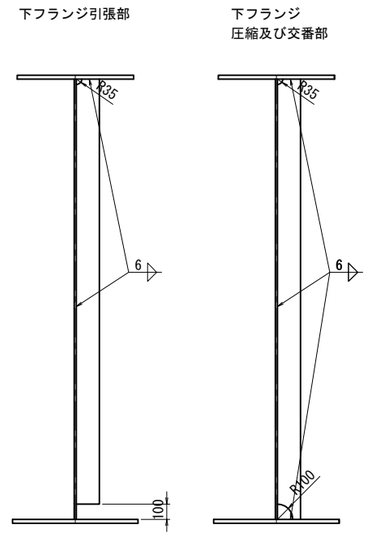
中間支点部
P6, <P7>, P8



格点部

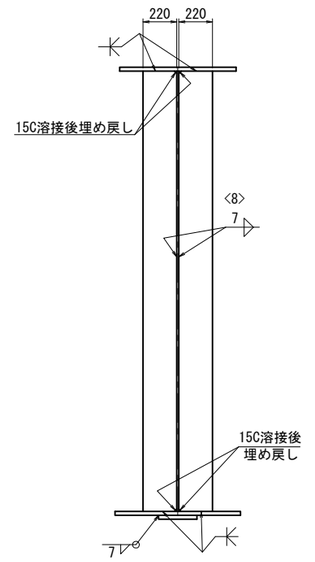


中間部

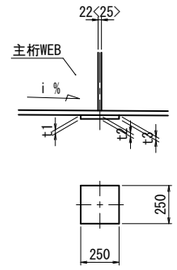


ジャッキアップ補剛材詳細

P5, P7, P9<P6, P8>



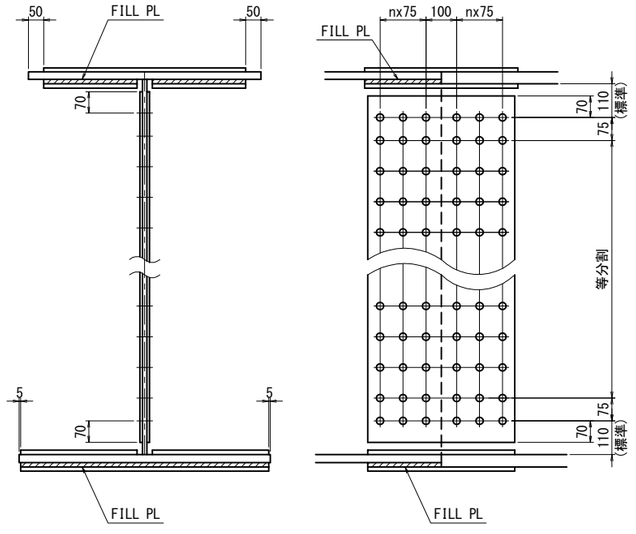
ベースPL詳細



1-BASE PL 250xTx250

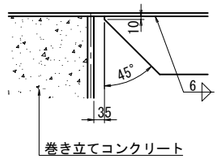
		i %	t1	t2	t3	T
P5	G1	0.59	22.3	23	23.7	26
	G2	0.82	23.0	24	25.0	27
P6	G1	0.52	22.4	23	23.7	26
	G2	0.52	22.4	23	23.7	26
P7	G1	0.52	22.4	23	23.7	26
	G2	0.52	22.4	23	23.7	26
P8	G1	0.52	22.4	23	23.7	26
	G2	0.52	22.4	23	23.7	26
P9	G1	0.52	22.4	23	23.7	26
	G2	0.52	22.4	23	23.7	26

主桁添接板 S=1:10

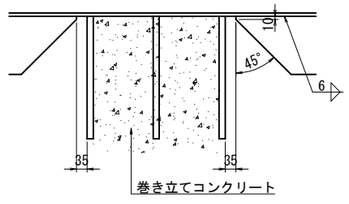


水平補剛材詳細 S=1:10

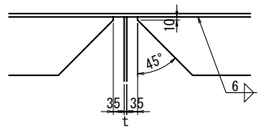
端支点部



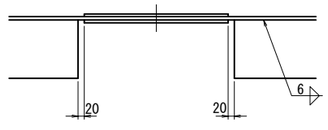
中間支点部



中間部

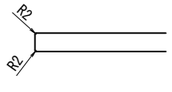


腹板添接部

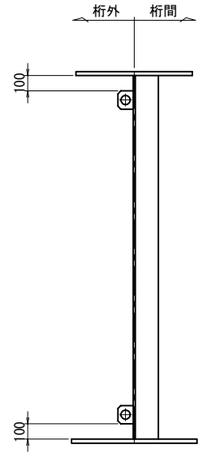


フランジ及び添接板の角部処理詳細 S=1:5

注）フランジ角及び添接板角に2Rの面取りを設ける。

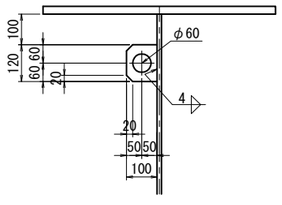


足場用吊り金具配置図



※取り付け間隔は1.8m以内とする。
※支点上の取付位置は、横桁との取合いを考慮し配置する。

足場用吊り金具詳細図 S=1:10



1-PL 100x9x120

注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。

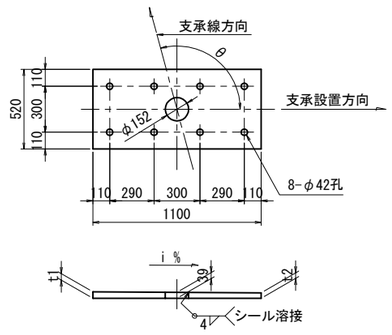
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 共通詳細図(その1)		
縮尺	1:5, 1:10, 1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	13 / 212

P5～P9 共通詳細図(その2) S=1:20

ソールプレート詳細

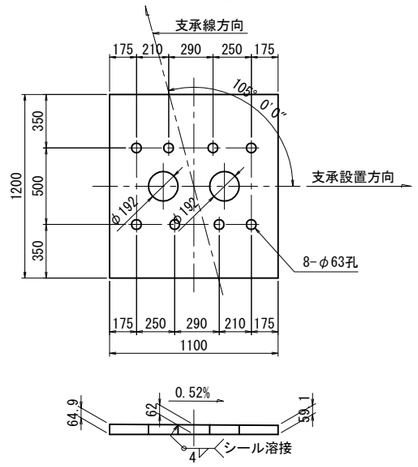
P5(S1), P9(S2)



1-SOLE PL 520xTx1100(SM490C)

		t1	t2	T	i	θ
P5(S1)	G1	42.2	35.8	45	0.59	105° 5′ 8″
	G2	43.5	34.5	50	0.82	105° 4′46″
P9(S2)	G1	41.9	36.1	45	0.52	105° 0′ 0″
	G2	41.9	36.1	45	0.52	105° 0′ 0″

P6～P8

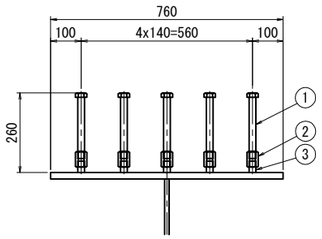


1-SOLE PL 1200x70x1100(SM490C)

スタッド配置断面図 S=1:10

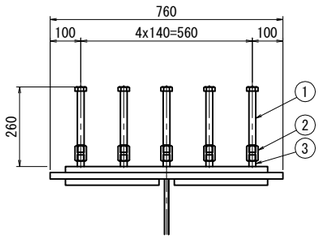
端支点部・中間支点部(5本区間)

一般部



1組	①	六角ボルト	5-M22x200(SS400)
	②	六角高ナット	5-M22x50(SS400)
	③	ねじ付きスタッド	5-M22x38(S=20)(SS400)

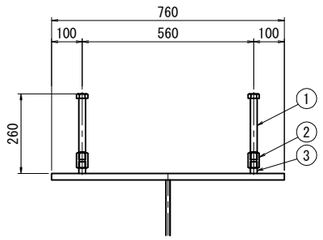
添接部



1組	①	六角ボルト	5-M22x200(SS400)
	②	六角高ナット	5-M22x50(SS400)
	③	ねじ付きスタッド	5-M22x38(S=20)(SS400)

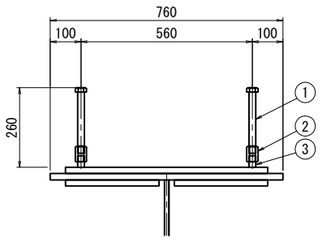
中間部

一般部



1組	①	六角ボルト	2-M22x200(SS400)
	②	六角高ナット	2-M22x50(SS400)
	③	ねじ付きスタッド	2-M22x38(S=20)(SS400)

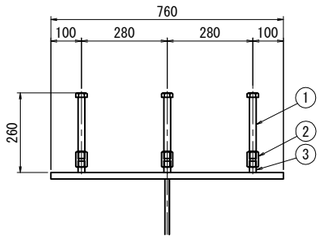
添接部



1組	①	六角ボルト	2-M22x200(SS400)
	②	六角高ナット	2-M22x50(SS400)
	③	ねじ付きスタッド	2-M22x38(S=20)(SS400)

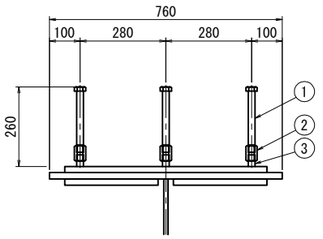
端支点部・中間支点部(3本区間)

一般部



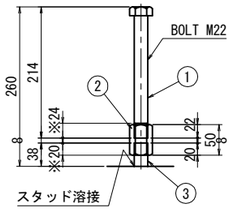
1組	①	六角ボルト	3-M22x200(SS400)
	②	六角高ナット	3-M22x50(SS400)
	③	ねじ付きスタッド	3-M22x38(S=20)(SS400)

添接部

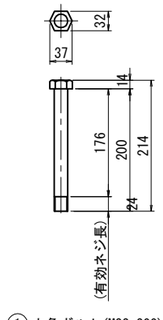


1組	①	六角ボルト	3-M22x200(SS400)
	②	六角高ナット	3-M22x50(SS400)
	③	ねじ付きスタッド	3-M22x38(S=20)(SS400)

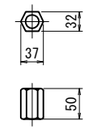
スタッド詳細図 S=1:5



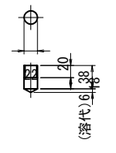
※印は、有効ネジ部の長さを示す。



① 六角ボルト(M22x200)



② カプラー(六角高ナット)
(M22x50)



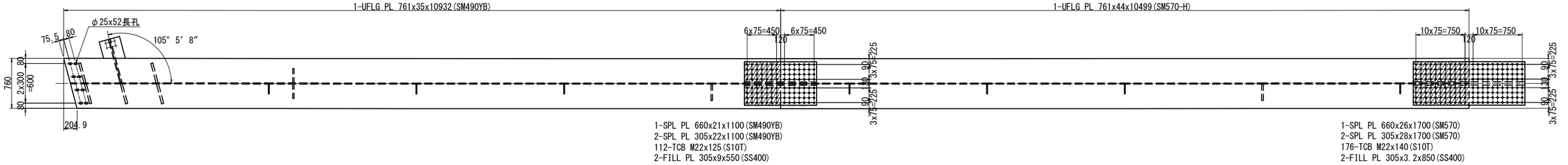
③ ねじ付きスタッド
(M22x38)

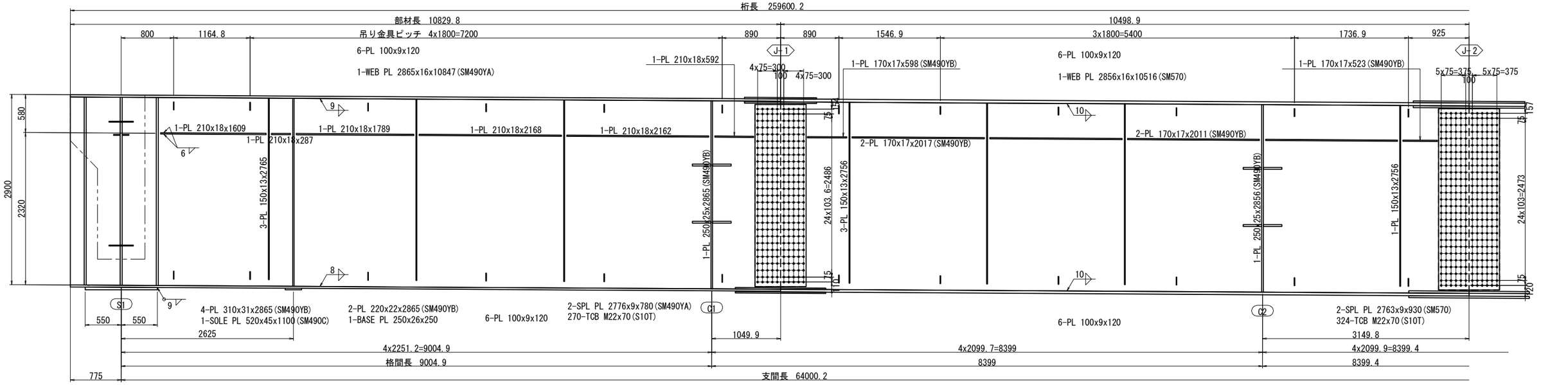
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。

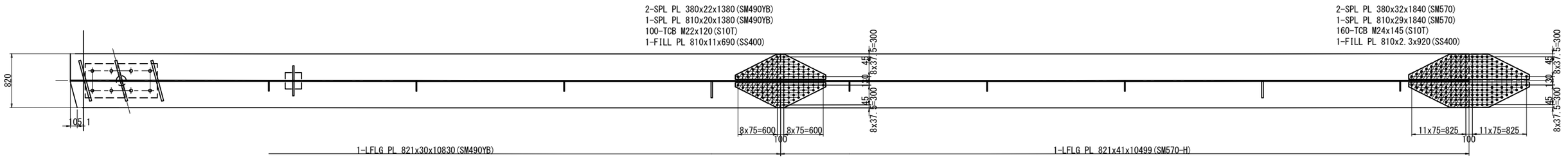
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 共通詳細図(その2)		
縮尺	1:10,1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	14 / 212

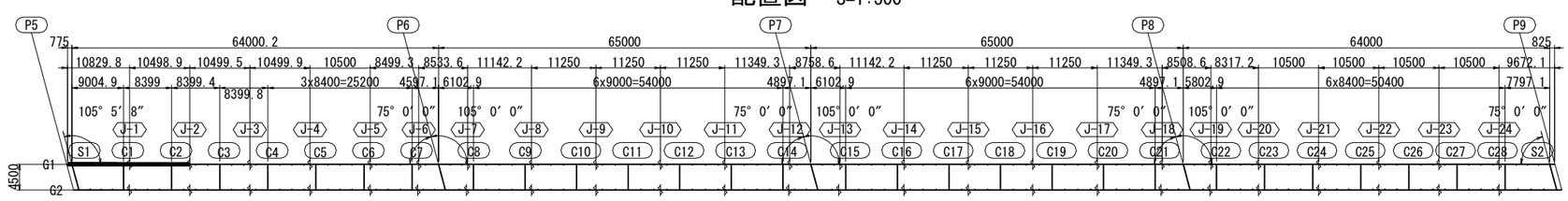
P5～P9 主桁G1(その1) S=1:30







配置図 S=1:500

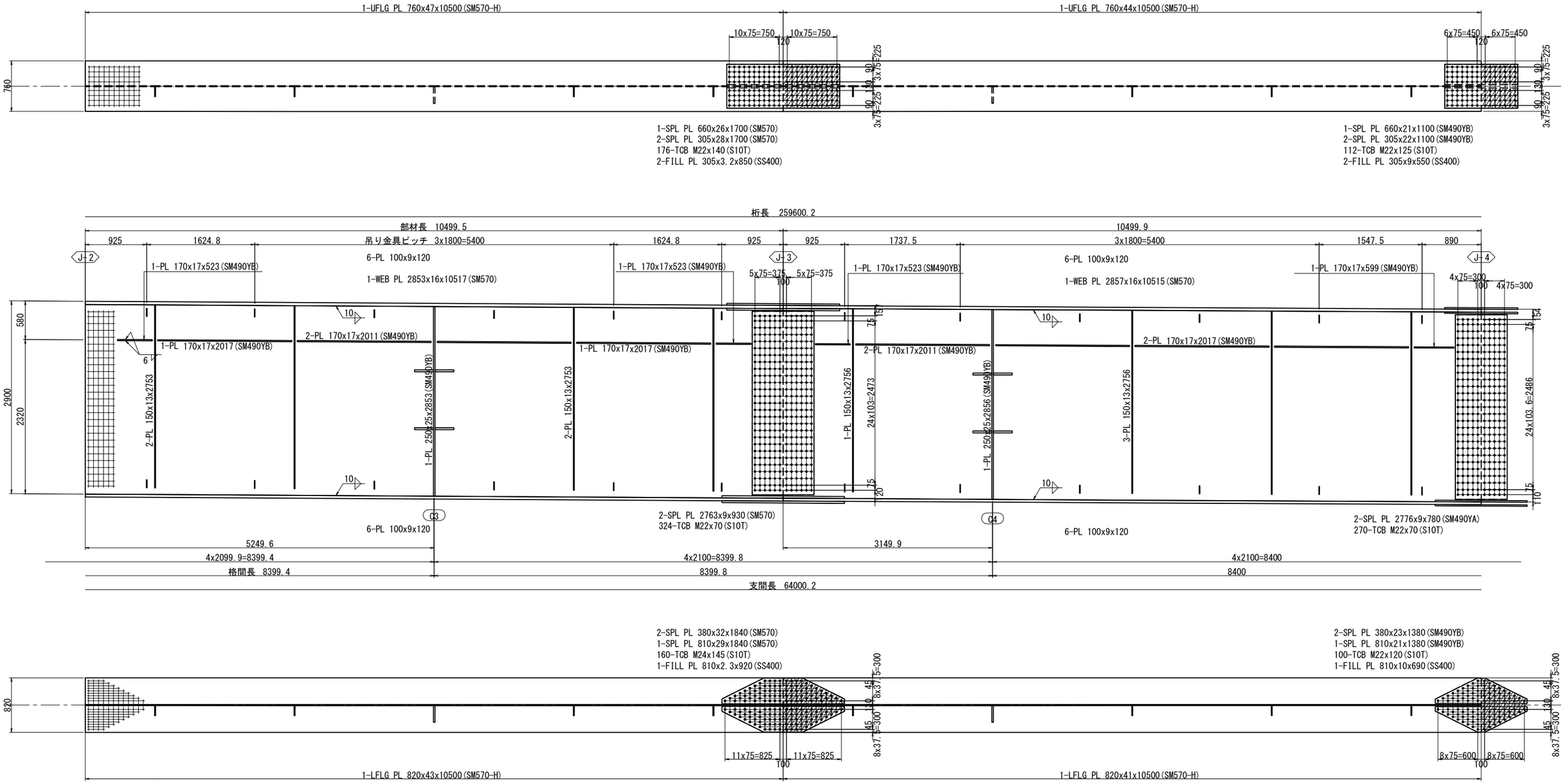


注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⊕印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. ⊛印は、トルシア形高力ボルトM24(S10T)を示す。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
6. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

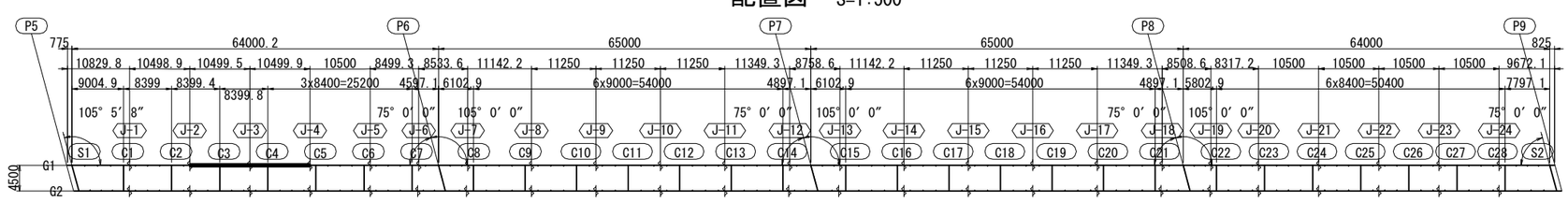
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G1(その1)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	15 / 212

P5～P9 主桁G1(その2) S=1:30



配置図 S=1:500



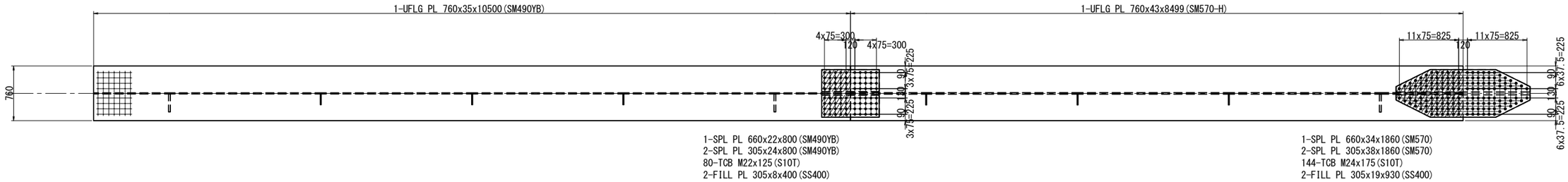
注 記

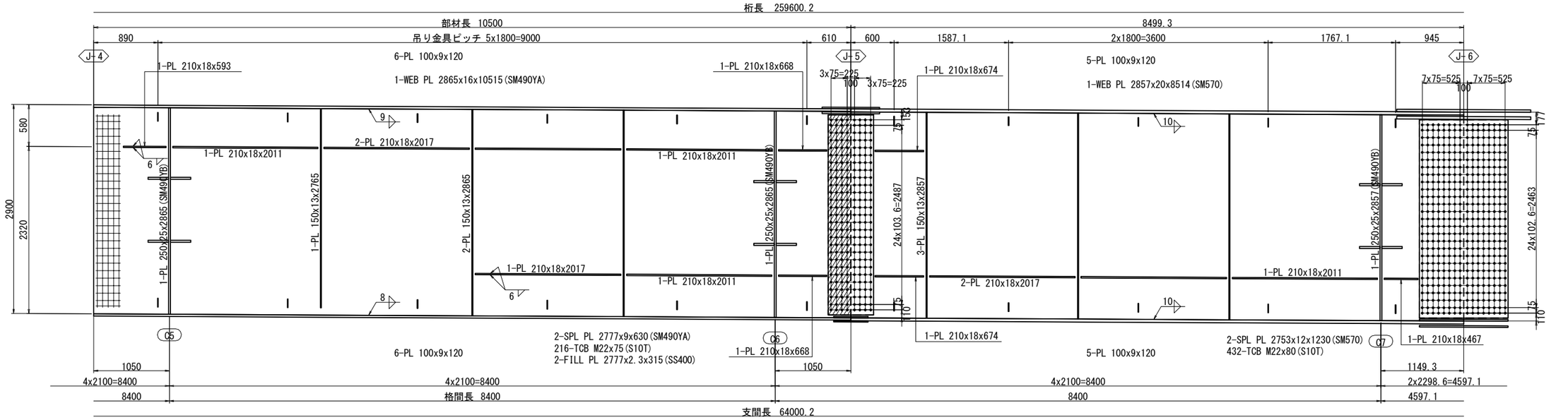
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⊕印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. ⊛印は、トルシア形高力ボルトM24(S10T)を示す。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
6. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

実 施

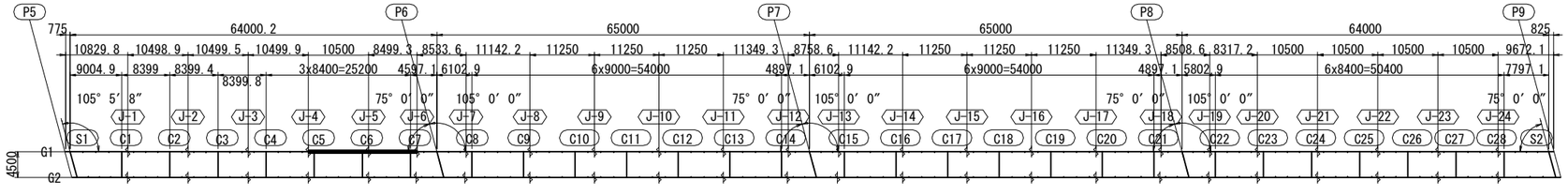
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G1(その2)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	16 / 212

P5～P9 主桁G1(その3) S=1:30





配置図 S=1:500

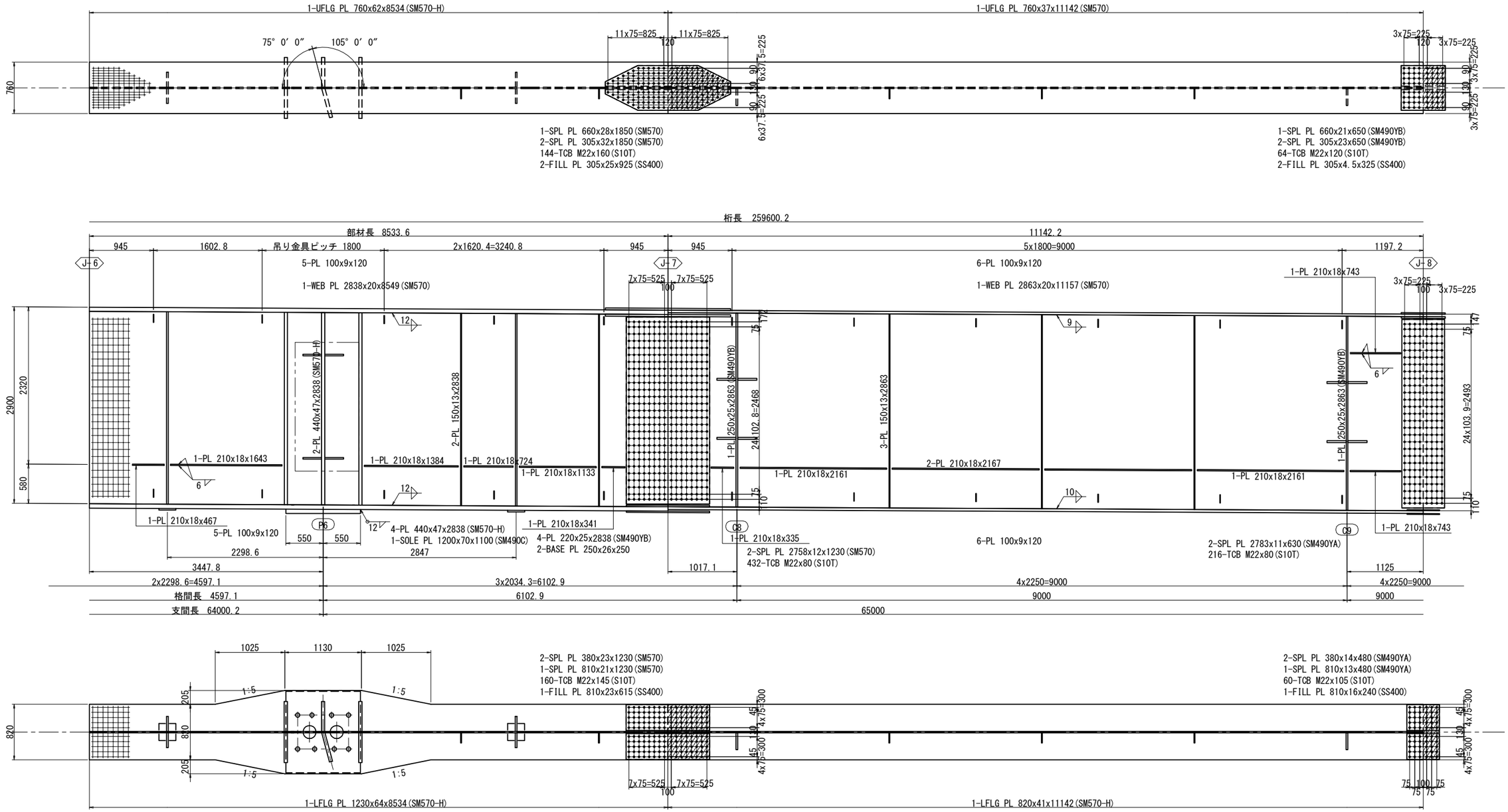


注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⊕印は、トルシア形高カボルトM22(S10T)を示す。
4. ⊗印は、トルシア形高カボルトM24(S10T)を示す。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
6. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

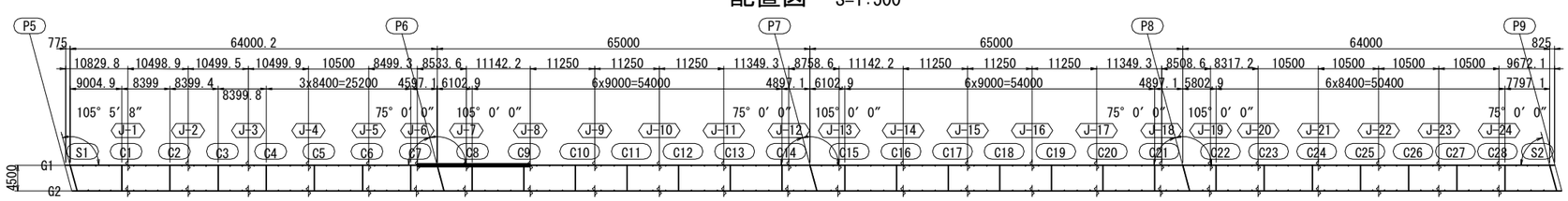
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G1(その3)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	17 / 212

P5～P9 主桁G1(その4) S=1:30



配置図 S=1:500

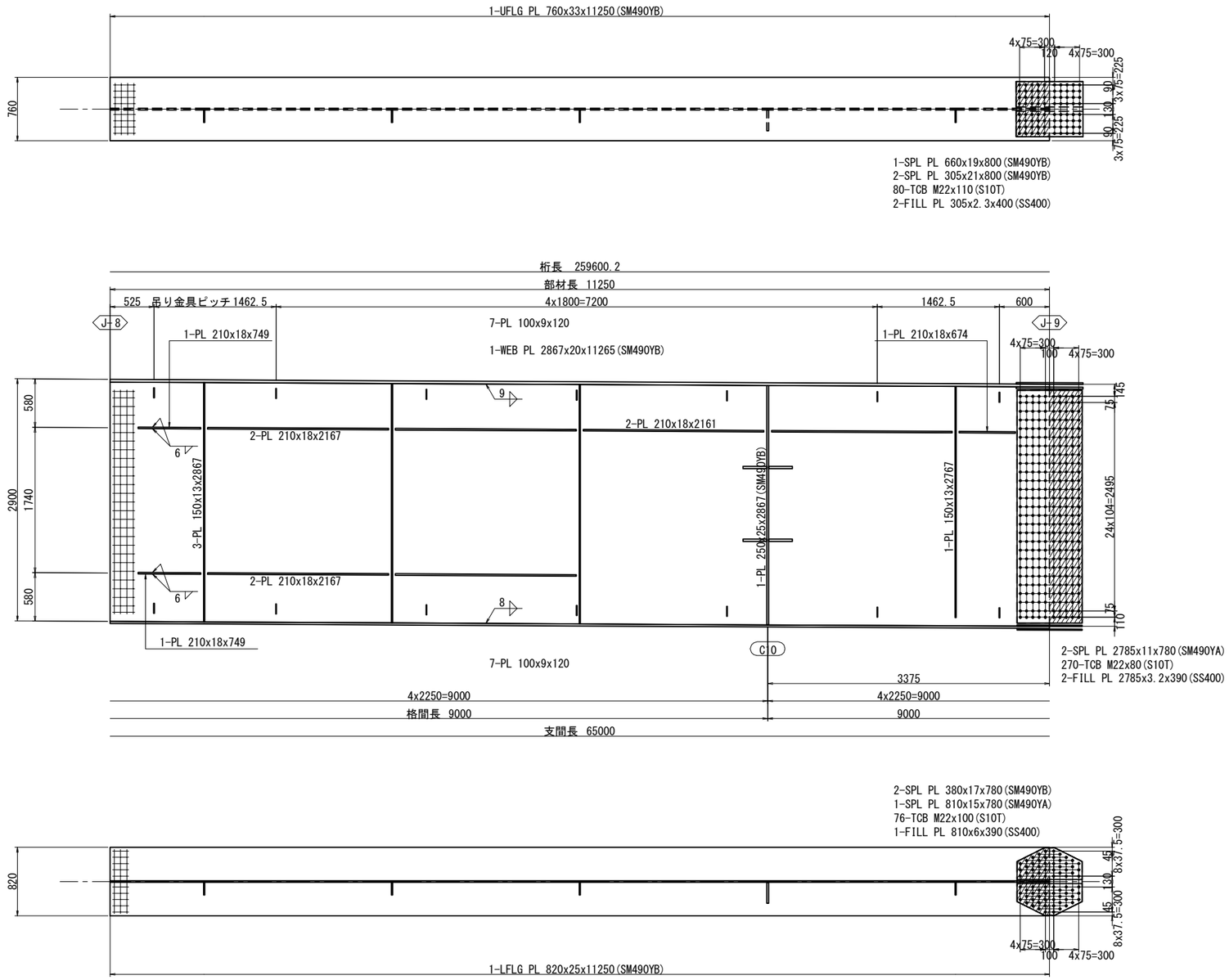


注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⚜印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

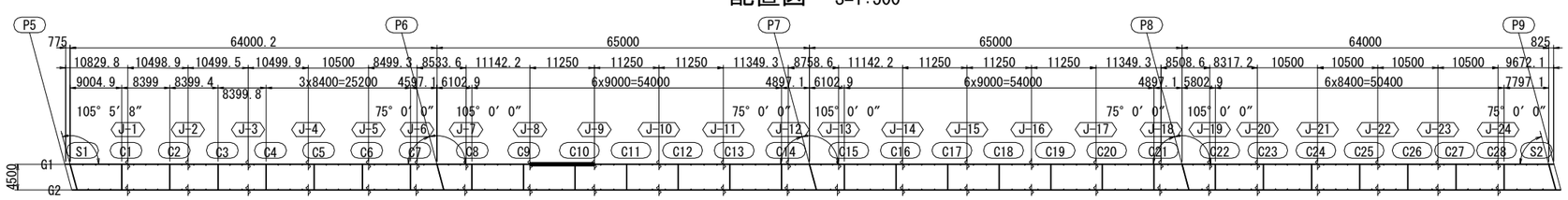
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G1(その4)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	18 / 212

P5～P9 主桁G1(その5) S=1:30



配置図 S=1:500

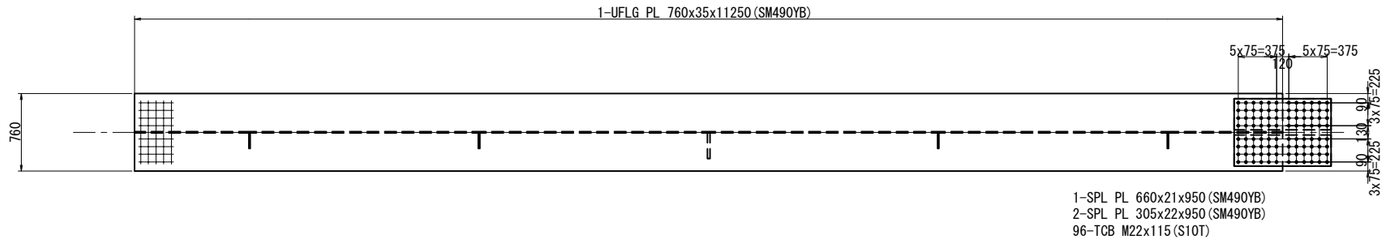


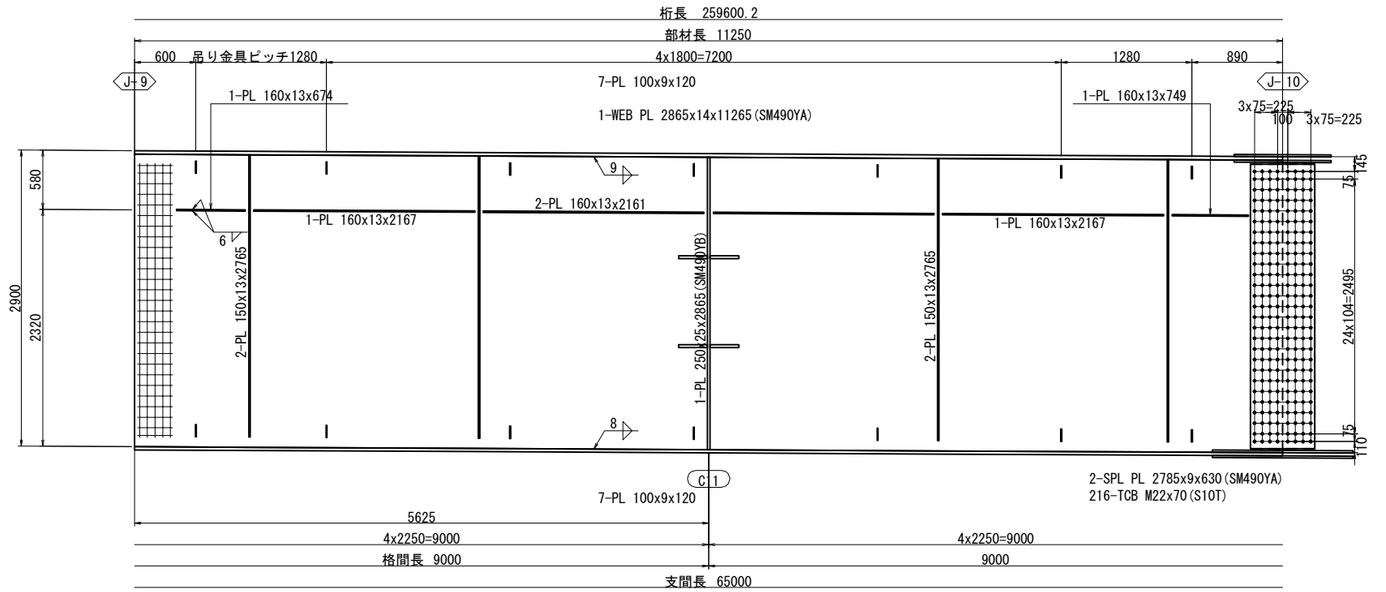
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⊕印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

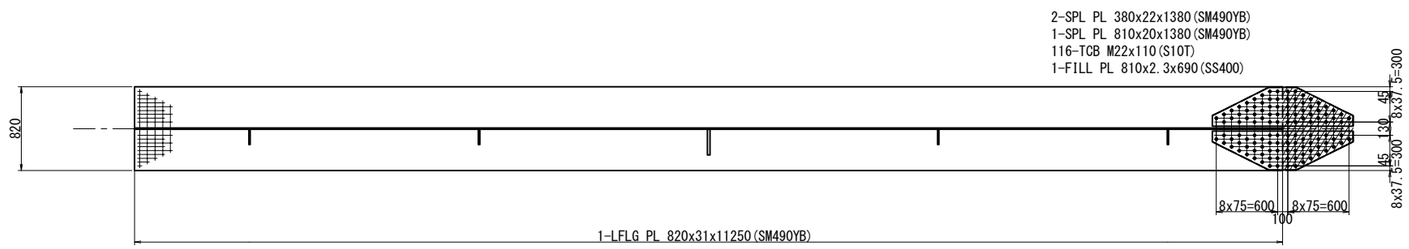
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G1(その5)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	19 / 212

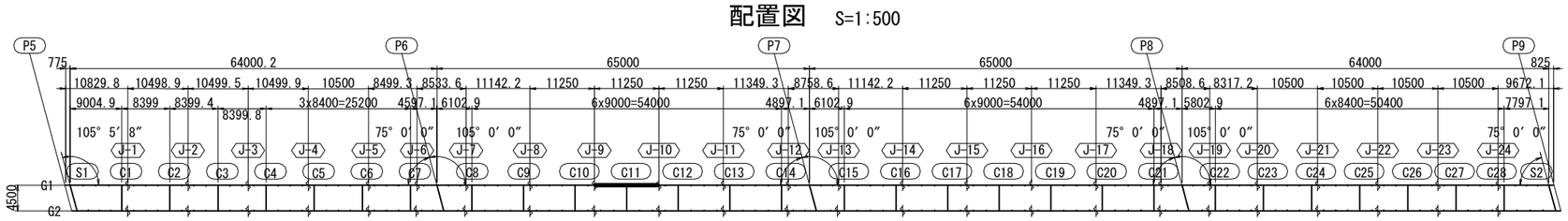
P5～P9 主桁G1(その6) S=1:30







配置図 S=1:500

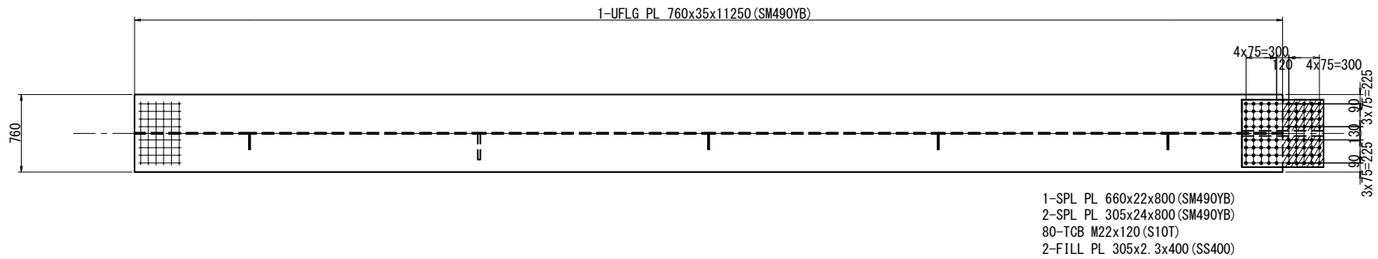


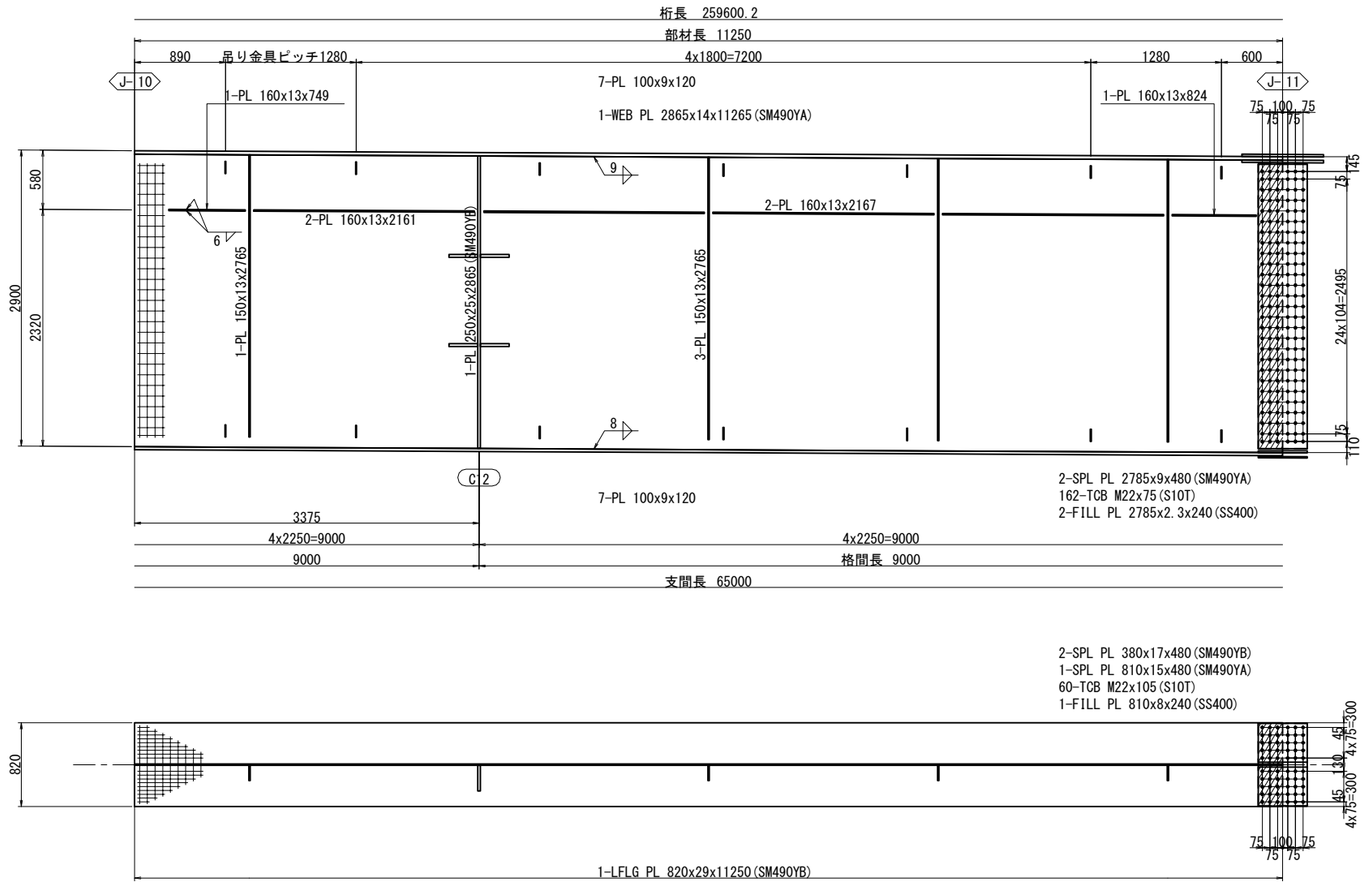
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⚹印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

実 施

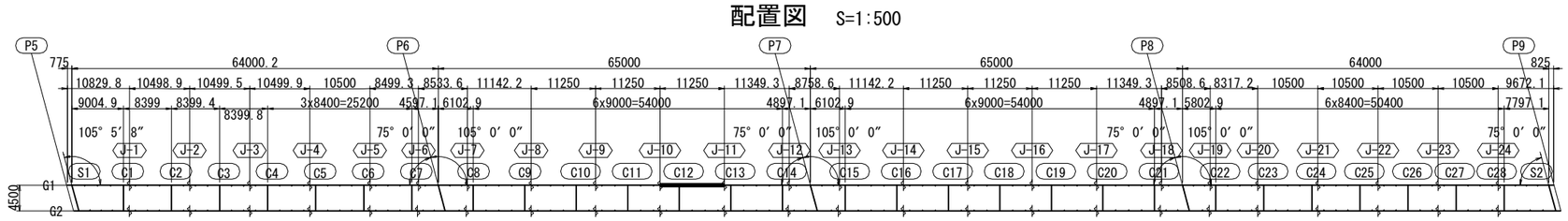
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G1(その6)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	20 / 212

P5～P9 主桁G1(その7) S=1:30





配置図 S=1:500

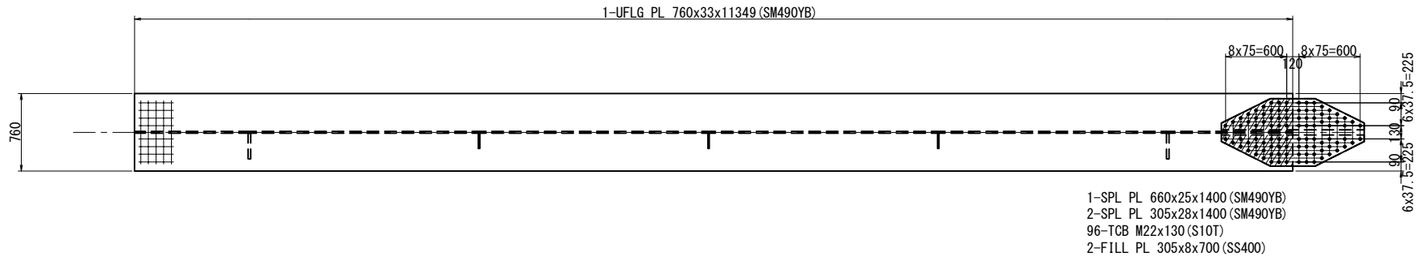


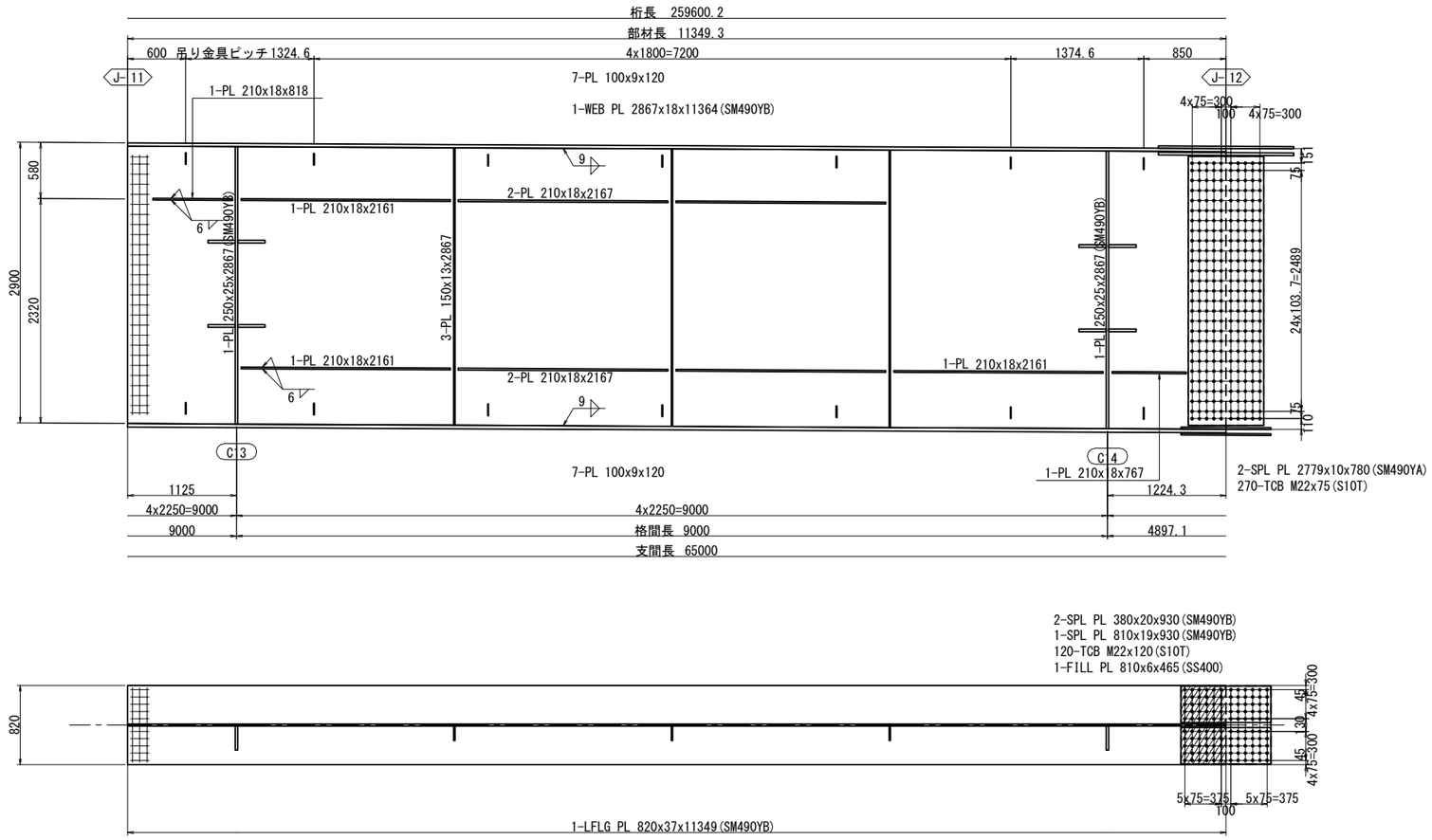
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⚹印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

実 施

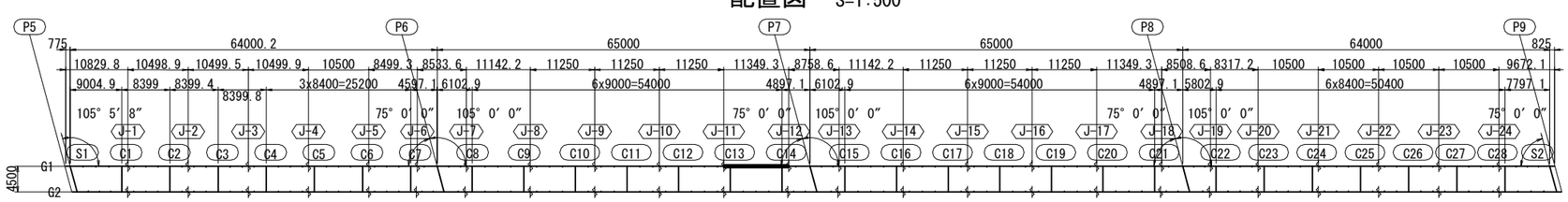
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G1(その7)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	21 / 212

P5～P9 主桁G1(その8) S=1:30





配置図 S=1:500

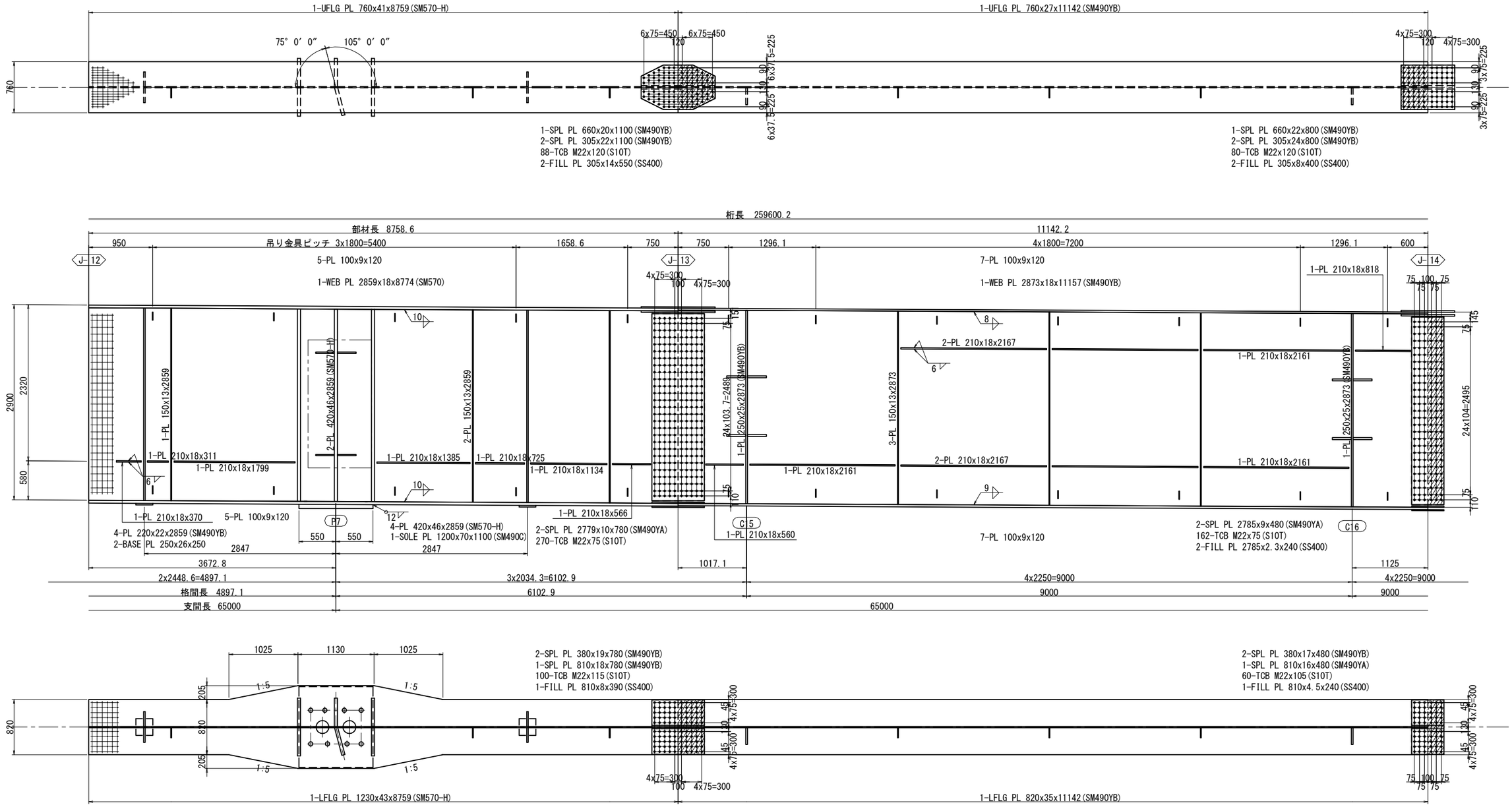


注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⚹印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

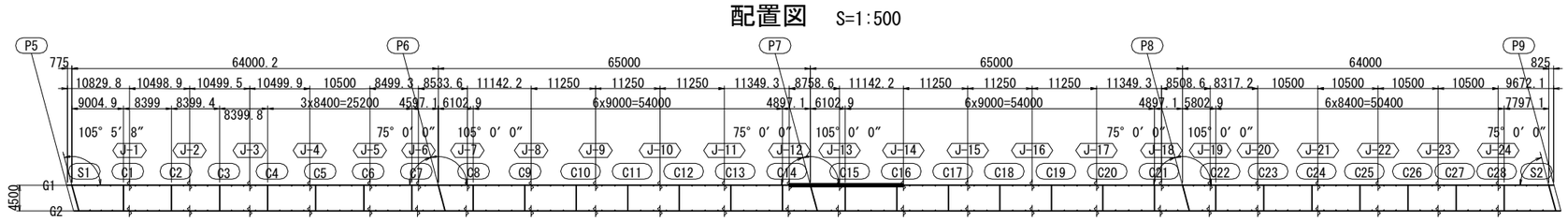
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G1(その8)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	22 / 212

P5～P9 主桁G1(その9) S=1:30



配置図 S=1:500

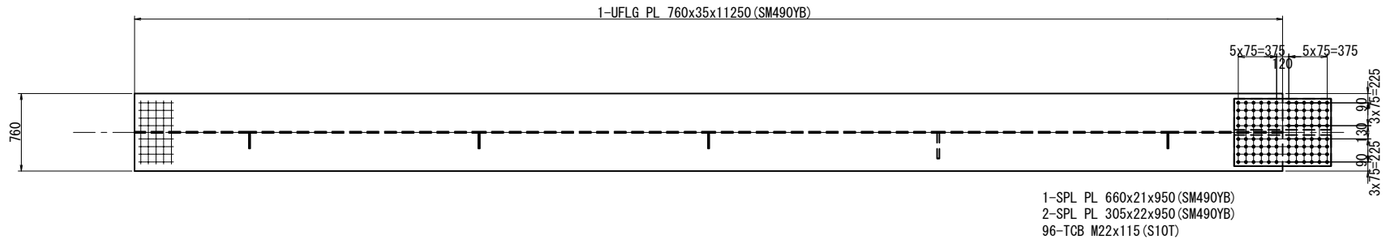


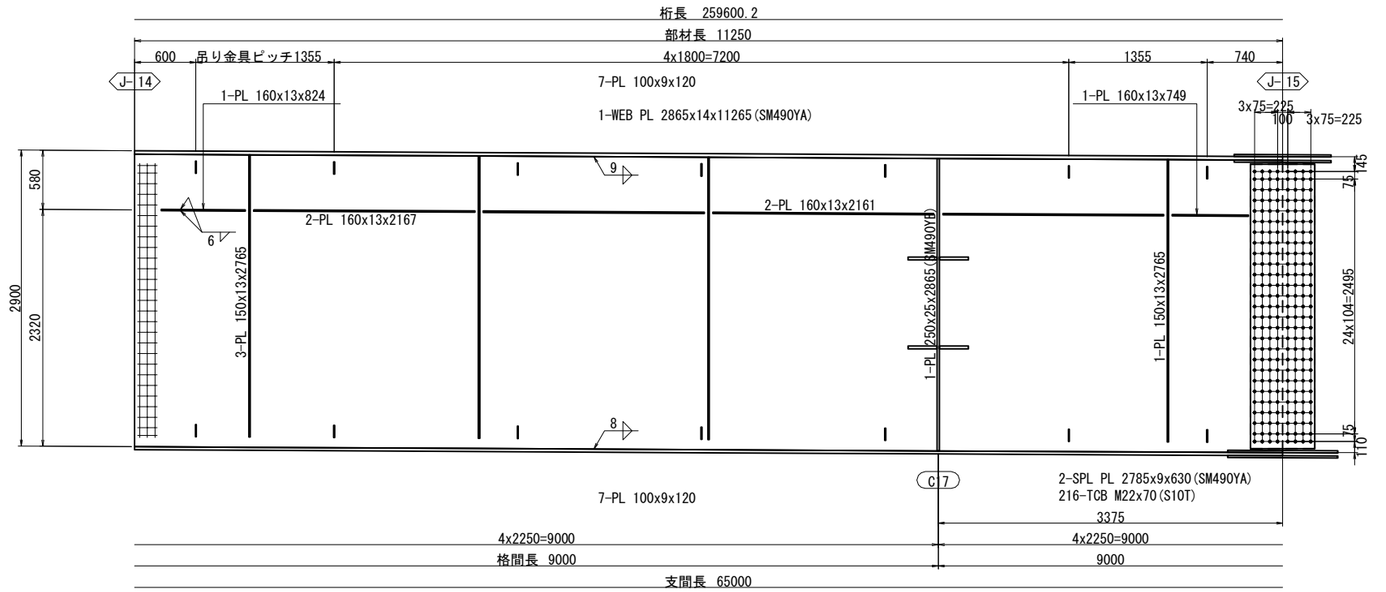
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⊕印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

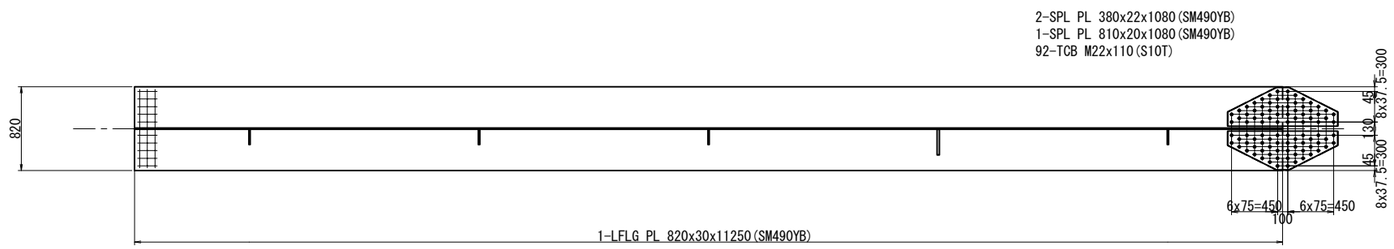
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G1(その9)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	23 / 212

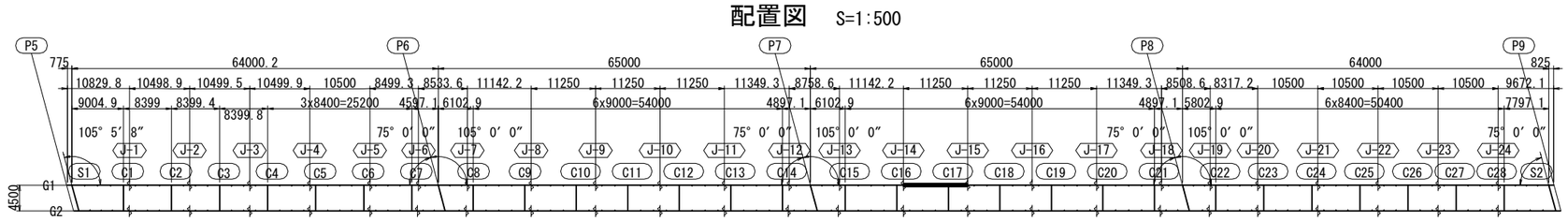
P5～P9 主桁G1(その10) S=1:30







配置図 S=1:500

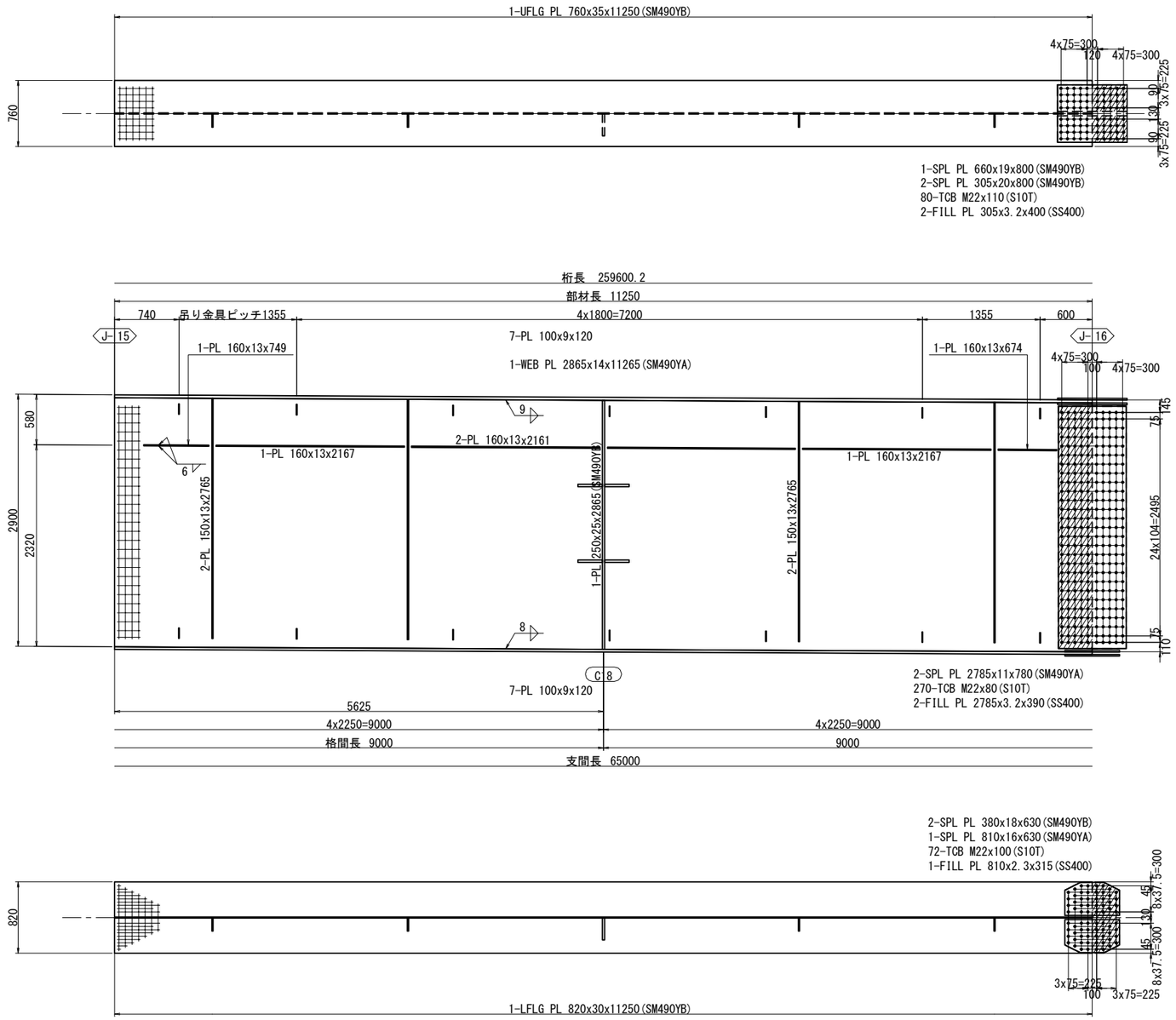


注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⚜印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

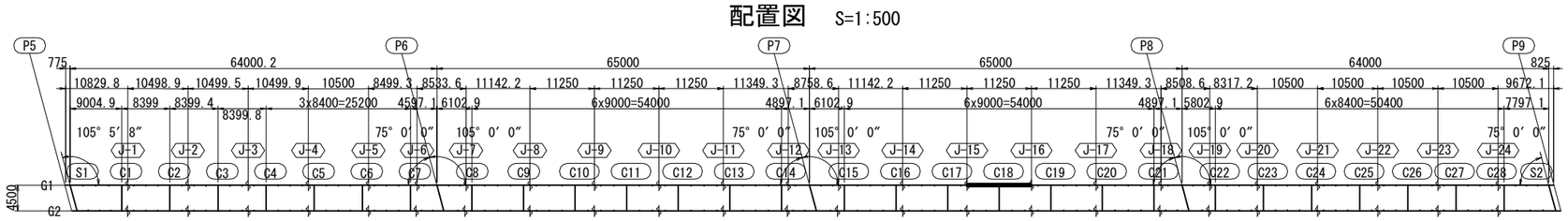
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G1(その10)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	24 / 212

P5～P9 主桁G1(その11) S=1:30



配置図 S=1:500

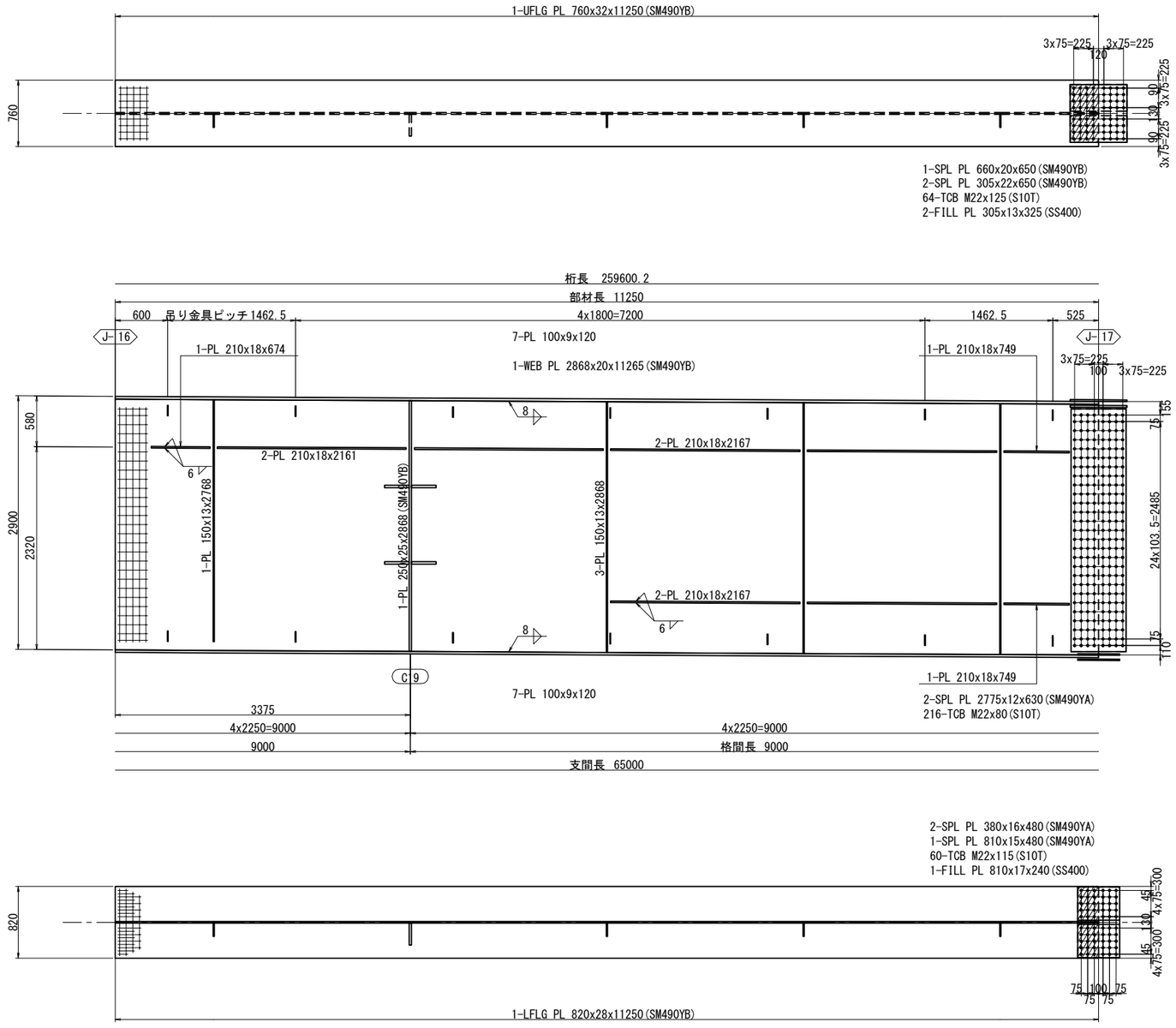


注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⚜印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

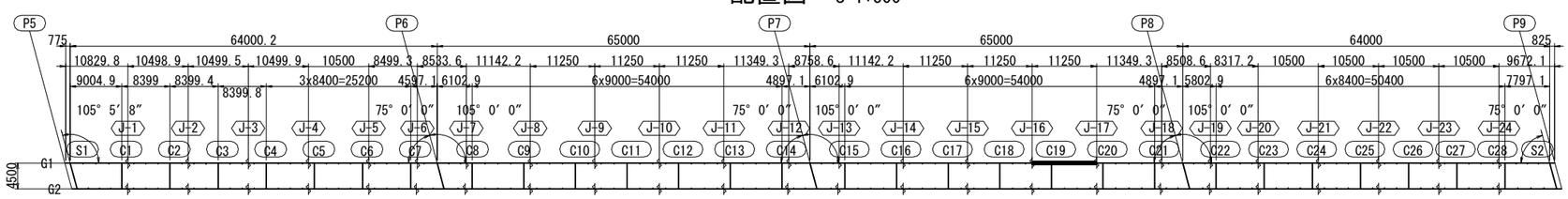
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G1(その11)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	25 / 212

P5～P9 主桁G1(その12) S=1:30



配置図 S=1:500

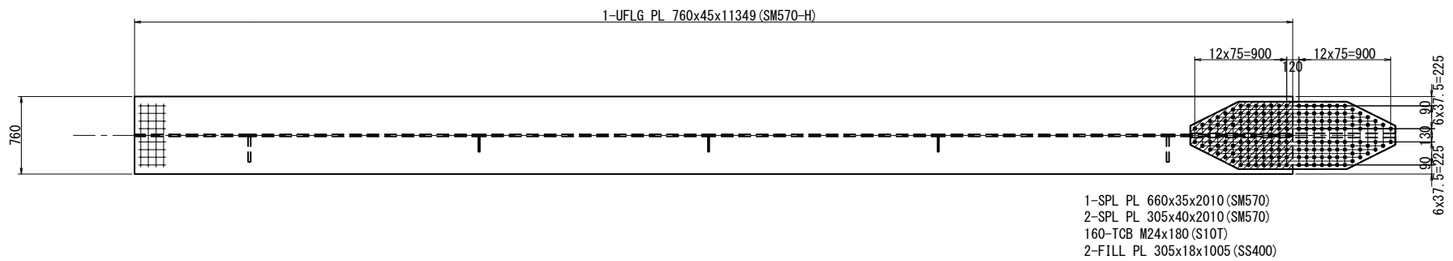


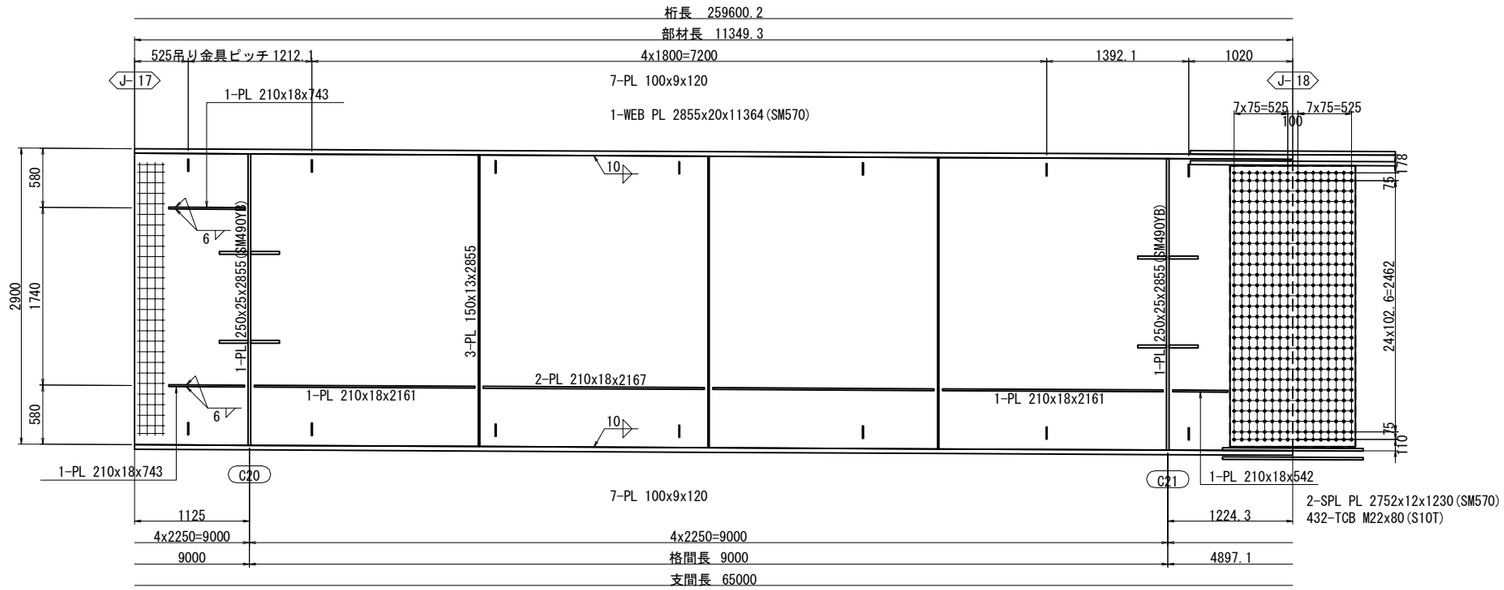
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⊕印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

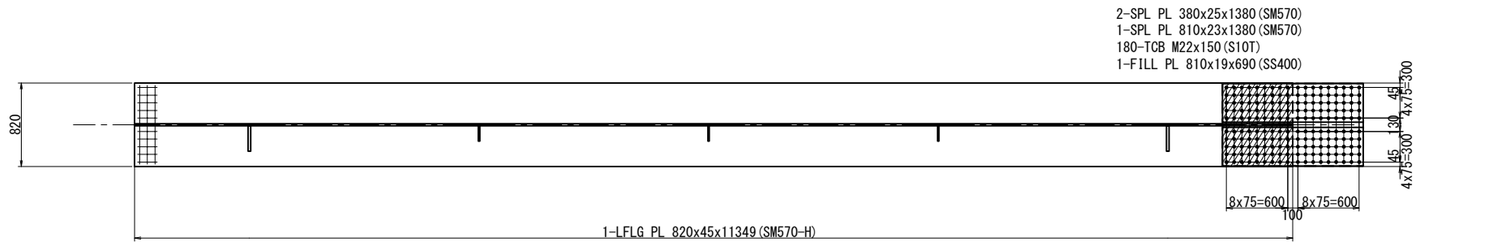
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G1(その12)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	26 / 212

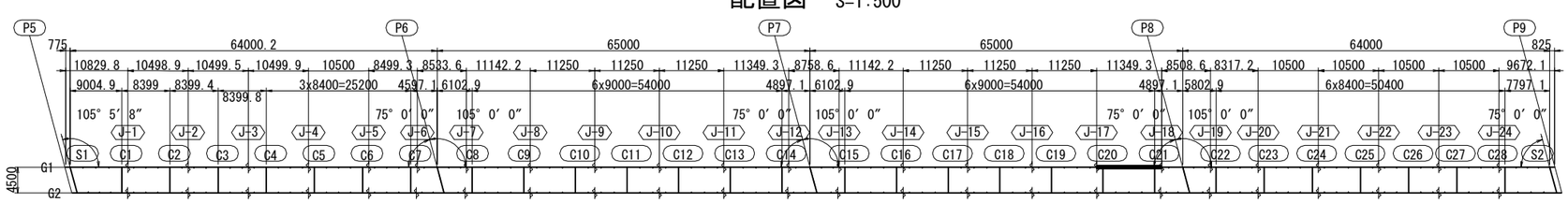
P5～P9 主桁G1(その13) S=1:30







配置図 S=1:500

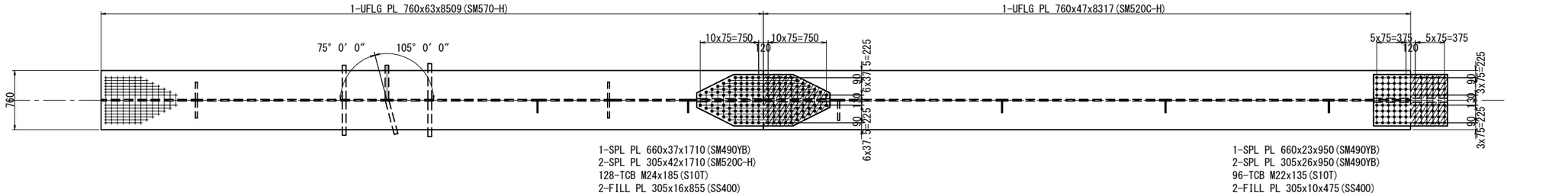


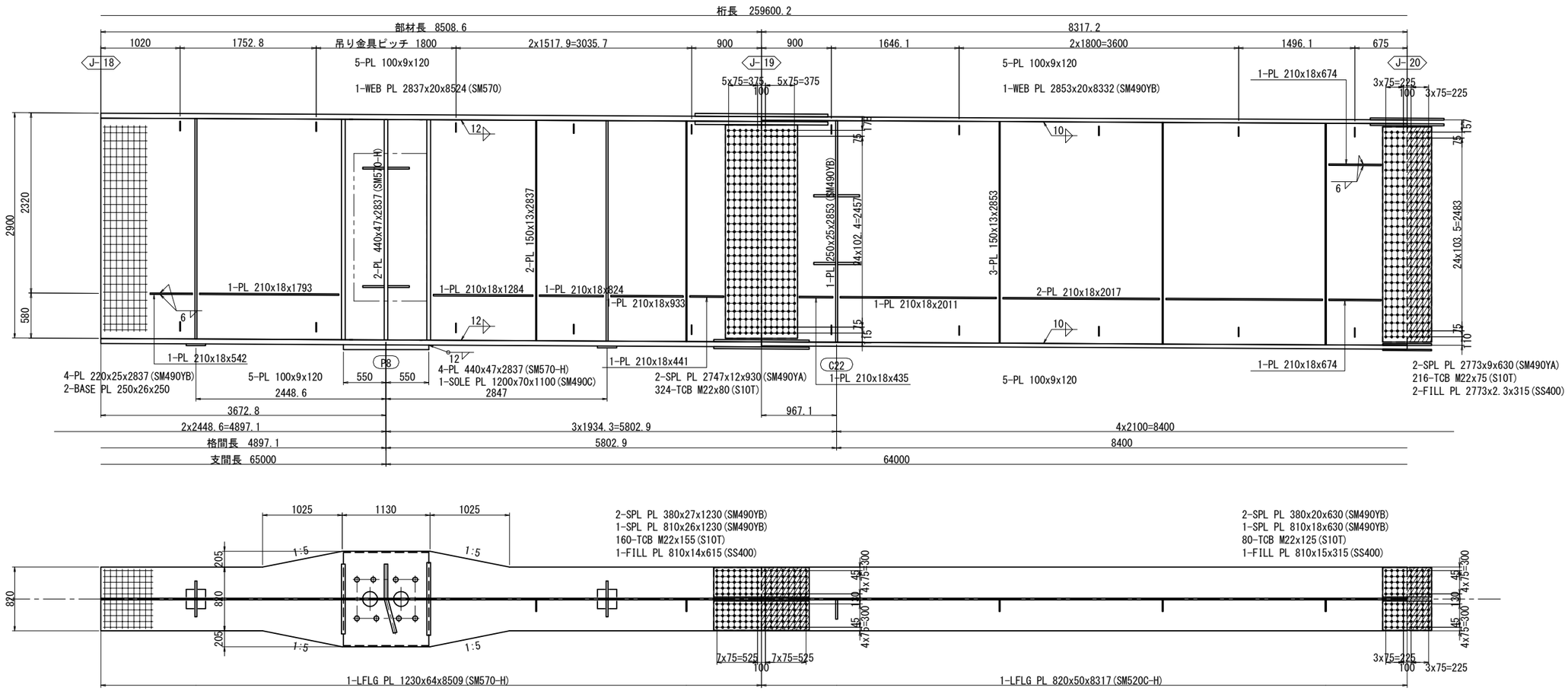
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ☆印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. ※印は、トルシア形高力ボルトM24(S10T)を示す。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
6. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

実 施

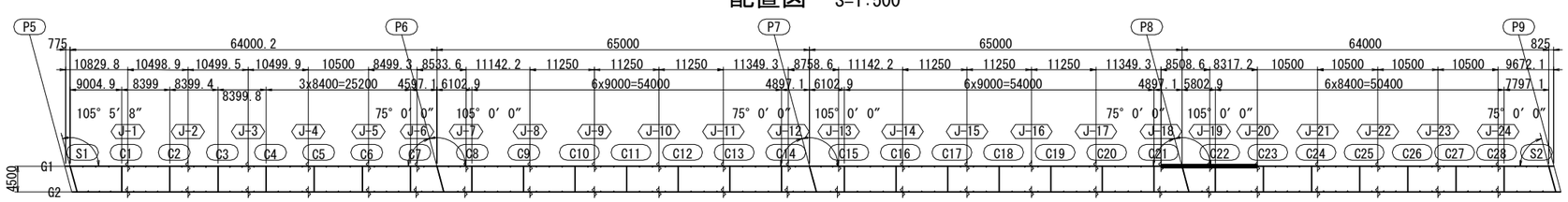
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G1(その13)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	27 / 212

P5～P9 主桁G1(その14) S=1:30





配置図 S=1:500

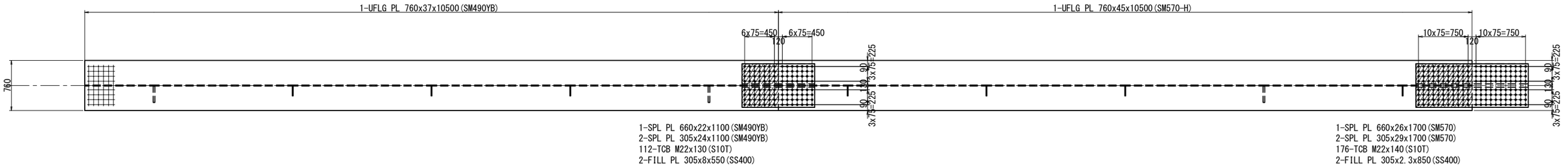


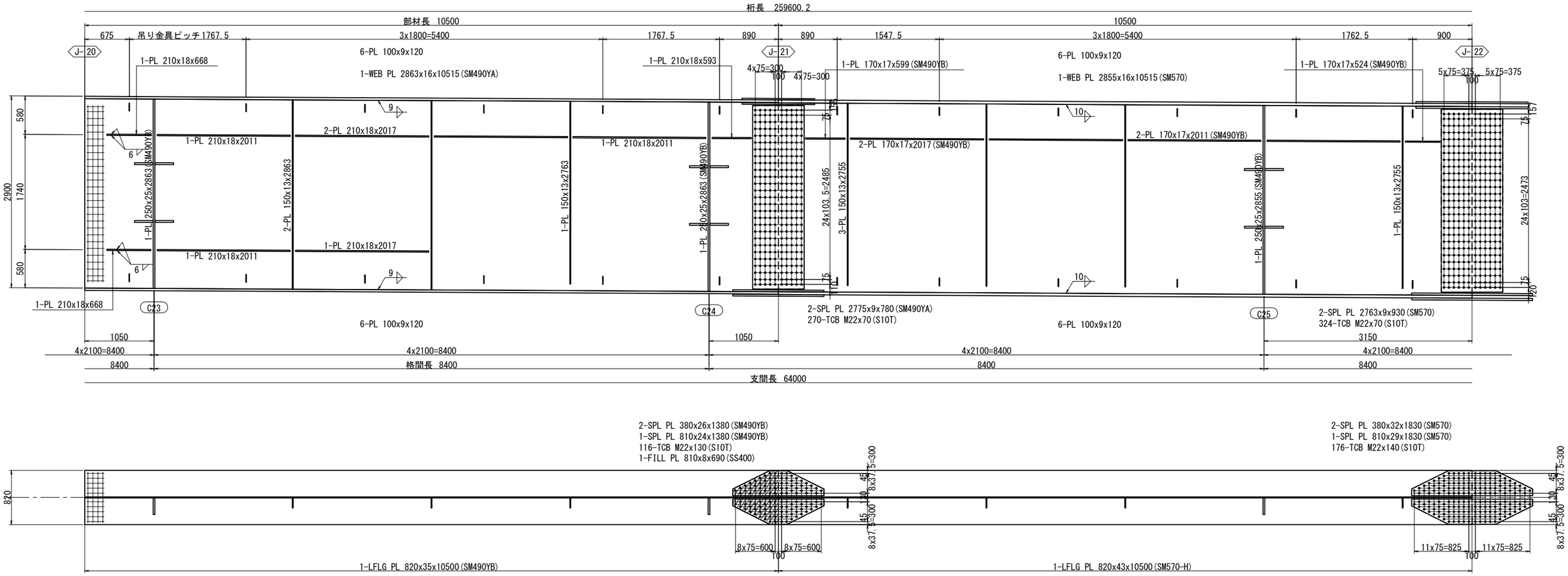
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ✝印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. ※印は、トルシア形高力ボルトM24(S10T)を示す。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
6. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

実 施

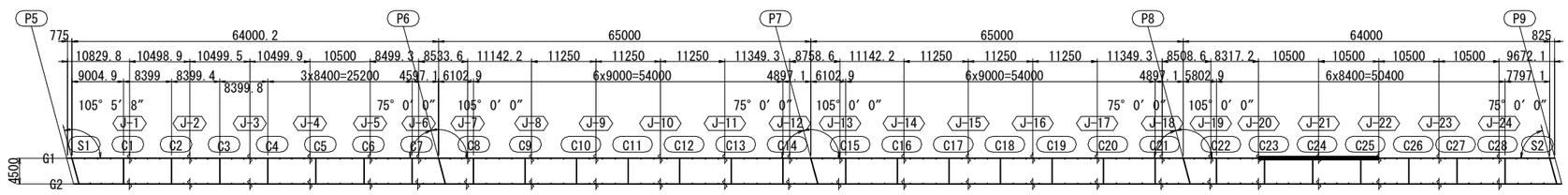
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G1(その14)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	28 / 212

P5～P9 主桁G1(その15) S=1:30





配置図 S=1:500

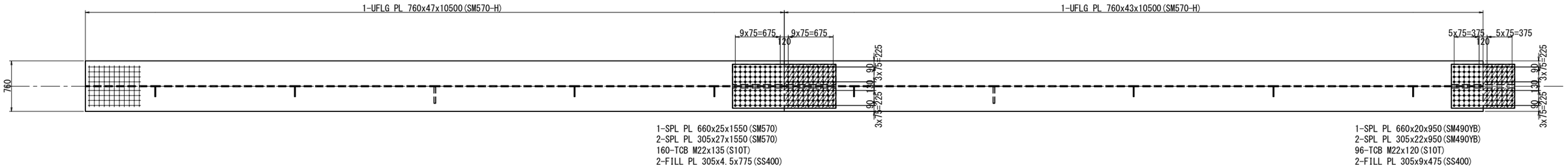


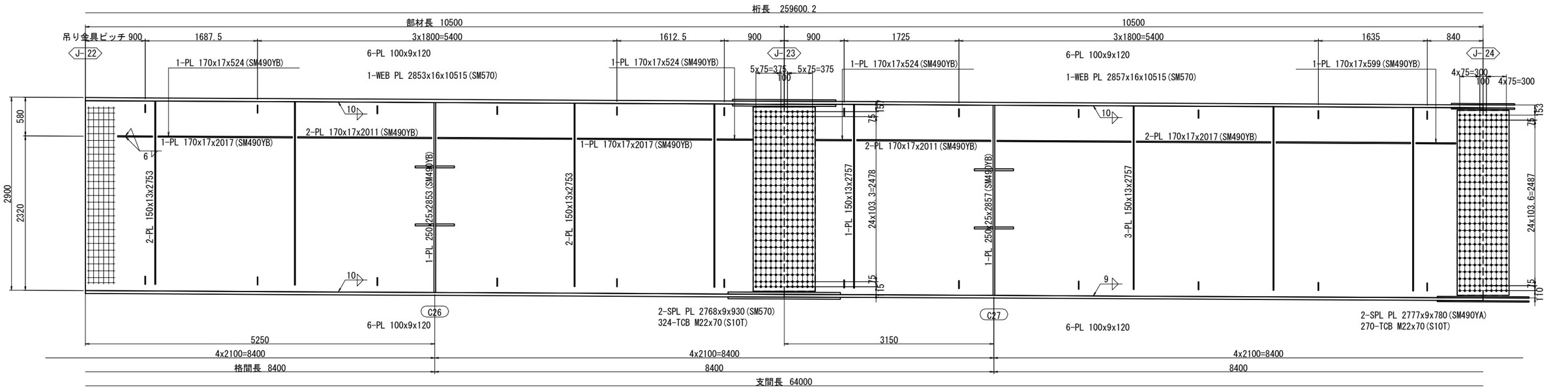
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⊕印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

実 施

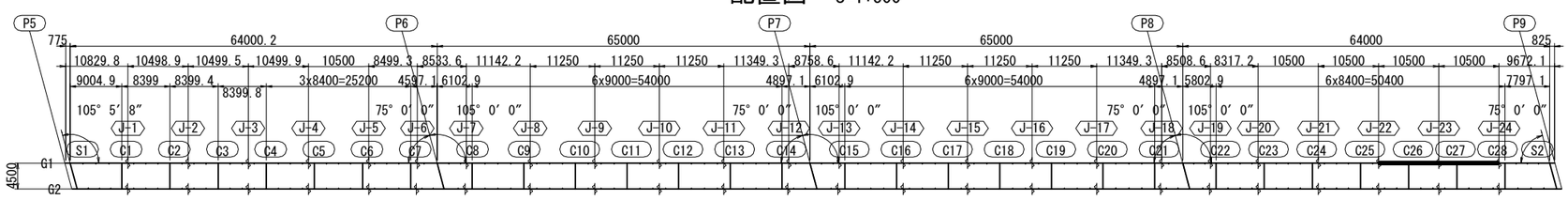
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G1(その15)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	29 / 212

P5～P9 主桁G1(その16) S=1:30





配置図 S=1:500

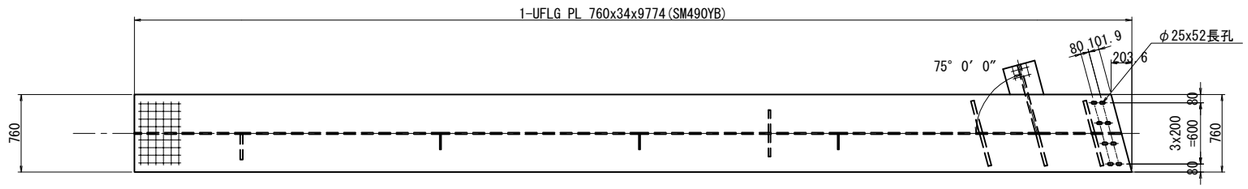


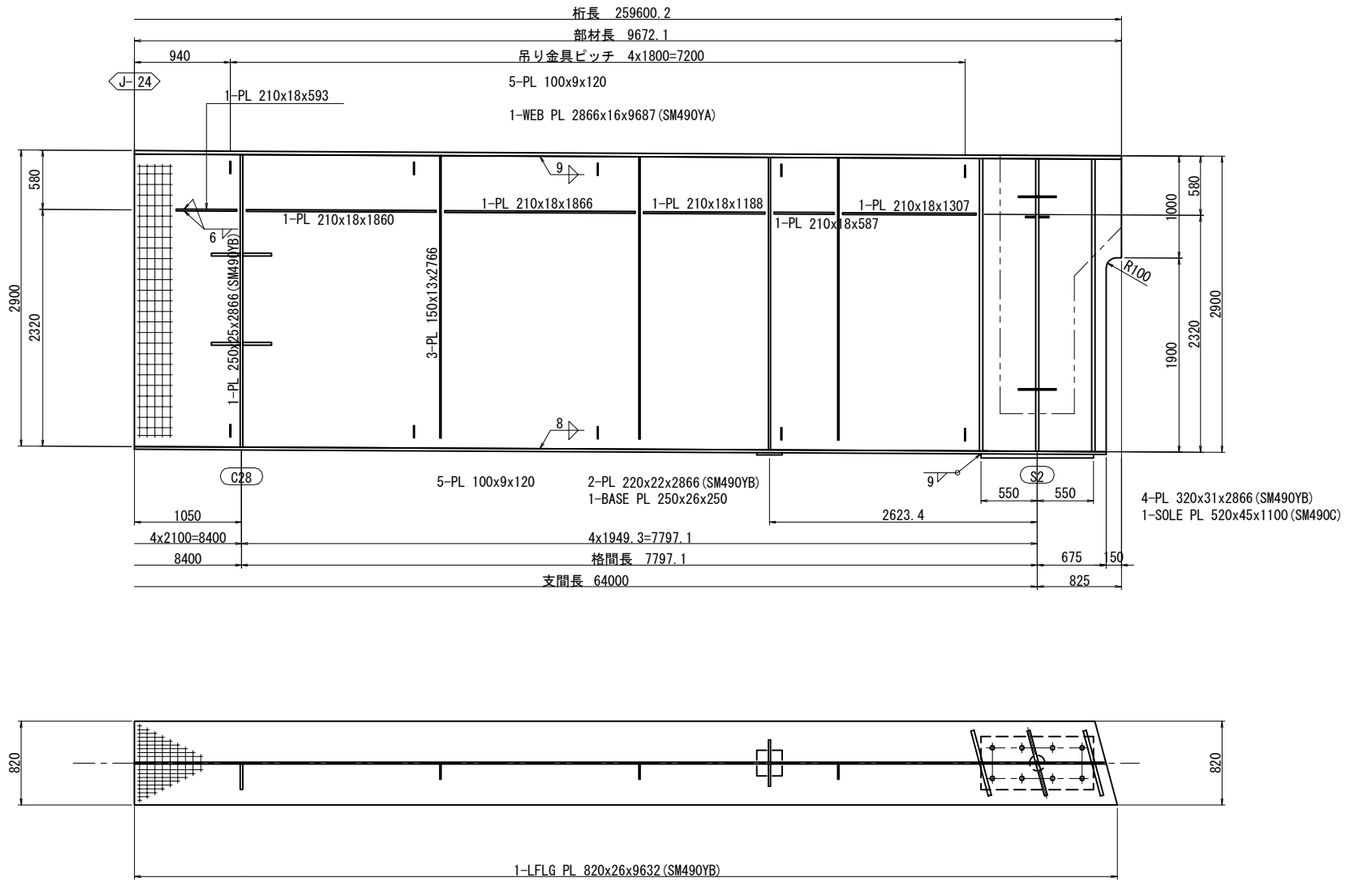
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⊕印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. ⊗印は、トルシア形高力ボルトM24(S10T)を示す。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
6. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

実 施

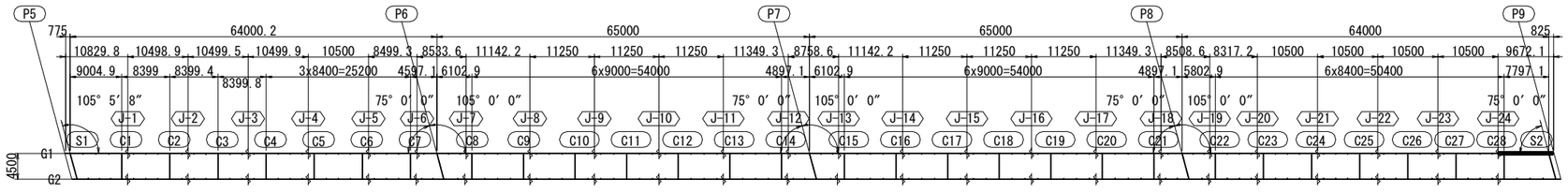
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G1(その16)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	30 / 212

P5～P9 主桁G1(その17) S=1:30





配置図 S=1:500

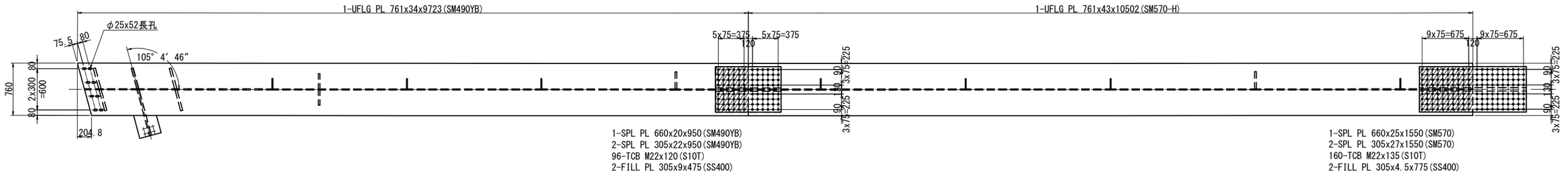


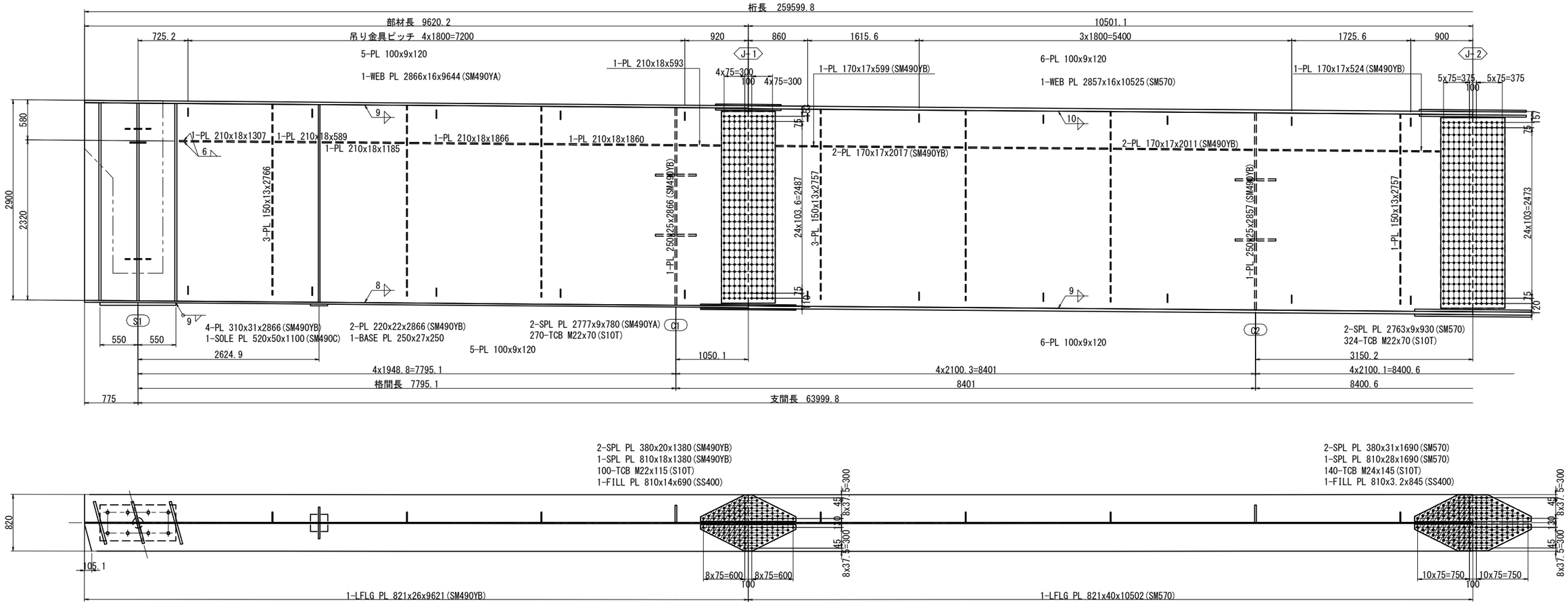
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⊕印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

実 施

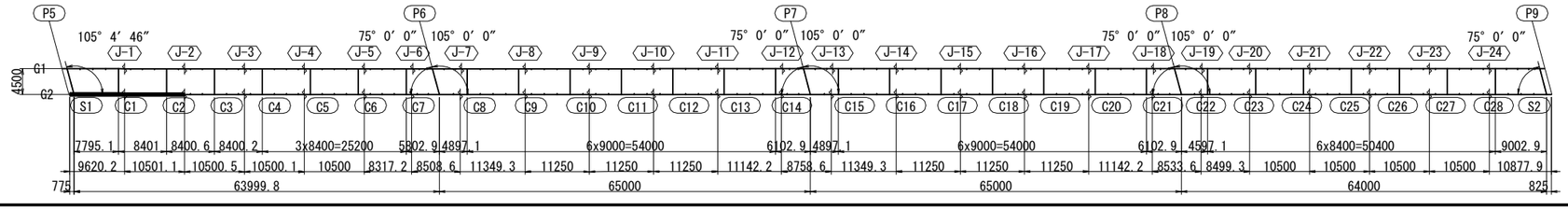
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G1(その17)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	31 / 212

P5～P9 主桁G2(その1) S=1:30





配置図 S=1:500

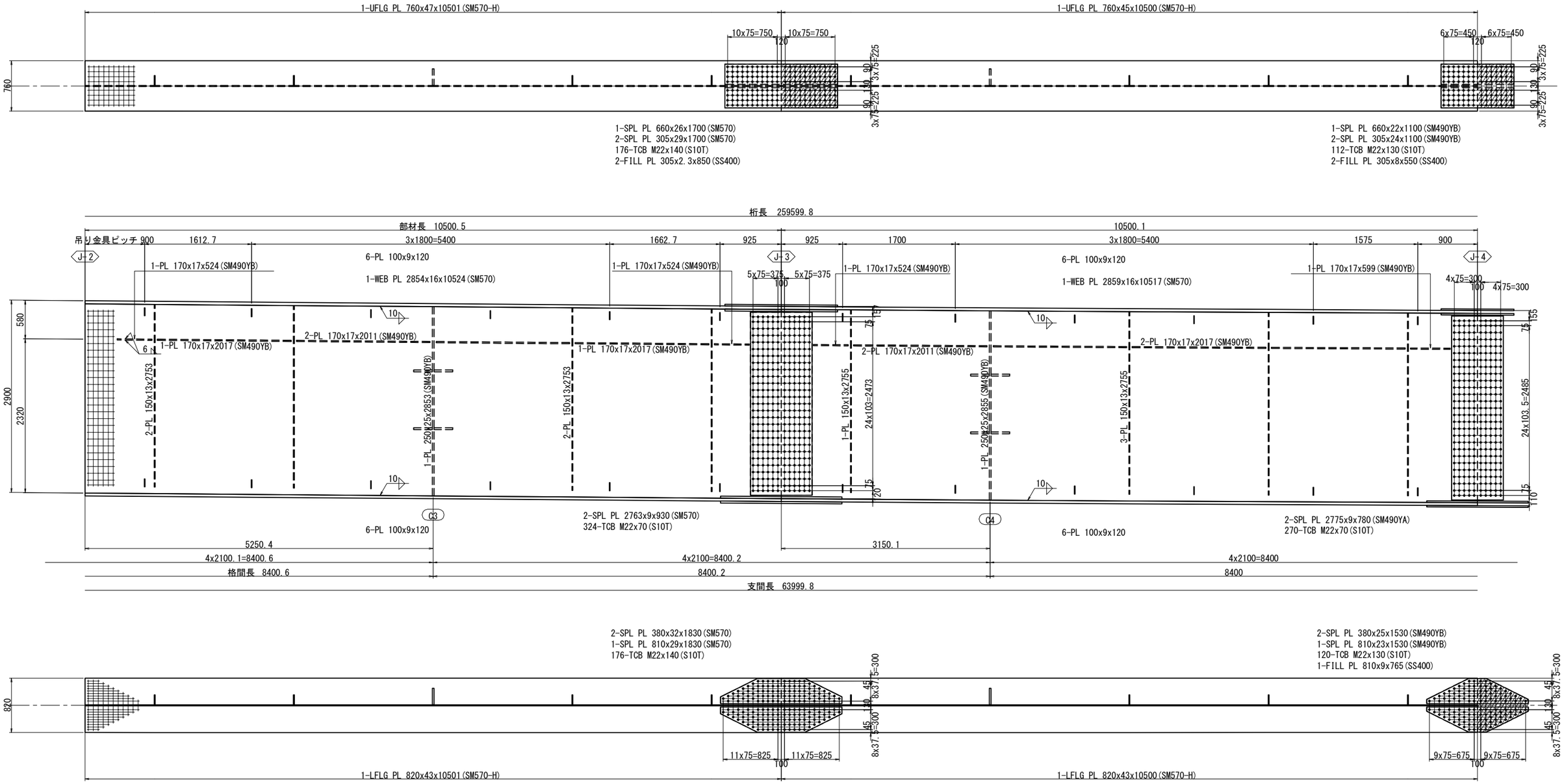


注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⊕印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. ⊗印は、トルシア形高力ボルトM24(S10T)を示す。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
6. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

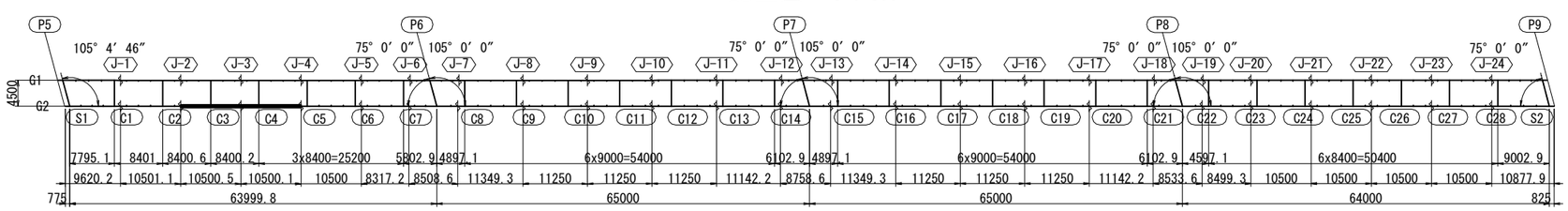
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G2(その1)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	32 / 212

P5～P9 主桁G2(その2) S=1:30



配置図 S=1:500

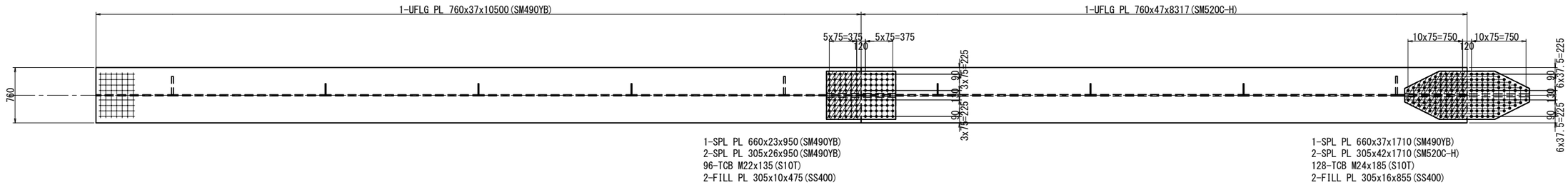


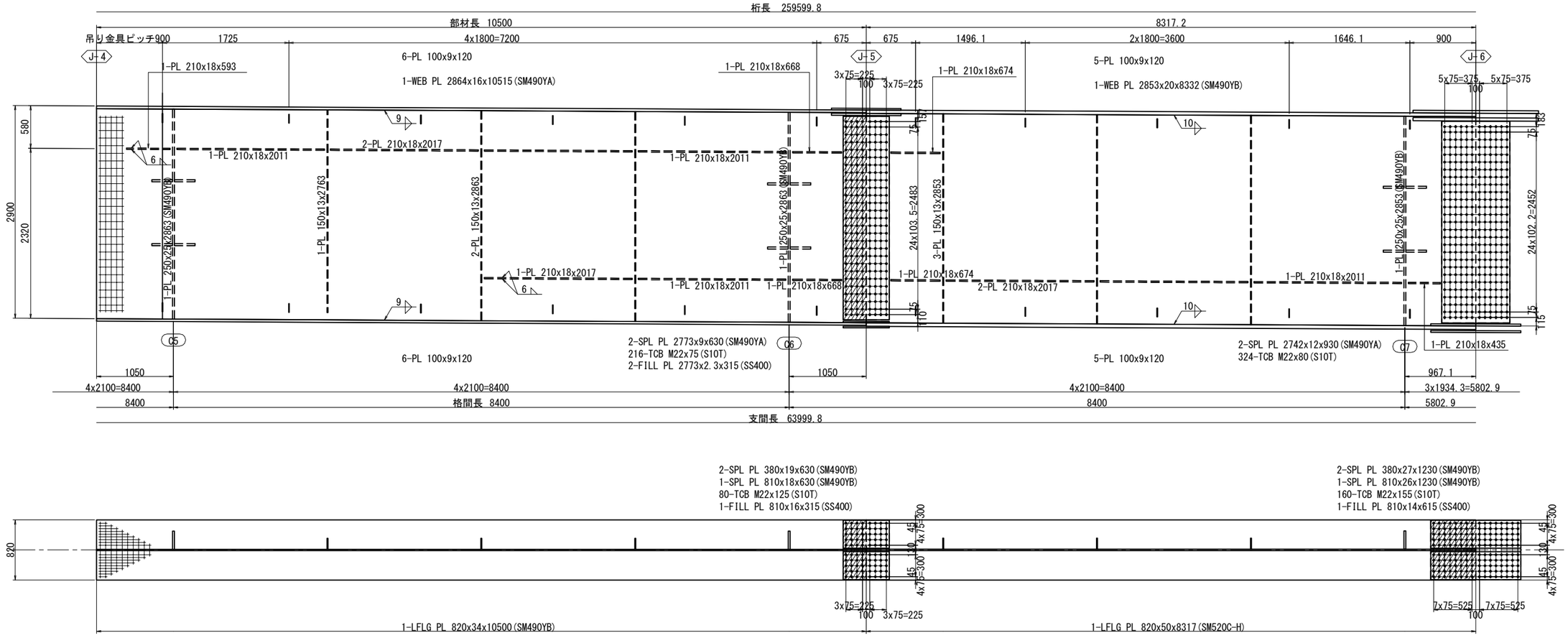
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⇳印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

実 施

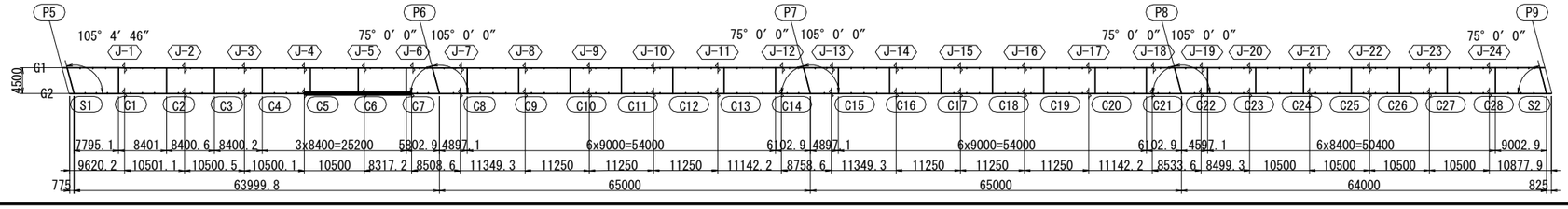
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G2(その2)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	33 / 212

P5～P9 主桁G2(その3) S=1:30





配置図 S=1:500

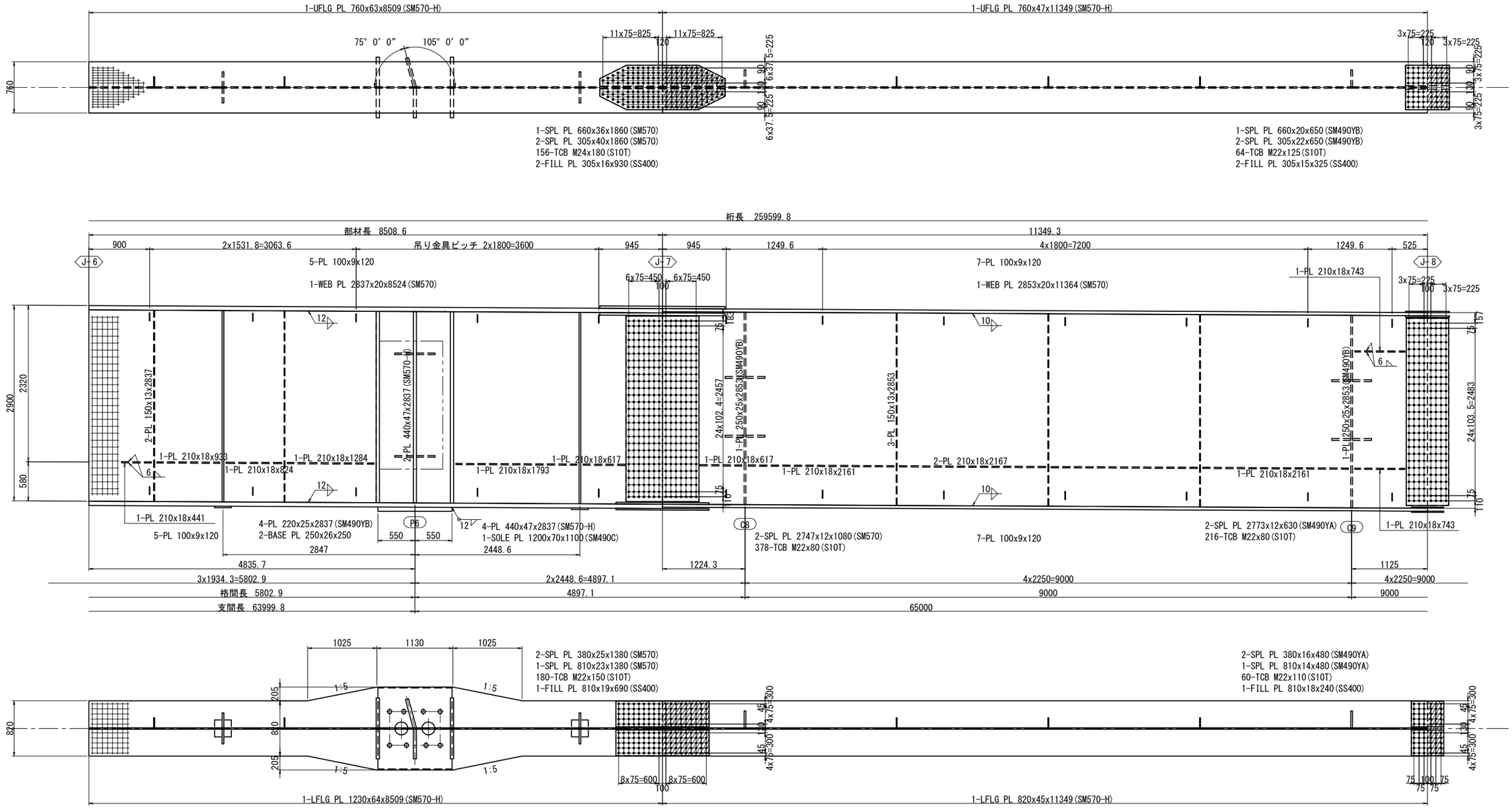


注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⇳印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. ⋇印は、トルシア形高力ボルトM24(S10T)を示す。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
6. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

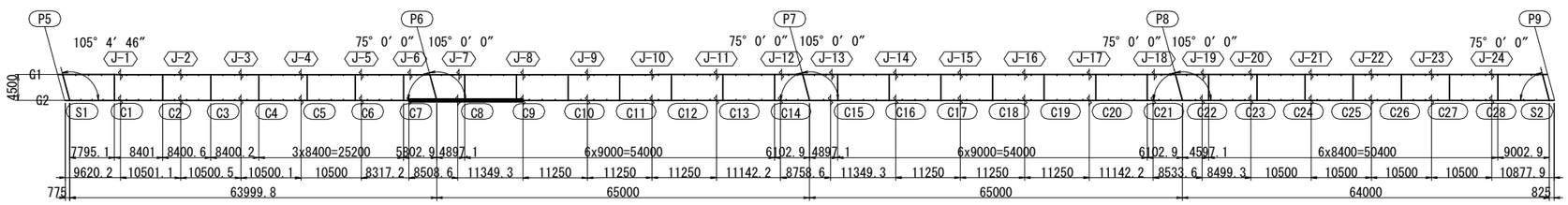
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G2(その3)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	34 / 212

P5～P9 主桁G2(その4) S=1:30



配置図 S=1:500

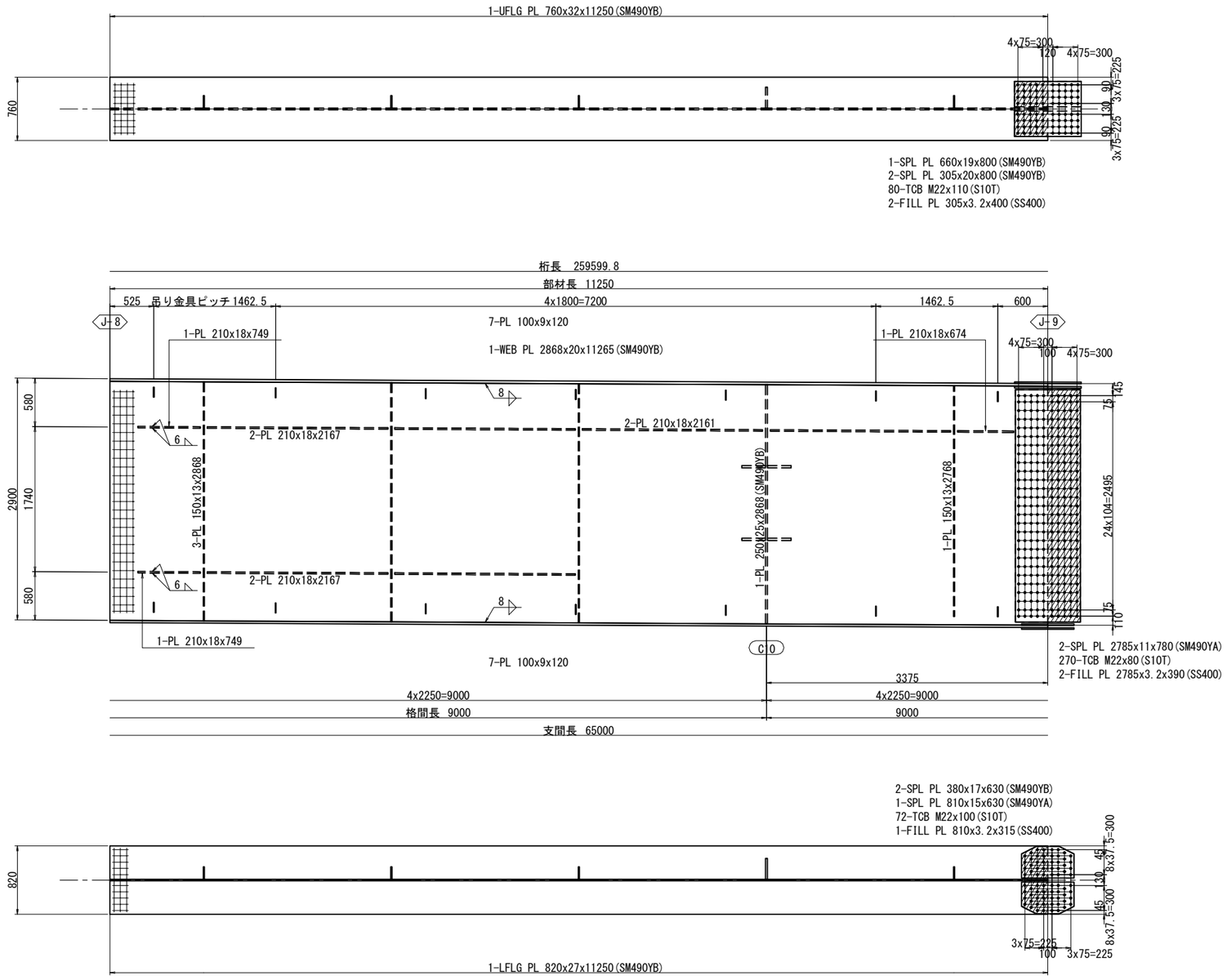


注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⊕印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. ⊛印は、トルシア形高力ボルトM24(S10T)を示す。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
6. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

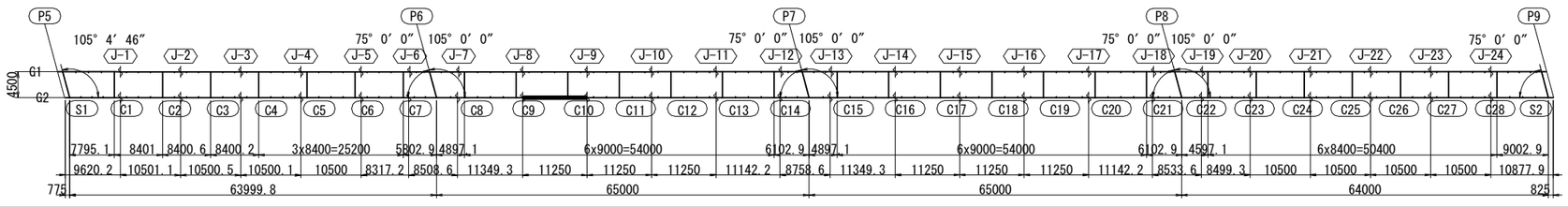
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G2(その4)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	35 / 212

P5～P9 主桁G2(その5) S=1:30



配置図 S=1:500

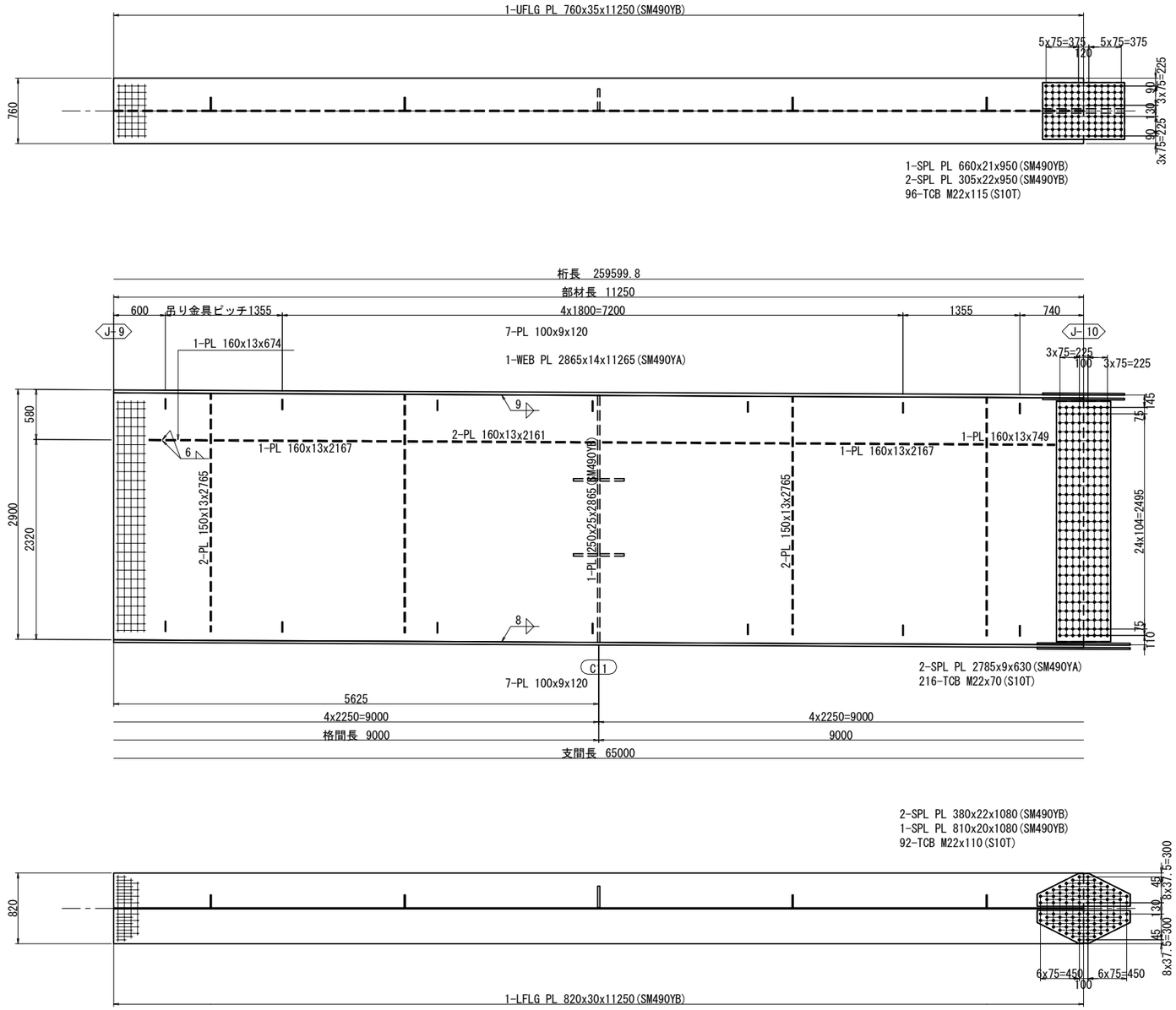


注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⊕印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

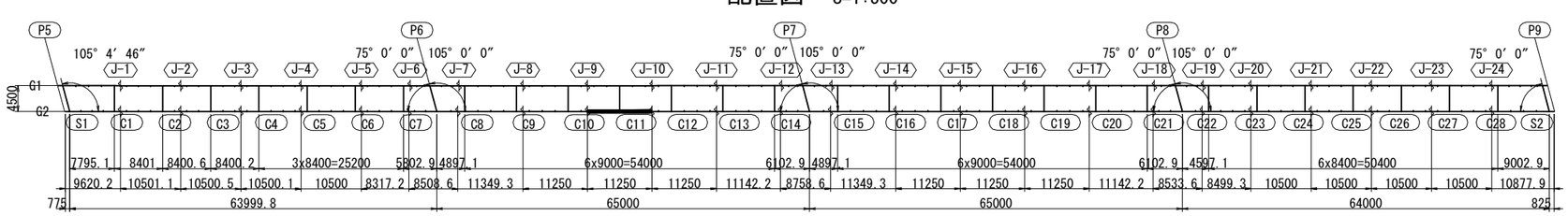
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 主桁G2(その5)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	36 / 212

P5～P9 主桁G2(その6) S=1:30



配置図 S=1:500

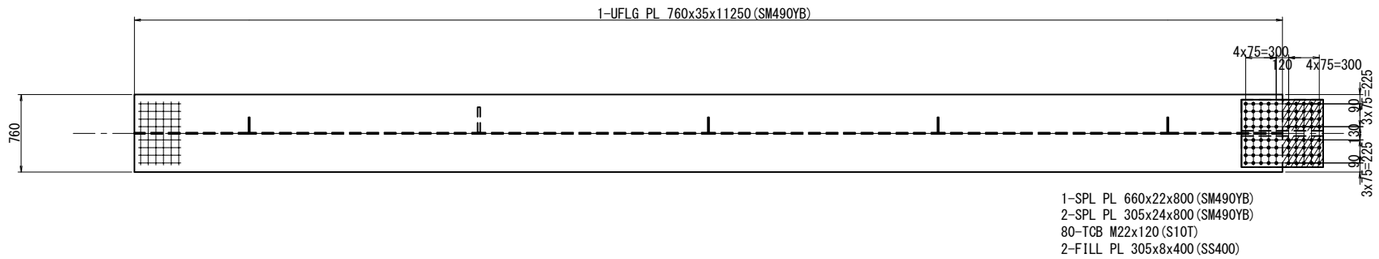


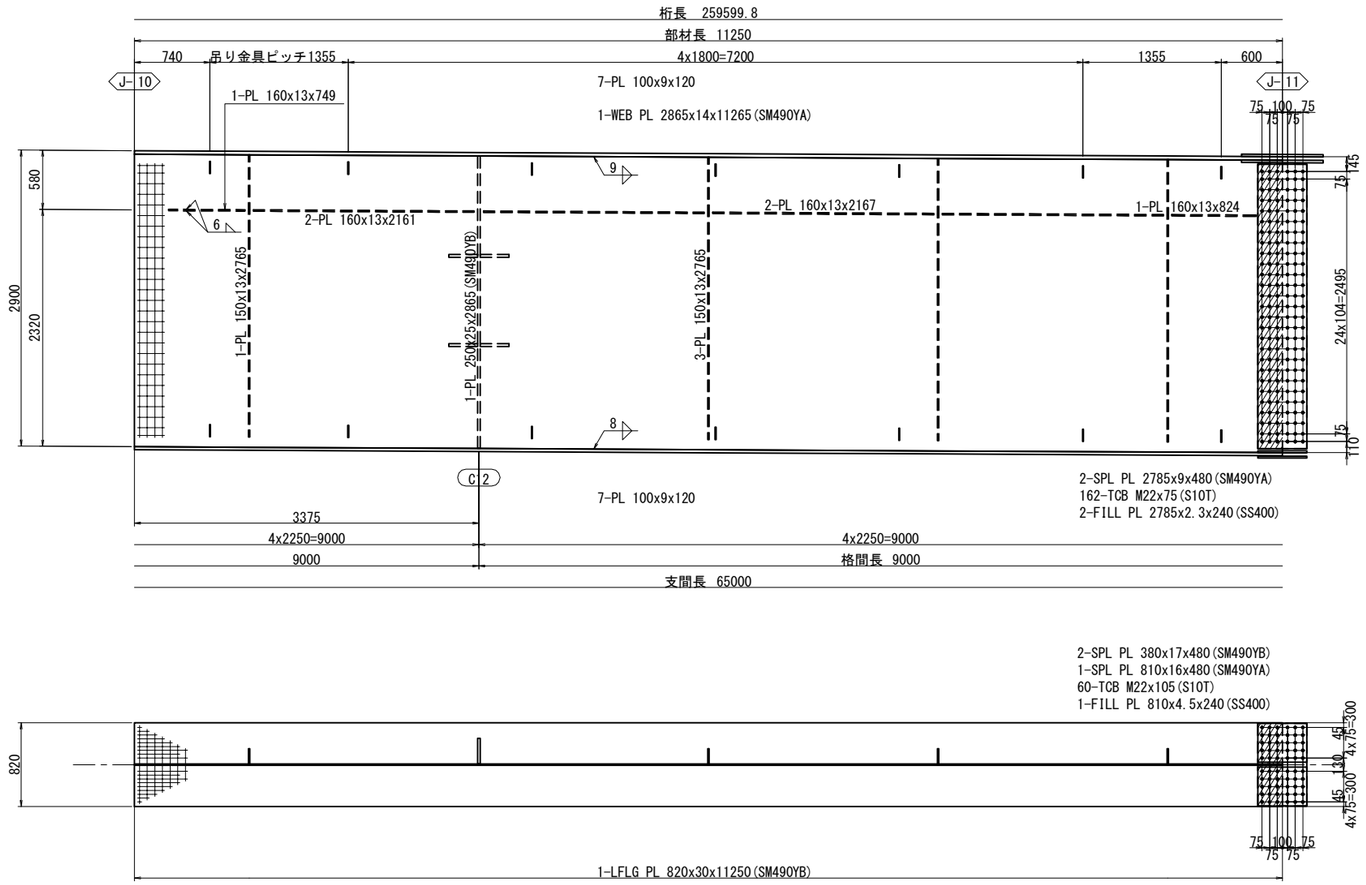
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⚙印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

実 施

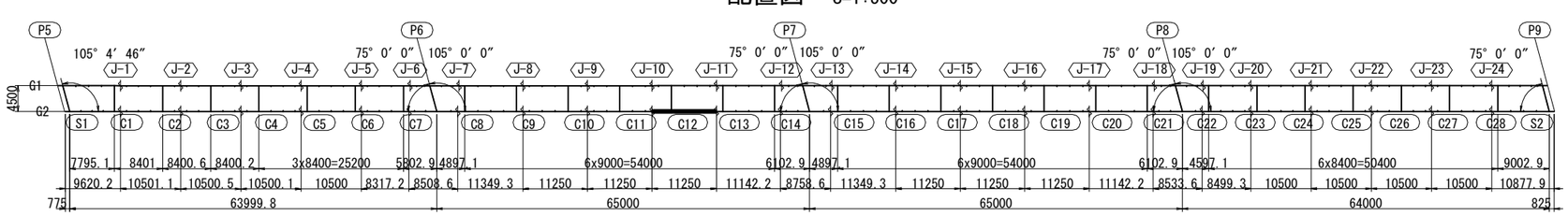
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G2(その6)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	37 / 212

P5～P9 主桁G2(その7) S=1:30





配置図 S=1:500

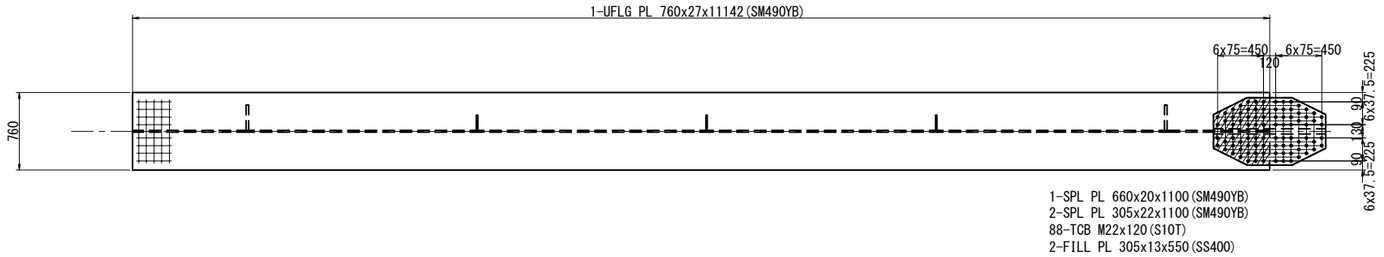


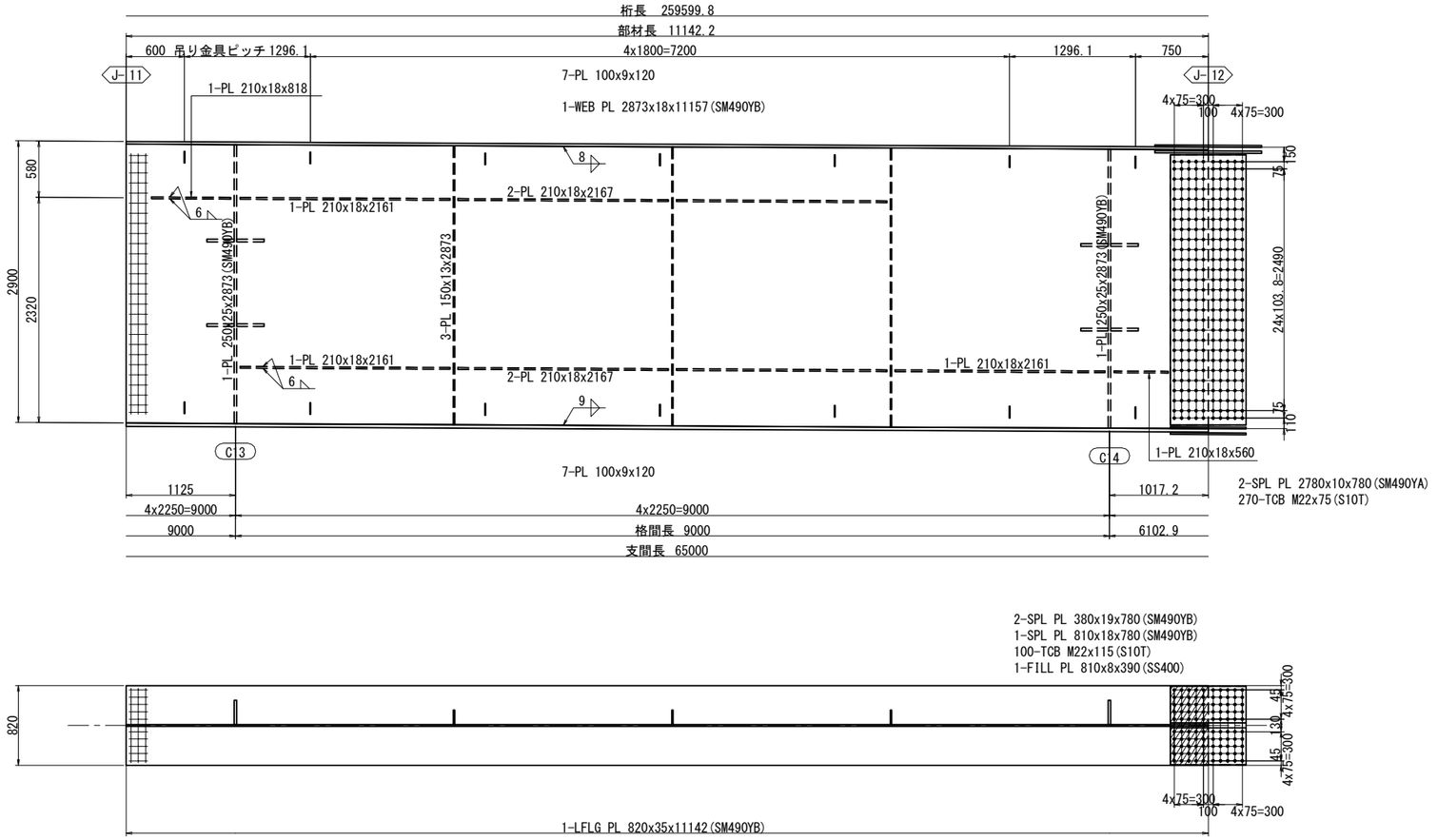
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⚙印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

実 施

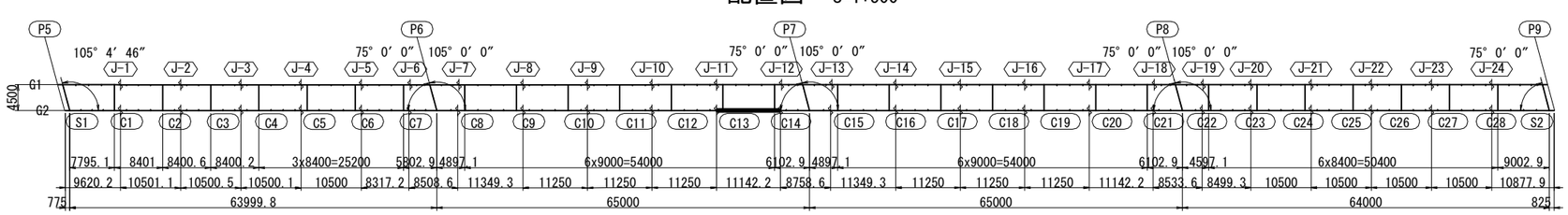
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G2(その7)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	38 / 212

P5～P9 主桁G2(その8) S=1:30





配置図 S=1:500

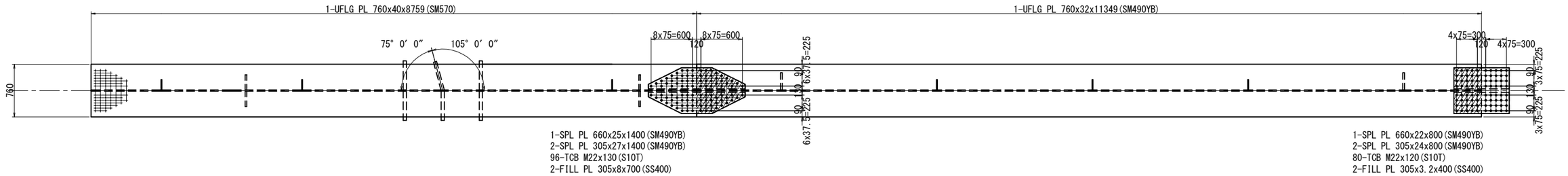


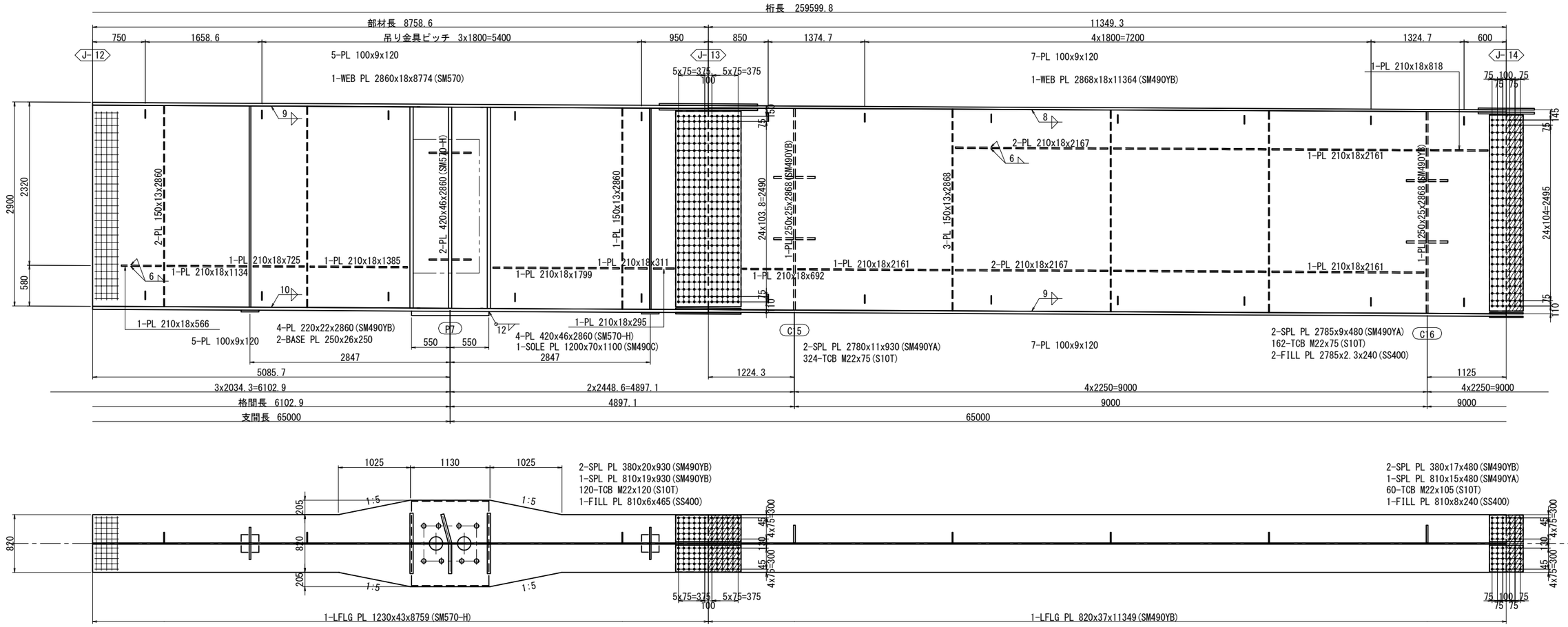
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⚜印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

実 施

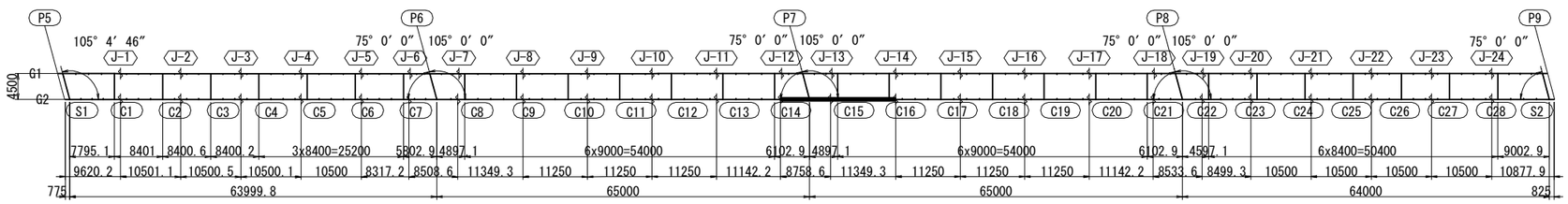
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G2(その8)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	39 / 212

P5～P9 主桁G2(その9) S=1:30





配置図 S=1:500

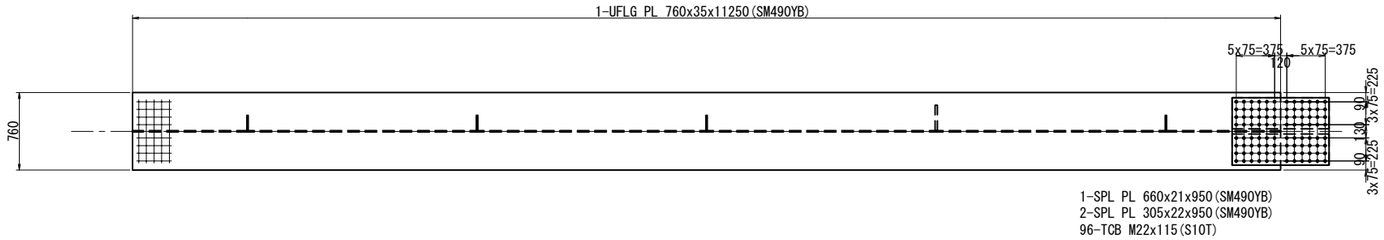


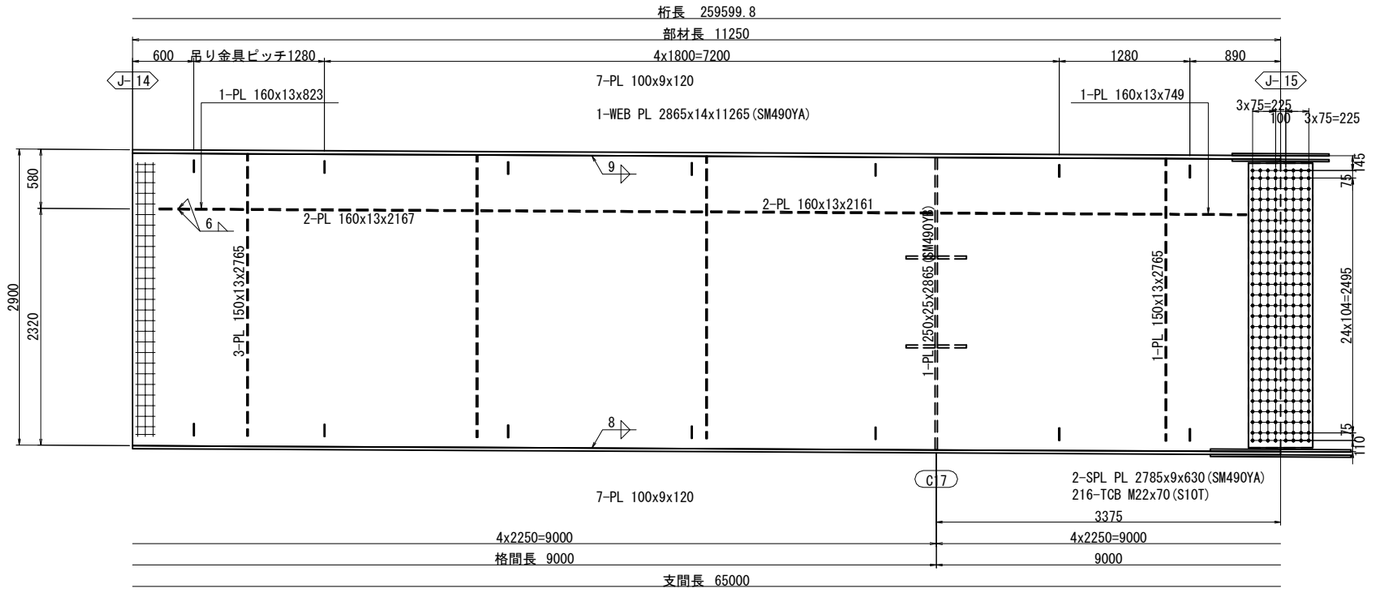
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⊕印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

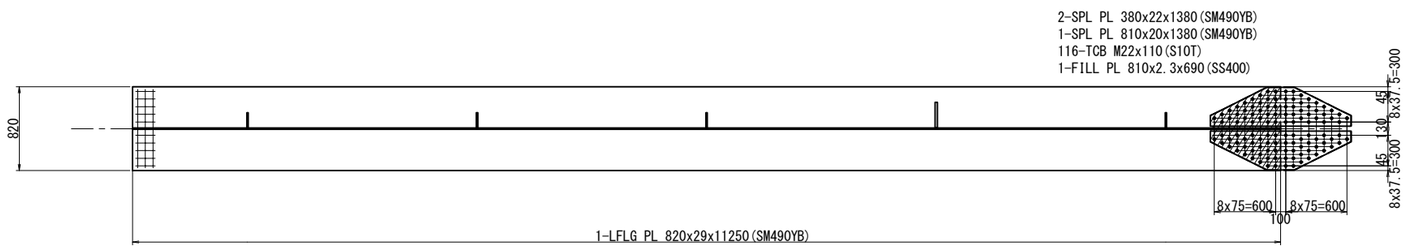
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G2(その9)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	40 / 212

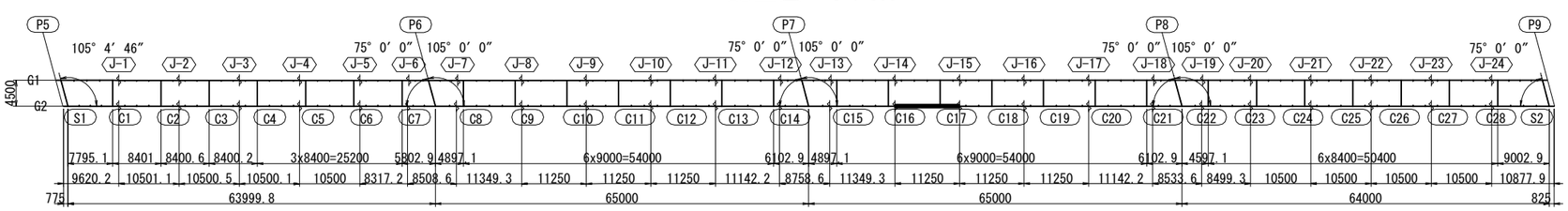
P5～P9 主桁G2(その10) S=1:30







配置図 S=1:500

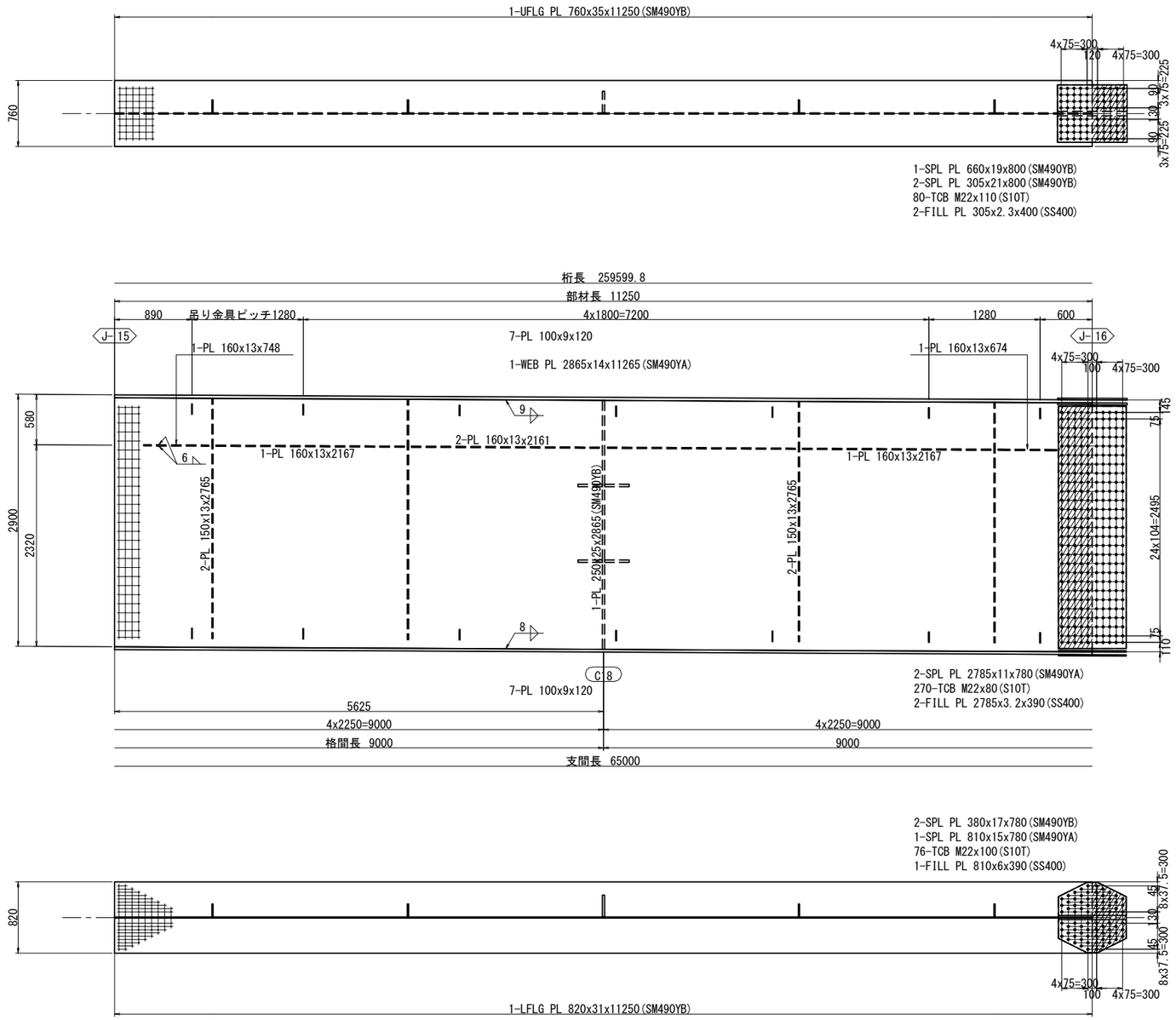


注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⚙印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

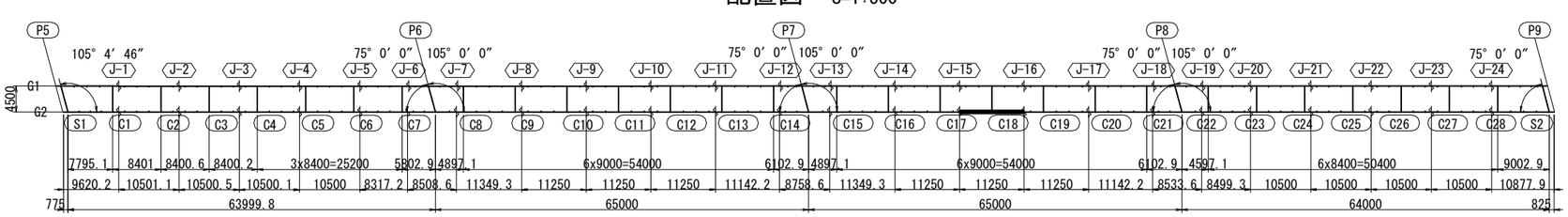
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G2(その10)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	41 / 212

P5～P9 主桁G2(その11) S=1:30



配置図 S=1:500

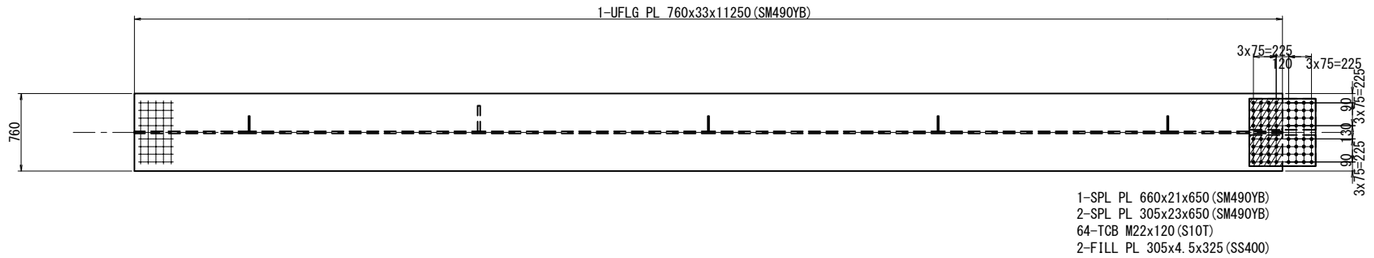


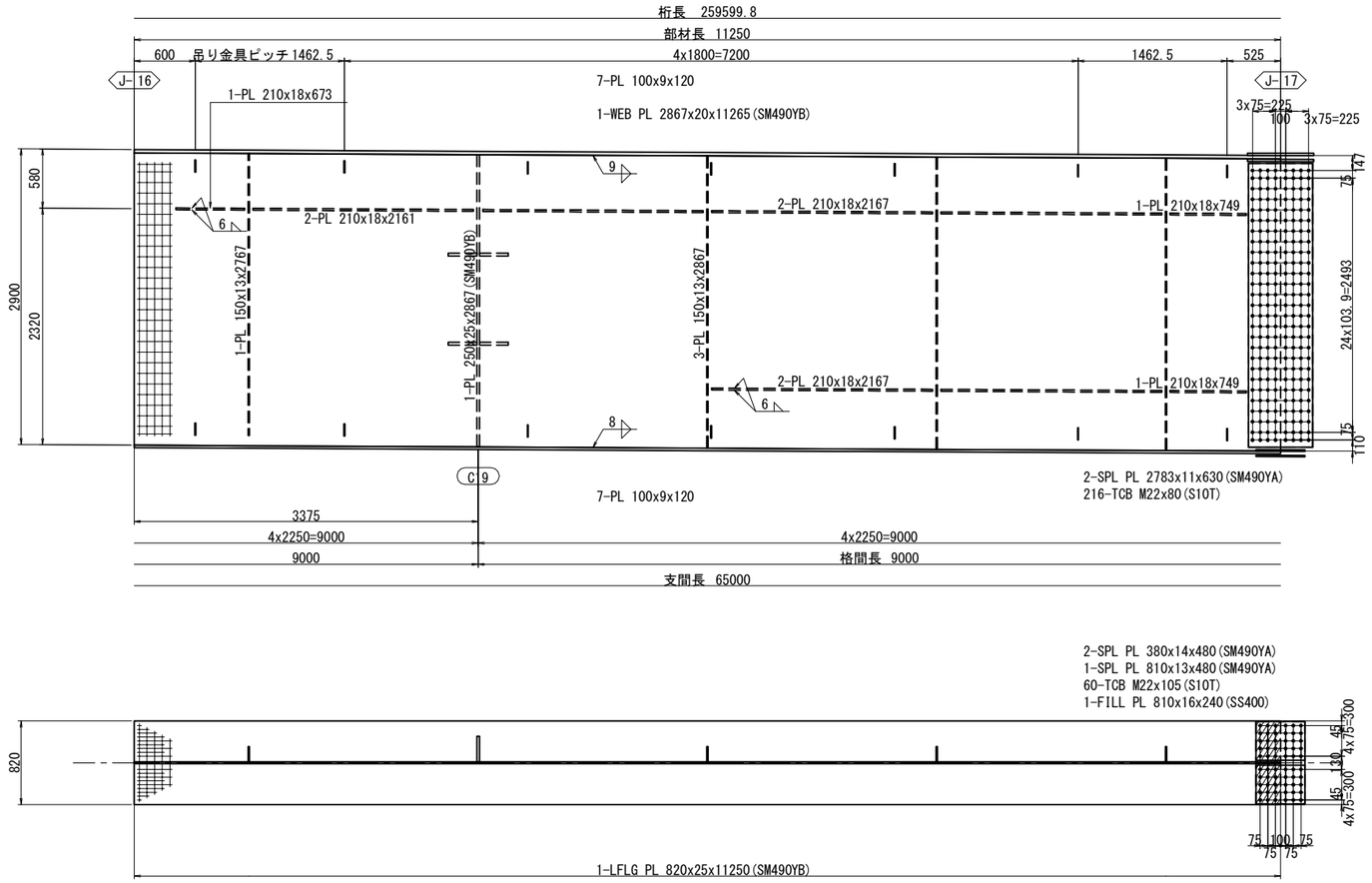
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⚜印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

実 施

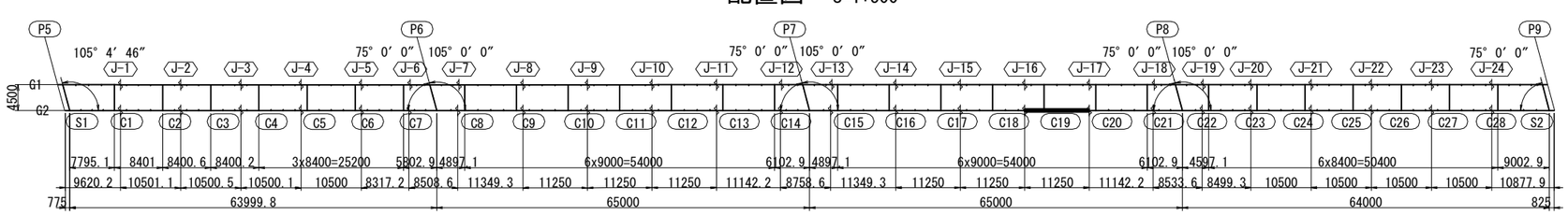
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G2(その11)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	42 / 212

P5～P9 主桁G2(その12) S=1:30





配置図 S=1:500

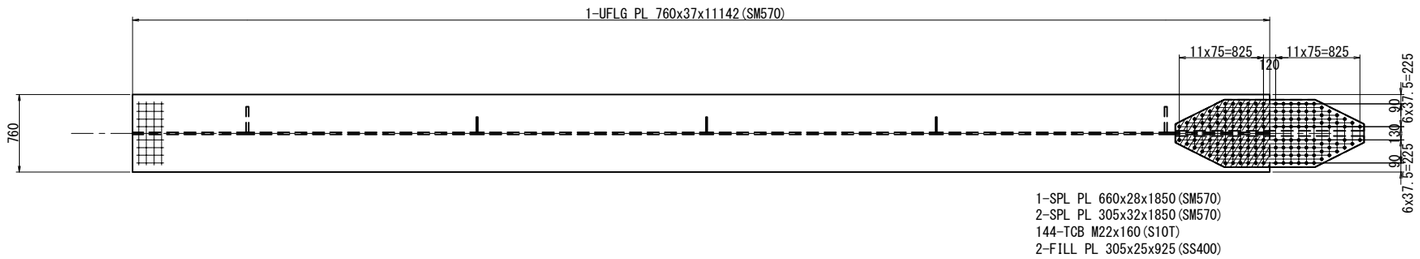


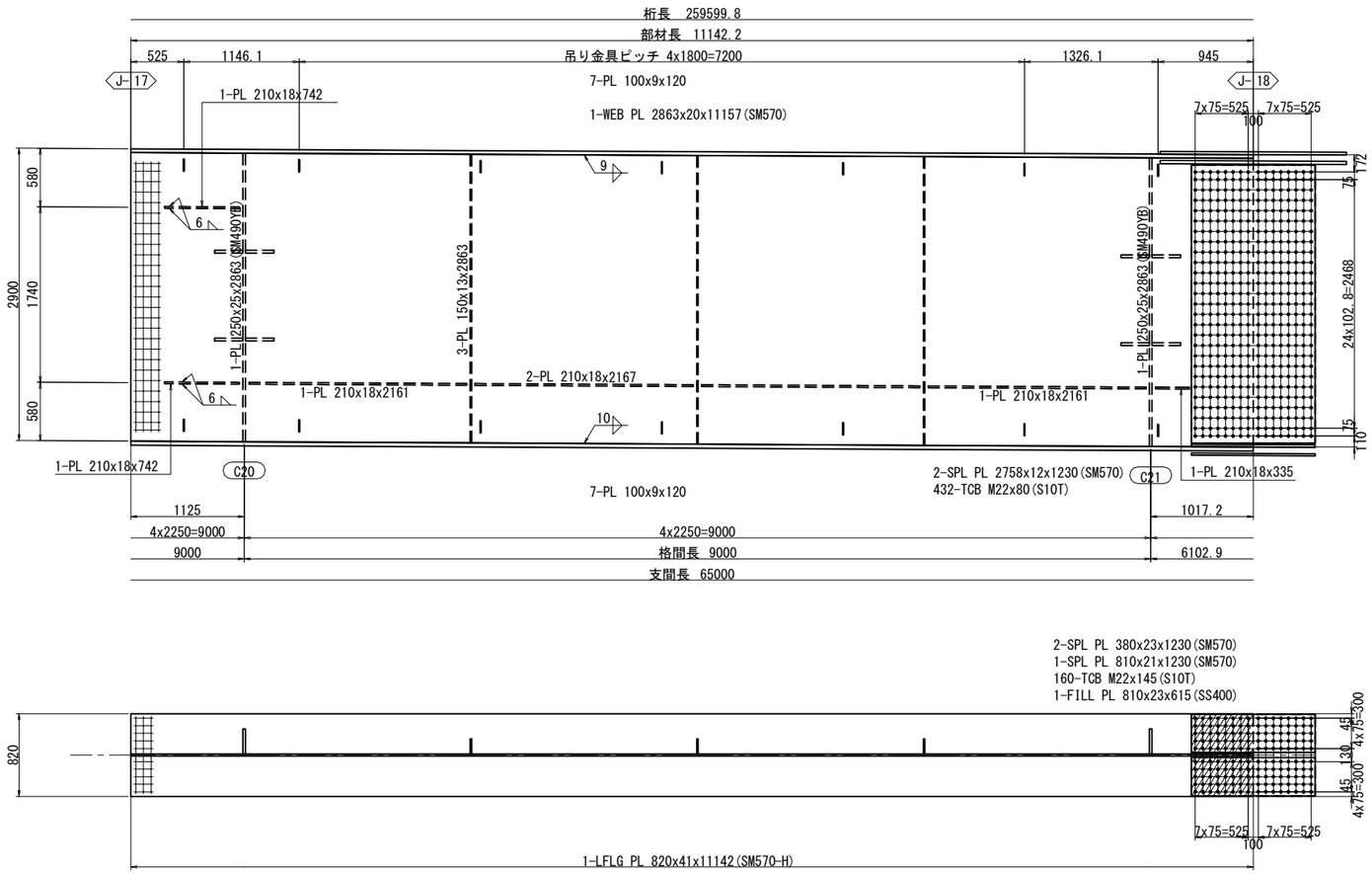
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⚜印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

実 施

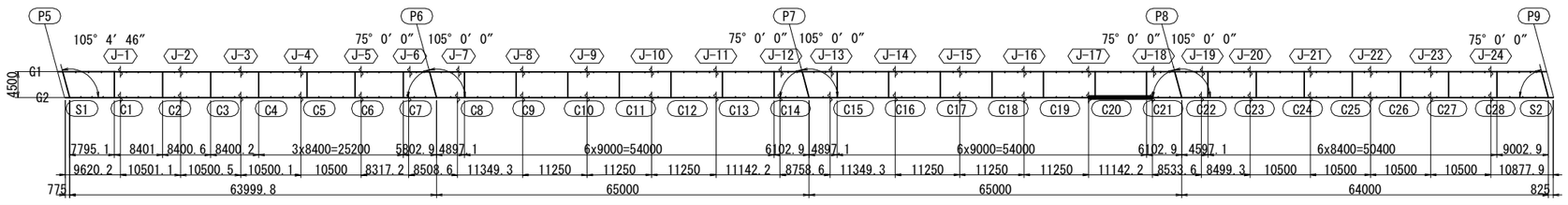
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G2(その12)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	43 / 212

P5～P9 主桁G2(その13) S=1:30





配置図 S=1:500

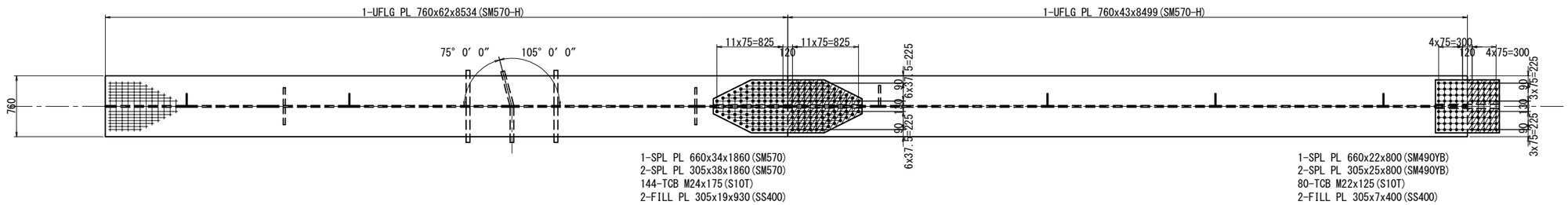


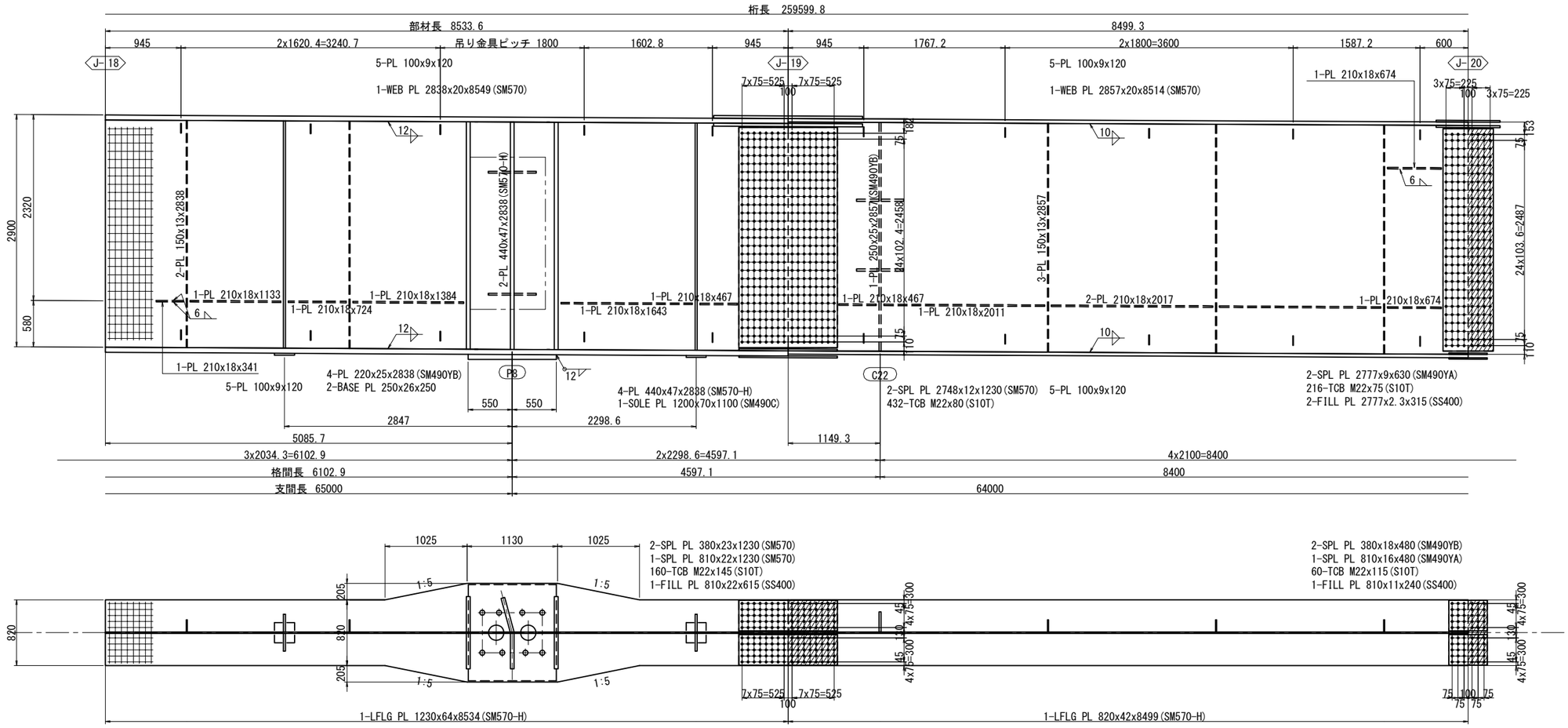
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⊕印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

実 施

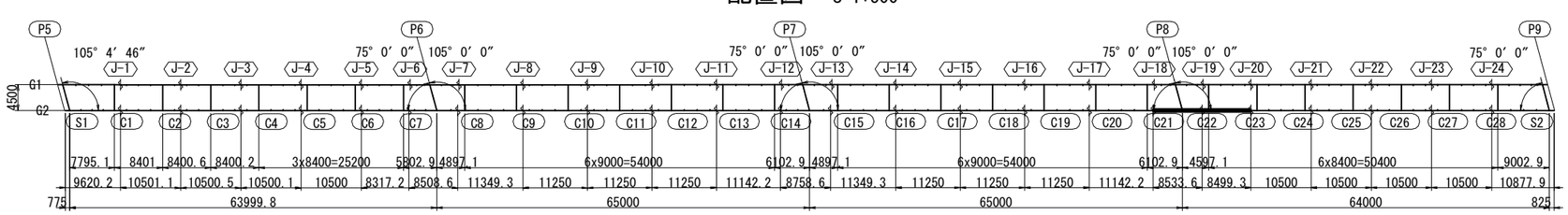
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 主桁G2(その13)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	44 / 212

P5～P9 主桁G2(その14) S=1:30





配置図 S=1:500

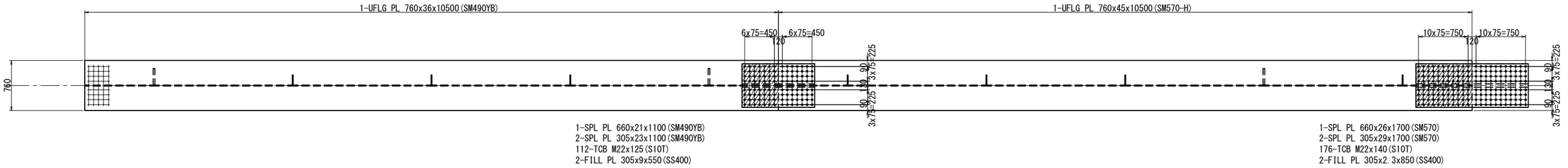


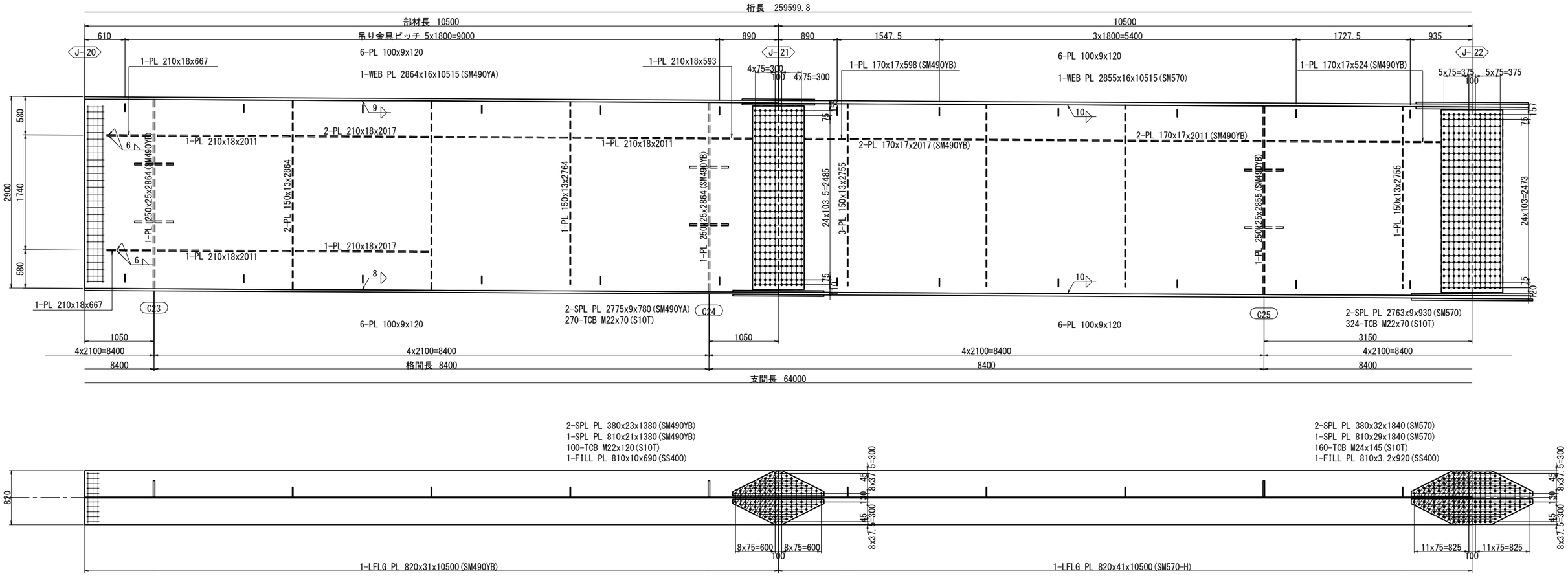
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ＋印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. ＊印は、トルシア形高力ボルトM24(S10T)を示す。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
6. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

実 施

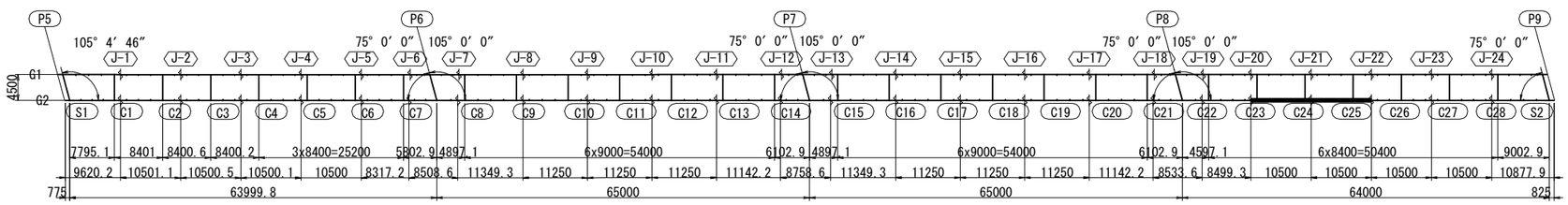
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G2(その14)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	45 / 212

P5～P9 主桁G2(その15) S=1:30





配置図 S=1:500

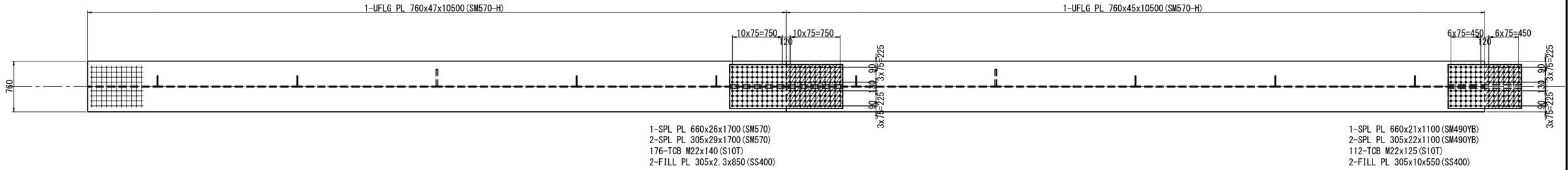


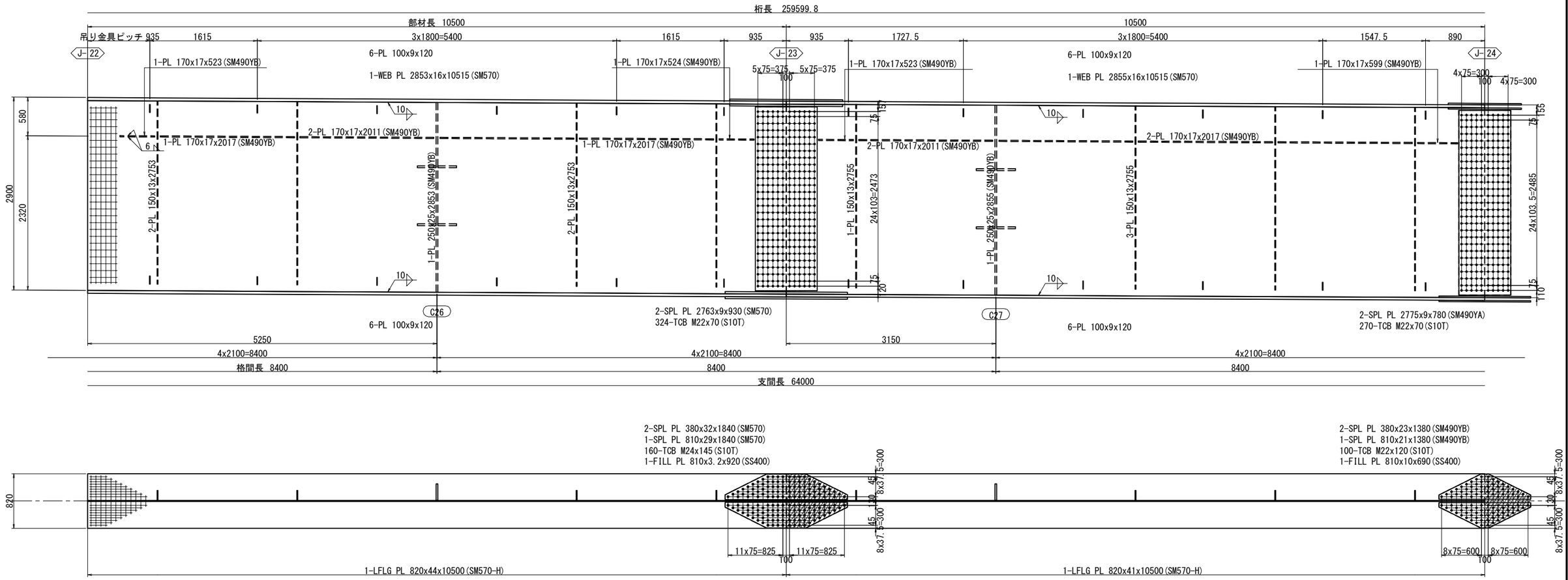
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⊕印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. ⊗印は、トルシア形高力ボルトM24(S10T)を示す。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
6. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

実 施

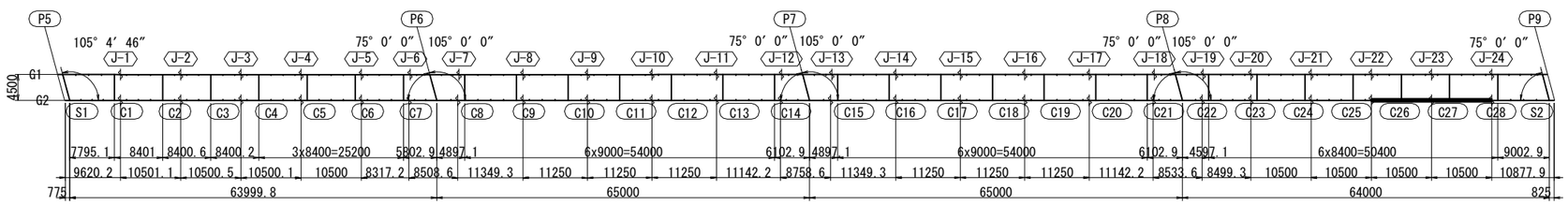
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G2(その15)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	46 / 212

P5～P9 主桁G2(その16) S=1:30





配置図 S=1:500

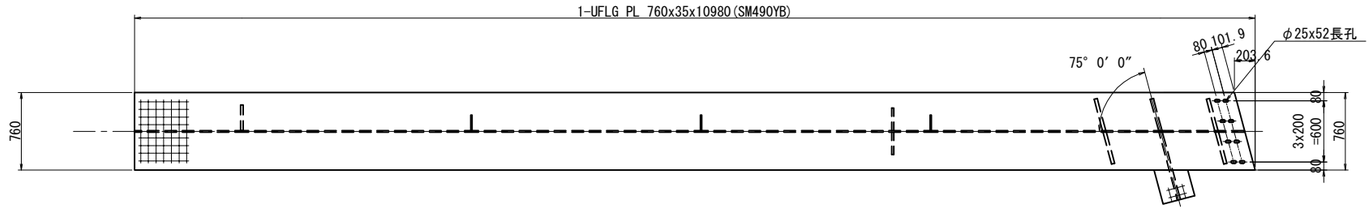


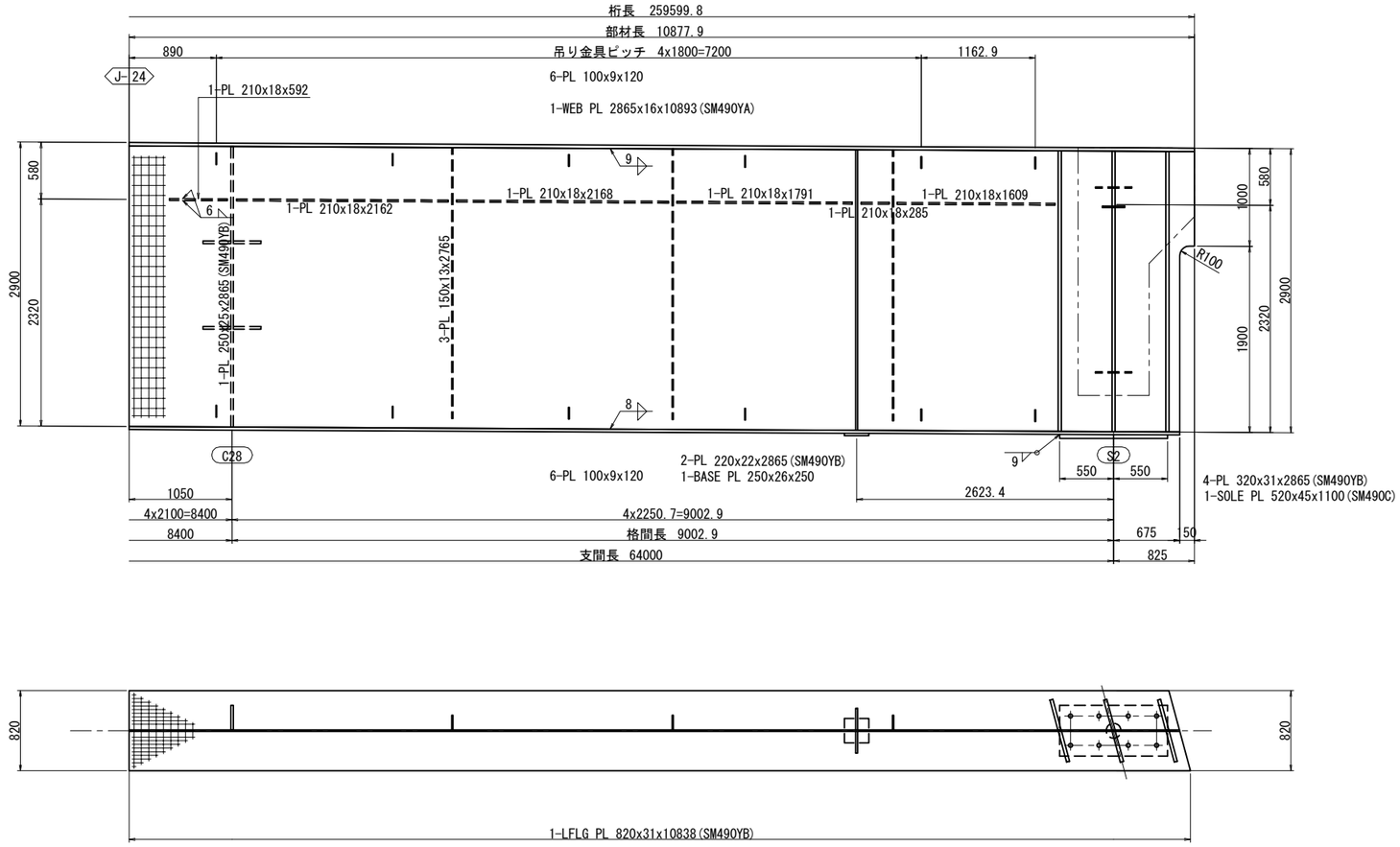
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⊕印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. ⊗印は、トルシア形高力ボルトM24(S10T)を示す。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
6. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

実 施

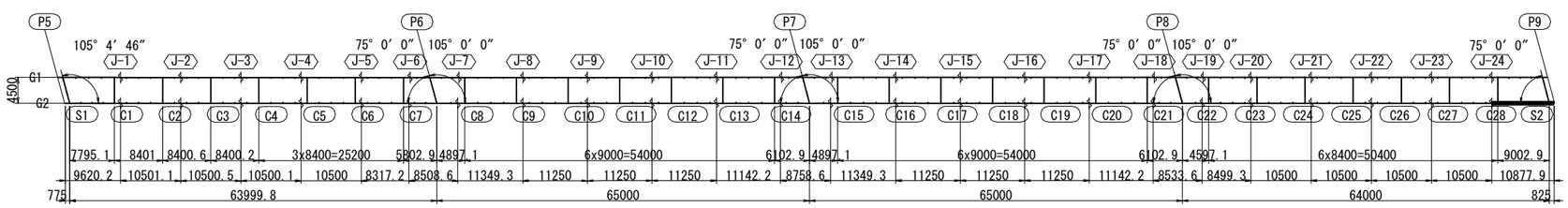
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G2(その16)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	47 / 212

P5～P9 主桁G2(その17) S=1:30





配置図 S=1:500



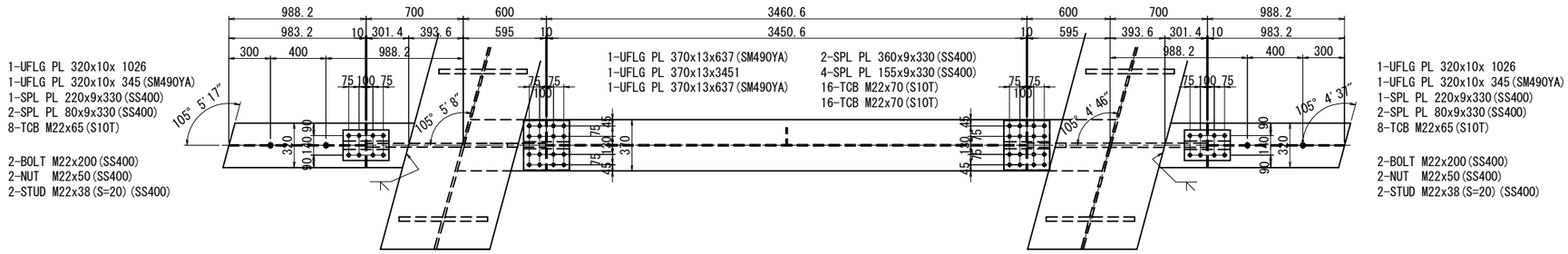
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⊕印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと。

実 施

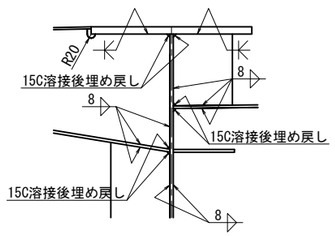
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 主桁G2(その17)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	48 / 212

P5～P9 端支点上横桁(その1) S=1:20

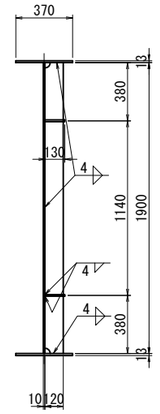
S1



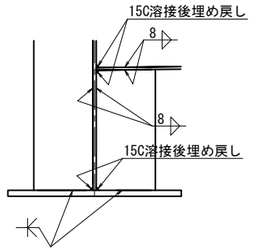
"a"部詳細 S=1:15



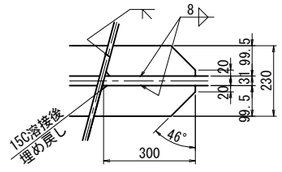
A - A



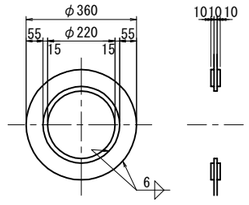
"b"部詳細 S=1:15



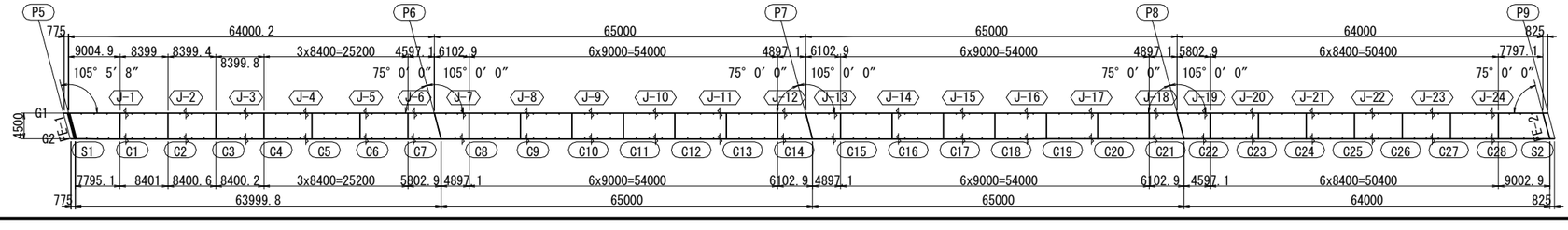
"c"部詳細 S=1:10



落橋防止貫通孔詳細 S=1:10



配置図 S=1:500



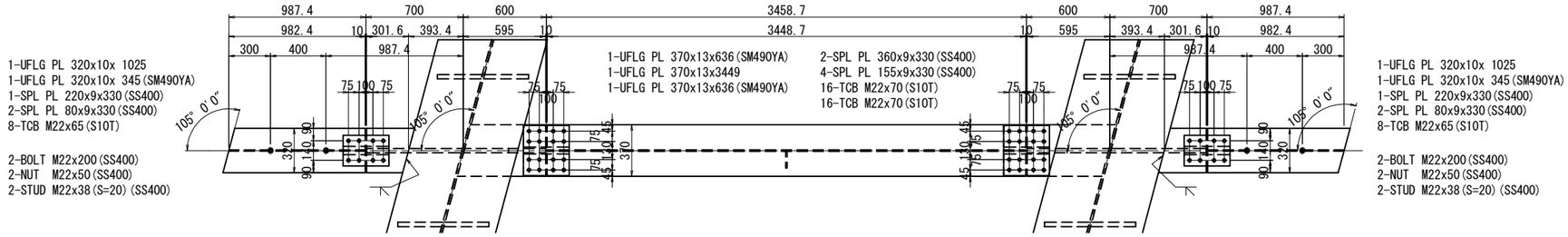
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⊕印は TCB M22(S10T)を示す。
4. スタッド詳細は「共通詳細図(その2)」を参照のこと。
材料のSは有効ネジ長を示す。

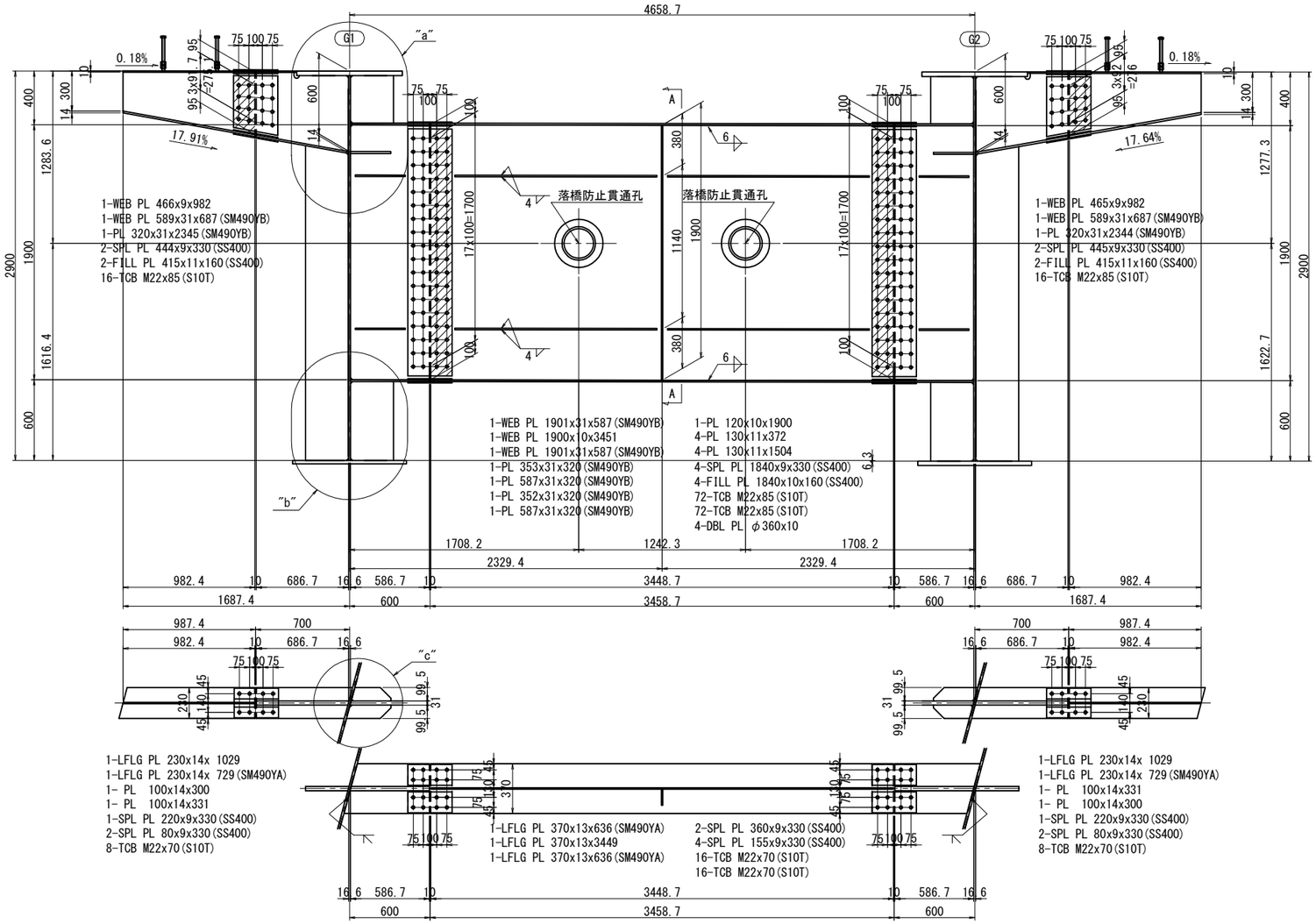
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 端支点上横桁(その1)		
縮尺	1:20,1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	49 / 212

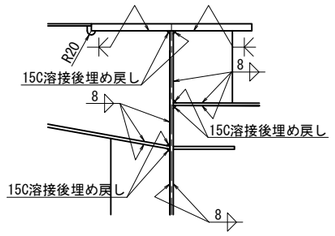
P5～P9 端支点上横桁(その2) S=1:20

S2

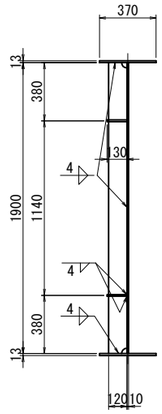




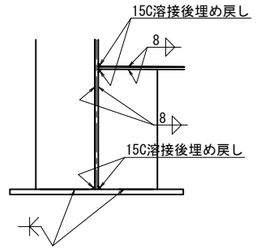
"a"部詳細 S=1:15



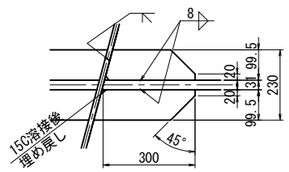
A - A



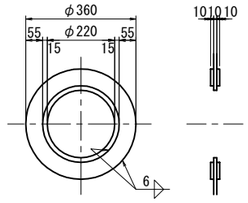
"b"部詳細 S=1:15



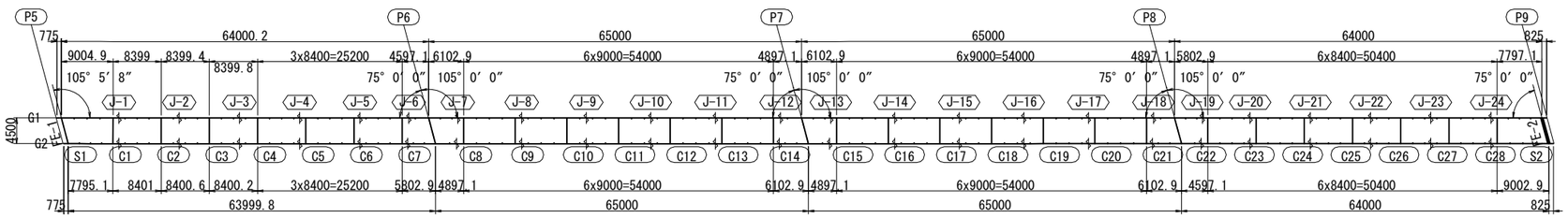
"c"部詳細 S=1:10



落橋防止貫通孔詳細 S=1:10



配置図 S=1:500



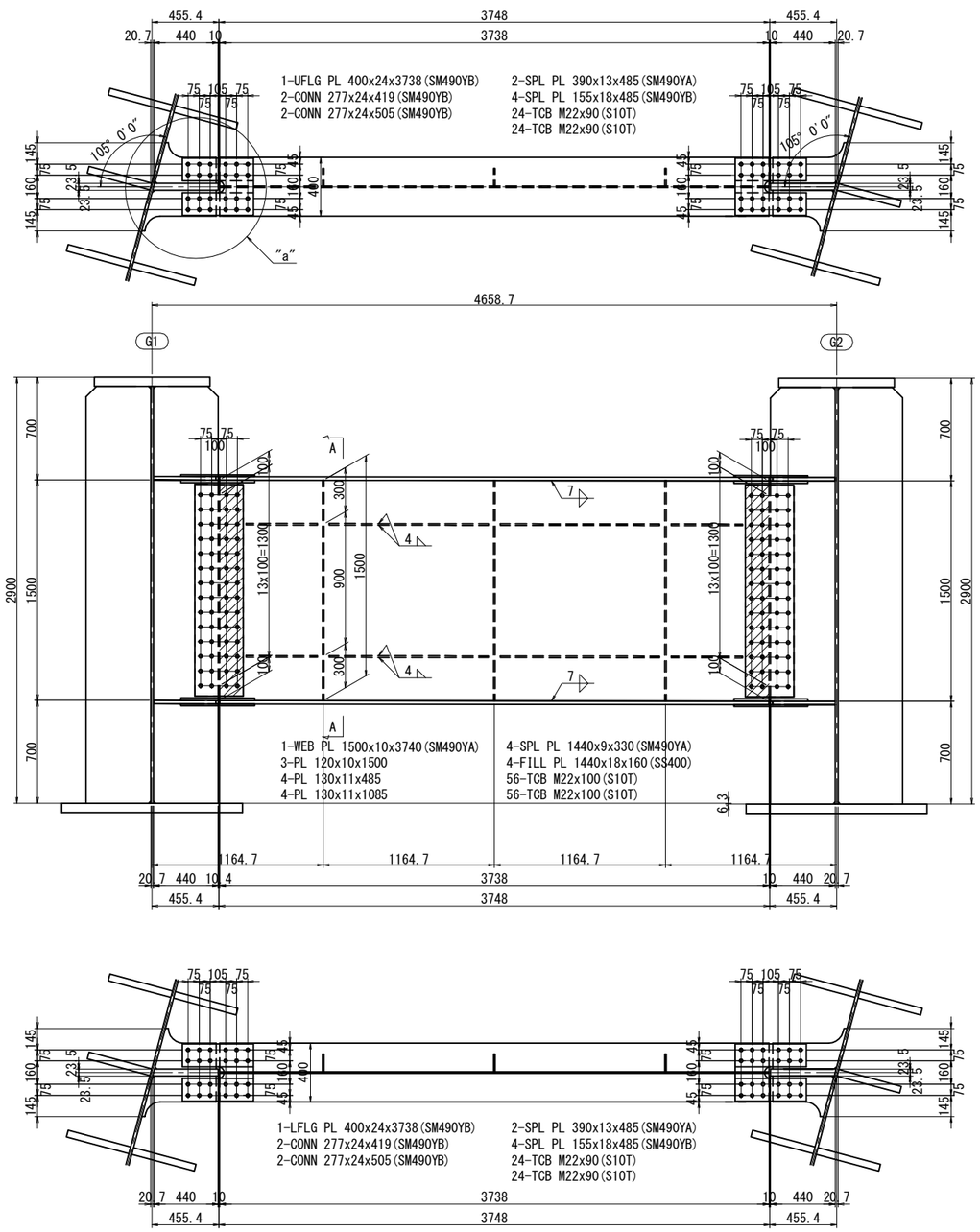
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ⊕印は TCB M22(S10T)を示す。
4. スタッド詳細は「共通詳細図(その2)」を参照のこと。
材料のSは有効ネジ長を示す。

実 施

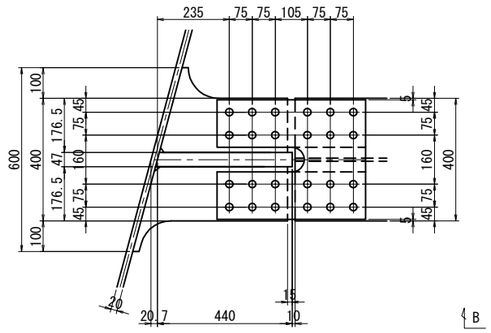
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 端支点上横桁(その2)		
縮尺	1:20,1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	50 / 212

P5～P9 中間支点上横桁(その1) S=1:20

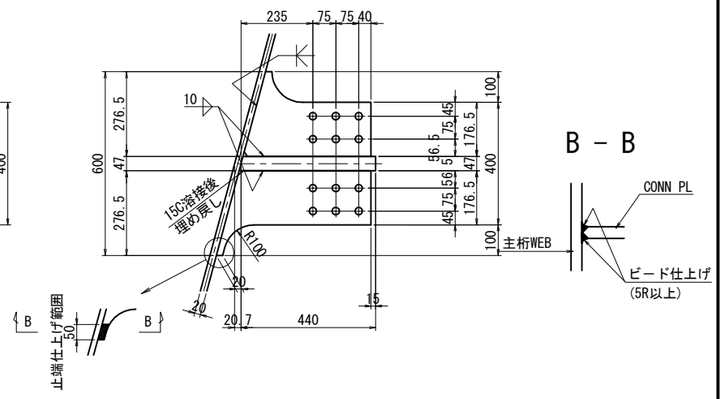
P6, P8



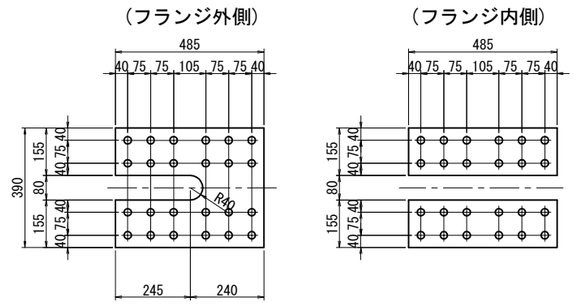
"a"部詳細 S=1:10



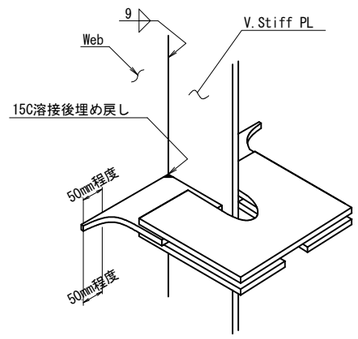
コネクションプレート S=1:10



フランジ添接板 S=1:10

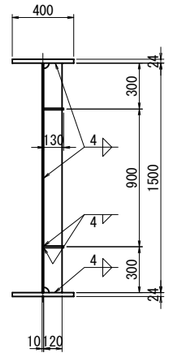


溶接仕上げ範囲詳細



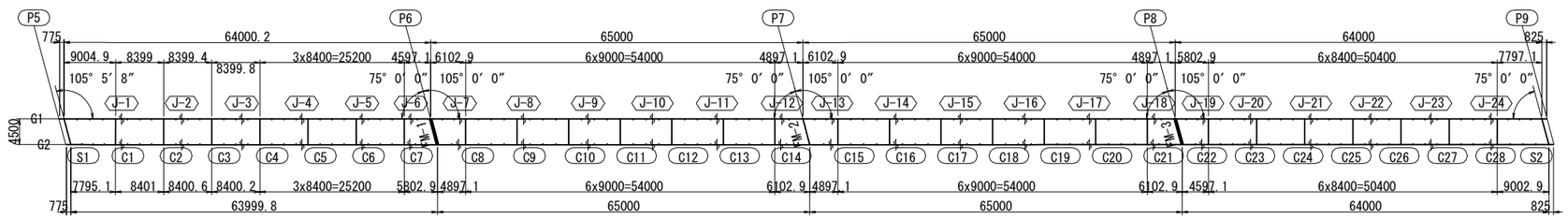
注）まわし溶接を含むCONN.PL端部付近の
腹板側の溶接止端部は、肉盛溶接後
滑らかにグラインダーで仕上げる。

A - A



注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ＋印は TCB M22(S10T)を示す。

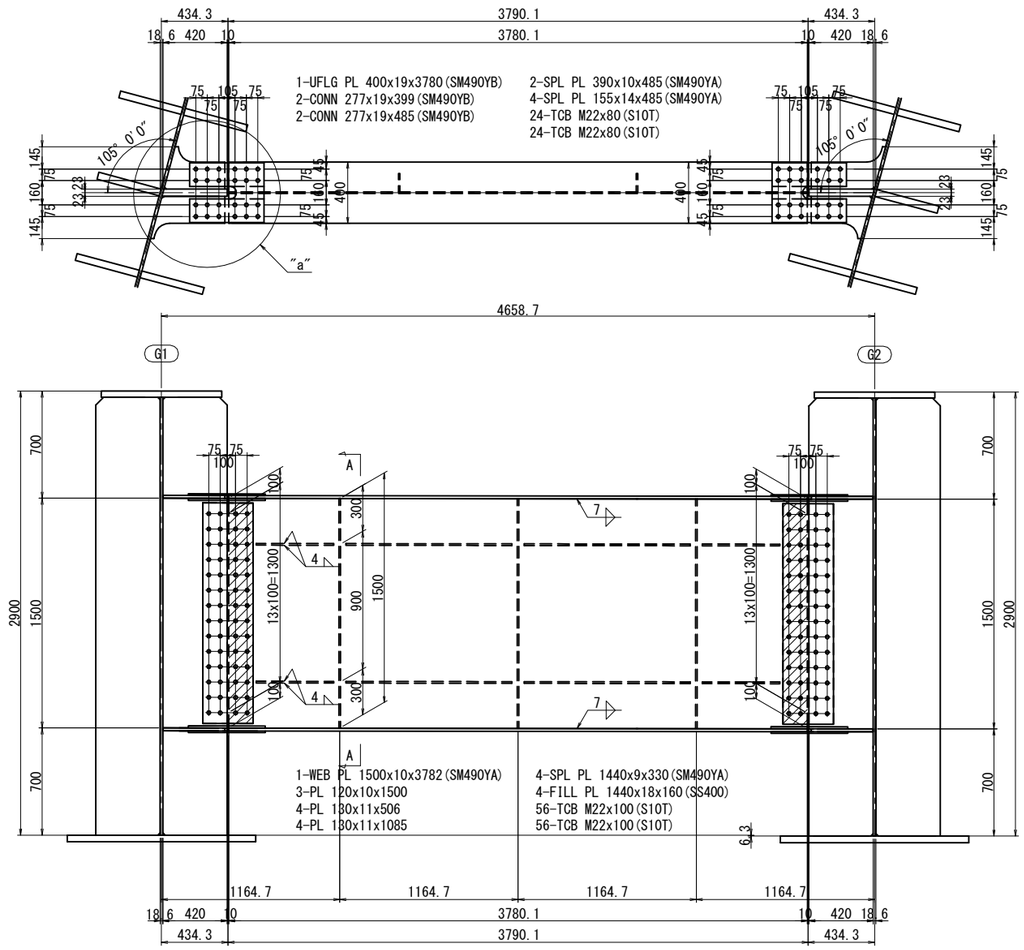
配置図 S=1:500



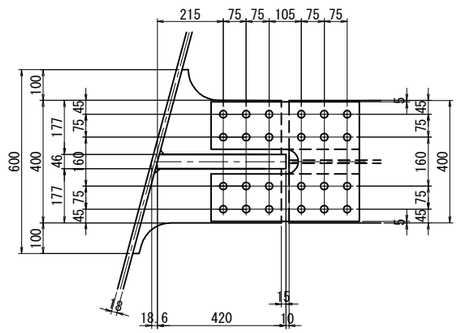
実　施			
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 中間支点上横桁(その1)		
縮尺	1:20,1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	51 / 212

P5～P9 中間支点上横桁(その2)　S=1:20

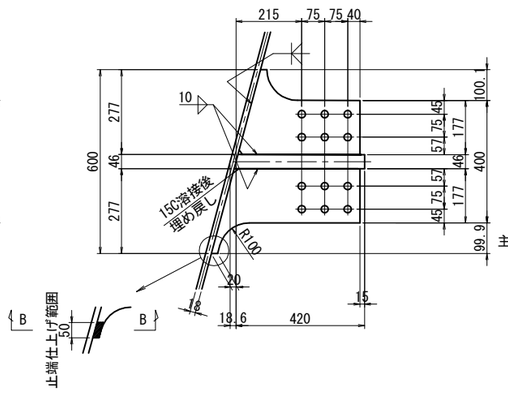
P7



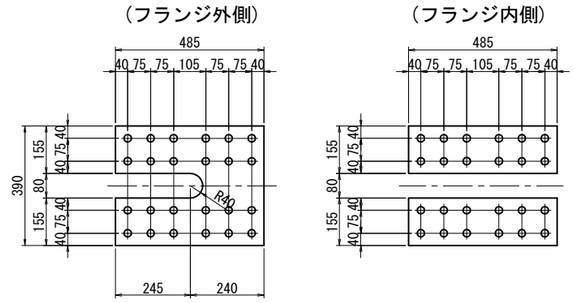
"a"部詳細　S=1:10



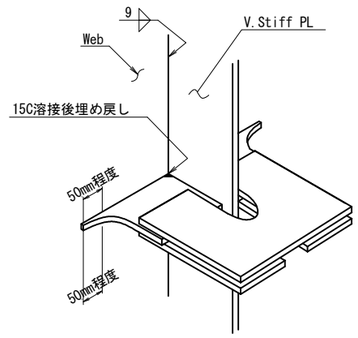
コネクションプレート　S=1:10



フランジ添接板　S=1:10

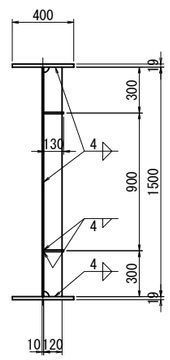


溶接仕上げ範囲詳細



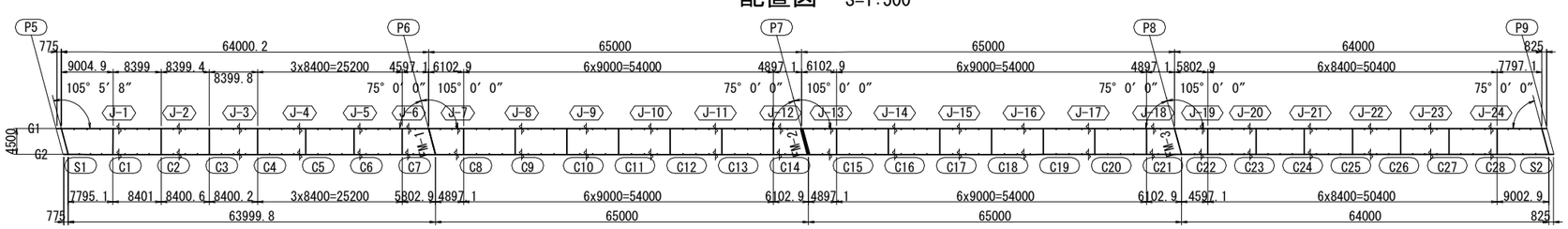
注）まわし溶接を含むCONN.PL端部付近の
腹板側の溶接止端部は、肉盛溶接後
滑らかにグラインダーで仕上げる。

A - A



注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ＋印は TCB M22(S10T)を示す。

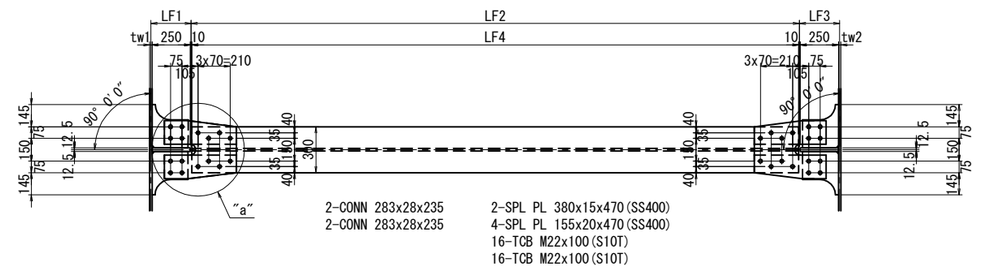
配置図　S=1:500

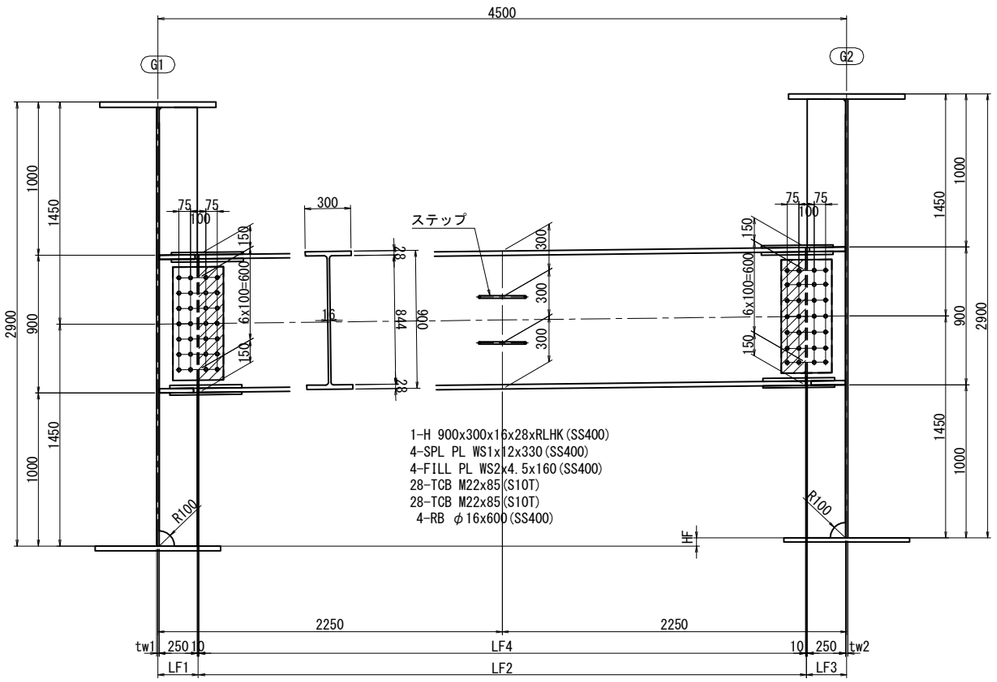


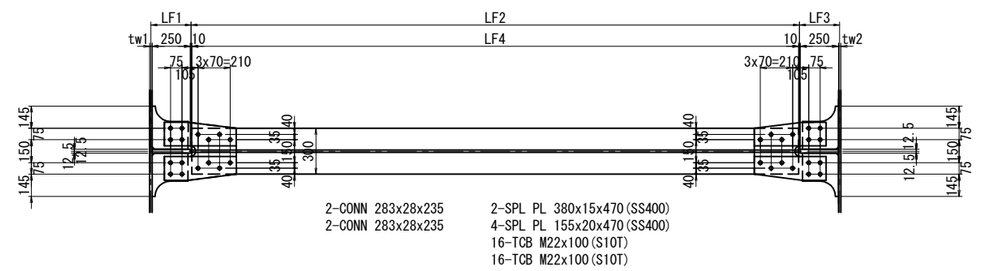
実　施			
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 中間支点上横桁(その2)		
縮尺	1:20,1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	52 / 212

P5～P9 中間横桁 S=1:20

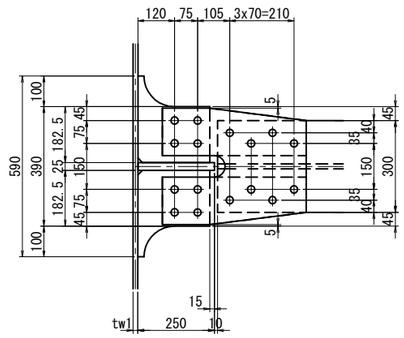
C1～C28



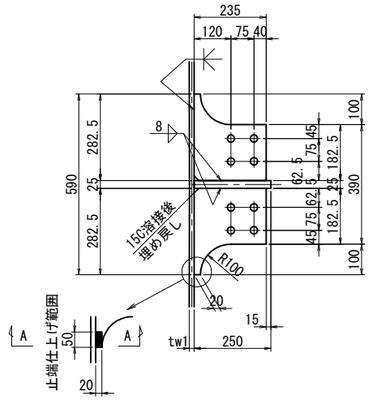




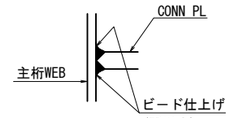
"a"部詳細 S=1:10



コネクションプレート S=1:10

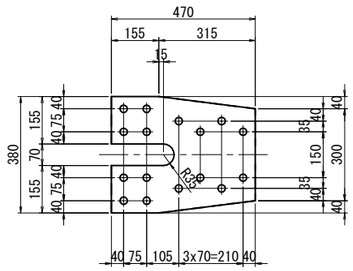


A－A

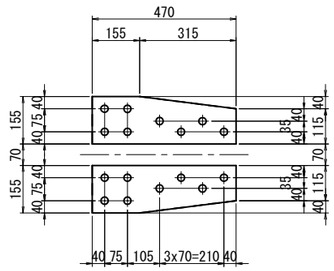


フランジ添接板 S=1:10

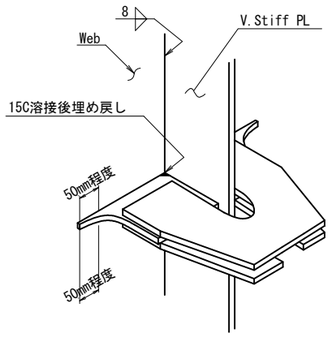
（フランジ外側）



（フランジ内側）



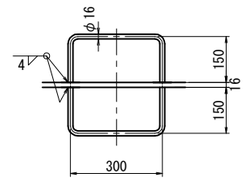
溶接仕上げ範囲詳細



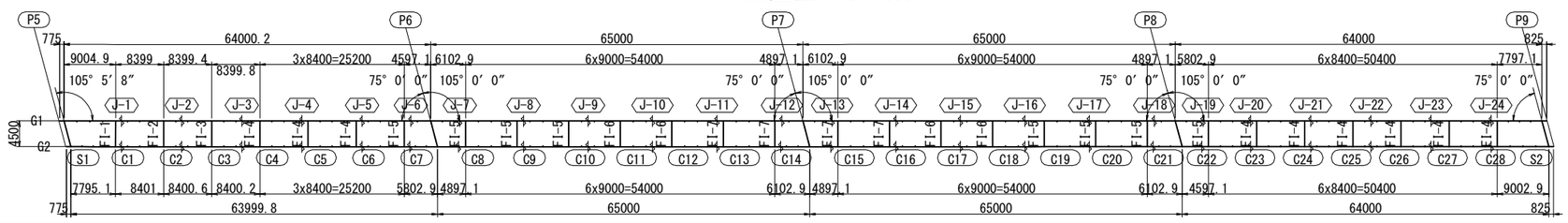
注）まわし溶接を含むCONN.PL端部付近の腹板側の溶接止端部は、肉盛溶接後滑らかにグラインダーで仕上げる。

	FI-1	FI-2	FI-3	FI-4	FI-5	FI-6	FI-7
LF1	263	263	263	263	265	262	264
LF2	3974	3974	3974	3974	3970	3976	3972
LF3	263	263	263	263	265	262	264
LF4	3964	3964	3964	3964	3960	3966	3962
HF	53.5	34.6	15.7	0	0	0	0
RLHK	3975	3971	3967	3964	3960	3966	3962
WS1	744	743	741	740	740	740	740
WS2	742	741	741	740	740	740	740
tw1	16	16	16	16	20	14	18
tw2	16	16	16	16	20	14	18

ステップ詳細 S=1:10



配置図 S=1:500



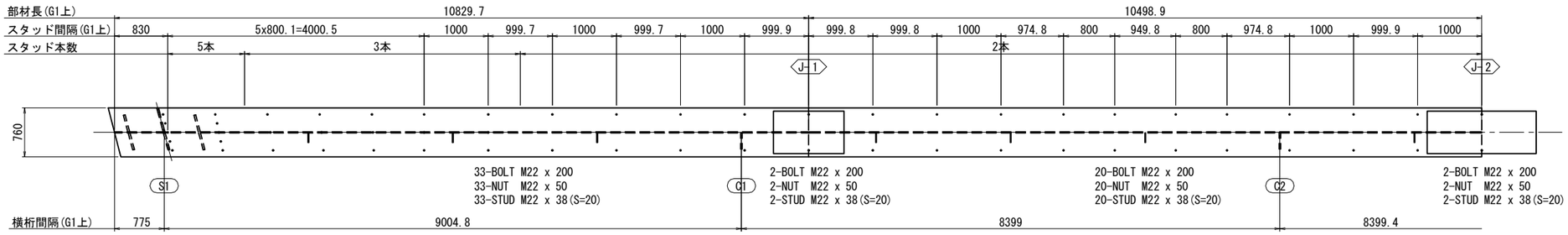
注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. ＋印は TCB M22(S10T)を示す。

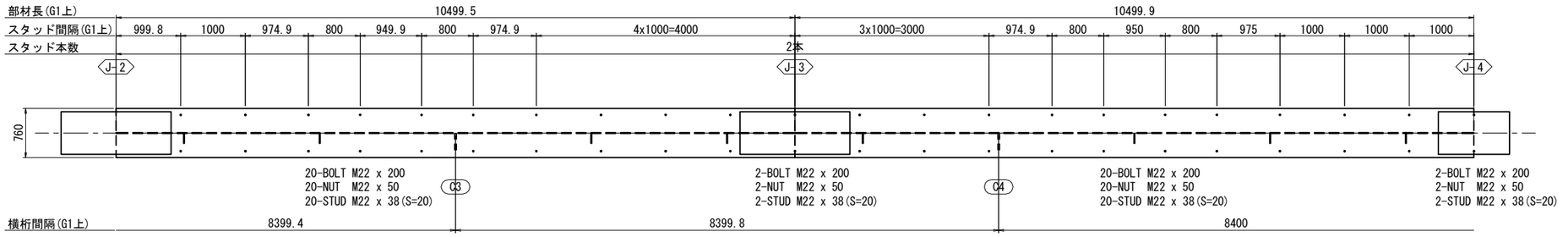
実 施

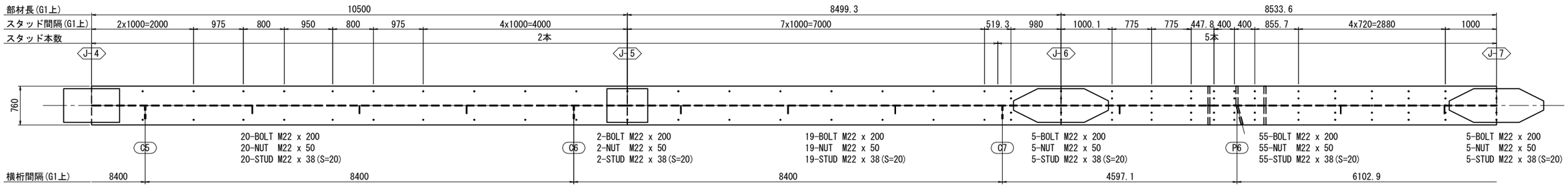
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 中間横桁		
縮尺	1:20,1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	53 / 212

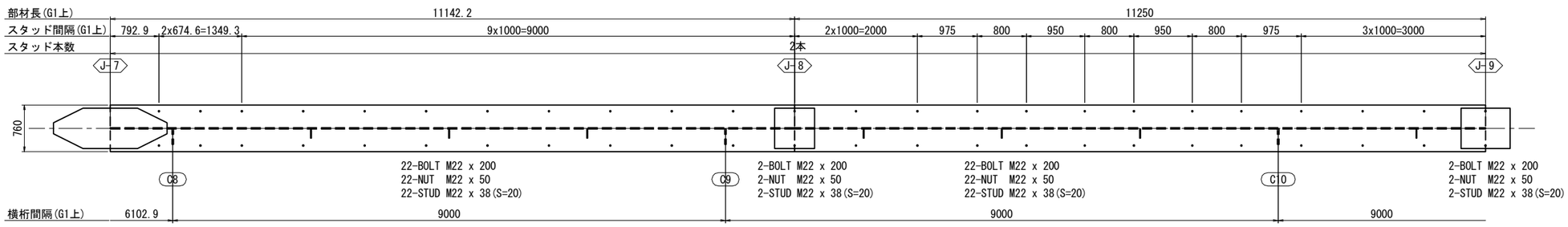
P5～P9 主桁スタッドジベル配置図（その1） S=1:40

G1桁(その1)









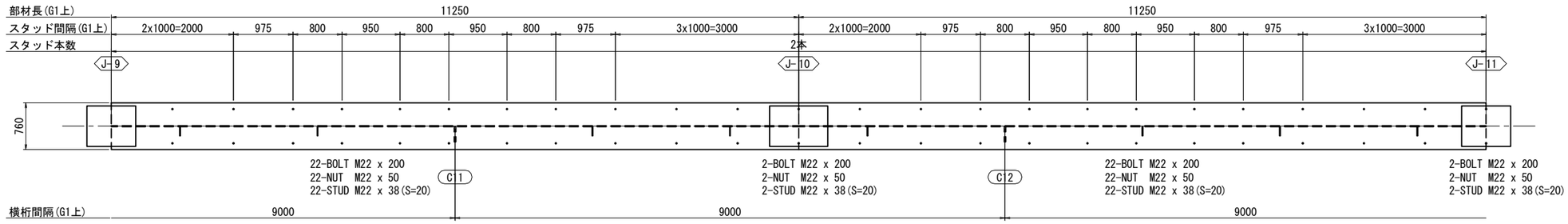
注 記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. スタッド詳細は「共通詳細図(その2)」を参照のこと。
3. Sは有効ネジ長を示す。

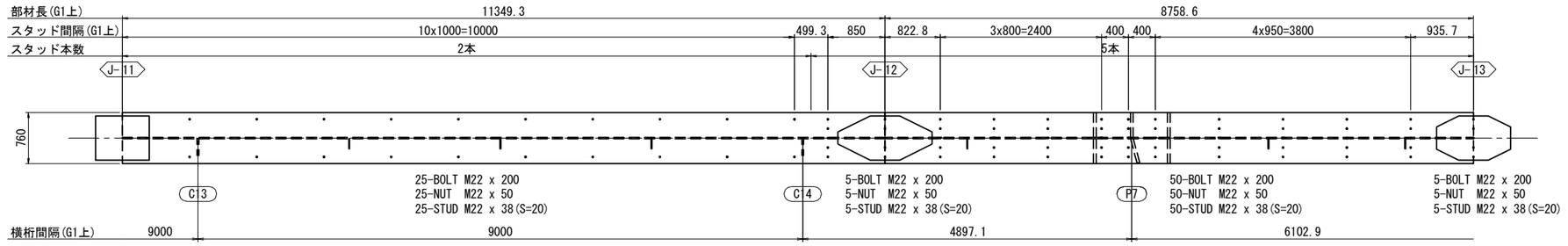
実 施

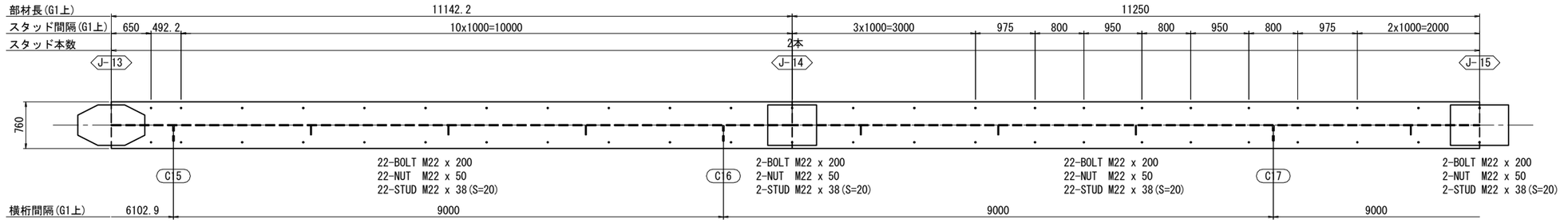
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	**P5～P9 主桁スタッドジベル配置図 (その1)**		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	54 / 212

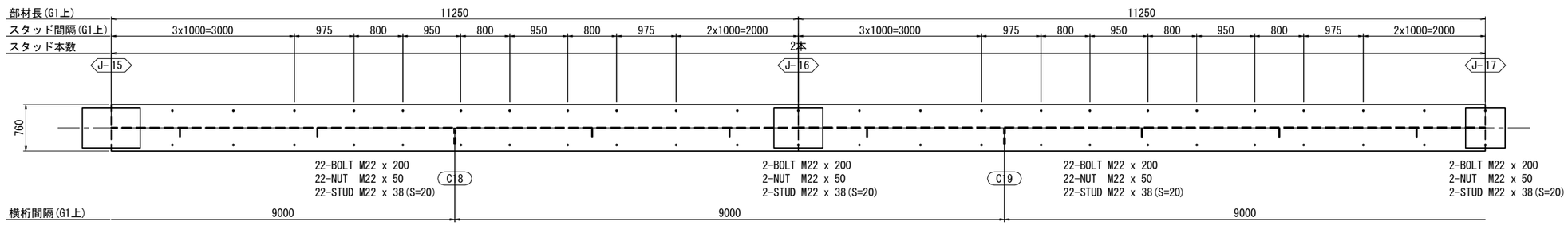
P5～P9 主桁スタッドジベル配置図（その2） S=1:40

G1桁(その2)









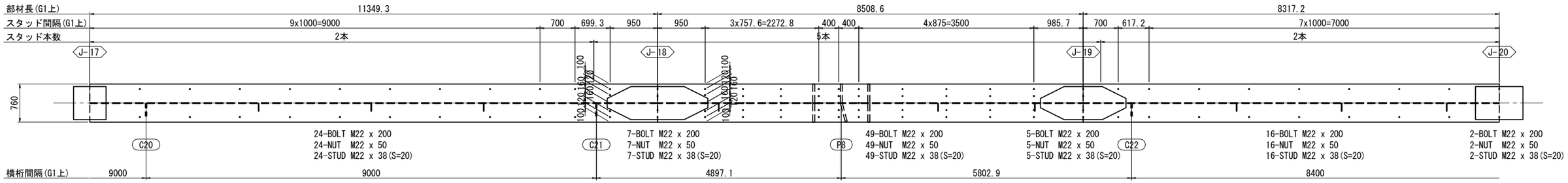
注 記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. スタッド詳細は「共通詳細図(その2)」を参照のこと。
3. Sは有効ネジ長を示す。

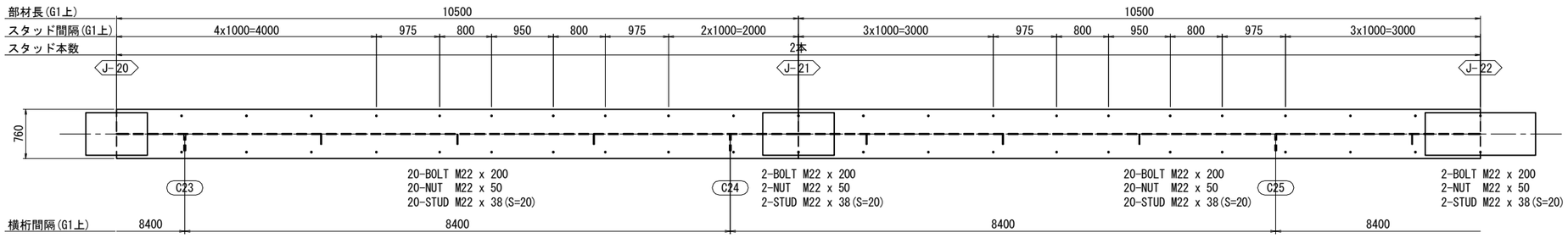
実 施

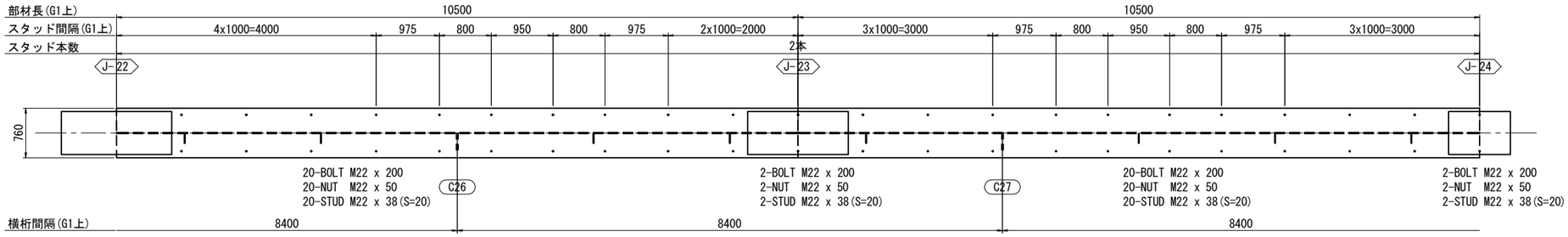
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 主桁スタッドジベル配置図 (その2)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	55 / 212

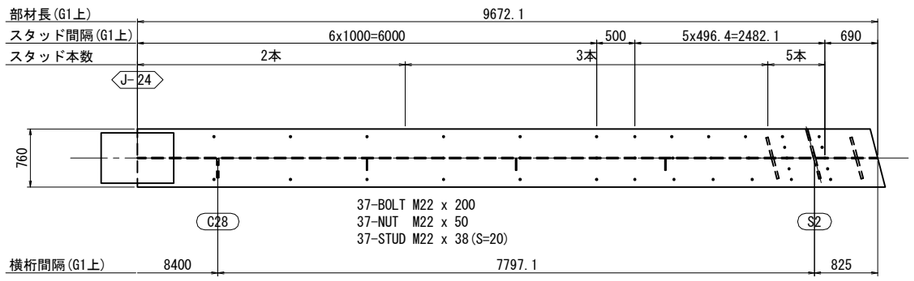
P5～P9 主桁スタッドジベル配置図（その3） S=1:40

G1桁(その3)









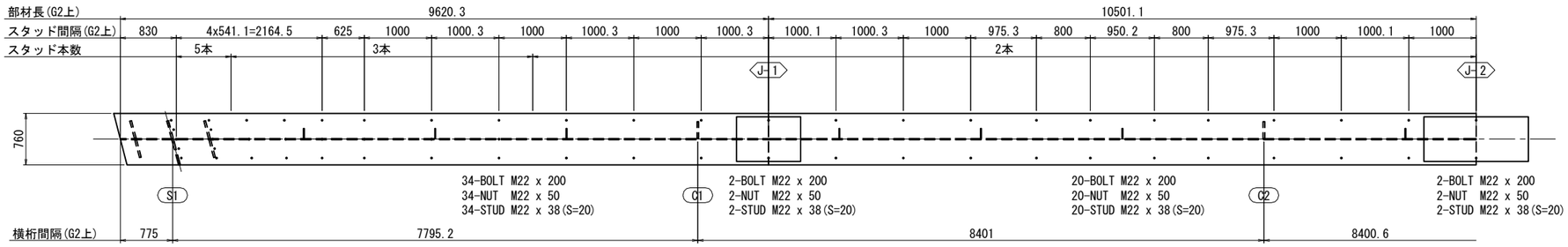
注 記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. スタッド詳細は「共通詳細図(その2)」を参照のこと。
3. Sは有効ネジ長を示す。

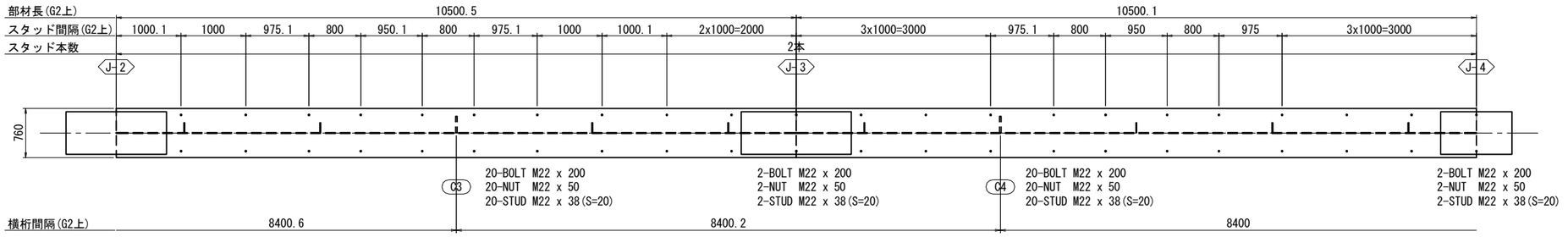
実 施

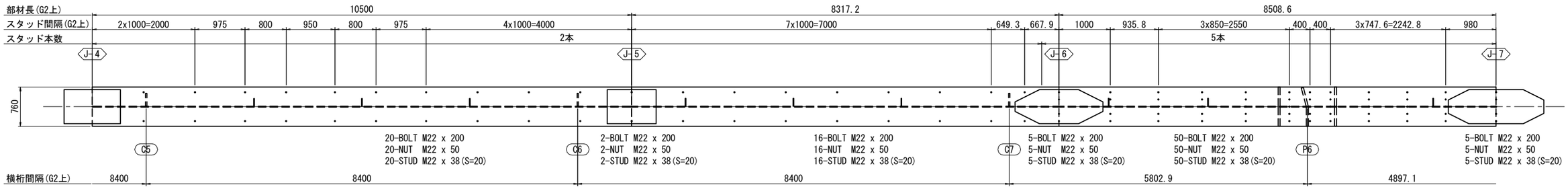
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 主桁スタッドジベル配置図 (その3)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	56 / 212

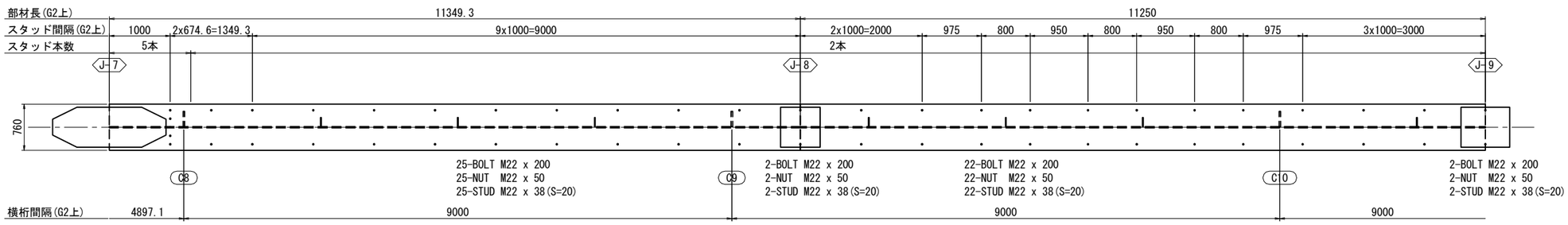
P5～P9 主桁スタッドジベル配置図（その4） S=1:40

G2桁（その1）









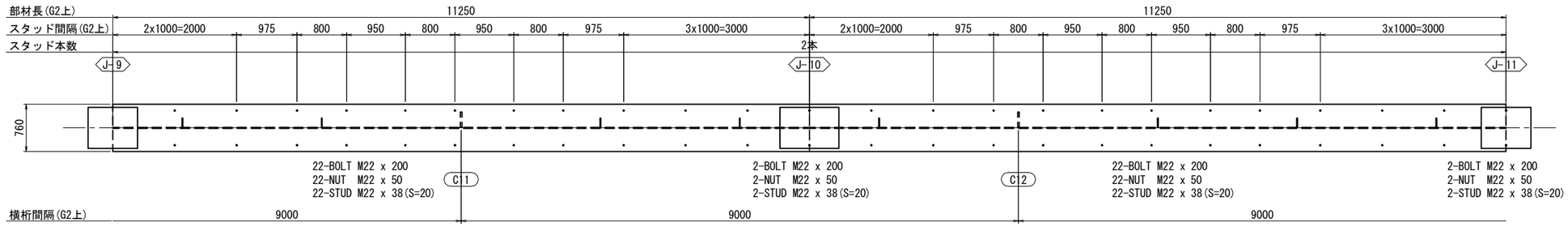
注 記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. スタッド詳細は「共通詳細図(その2)」を参照のこと。
3. Sは有効ネジ長を示す。

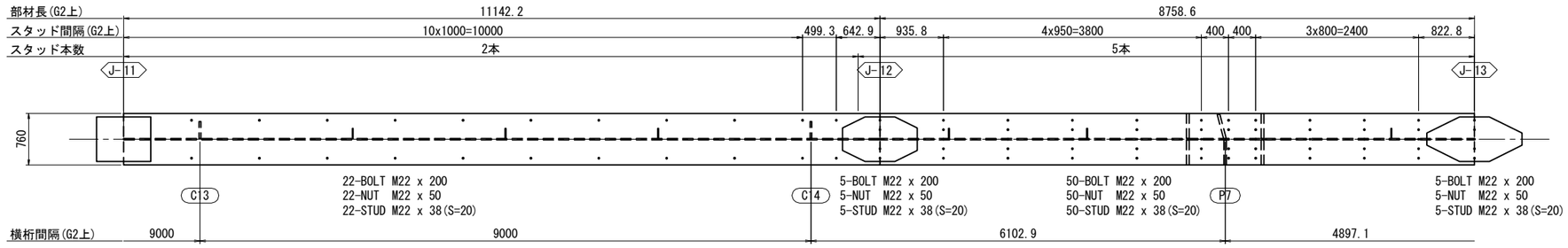
実 施

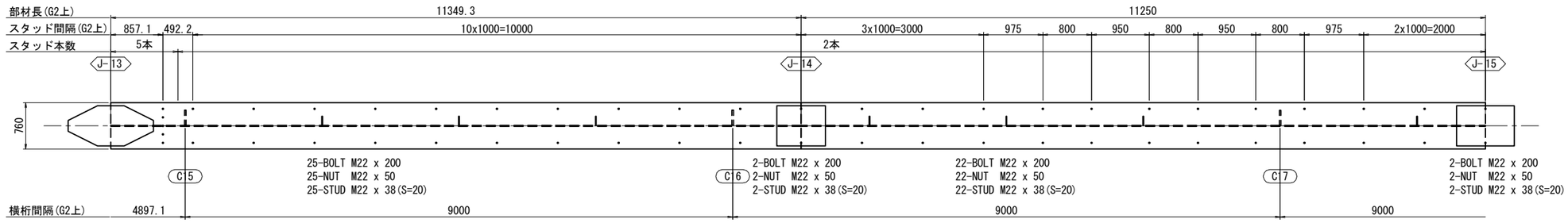
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	**P5～P9 主桁スタッドジベル配置図（その4）**		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	57 / 212

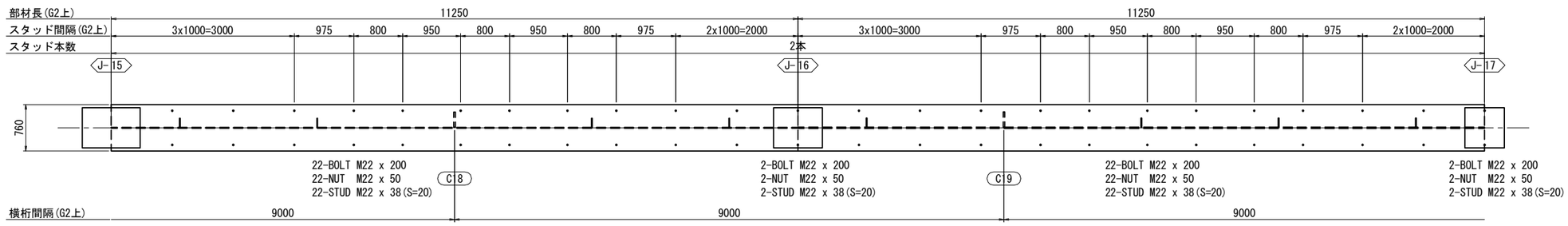
P5～P9 主桁スタッドジベル配置図（その5） S=1:40

G2桁(その2)









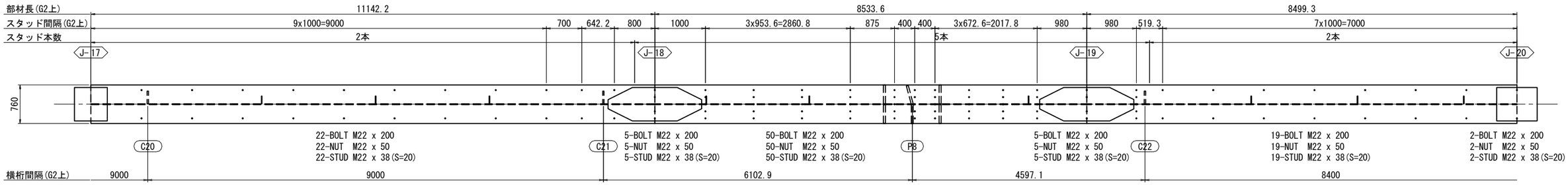
注 記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. スタッド詳細は「共通詳細図(その2)」を参照のこと。
3. Sは有効ネジ長を示す。

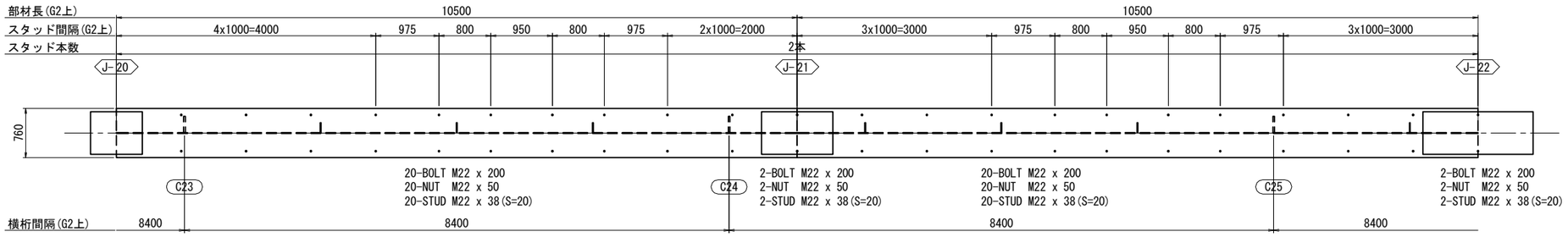
実 施

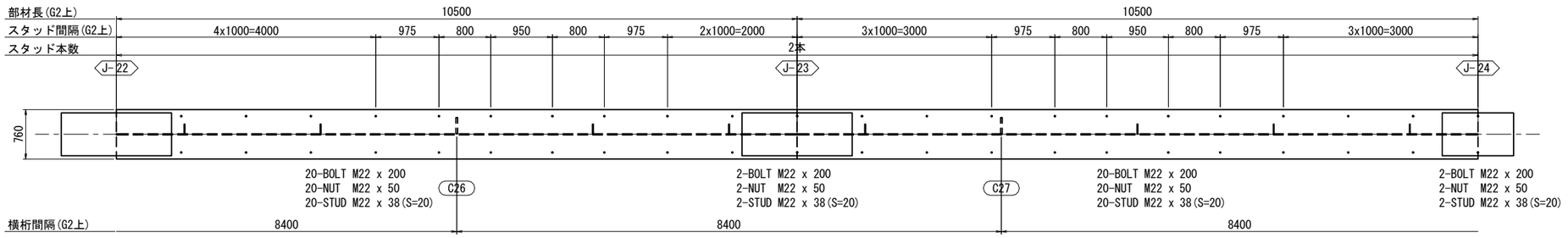
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	**P5～P9 主桁スタッドジベル配置図 (その5)**		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	58 / 212

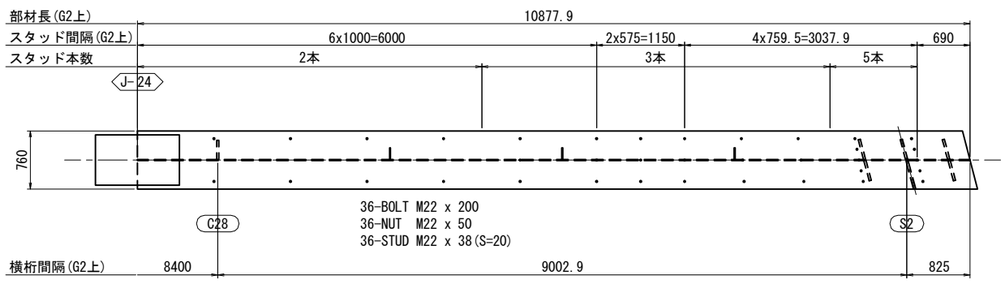
P5～P9 主桁スタッドジベル配置図（その6） S=1:40

G2桁(その3)









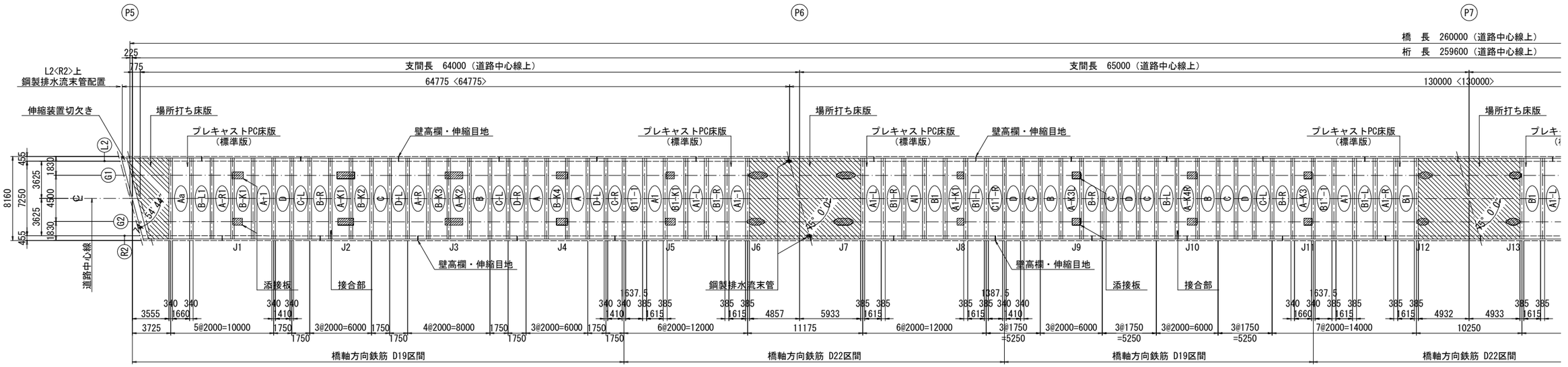
注 記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. スタッド詳細は「共通詳細図(その2)」を参照のこと。
3. Sは有効ネジ長を示す。

実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 主桁スタッドジベル配置図（その6）		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	59 / 212

P5～P9 PC床版割付

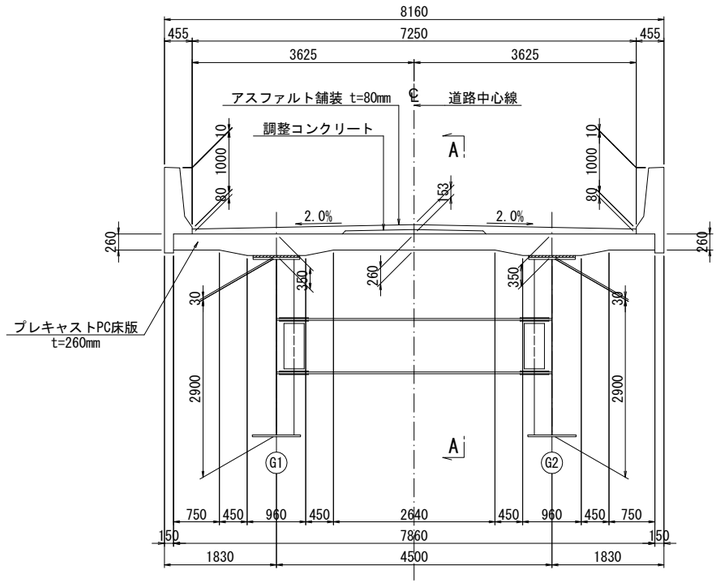
平　面　図　S=1:



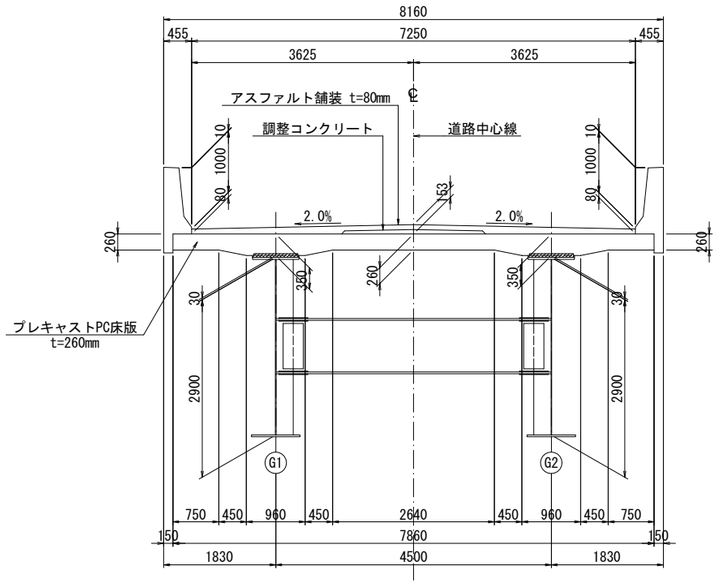
注）壁高欄・伸縮目地の配置寸法は、"壁高欄配筋図"を参照すること。

断　面　図　S=1:50

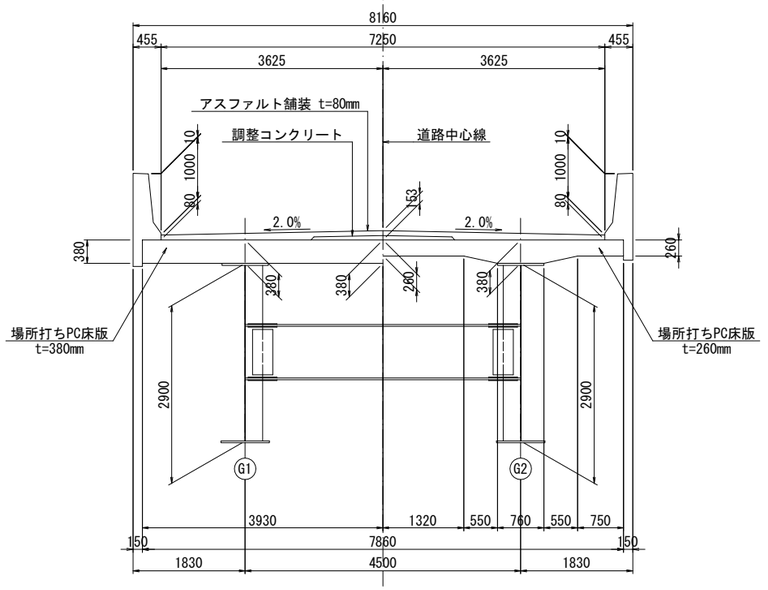
標 準 部



添接板用切欠き部

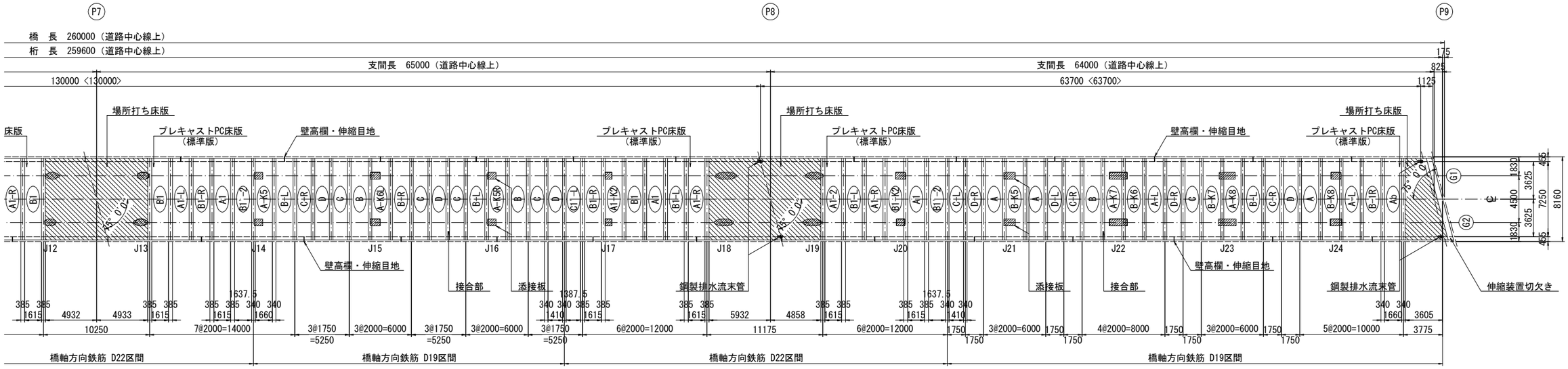


場所打ち床版部（P5, P9）　℄　場所打ち床版部（P6, P7, P8）



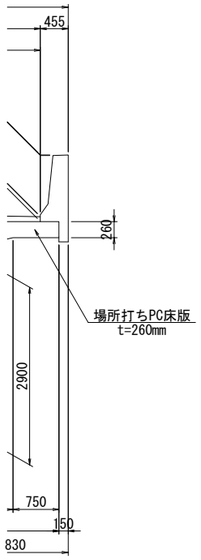
～P9 PC床版割付図

平　面　図　S=1:200

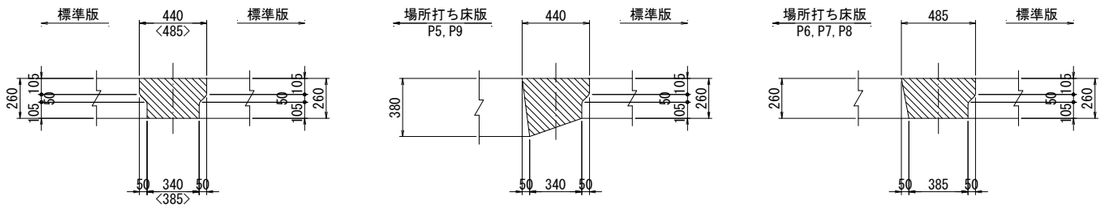


接　合　部　詳　細　図　S=1:20

（P6, P7, P8）



A － A



注）＜ ＞内は橋軸方向鉄筋 D22区間を示す。

床版数量表

版タイプ	枚 数	版タイプ	枚 数
橋軸方向鉄筋 D19		橋軸方向鉄筋 D22	
A	5	A1	6
A-1	1	A1-L	3
A-L	2	A1-R	3
A-R	1	A1-1	1
A-R1	1	A1-2	1
Aa	1	A1-K1	1
Ab	1	A1-K2	1
A-K1	1	B1	4
A-K2	1	B1-L	4
A-K3	1	B1-R	4
A-K3L	1	B1-K1	1
A-K4R	1	B1-K2	1
A-K5	1	B1'-1	2
A-K5R	1	B1'-2	2
A-K6L	1	C1'-R	1
A-K7	1	C1'-L	1
A-K8	1		
B	6		
B-L	4		
B-L1	1		
B-R	4		
B-1R	1		
B-K1	1		
B-K2	1		
B-K3	1		
B-K4	1		
B-K5	1		
B-K6	1		
B-K7	1		
B-K8	1		
C	10		
C-L	4		
C-R	4		
D	8		
D-L	3		
D-R	3		
小 計	78	小 計	36
		合 計	114

コンクリート、無収縮モルタルの種類

部材（部位）	種　　類
プレキャストPC床版	σck=50N/mm^2
場所打ちPC床版	σck=50N/mm^2（早強、膨張材使用）
接 合 部	σck=50N/mm^2（早強、膨張材使用）
スタッドジベル用孔充填部	σck=50N/mm^2（早強、膨張材使用）
床版と主桁の接合部	無収縮モルタル（プレミックス製品）

凡　例

-K　：添接板用切欠き版
-L　：左側壁高欄・伸縮目地配置版
-R　：右側壁高欄・伸縮目地配置版

実　施

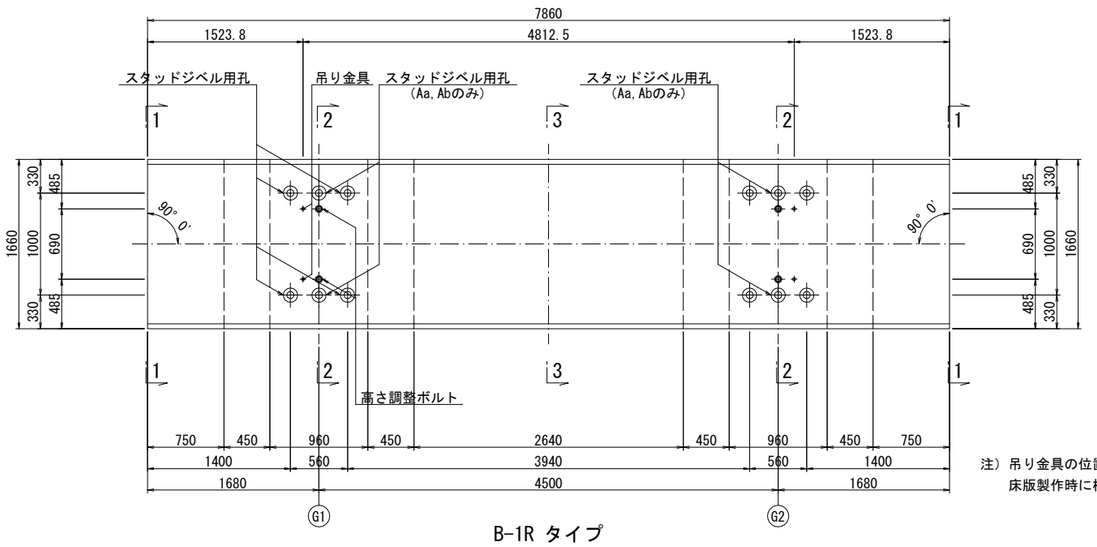
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版割付図		
縮　尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮　城　県		図番	60 / 212

P5～P9 PC床版構造図（その１）　S=1:30

A , A-1 , A-L , A-R , A-R1 , Aa , Ab , B , B-L , B-L1 , B-R , B-1R タイプ

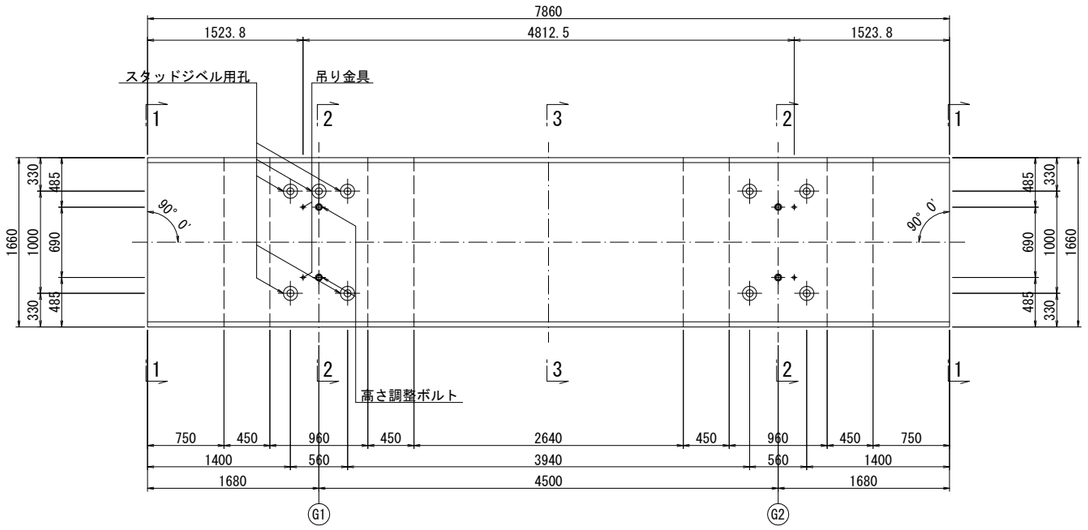
平　面　図

A, A-1, A-L, A-R, A-R1, Aa, Ab, B, B-L, B-L1, B-R タイプ

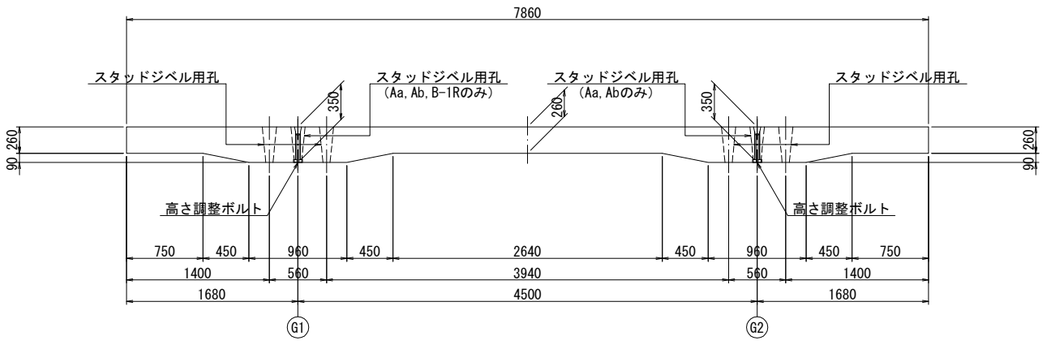


注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。

B-1R タイプ

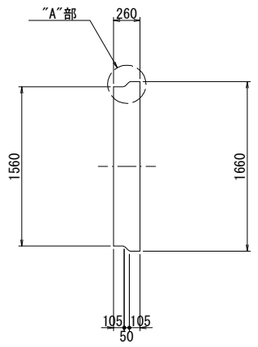


断　面　図

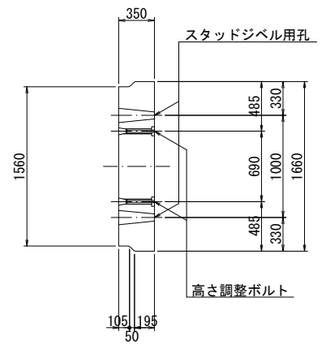


側　面　図

1-1, 3-3

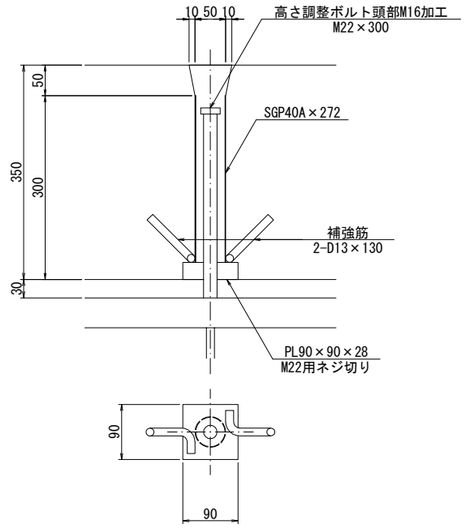


2-2

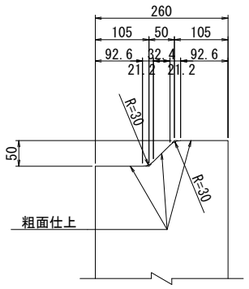


高さ調整ボルト詳細図　S=1:5

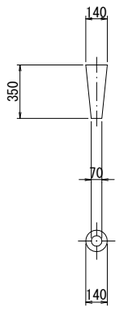
（床版1枚当り4組使用）



"A" 部 詳 細 図　S=1:6



スタッドジベル用孔詳細図　S=1:20



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

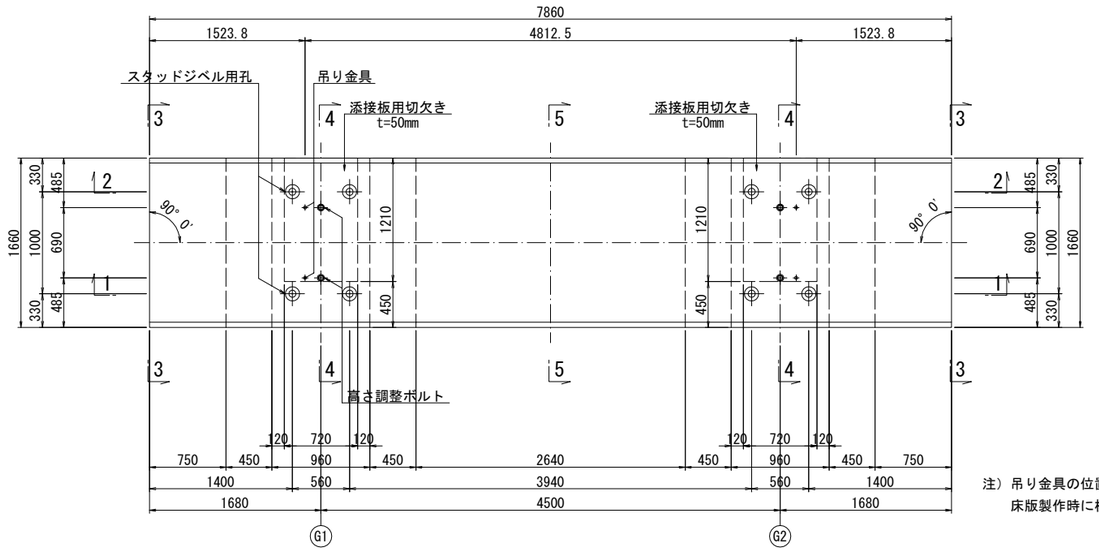
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版構造図（その１）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	61 / 212

P5～P9 PC床版構造図（その２）　S=1:30

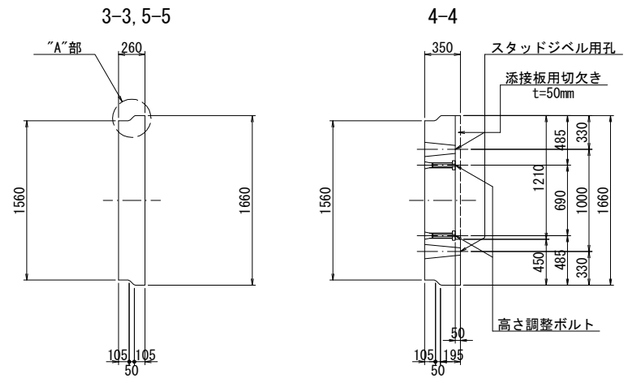
A-K7 タイプ

平　面　図



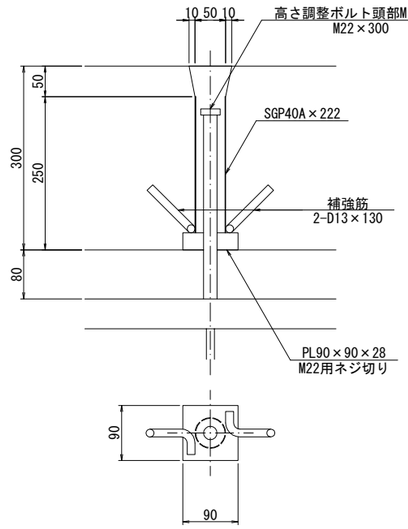
注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。

側　面　図

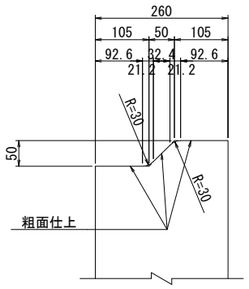


高さ調整ボルト詳細図　S=1:5

（床版1枚当り4組使用）

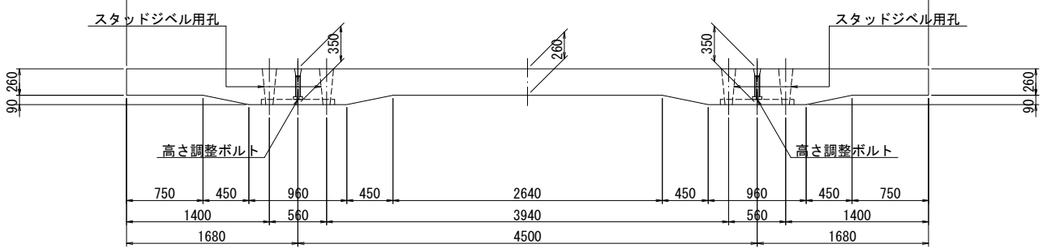


"A" 部 詳 細 図　S=1:6

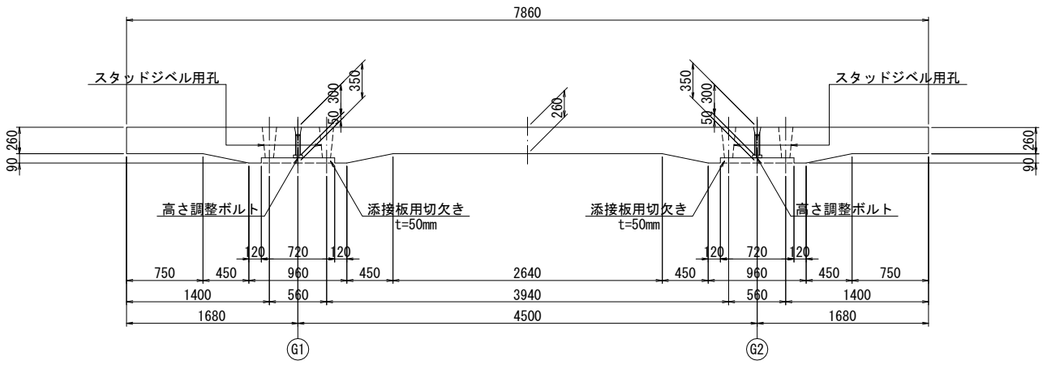


断　面　図

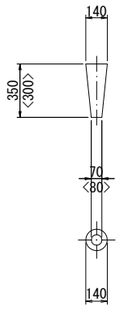
1-1



2-2



スタッドジベル用孔詳細図　S=1:20



注）〈 〉内は添接板用切欠き部を示す。

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

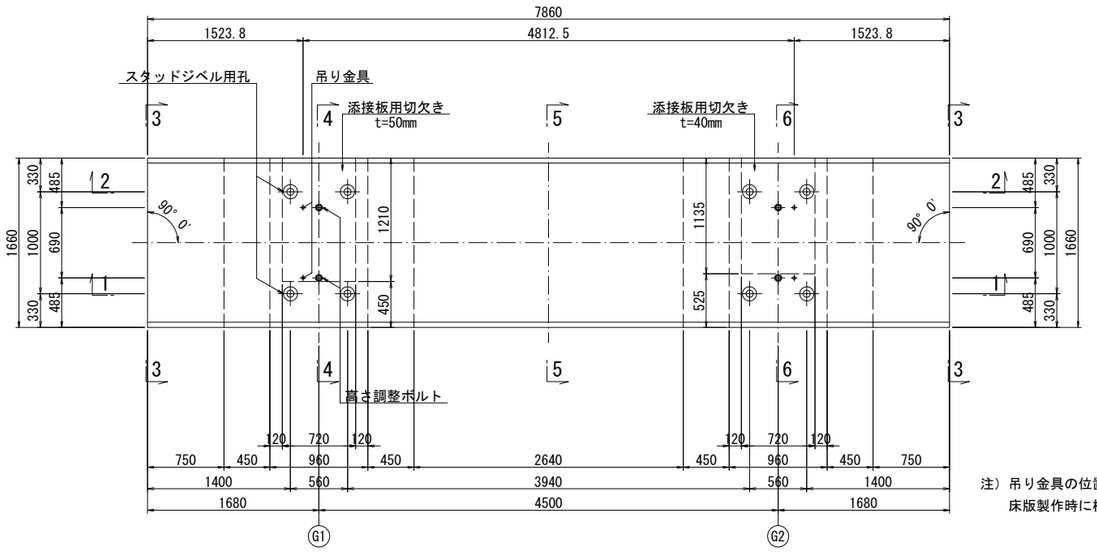
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版構造図（その２）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	62 / 212

P5～P9 PC床版構造図（その３）　S=1:30

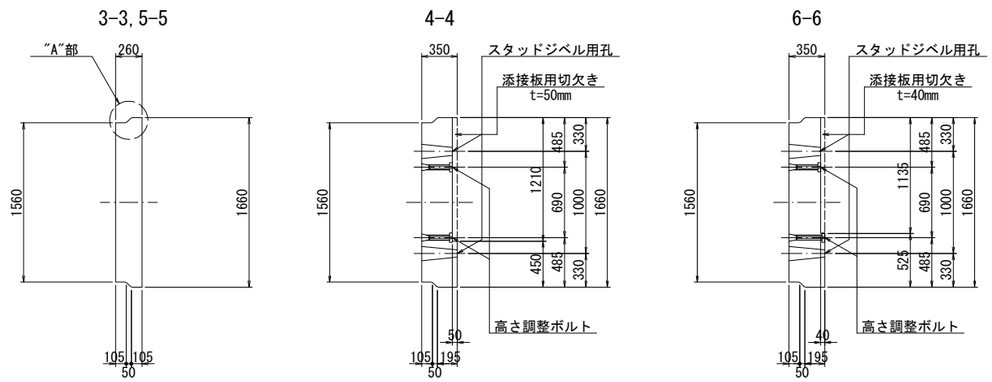
A-K1 タイプ

平　面　図



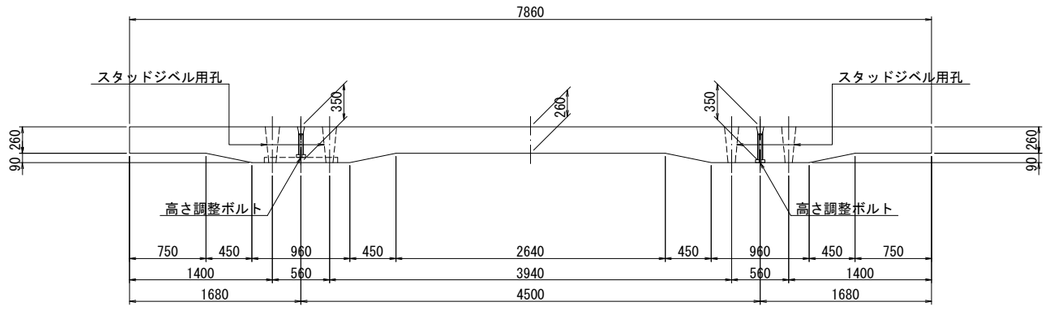
注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。

側　面　図

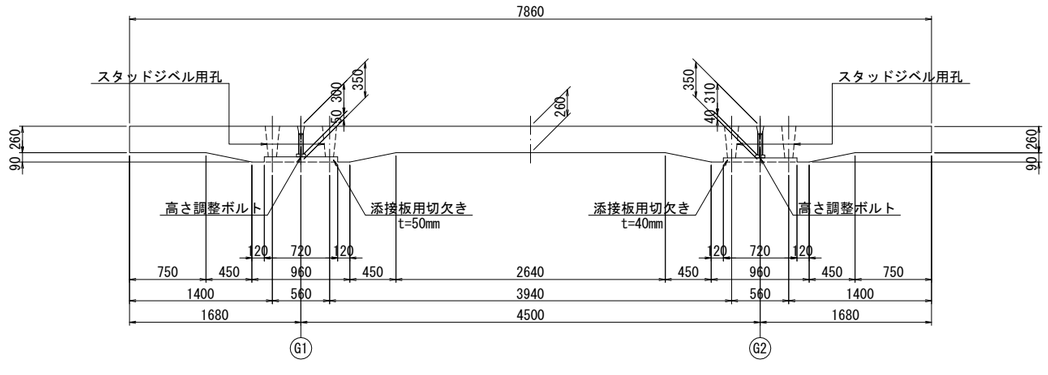


断　面　図

1-1

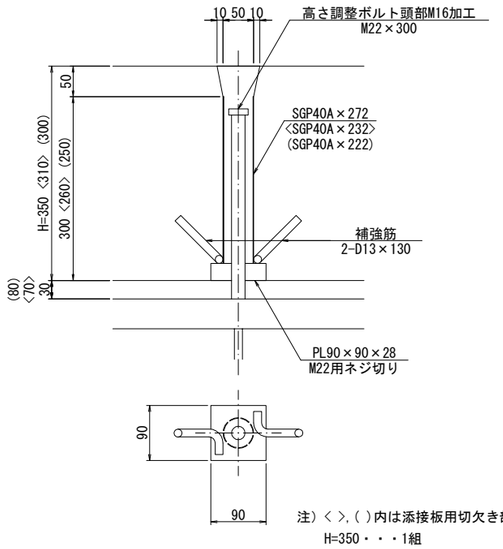


2-2



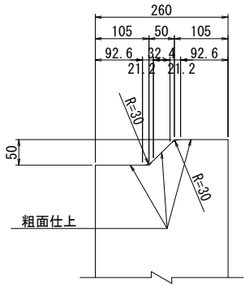
高さ調整ボルト詳細図　S=1:5

（床版1枚当り4組使用）

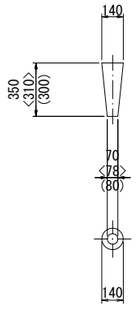


注）〈 〉,( )内は添接板用切欠き部を示す。
H=350・・・1組
H=310・・・1組
H=300・・・2組

"A" 部 詳 細 図　S=1:6



スタッドジベル用孔詳細図　S=1:20



注）〈 〉,( )内は添接板用切欠き部を示す。

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

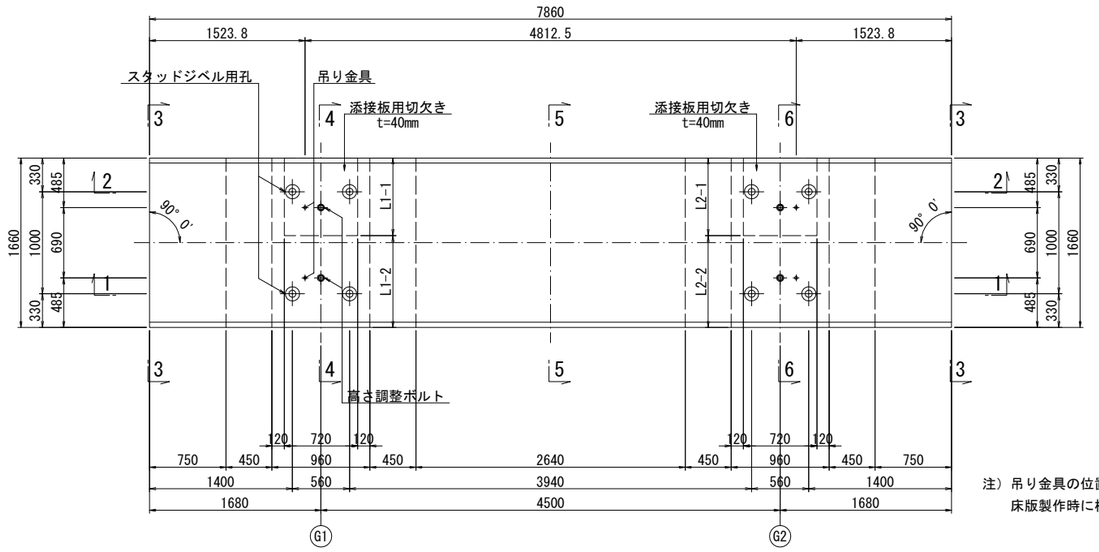
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版構造図（その３）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	63 / 212

P5～P9 PC床版構造図（その４）　S=1:30

A-K3 ， A-K3L ， A-K4R ， B-K4 ， B-K8 タイプ

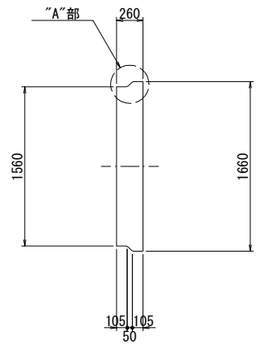
平　面　図



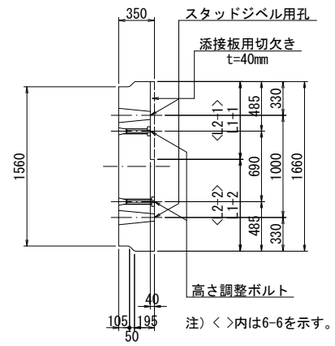
注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。

側　面　図

3-3, 5-5



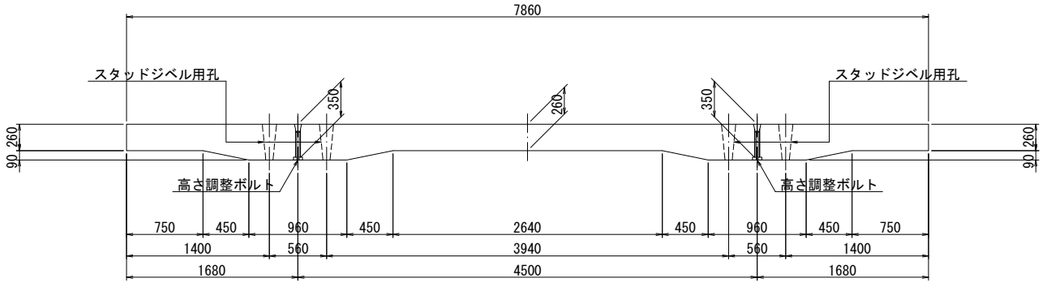
4-4, 6-6



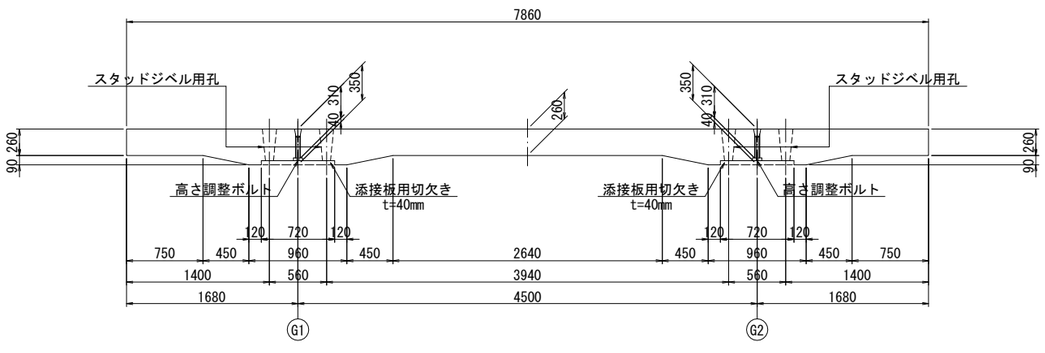
注）< >内は6-6を示す。

断　面　図

1-1



2-2



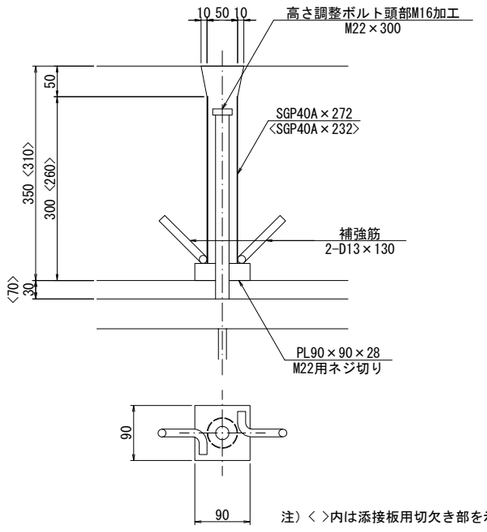
寸　法　表

(mm)

	L1-1	L1-2	L2-1	L2-2		L1-1	L1-2	L2-1	L2-2
A-K3, A-K3L	760	900	760	900	B-K4	910	750	910	750
A-K4R	835	825	835	825	B-K8	835	825	910	750

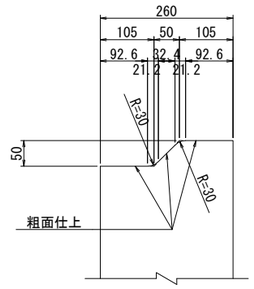
高さ調整ボルト詳細図　S=1:5

（床版1枚当り各2組使用）

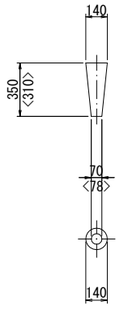


注）< >内は添接板用切欠き部を示す。

"A" 部 詳 細 図　S=1:6



スタッドジベル用孔詳細図　S=1:20



注）< >内は添接板用切欠き部を示す。

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

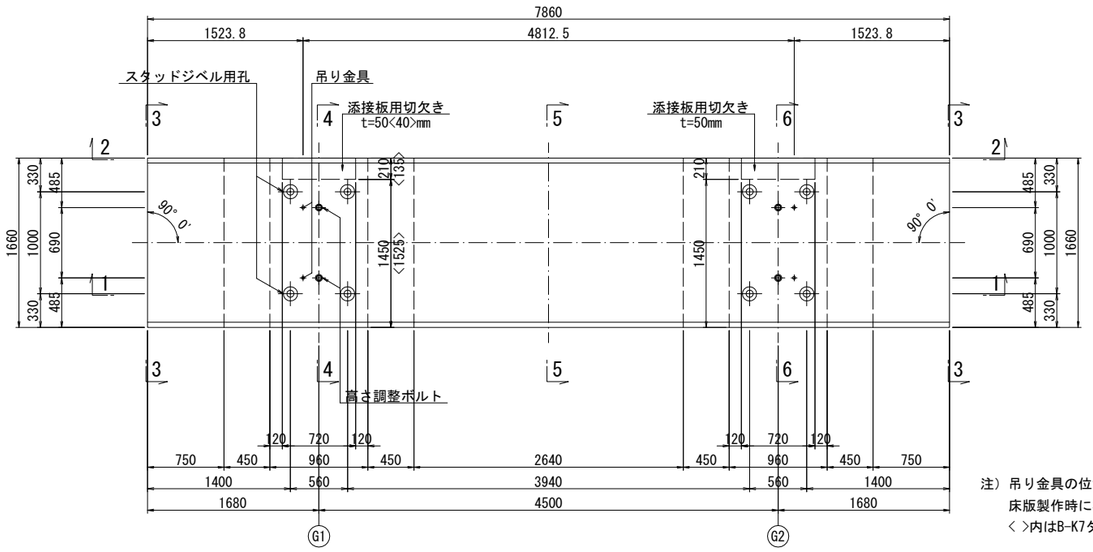
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版構造図（その４）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	64 / 212

P5～P9 PC床版構造図（その５）　S=1:30

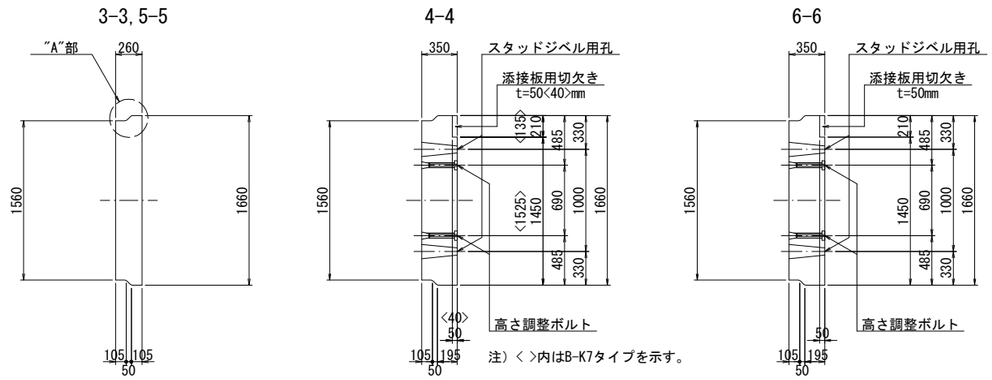
B-K3 , B-K7 タイプ

平　面　図



注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。
< >内はB-K7タイプを示す。

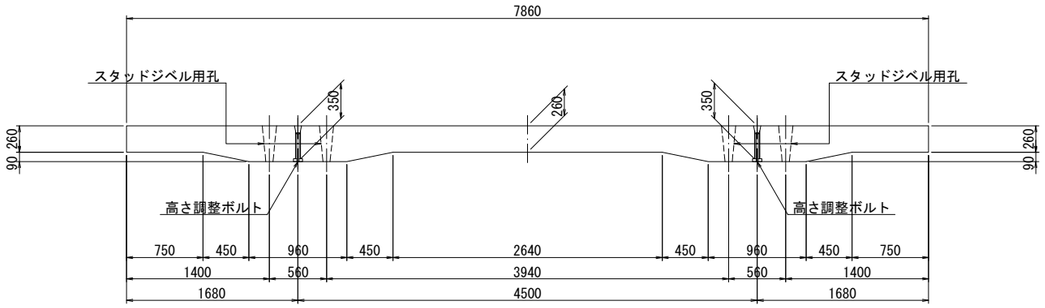
側　面　図



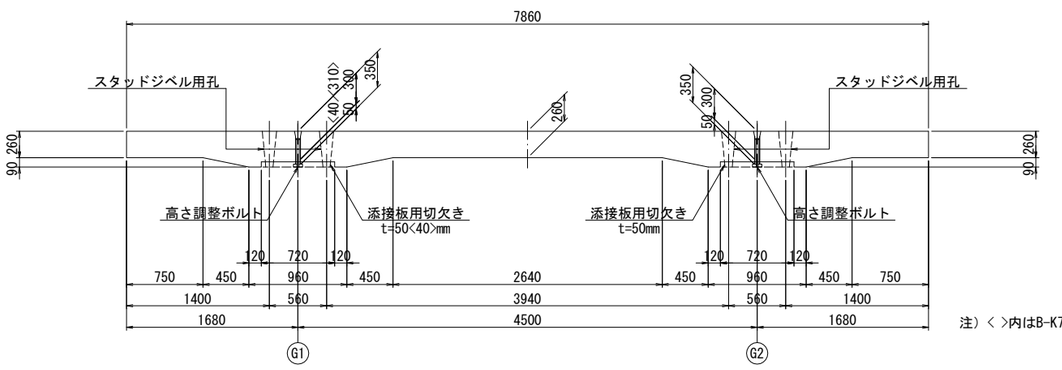
注）< >内はB-K7タイプを示す。

断　面　図

1-1



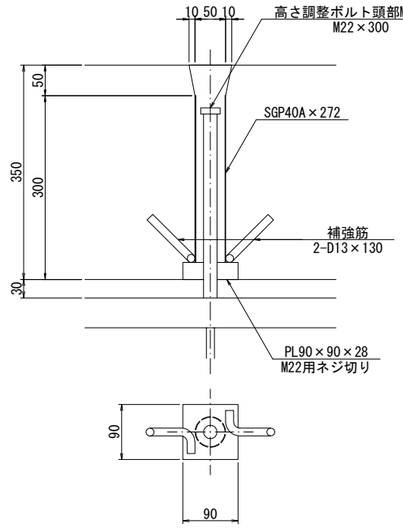
2-2



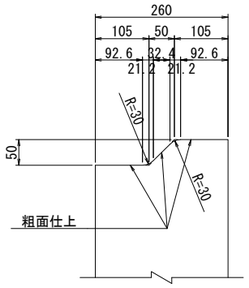
注）< >内はB-K7タイプを示す。

高さ調整ボルト詳細図　S=1:5

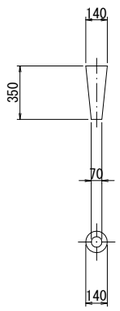
（床版1枚当り4組使用）



"A" 部 詳 細 図　S=1:6



スタッドジベル用孔詳細図　S=1:20



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

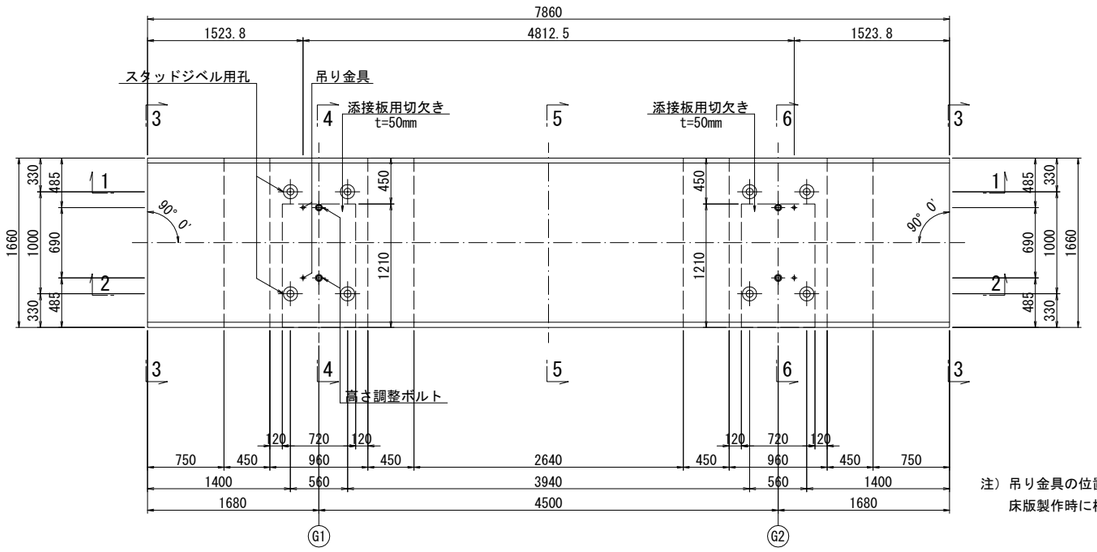
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版構造図（その５）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	65 / 212

P5～P9 PC床版構造図（その６）　S=1:30

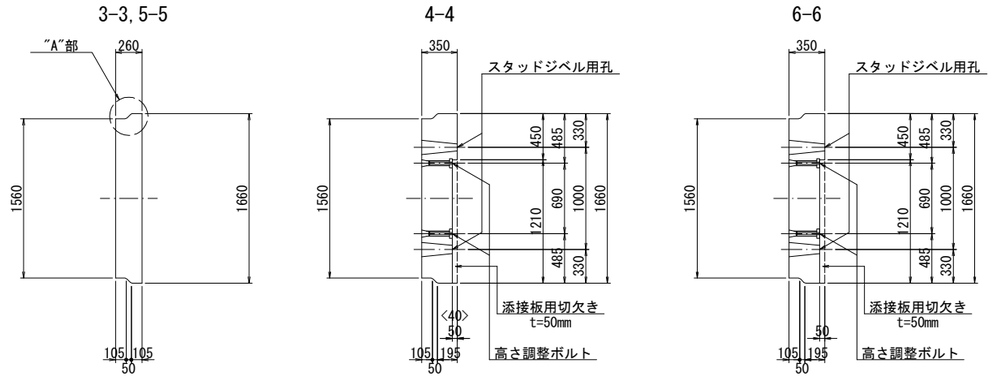
A-K2 タイプ

平　面　図



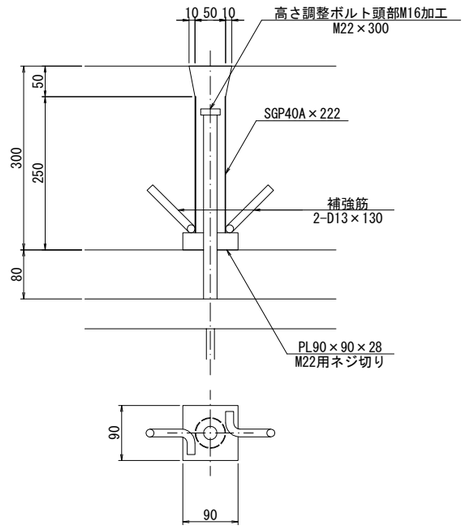
注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。

側　面　図

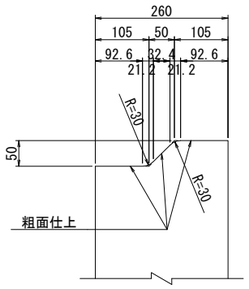


高さ調整ボルト詳細図　S=1:5

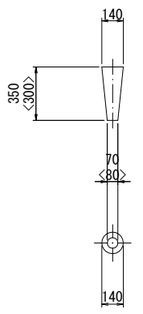
（床版1枚当り4組使用）



"A" 部 詳 細 図　S=1:6



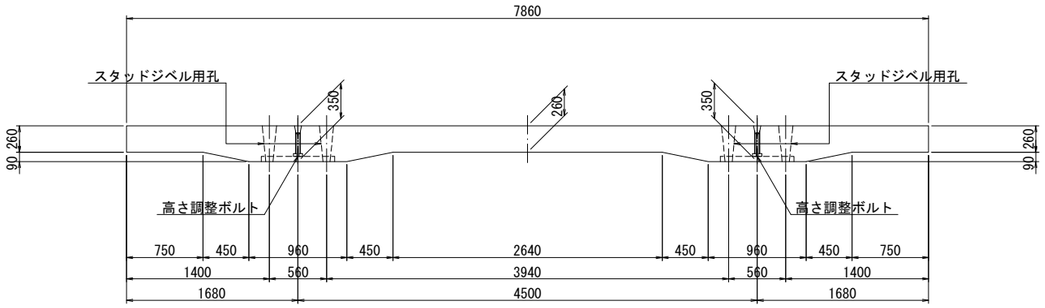
スタッドジベル用孔詳細図　S=1:20



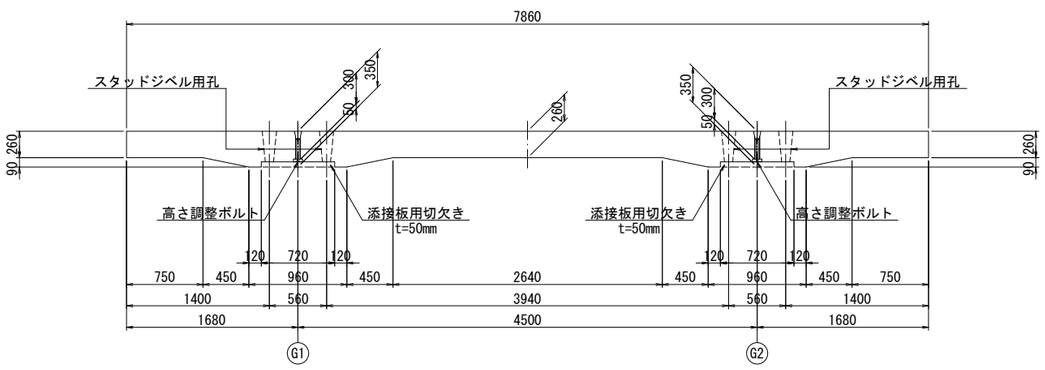
注）〈 〉内は添接板用切欠き部を示す。

断　面　図

1-1



2-2



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

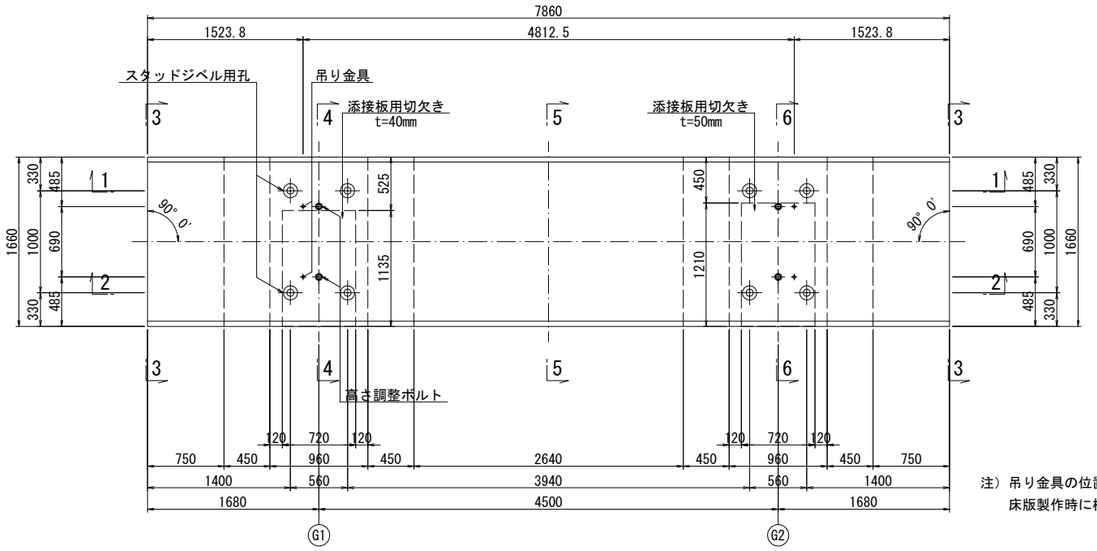
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版構造図（その６）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	66 / 212

P5～P9 PC床版構造図（その７）　S=1:30

A-K8 タイプ

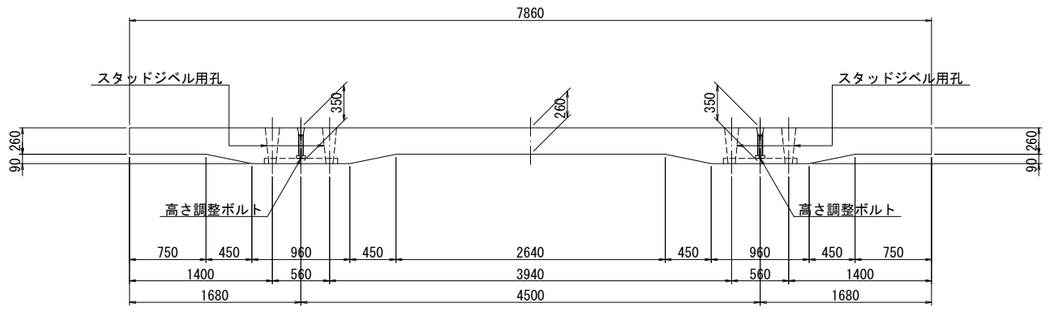
平　面　図



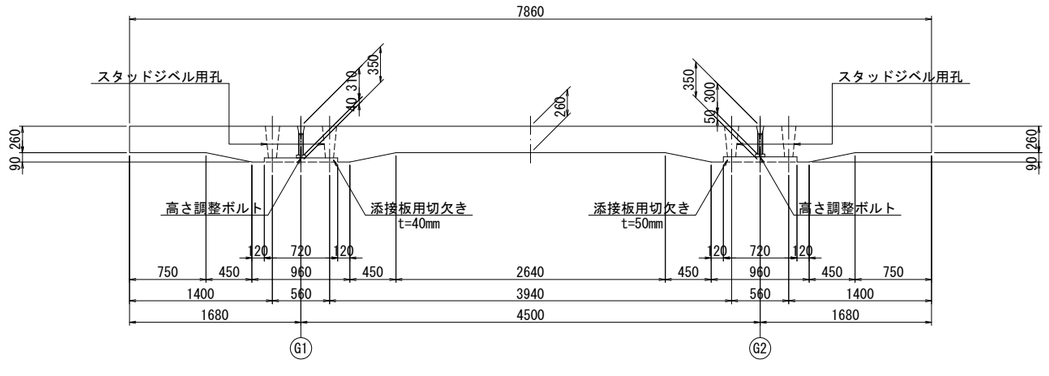
注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。

断　面　図

1-1

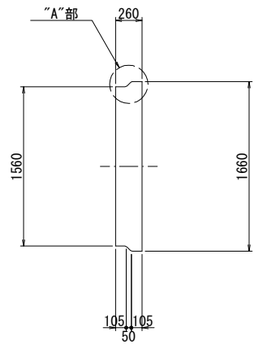


2-2

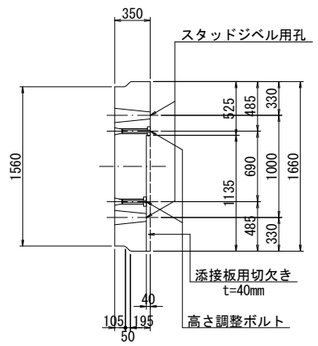


側　面　図

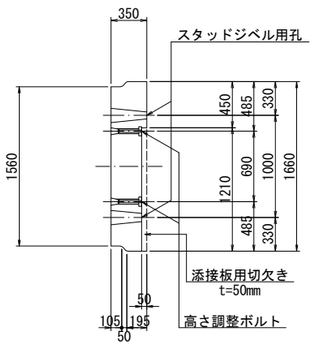
3-3, 5-5



4-4

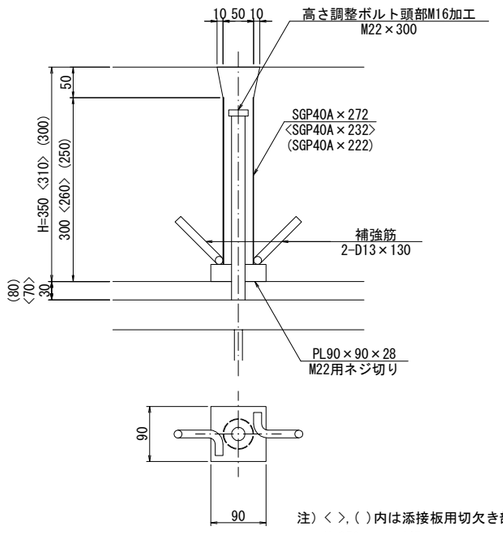


6-6



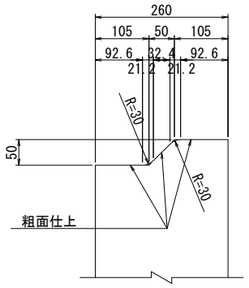
高さ調整ボルト詳細図　S=1:5

（床版1枚当り4組使用）

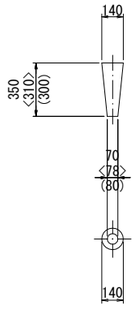


注）〈 〉,( )内は添接板用切欠き部を示す。
H=350・・・1組
H=310・・・1組
H=300・・・2組

"A" 部 詳 細 図　S=1:6



スタッドジベル用孔詳細図　S=1:20



注）〈 〉,( )内は添接板用切欠き部を示す。

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

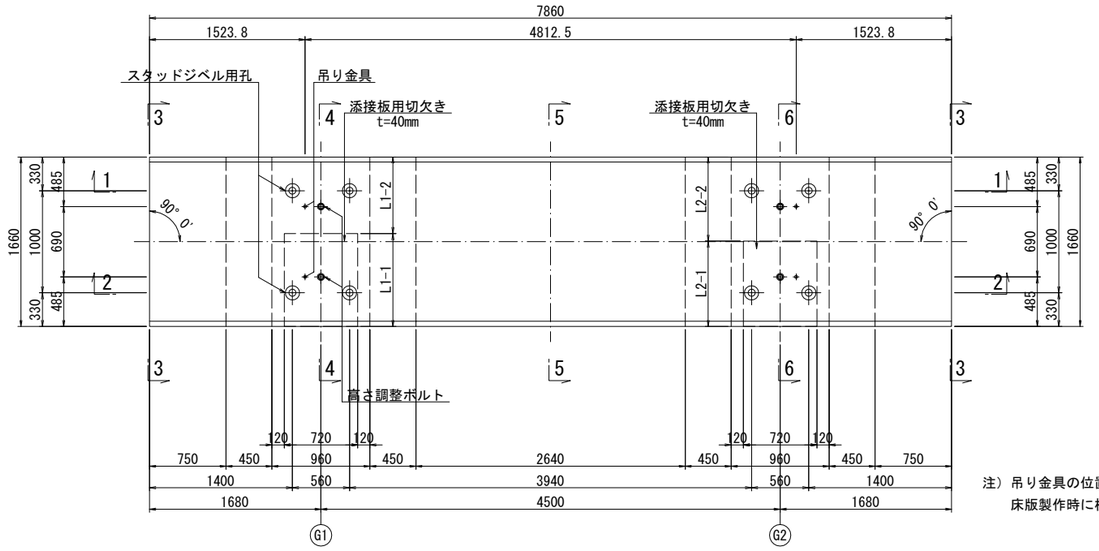
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版構造図（その７）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	67 / 212

P5～P9 PC床版構造図（その８）　S=1:30

A-K5 ， A-K5R ， A-K6L ， B-K1 ， B-K5 タイプ

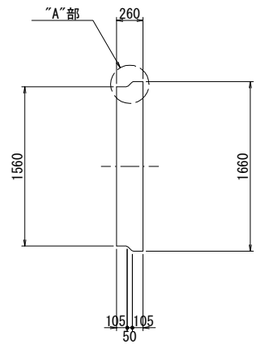
平　面　図



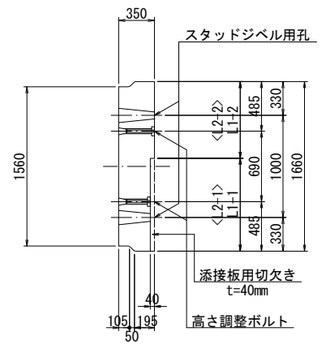
注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。

側　面　図

3-3, 5-5



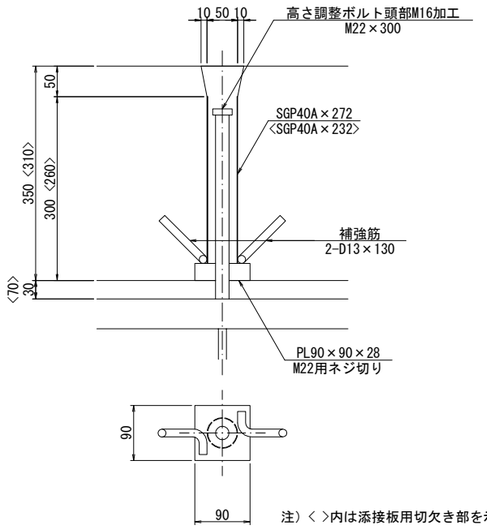
4-4, 6-6



注）< >内は6-6を示す。

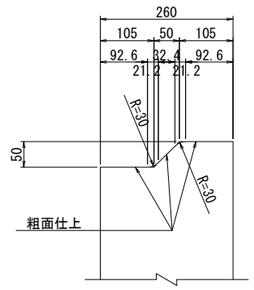
高さ調整ボルト詳細図　S=1:5

（床版1枚当り各2組使用）

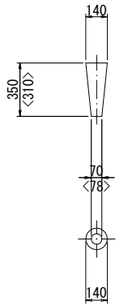


注）< >内は添接板用切欠き部を示す。

"A" 部 詳 細 図　S=1:6



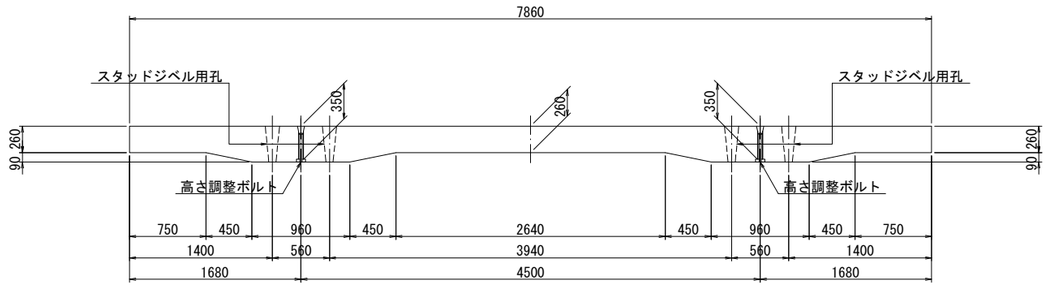
スタッドジベル用孔詳細図　S=1:20



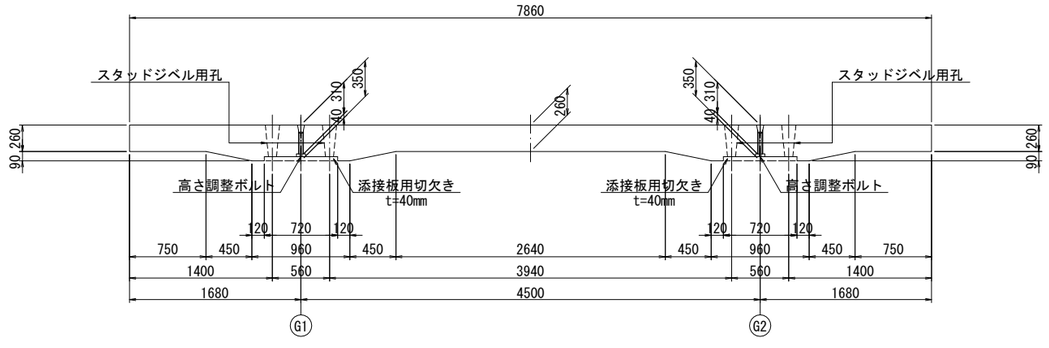
注）< >内は添接板用切欠き部を示す。

断　面　図

1-1



2-2



寸　法　表

(mm)

	L1-1	L1-2	L2-1	L2-2		L1-1	L1-2	L2-1	L2-2
A-K5, A-K5R	760	900	760	900	B-K1	910	750	835	825
A-K6L	835	825	835	825	B-K5	910	750	910	750

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

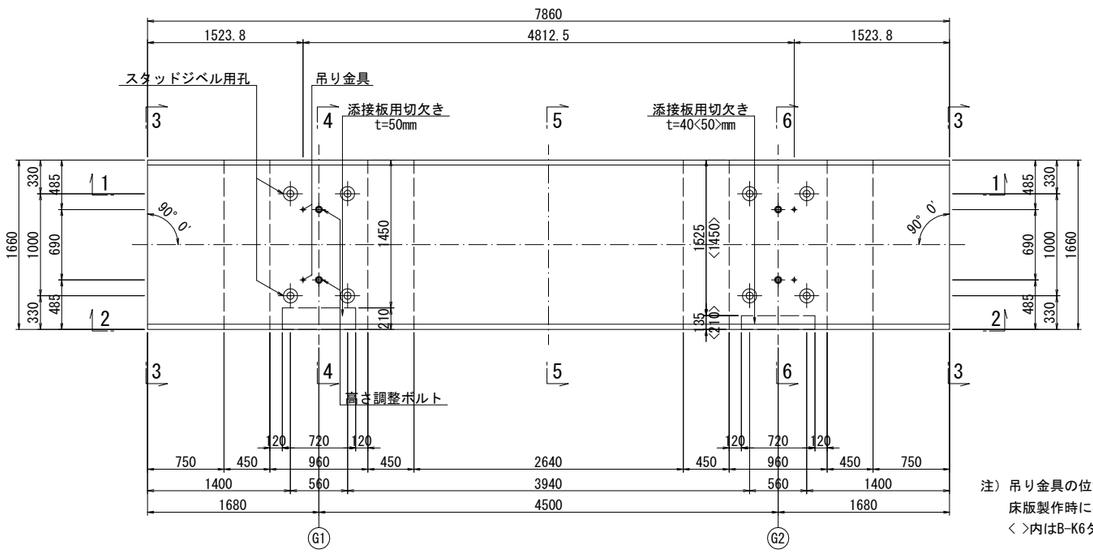
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版構造図（その８）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	68 / 212

P5～P9 PC床版構造図（その９）　S=1:30

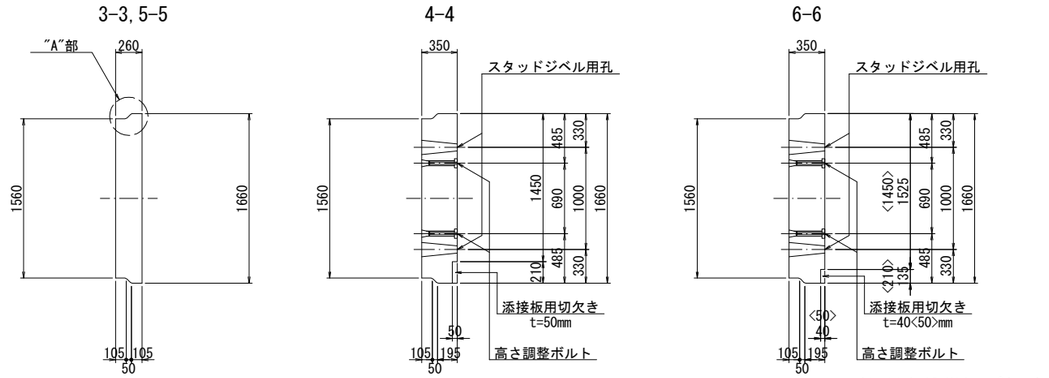
(B-K2) , (B-K6) タイプ

平　面　図



注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。
< >内はB-K6タイプを示す。

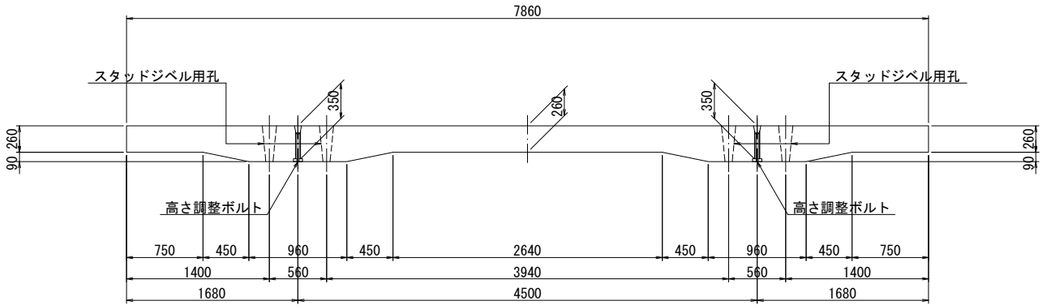
側　面　図



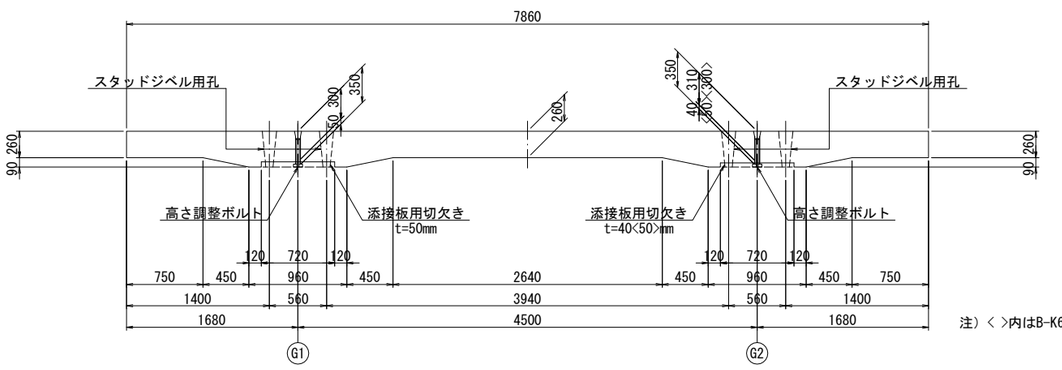
注）< >内はB-K6タイプを示す。

断　面　図

1-1



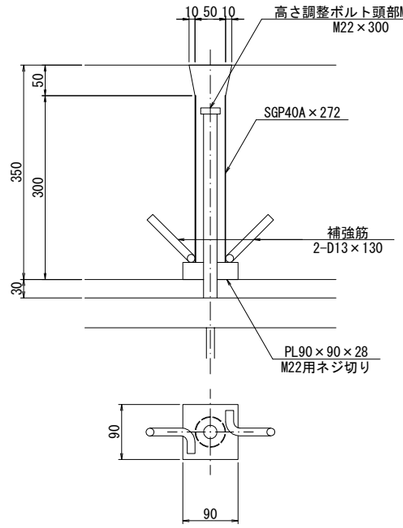
2-2



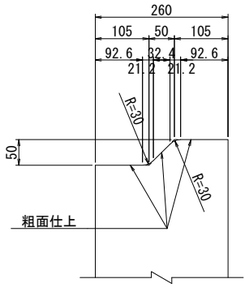
注）< >内はB-K6タイプを示す。

高さ調整ボルト詳細図　S=1:5

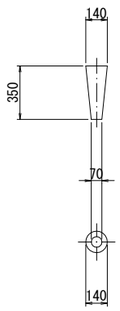
（床版1枚当り4組使用）



"A" 部 詳 細 図　S=1:6



スタッドジベル用孔詳細図　S=1:20



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

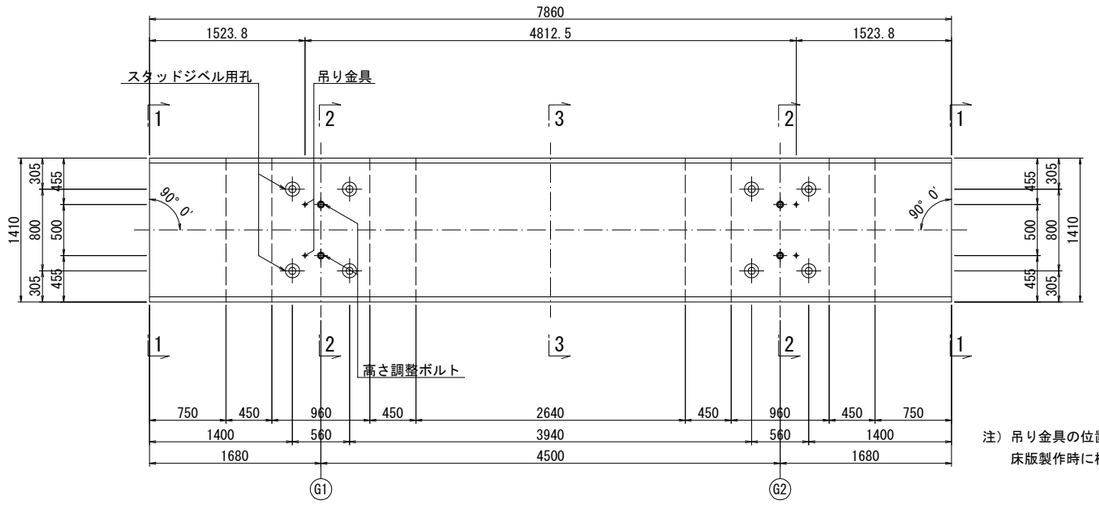
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版構造図（その９）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	69 / 212

P5～P9 PC床版構造図（その１０）　S=1:30

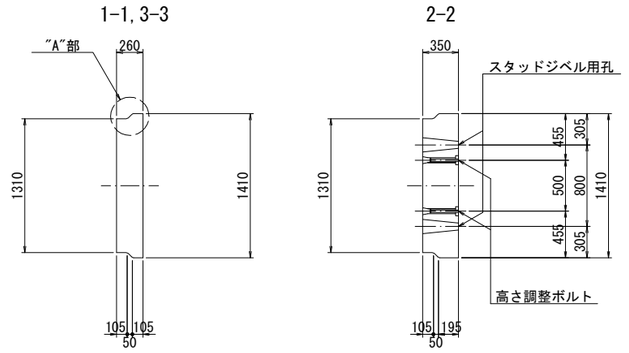
C , C-L , C-R , D , D-L , D-R タイプ

平　面　図

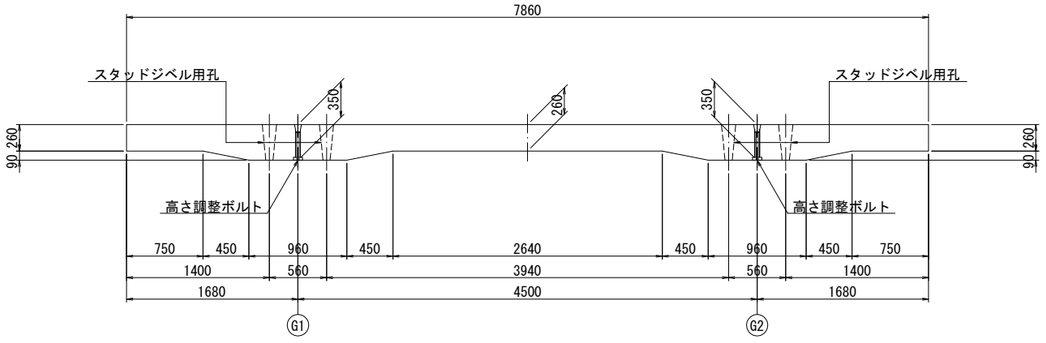


注）吊り金具の位置は参考とする。
　　床版製作時に検討すること。

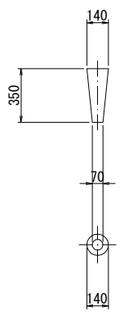
側　面　図



断　面　図

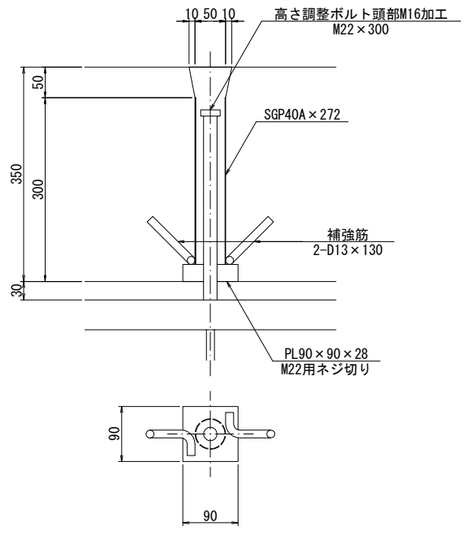


スタッドジベル用孔詳細図　S=1:20

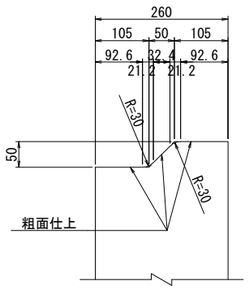


高さ調整ボルト詳細図　S=1:5

（床版1枚当り4組使用）



"A" 部 詳 細 図　S=1:6



注）床版の配置位置については
　　"PC床版割付図"を参照すること。

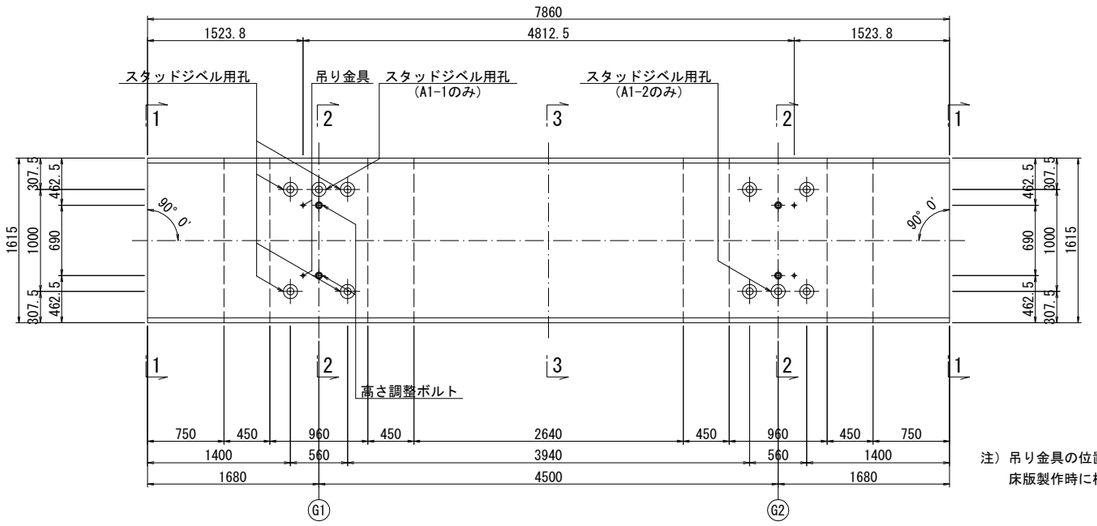
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版構造図（その１０）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	70 / 212

P5～P9 PC床版構造図（その１１） S=1:30

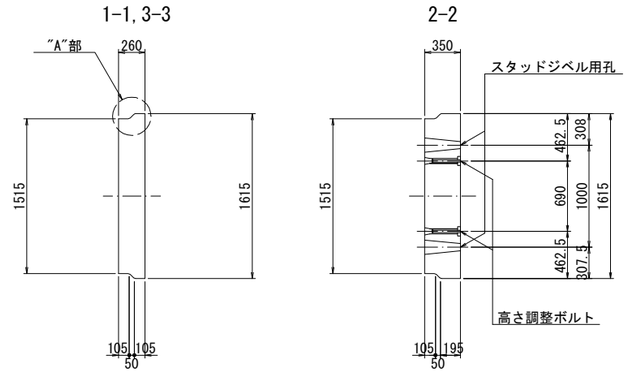
A1 , A1-L , A1-R , A1-1 , A1-2 , B1 , B1-L , B1-R タイプ

平 面 図

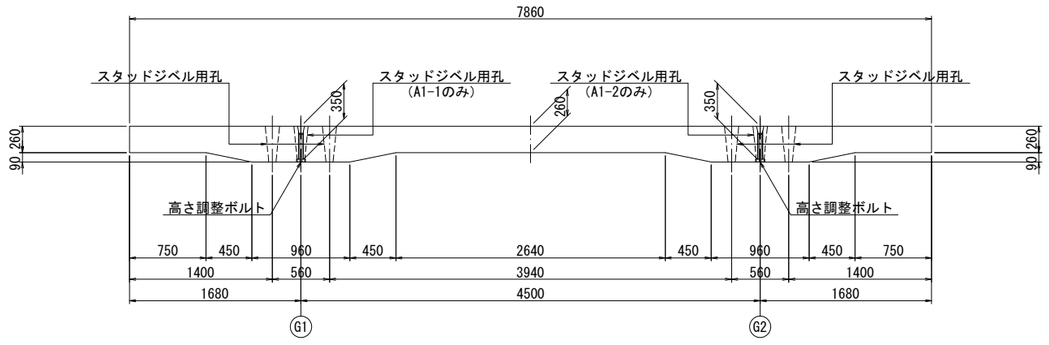


注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。

側 面 図



断 面 図



高さ調整ボルト詳細図 S=1:5

（床版1枚当り4組使用）

"A" 部 詳 細 図 S=1:6

スタッドジベル用孔詳細図 S=1:20

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

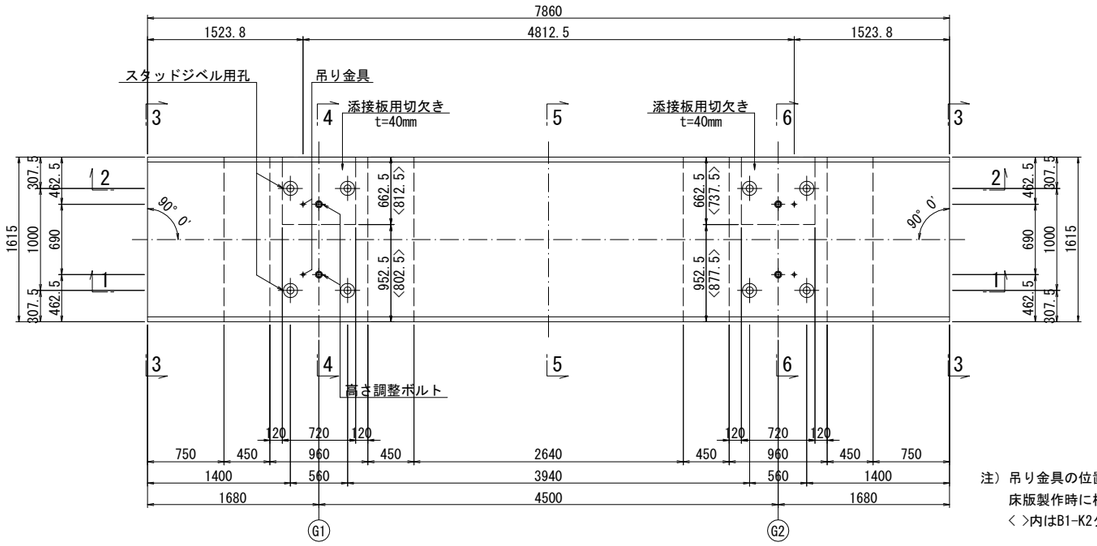
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版構造図（その１１）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	71 / 212

P5～P9 PC床版構造図（その１２）　S=1:30

A1-K1 , B1-K2 タイプ

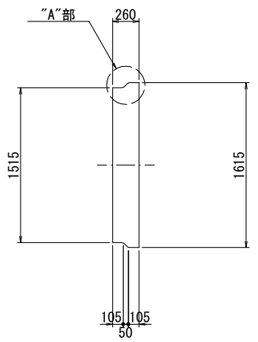
平　面　図



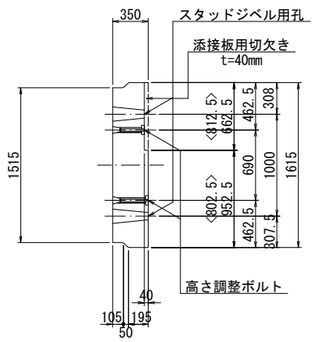
注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。
〈 〉内はB1-K2タイプを示す。

側　面　図

3-3, 5-5

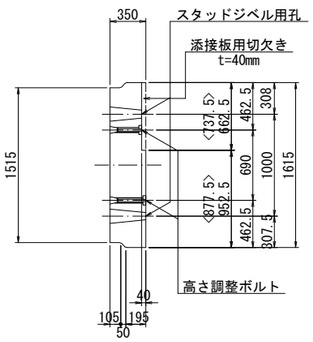


4-4



注）〈 〉内はB1-K2タイプを示す。

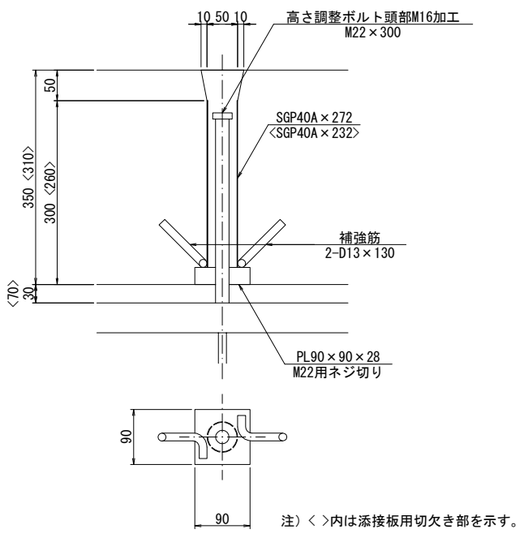
6-6



注）〈 〉内はB1-K2タイプを示す。

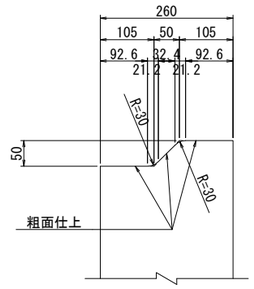
高さ調整ボルト詳細図　S=1:5

（床版1枚当り各2組使用）

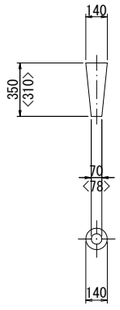


注）〈 〉内は添接板用切欠き部を示す。

"A" 部 詳 細 図　S=1:6



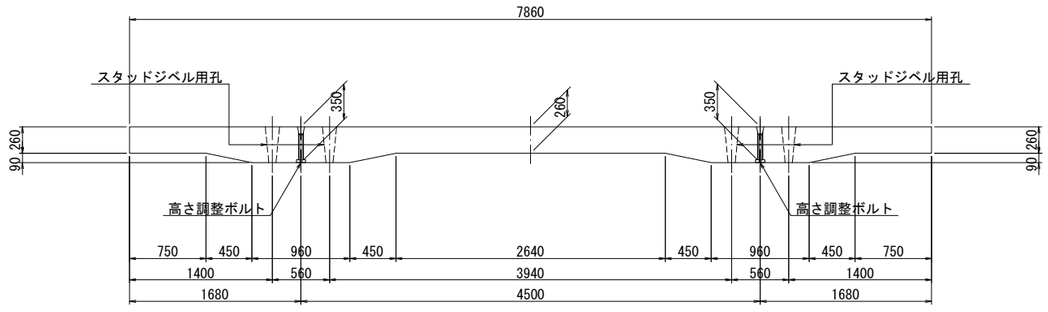
スタッドジベル用孔詳細図　S=1:20



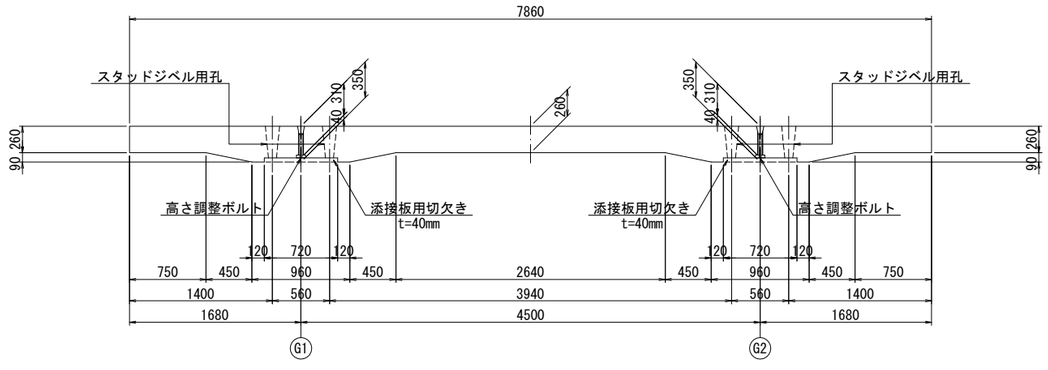
注）〈 〉内は添接板用切欠き部を示す。

断　面　図

1-1



2-2



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

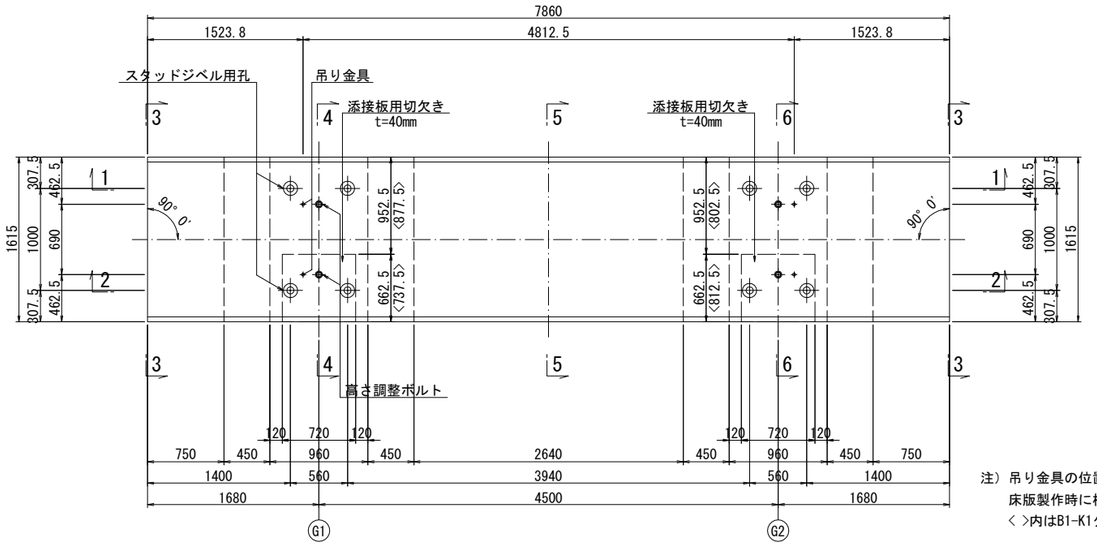
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版構造図（その１２）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	72 / 212

P5～P9 PC床版構造図（その１３）　S=1:30

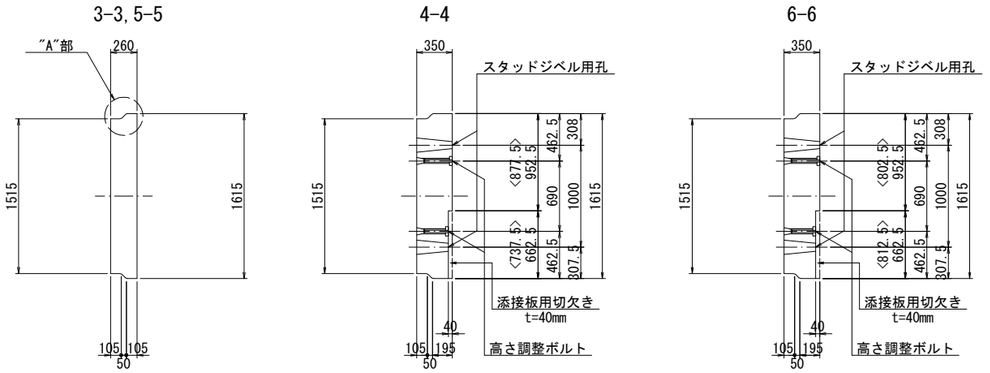
A1-K2 , B1-K1 タイプ

平　面　図



注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。
< >内はB1-K1タイプを示す。

側　面　図

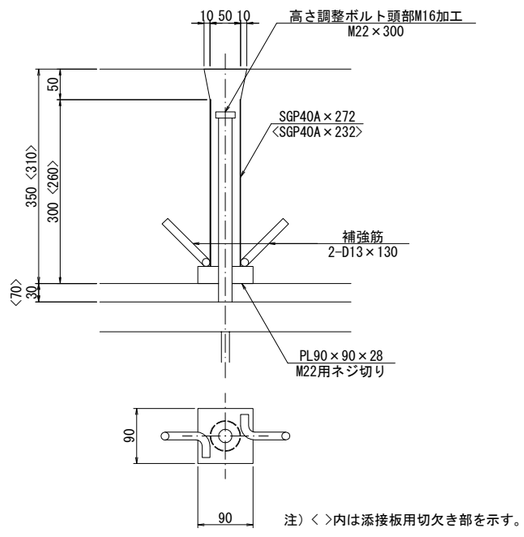


注）< >内はB1-K1タイプを示す。

注）< >内はB1-K1タイプを示す。

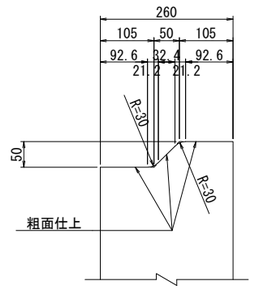
高さ調整ボルト詳細図　S=1:5

（床版1枚当り各2組使用）

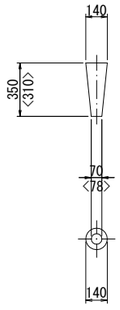


注）< >内は添接板用切欠き部を示す。

"A" 部 詳 細 図　S=1:6



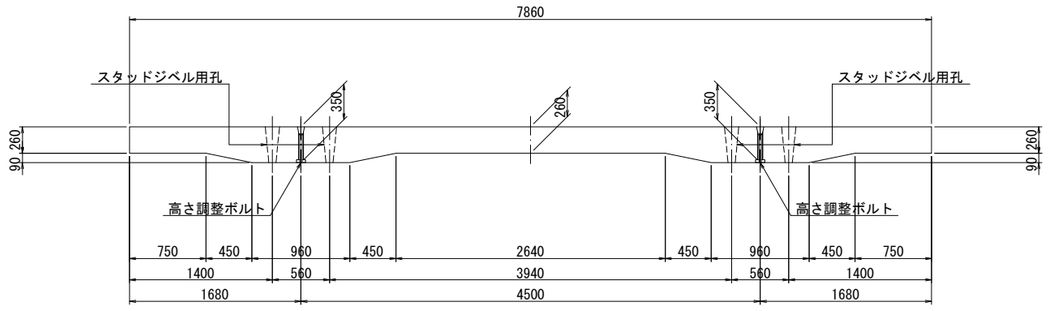
スタッドジベル用孔詳細図　S=1:20



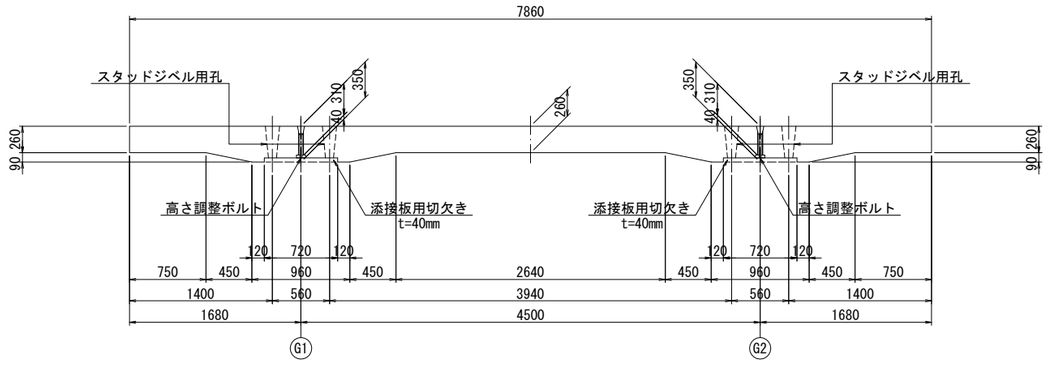
注）< >内は添接板用切欠き部を示す。

断　面　図

1-1



2-2



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

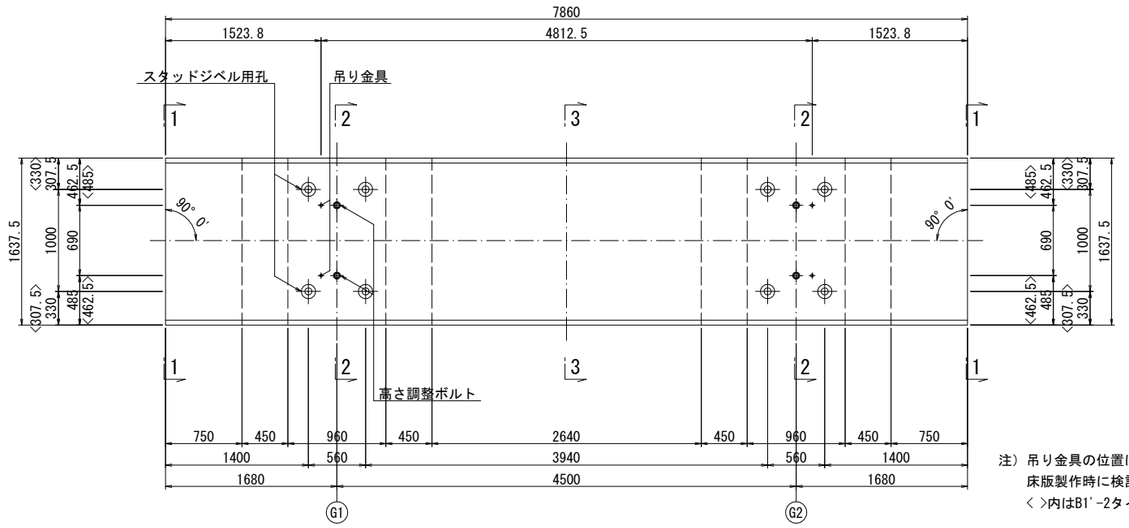
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版構造図（その１３）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	73 / 212

P5～P9 PC床版構造図（その１４）　S=1:30

(B1'-1) , (B1'-2) タイプ

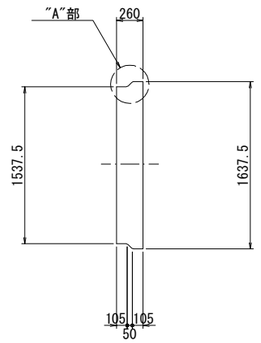
平　面　図



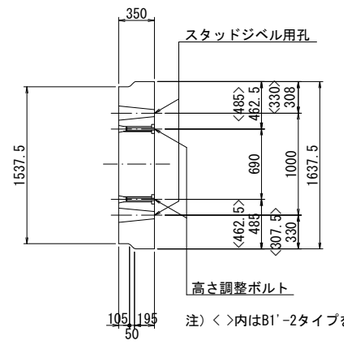
注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。
〈 〉内はB1'-2タイプを示す。

側　面　図

1-1, 3-3

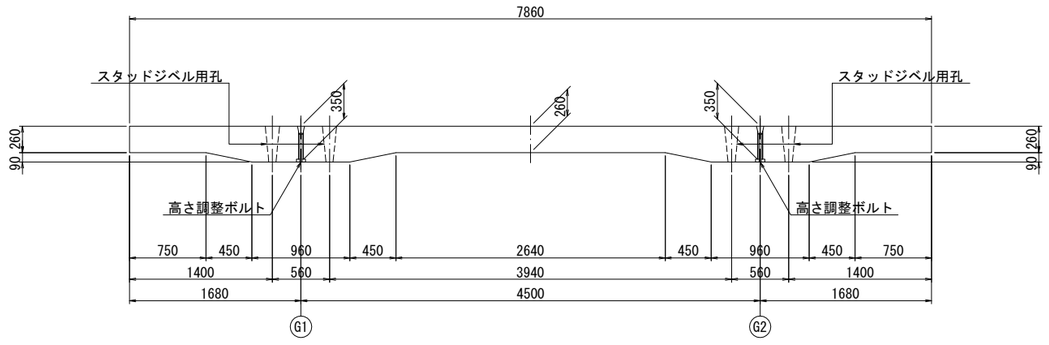


2-2



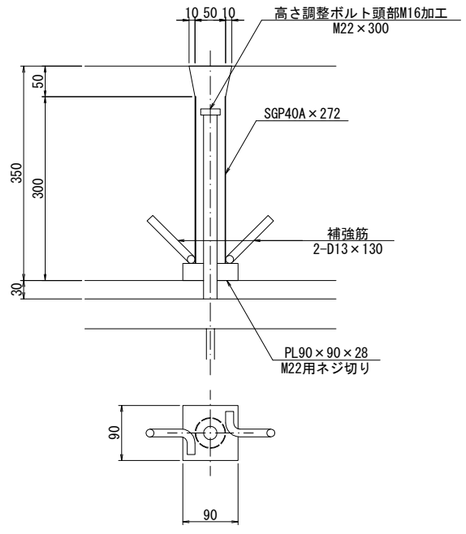
注）〈 〉内はB1'-2タイプを示す。

断　面　図

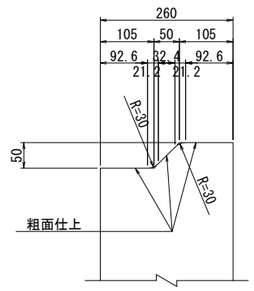


高さ調整ボルト詳細図　S=1:5

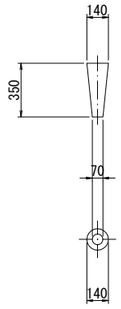
（床版1枚当り4組使用）



"A" 部 詳 細 図　S=1:6



スタッドジベル用孔詳細図　S=1:20



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

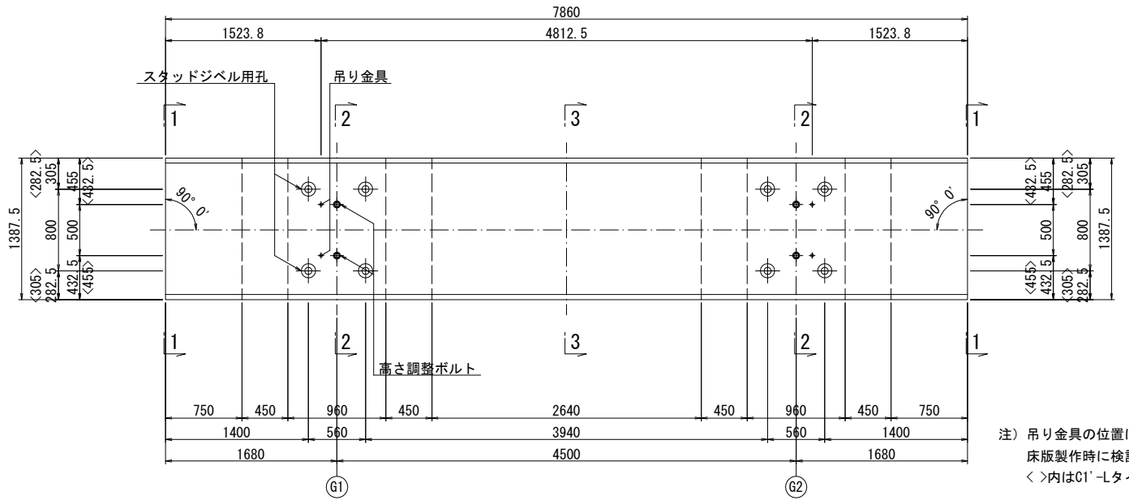
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版構造図（その１４）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	74 / 212

P5～P9 PC床版構造図（その１５）　S=1:30

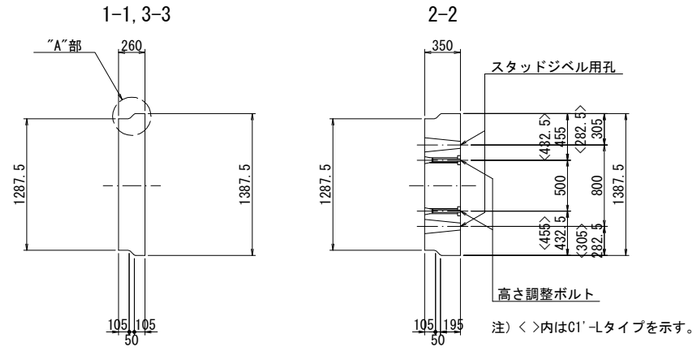
(C1'-R) , (C1'-L) タイプ

平　面　図



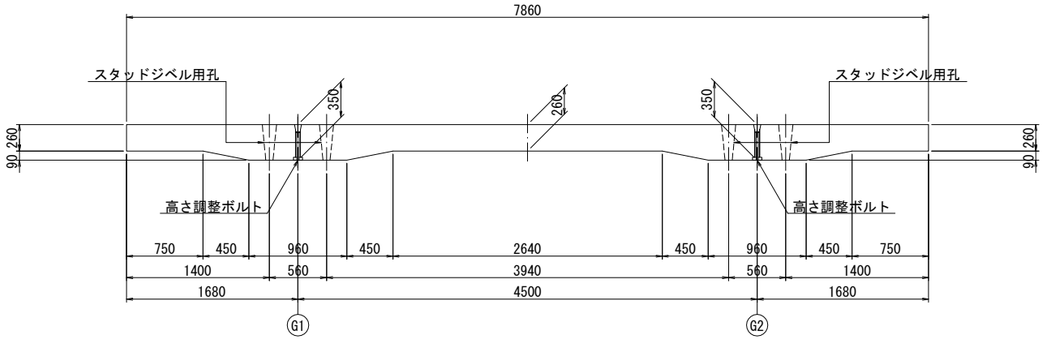
注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。
< >内はC1'-Lタイプを示す。

側　面　図

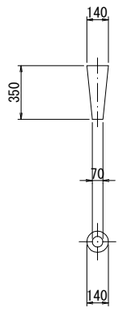


注）< >内はC1'-Lタイプを示す。

断　面　図

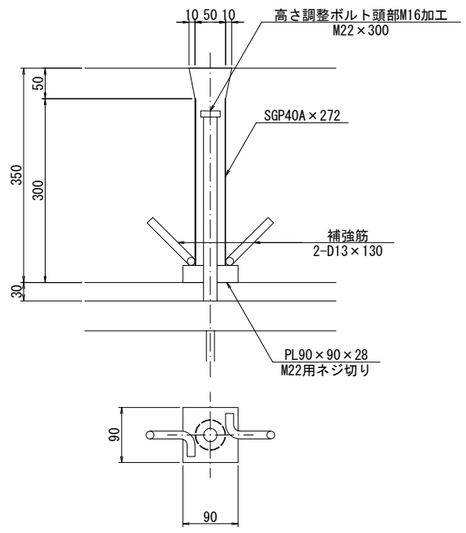


スタッドジベル用孔詳細図　S=1:20

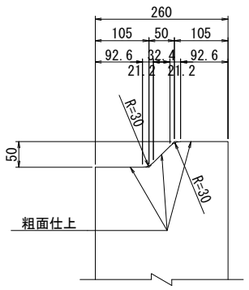


高さ調整ボルト詳細図　S=1:5

（床版1枚当り4組使用）



"A" 部 詳 細 図　S=1:6



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

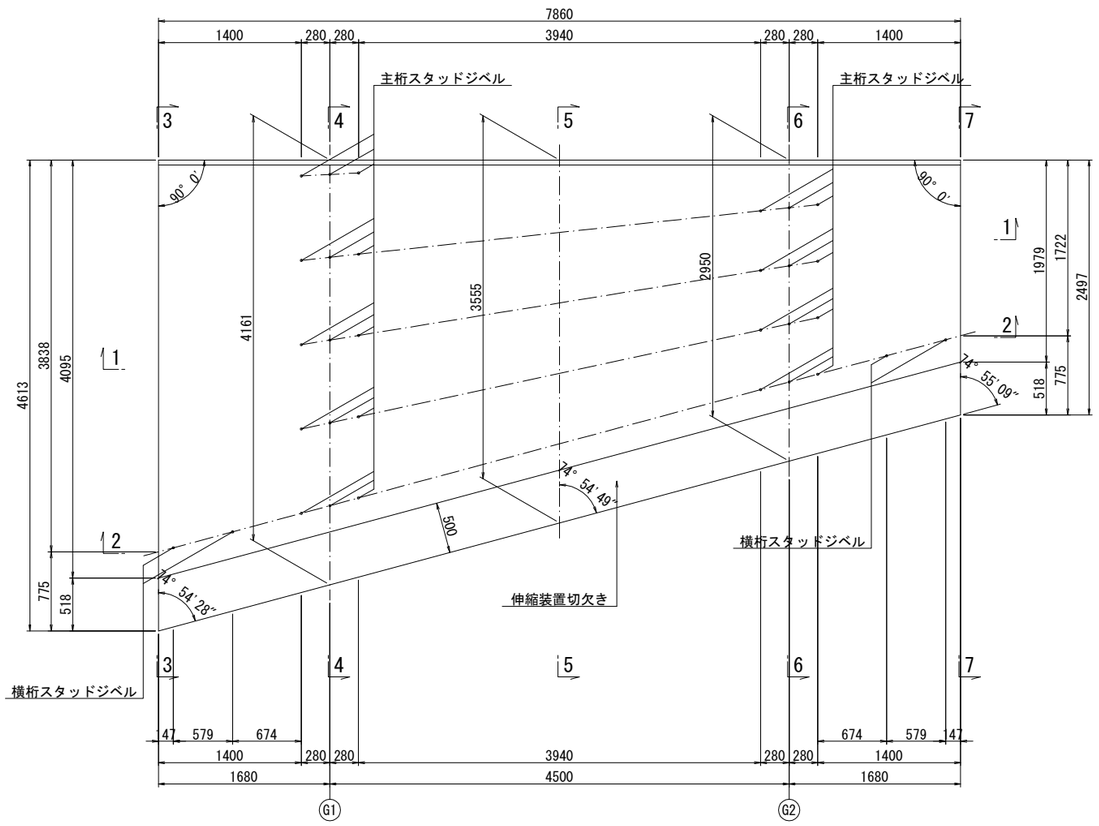
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版構造図（その１５）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	75 / 212

P5～P9 場所打ちPC床版構造図（その１） S=1:30

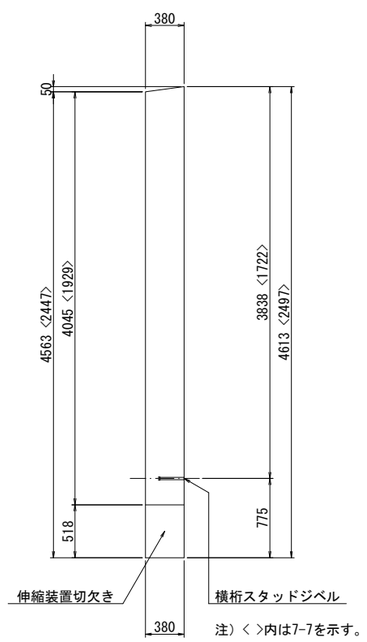
P5部

平　面　図



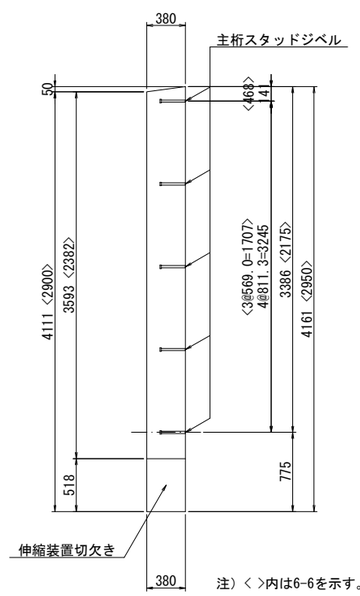
側　面　図

3-3, 7-7



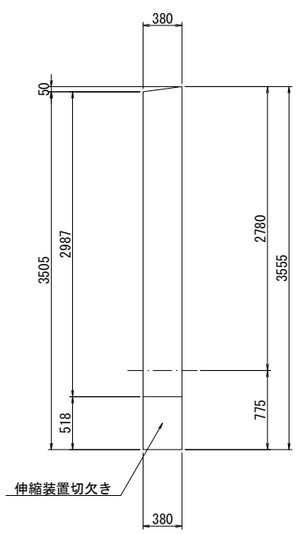
注）〈 〉内は7-7を示す。

4-4, 6-6



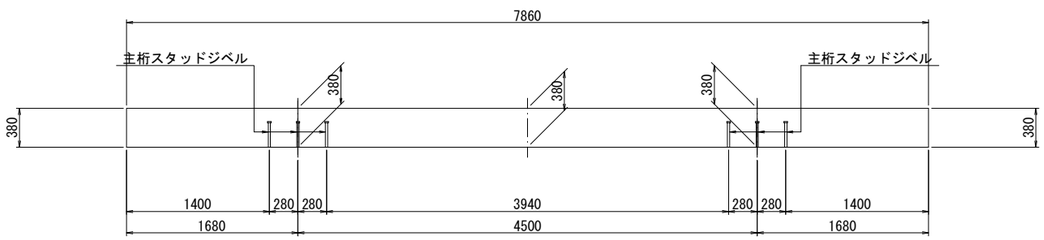
注）〈 〉内は6-6を示す。

5-5

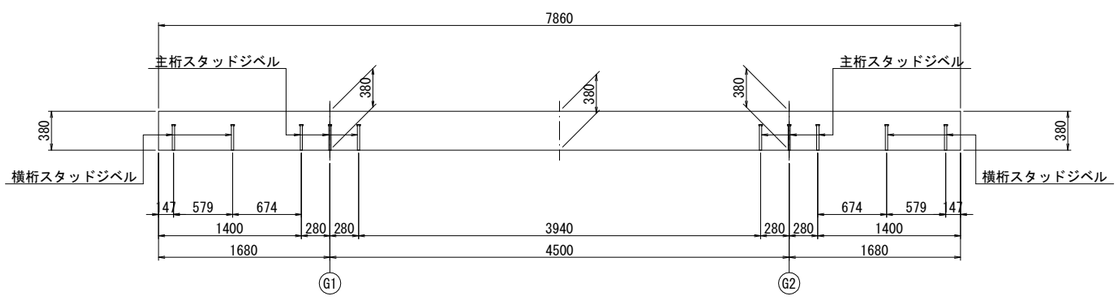


断　面　図

1-1



2-2



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

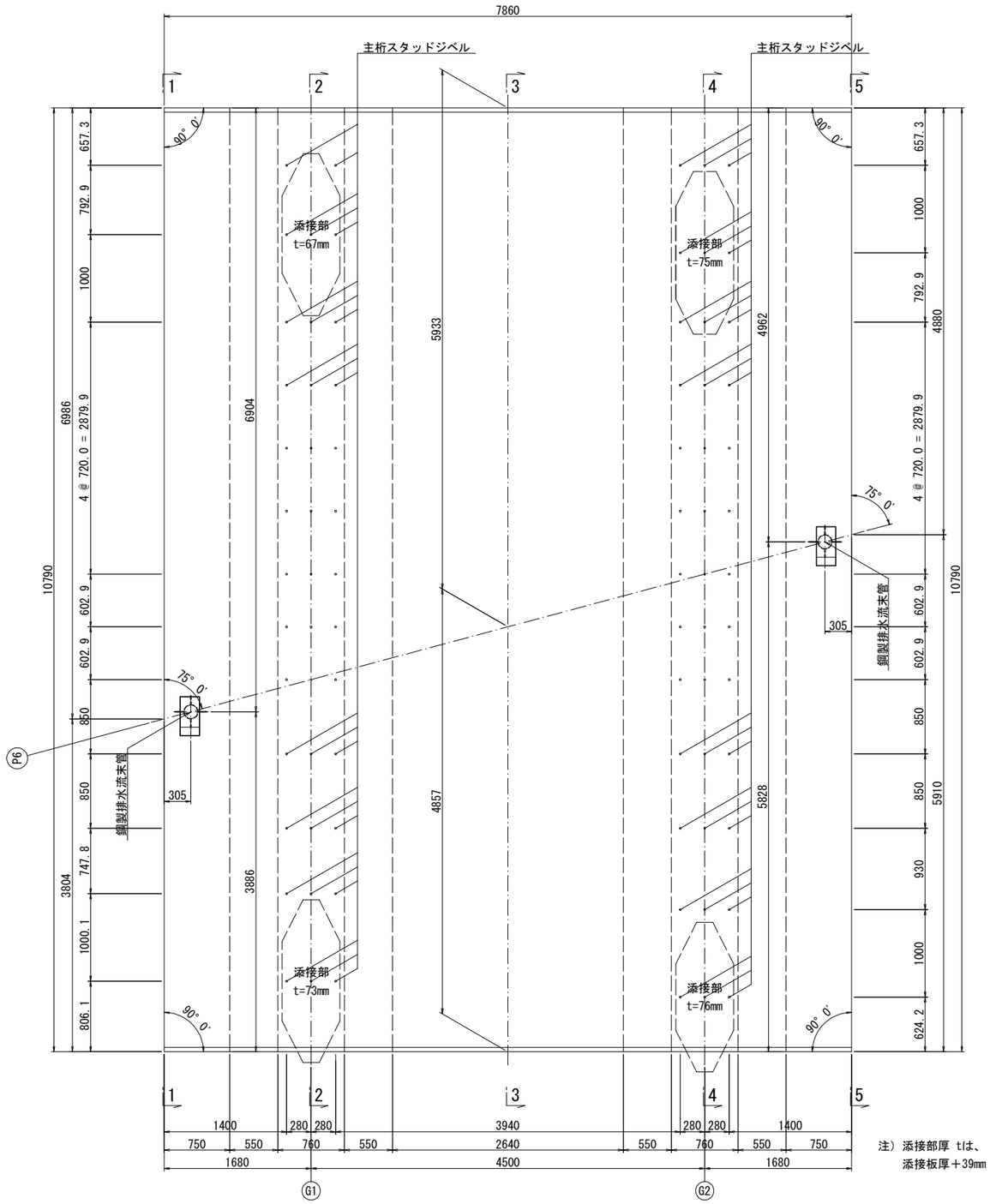
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版構造図（その１）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	76 / 212

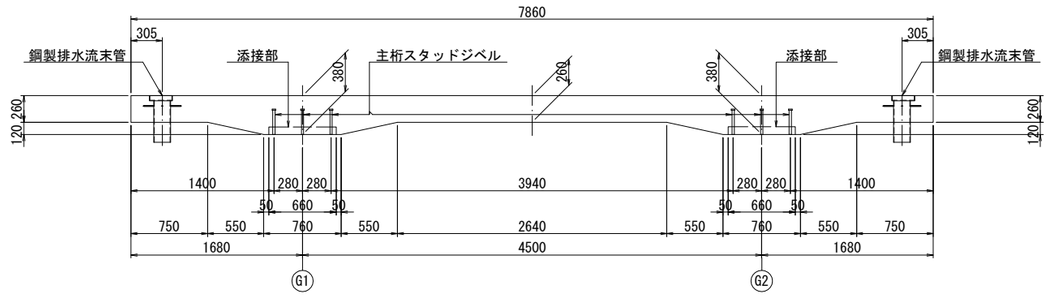
P5～P9 場所打ちPC床版構造図（その２） S=1:30

P6部

平　面　図



断　面　図



注）添接部厚 tは、
添接板厚＋39mm（ボルト突出長）を示す。

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

実　施

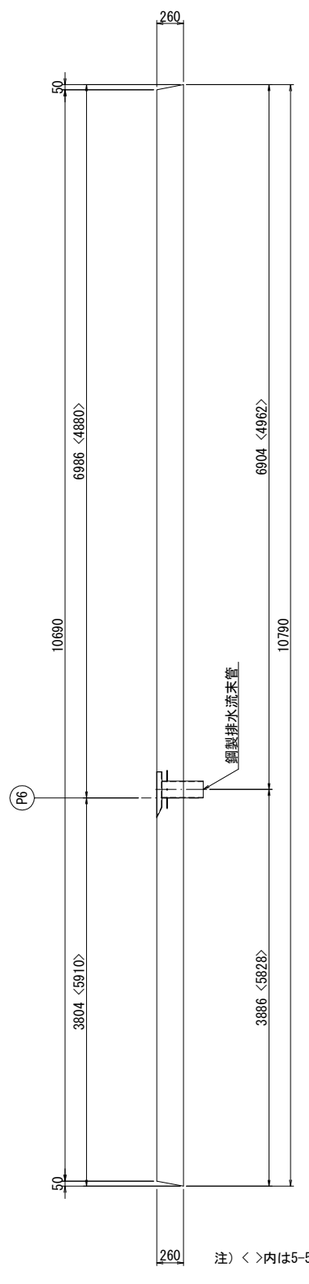
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版構造図（その２）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	77 / 212

P5～P9 場所打ちPC床版構造図（その３） S=1:30

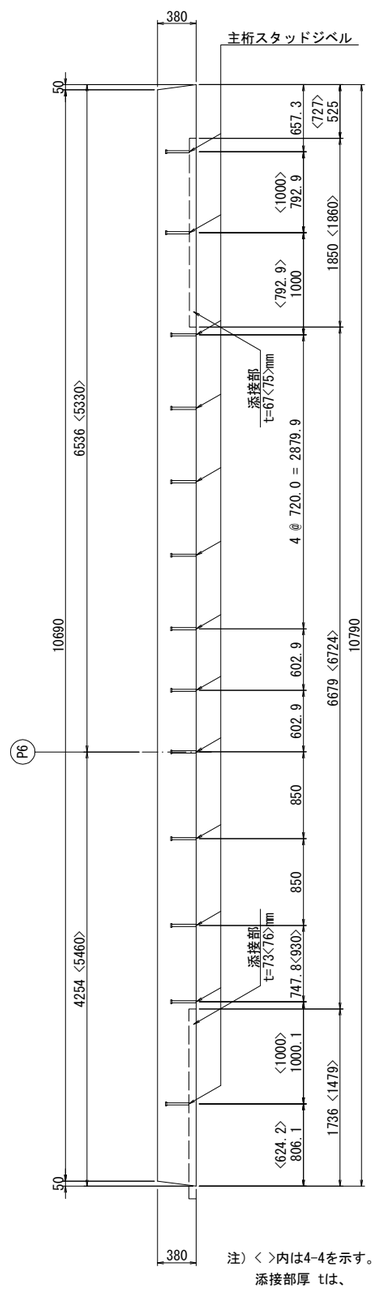
P6部

断　面　図

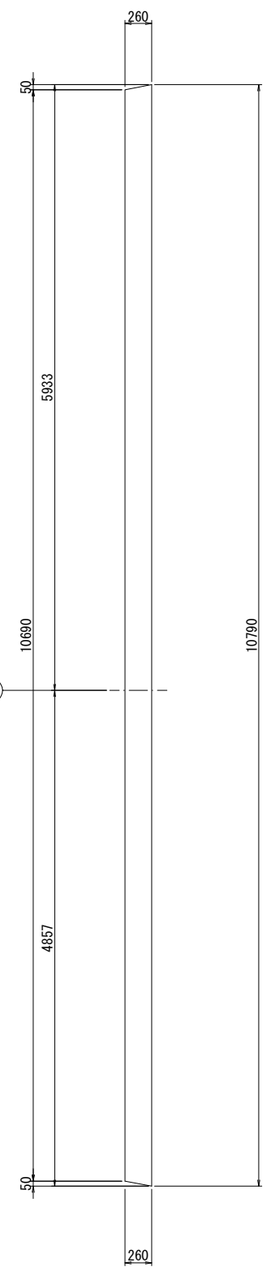
1-1, 5-5



2-2, 4-4



3-3



注）〈 〉内は5-5を示す。

注）〈 〉内は4-4を示す。
添接部厚 tは、
添接板厚＋39mm（ボルト突出長）を示す。

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

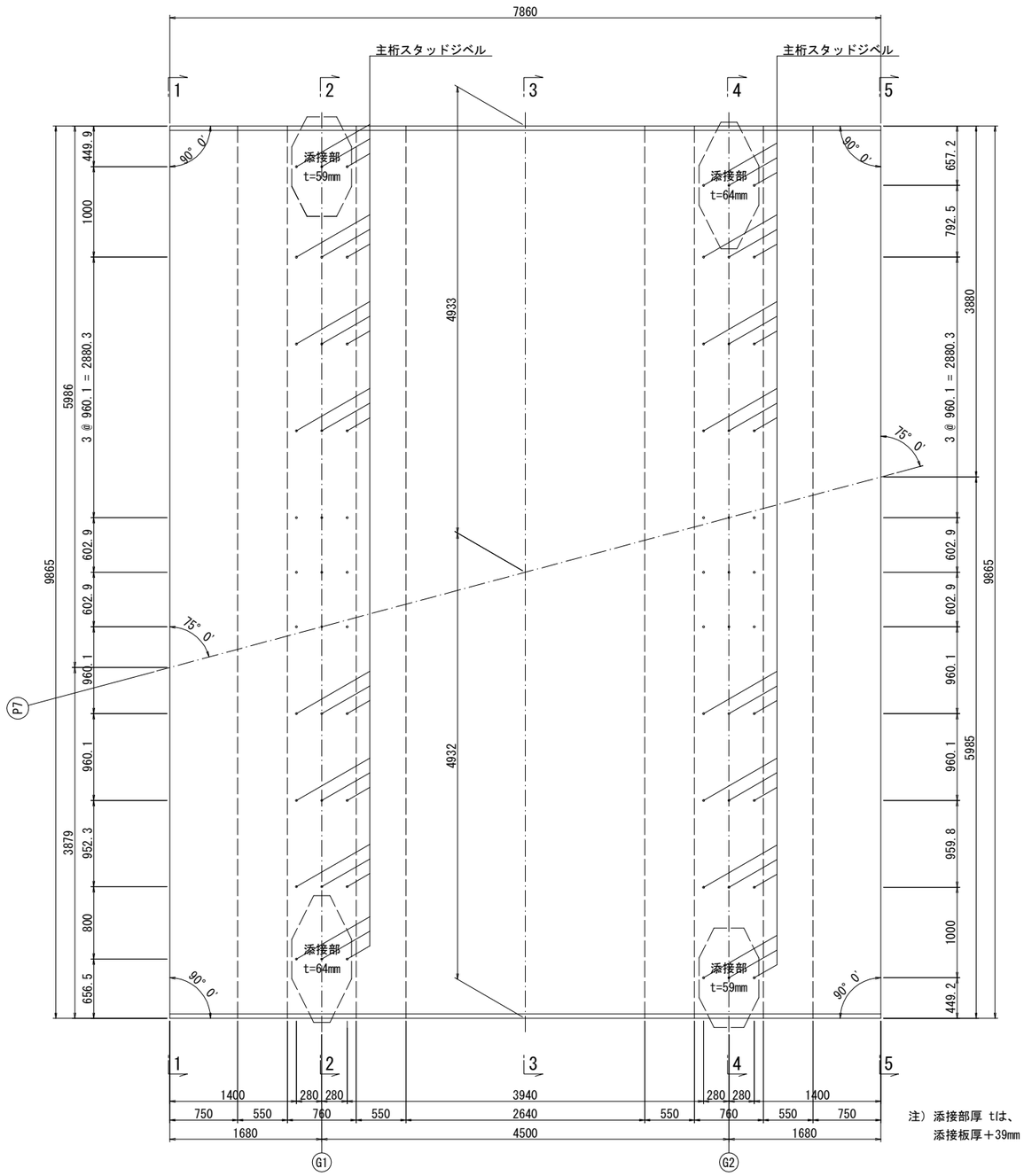
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版構造図（その３）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	78 / 212

P5～P9 場所打ちPC床版構造図（その４） S=1:30

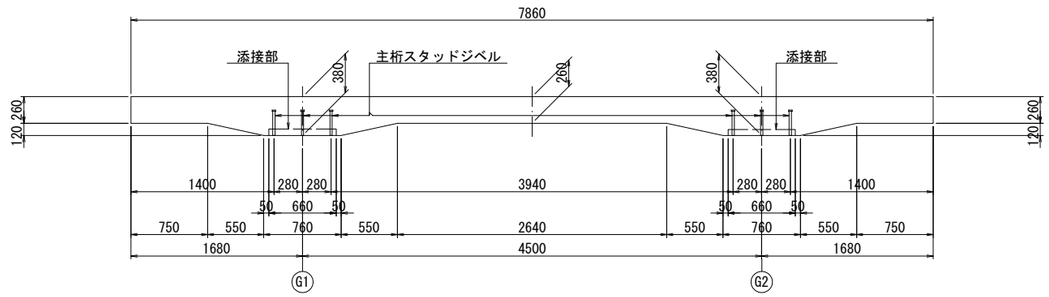
P7部

平　面　図



注）添接部厚 tは、
添接板厚＋39mm（ボルト突出長）を示す。

断　面　図



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

実　施

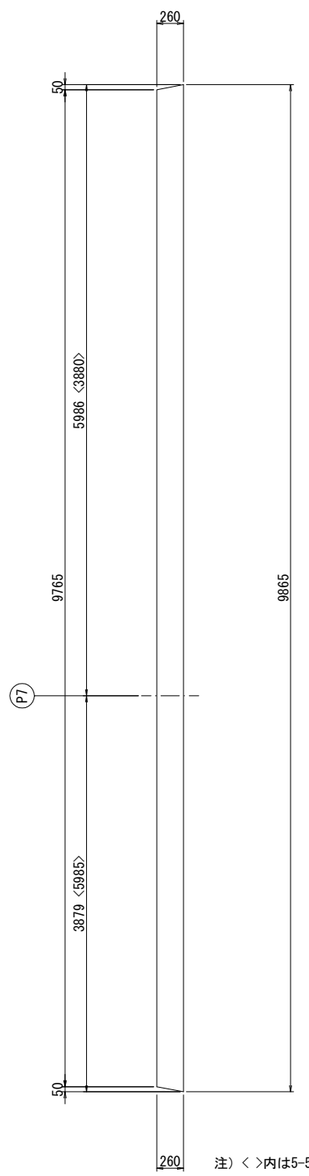
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版構造図（その４）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	79 / 212

P5～P9 場所打ちPC床版構造図（その５） S=1:30

P7部

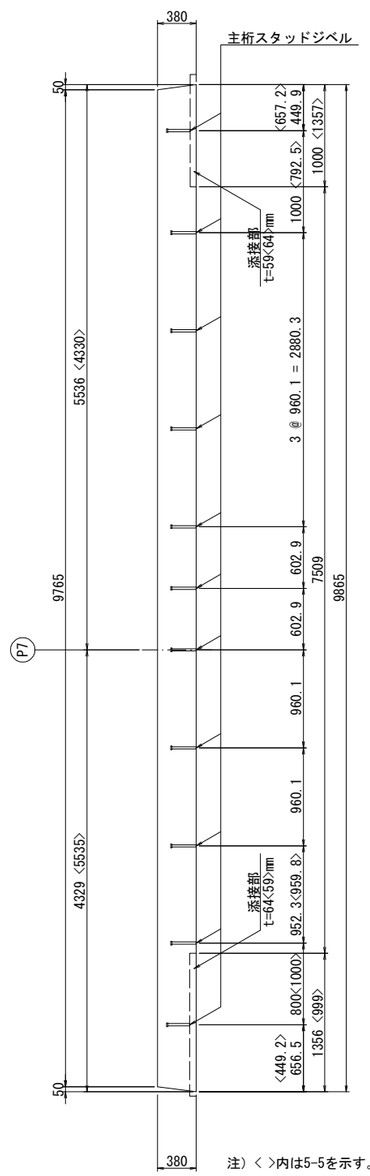
断　面　図

1-1, 5-5



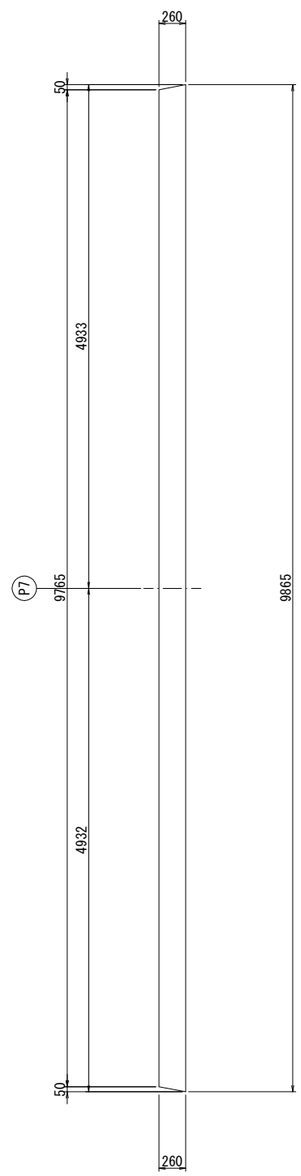
注）〈 〉内は5-5を示す。

2-2, 4-4



注）〈 〉内は5-5を示す。
添接部厚 tは、
添接板厚＋39mm（ボルト突出長）を示す。

3-3



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

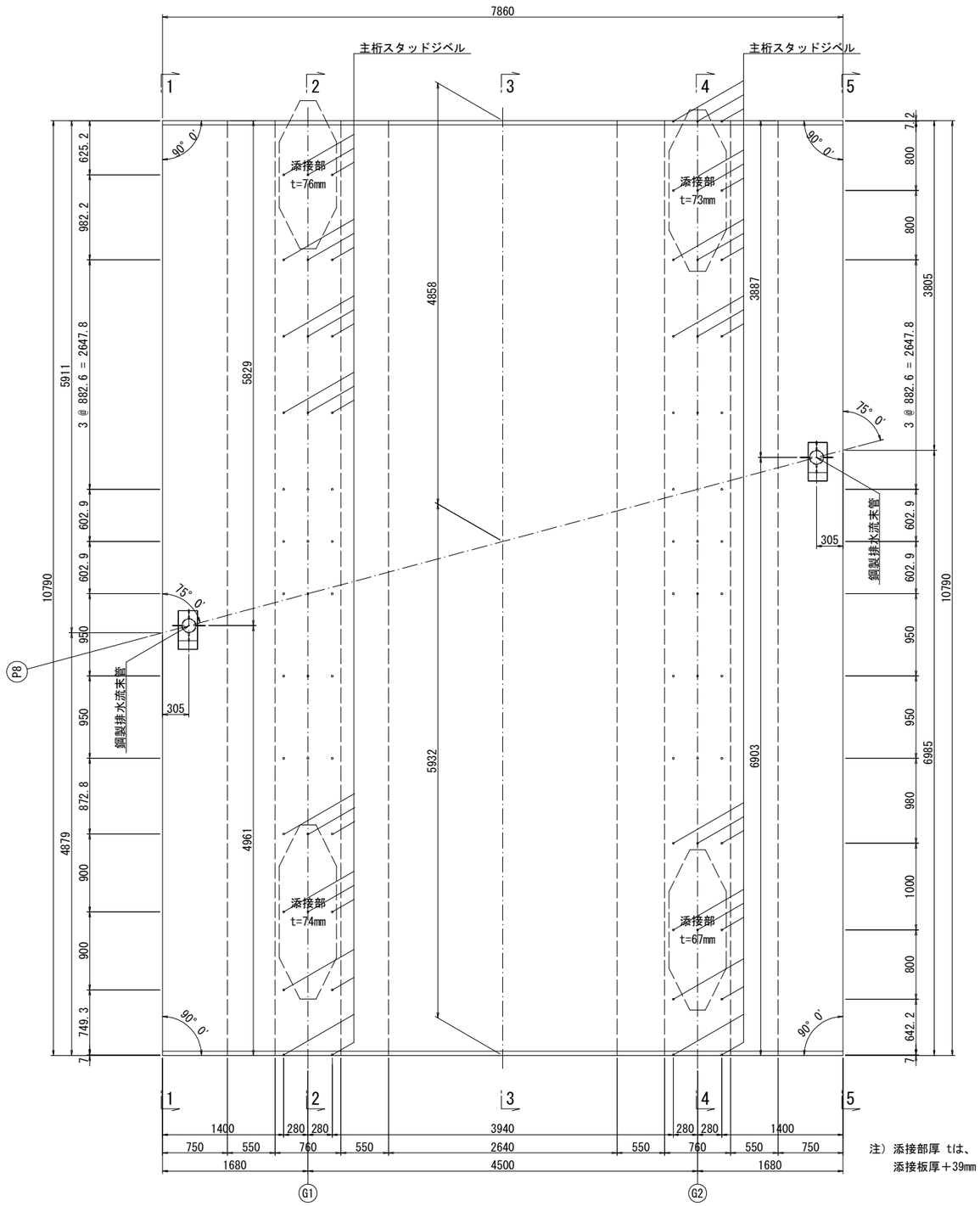
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版構造図（その５）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	80 / 212

P5～P9 場所打ちPC床版構造図（その６） S=1:30

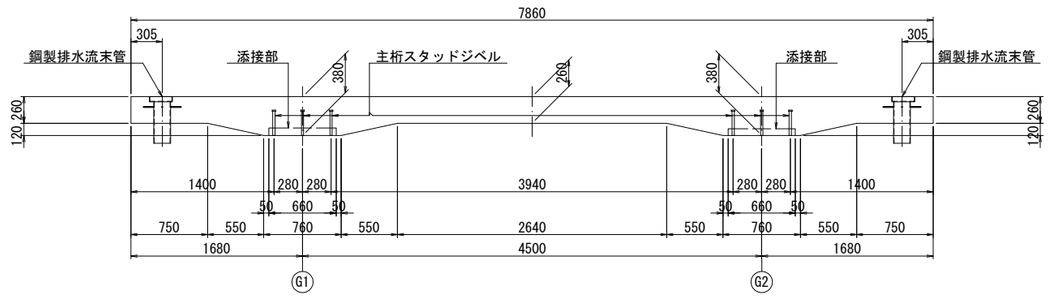
P8部

平　面　図



注）添接部厚 tは、
添接板厚＋39mm（ボルト突出長）を示す。

断　面　図



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

実　施

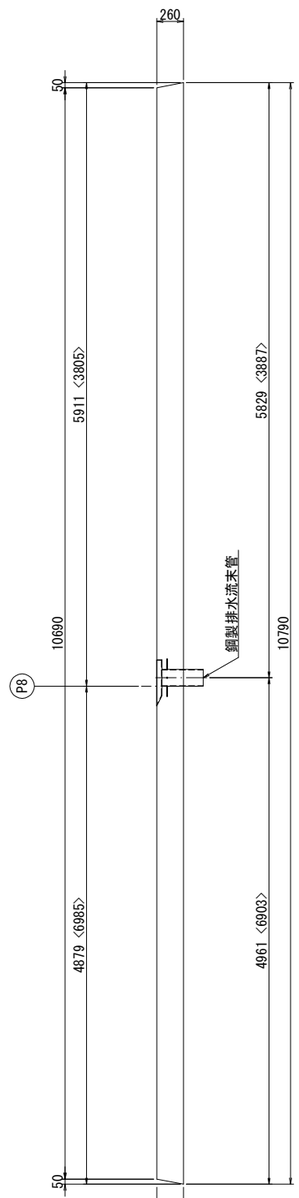
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版構造図（その６）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	81 / 212

P5～P9 場所打ちPC床版構造図（その７） S=1:30

P8部

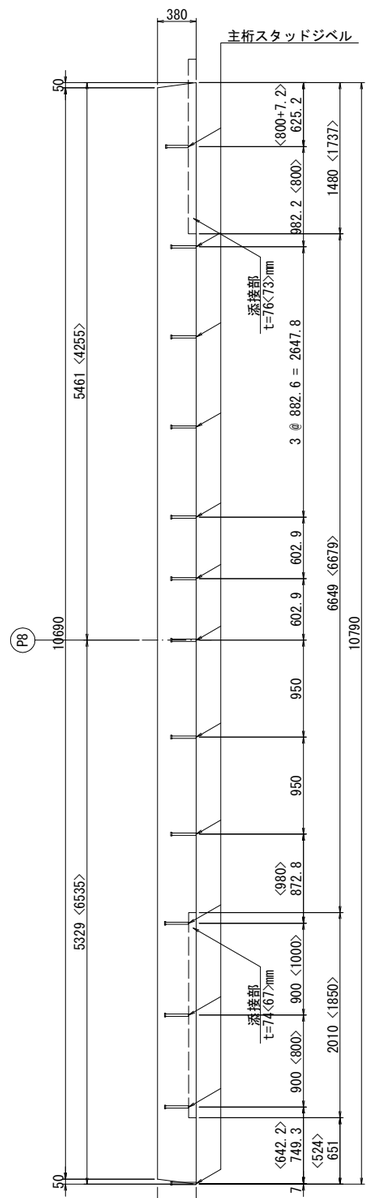
断　面　図

1-1, 5-5



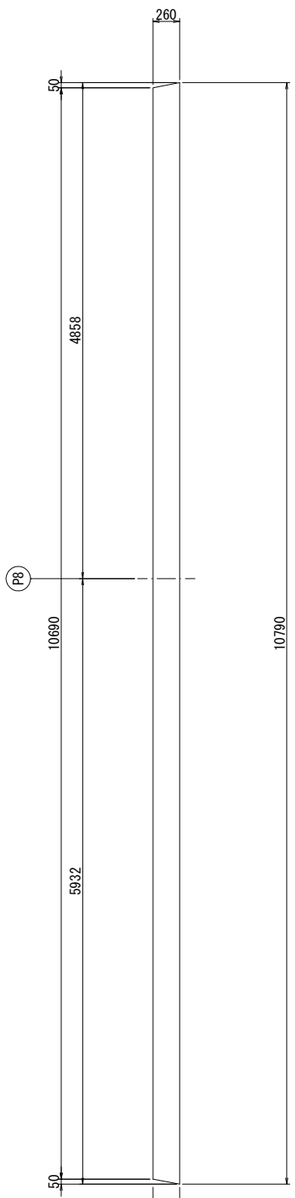
注）〈 〉内は5-5を示す。

2-2, 4-4



注）〈 〉内は4-4を示す。
添接部厚 tは、
添接板厚＋39mm（ボルト突出長）を示す。

3-3



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

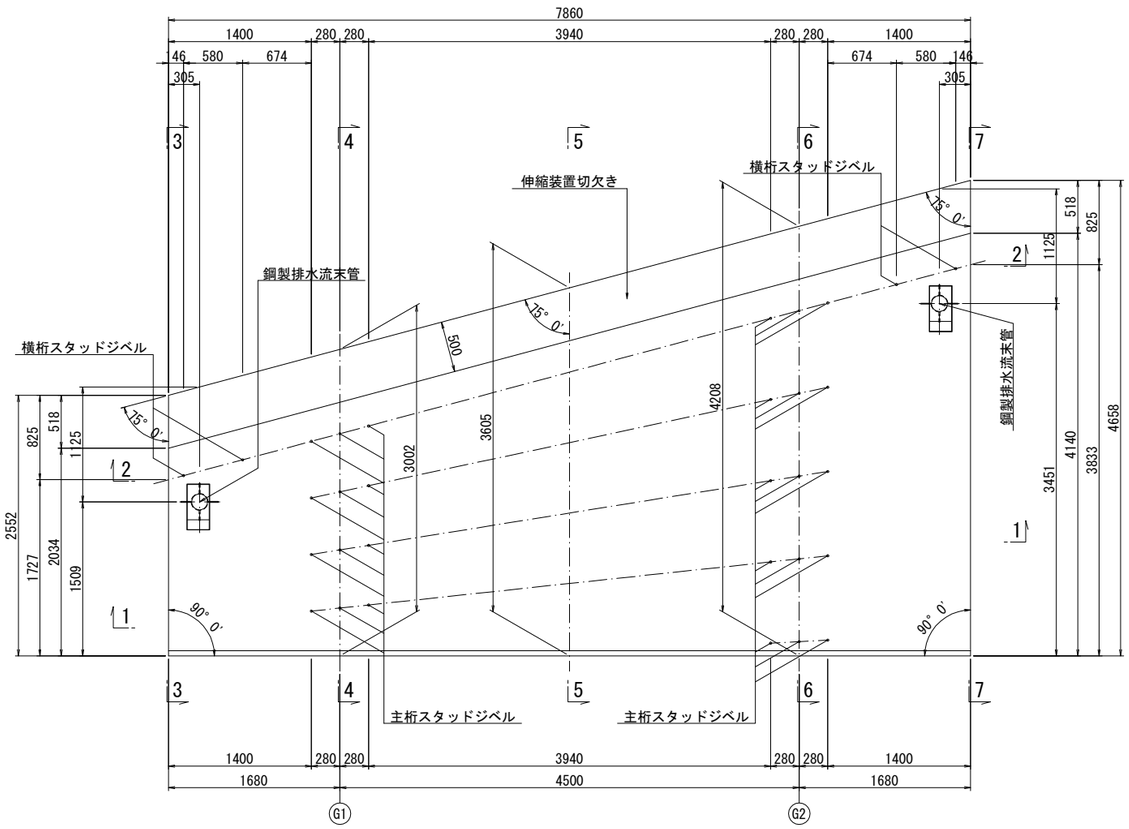
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版構造図（その７）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	82 / 212

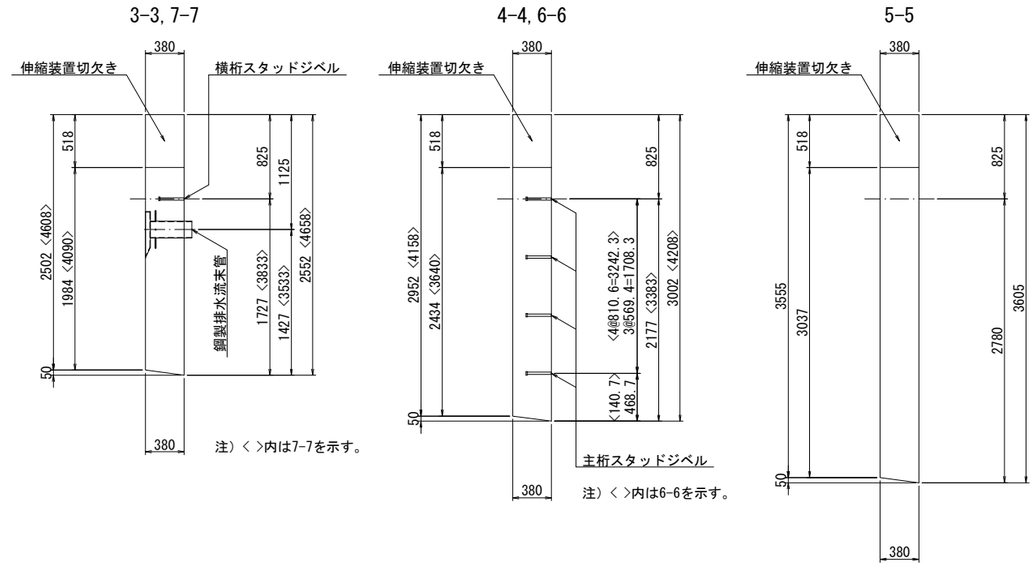
P5～P9 場所打ちPC床版構造図（その８） S=1:30

P9部

平　面　図

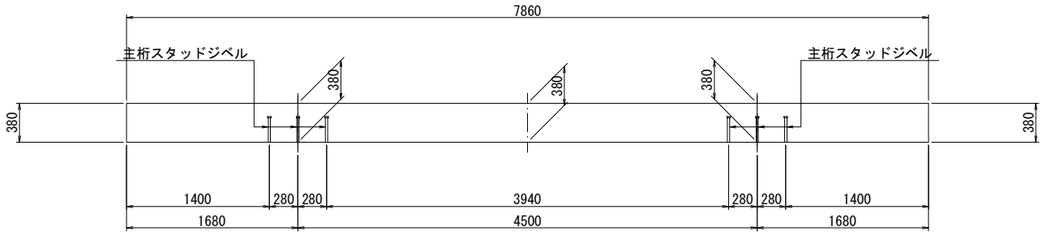


側　面　図

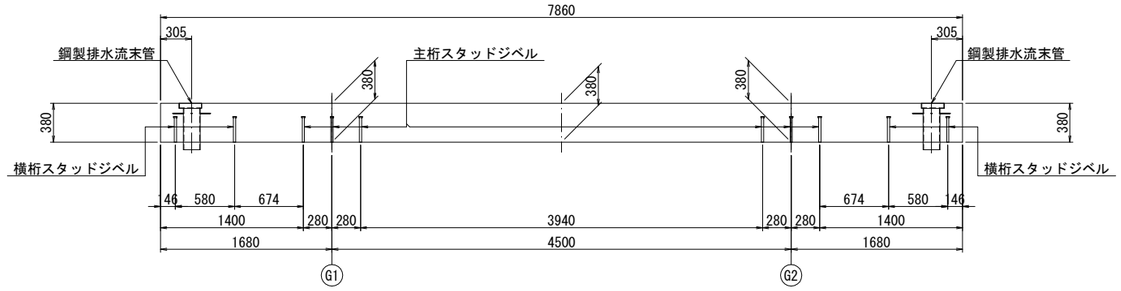


断　面　図

1-1



2-2



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

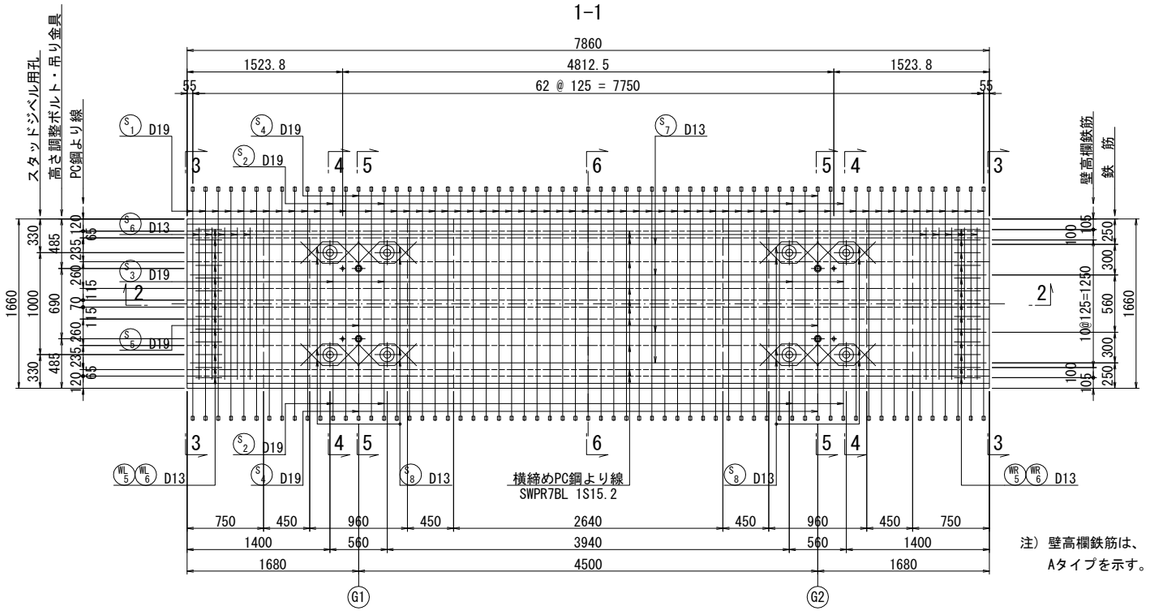
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版構造図（その８）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	83 / 212

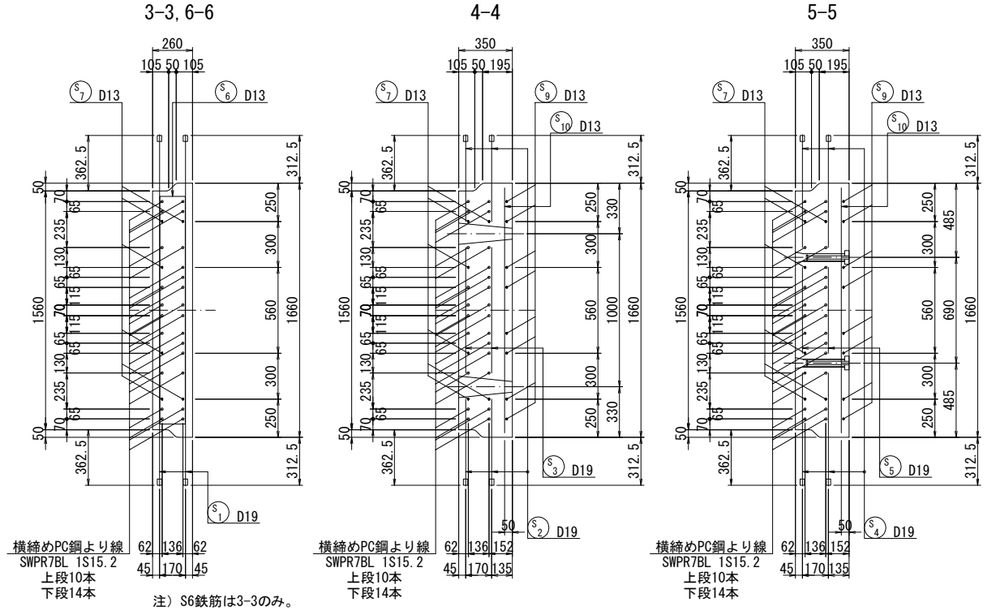
P5～P9 PC床版配筋図（その１）

A ， A-1 ， A-L ， A-R ， A-R1 タイプ

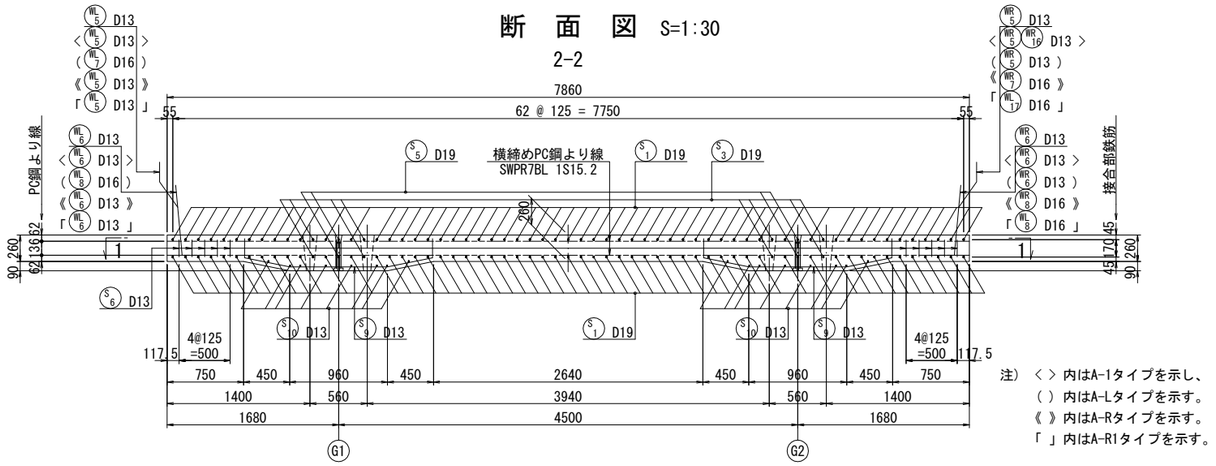
平　面　図 S=1:30



側　面　図 S=1:20

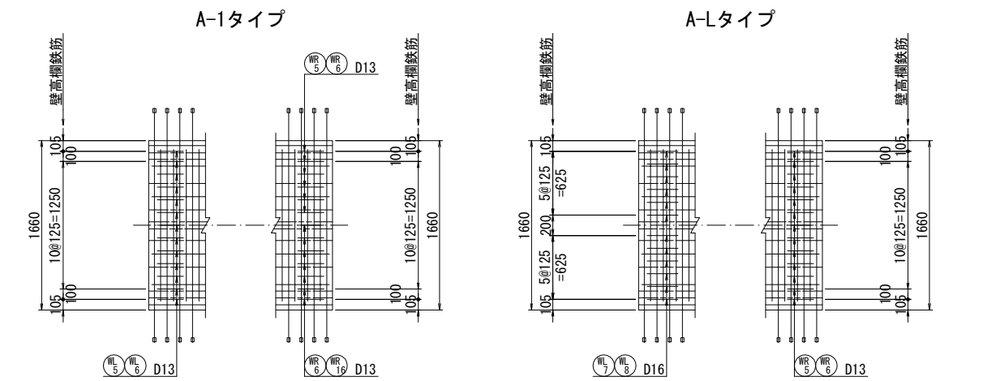


断　面　図 S=1:30



平　面　図 S=1:30

1-1



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

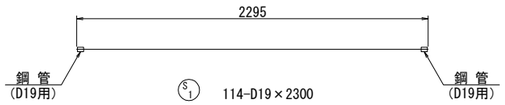
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その１）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	84 / 212

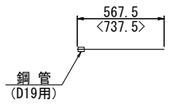
P5～P9 PC床版配筋図（その２）

A ， A-1 ， A-L ， A-R ， A-R1 タイプ

鉄 筋 加 工 図 S=1:20

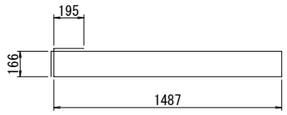


S1 114-D19×2300

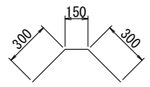


S2 16-D19×570

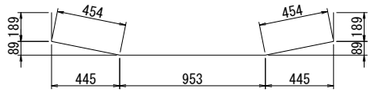
〈 S4 8-D19×740 〉



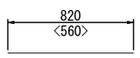
S6 10-D13×3670



S8 32-D13×750

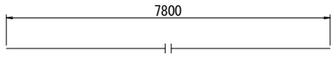


S9 16-D13×2240

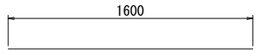


S3 8-D19×820

〈 S5 4-D19×560 〉

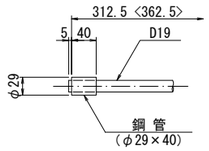


S7 6-D13×7800

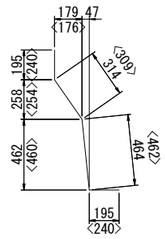


S10 16-D13×1600

鋼管部詳細図 S=1:5

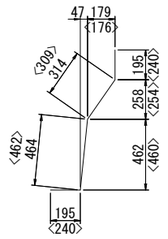


注）〈 〉内は上段側を示す。



WL5 13-D13×1170（A, A-1, A-R, A-R1）

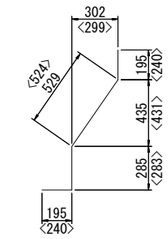
〈 WL7 12-D16×1250（A-L）〉



WR5 13-D13×1170（A, A-L）

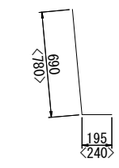
WR5 6-D13×1170（A-1）

〈 WR7 12-D16×1250（A-R）〉



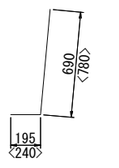
WR16 7-D13×1200（A-1）

〈 WR17 12-D16×1290（A-R1）〉



WL6 13-D13×890（A, A-1, A-R, A-R1）

〈 WL8 12-D16×1020（A-L）〉



WR6 13-D13×890（A, A-1, A-L）

〈 WR8 12-D16×1020（A-R, A-R1）〉

鉄 筋 表

（床版１枚当り）

種別		径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S	1	D19	2300	114	2.25	5.18	591	鋼管
	2	〃	570	16	〃	1.28	20	鋼管
	3	〃	820	8	〃	1.85	15	
	4	〃	740	8	〃	1.67	13	鋼管
	5	〃	560	4	〃	1.26	5	
	6	D13	3670	10	0.995	3.65	37	
	7	〃	7800	6	〃	7.76	47	
	8	〃	750	32	〃	0.75	24	
	9	〃	2240	16	〃	2.23	36	
	10	〃	1600	16	〃	1.59	25	
WL	5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	A, A-1 A-R, A-R1
	6	〃	890	13	〃	0.89	12	A, A-1 A-R, A-R1
	7	D16	1250	12	1.56	1.95	23	A-L
	8	〃	1020	12	〃	1.59	19	A-L
WR	5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	A, A-L
		〃	1170	6	〃	1.16	7	A-1
	6	〃	890	13	〃	0.89	12	A, A-1 A-L
	7	D16	1250	12	1.56	1.95	23	A-R
	8	〃	1020	12	〃	1.59	19	A-R, A-R1
	16	D13	1200	7	0.995	1.19	8	A-1
	17	D16	1290	12	1.56	2.01	24	A-R1

		A	A-1
SD345	D19	644 kg	644 kg
〃	D16	－ kg	－ kg
〃	D13	223 kg	223 kg
〃	合計	867 kg	867 kg
鋼管（φ29×40）		252 個	252 個

		A-L, A-R	A-R1
SD345	D19	644 kg	644 kg
〃	D16	42 kg	43 kg
〃	D13	196 kg	196 kg
〃	合計	882 kg	883 kg
鋼管（φ29×40）		252 個	252 個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

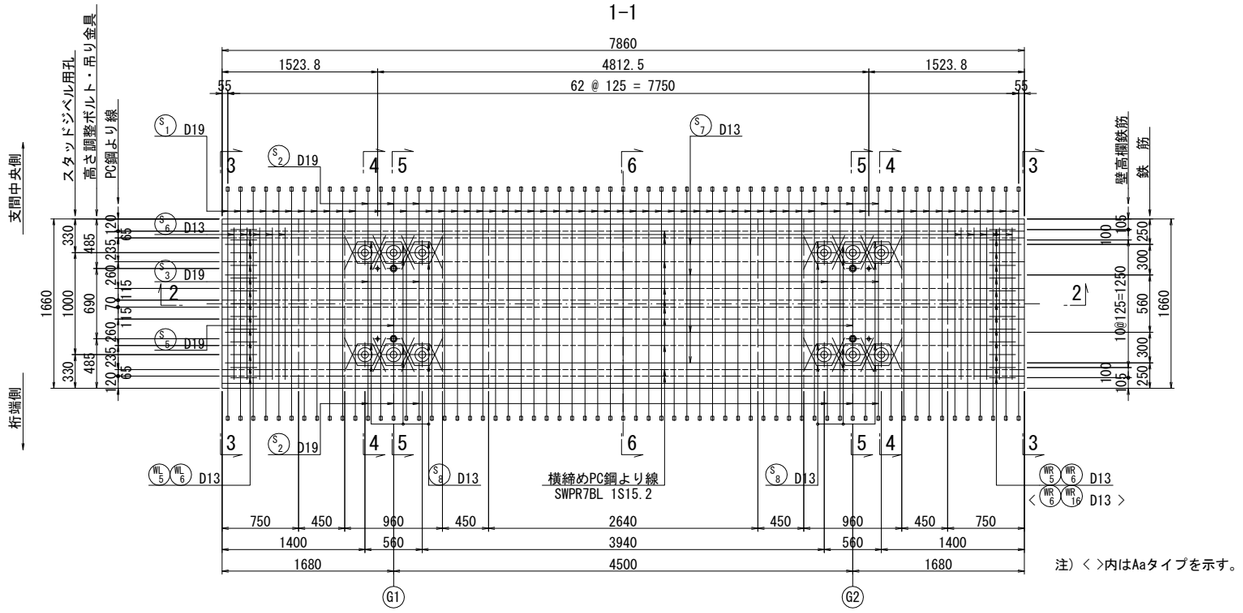
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その２）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	85 / 212

P5～P9 PC床版配筋図（その３）

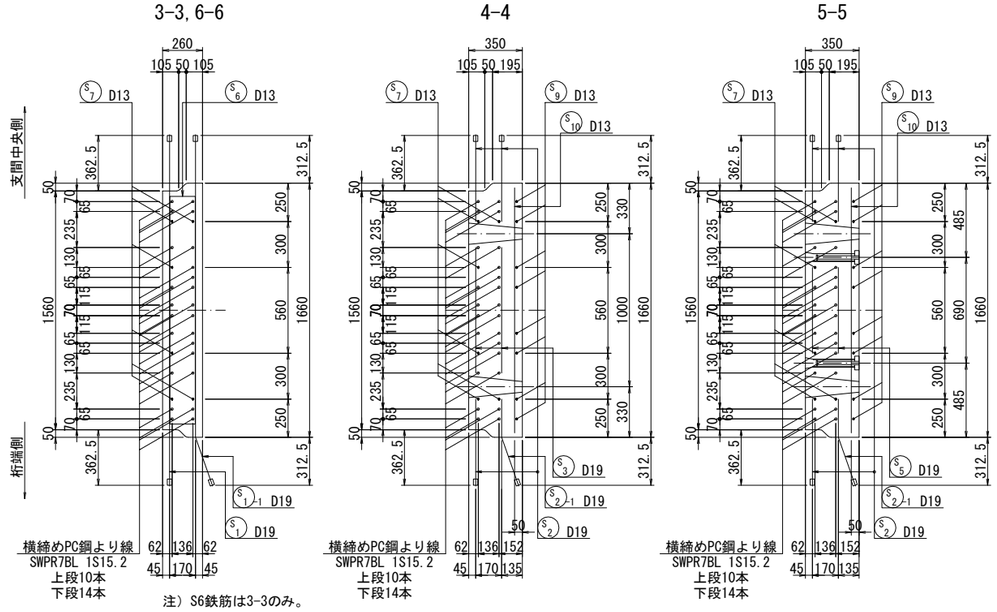
Aa , Ab タイプ

平　面　図 S=1:30



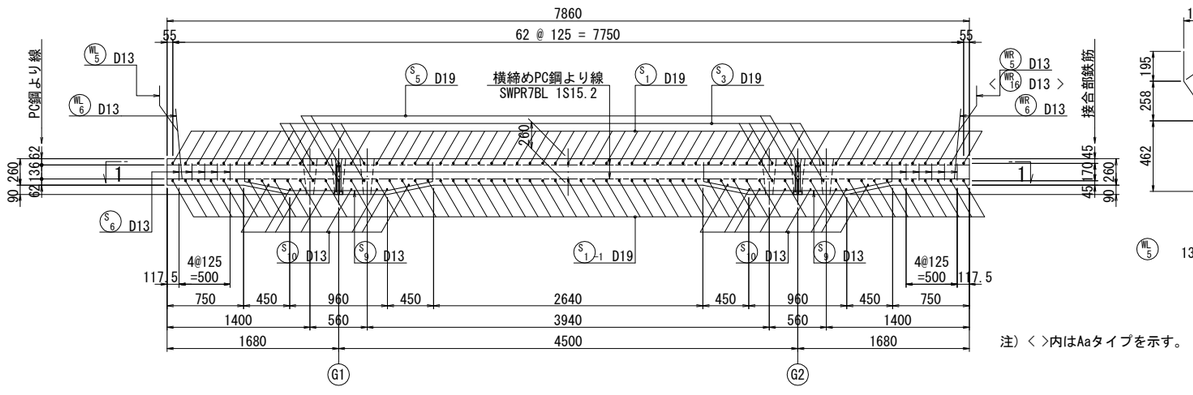
注）〈 〉内はAaタイプを示す。

側　面　図 S=1:20

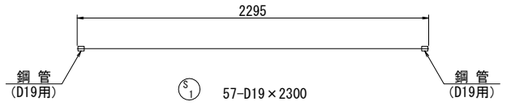


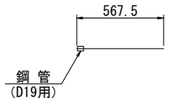
注）S6鉄筋は3-3のみ。
側面図はAaタイプを示す。
Abタイプは橋軸方向に対称とする。

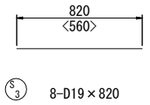
断　面　図 S=1:30

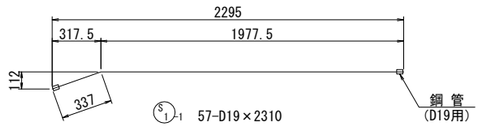


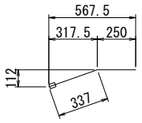
注）〈 〉内はAaタイプを示す。



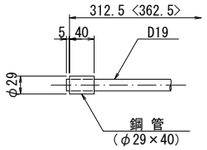




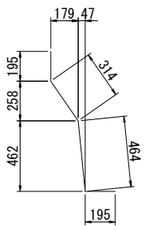


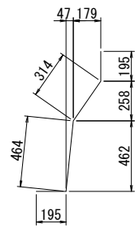


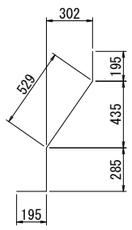
鋼管部詳細図 S=1:5

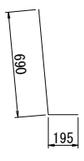


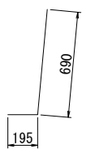
注）〈 〉内は上段側を示す。

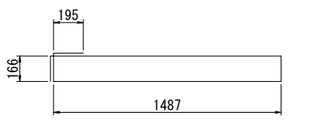


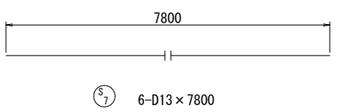


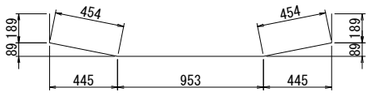


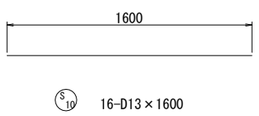








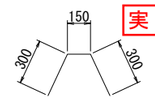




鉄　筋　表

（床版１枚当り）

種別	径	長　さ (mm)	本数	単位質量 (kg／m)	1本当り質量 (kg／本)	質　量 (kg)	摘　要
S 1	D19	2300	57	2.25	5.18	295	鋼管
1-1	〃	2310	57	〃	5.20	296	鋼管
2	〃	570	18	〃	1.28	23	鋼管
2-1	〃	590	6	〃	1.33	8	鋼管
3	〃	820	8	〃	1.85	15	
4	欠番						
5	D19	560	4	2.25	1.26	5	
6	D13	3670	10	0.995	3.65	37	
7	〃	7800	6	〃	7.76	47	
8	〃	750	48	〃	0.75	36	
9	〃	2240	16	〃	2.23	36	
10	〃	1600	16	〃	1.59	25	
WL 5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	
WR 5	〃	1170	13	〃	1.16	15	Ab
6	〃	890	13	〃	0.89	12	
16	〃	1200	13	〃	1.19	15	Aa
				SD345	D19	642	kg
				〃	D13	235	kg
				〃	合計	877	kg
				鋼管（φ29×40）		252	個



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

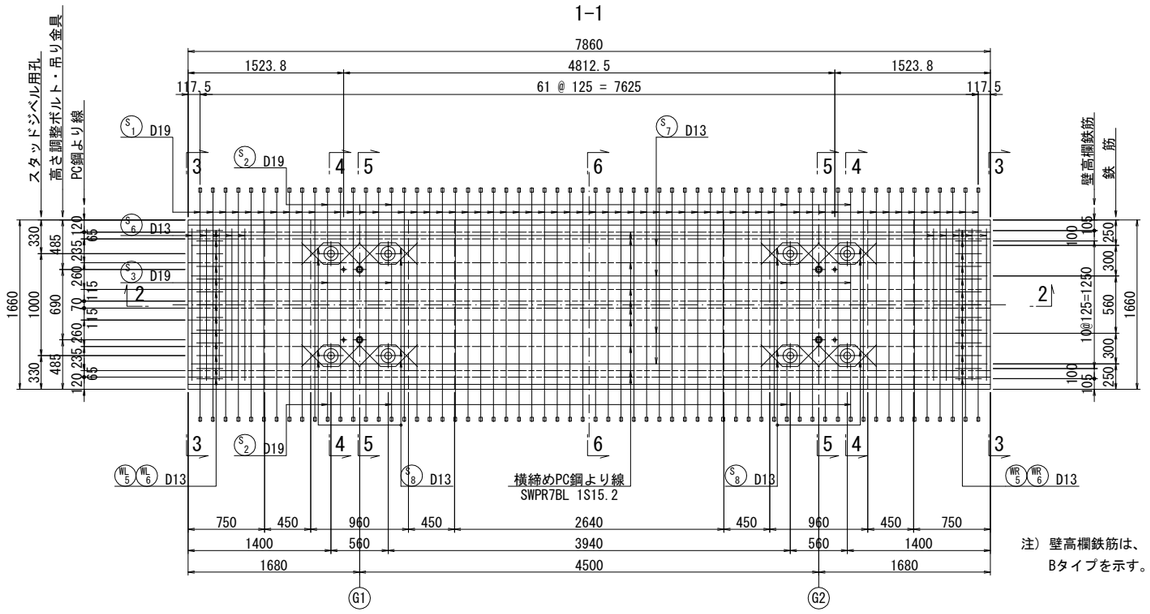
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その３）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	86 / 212

P5～P9 PC床版配筋図（その４）

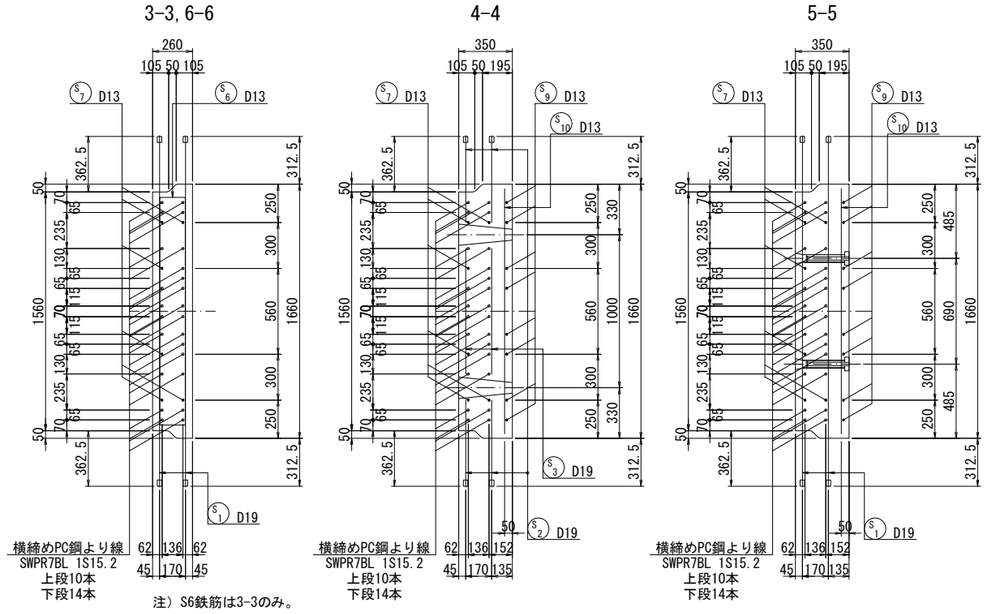
B ， B-L ， B-L1 ， B-R タイプ

平　面　図 S=1:30



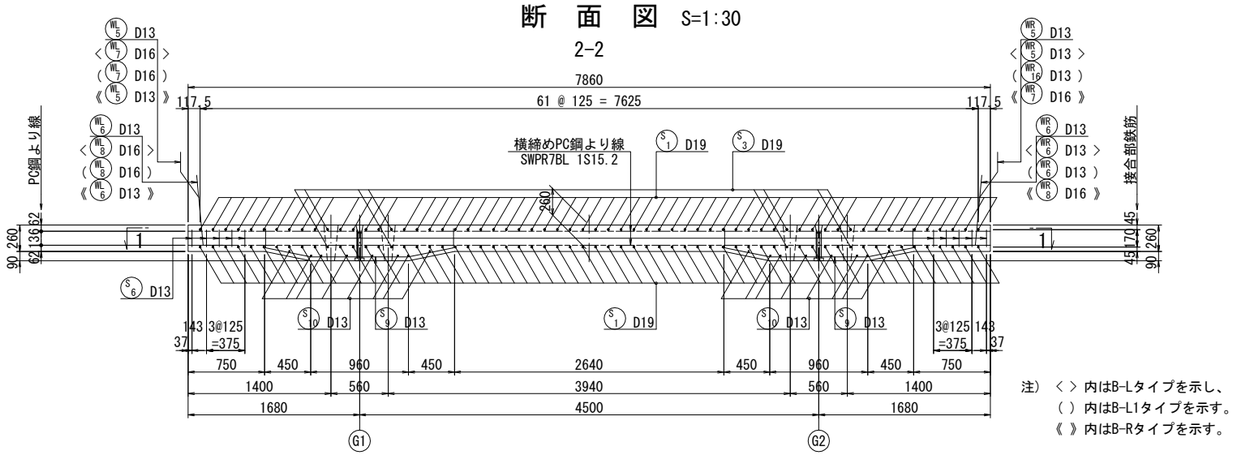
注）壁高欄鉄筋は、
Bタイプを示す。

側　面　図 S=1:20



注）S6鉄筋は3-3のみ。

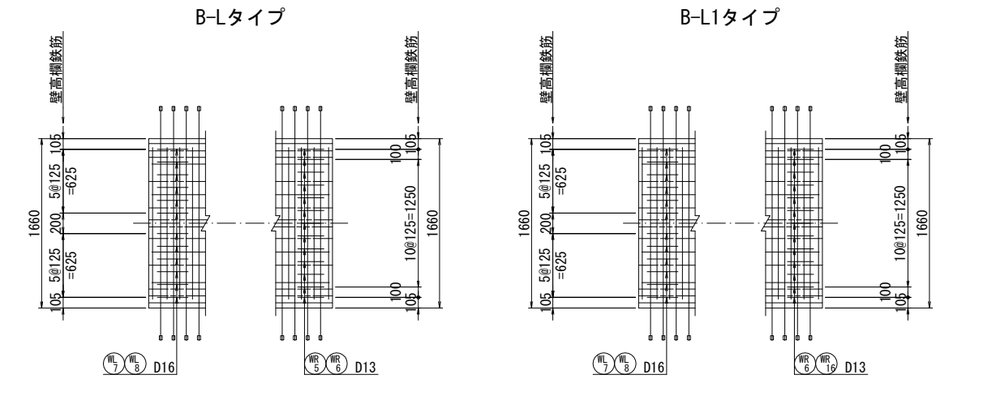
断　面　図 S=1:30



注）〈 〉内はB-Lタイプを示し、
（ ）内はB-L1タイプを示す。
《 》内はB-Rタイプを示す。

平　面　図 S=1:30

1-1



注）壁高欄鉄筋以外は、
Bタイプと同様とする。

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

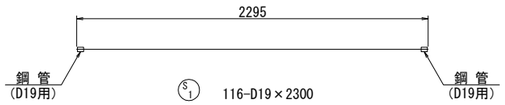
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その４）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	87 / 212

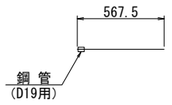
P5～P9 PC床版配筋図（その５）

B ， B-L ， B-L1 ， B-R タイプ

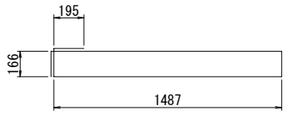
鉄 筋 加 工 図 S=1:20



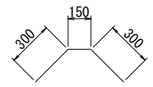
S1 116-D19×2300



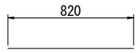
S2 16-D19×570



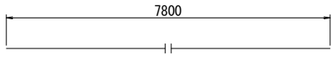
S6 10-D13×3670



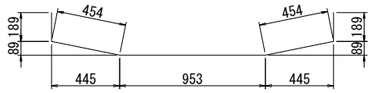
S8 32-D13×750



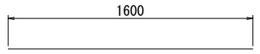
S3 8-D19×820



S7 6-D13×7800

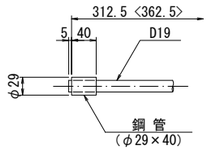


S9 16-D13×2240

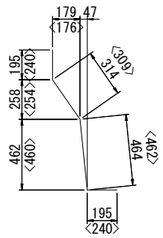


S10 16-D13×1600

鋼管部詳細図 S=1:5

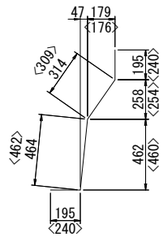


注）〈 〉内は上段側を示す。



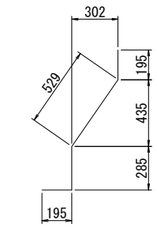
WL5 13-D13×1170 (B, B-R)

〈 WL7 12-D16×1250 (B-L, B-L1) 〉

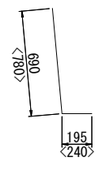


WR5 13-D13×1170 (B, B-L)

〈 WR7 12-D16×1250 (B-R) 〉

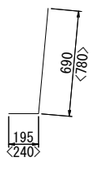


WR10 13-D13×1200 (B-L1)



WL6 13-D13×890 (B, B-R)

〈 WL8 12-D16×1020 (B-L, B-L1) 〉



WR6 13-D13×890 (B, B-L, B-L1)

〈 WR8 12-D16×1020 (B-R) 〉

鉄 筋 表

（床版１枚当り）

種別		径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S	1	D19	2300	116	2.25	5.18	601	鋼管
	2	〃	570	16	〃	1.28	20	鋼管
	3	〃	820	8	〃	1.85	15	
	4	欠番						
	5	〃						
	6	D13	3670	10	0.995	3.65	37	
	7	〃	7800	6	〃	7.76	47	
	8	〃	750	32	〃	0.75	24	
	9	〃	2240	16	〃	2.23	36	
	10	〃	1600	16	〃	1.59	25	
WL	5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	B, B-R
	6	〃	890	13	〃	0.89	12	B, B-R
	7	D16	1250	12	1.56	1.95	23	B-L, B-L1
	8	〃	1020	12	〃	1.59	19	B-L, B-L1
WR	5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	B, B-L
	6	〃	890	13	〃	0.89	12	B, B-L, B-L1
	7	D16	1250	12	1.56	1.95	23	B-R
	8	〃	1020	12	〃	1.59	19	B-R
16		D13	1200	13	0.995	1.19	15	B-L1

			B	B-L, B-L1, B-R
	SD345	D19	636 kg	636 kg
	〃	D16	－ kg	42 kg
	〃	D13	223 kg	196 kg
	〃	合計	859 kg	874 kg
	鋼管（φ29×40）		248 個	248 個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

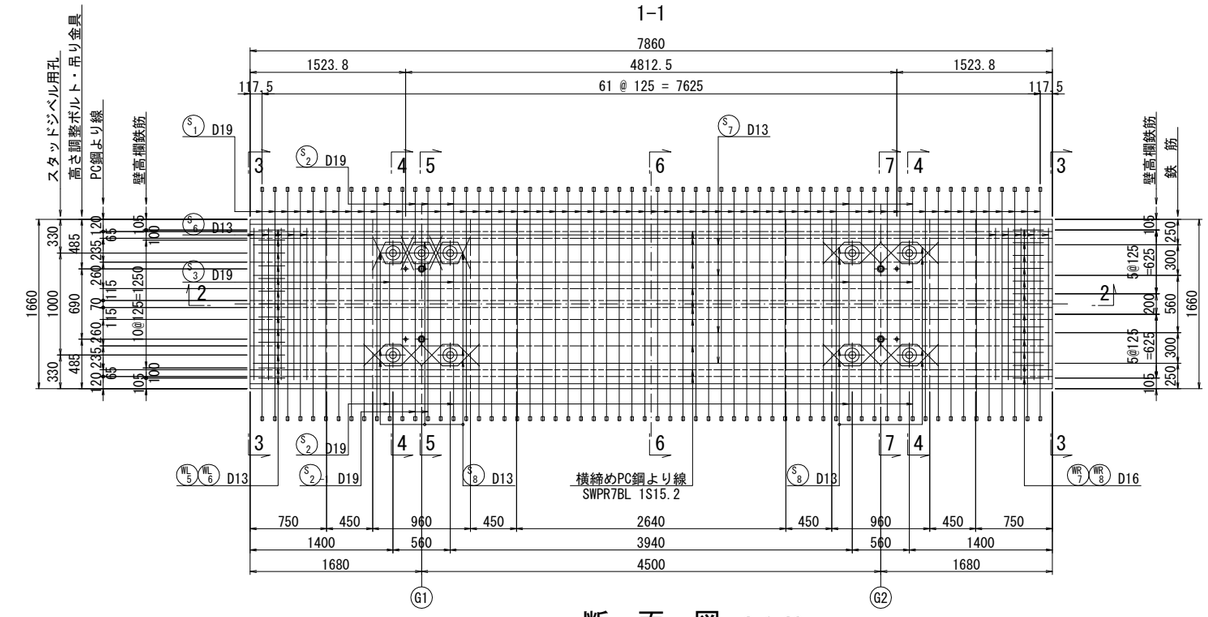
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その５）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	88 / 212

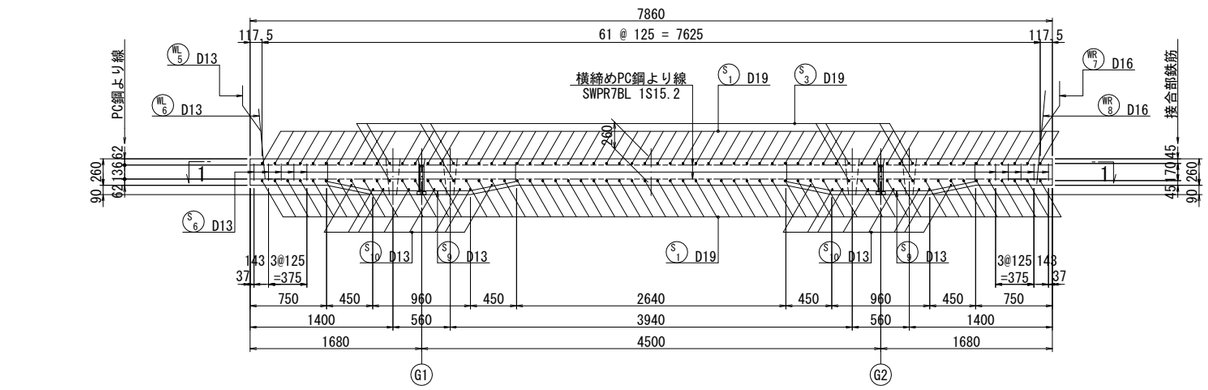
P5～P9 PC床版配筋図（その６）

B-1R タイプ

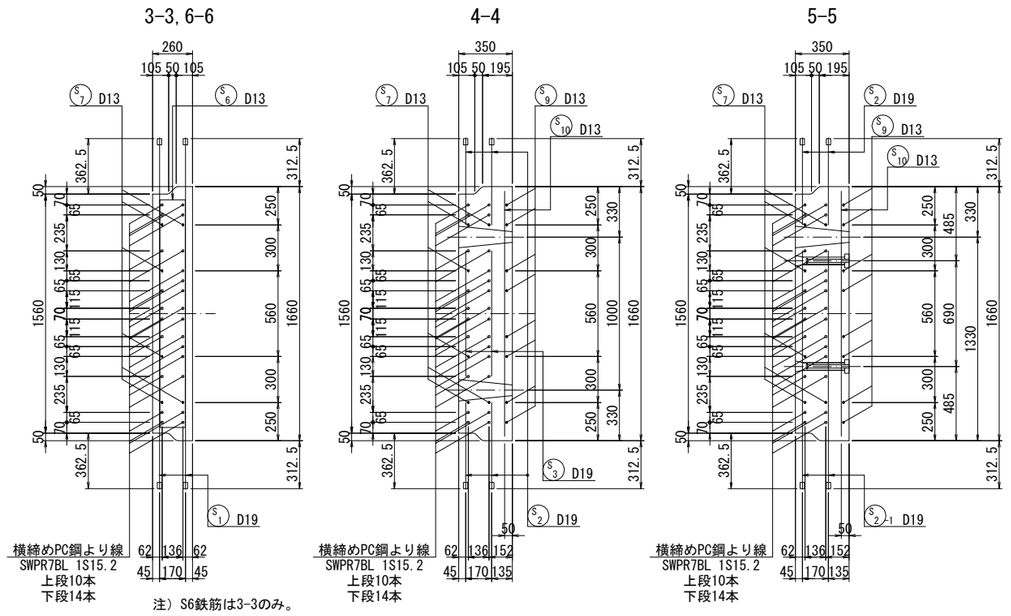
平　面　図 S=1:30

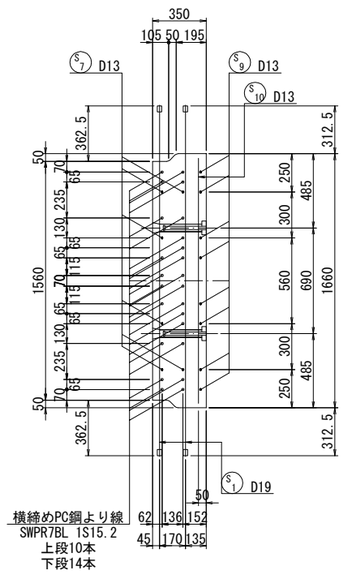


断　面　図 S=1:30



側　面　図 S=1:20





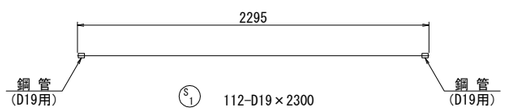
鉄　筋　表

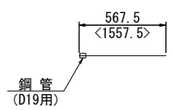
（床版１枚当り）

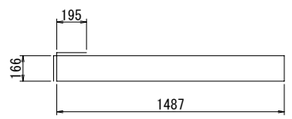
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S 1	D19	2300	112	2.25	5.18	580	鋼管
2	〃	570	20	〃	1.28	26	鋼管
2-1	〃	1560	4	〃	3.51	14	鋼管
3	〃	820	8	〃	1.85	15	
4	欠番						
5	〃						
6	D13	3670	10	0.995	3.65	37	
7	〃	7800	6	〃	7.76	47	
8	〃	750	36	〃	0.75	27	
9	〃	2240	16	〃	2.23	36	
10	〃	1600	16	〃	1.59	25	
WL 5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	
WR 7	D16	1250	12	1.56	1.95	23	
8	〃	1020	12	〃	1.59	19	

SD345	D19	635 kg
〃	D16	42 kg
〃	D13	199 kg
〃	合計	876 kg
鋼管（φ29×40）		248 個

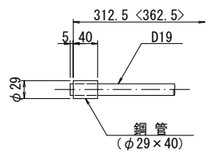
注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。



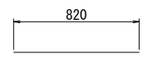


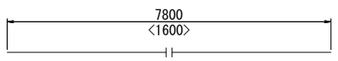


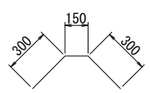
鋼管部詳細図 S=1:5

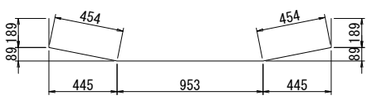


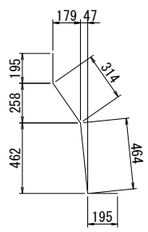
注）< >内は上段側を示す。

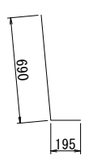


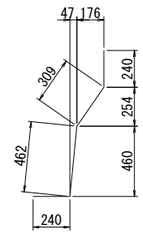


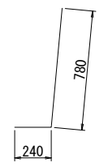












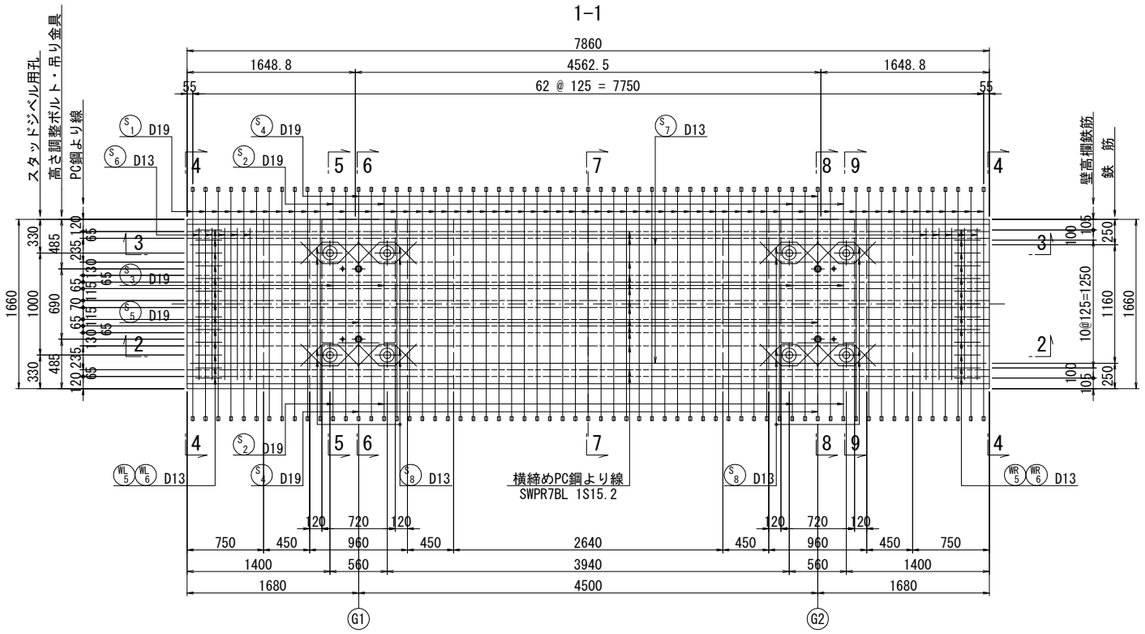
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その６）
縮尺	図示
設計者	
位置	
設計年度	
宮城県	図番 89 / 212

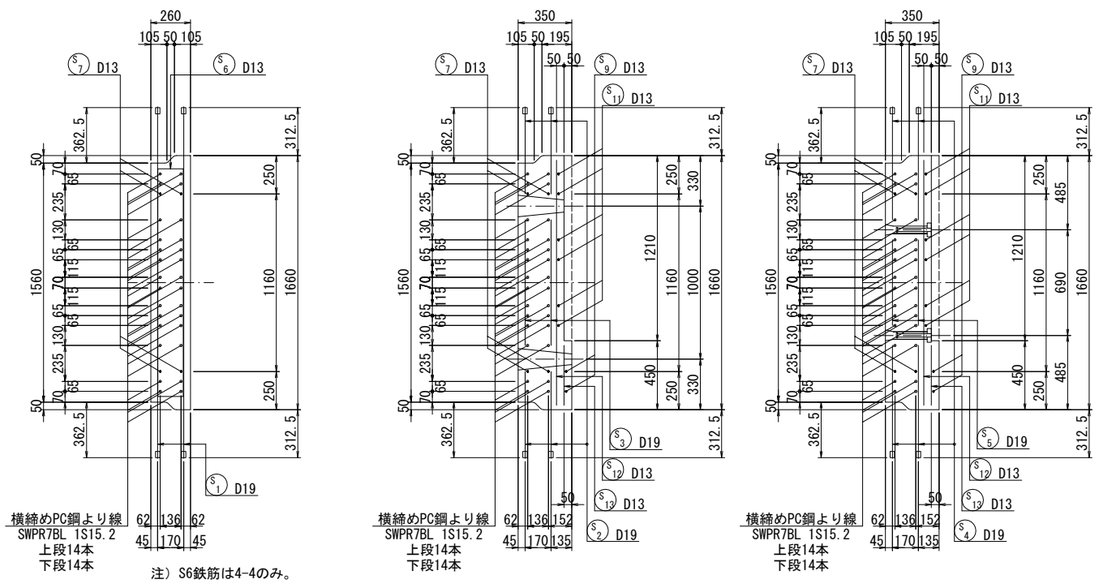
P5～P9 PC床版配筋図（その７）

A-K7 タイプ

平　面　図 S=1:30

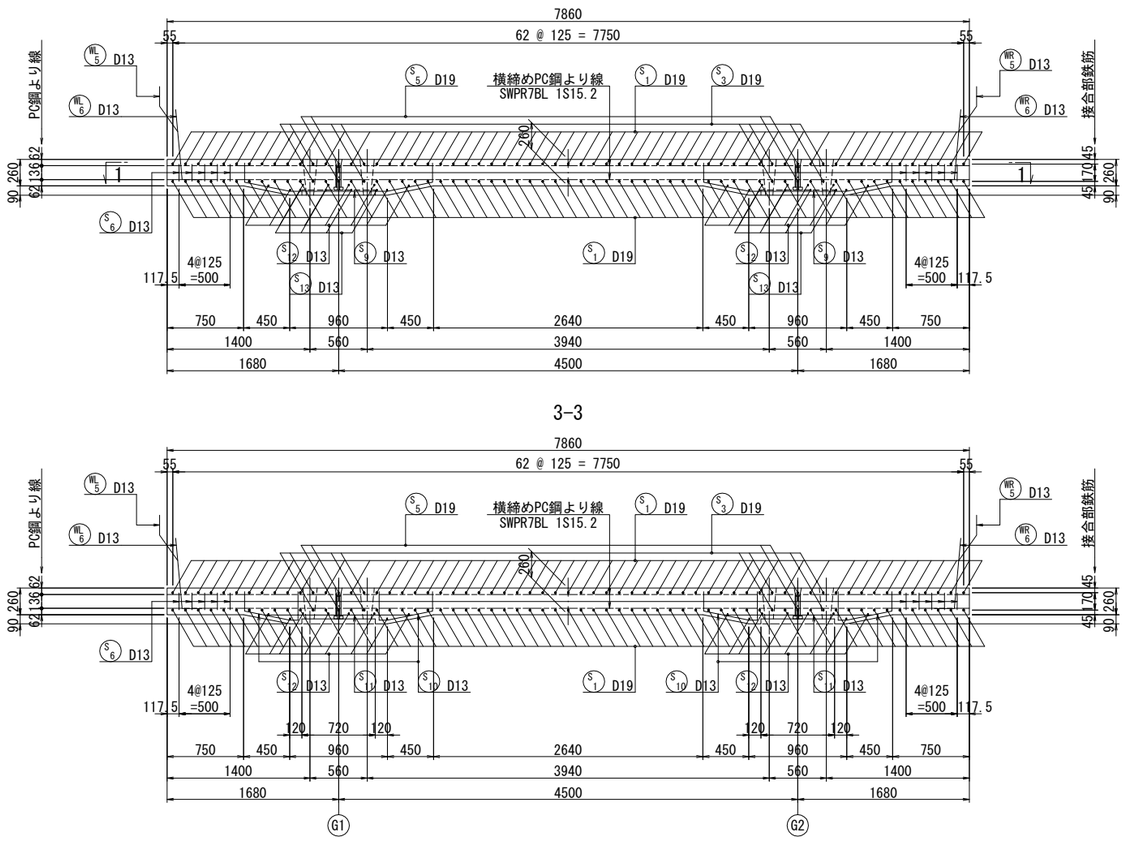


側　面　図 S=1:20



注）S6鉄筋は4-4のみ。

断　面　図 S=1:30



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

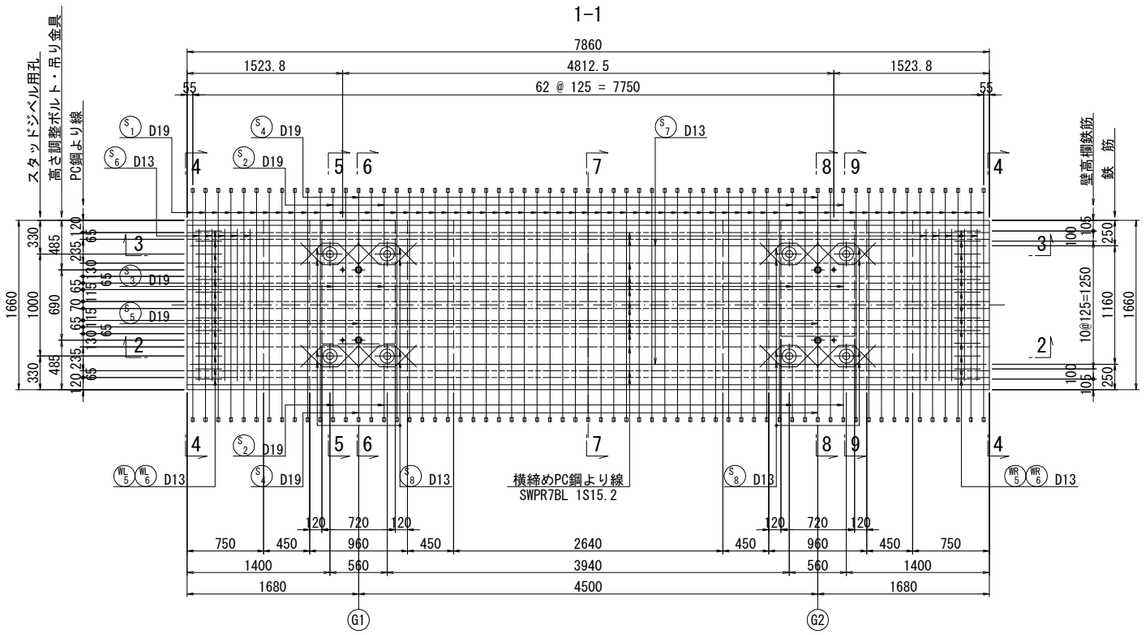
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その７）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	90 / 212

P5～P9 PC床版配筋図（その８）

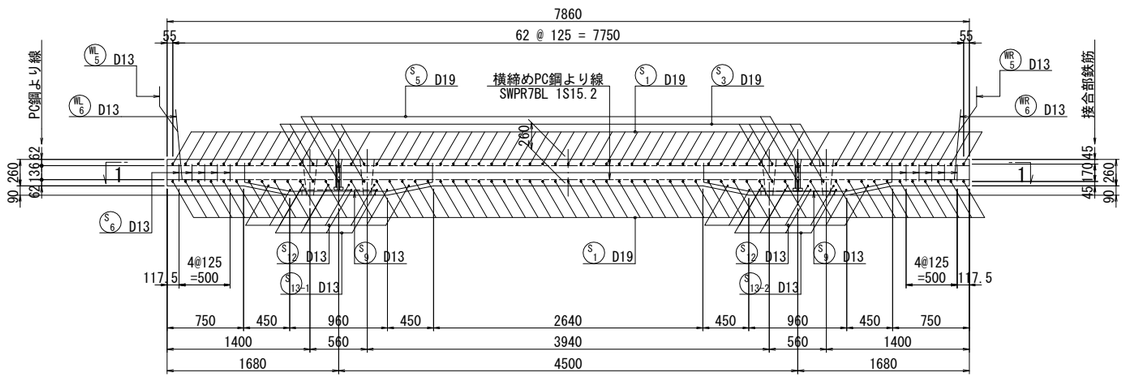
A-K1 タイプ

平　面　図 S=1:30

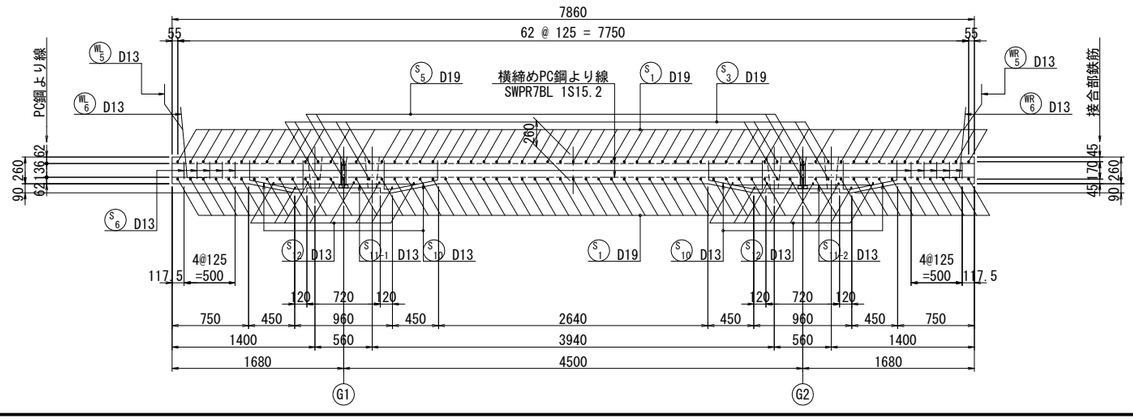


断　面　図 S=1:30

2-2

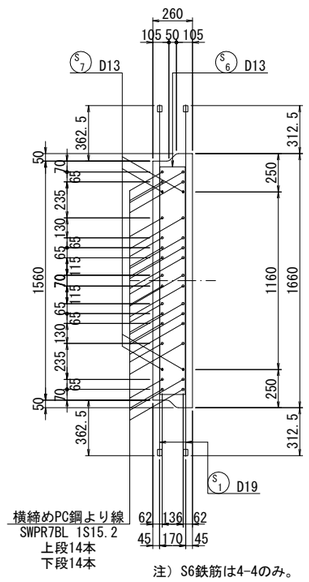


3-3



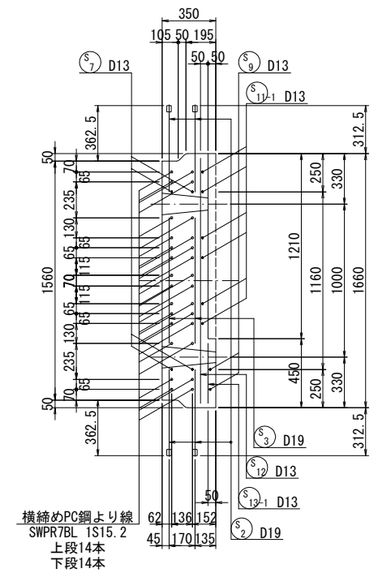
側　面　図 S=1:20

4-4, 7-7

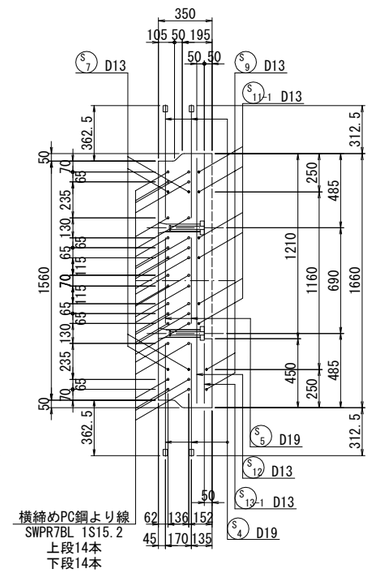


注）S6鉄筋は4-4のみ。

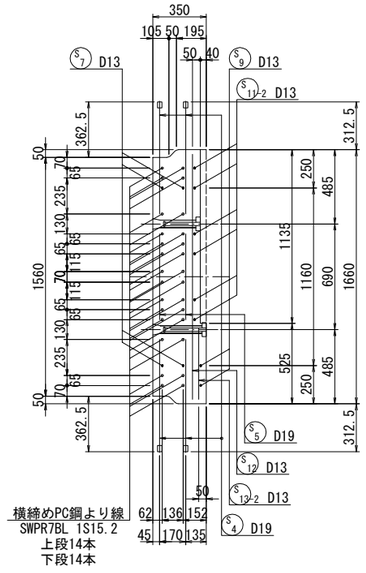
5-5



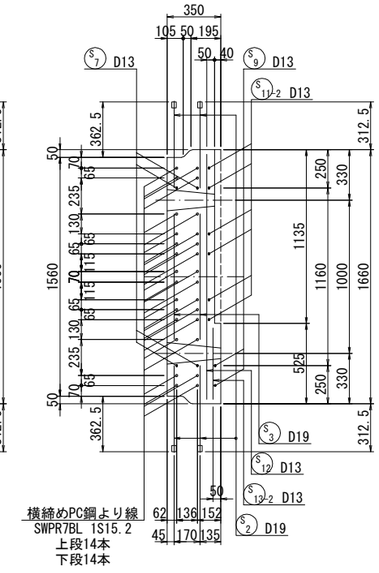
6-6



8-8



9-9



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

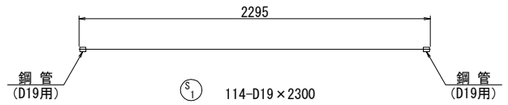
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その８）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	91 / 212

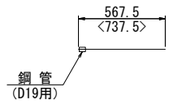
P5～P9 PC床版配筋図（その９）

A-K1 ， A-K7 タイプ

鉄 筋 加 工 図 S=1:20

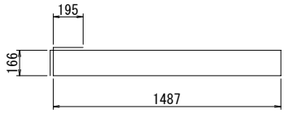


S1 114-D19×2300

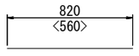


S2 16-D19×570

〈 S4 8-D19×740 〉

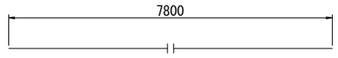


S6 10-D13×3670

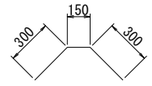


S3 8-D19×820

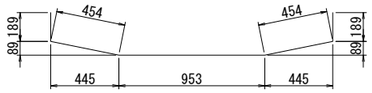
〈 S5 4-D19×560 〉



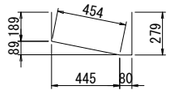
S7 4-D13×7800



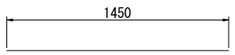
S8 32-D13×750



S9 4-D13×2240

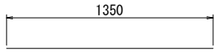


S10 24-D13×1000

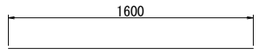


S11 12-D13×1450（A-K7）

S11-1 6-D13×1450（A-K1）



S11-2 6-D13×1350（A-K1）



S12 16-D13×1600



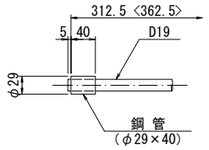
S13 8-D13×390（A-K7）

S13-1 4-D13×390（A-K1）

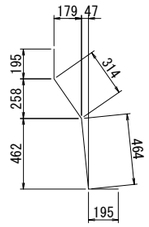


S13-2 4-D13×470（A-K1）

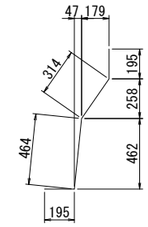
鋼管部詳細図 S=1:5



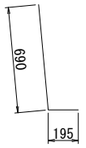
注）〈 〉内は上段側を示す。



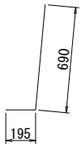
WL5 13-D13×1170



WR5 13-D13×1170



WL6 13-D13×890



WR6 13-D13×890

鉄 筋 表

（床版１枚当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg／m)	1本当り質量 (kg／本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D19	2300	114	2.25	5.18	591	鋼管
2	〃	570	16	〃	1.28	20	鋼管
3	〃	820	8	〃	1.85	15	
4	〃	740	8	〃	1.67	13	鋼管
5	〃	560	4	〃	1.26	5	
6	D13	3670	10	0.995	3.65	37	
7	〃	7800	4	〃	7.76	31	
8	〃	750	32	〃	0.75	24	
9	〃	2240	4	〃	2.23	9	
10	〃	1000	24	〃	1.00	24	
11	〃	1450	12	〃	1.44	17	A-K7
11-1	〃	1450	6	〃	1.44	9	A-K1
11-2	〃	1350	6	〃	1.34	8	A-K1
12	〃	1600	16	〃	1.59	25	
13	〃	390	8	〃	0.39	3	A-K7
13-1	〃	390	4	〃	0.39	2	A-K1
13-2	〃	470	4	〃	0.47	2	A-K1
WL 5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	
WR 5	〃	1170	13	〃	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	

			A-K1	A-K7
	SD345	D19	644 kg	644 kg
	〃	D13	225 kg	224 kg
	〃	合計	869 kg	868 kg
	鋼管（φ29×40）		252 個	252 個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

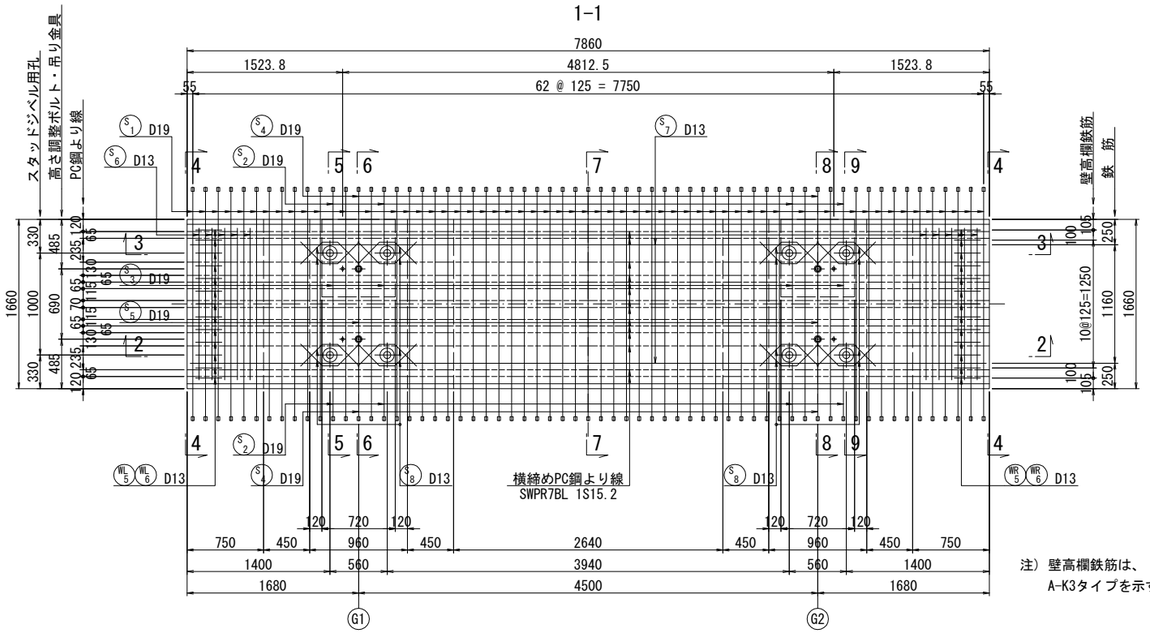
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その９）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	92 / 212

P5～P9 PC床版配筋図（その１０）

A-K3 ， A-K3L ， A-K4R タイプ

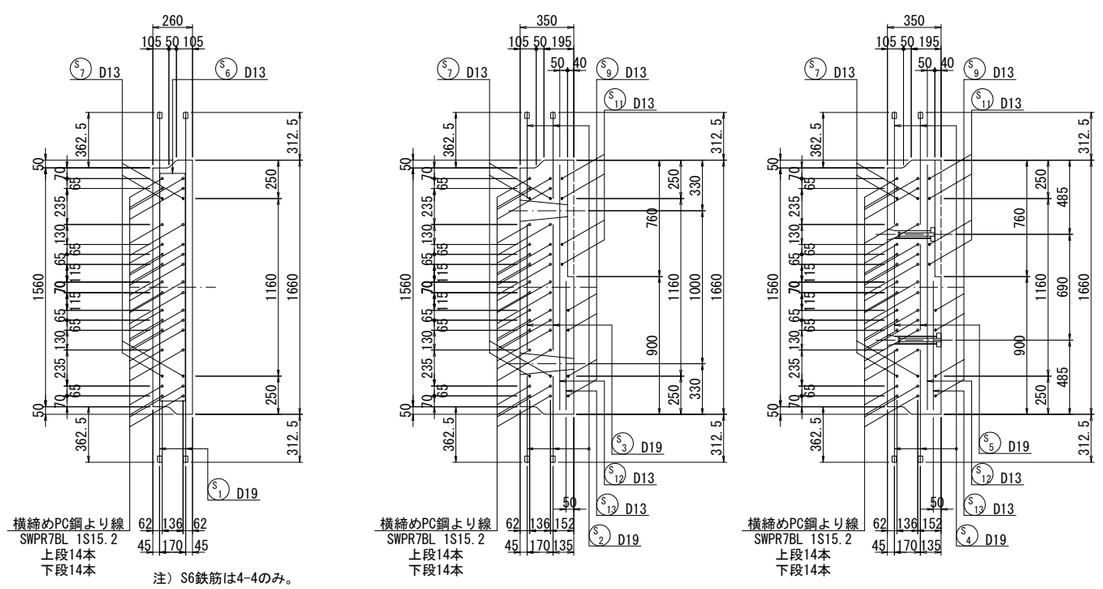
平　面　図 S=1:30



注）壁高欄鉄筋は、
A-K3タイプを示す。

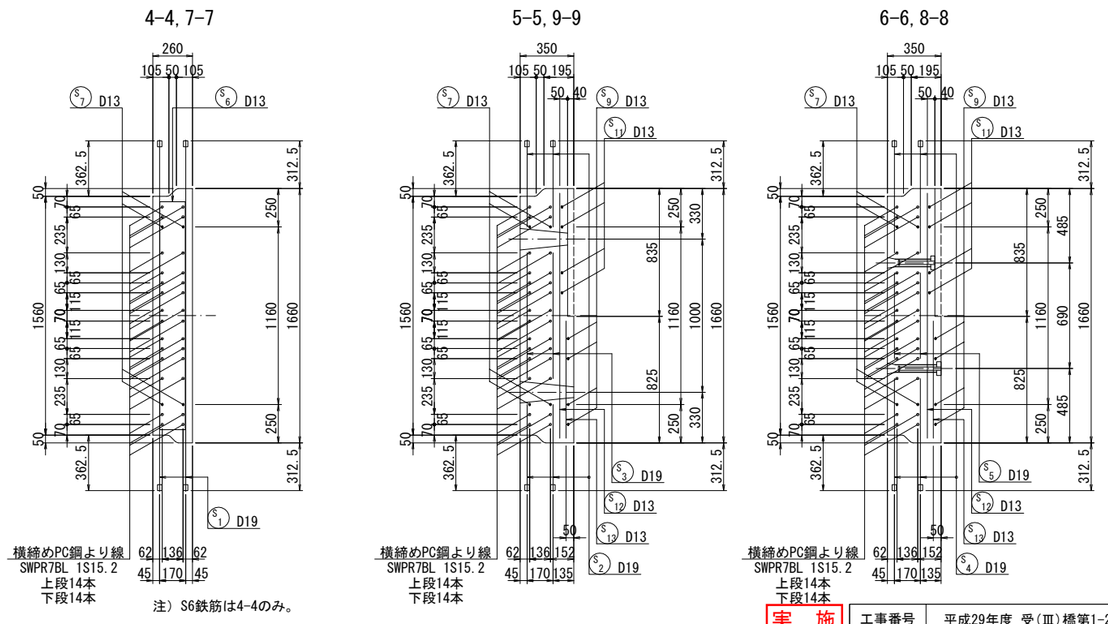
側　面　図 S=1:20

A-K3 タイプ



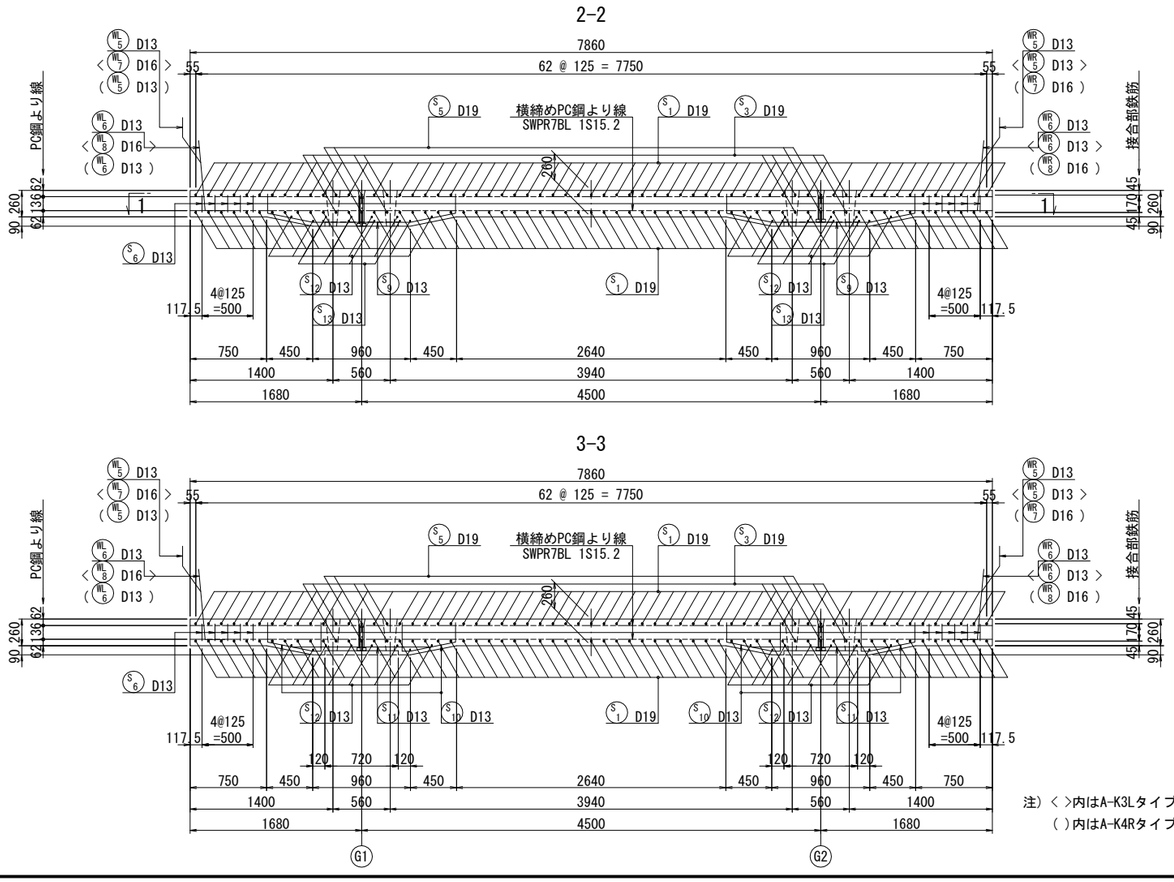
注）S6鉄筋は4-4のみ。

A-K4 タイプ



注）S6鉄筋は4-4のみ。

断　面　図 S=1:30



注）＜ ＞内はA-K3Lタイプを示し、
（ ）内はA-K4Rタイプを示す。

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その１０）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	93 / 212

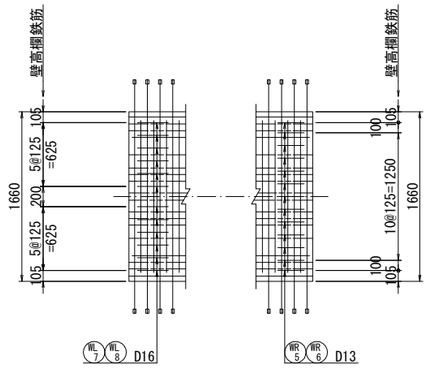
P5～P9 PC床版配筋図（その１１）

A-K3 ， A-K3L ， A-K4R タイプ

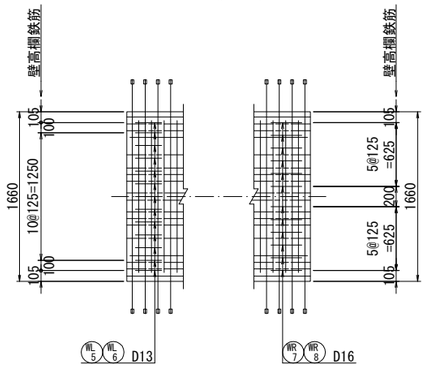
平 面 図 S=1:30

1-1

A-K3Lタイプ



A-K4Rタイプ



注）壁高欄鉄筋以外は、A-K3タイプと同様とする。

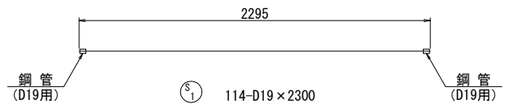
鉄 筋 表

（床版１枚当り）

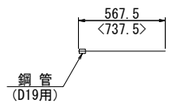
種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg／m)	1本当り質量 (kg／本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D19	2300	114	2.25	5.18	591	鋼管
2	〃	570	16	〃	1.28	20	鋼管
3	〃	820	8	〃	1.85	15	
4	〃	740	8	〃	1.67	13	鋼管
5	〃	560	4	〃	1.26	5	
6	D13	3670	10	0.995	3.65	37	
7	〃	7800	4	〃	7.76	31	
8	〃	750	32	〃	0.75	24	
9	〃	2240	8	〃	2.23	18	
10	〃	1000	16	〃	1.00	16	
11	〃	1350	8	〃	1.34	11	
12	〃	1600	16	〃	1.59	25	
13	〃	840	8	〃	0.84	7	A-K3 A-K3L
	〃	770	8	〃	0.77	6	A-K4R
WL 5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	A-K3 A-K4R
6	〃	890	13	〃	0.89	12	A-K3 A-K4R
7	D16	1250	12	1.56	1.95	23	A-K3L
8	〃	1020	12	〃	1.59	19	A-K3L
WR 5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	A-K3 A-K3L
6	〃	890	13	〃	0.89	12	A-K3 A-K3L
7	D16	1250	12	1.56	1.95	23	A-K4R
8	〃	1020	12	〃	1.59	19	A-K4R

		A-K3	A-K3L	A-K4R
SD345	D19	644 kg	644 kg	644 kg
〃	D16	－ kg	42 kg	42 kg
〃	D13	223 kg	196 kg	195 kg
〃	合計	867 kg	882 kg	881 kg
鋼管（φ29×40）		252 個	252 個	252 個

鉄 筋 加 工 図 S=1:20

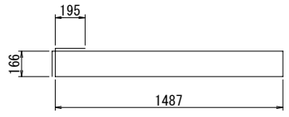


S1 114-D19×2300

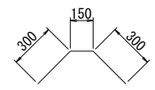


S2 16-D19×570

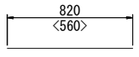
〈 S4 8-D19×740 〉



S6 10-D13×3670

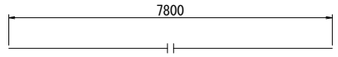


S8 32-D13×750

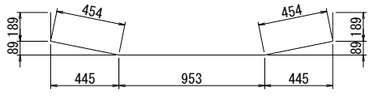


S3 8-D19×820

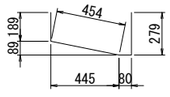
〈 S5 4-D19×560 〉



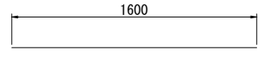
S7 4-D13×7800



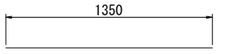
S9 8-D13×2240



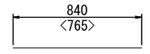
S10 16-D13×1000



S12 16-D13×1600



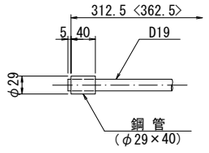
S11 8-D13×1350



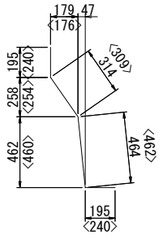
S13 8-D13×840（A-K3, A-K3L）

〈 S13 8-D13×770（A-K4R）〉

鋼管部詳細図 S=1:5

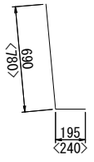


注）〈 〉内は上段側を示す。



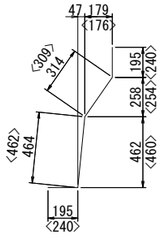
WL5 13-D13×1170（A-K3, A-K4R）

〈 WL7 12-D16×1250（A-K3L）〉



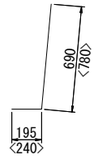
WL6 13-D13×890（A-K3, A-K4R）

〈 WL8 12-D16×1020（A-K3L）〉



WR5 13-D13×1170（A-K3, A-K3L）

〈 WR7 12-D16×1250（A-K4R）〉



WR6 13-D13×890（A-K3, A-K3L）

〈 WR8 12-D16×1020（A-K4R）〉

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

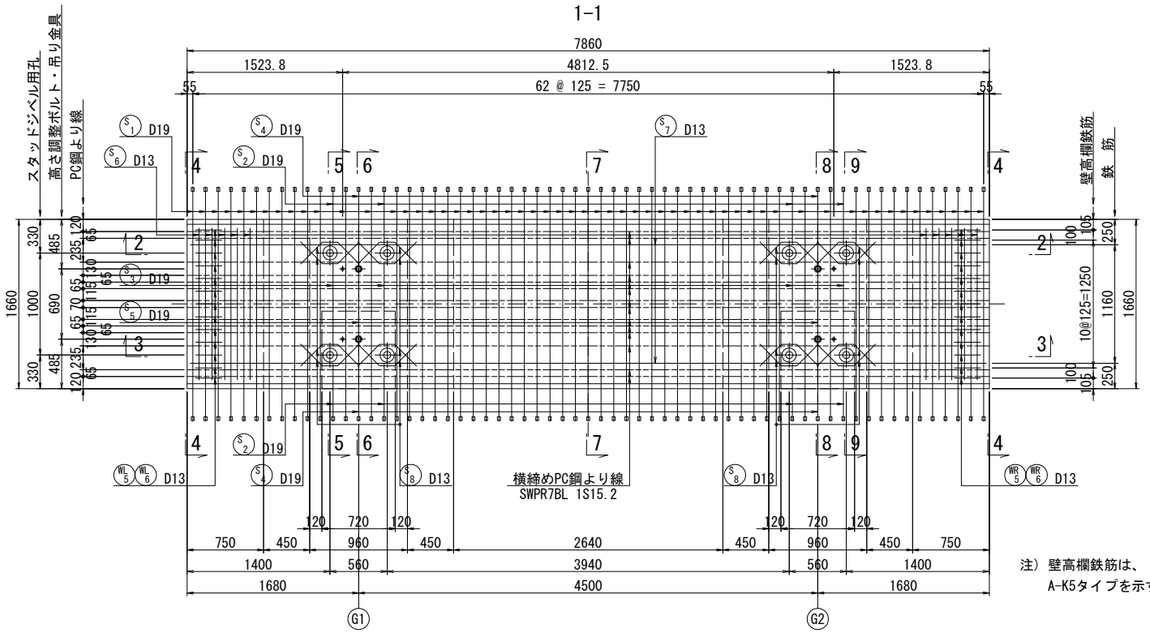
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その１１）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	94 / 212

P5～P9 PC床版配筋図（その１２）

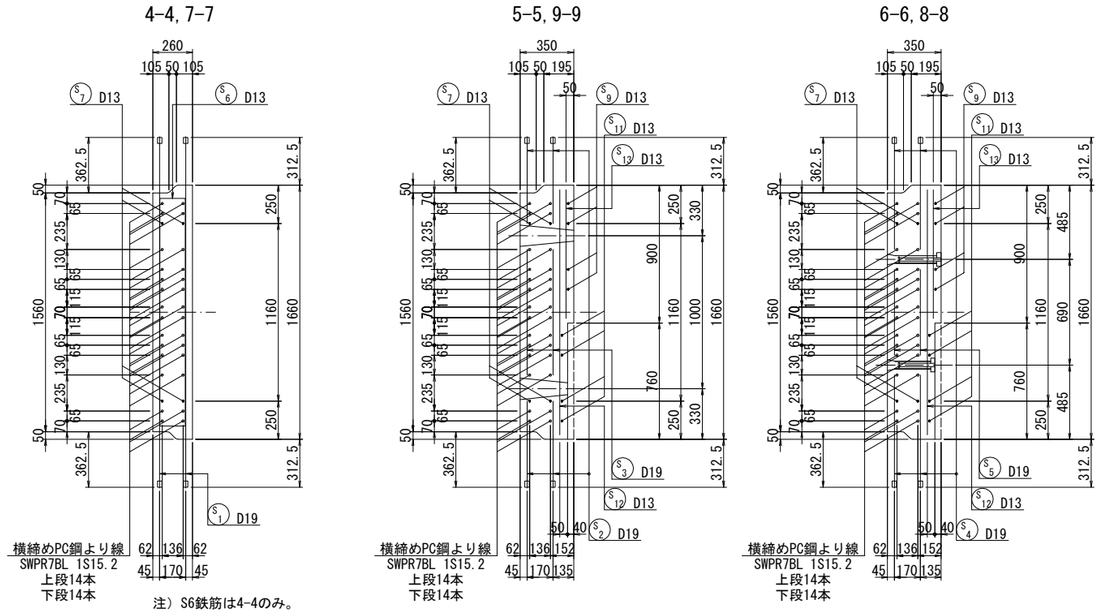
A-K5 ， A-K5R ， A-K6L タイプ

平　面　図 S=1:30



側　面　図 S=1:20

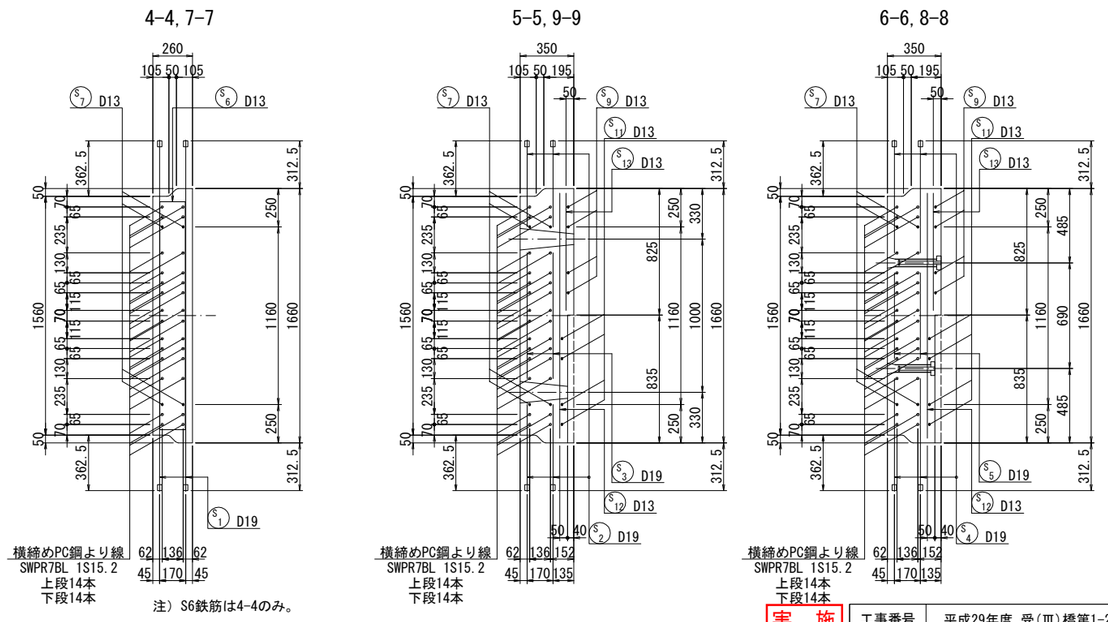
A-K5 タイプ



注）壁高欄鉄筋は、A-K5タイプを示す。

注）S6鉄筋は4-4のみ。

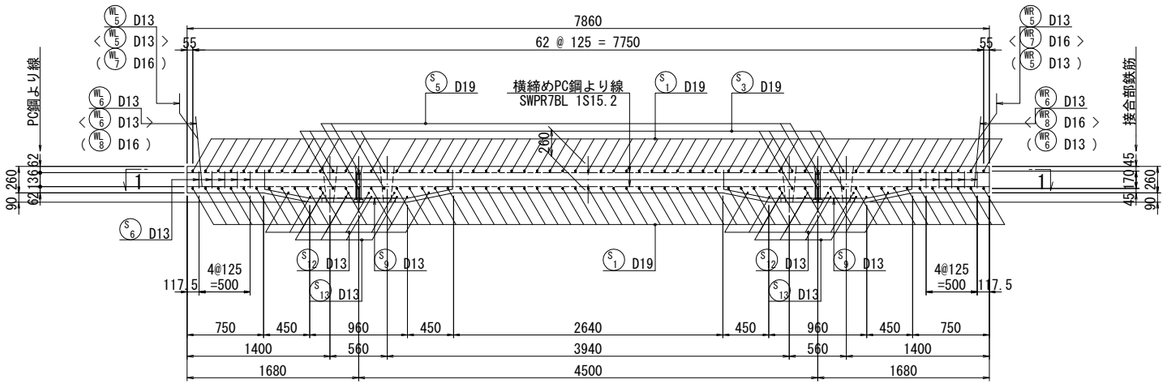
A-K6 タイプ



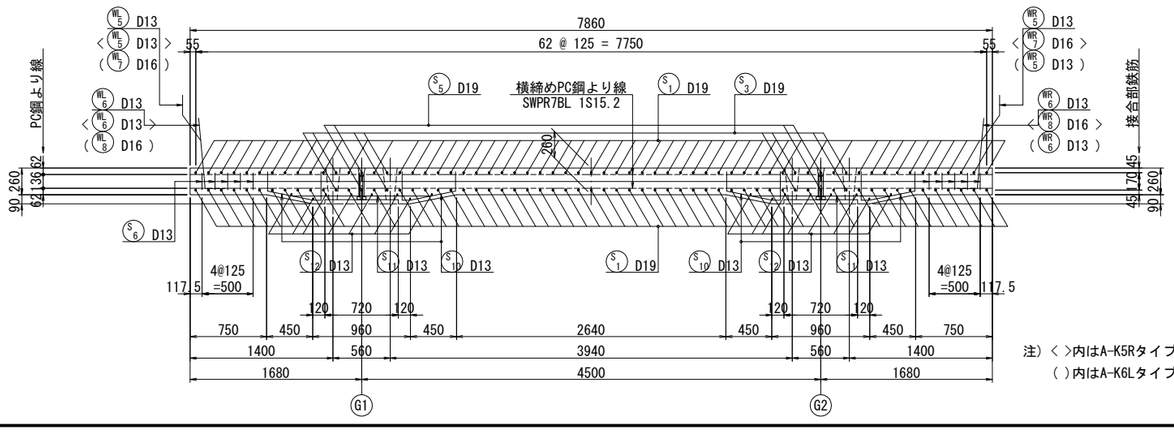
注）S6鉄筋は4-4のみ。

断　面　図 S=1:30

2-2



3-3



注）＜ ＞内はA-K5Rタイプを示し、
（ ）内はA-K6Lタイプを示す。

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

実　施

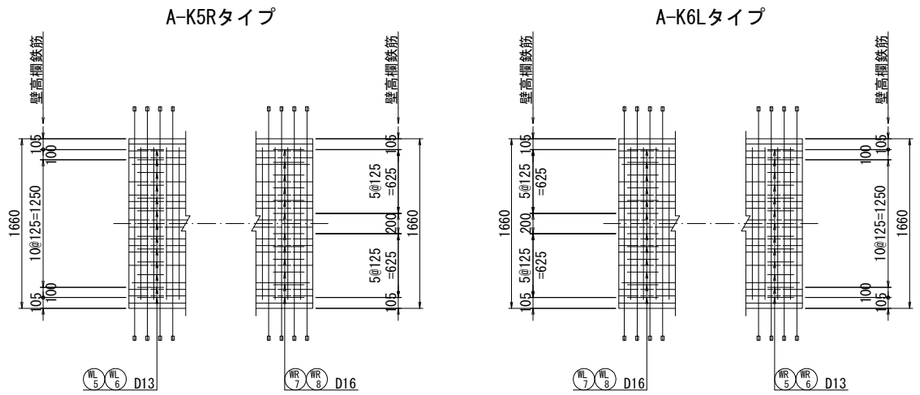
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その１２）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	95 / 212

P5～P9 PC床版配筋図（その１３）

A-K5 ， A-K5R ， A-K6L タイプ

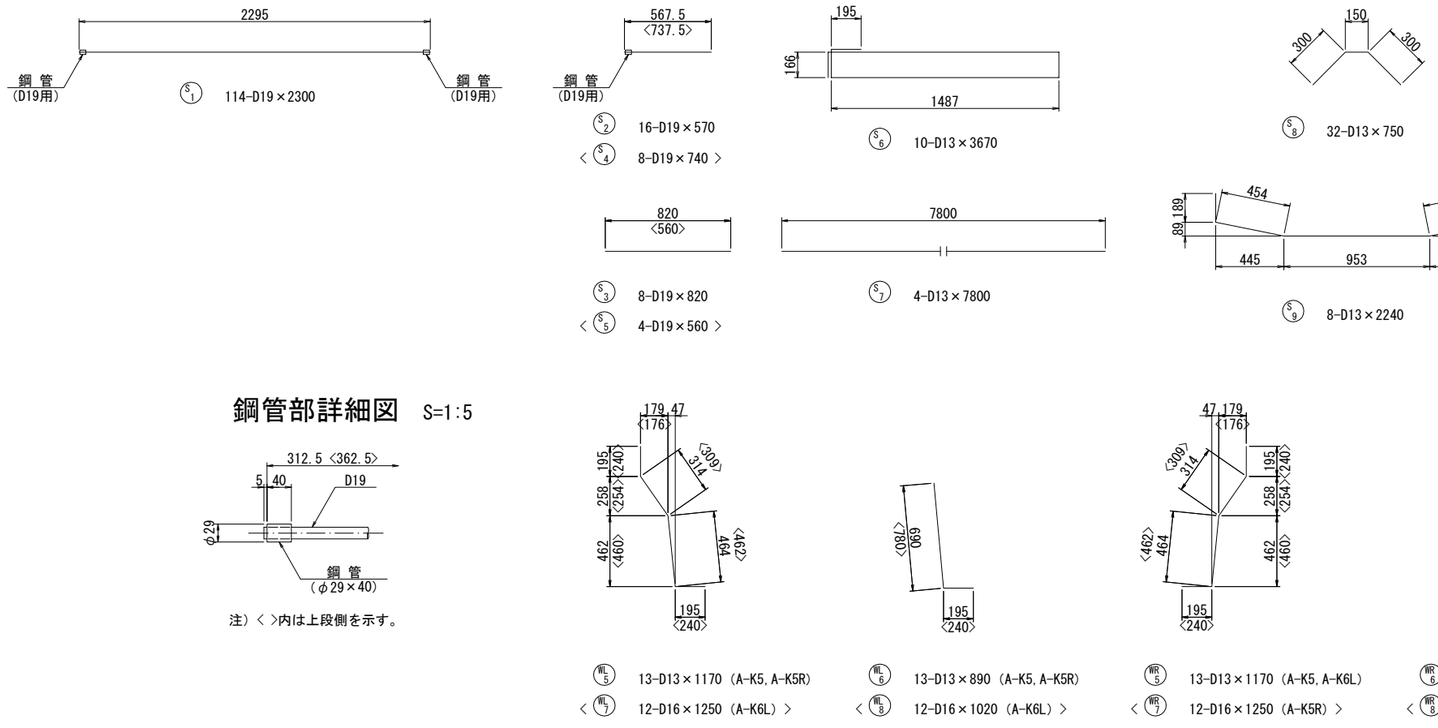
平 面 図 S=1:30

1-1



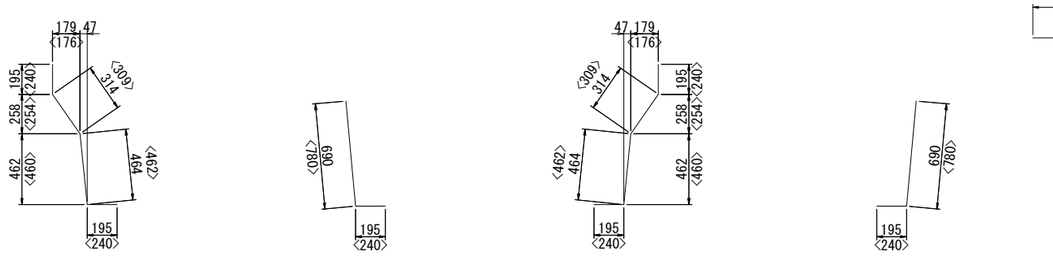
注）壁高欄鉄筋以外は、A-K5タイプと同様とする。

鉄 筋 加 工 図 S=1:20



鋼管部詳細図 S=1:5

注）〈 〉内は上段側を示す。



鉄 筋 表

（床版１枚当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg／m)	1本当り質量 (kg／本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D19	2300	114	2.25	5.18	591	鋼管
2	〃	570	16	〃	1.28	20	鋼管
3	〃	820	8	〃	1.85	15	
4	〃	740	8	〃	1.67	13	鋼管
5	〃	560	4	〃	1.26	5	
6	D13	3670	10	0.995	3.65	37	
7	〃	7800	4	〃	7.76	31	
8	〃	750	32	〃	0.75	24	
9	〃	2240	8	〃	2.23	18	
10	〃	1000	16	〃	1.00	16	
11	〃	1350	8	〃	1.34	11	
12	〃	1600	16	〃	1.59	25	
13	〃	840	8	〃	0.84	7	A-K5 A-K5R
	〃	770	8	〃	0.77	6	A-K6L
WL 5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	A-K5 A-K5R
6	〃	890	13	〃	0.89	12	A-K5 A-K5R
7	D16	1250	12	1.56	1.95	23	A-K6L
8	〃	1020	12	〃	1.59	19	A-K6L
WR 5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	A-K5 A-K6L
6	〃	890	13	〃	0.89	12	A-K5 A-K6L
7	D16	1250	12	1.56	1.95	23	A-K5R
8	〃	1020	12	〃	1.59	19	A-K5R

		A-K5	A-K5R	A-K6L
SD345	D19	644 kg	644 kg	644 kg
〃	D16	－ kg	42 kg	42 kg
〃	D13	223 kg	196 kg	195 kg
〃	合計	867 kg	882 kg	881 kg
鋼管（φ29×40）		252 個	252 個	252 個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

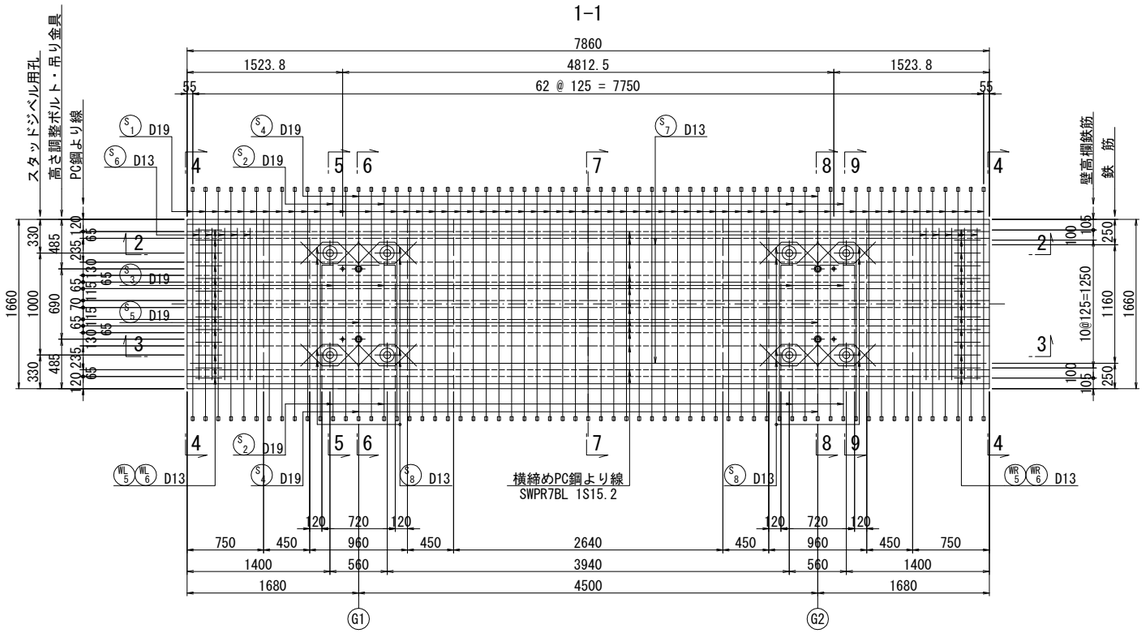
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その１３）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	96 / 212

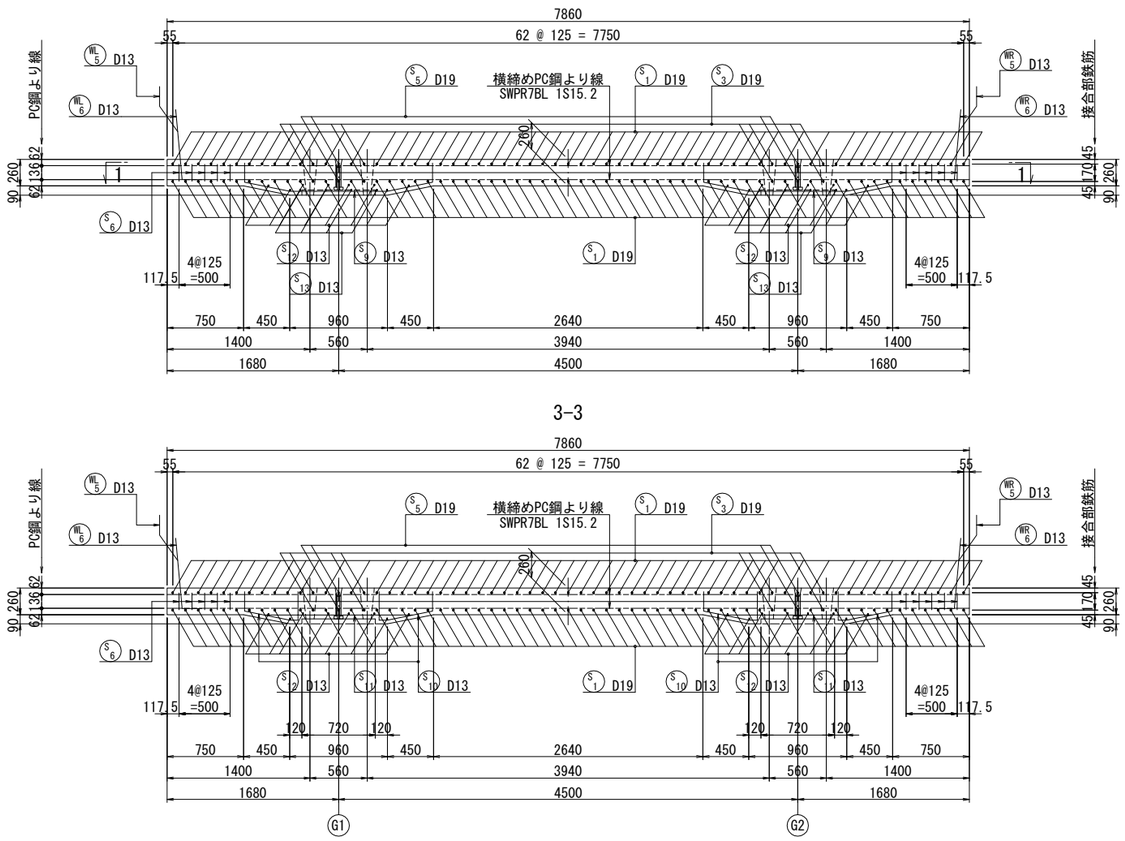
P5～P9 PC床版配筋図（その１４）

A-K2 タイプ

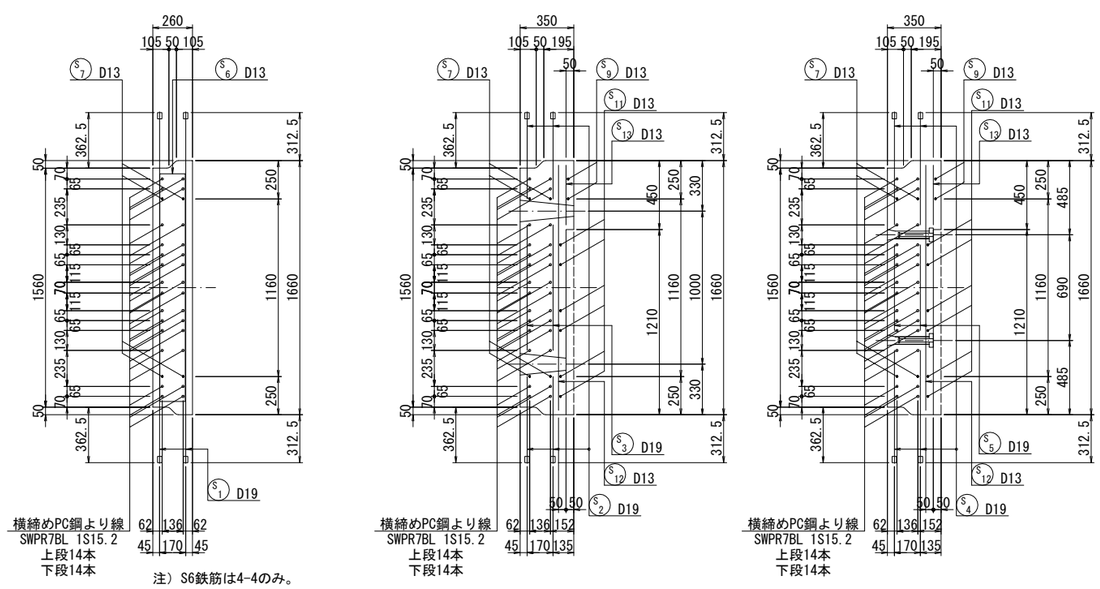
平　面　図 S=1:30



断　面　図 S=1:30



側　面　図 S=1:20



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

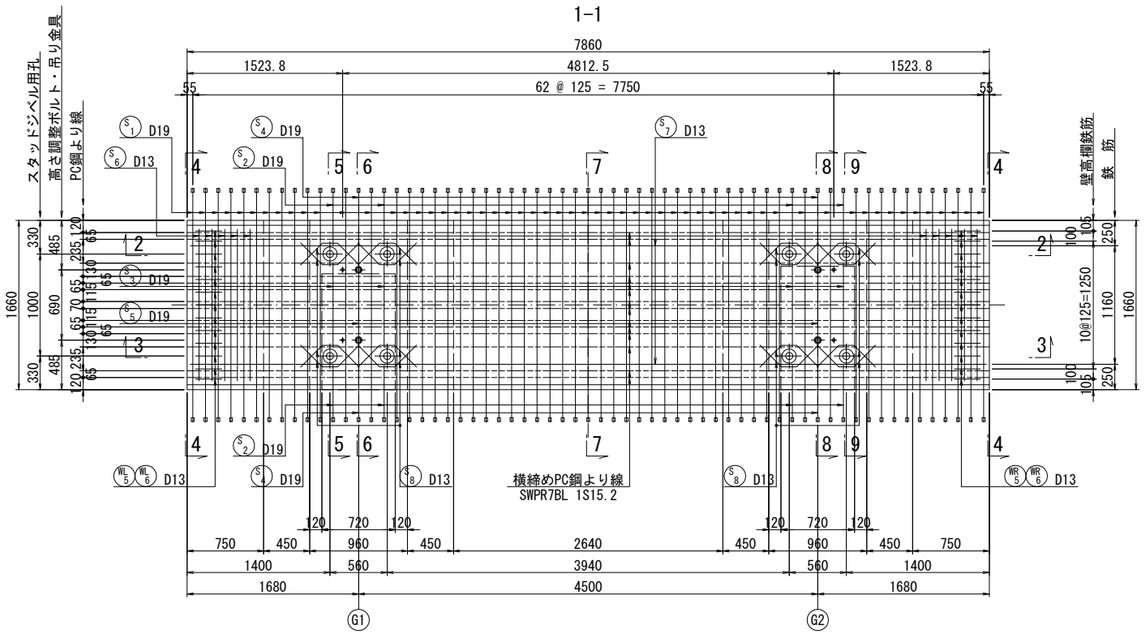
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その１４）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	97 / 212

P5～P9 PC床版配筋図（その１５）

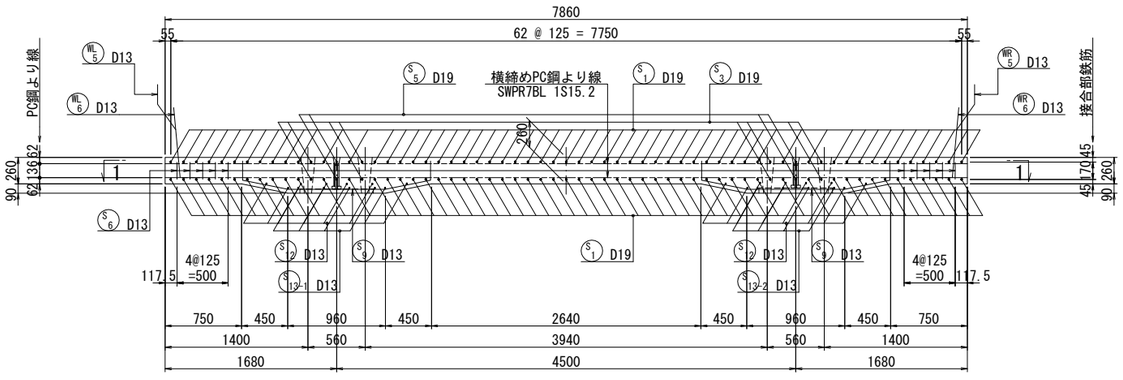
A-K8 タイプ

平　面　図 S=1:30

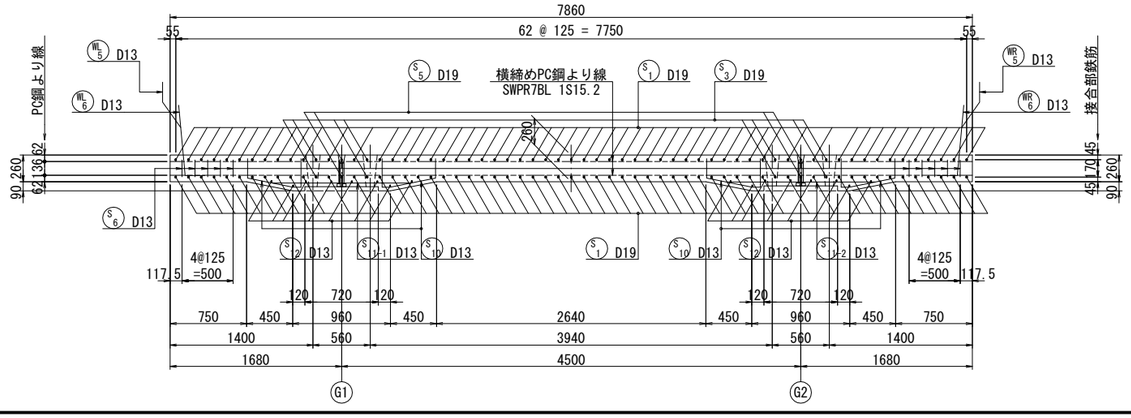


断　面　図 S=1:30

2-2

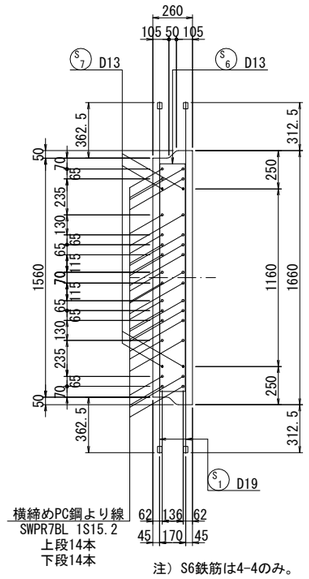


3-3



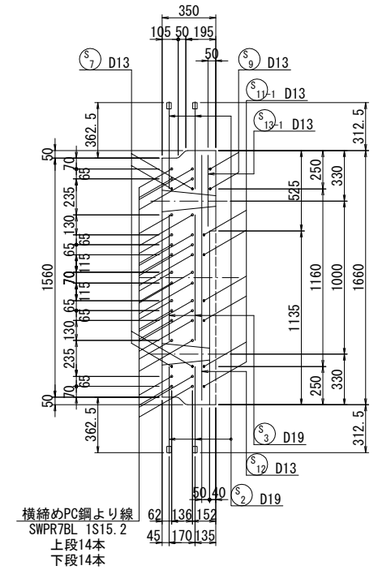
側　面　図 S=1:20

4-4, 7-7

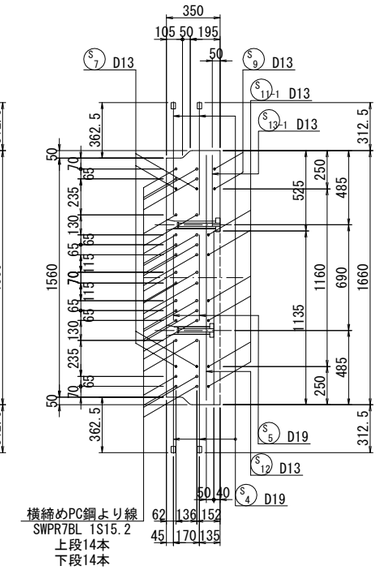


注）S6鉄筋は4-4のみ。

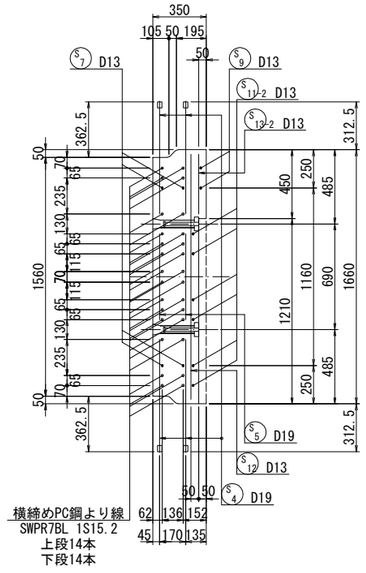
5-5



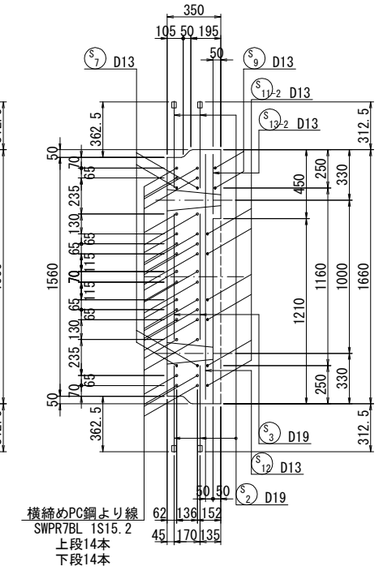
6-6



8-8



9-9



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

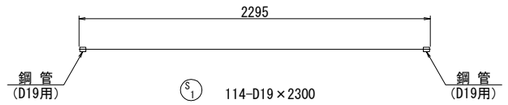
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その１５）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	98 / 212

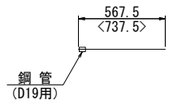
P5～P9 PC床版配筋図（その１６）

A-K2 , A-K8 タイプ

鉄 筋 加 工 図 S=1:20

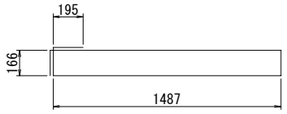


S1 114-D19×2300

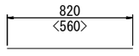


S2 16-D19×570

〈 S4 8-D19×740 〉

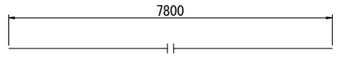


S6 10-D13×3670

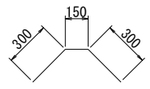


S3 8-D19×820

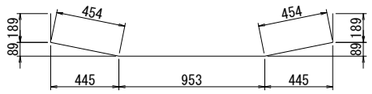
〈 S5 4-D19×560 〉



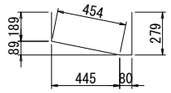
S7 4-D13×7800



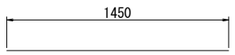
S8 32-D13×750



S9 4-D13×2240

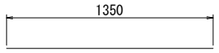


S10 24-D13×1000

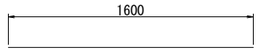


S11 12-D13×1450 (A-K2)

S11-2 6-D13×1450 (A-K8)



S11-1 6-D13×1350 (A-K8)



S12 16-D13×1600



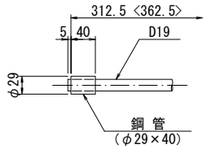
S13 8-D13×390 (A-K2)

〈 S13-1 4-D13×470 (A-K8) 〉

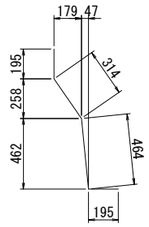


S13-2 4-D13×390 (A-K8)

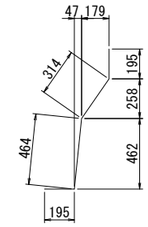
鋼管部詳細図 S=1:5



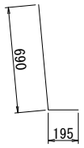
注）〈 〉内は上段側を示す。



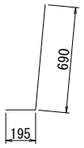
WL5 13-D13×1170



WR5 13-D13×1170



WL6 13-D13×890



WR6 13-D13×890

鉄 筋 表

（床版１枚当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D19	2300	114	2.25	5.18	591	鋼管
2	〃	570	16	〃	1.28	20	鋼管
3	〃	820	8	〃	1.85	15	
4	〃	740	8	〃	1.67	13	鋼管
5	〃	560	4	〃	1.26	5	
6	D13	3670	10	0.995	3.65	37	
7	〃	7800	4	〃	7.76	31	
8	〃	750	32	〃	0.75	24	
9	〃	2240	4	〃	2.23	9	
10	〃	1000	24	〃	1.00	24	
11	〃	1450	12	〃	1.44	17	A-K2
11-1	〃	1350	6	〃	1.34	8	A-K8
11-2	〃	1450	6	〃	1.44	9	A-K8
12	〃	1600	16	〃	1.59	25	
13	〃	390	8	〃	0.39	3	A-K2
13-1	〃	470	4	〃	0.47	2	A-K8
13-2	〃	390	4	〃	0.39	2	A-K8
WL 5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	
WR 5	〃	1170	13	〃	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	

		A-K2	A-K8
SD345	D19	644 kg	644 kg
〃	D13	224 kg	225 kg
〃	合計	868 kg	869 kg
鋼管（φ29×40）		252 個	252 個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

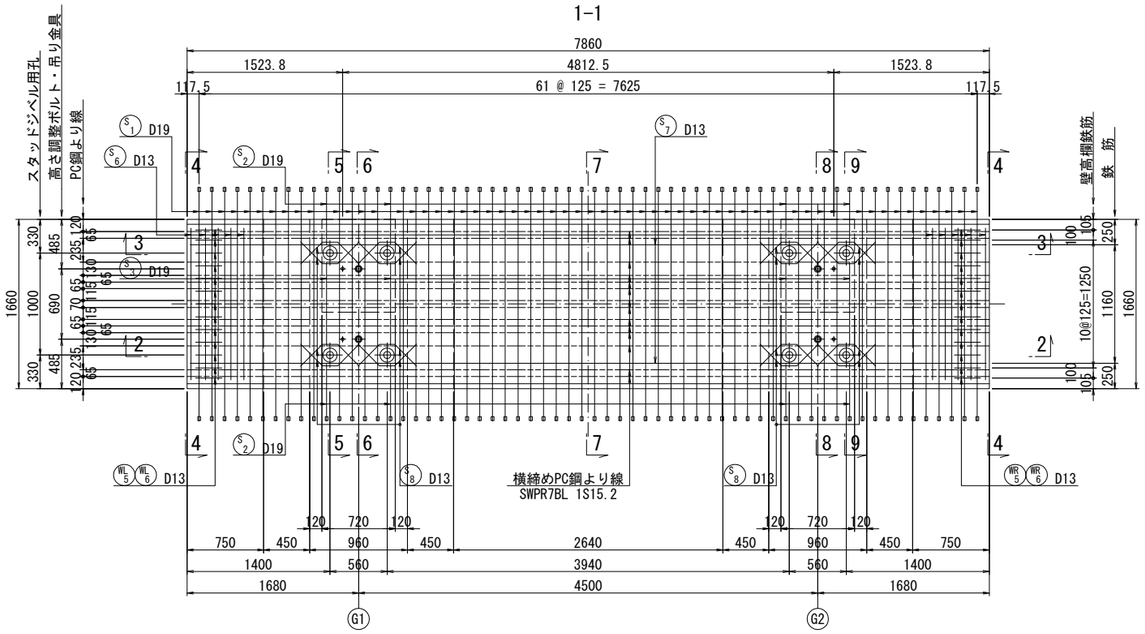
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その１６）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	99 / 212

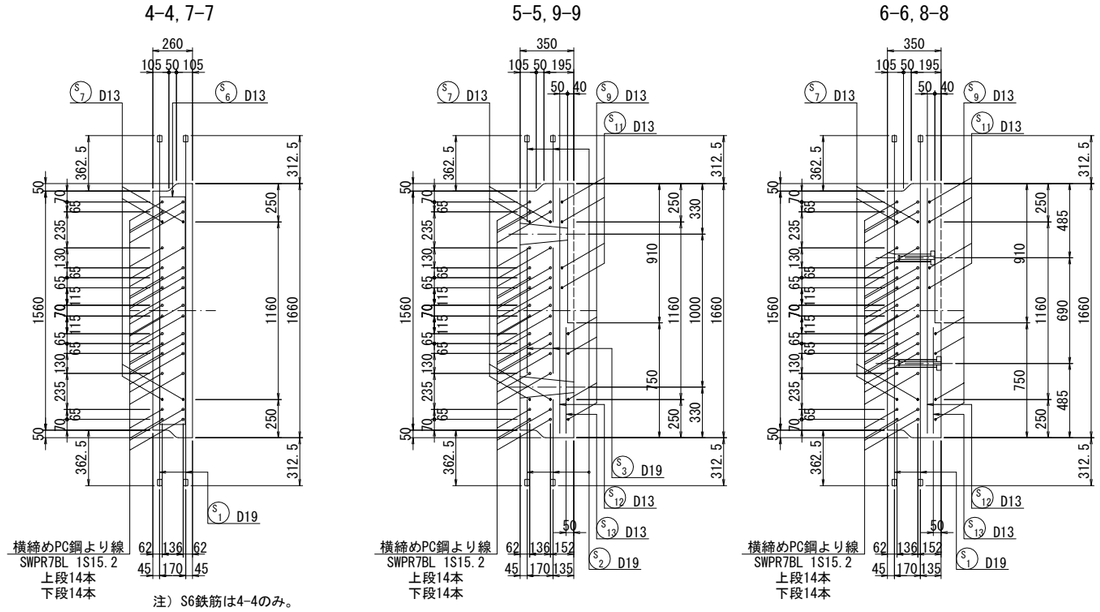
P5～P9 PC床版配筋図（その１７）

B-K4 タイプ

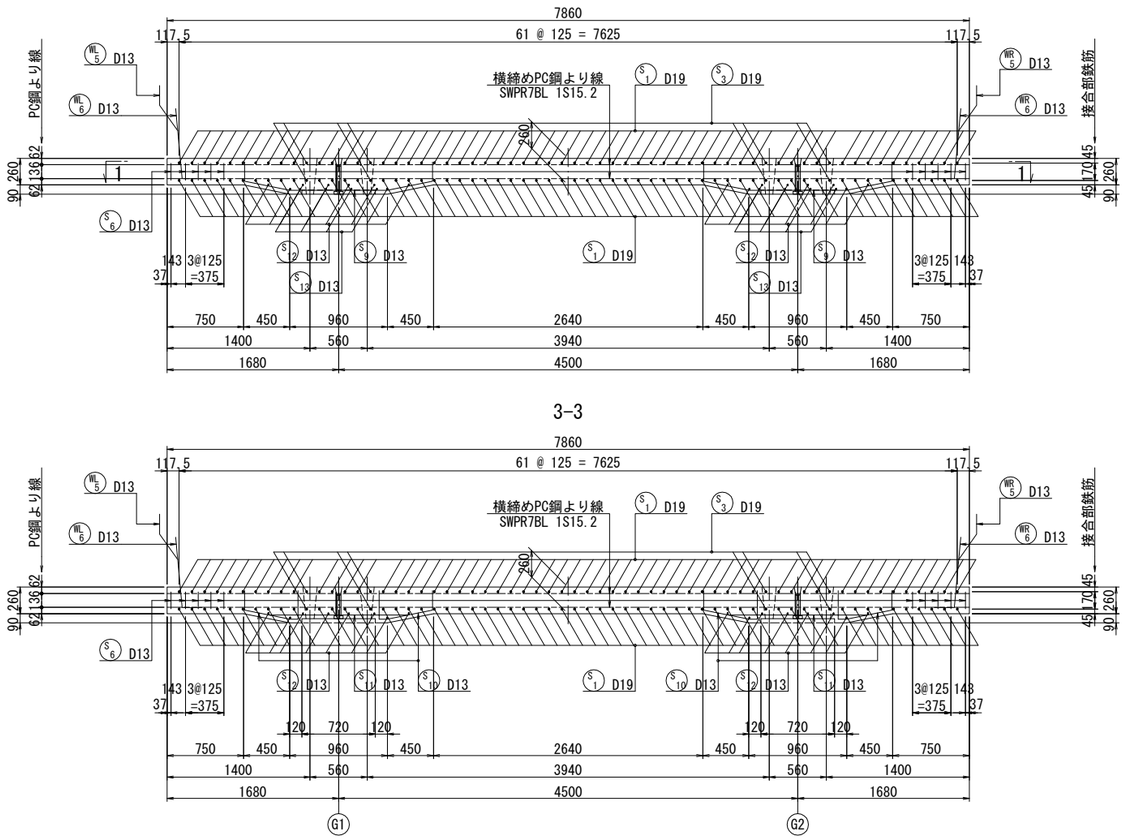
平　面　図 S=1:30



側　面　図 S=1:20



断　面　図 S=1:30



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

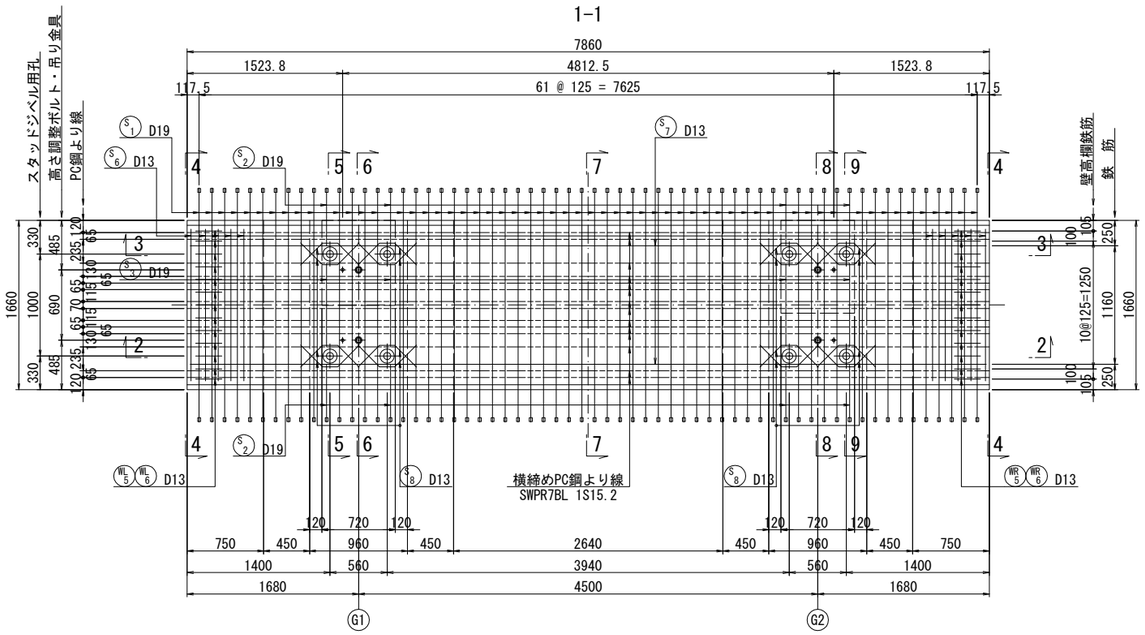
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その１７）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	100 / 212

P5～P9 PC床版配筋図（その１８）

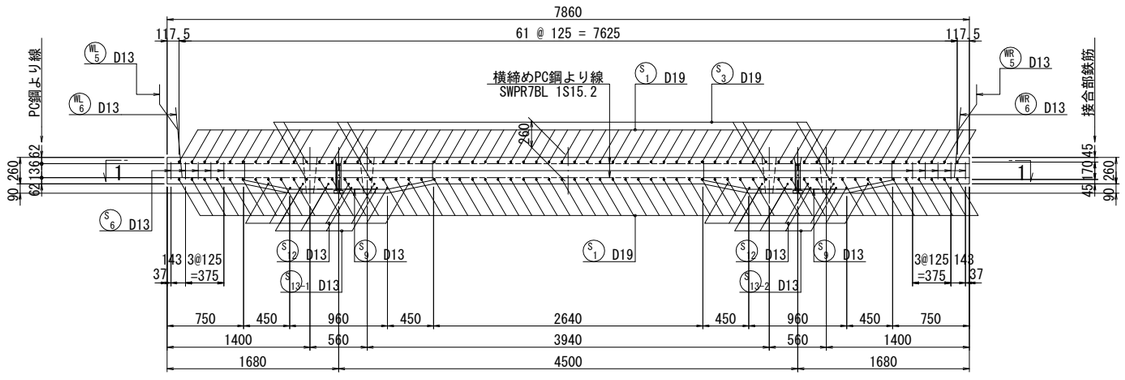
B-K8 タイプ

平　面　図 S=1:30

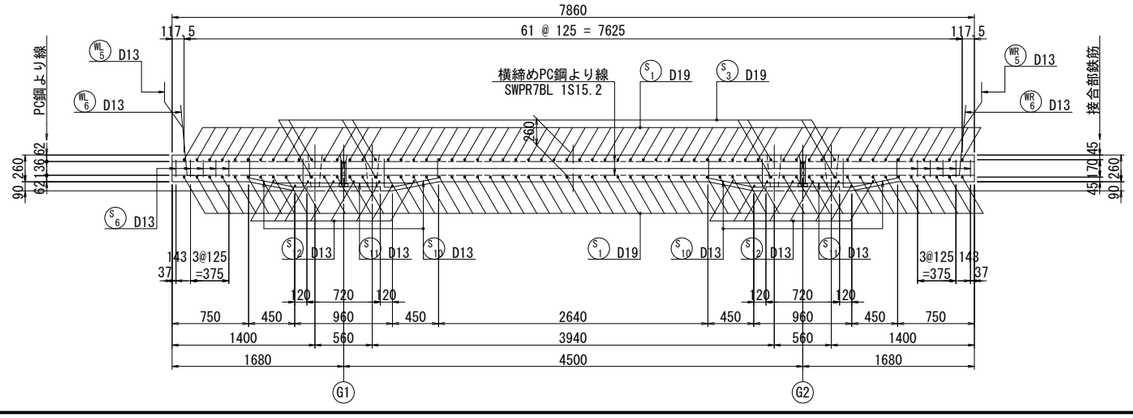


断　面　図 S=1:30

2-2

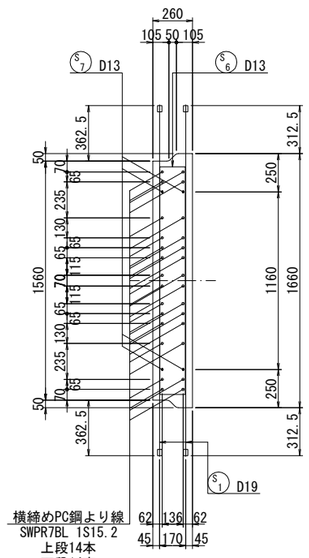


3-3



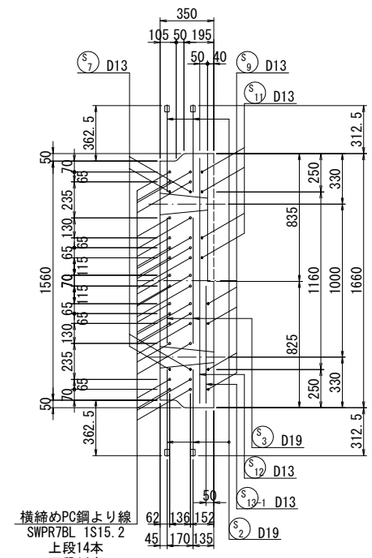
側　面　図 S=1:20

4-4, 7-7

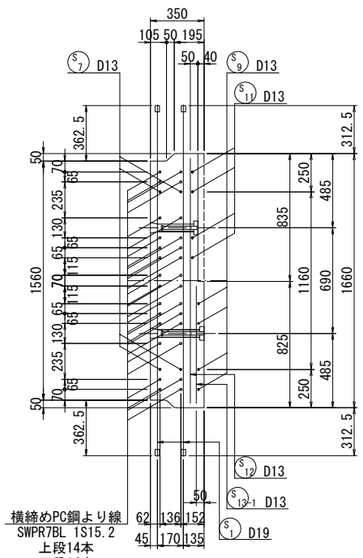


注）S6鉄筋は4-4のみ。

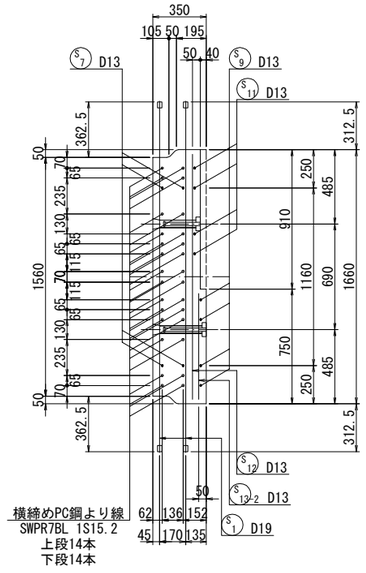
5-5



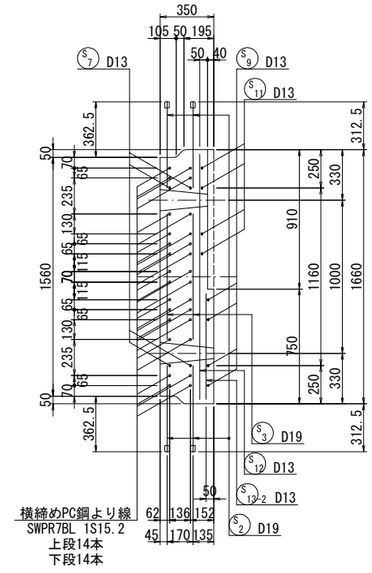
6-6



8-8



9-9



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

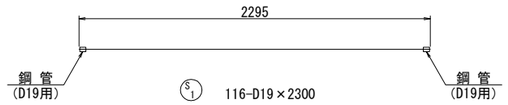
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その１８）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	101 / 212

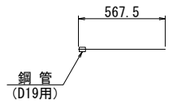
P5～P9 PC床版配筋図（その１９）

B-K4 , B-K8 タイプ

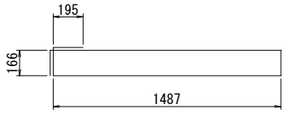
鉄 筋 加 工 図 S=1:20



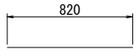
S1 116-D19×2300



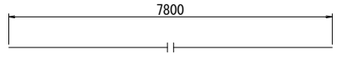
S2 16-D19×570



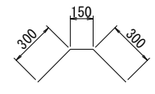
S6 10-D13×3670



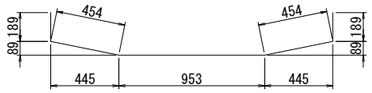
S3 8-D19×820



S7 4-D13×7800

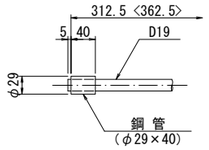


S8 32-D13×750

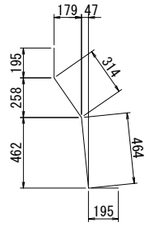


S9 8-D13×2240

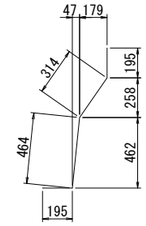
鋼管部詳細図 S=1:5



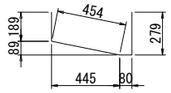
注）＜ ＞内は上段側を示す。



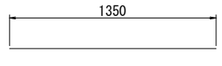
WL5 13-D13×1170



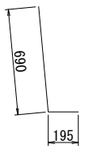
WR5 13-D13×1170



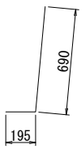
S10 16-D13×1000



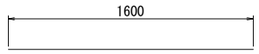
S11 8-D13×1350



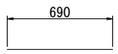
WL6 13-D13×890



WR6 13-D13×890

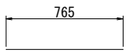


S12 16-D13×1600



S13 8-D13×690 (B-K4)

S13-2 4-D13×690 (B-K8)



S13-1 4-D13×770 (B-K8)

鉄 筋 表

（床版１枚当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg／m)	1本当り質量 (kg／本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D19	2300	116	2.25	5.18	601	鋼管
2	〃	570	16	〃	1.28	20	鋼管
3	〃	820	8	〃	1.85	15	
4	欠番						
5	〃						
6	D13	3670	10	0.995	3.65	37	
7	〃	7800	4	〃	7.76	31	
8	〃	750	32	〃	0.75	24	
9	〃	2240	8	〃	2.23	18	
10	〃	1000	16	〃	1.00	16	
11	〃	1350	8	〃	1.34	11	
12	〃	1600	16	〃	1.59	25	
13	〃	690	8	〃	0.69	6	B-K4
13-1	〃	770	4	〃	0.77	3	B-K8
13-2	〃	690	4	〃	0.69	3	B-K8
WL 5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	
WR 5	〃	1170	13	〃	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	

SD345	D19	636 kg
〃	D13	222 kg
〃	合計	858 kg
鋼管（φ29×40）		248 個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

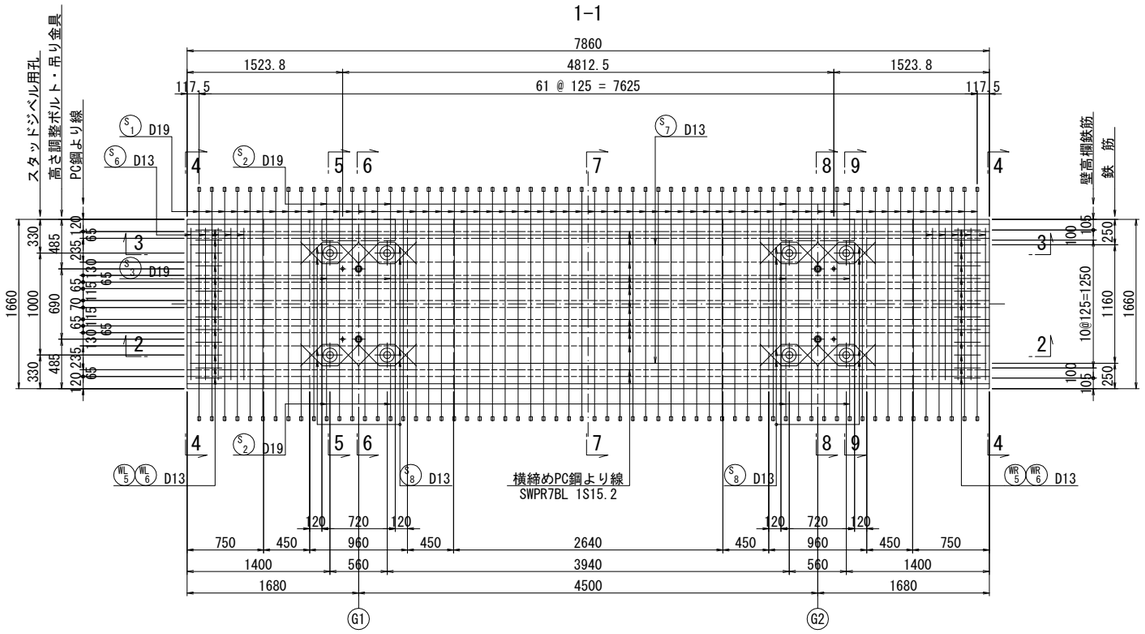
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その１９）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	102 / 212

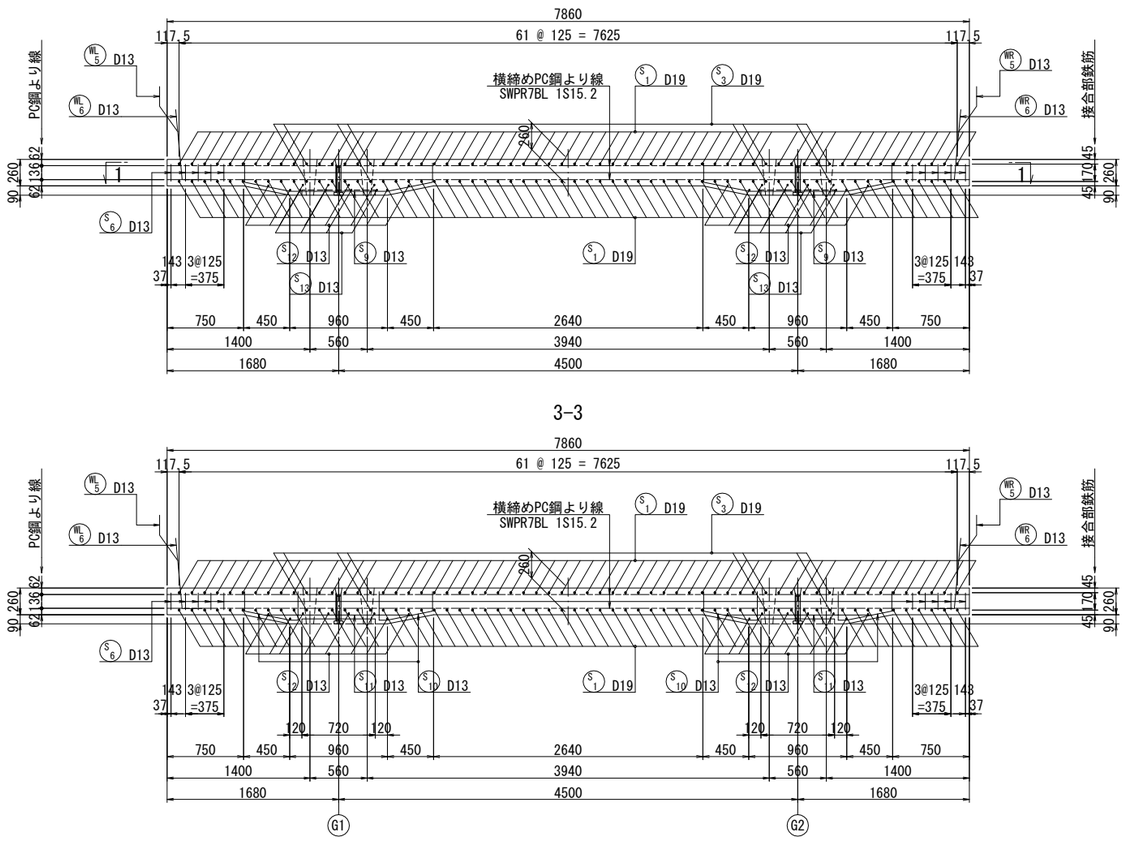
P5～P9 PC床版配筋図（その２０）

B-K3 タイプ

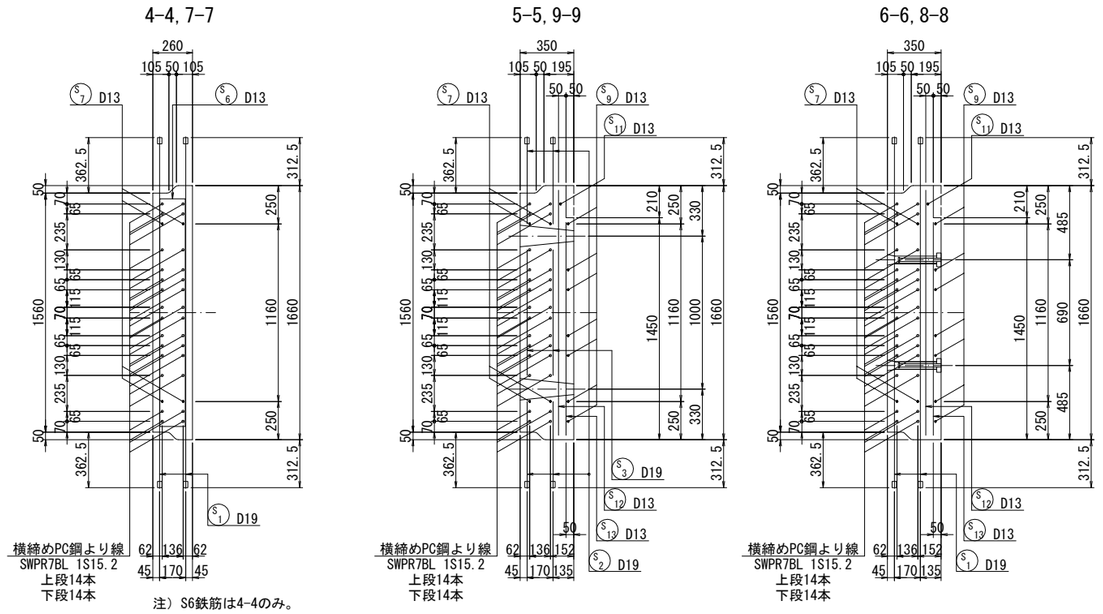
平　面　図 S=1:30



断　面　図 S=1:30



側　面　図 S=1:20



注）S6鉄筋は4-4のみ。

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

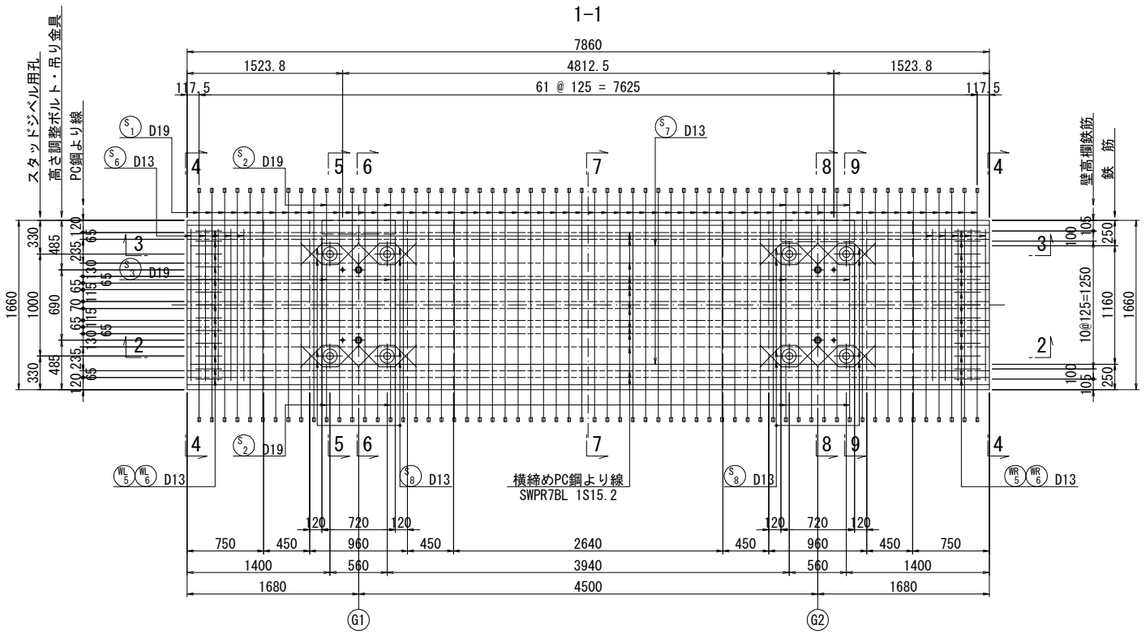
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その２０）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	103 / 212

P5～P9 PC床版配筋図（その２１）

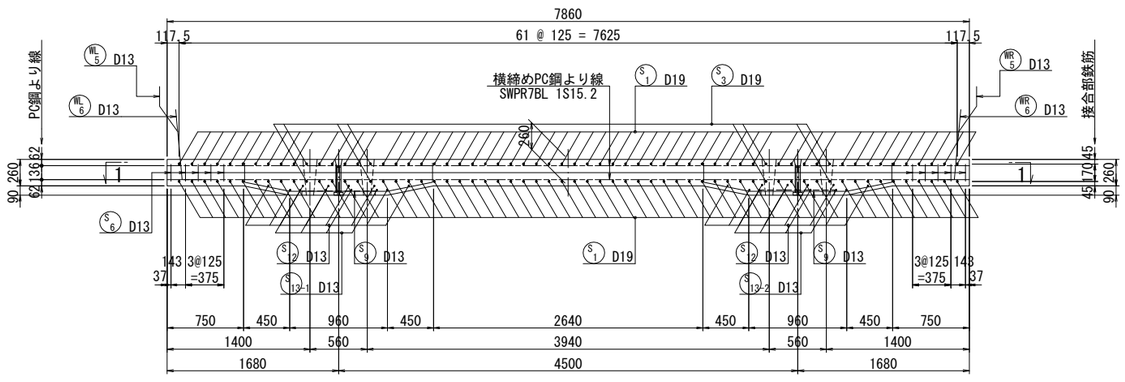
B-K7 タイプ

平　面　図 S=1:30

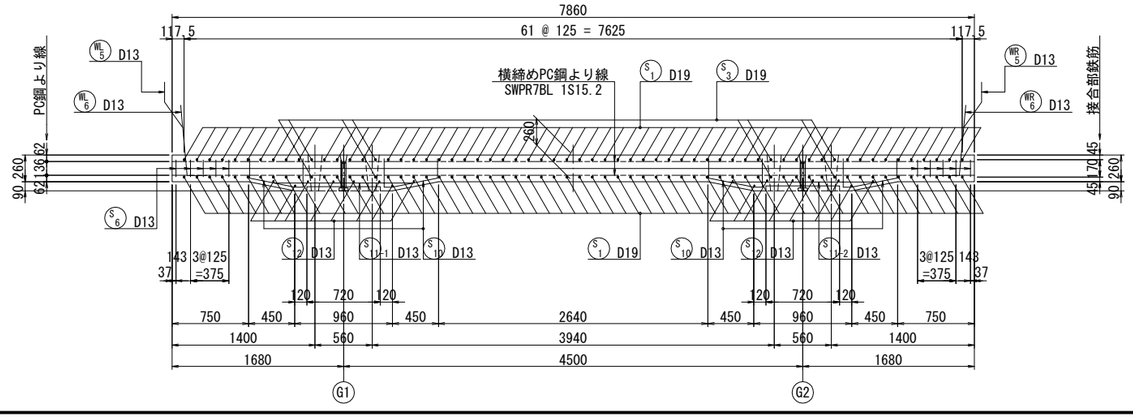


断　面　図 S=1:30

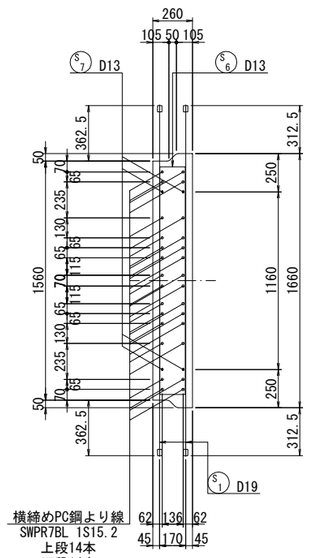
2-2



3-3

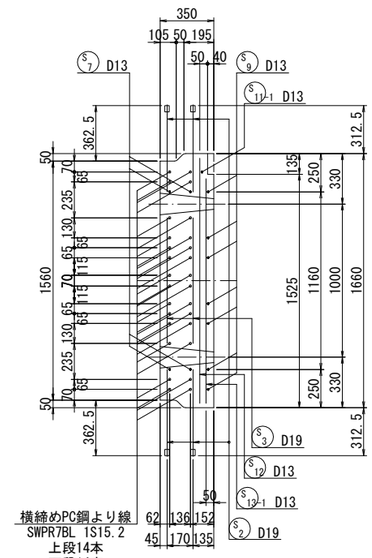


4-4, 7-7

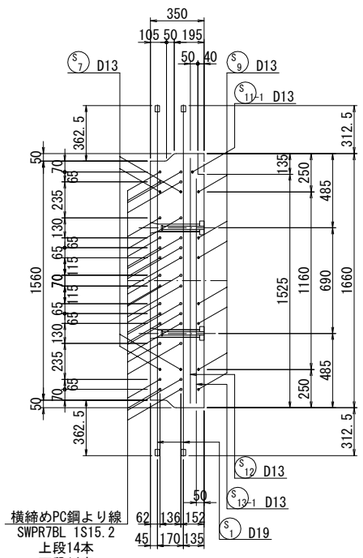


注）S6鉄筋は4-4のみ。

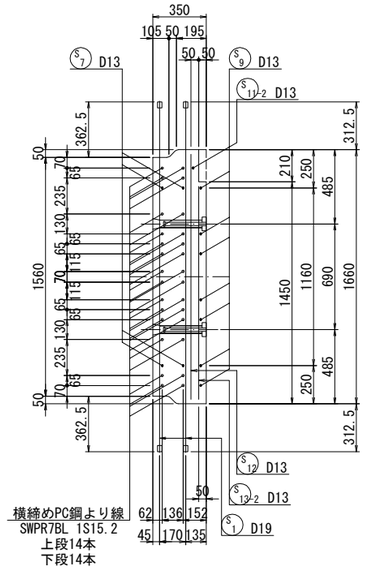
5-5



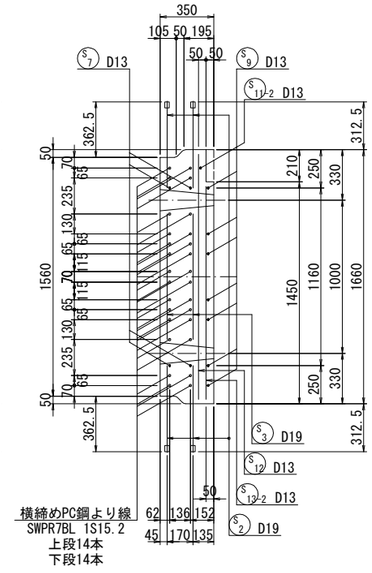
6-6



8-8



9-9



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

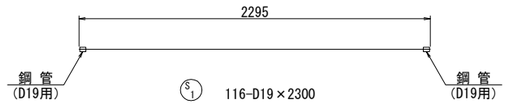
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その２１）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	104 / 212

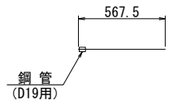
P5～P9 PC床版配筋図（その２２）

B-K3 , B-K7 タイプ

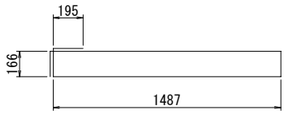
鉄 筋 加 工 図 S=1:20



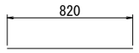
S1 116-D19×2300



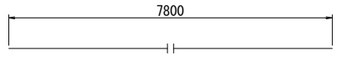
S2 16-D19×570



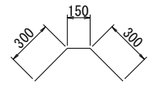
S6 10-D13×3670



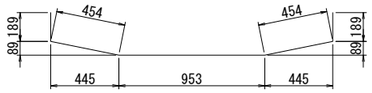
S3 8-D19×820



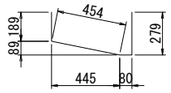
S7 4-D13×7800



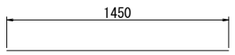
S8 32-D13×750



S9 14-D13×2240

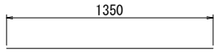


S10 4-D13×1000

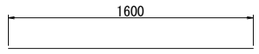


S11 2-D13×1450 (B-K3)

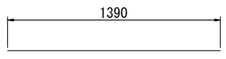
S11-2 1-D13×1450 (B-K7)



S11-1 1-D13×1350 (B-K7)

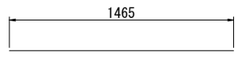


S12 16-D13×1600



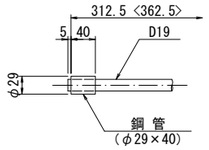
S13 8-D13×1390 (B-K3)

S13-2 4-D13×1390 (B-K7)

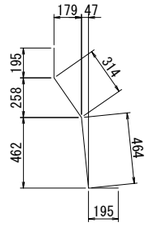


S13-1 4-D13×1470 (B-K7)

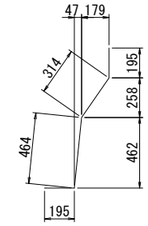
鋼管部詳細図 S=1:5



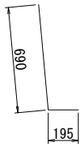
注）〈 〉内は上段側を示す。



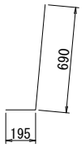
WL5 13-D13×1170



WR5 13-D13×1170



WL6 13-D13×890



WR6 13-D13×890

鉄 筋 表

（床版１枚当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg／m)	1本当り質量 (kg／本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D19	2300	116	2.25	5.18	601	鋼管
2	〃	570	16	〃	1.28	20	鋼管
3	〃	820	8	〃	1.85	15	
4	欠番						
5	〃						
6	D13	3670	10	0.995	3.65	37	
7	〃	7800	4	〃	7.76	31	
8	〃	750	32	〃	0.75	24	
9	〃	2240	14	〃	2.23	31	
10	〃	1000	4	〃	1.00	4	
11	〃	1450	2	〃	1.44	3	B-K3
11-1	〃	1350	1	〃	1.34	1	B-K7
11-2	〃	1450	1	〃	1.44	1	B-K7
12	〃	1600	16	〃	1.59	25	
13	〃	1390	8	〃	1.38	11	B-K3
13-1	〃	1470	4	〃	1.46	6	B-K7
13-2	〃	1390	4	〃	1.38	6	B-K7
WL 5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	
WR 5	〃	1170	13	〃	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	

SD345	D19	636 kg
〃	D13	220 kg
〃	合計	856 kg
鋼管（φ29×40）		248 個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

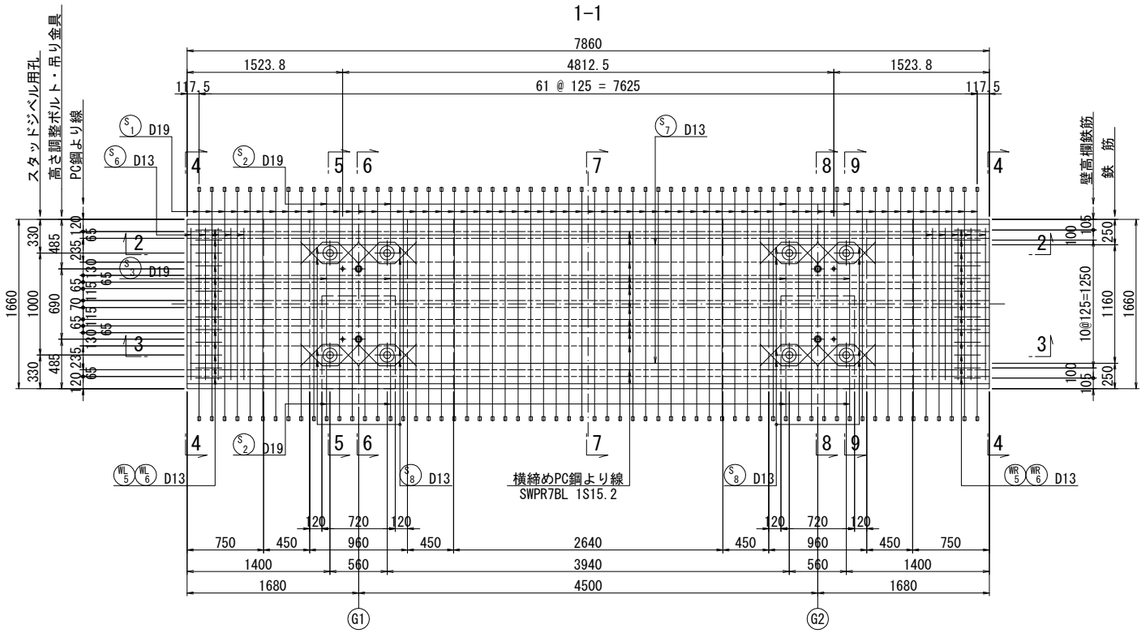
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その２２）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	105 / 212

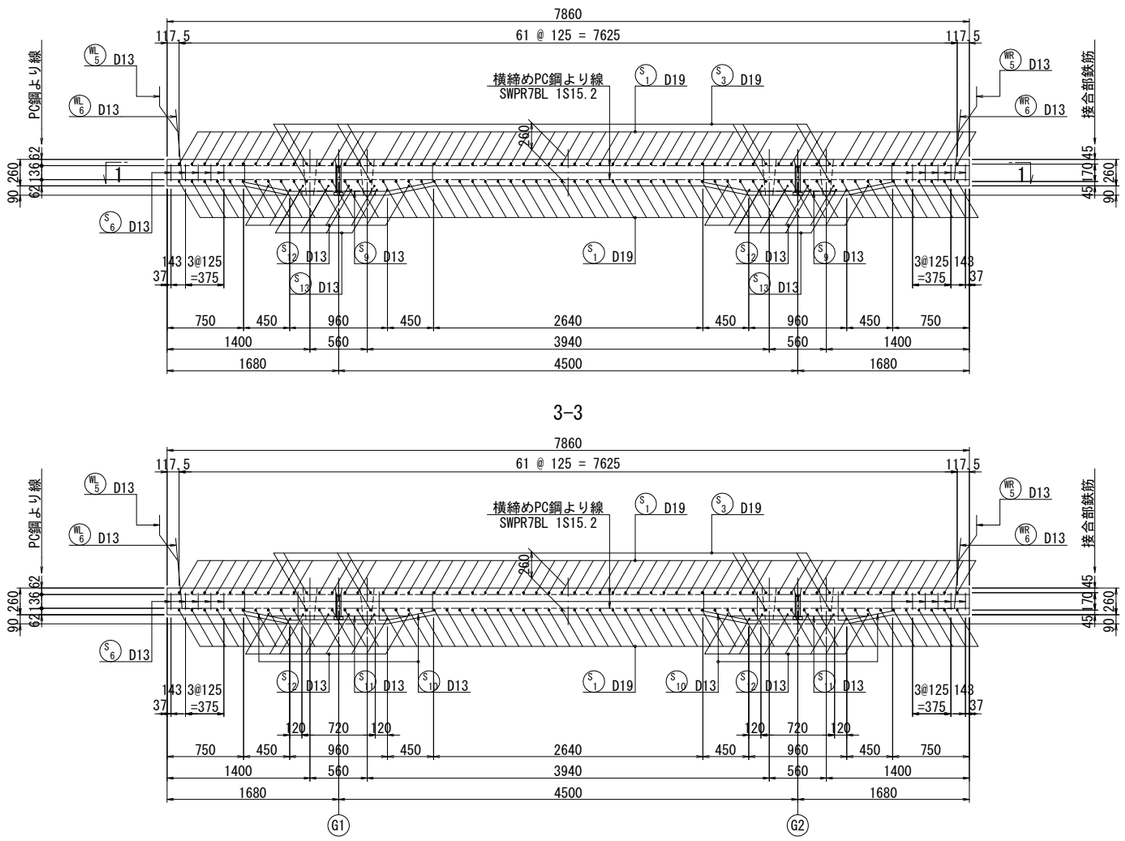
P5～P9 PC床版配筋図（その２３）

B-K5 タイプ

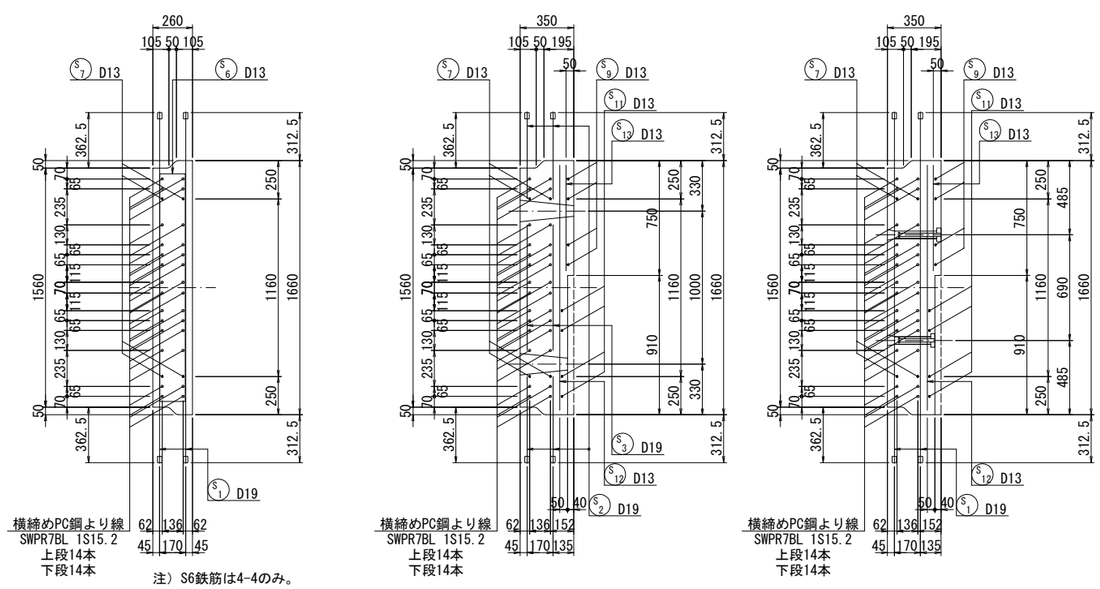
平　面　図 S=1:30



断　面　図 S=1:30



側　面　図 S=1:20



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

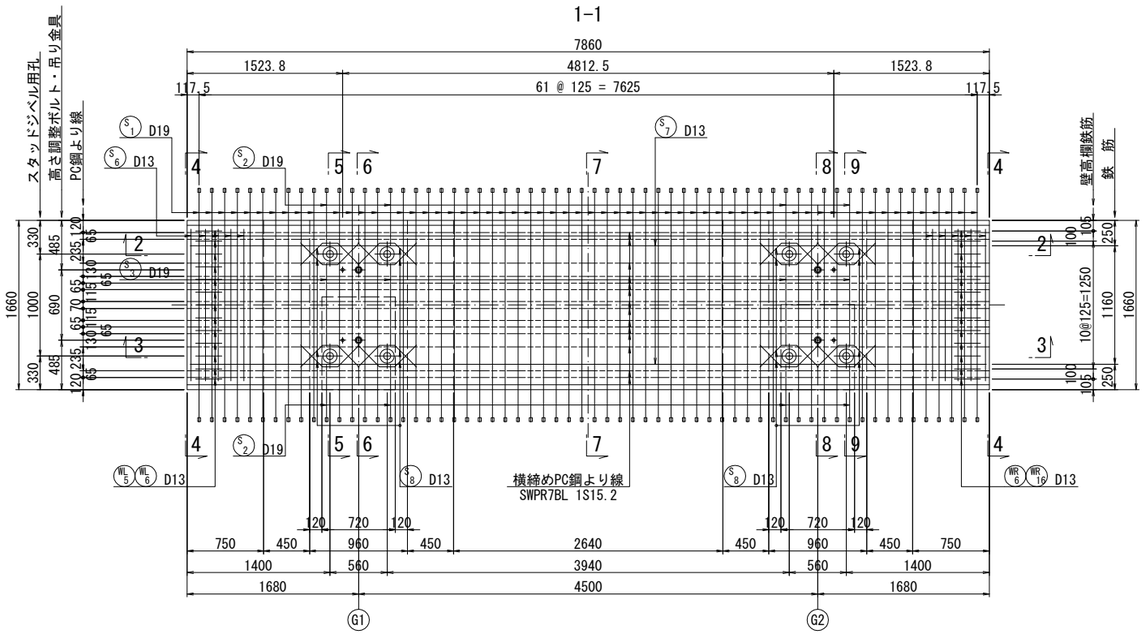
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その２３）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	106 / 212

P5～P9 PC床版配筋図（その２４）

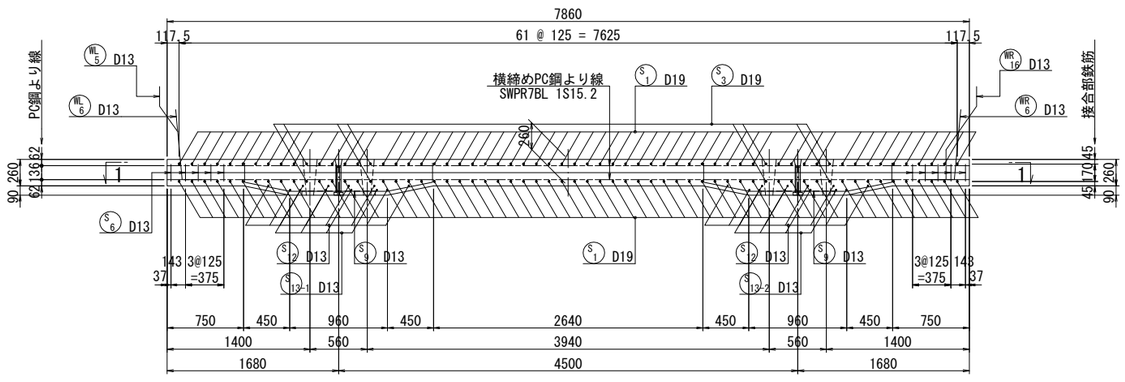
B-K1 タイプ

平　面　図 S=1:30

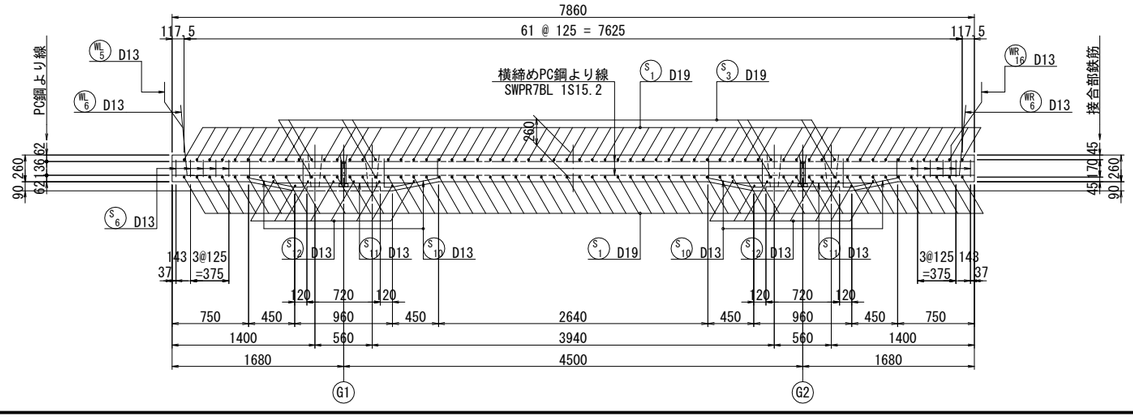


断　面　図 S=1:30

2-2

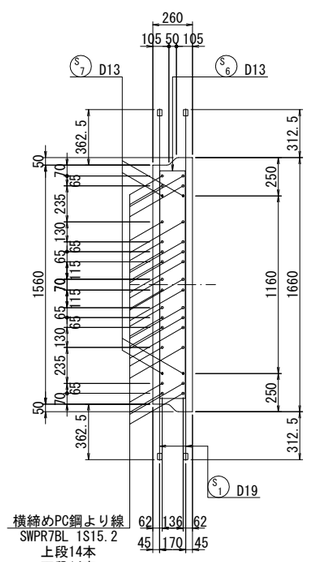


3-3



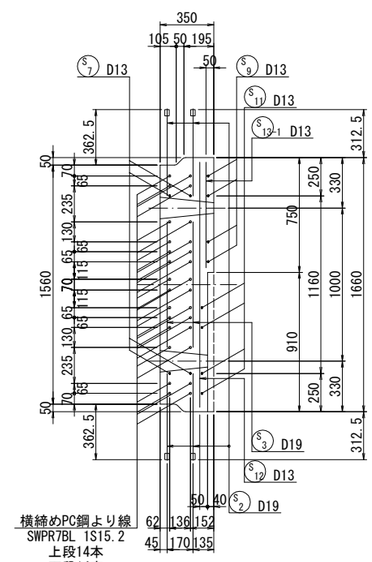
側　面　図 S=1:20

4-4, 7-7

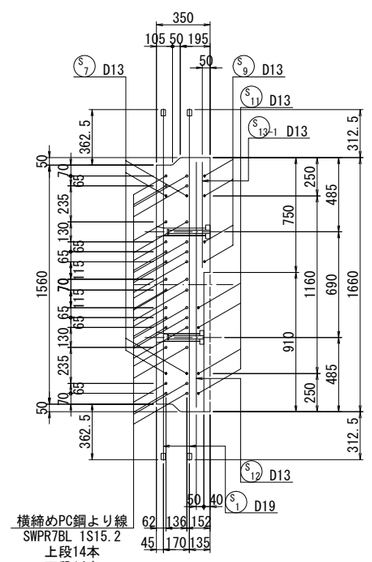


注）S6鉄筋は4-4のみ。

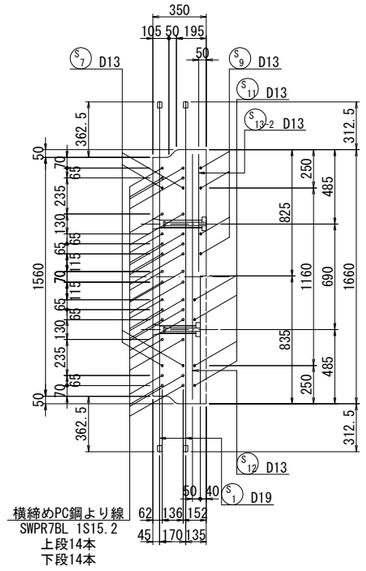
5-5



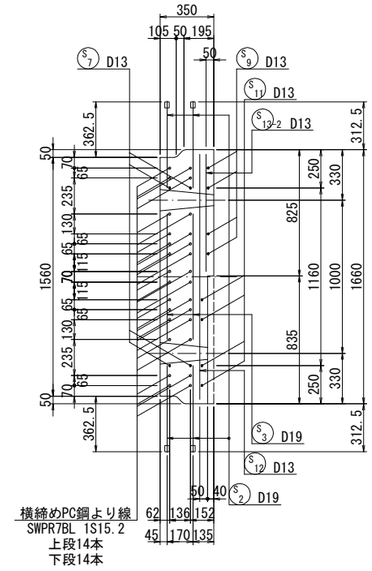
6-6



8-8



9-9



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

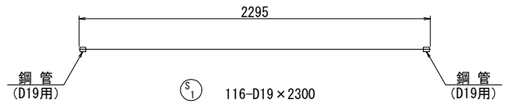
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その２４）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	107 / 212

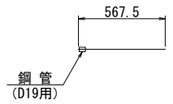
P5～P9 PC床版配筋図（その２５）

B-K1 , B-K5 タイプ

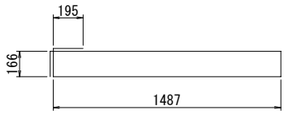
鉄 筋 加 工 図 S=1:20



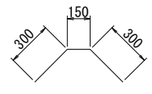
S1 116-D19×2300



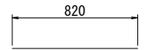
S2 16-D19×570



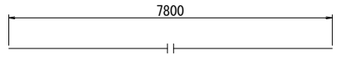
S6 10-D13×3670



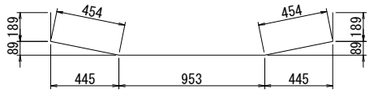
S8 32-D13×750



S3 8-D19×820

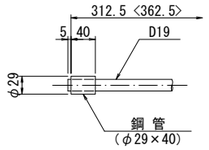


S7 4-D13×7800

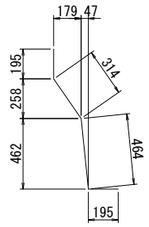


S9 8-D13×2240

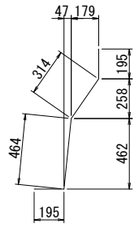
鋼管部詳細図 S=1:5



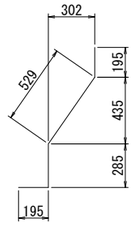
注）< >内は上段側を示す。



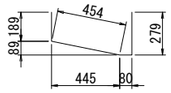
WL5 13-D13×1170



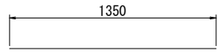
WR5 13-D13×1170 (B-K5)



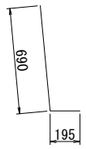
WR16 13-D13×1200 (B-K1)



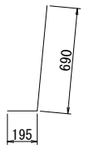
S10 16-D13×1000



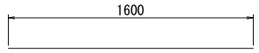
S11 8-D13×1350



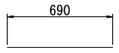
WL6 13-D13×890



WR6 13-D13×890

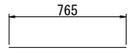


S12 16-D13×1600



S13 8-D13×690 (B-K5)

S13-2 4-D13×690 (B-K1)



S13-1 4-D13×770 (B-K1)

鉄 筋 表

（床版１枚当り）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S 1	D19	2300	116	2.25	5.18	601	鋼管
2	〃	570	16	〃	1.28	20	鋼管
3	〃	820	8	〃	1.85	15	
4	欠番						
5	〃						
6	D13	3670	10	0.995	3.65	37	
7	〃	7800	4	〃	7.76	31	
8	〃	750	32	〃	0.75	24	
9	〃	2240	8	〃	2.23	18	
10	〃	1000	16	〃	1.00	16	
11	〃	1350	8	〃	1.34	11	
12	〃	1600	16	〃	1.59	25	
13	〃	690	8	〃	0.69	6	B-K5
13-1	〃	770	4	〃	0.77	3	B-K1
13-2	〃	690	4	〃	0.69	3	B-K1
WL 5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	
WR 5	〃	1170	13	〃	1.16	15	B-K5
6	〃	890	13	〃	0.89	12	
16	〃	1200	13	〃	1.19	15	B-K1

SD345	D19	636 kg
〃	D13	222 kg
〃	合計	858 kg
鋼管（φ29×40）		248 個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

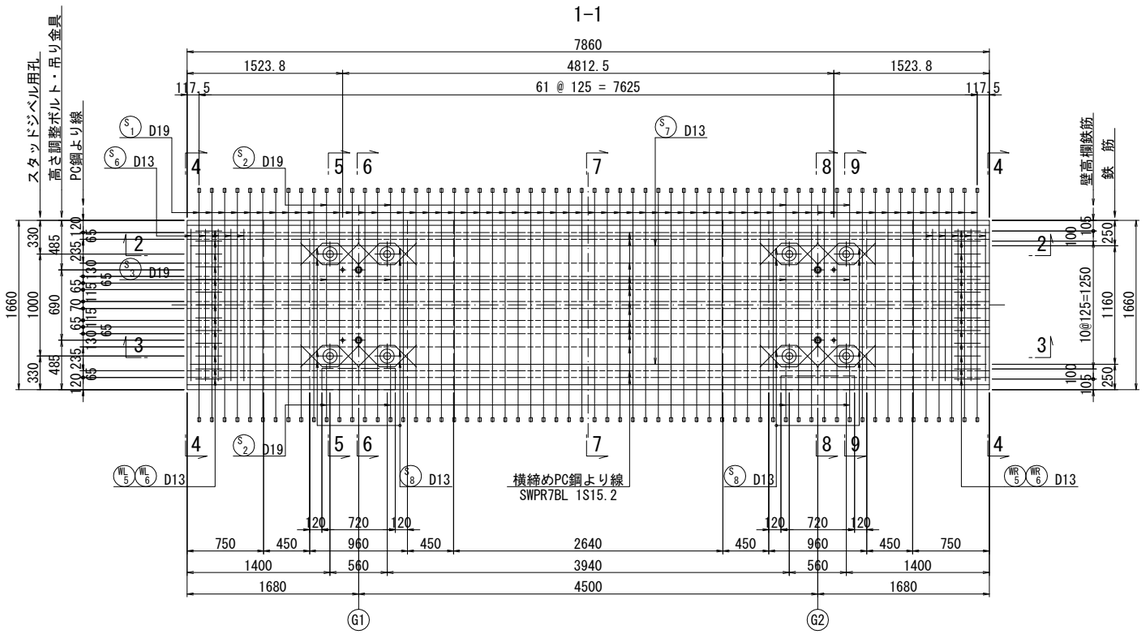
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その２５）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	108 / 212

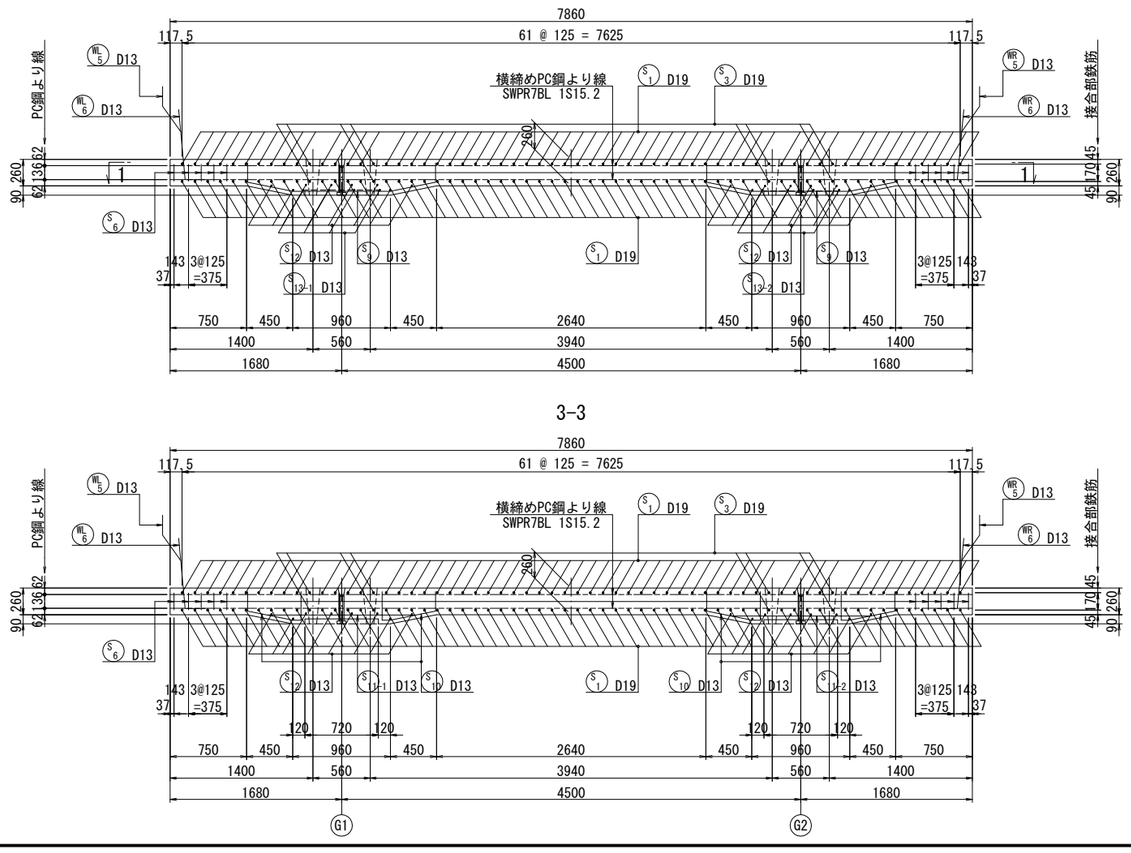
P5～P9 PC床版配筋図（その２６）

B-K2 タイプ

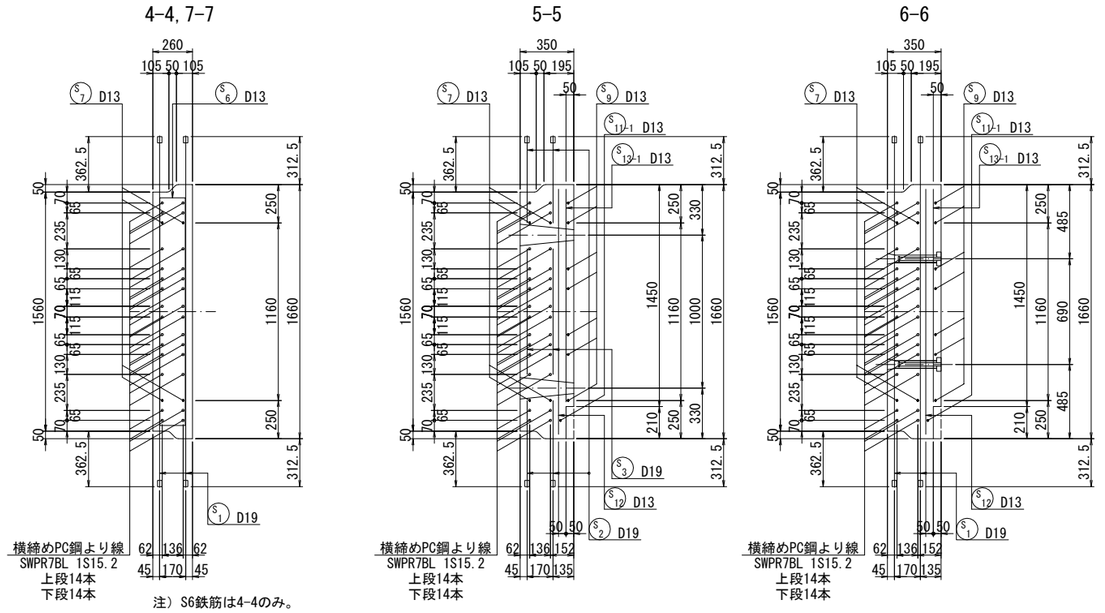
平　面　図 S=1:30

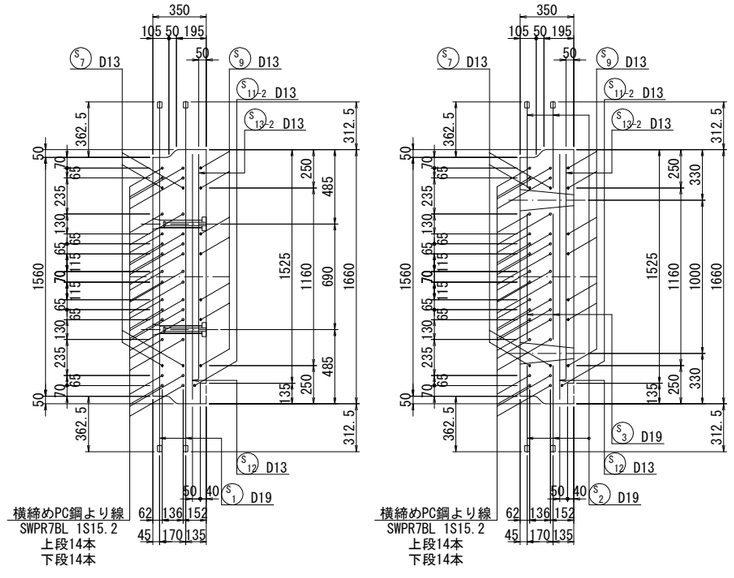


断　面　図 S=1:30



側　面　図 S=1:20





注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

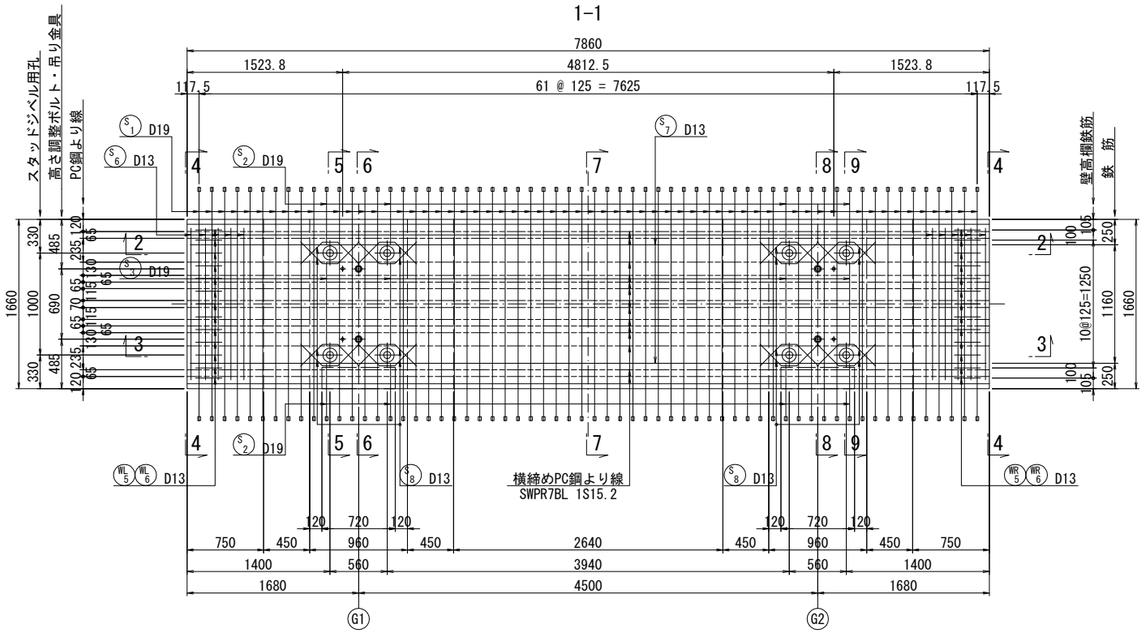
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その２６）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	109 / 212

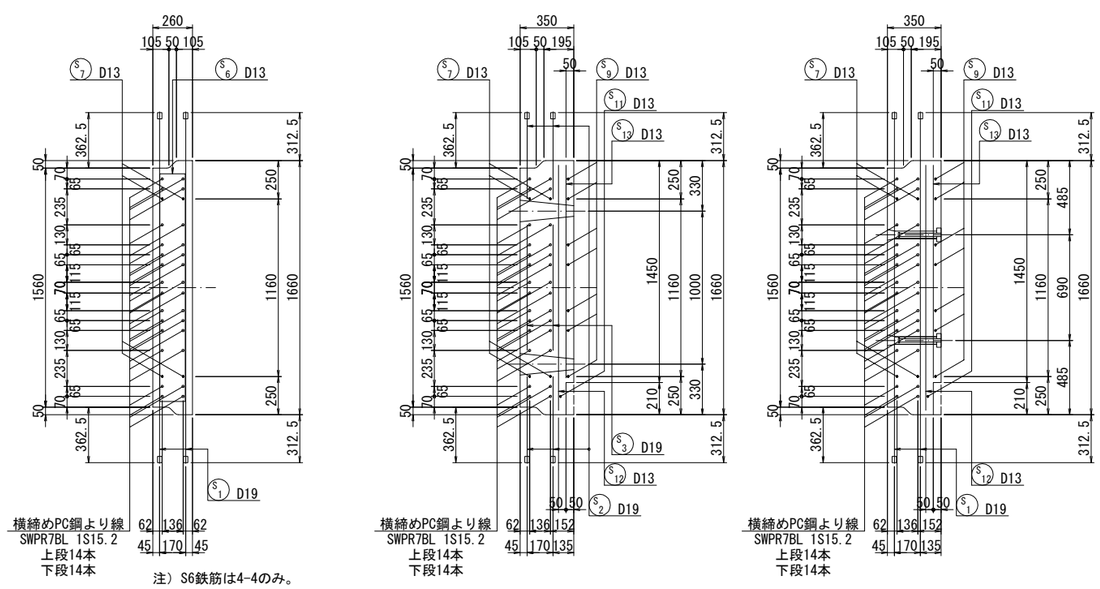
P5～P9 PC床版配筋図（その２７）

B-K6 タイプ

平　面　図 S=1:30

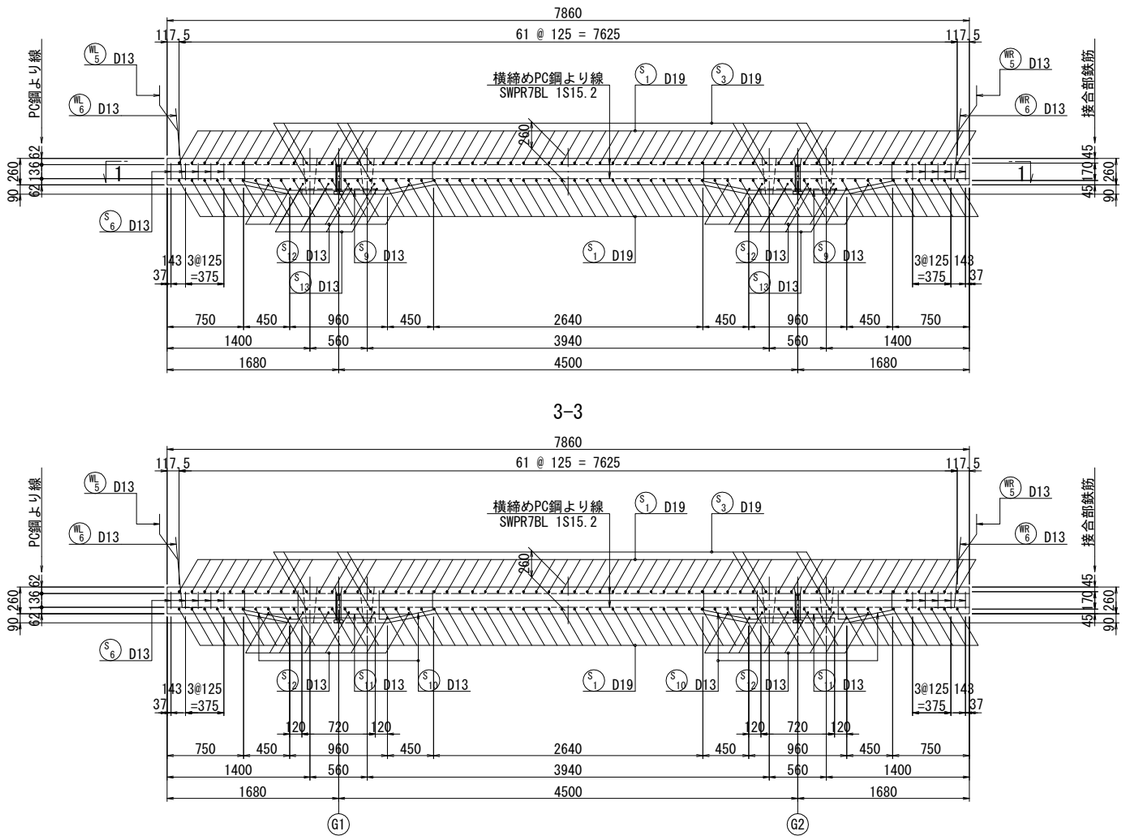


側　面　図 S=1:20



注）S6鉄筋は4-4のみ。

断　面　図 S=1:30



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

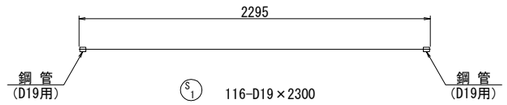
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その２７）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	110 / 212

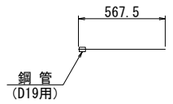
P5～P9 PC床版配筋図（その２８）

B-K2 , B-K6 タイプ

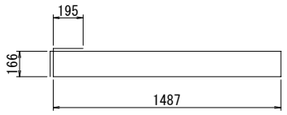
鉄 筋 加 工 図 S=1:20



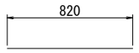
S1 116-D19×2300



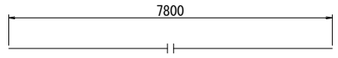
S2 16-D19×570



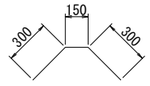
S6 10-D13×3670



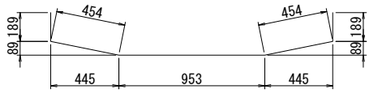
S3 8-D19×820



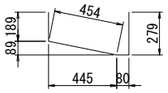
S7 4-D13×7800



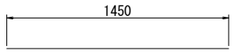
S8 32-D13×750



S9 14-D13×2240



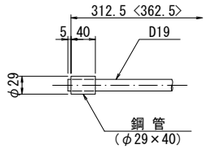
S10 4-D13×1000



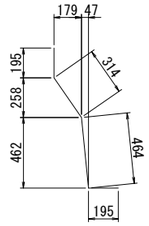
S11 2-D13×1450 (B-K6)

S11-1 1-D13×1450 (B-K2)

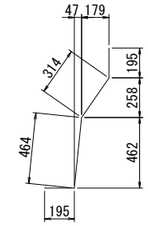
鋼管部詳細図 S=1:5



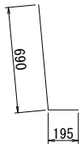
注）< >内は上段側を示す。



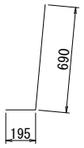
WL5 13-D13×1170



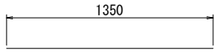
WR5 13-D13×1170



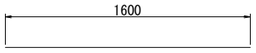
WL6 13-D13×890



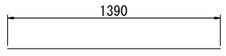
WR6 13-D13×890



S11-2 1-D13×1350 (B-K2)

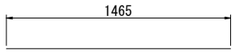


S12 16-D13×1600



S13 8-D13×1390 (B-K6)

S13-1 4-D13×1390 (B-K2)



S13-2 4-D13×1470 (B-K2)

鉄 筋 表

（床版１枚当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg／m)	1本当り質量 (kg／本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D19	2300	116	2.25	5.18	601	鋼管
2	〃	570	16	〃	1.28	20	鋼管
3	〃	820	8	〃	1.85	15	
4	欠番						
5	〃						
6	D13	3670	10	0.995	3.65	37	
7	〃	7800	4	〃	7.76	31	
8	〃	750	32	〃	0.75	24	
9	〃	2240	14	〃	2.23	31	
10	〃	1000	4	〃	1.00	4	
11	〃	1450	2	〃	1.44	3	B-K6
11-1	〃	1450	1	〃	1.44	1	B-K2
11-2	〃	1350	1	〃	1.34	1	B-K2
12	〃	1600	16	〃	1.59	25	
13	〃	1390	8	〃	1.38	11	B-K6
13-1	〃	1390	4	〃	1.38	6	B-K2
13-2	〃	1470	4	〃	1.46	6	B-K2
WL 5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	
WR 5	〃	1170	13	〃	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	

SD345	D19	636 kg
〃	D13	220 kg
〃	合計	856 kg
鋼管（φ29×40）		248 個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

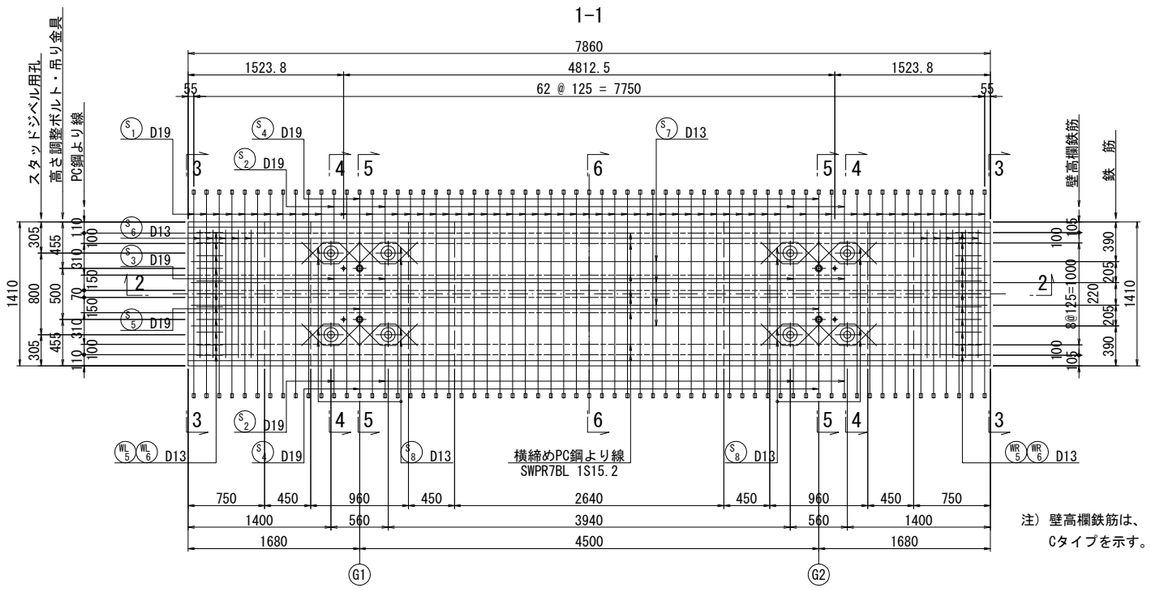
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その２８）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	111 / 212

P5～P9 PC床版配筋図（その２９）

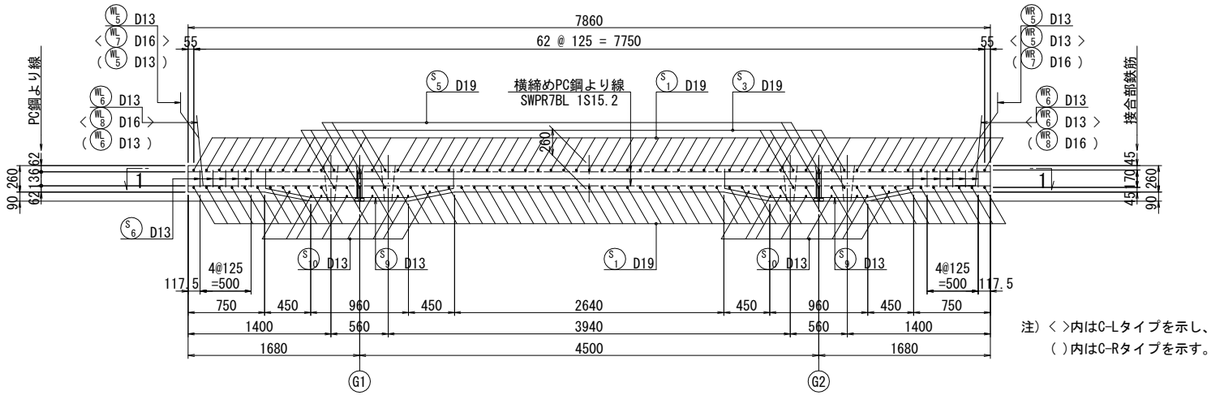
C ， C-L ， C-R タイプ

平　面　図 S=1:30



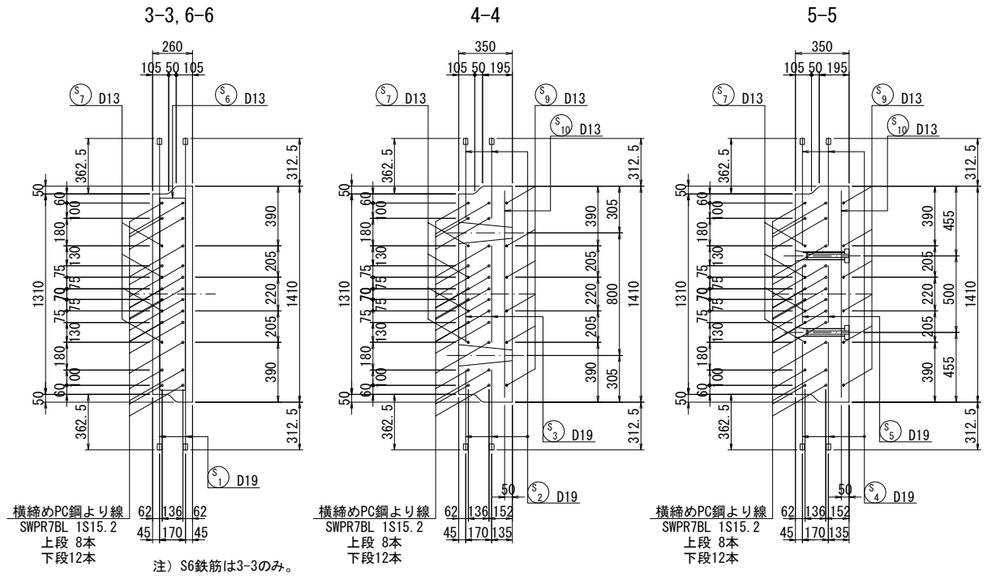
注）壁高欄鉄筋は、
Cタイプを示す。

断　面　図 S=1:30



注）＜ ＞内はC-Lタイプを示し、
（ ）内はC-Rタイプを示す。

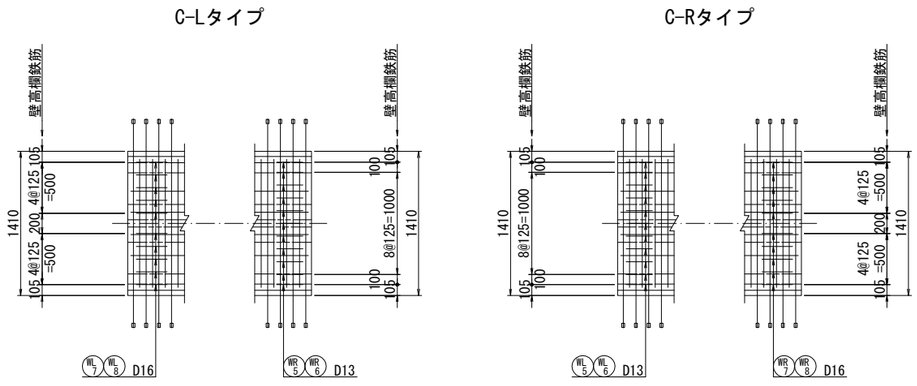
側　面　図 S=1:20



注）S6鉄筋は3-3のみ。

平　面　図 S=1:30

1-1



注）壁高欄鉄筋以外は、Cタイプと同様とする。

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

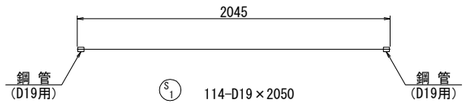
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その２９）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	112 / 212

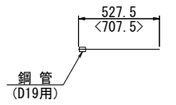
P5～P9 PC床版配筋図（その３０）

C ， C-L ， C-R タイプ

鉄 筋 加 工 図 S=1:20

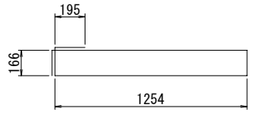


S1 114-D19×2050

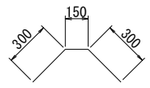


S2 16-D19×530

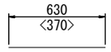
< S4 8-D19×710 >



S6 10-D13×3200

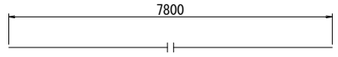


S8 32-D13×750

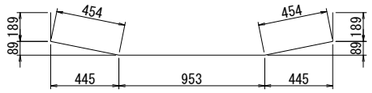


S3 8-D19×630

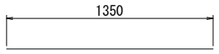
< S5 4-D19×370 >



S7 4-D13×7800

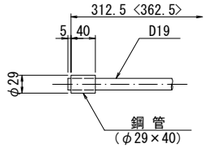


S9 12-D13×2240

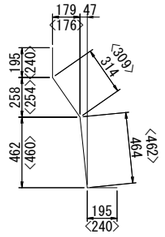


S10 16-D13×1350

鋼管部詳細図 S=1:5

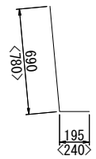


注）< >内は上段側を示す。



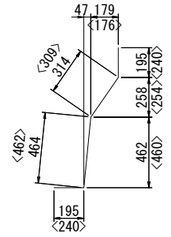
WL5 11-D13×1170（C,C-R）

< WL7 10-D16×1250（C-L）>



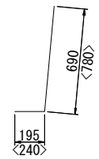
WL6 11-D13×890（C,C-R）

< WL8 10-D16×1020（C-L）>



WR5 11-D13×1170（C,C-L）

< WR7 10-D16×1250（C-R）>



WR6 11-D13×890（C,C-L））

< WR8 10-D16×1020（C-R）>

鉄 筋 表

（床版１枚当り）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S 1	D19	2050	114	2.25	4.61	526	鋼管
2	〃	530	16	〃	1.19	19	鋼管
3	〃	630	8	〃	1.42	11	
4	〃	710	8	〃	1.60	13	鋼管
5	〃	370	4	〃	0.83	3	
6	D13	3200	10	0.995	3.18	32	
7	〃	7800	4	〃	7.76	31	
8	〃	750	32	〃	0.75	24	
9	〃	2240	12	〃	2.23	27	
10	〃	1350	16	〃	1.34	21	
WL 5	D13	1170	11	0.995	1.16	13	C,C-R
6	〃	890	11	〃	0.89	10	C,C-R
7	D16	1250	10	1.56	1.95	20	C-L
8	〃	1020	10	〃	1.59	16	C-L
WR 5	D13	1170	11	0.995	1.16	13	C,C-L
6	〃	890	11	〃	0.89	10	C,C-L
7	D16	1250	10	1.56	1.95	20	C-R
8	〃	1020	10	〃	1.59	16	C-R

			C	C-L,C-R
	SD345	D19	572 kg	572 kg
	〃	D16	− kg	36 kg
	〃	D13	181 kg	158 kg
	〃	合計	753 kg	766 kg
	鋼管（φ29×40）		252 個	252 個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

実 施

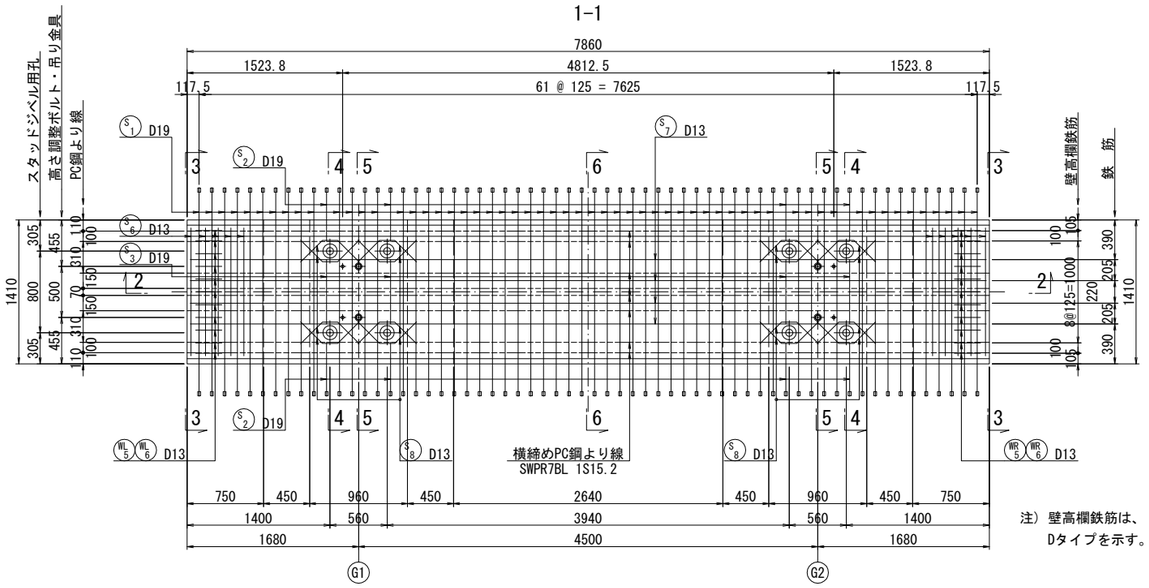
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その３０）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	113 / 212

P5～P9 PC床版配筋図（その３１）

(D) , (D-L) , (D-R) タイプ

平　面　図 S=1:30

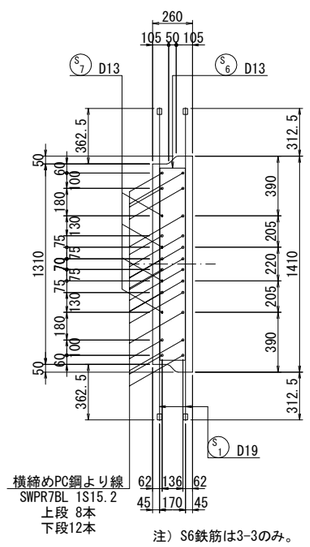
1-1



注）壁高欄鉄筋は、
Dタイプを示す。

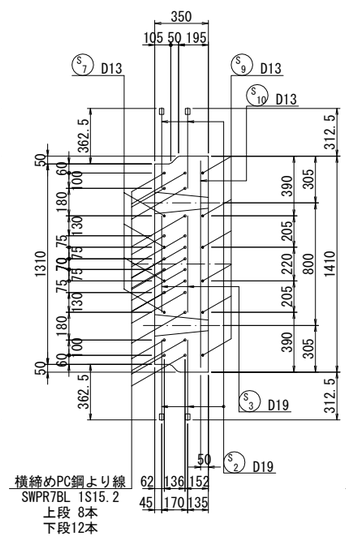
側　面　図 S=1:20

3-3, 6-6

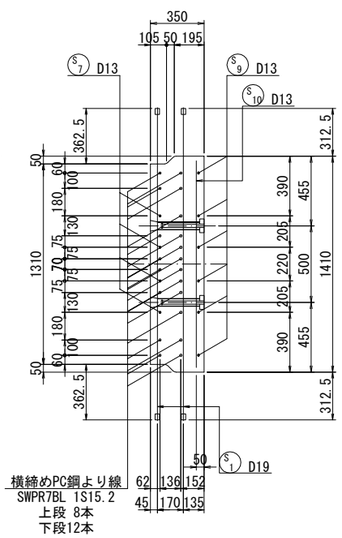


注）S6鉄筋は3-3のみ。

4-4

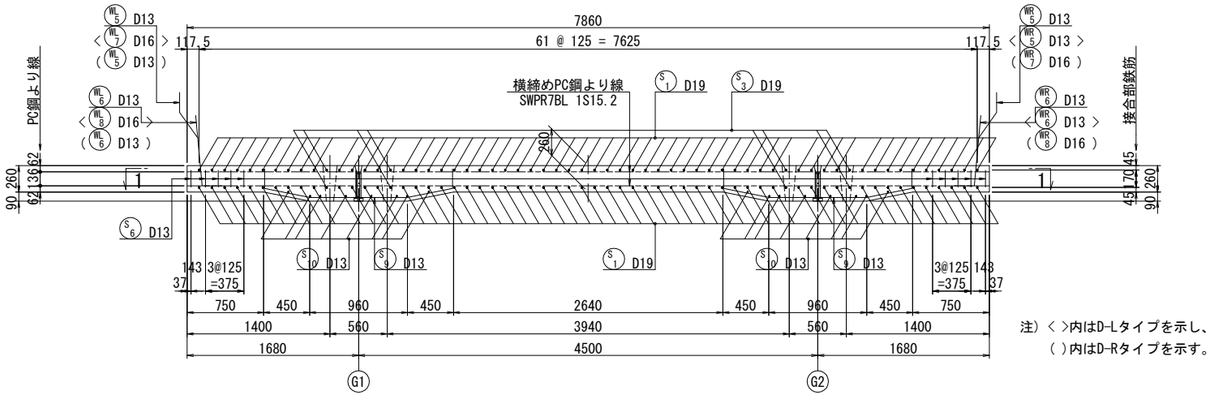


5-5



断　面　図 S=1:30

2-2

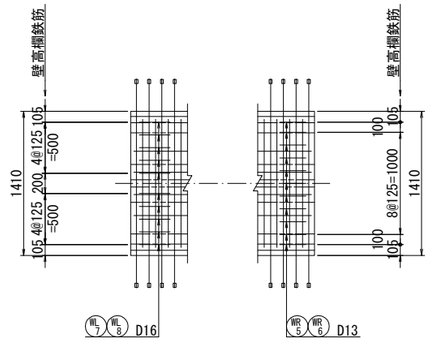


注）＜ ＞内はD-Lタイプを示し、
（ ）内はD-Rタイプを示す。

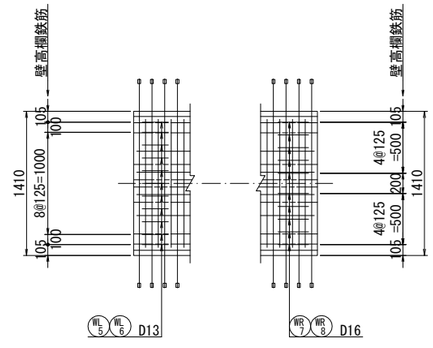
平　面　図 S=1:30

1-1

D-Lタイプ



D-Rタイプ



注）壁高欄鉄筋以外は、Dタイプと同様とする。

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

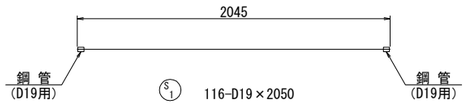
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その３１）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	114 / 212

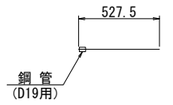
P5～P9 PC床版配筋図（その３２）

D ， D-L ， D-R タイプ

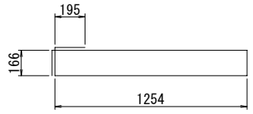
鉄 筋 加 工 図 S=1:20



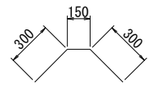
S1 116-D19×2050



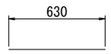
S2 16-D19×530



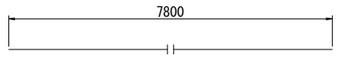
S6 10-D13×3200



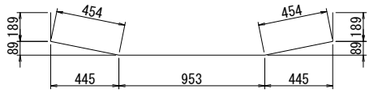
S8 32-D13×750



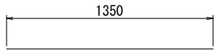
S3 8-D19×630



S7 4-D13×7800

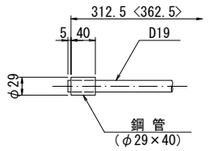


S9 12-D13×2240

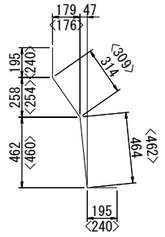


S10 16-D13×1350

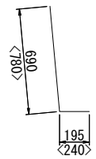
鋼管部詳細図 S=1:5



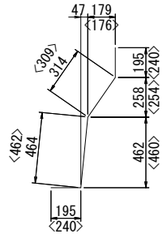
注）〈 〉内は上段側を示す。



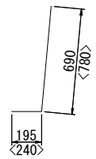
WL5 11-D13×1170（D,D-R）
〈 WL7 10-D16×1250（D-L）〉



WL6 11-D13×890（D,D-R）
〈 WL8 10-D16×1020（D-L）〉



WR5 11-D13×1170（D,D-L）
〈 WR7 10-D16×1250（D-R）〉



WR6 11-D13×890（D,D-L）
〈 WR8 10-D16×1020（D-R）〉

鉄 筋 表

（床版１枚当り）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S 1	D19	2050	116	2.25	4.61	535	鋼管
2	〃	530	16	〃	1.19	19	鋼管
3	〃	630	8	〃	1.42	11	
4	欠番						
5	〃						
6	D13	3200	10	0.995	3.18	32	
7	〃	7800	4	〃	7.76	31	
8	〃	750	32	〃	0.75	24	
9	〃	2240	12	〃	2.23	27	
10	〃	1350	16	〃	1.34	21	
WL 5	D13	1170	11	0.995	1.16	13	D,D-R
6	〃	890	11	〃	0.89	10	D,D-R
7	D16	1250	10	1.56	1.95	20	D-L
8	〃	1020	10	〃	1.59	16	D-L
WR 5	D13	1170	11	0.995	1.16	13	D,D-L
6	〃	890	11	〃	0.89	10	D,D-L
7	D16	1250	10	1.56	1.95	20	D-R
8	〃	1020	10	〃	1.59	16	D-R

		D	D-L,D-R
SD345	D19	565 kg	565 kg
〃	D16	－ kg	36 kg
〃	D13	181 kg	158 kg
〃	合計	746 kg	759 kg
鋼管（φ29×40）		248 個	248 個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

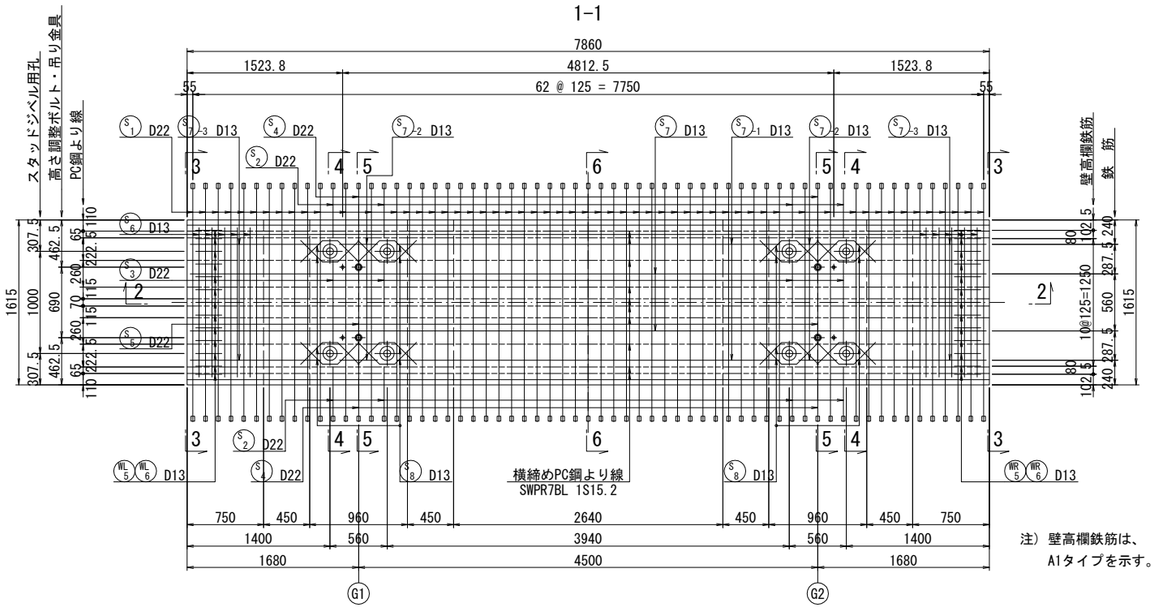
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その３２）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	115 / 212

P5～P9 PC床版配筋図（その３３）

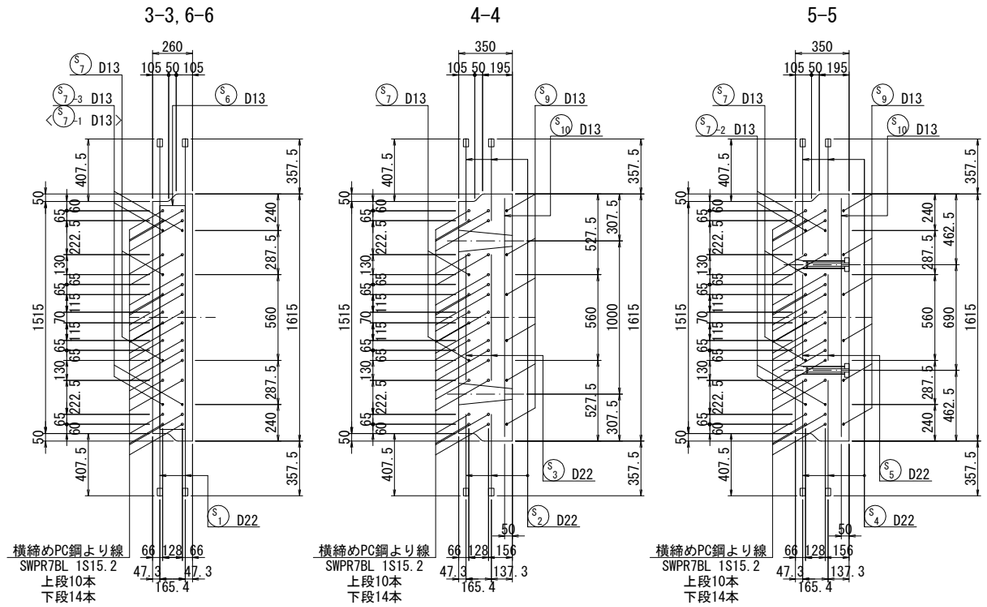
A1 ， A1-L ， A1-R タイプ

平　面　図 S=1:30



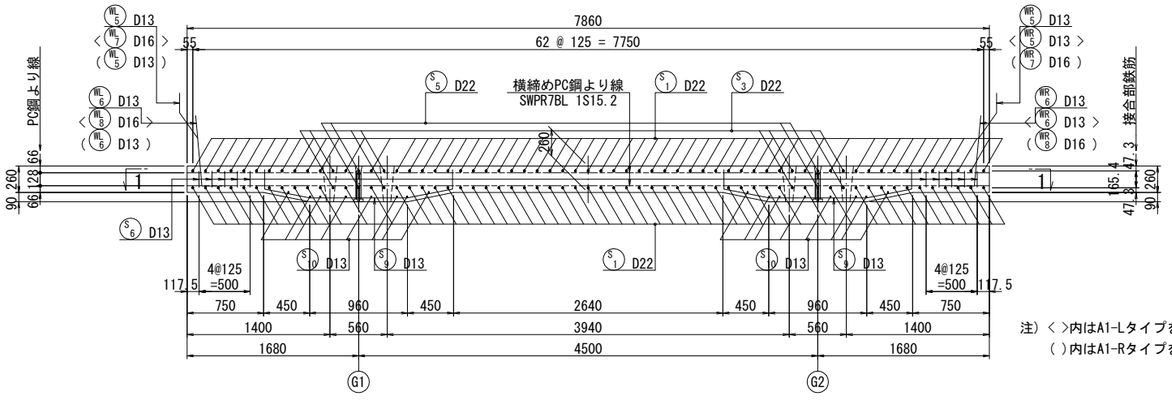
注）壁高欄鉄筋は、
A1タイプを示す。

側　面　図 S=1:20



注）S6鉄筋は3-3のみ。
< >内の鉄筋番号は6-6を表す。

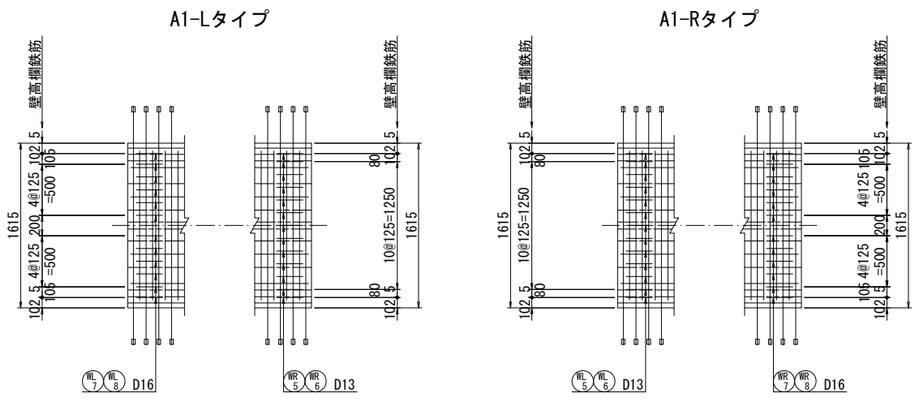
断　面　図 S=1:30



注）< >内はA1-Lタイプを示し、
( )内はA1-Rタイプを示す。

平　面　図 S=1:30

1-1



注）壁高欄鉄筋以外は、A1タイプと同様とする。

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

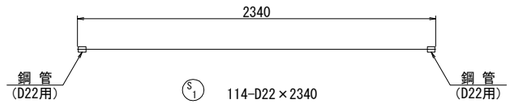
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その３３）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	116 / 212

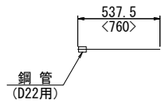
P5～P9 PC床版配筋図（その３４）

A1 ， A1-L ， A1-R タイプ

鉄 筋 加 工 図 S=1:20

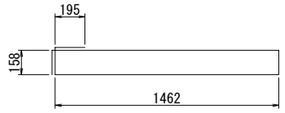


① 114-D22×2340

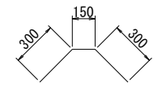


② 16-D22×540

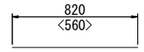
〈④ 8-D22×760〉



⑥ 10-D13×3590

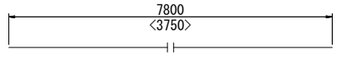


⑧ 32-D13×750



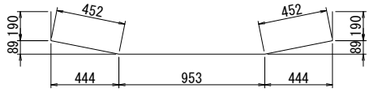
③ 8-D22×820

〈⑤ 4-D22×560〉

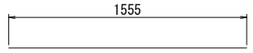


⑦ 2-D13×7800

〈⑦-1 4-D13×3750〉



⑨ 12-D13×2240



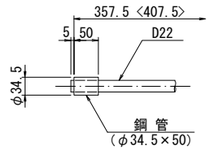
⑩ 16-D13×1560



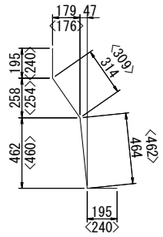
⑦-2 8-D13×380

〈⑦-3 8-D13×1280〉

鋼管部詳細図 S=1:5

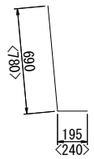


注）〈 〉内は上段側を示す。



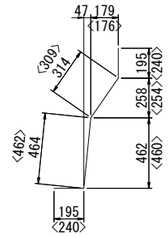
⑪-5 13-D13×1170 (A1,A1-R)

〈⑪-7 12-D16×1250 (A1-L)〉



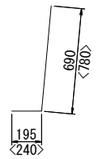
⑪-6 13-D13×890 (A1,A1-R)

〈⑪-8 12-D16×1020 (A1-L)〉



⑫-5 13-D13×1170 (A1,A1-L)

〈⑫-7 12-D16×1250 (A1-R)〉



⑫-6 13-D13×890 (A1,A1-L)

〈⑫-8 12-D16×1020 (A1-R)〉

鉄 筋 表

（床版１枚当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg／m)	1本当り質量 (kg／本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D22	2340	114	3.04	7.11	811	鋼管
2	〃	540	16	〃	1.64	26	鋼管
3	〃	820	8	〃	2.49	20	
4	〃	760	8	〃	2.31	18	鋼管
5	〃	560	4	〃	1.70	7	
6	D13	3590	10	0.995	3.57	36	
7	〃	7800	2	〃	7.76	16	
7-1	〃	3750	4	〃	3.73	15	
7-2	〃	380	8	〃	0.38	3	
7-3	〃	1280	8	〃	1.27	10	
8	〃	750	32	〃	0.75	24	
9	〃	2240	12	〃	2.23	27	
10	〃	1560	16	〃	1.55	25	
WL 5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	A1,A1-R
6	〃	890	13	〃	0.89	12	A1,A1-R
7	D16	1250	12	1.56	1.95	23	A1-L
8	〃	1020	12	〃	1.59	19	A1-L
WR 5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	A1,A1-L
6	〃	890	13	〃	0.89	12	A1,A1-L
7	D16	1250	12	1.56	1.95	23	A1-R
8	〃	1020	12	〃	1.59	19	A1-R

			A1	A1-L,A1-R
	SD345	D22	882 kg	882 kg
	〃	D16	− kg	42 kg
	〃	D13	210 kg	183 kg
	〃	合計	1092 kg	1107 kg
	鋼管（φ34.5×50）		252 個	252 個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

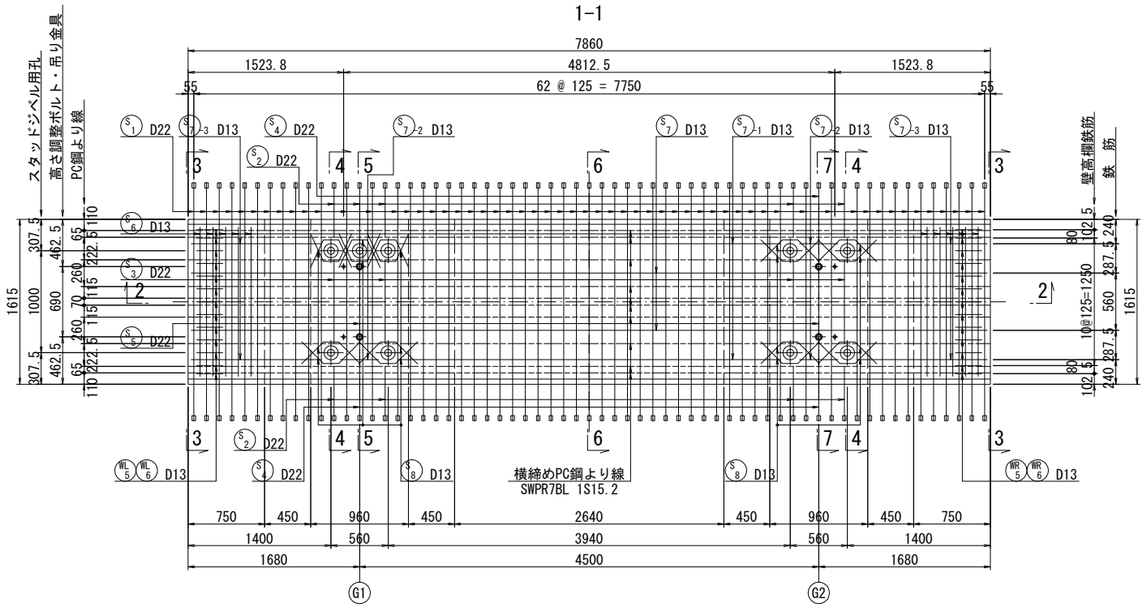
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その３４）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	117 / 212

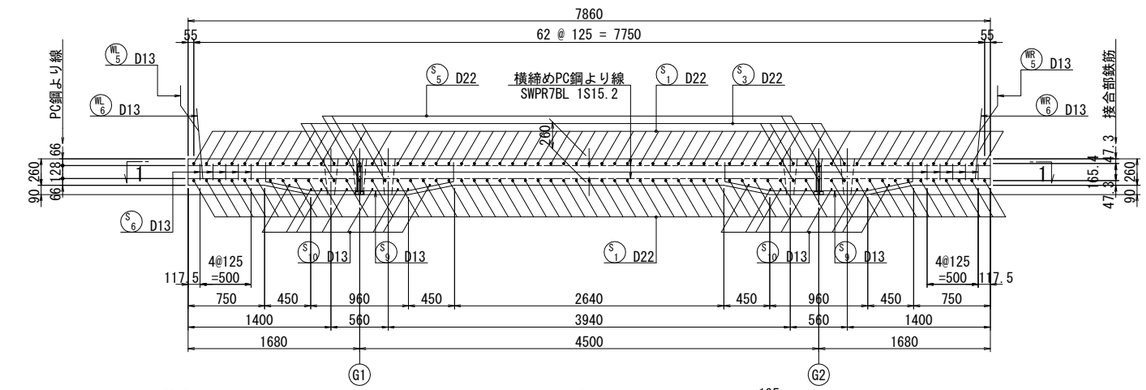
P5～P9 PC床版配筋図（その３５）

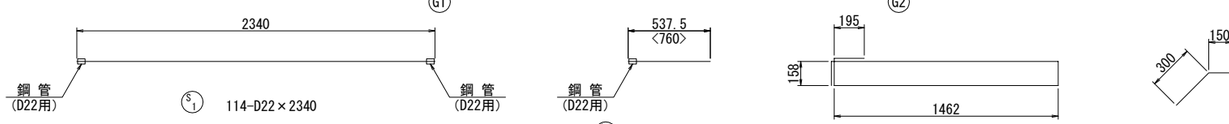
A1-1 タイプ

平　面　図 S=1:30

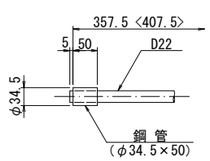


断　面　図 S=1:30

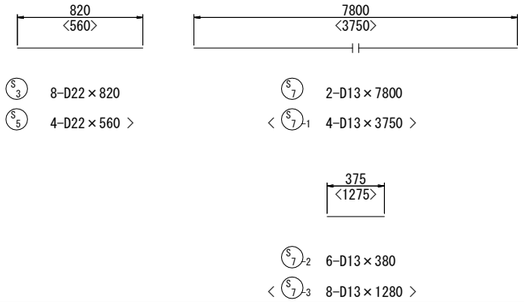




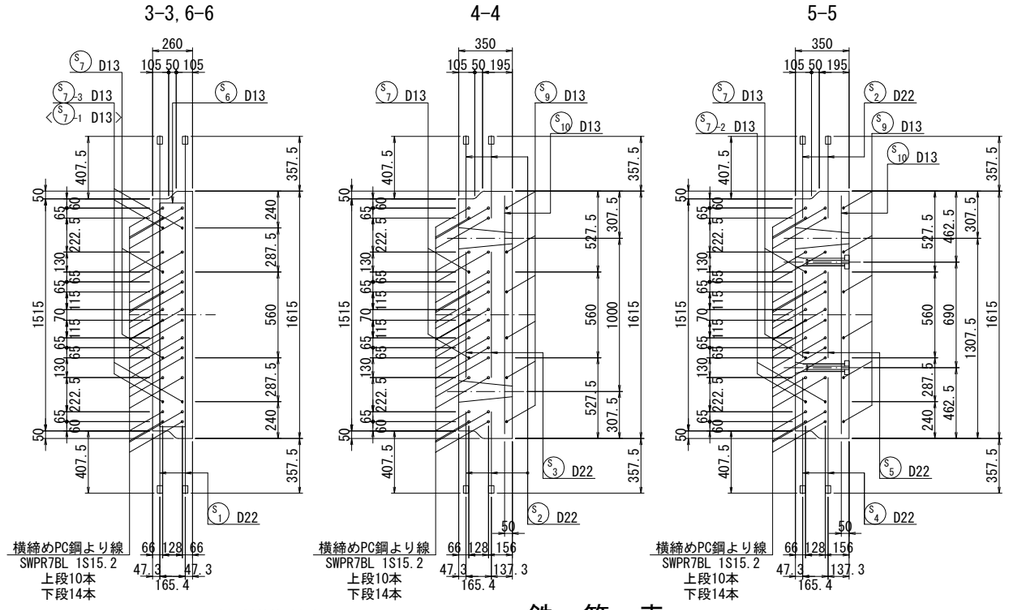
鋼管部詳細図 S=1:5



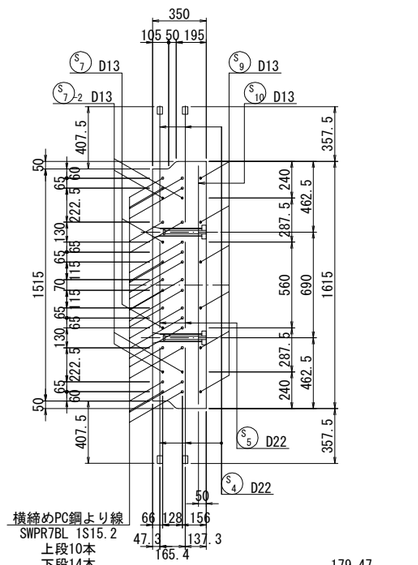
注）〈 〉内は上段側を示す。

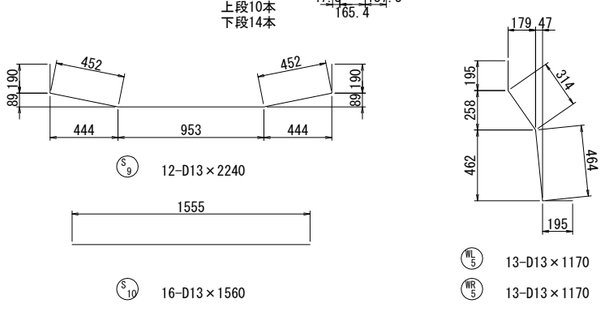


側　面　図 S=1:20



注）S6鉄筋は3-3のみ。
〈 〉内の鉄筋番号は6-6を表す。





鉄　筋　表

（床版１枚当り）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S 1	D22	2340	114	3.04	7.11	811	鋼管
2	〃	540	18	〃	1.64	30	鋼管
3	〃	820	8	〃	2.49	20	
4	〃	760	6	〃	2.31	14	鋼管
5	〃	560	4	〃	1.70	7	
6	D13	3590	10	0.995	3.57	36	
7	〃	7800	2	〃	7.76	16	
7-1	〃	3750	4	〃	3.73	15	
7-2	〃	380	6	〃	0.38	2	
7-3	〃	1280	8	〃	1.27	10	
8	〃	750	36	〃	0.75	27	
9	〃	2240	12	〃	2.23	27	
10	〃	1560	16	〃	1.55	25	
WL 5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	
WR 5	〃	1170	13	〃	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	
				SD345	D22	882 kg	
				〃	D13	212 kg	
				〃	合計	1094 kg	
				鋼管（φ34.5×50）		252 個	

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

実　施

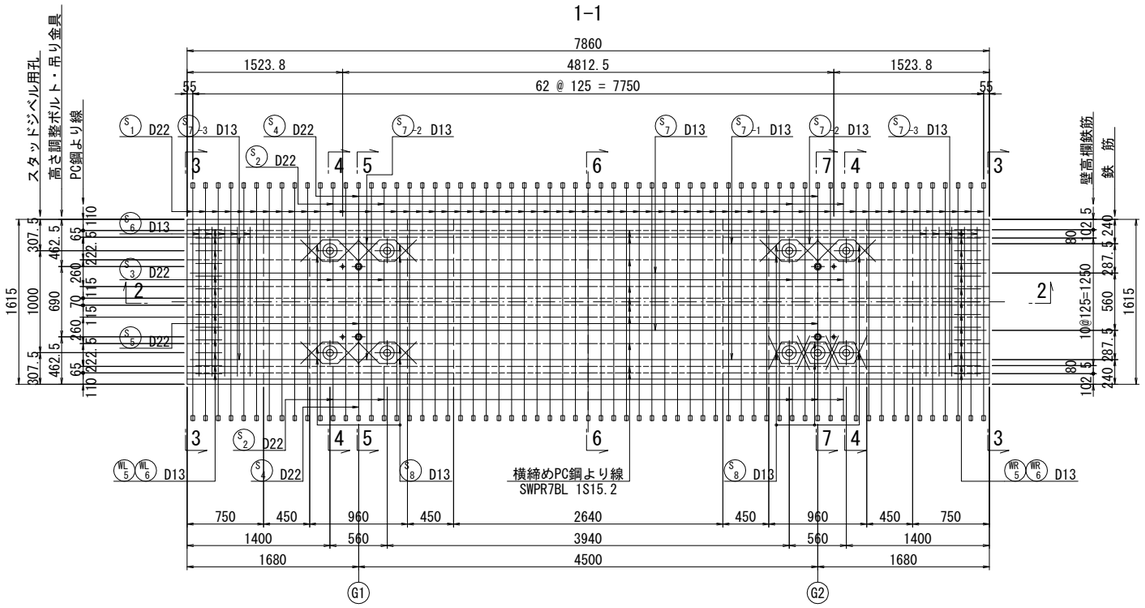
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その３５）
縮尺	図示
設計者	
宮城県	

位置	
設計年度	
図番	118 / 212

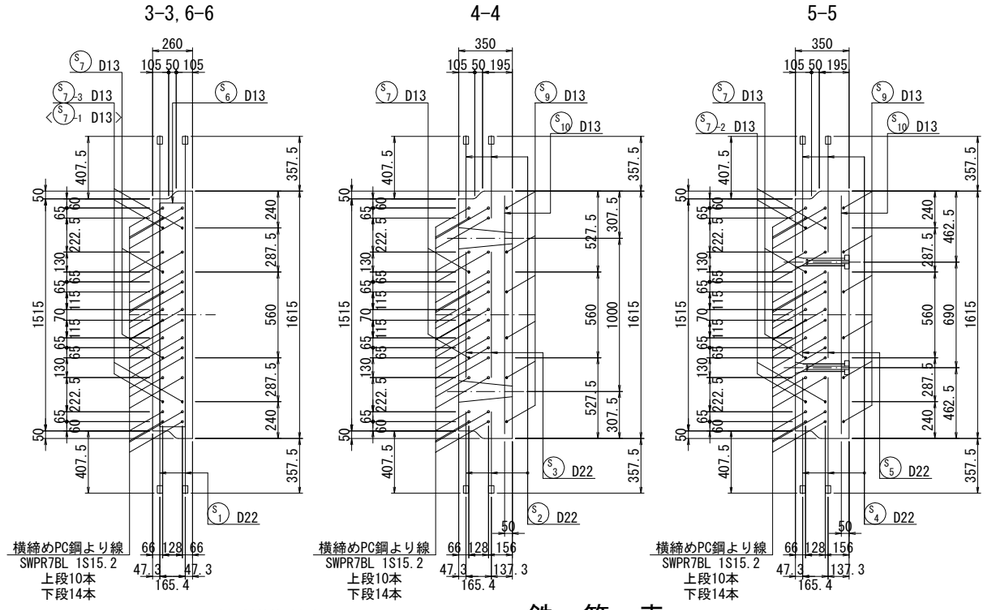
P5～P9 PC床版配筋図（その３６）

A1-2 タイプ

平　面　図　S=1:30

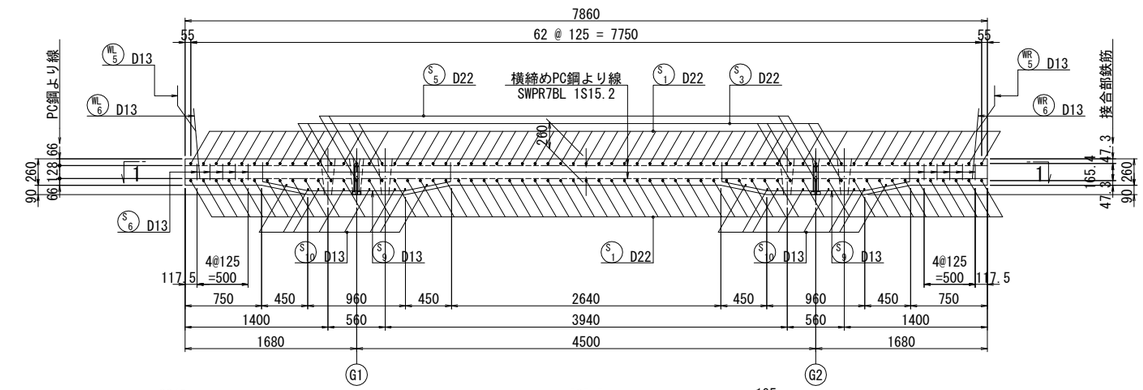


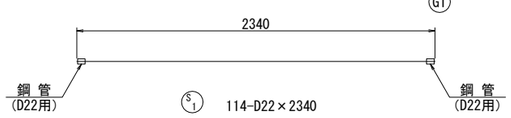
側　面　図　S=1:20



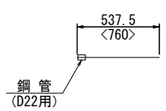
注）S6鉄筋は3-3のみ。
　　< >内の鉄筋番号は6-6を表す。

断　面　図　S=1:30

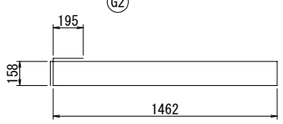




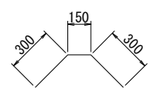
① 114-D22×2340



② 18-D22×540
< ④ 6-D22×760 >

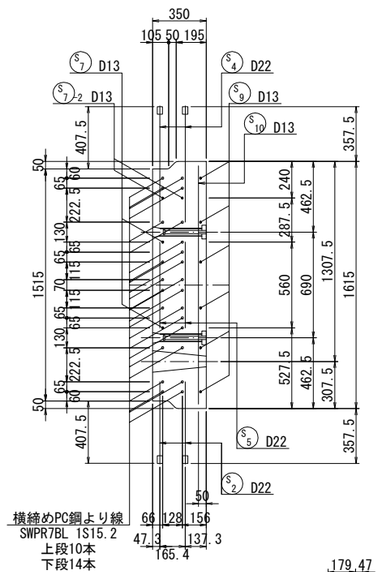


⑥ 10-D13×3590

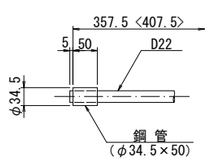


⑧ 36-D13×750

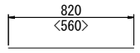
7-7



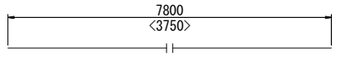
鋼管部詳細図　S=1:5



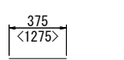
注）< >内は上段側を示す。



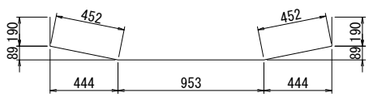
③ 8-D22×820
< ⑤ 4-D22×560 >



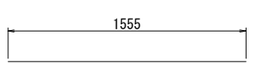
⑦ 2-D13×7800
< ⑦-1 4-D13×3750 >



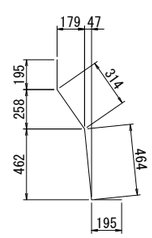
⑦-2 6-D13×380
< ⑦-3 8-D13×1280 >



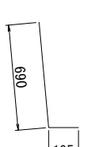
⑨ 12-D13×2240



⑩ 16-D13×1560



WL 5 ⑤ 13-D13×1170
WR 5 ⑤ 13-D13×1170



WL 6 ⑥ 13-D13×890
WR 6 ⑥ 13-D13×890

鉄　筋　表

（床版１枚当り）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S 1	D22	2340	114	3.04	7.11	811	鋼管
2	〃	540	18	〃	1.64	30	鋼管
3	〃	820	8	〃	2.49	20	
4	〃	760	6	〃	2.31	14	鋼管
5	〃	560	4	〃	1.70	7	
6	D13	3590	10	0.995	3.57	36	
7	〃	7800	2	〃	7.76	16	
7-1	〃	3750	4	〃	3.73	15	
7-2	〃	380	6	〃	0.38	2	
7-3	〃	1280	8	〃	1.27	10	
8	〃	750	36	〃	0.75	27	
9	〃	2240	12	〃	2.23	27	
10	〃	1560	16	〃	1.55	25	
WL 5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	
WR 5	〃	1170	13	〃	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	
				SD345	D22	882 kg	
				〃	D13	212 kg	
				〃	合計	1094 kg	
				鋼管（φ34.5×50）		252 個	

注）床版の配置位置については
　　"PC床版割付図"を参照すること。

実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その３６）
縮尺	図示
設計者	
宮城県	

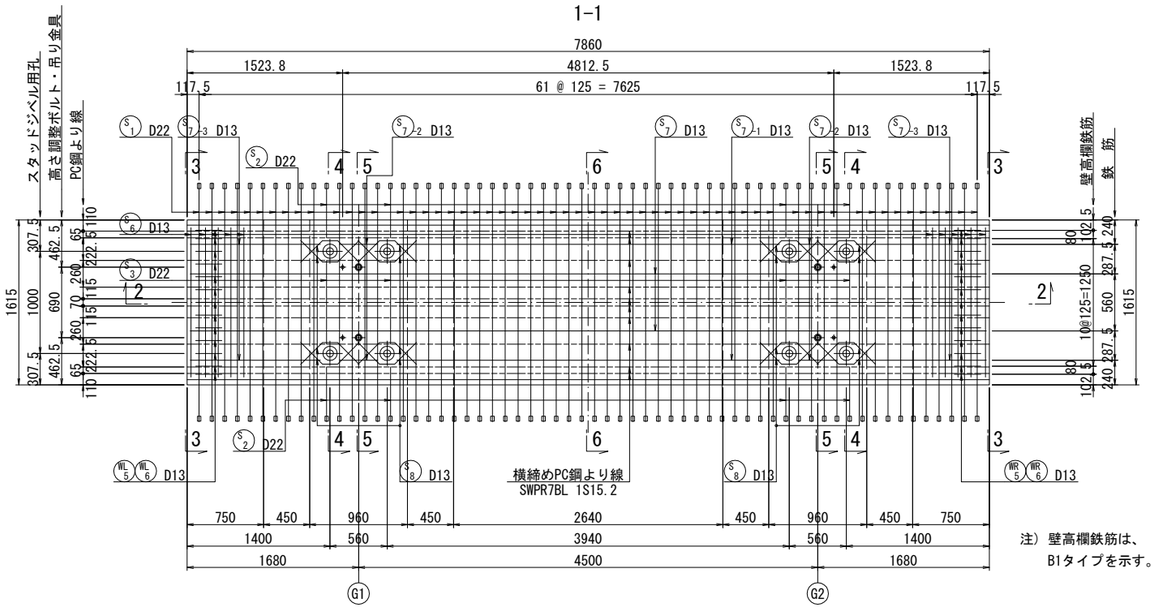
位置	
設計年度	
図番	119 / 212

P5～P9 PC床版配筋図（その３７）

B1 ， B1-L ， B1-R タイプ

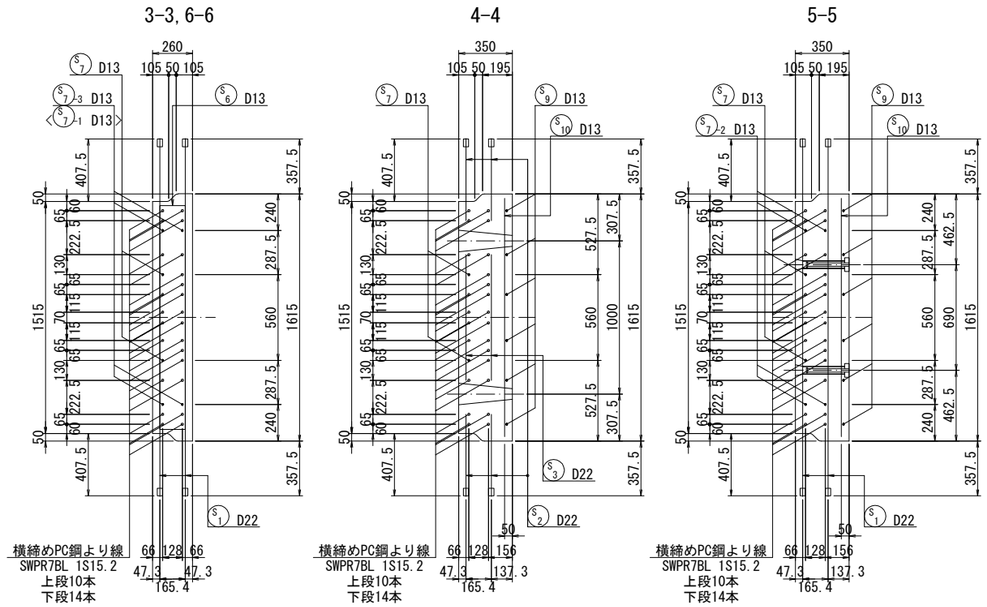
平　面　図 S=1:30

1-1



注）壁高欄鉄筋は、
B1タイプを示す。

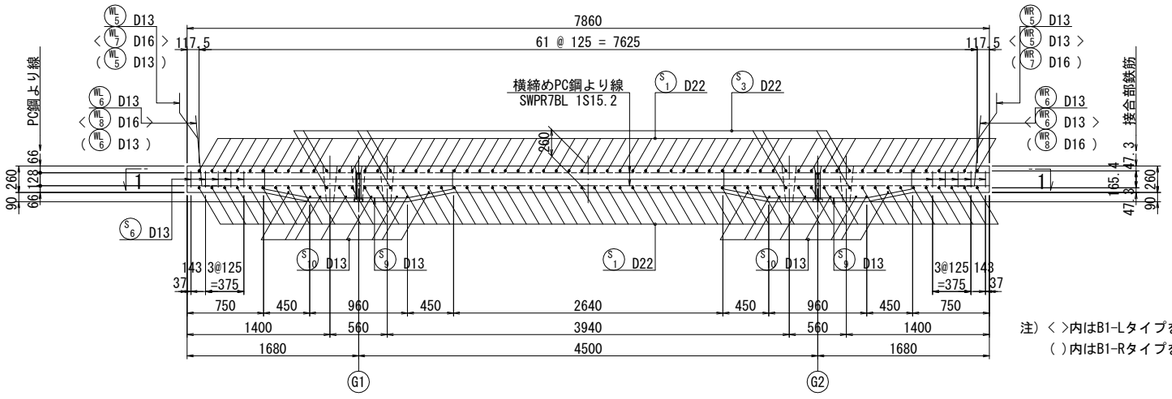
側　面　図 S=1:20



注）S6鉄筋は3-3のみ。
< >内の鉄筋番号は6-6を表す。

断　面　図 S=1:30

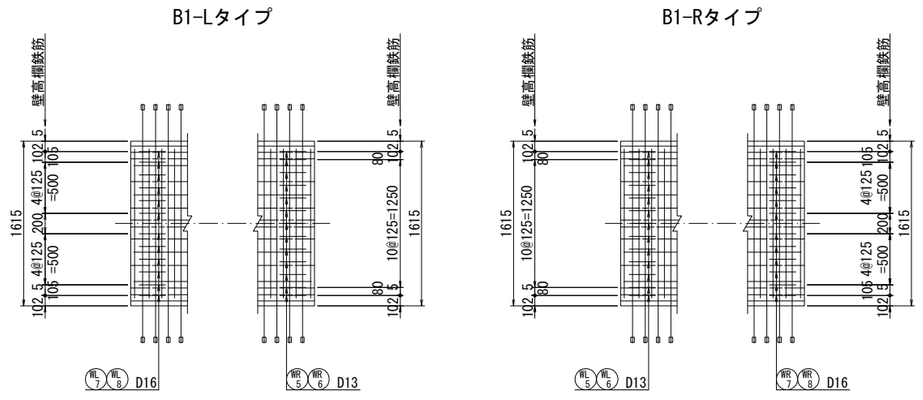
2-2



注）< >内はB1-Lタイプを示し、
( )内はB1-Rタイプを示す。

平　面　図 S=1:30

1-1



注）壁高欄鉄筋以外は、B1タイプと同様とする。

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

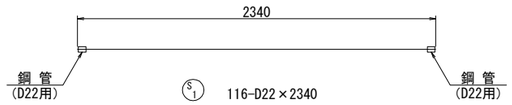
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その３７）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	120 / 212

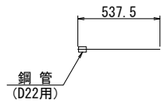
P5～P9 PC床版配筋図（その３８）

B1 , B1-L , B1-R タイプ

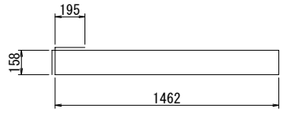
鉄 筋 加 工 図 S=1:20



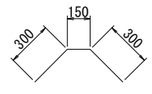
S1 116-D22×2340



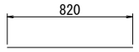
S2 16-D22×540



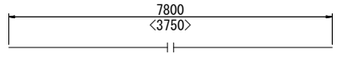
S6 10-D13×3590



S8 32-D13×750

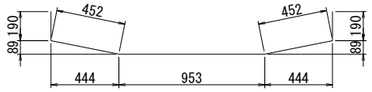


S3 8-D22×820

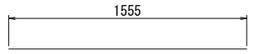


S7 2-D13×7800

< S7-1 4-D13×3750 >



S9 12-D13×2240



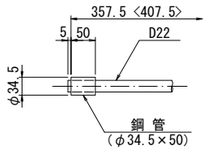
S10 16-D13×1560



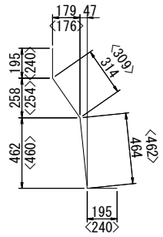
S7-2 8-D13×380

< S7-3 8-D13×1280 >

鋼管部詳細図 S=1:5

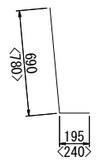


注）< >内は上段側を示す。



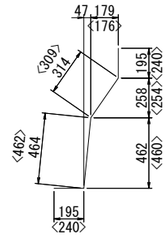
WL5 13-D13×1170 (B1,B1-R)

< WL7 12-D16×1250 (B1-L) >



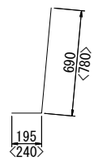
WL6 13-D13×890 (B1,B1-R)

< WL8 12-D16×1020 (B1-L) >



WR5 13-D13×1170 (B1,B1-L)

< WR7 12-D16×1250 (B1-R) >



WR6 13-D13×890 (B1,B1-L)

< WR8 12-D16×1020 (B1-R) >

鉄 筋 表

（床版１枚当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D22	2340	116	3.04	7.11	825	鋼管
2	〃	540	16	〃	1.64	26	鋼管
3	〃	820	8	〃	2.49	20	
4	欠番						
5	〃						
6	D13	3590	10	0.995	3.57	36	
7	〃	7800	2	〃	7.76	16	
7-1	〃	3750	4	〃	3.73	15	
7-2	〃	380	8	〃	0.38	3	
7-3	〃	1280	8	〃	1.27	10	
8	〃	750	32	〃	0.75	24	
9	〃	2240	12	〃	2.23	27	
10	〃	1560	16	〃	1.55	25	
WL 5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	B1,B1-R
6	〃	890	13	〃	0.89	12	B1,B1-R
7	D16	1250	12	1.56	1.95	23	B1-L
8	〃	1020	12	〃	1.59	19	B1-L
WR 5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	B1,B1-L
6	〃	890	13	〃	0.89	12	B1,B1-L
7	D16	1250	12	1.56	1.95	23	B1-R
8	〃	1020	12	〃	1.59	19	B1-R

		B1	B1-L,B1-R
SD345	D22	871 kg	871 kg
〃	D16	- kg	42 kg
〃	D13	210 kg	183 kg
〃	合計	1081 kg	1096 kg
鋼管（φ34.5×50）		248 個	248 個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

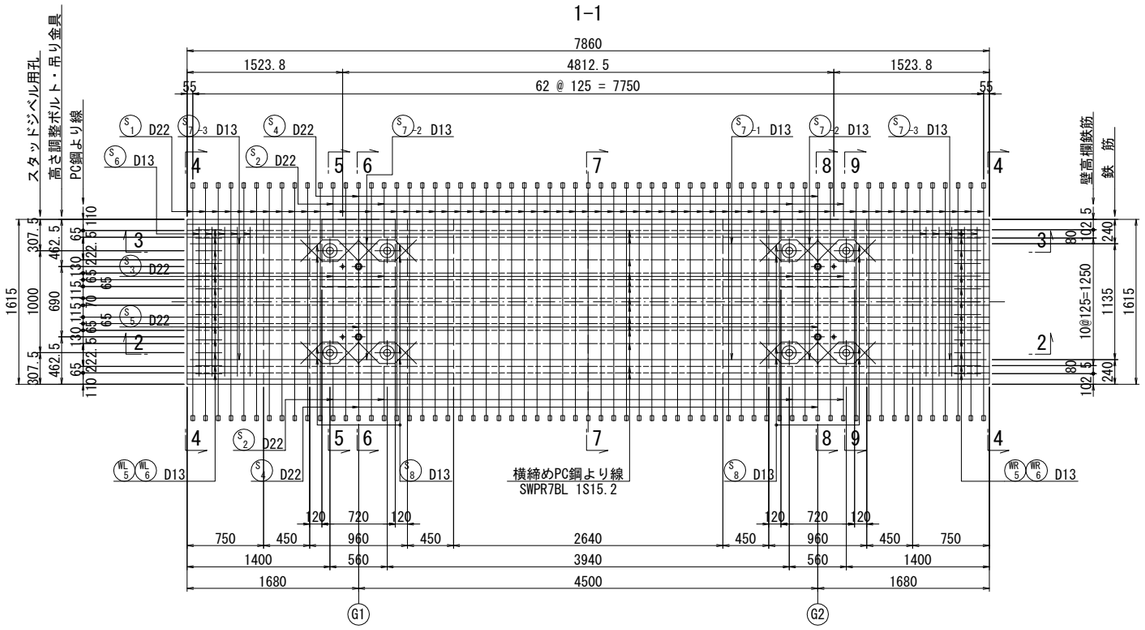
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その３８）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	121 / 212

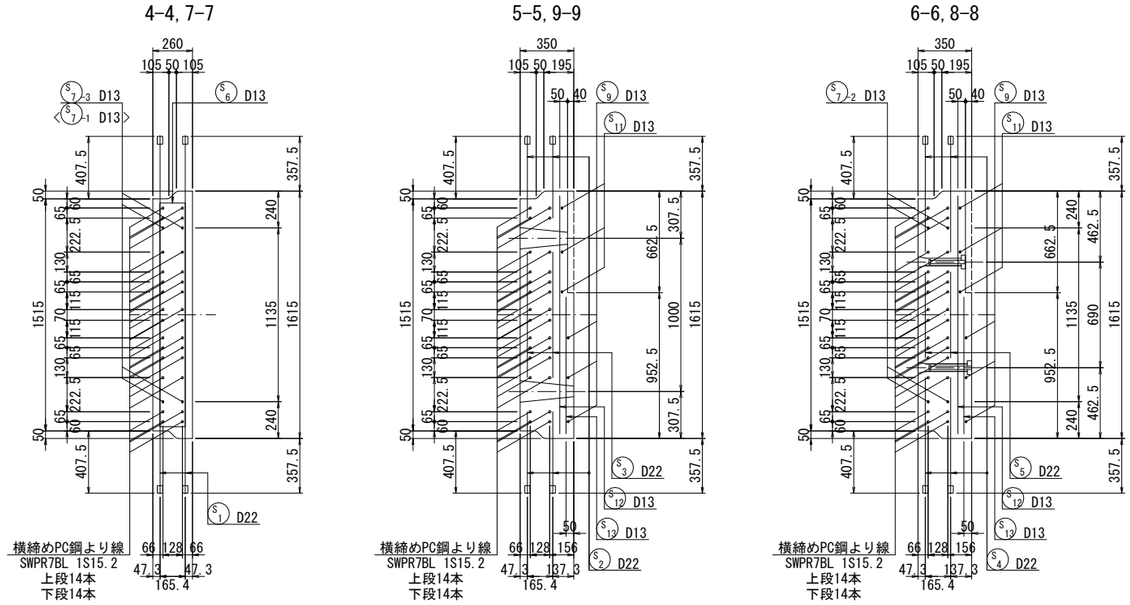
P5～P9 PC床版配筋図（その３９）

A1-K1 タイプ

平　面　図 S=1:30

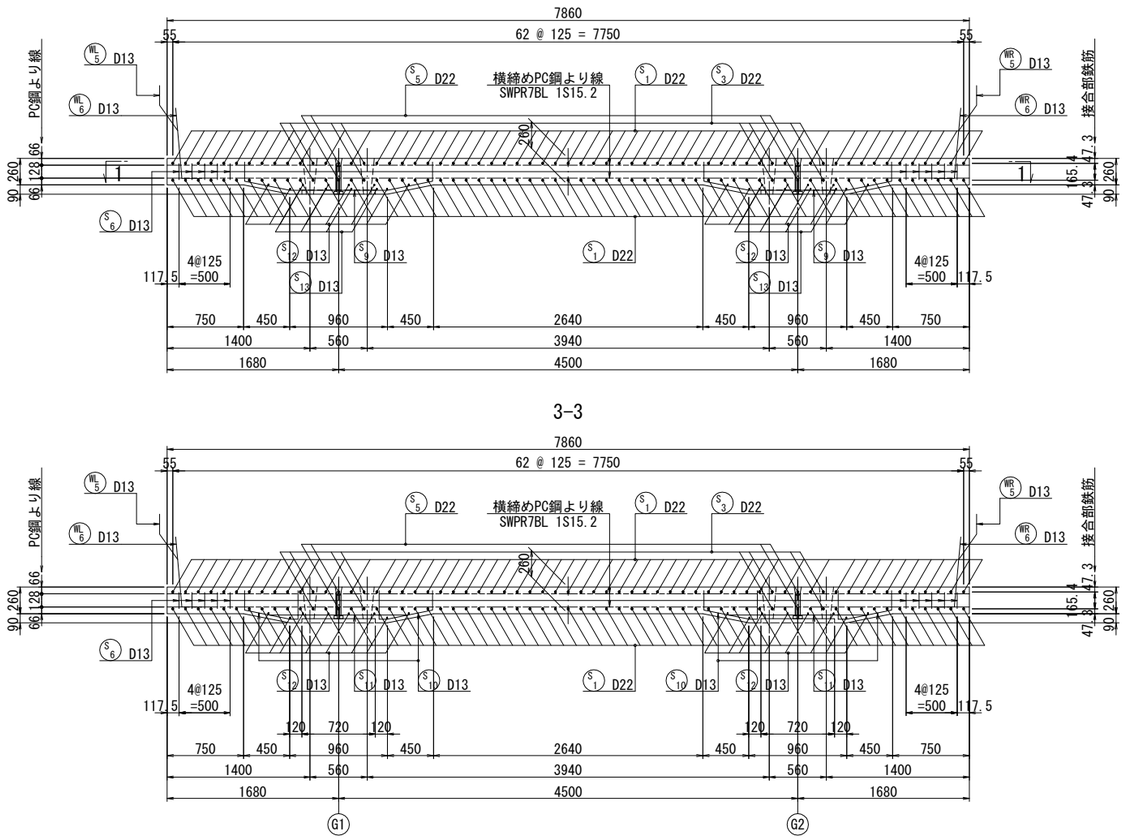


側　面　図 S=1:20



注）S6鉄筋は4-4のみ。
< >内の鉄筋番号は7-7を表す。

断　面　図 S=1:30



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

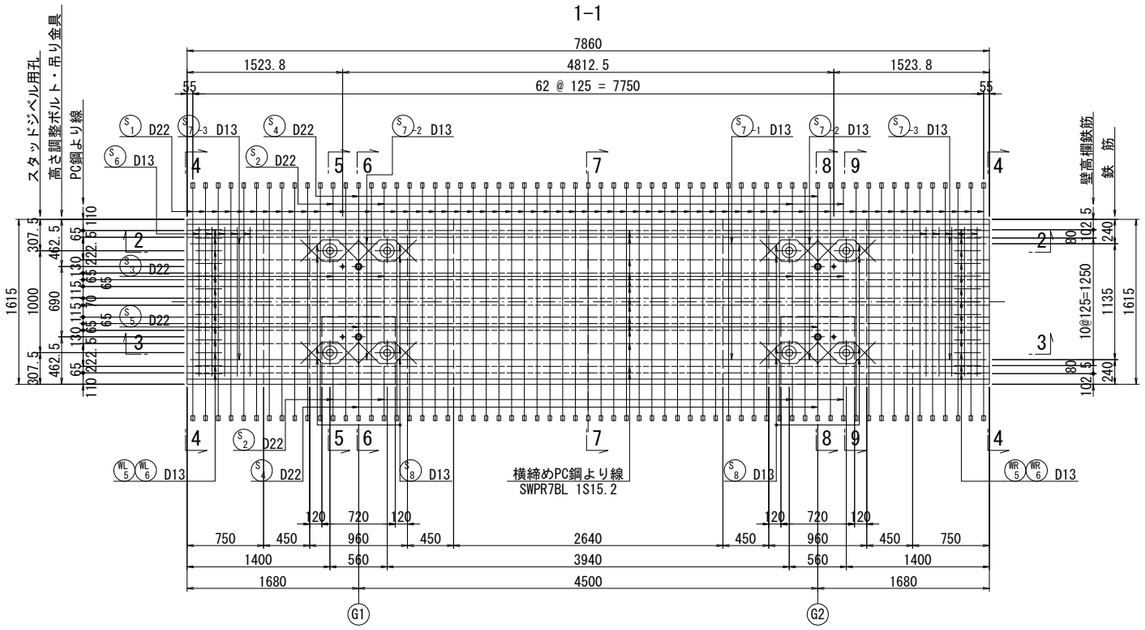
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その３９）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	122 / 212

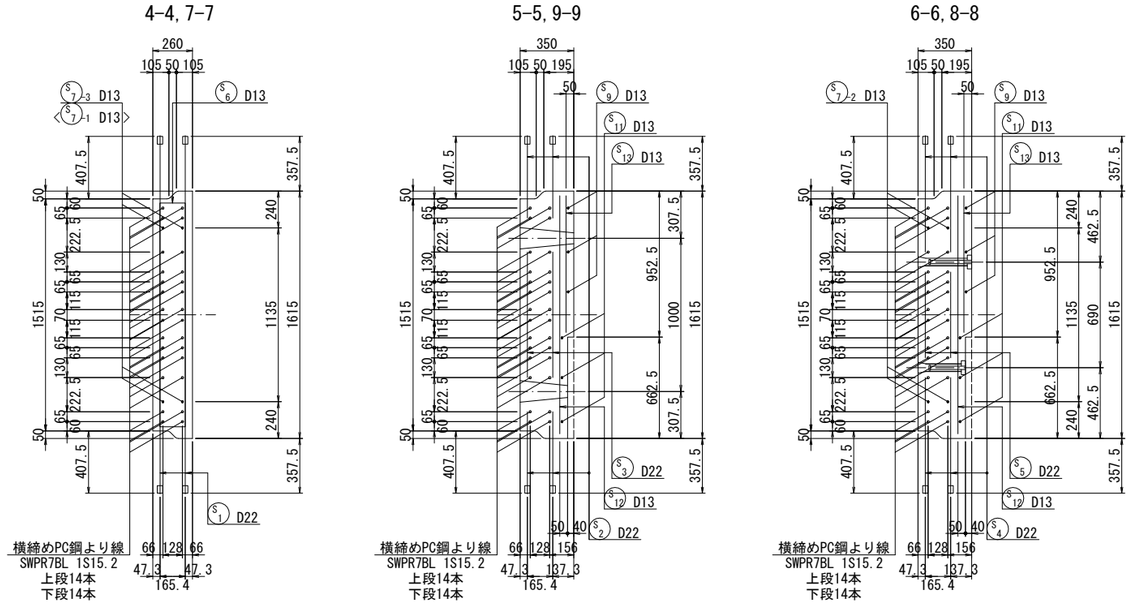
P5～P9 PC床版配筋図（その４０）

A1-K2 タイプ

平　面　図 S=1:30

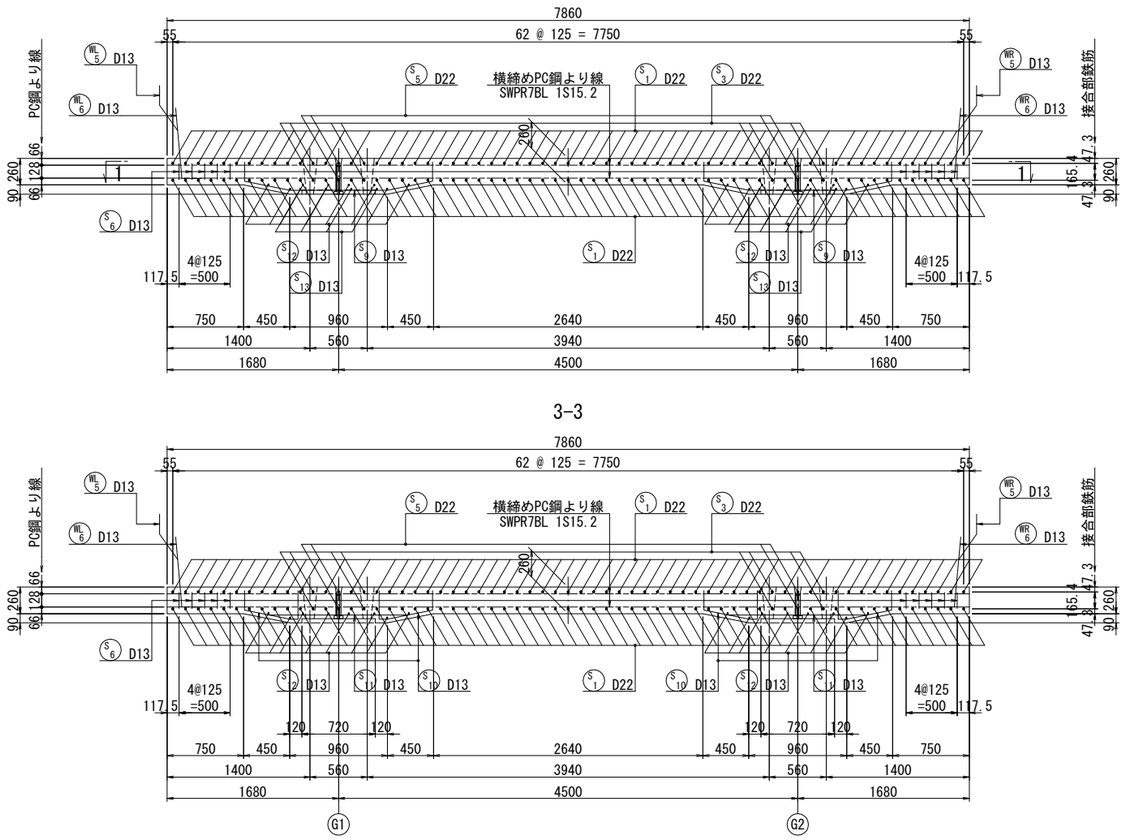


側　面　図 S=1:20



注）S6鉄筋は4-4のみ。
< >内の鉄筋番号は7-7を表す。

断　面　図 S=1:30



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

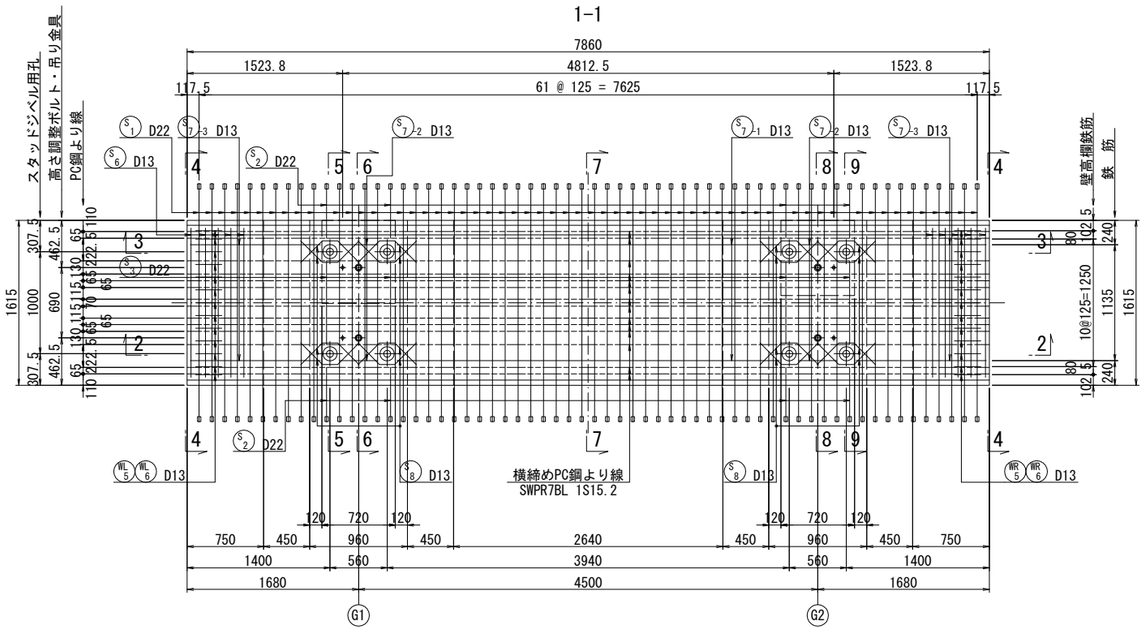
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その４０）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	123 / 212

P5～P9 PC床版配筋図（その４１）

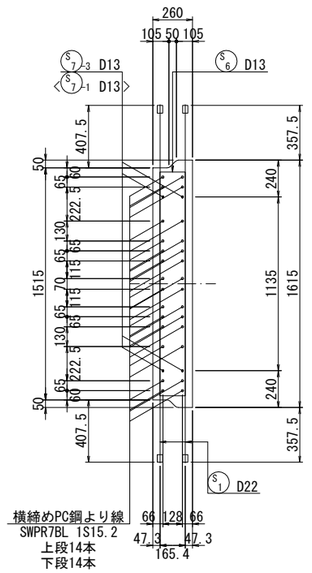
B1-K2 タイプ

平　面　図 S=1:30

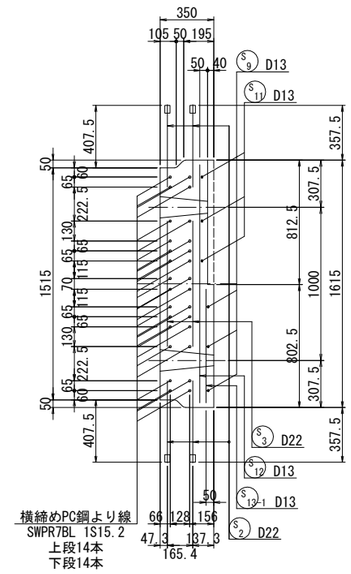


側　面　図 S=1:20

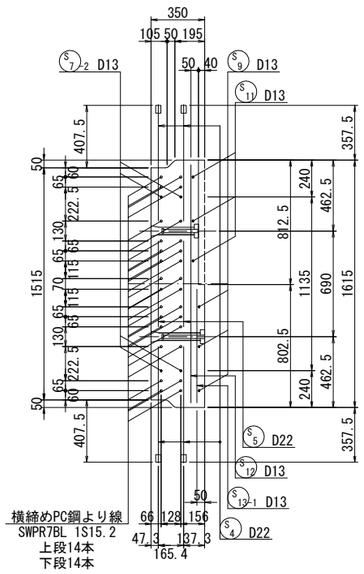
4-4, 7-7



5-5



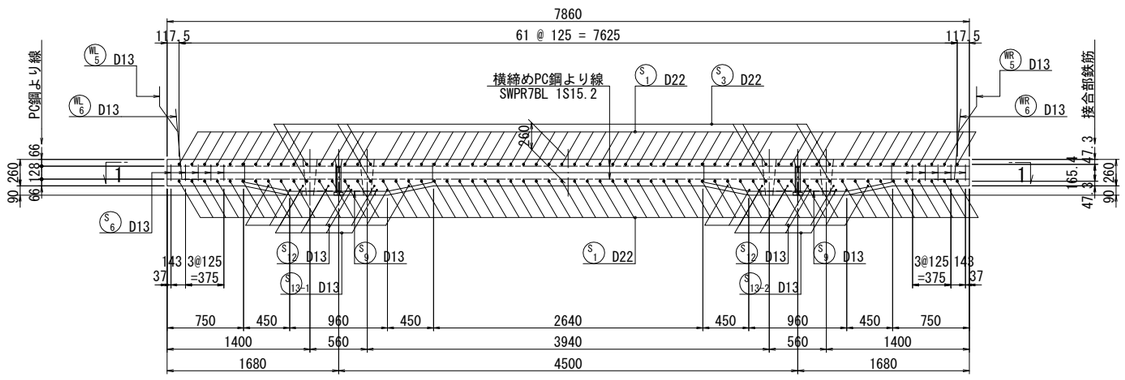
6-6



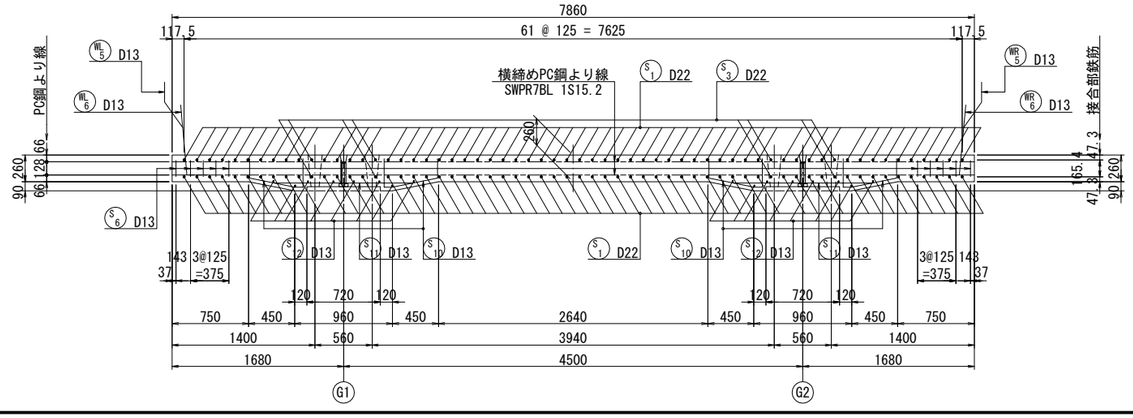
注）S6鉄筋は4-4のみ。
< >内の鉄筋番号は7-7を表す。

断　面　図 S=1:30

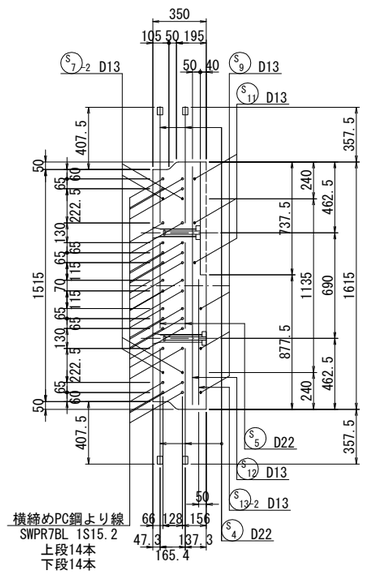
2-2



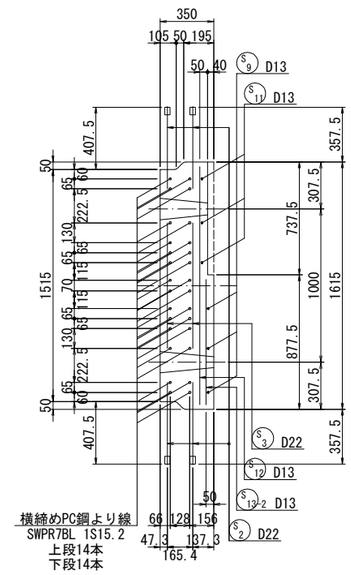
3-3



8-8



9-9



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

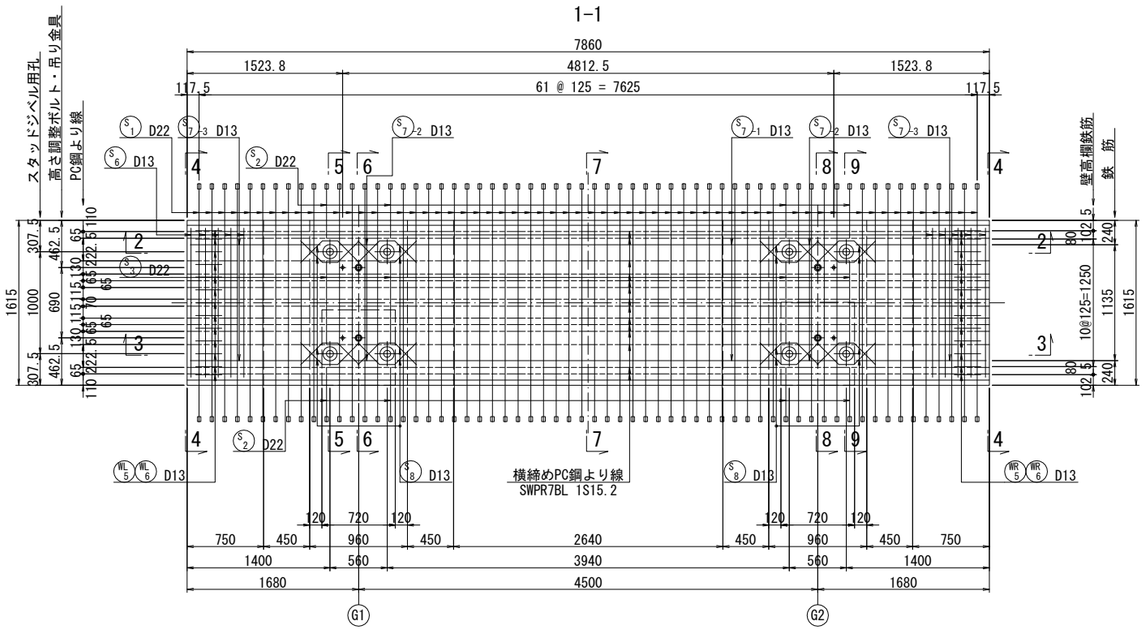
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その４１）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	124 / 212

P5～P9 PC床版配筋図（その４２）

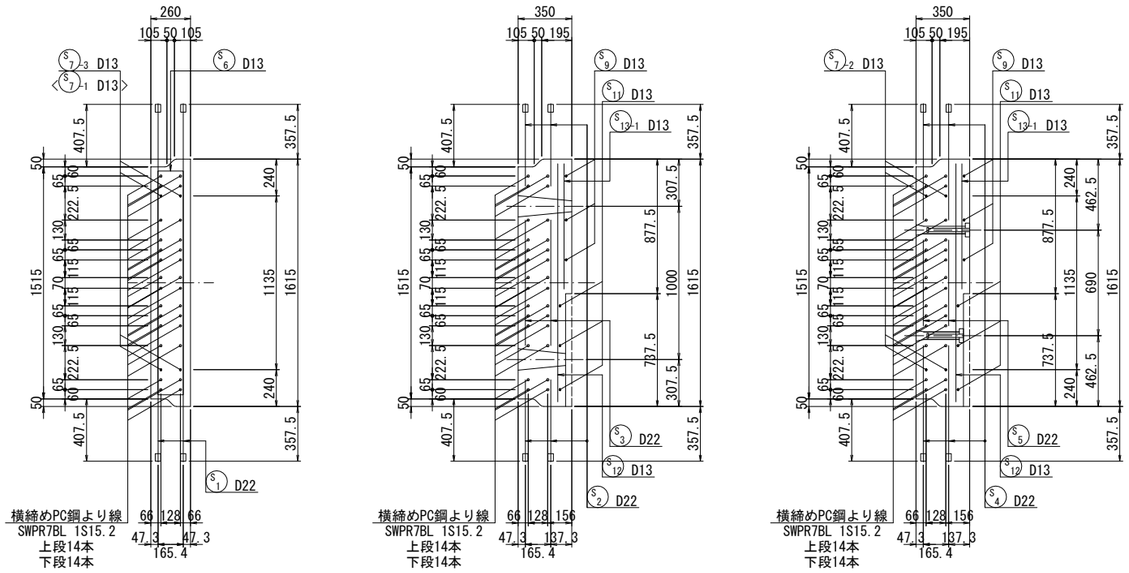
B1-K1 タイプ

平　面　図 S=1:30



側　面　図 S=1:20

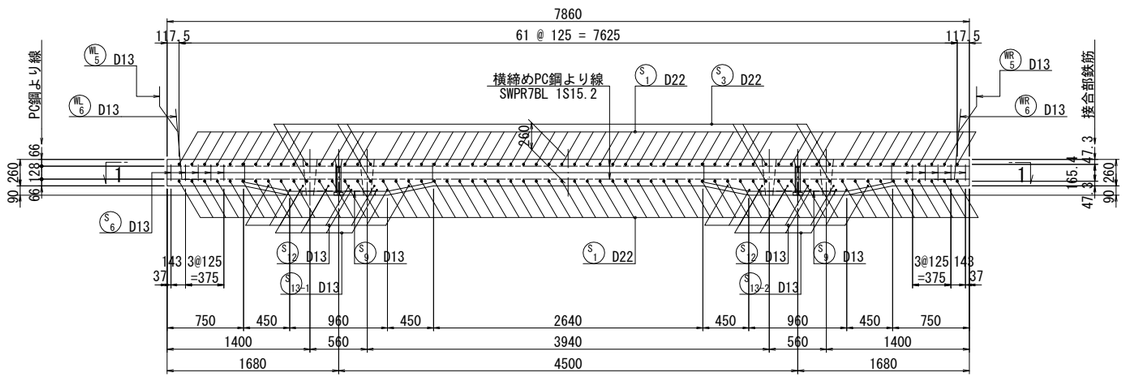
1-1



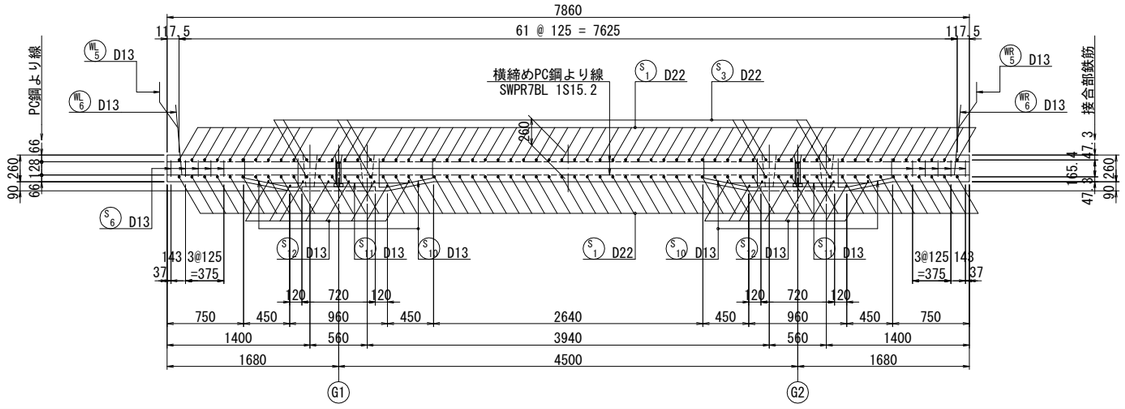
注）S6鉄筋は4-4のみ。
< >内の鉄筋番号は7-7を表す。

断　面　図 S=1:30

2-2

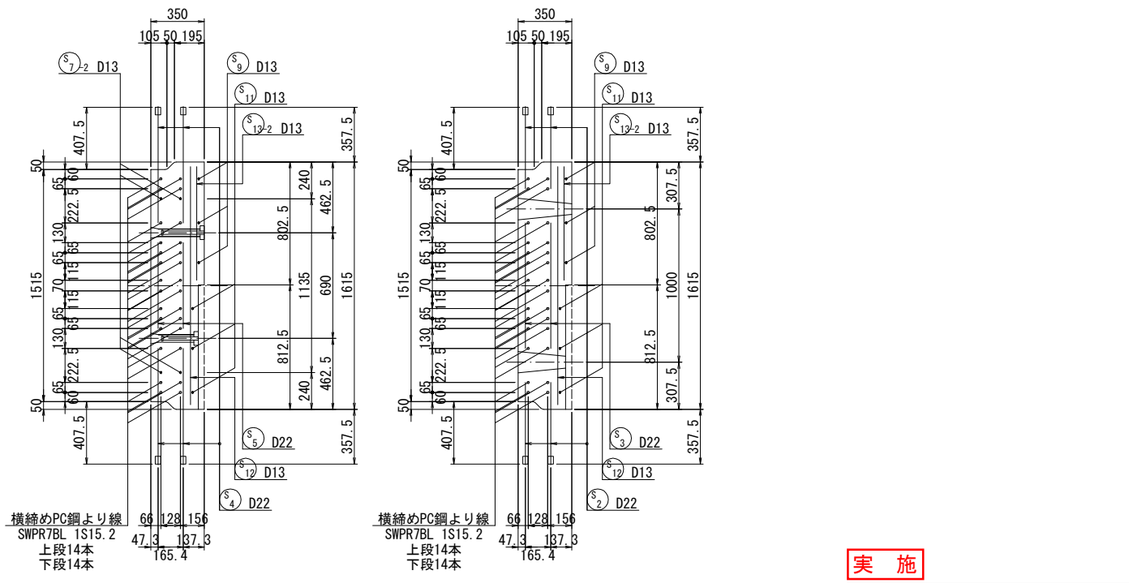


3-3



8-8

9-9



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

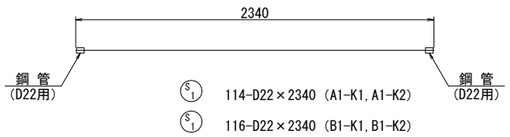
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その４２）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	125 / 212

P5～P9 PC床版配筋図（その４３）

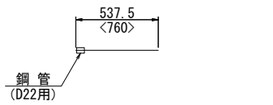
A1-K1 ， A1-K2 ， B1-K1 ， B1-K2 タイプ

鉄筋加工図 S=1:20



S1 114-D22×2340 (A1-K1, A1-K2)

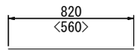
S1 116-D22×2340 (B1-K1, B1-K2)



S2 16-D22×540 (A1-K1, A1-K2)

S2 16-D22×540 (B1-K1, B1-K2)

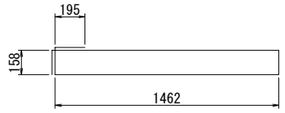
< S4 8-D22×760 (A1-K1, A1-K2) >



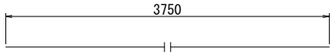
S3 8-D22×820 (A1-K1, A1-K2)

S3 8-D22×820 (B1-K1, B1-K2)

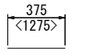
< S5 4-D22×560 (A1-K1, A1-K2) >



S6 10-D13×3590

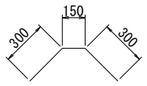


S7-1 4-D13×3750

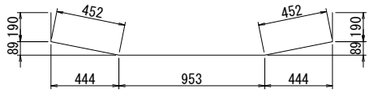


S7-2 8-D13×380

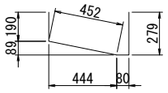
< S7-3 8-D13×1280 >



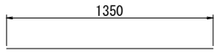
S8 32-D13×750



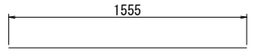
S9 6-D13×2240



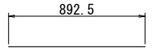
S10 12-D13×1000



S11 6-D13×1350



S12 16-D13×1560



S13 8-D13×890 (A1-K1, A1-K2)

WL5 13-D13×1170

WR5 13-D13×1170



WL6 13-D13×890

WR6 13-D13×890



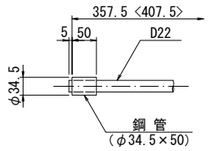
S13-1 4-D13×740 (B1-K1)

S13-2 4-D13×740 (B1-K2)

S13-2 4-D13×820 (B1-K1)

S13-1 4-D13×820 (B1-K2)

鋼管部詳細図 S=1:5



注）< >内は上段側を示す。

鉄 筋 表

（床版１枚当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
A1-K1, A1-K2							
S 1	D22	2340	114	3.04	7.11	811	鋼管
2	〃	540	16	〃	1.64	26	鋼管
3	〃	820	8	〃	2.49	20	
4	〃	760	8	〃	2.31	18	鋼管
5	〃	560	4	〃	1.70	7	
6	D13	3590	10	0.995	3.57	36	
7-1	〃	3750	4	〃	3.73	15	
7-2	〃	380	8	〃	0.38	3	
7-3	〃	1280	8	〃	1.27	10	
8	〃	750	32	〃	0.75	24	
9	〃	2240	6	〃	2.23	13	
10	〃	1000	12	〃	1.00	12	
11	〃	1350	6	〃	1.34	8	
12	〃	1560	16	〃	1.55	25	
13	〃	890	8	〃	0.89	7	
WL 5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	
WR 5	〃	1170	13	〃	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	
				SD345	D22	882	kg
				〃	D13	207	kg
				〃	合計	1089	kg
				鋼管（φ34.5×50）		252	個
B1-K1, B1-K2							
S 1	D22	2340	116	3.04	7.11	825	鋼管
2	〃	540	16	〃	1.64	26	鋼管
3	〃	820	8	〃	2.49	20	
4	欠番						
5	〃						
6	D13	3590	10	0.995	3.57	36	
7-1	〃	3750	4	〃	3.73	15	
7-2	〃	380	8	〃	0.38	3	
7-3	〃	1280	8	〃	1.27	10	
8	〃	750	32	〃	0.75	24	
9	〃	2240	6	〃	2.23	13	
10	〃	1000	12	〃	1.00	12	
11	〃	1350	6	〃	1.34	8	
12	〃	1560	16	〃	1.55	25	
13-1	〃	740	4	〃	0.74	3	B1-K1
	〃	820	4	〃	0.82	3	B1-K2
13-2	〃	820	4	〃	0.82	3	B1-K1
	〃	740	4	〃	0.74	3	B1-K2
WL 5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	
WR 5	〃	1170	13	〃	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	
				SD345	D22	871	kg
				〃	D13	206	kg
				〃	合計	1077	kg
				鋼管（φ34.5×50）		248	個

実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その４３）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	126 / 212

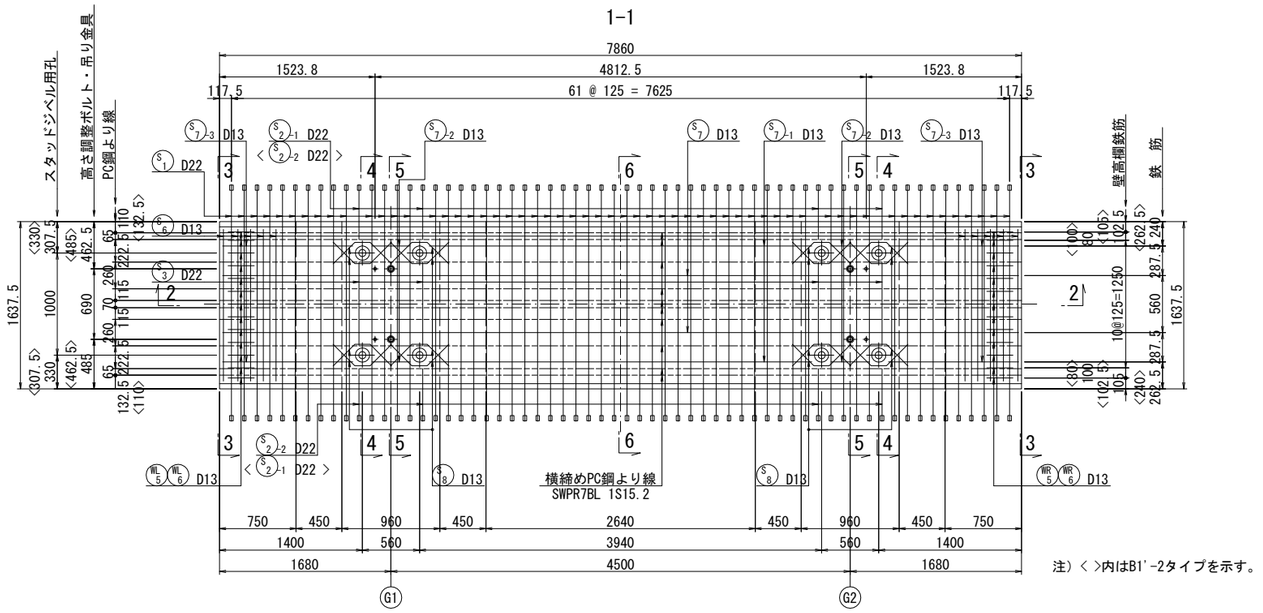
注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

P5～P9 PC床版配筋図（その４４）

B1'-1 ， B1'-2 タイプ

平　面　図　S=1:30

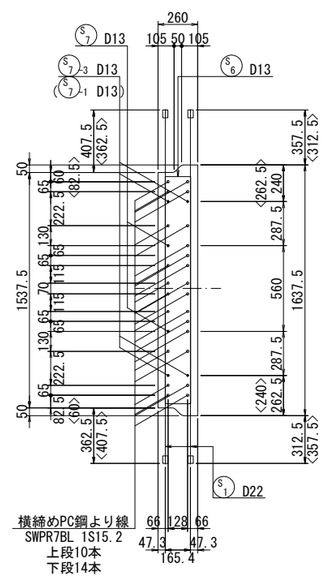
1-1



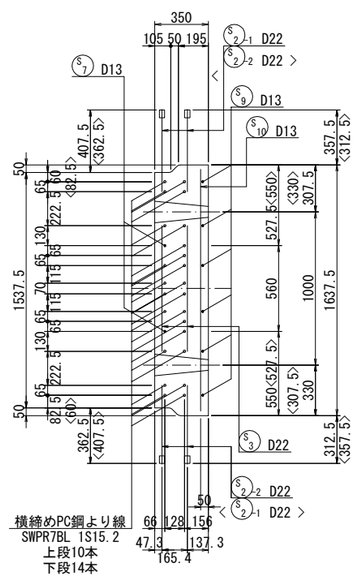
注）＜ ＞内はB1'-2タイプを示す。

側　面　図

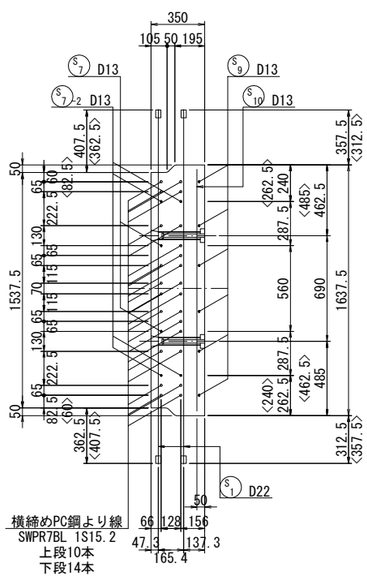
3-3, 6-6



4-4



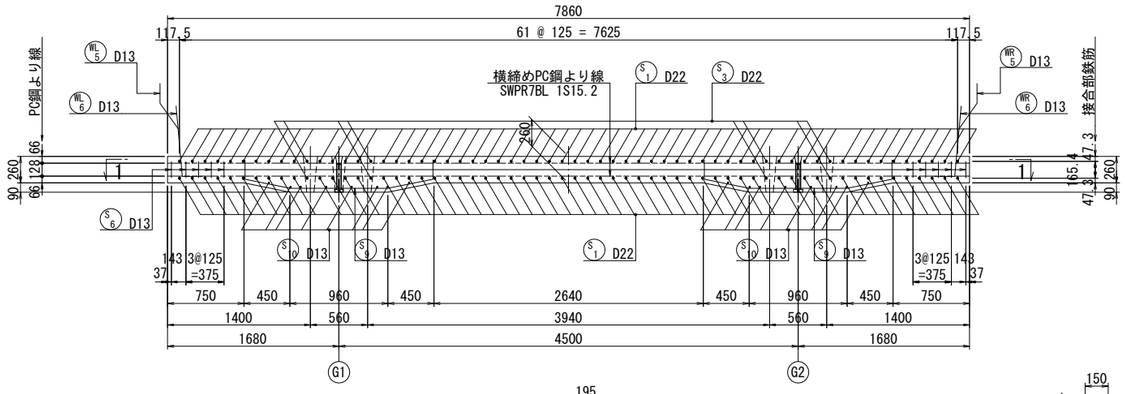
5-5

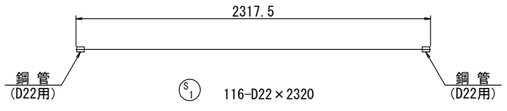


注）S6鉄筋は3-3のみ。
＜ ＞内はB1'-2タイプを示す。
（ ）内の鉄筋番号は6-6を表す。

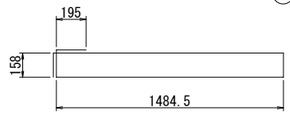
断　面　図　S=1:30

2-2

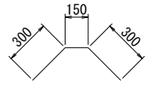




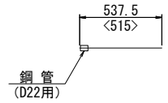
(S1) 116-D22×2320



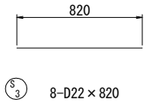
(S6) 10-D13×3640



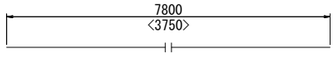
(S8) 32-D13×750



(S2-1) 8-D22×540
＜(S2-2) 8-D22×520＞



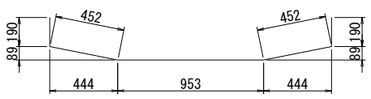
(S3) 8-D22×820



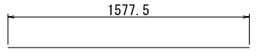
(S7) 2-D13×7800
＜(S7-1) 4-D13×3750＞



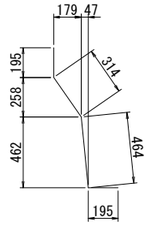
(S7-2) 8-D13×380
＜(S7-3) 8-D13×1280＞



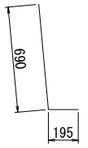
(S9) 12-D13×2240



(S10) 16-D13×1580

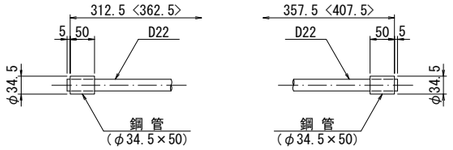


(WL5) 13-D13×1170
(WR5) 13-D13×1170



(WL6) 13-D13×890
(WR6) 13-D13×890

鋼管部詳細図　S=1:5



注）＜ ＞内は上段側を示す。

鉄　筋　表

（床版１枚当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D22	2320	116	3.04	7.05	818	鋼管
2-1	〃	540	8	〃	1.64	13	鋼管
2-2	〃	520	8	〃	1.58	13	鋼管
3	〃	820	8	〃	2.49	20	
4	欠番						
5	〃						
6	D13	3640	10	0.995	3.62	36	
7	〃	7800	2	〃	7.76	16	
7-1	〃	3750	4	〃	3.73	15	
7-2	〃	380	8	〃	0.38	3	
7-3	〃	1280	8	〃	1.27	10	
8	〃	750	32	〃	0.75	24	
9	〃	2240	12	〃	2.23	27	
10	〃	1580	16	〃	1.57	25	
WL 5	D13	1170	13	0.995	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	
WR 5	〃	1170	13	〃	1.16	15	
6	〃	890	13	〃	0.89	12	
				SD345	D22	864 kg	
				〃	D13	210 kg	
				〃	合計	1074 kg	
				鋼管（φ34.5×50）		248 個	

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

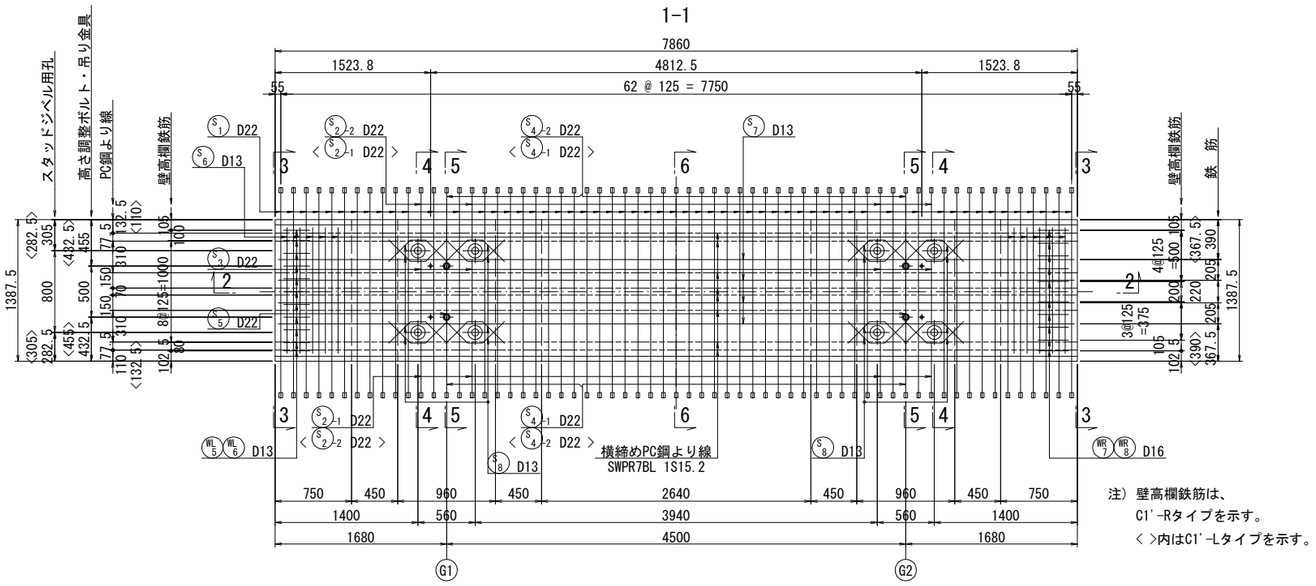
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その４４）
縮尺	図示
設計者	
位置	
設計年度	
宮城県	図番 127 / 212

P5～P9 PC床版配筋図（その４５）

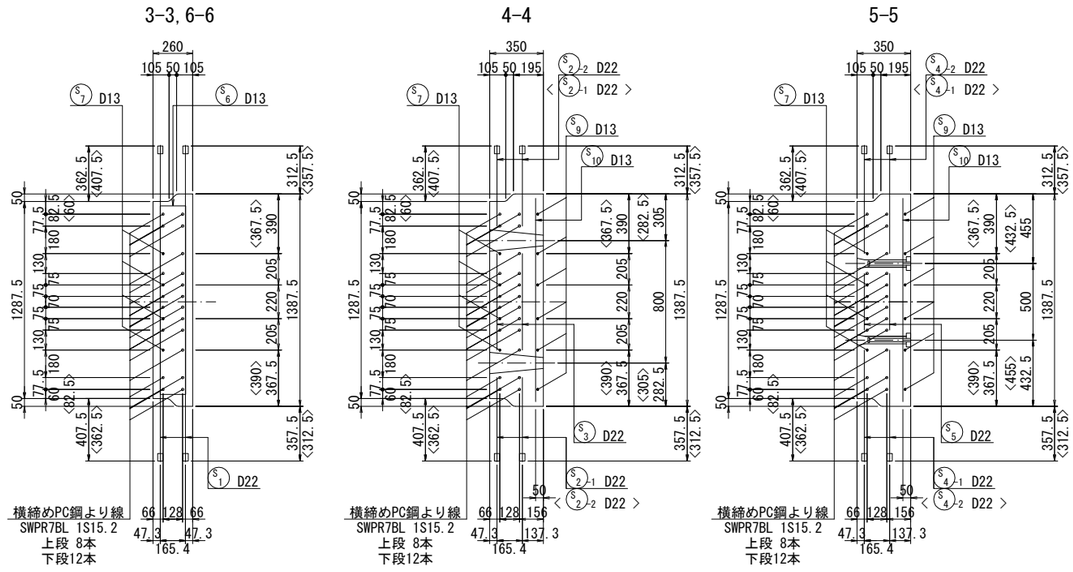
C1'-R , C1'-L タイプ

平　面　図 S=1:30



注）壁高欄鉄筋は、
C1'-Rタイプを示す。
< >内はC1'-Lタイプを示す。

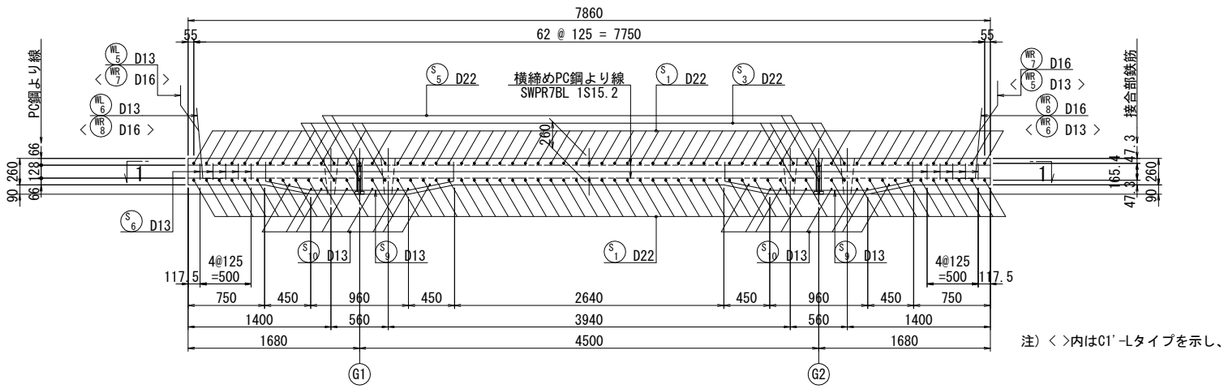
側　面　図



注）S6鉄筋は3-3のみ。
< >内はC1'-Lタイプを示す。

断　面　図 S=1:30

2-2

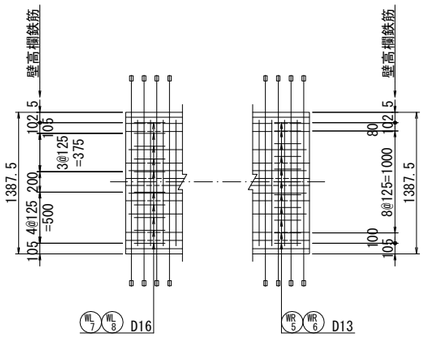


注）< >内はC1'-Lタイプを示し、

平　面　図 S=1:30

1-1

C1'-Lタイプ



注）壁高欄鉄筋以外は、C1'-Rタイプと同様とする。

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

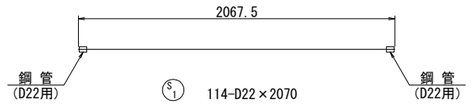
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その４５）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	128 / 212

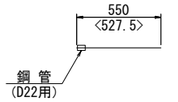
P5～P9 PC床版配筋図（その４６）

C1'-R ， C1'-L タイプ

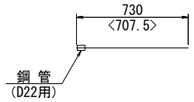
鉄 筋 加 工 図 S=1:20



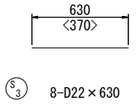
S1 114-D22×2070



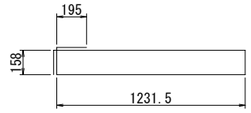
S2-1 8-D22×550
〈 S2-2 8-D22×530 〉



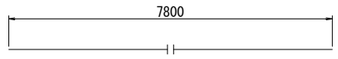
S4-1 4-D22×730
〈 S4-2 4-D22×710 〉



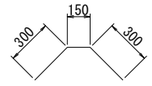
S3 8-D22×630
〈 S5 4-D22×370 〉



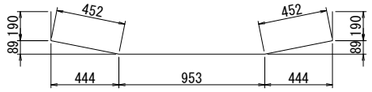
S6 10-D13×3130



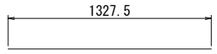
S7 4-D13×7800



S8 32-D13×750

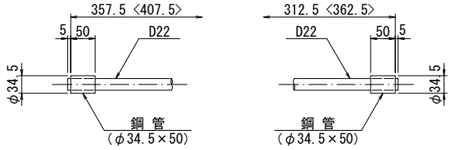


S9 12-D13×2240

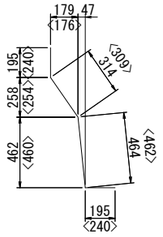


S10 16-D13×1330

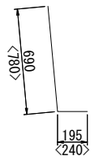
鋼管部詳細図 S=1:5



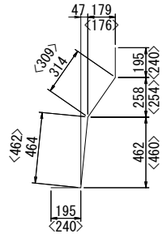
注）〈 〉内は上段側を示す。



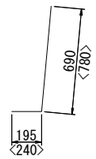
WL5 11-D13×1170 (C1'-R)
〈 WL7 10-D16×1250 (C1'-L) 〉



WL6 11-D13×890 (C1'-R)
〈 WL8 10-D16×1020 (C1'-L) 〉



WR5 11-D13×1170 (C1'-L)
〈 WR7 10-D16×1250 (C1'-R) 〉



WR6 11-D13×890 (C1'-L)
〈 WR8 10-D16×1020 (C1'-R) 〉

鉄 筋 表

（床版１枚当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D22	2070	114	3.04	6.29	717	鋼管
2-1	〃	550	8	〃	1.67	13	鋼管
2-2	〃	530	8	〃	1.61	13	鋼管
3	〃	630	8	〃	1.92	15	
4-1	〃	730	4	〃	2.22	9	鋼管
4-2	〃	710	4	〃	2.16	9	鋼管
5	〃	370	4	〃	1.12	4	
6	D13	3130	10	0.995	3.11	31	
7	〃	7800	4	〃	7.76	31	
8	〃	750	32	〃	0.75	24	
9	〃	2240	12	〃	2.23	27	
10	〃	1330	16	〃	1.32	21	
WL 5	D13	1170	11	0.995	1.16	13	C1'-R
6	〃	890	11	〃	0.89	10	C1'-R
7	D16	1250	10	1.56	1.95	20	C1'-L
8	〃	1020	10	〃	1.59	16	C1'-L
WR 5	D13	1170	11	0.995	1.16	13	C1'-L
6	〃	890	11	〃	0.89	10	C1'-L
7	D16	1250	10	1.56	1.95	20	C1'-R
8	〃	1020	10	〃	1.59	16	C1'-R

SD345	D22	780 kg
〃	D16	36 kg
〃	D13	157 kg
〃	合計	973 kg
鋼管（φ34.5×50）		252 個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

実 施

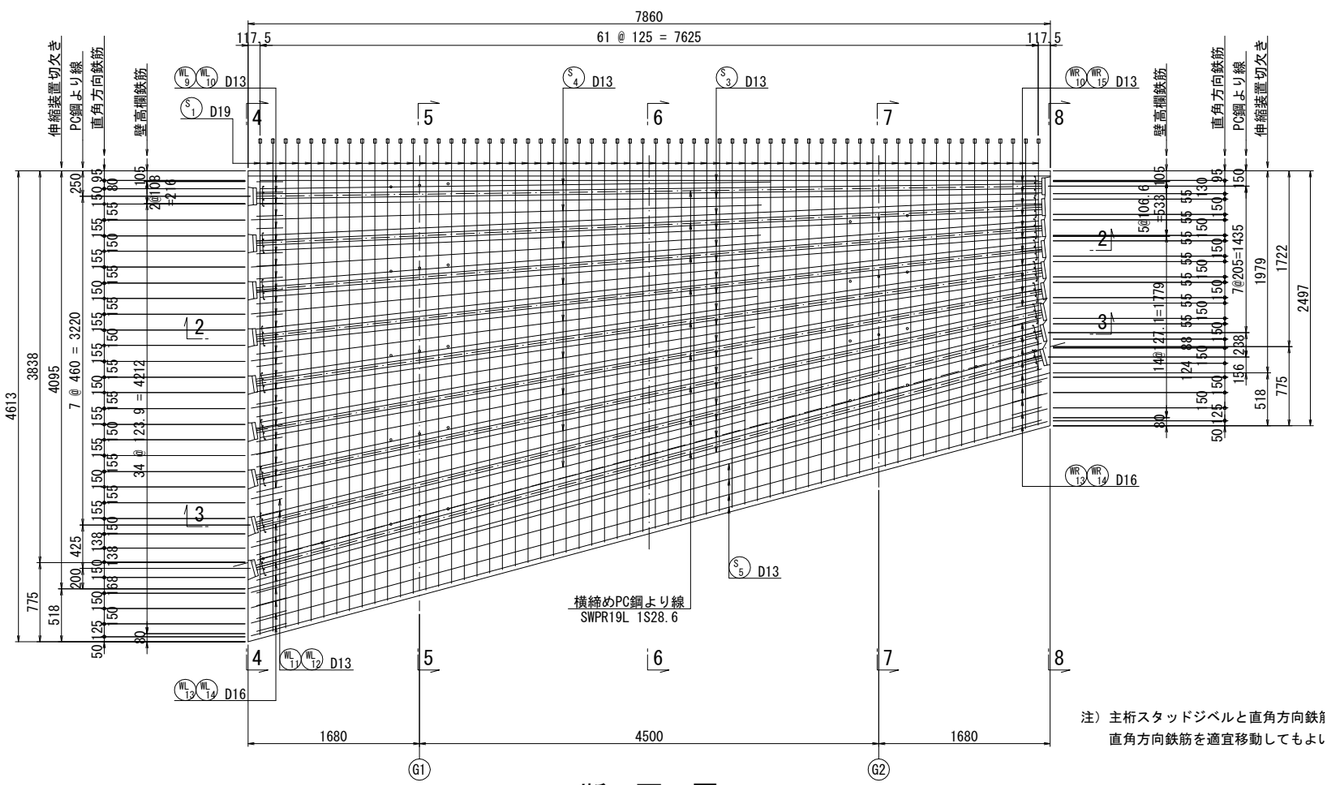
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版配筋図（その４６）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	129 / 212

P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その１） S=1:30

P5部

平　面　図

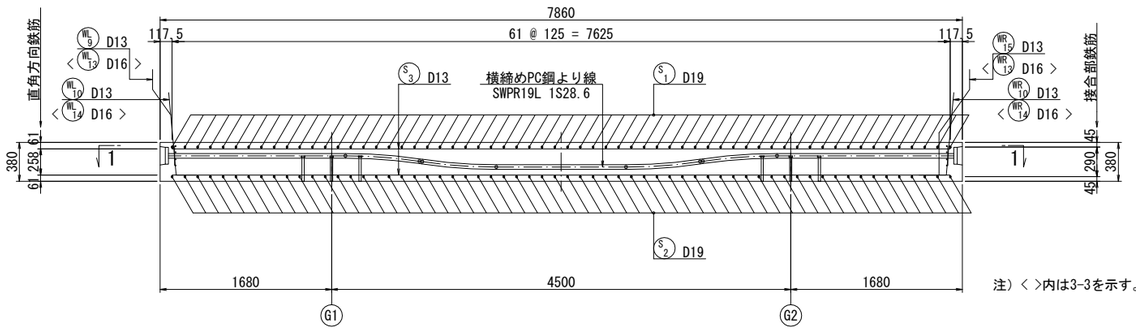
1-1



注）主桁スタッドジベルと直角方向鉄筋が干渉する場合、
直角方向鉄筋を適宜移動してもよい。

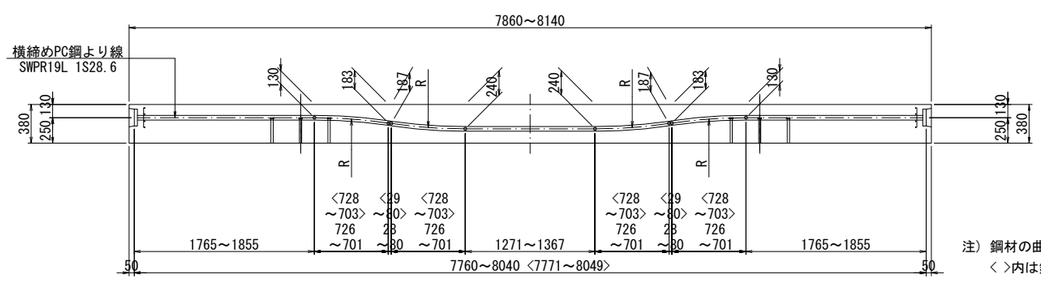
断　面　図

2-2, 3-3



注）< >内は3-3を示す。

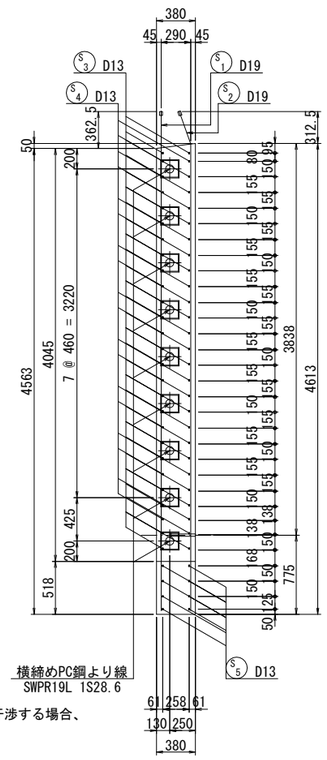
ＰＣ鋼材形状図



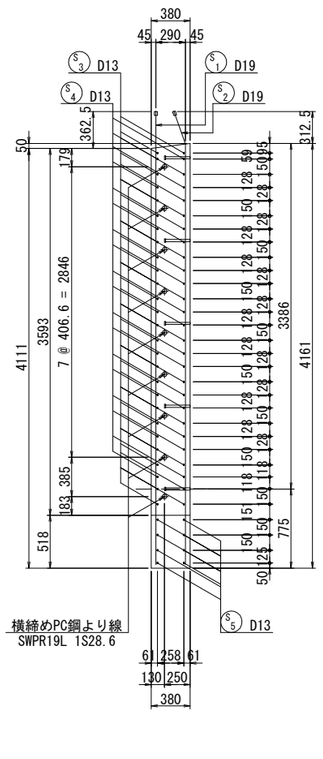
注）鋼材の曲げ半径はR=5000とする。
< >内は鋼材の実長寸法を示す。

側　面　図

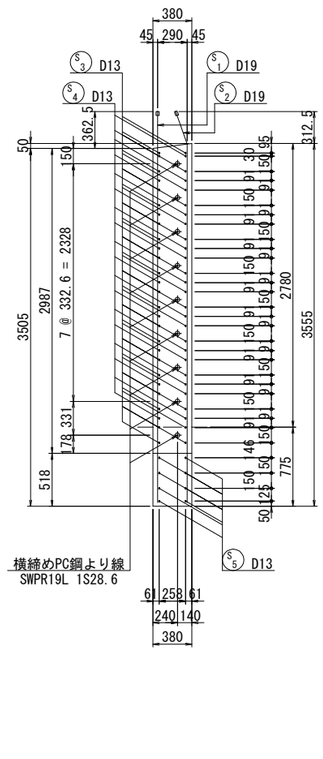
4-4



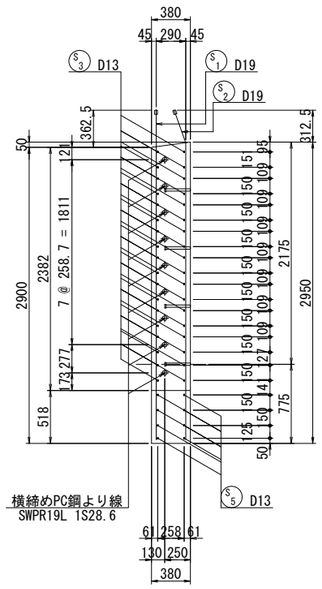
5-5



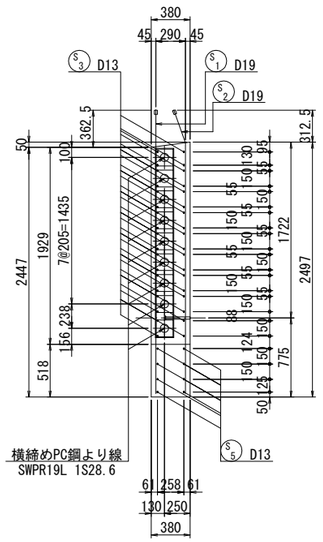
6-6



7-7



8-8



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

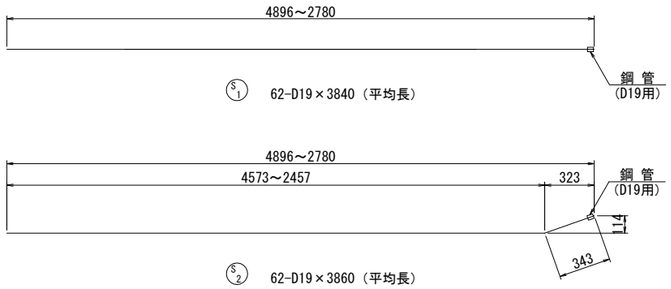
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その１）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	130 / 212

P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その２） S=1:30

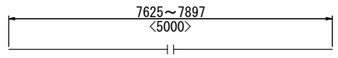
P5部

鉄 筋 加 工 図 S=1:20



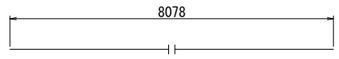
(S1) 62-D19×3840（平均長）

(S2) 62-D19×3860（平均長）

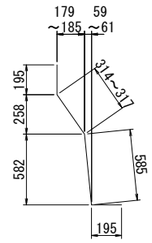


(S3) 36-D13×7760（平均長）

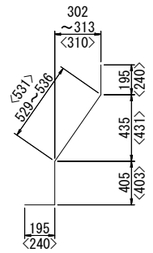
< (S4) 18-D13×5000 >



(S5) 8-D13×8080

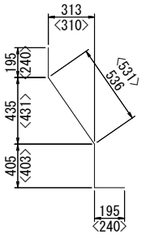


(WL9) 26-D13×1290（平均長）



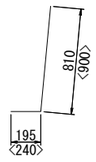
(WR15) 11-D13×1330（平均長）

< (WR13) 9-D16×1410 >



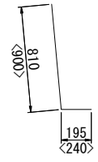
(WL11) 2-D13×1330

< (WL13) 9-D16×1410 >



(WR10) 11-D13×1010

< (WR14) 9-D16×1140 >

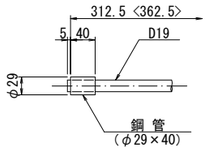


(WL10) 26-D13×1010

(WL12) 2-D13×1010

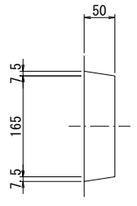
< (WL14) 9-D16×1140 >

鋼管部詳細図 S=1:5



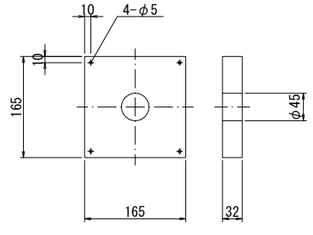
注）< >内は上段側を示す。

横締め定着部切欠き詳細図 S=1:5



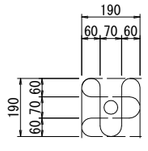
アンカープレート S=1:5

(1S28.6，プレグラウト用)



グリッド筋 S=1:10

(1S28.6用)



2-φ9×877(1組当り)

鉄 筋 表

(P5部当り)

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg／m)	1本当り質量 (kg／本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D19	3840	62	2.25	8.64	536	(平均長) 鋼管
2	〃	3860	62	〃	8.69	539	(平均長) 鋼管
3	D13	7760	36	0.995	7.72	278	(平均長)
4	〃	5000	18	〃	4.98	90	
5	〃	8080	8	〃	8.04	64	
WL 9	D13	1290	26	0.995	1.28	33	＼ (平均長)
10	〃	1010	26	〃	1.00	26	└
11	〃	1330	2	〃	1.32	3	＼
12	〃	1010	2	〃	1.00	2	└
13	D16	1410	9	1.56	2.20	20	＼
14	〃	1140	9	〃	1.78	16	└
WR 15	D13	1330	11	0.995	1.32	15	／ (平均長)
10	〃	1010	11	〃	1.00	11	┘
13	D16	1410	9	1.56	2.20	20	／
14	〃	1140	9	〃	1.78	16	┘

SD345	D19	1075	kg
〃	D16	72	kg
〃	D13	522	kg
〃	合計	1669	kg
鋼管（φ29×40）		124	個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

実 施

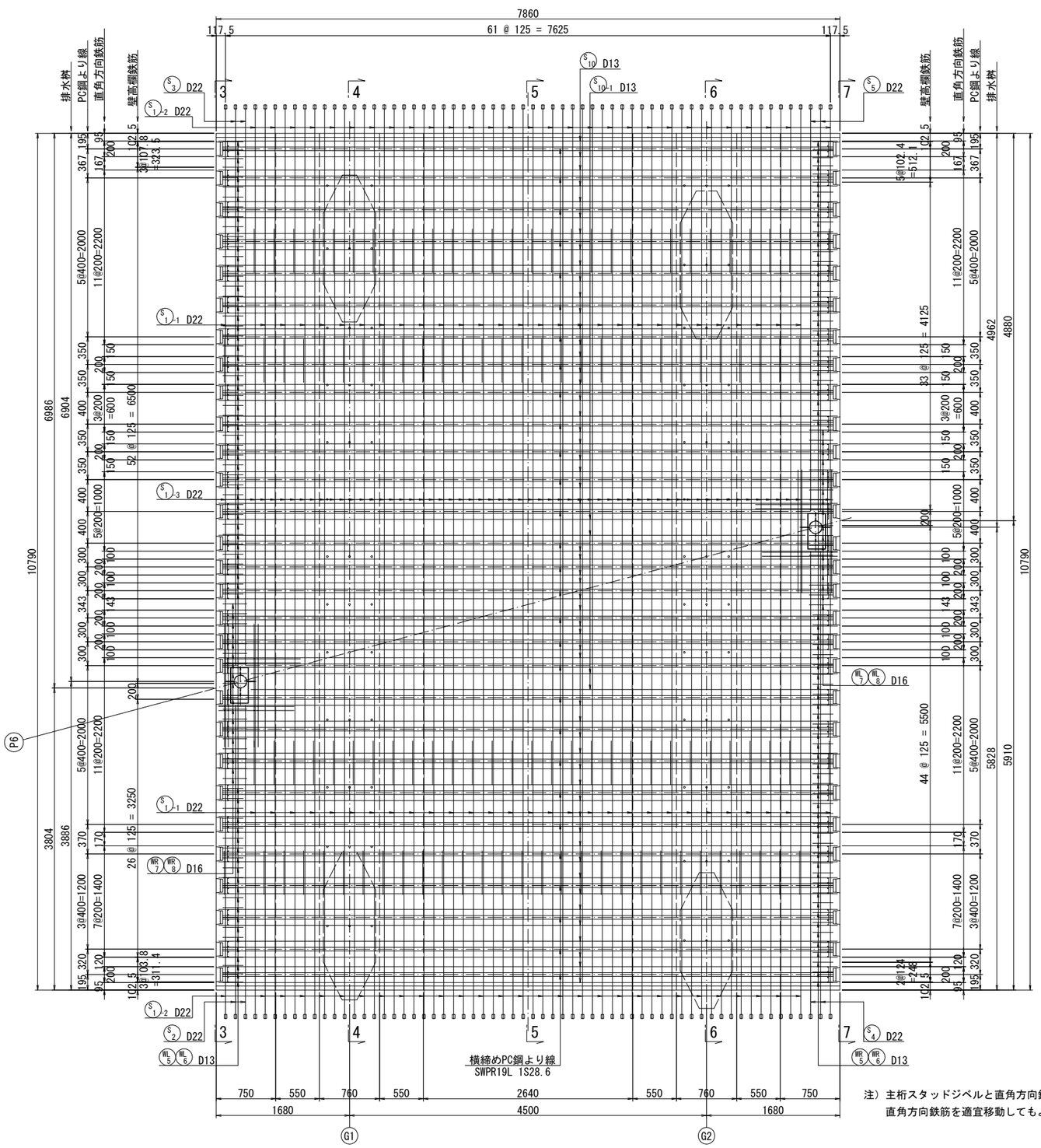
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その２）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	131 / 212

P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その３） S=1:30

P6部

平　面　図

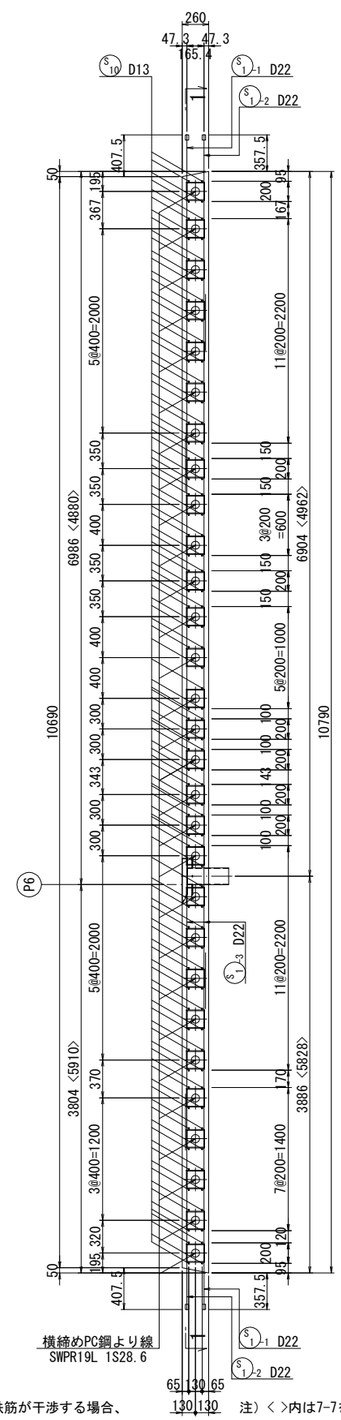
1-1



注）主桁スタッドジベルと直角方向鉄筋が干渉する場合、
直角方向鉄筋を適宜移動してもよい。

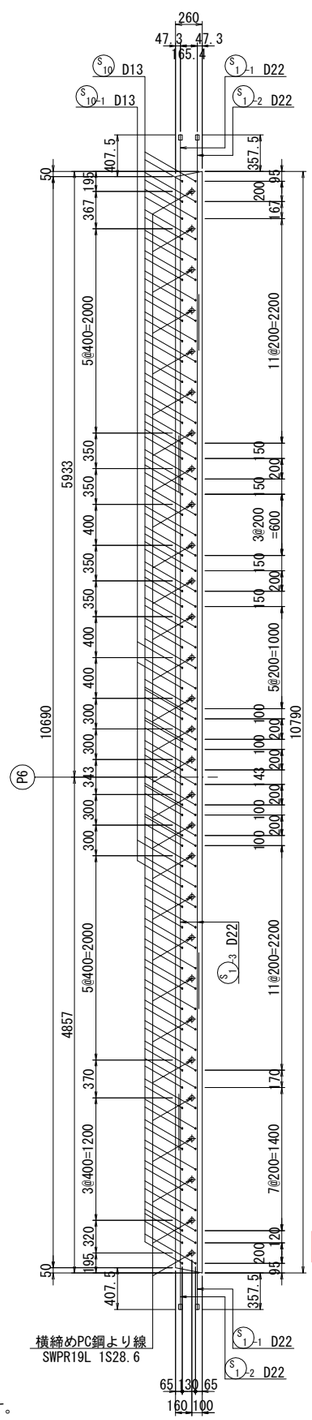
側　面　図

3-3, 7-7



注）〈 〉内は7-7を示す。

5-5



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

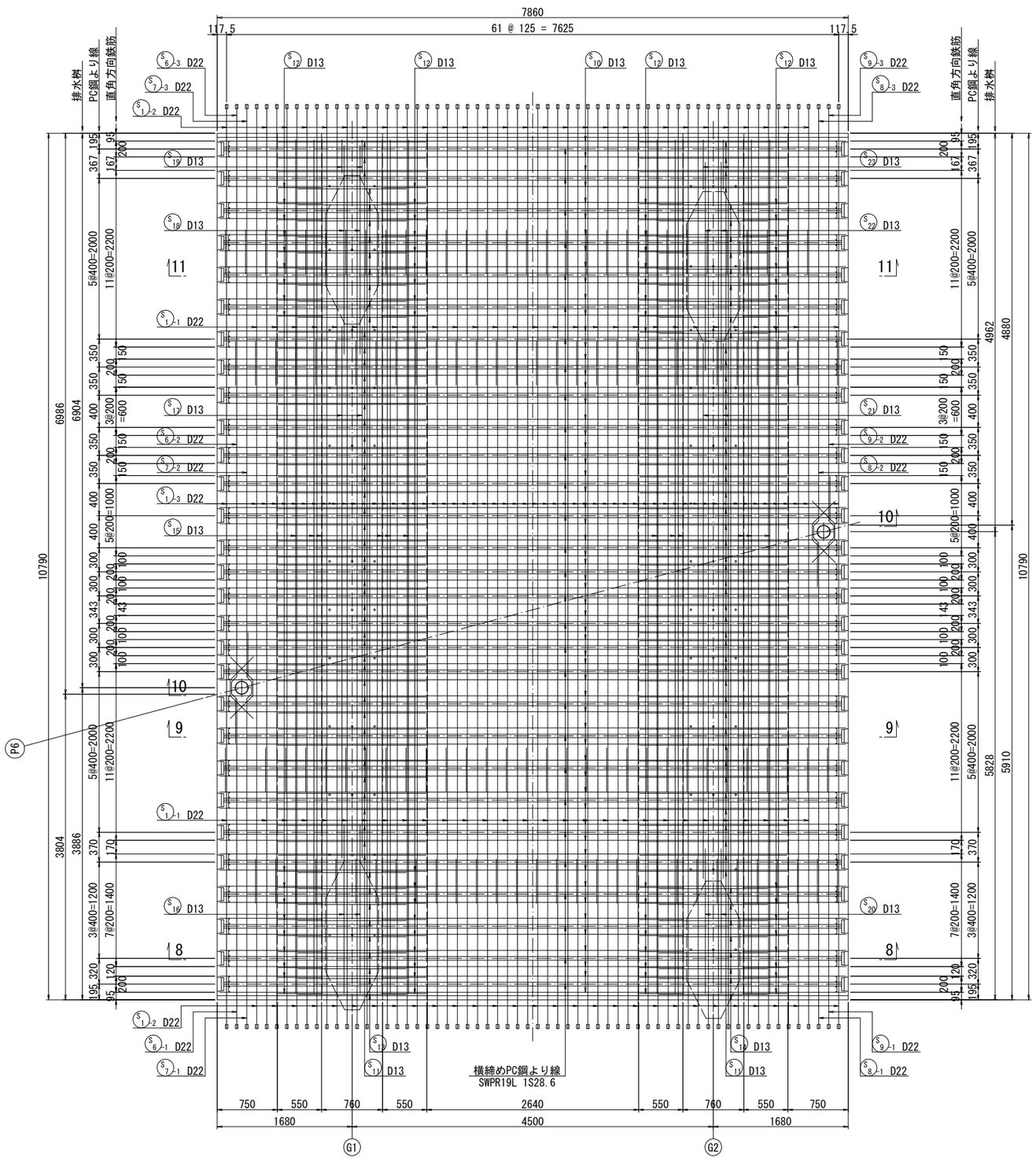
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その３）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	132 / 212

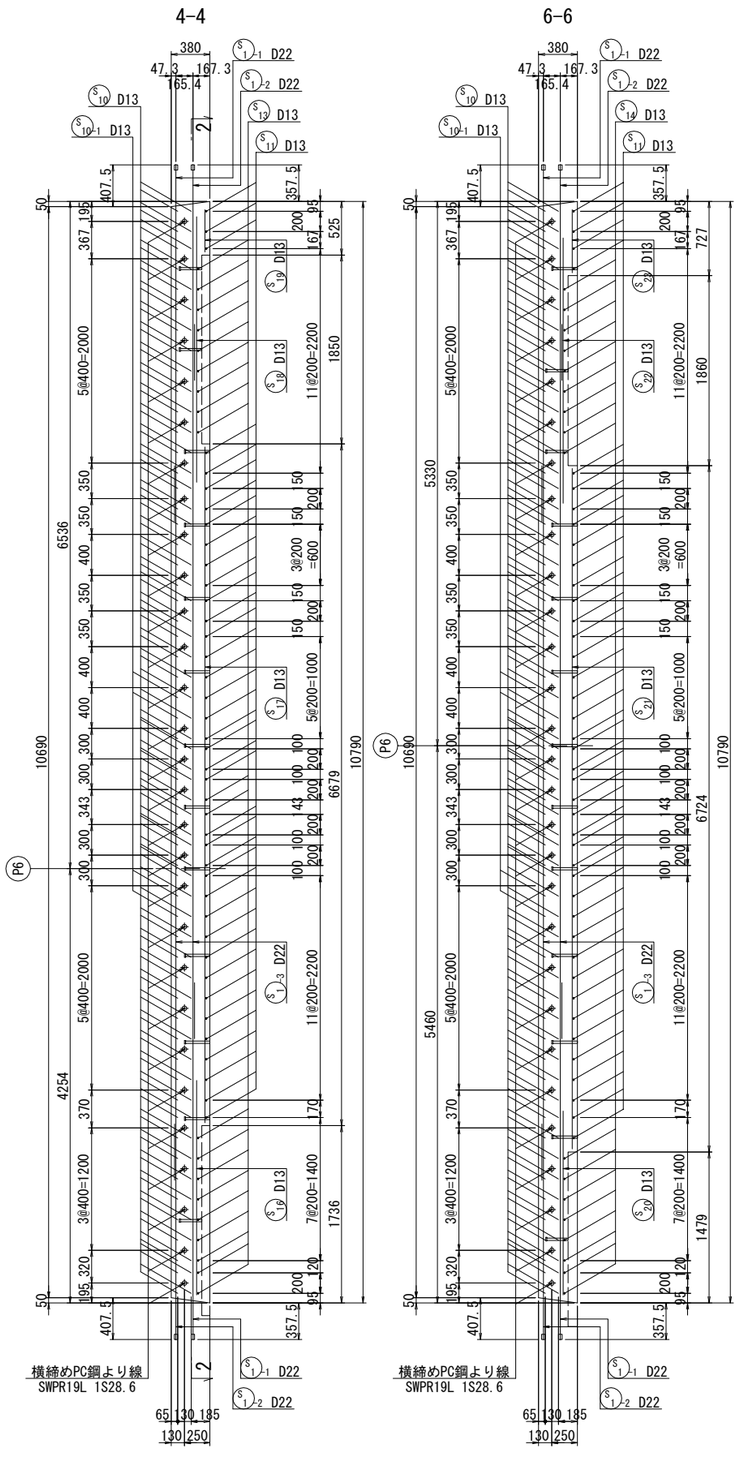
P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その４） S=1:30

P6部

平　面　図



側　面　図



実　施

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

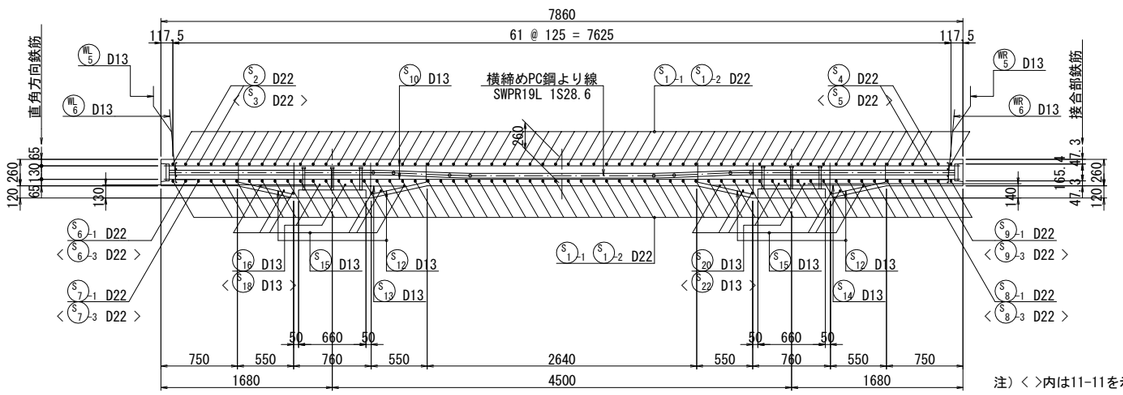
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その４）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	133 / 212

P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その５） S=1:30

P6部

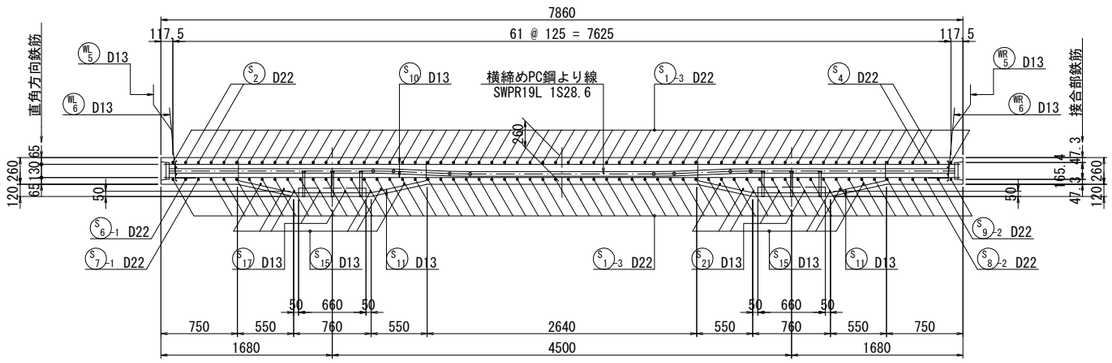
断 面 図

8-8,11-11

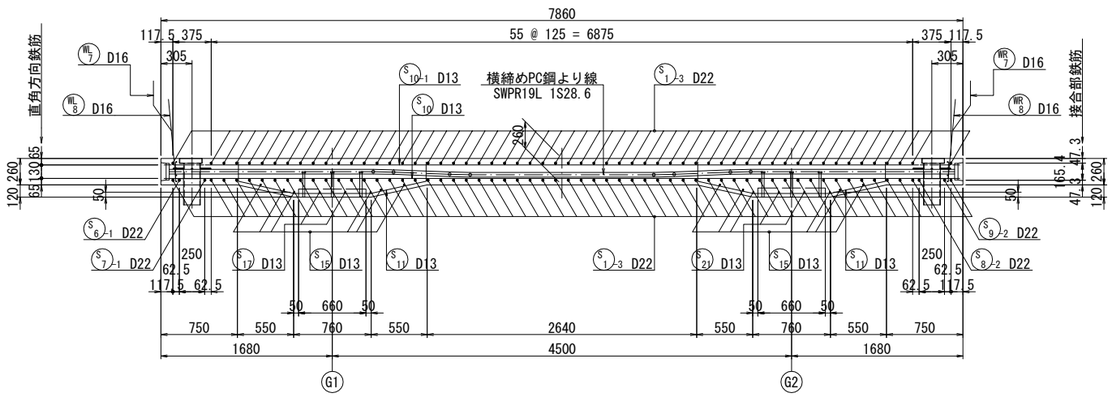


注）＜ ＞内は11-11を示す。

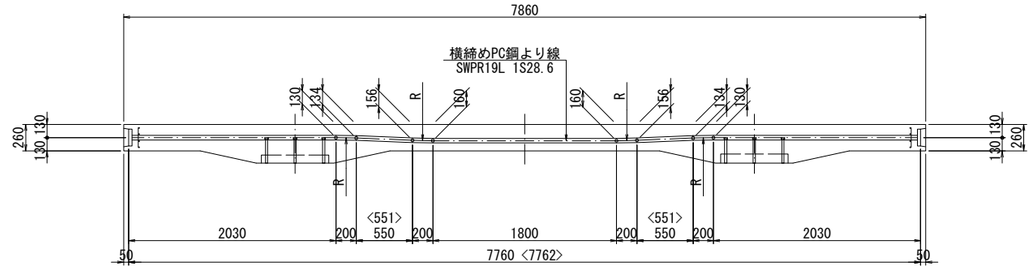
9-9



10-10



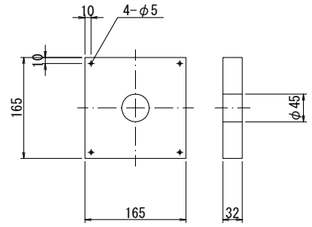
P C 鋼 材 形 状 図



注）鋼材の曲げ半径はR=5000とする。
＜ ＞内は鋼材の実長寸法を示す。

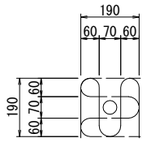
アンカープレート S=1:5

（1S28.6,プレグラウト用）



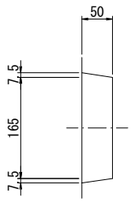
グリッド筋 S=1:10

（1S28.6用）



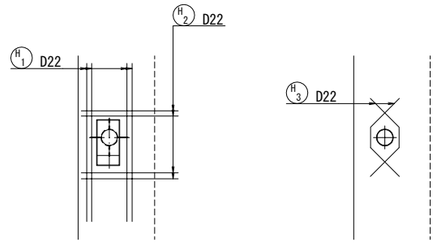
2-φ9×877(1組当り)

横締め定着部切欠き詳細図 S=1:5



排水桝補強筋 S=1:30

上 面　　下 面



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

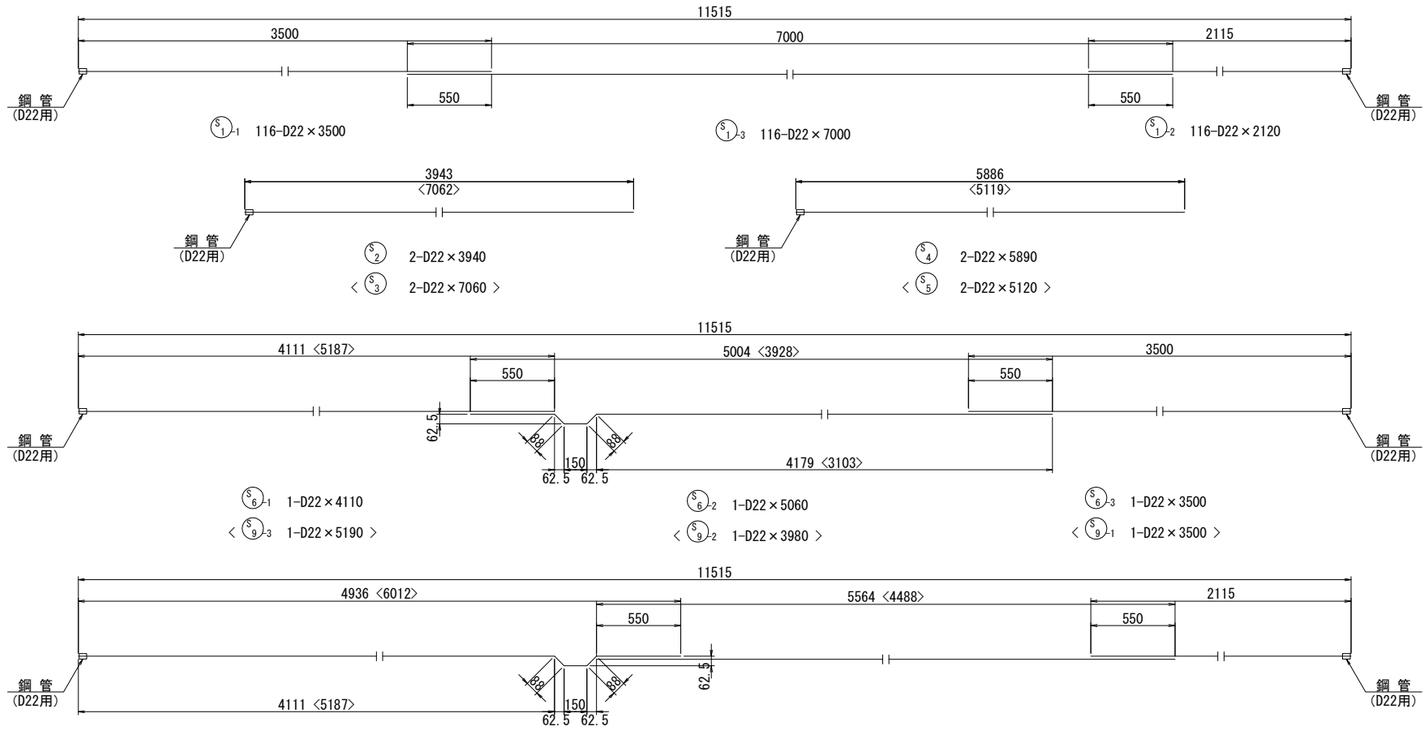
実 施

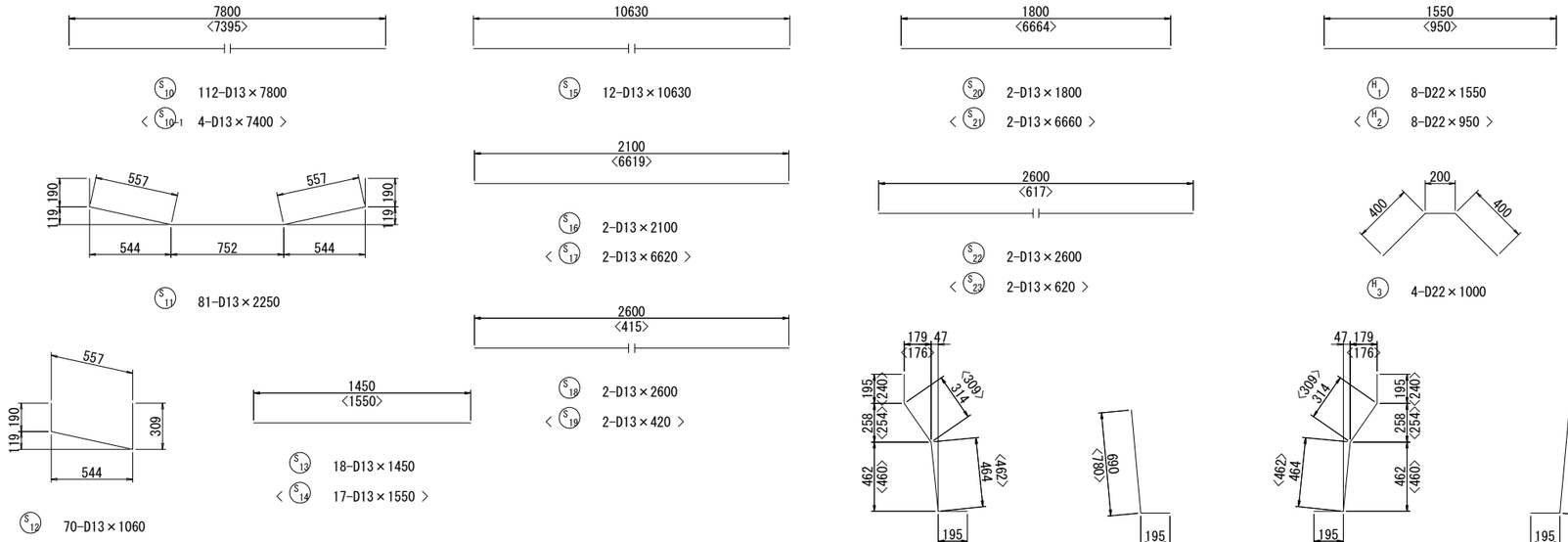
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その５）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	134 / 212

P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その６）

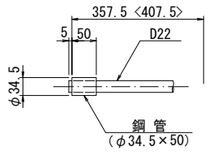
P6部

鉄 筋 加 工 図 S=1:20





鋼管部詳細図 S=1:5



注）〈 〉内は上段側を示す。

鉄 筋 表

(P6部当り)

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1-1	D22	3500	116	3.04	10.64	1234	鋼管
1-2	〃	2120	116	〃	6.44	747	鋼管
1-3	〃	7000	116	〃	21.28	2468	
2	〃	3940	2	〃	11.98	24	鋼管
3	〃	7060	2	〃	21.46	43	鋼管
4	〃	5890	2	〃	17.91	36	鋼管
5	〃	5120	2	〃	15.56	31	鋼管
6-1	〃	4110	1	〃	12.49	12	鋼管
6-2	〃	5060	1	〃	15.38	15	
6-3	〃	3500	1	〃	10.64	11	鋼管
7-1	〃	4990	1	〃	15.17	15	鋼管
7-2	〃	5560	1	〃	16.90	17	
7-3	〃	2120	1	〃	6.44	6	鋼管
8-1	〃	2120	1	〃	6.44	6	鋼管
8-2	〃	4490	1	〃	13.65	14	
8-3	〃	6060	1	〃	18.42	18	鋼管
9-1	〃	3500	1	〃	10.64	11	鋼管
9-2	〃	3980	1	〃	12.10	12	
9-3	〃	5190	1	〃	15.78	16	鋼管
10	D13	7800	112	0.995	7.76	869	
10-1	〃	7400	4	〃	7.36	29	
11	〃	2250	81	〃	2.24	181	
12	〃	1060	70	〃	1.05	74	
13	〃	1450	18	〃	1.44	26	
14	〃	1550	17	〃	1.54	26	
15	〃	10630	12	〃	10.58	127	
16	〃	2100	2	〃	2.09	4	
17	〃	6620	2	〃	6.59	13	
18	〃	2600	2	〃	2.59	5	
19	〃	420	2	〃	0.42	1	
20	〃	1800	2	〃	1.79	4	
21	〃	6660	2	〃	6.63	13	
22	〃	2600	2	〃	2.59	5	
23	〃	620	2	〃	0.62	1	
H 1	D22	1550	8	3.04	4.71	38	
2	〃	950	8	〃	2.89	23	
3	〃	1000	4	〃	3.04	12	
WL 5	D13	1170	68	0.995	1.16	79	
6	〃	890	68	〃	0.89	61	
7	D16	1250	18	1.56	1.95	35	
8	〃	1020	18	〃	1.59	29	
WR 5	D13	1170	68	0.995	1.16	79	
6	〃	890	68	〃	0.89	61	
7	D16	1250	18	1.56	1.95	35	
8	〃	1020	18	〃	1.59	29	
			SD345	D22	4809	kg	
			〃	D16	128	kg	
			〃	D13	1658	kg	
			〃	合計	6595	kg	
			鋼管（φ34.5×50）		248	個	

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

実 施

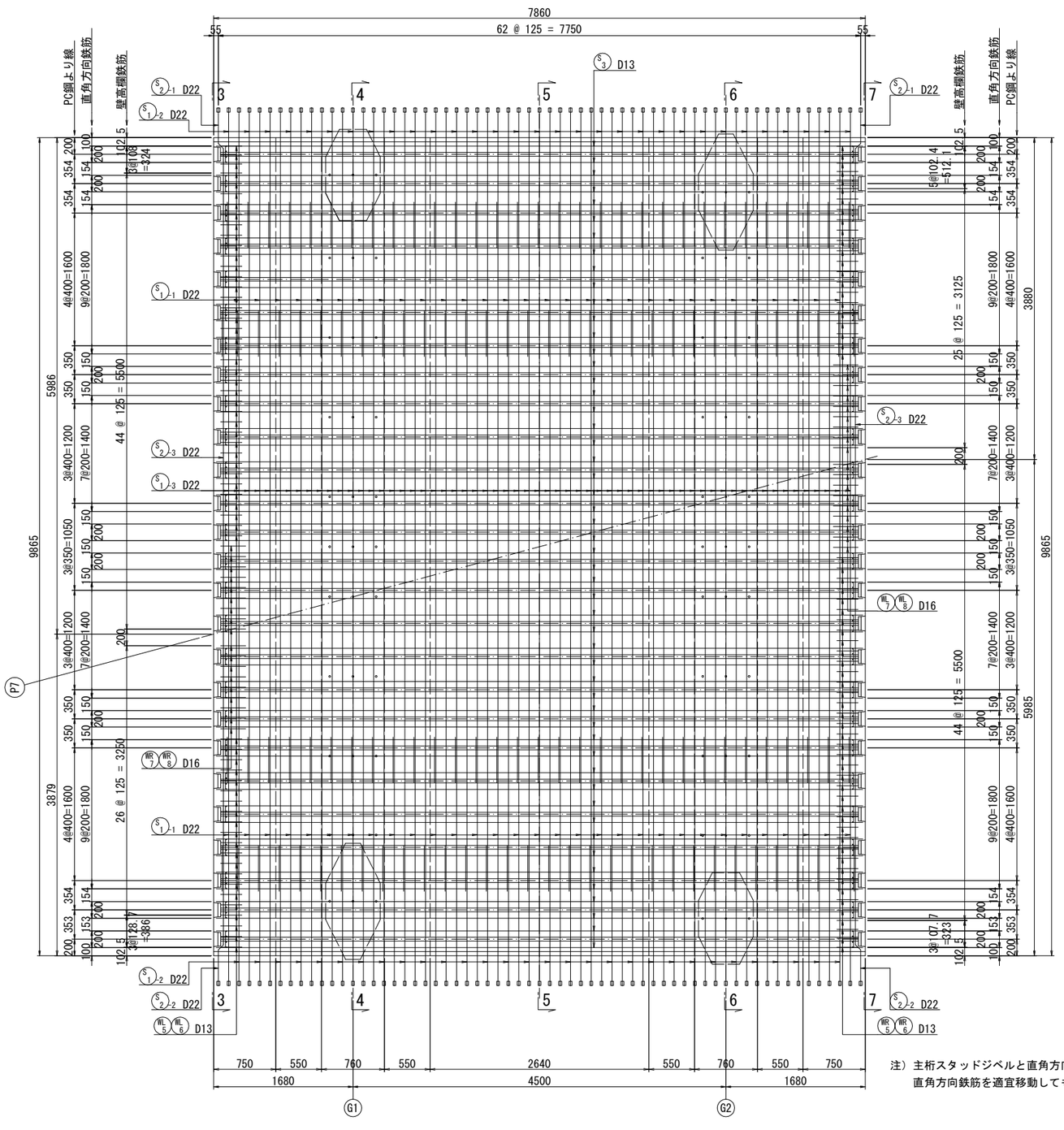
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その６）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	135 / 212

P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その７） S=1:30

P7部

平　面　図

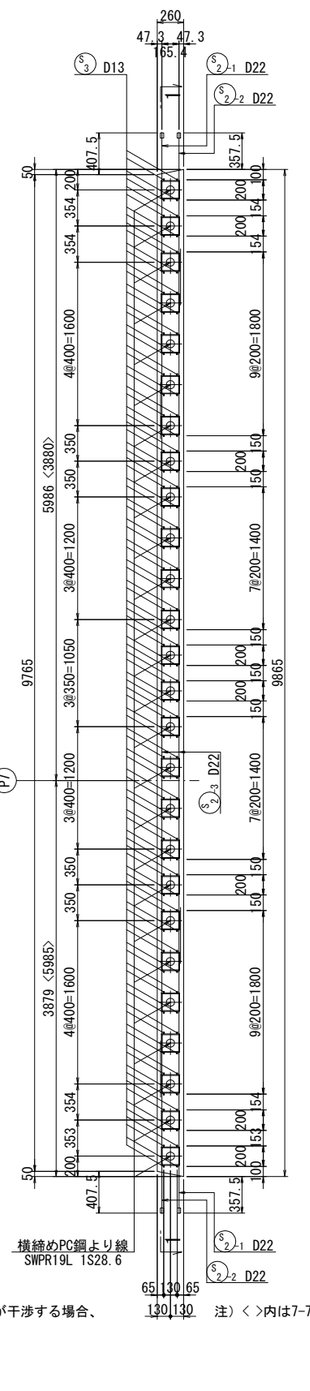
1-1



注）主桁スタッドジベルと直角方向鉄筋が干渉する場合、
直角方向鉄筋を適宜移動してもよい。

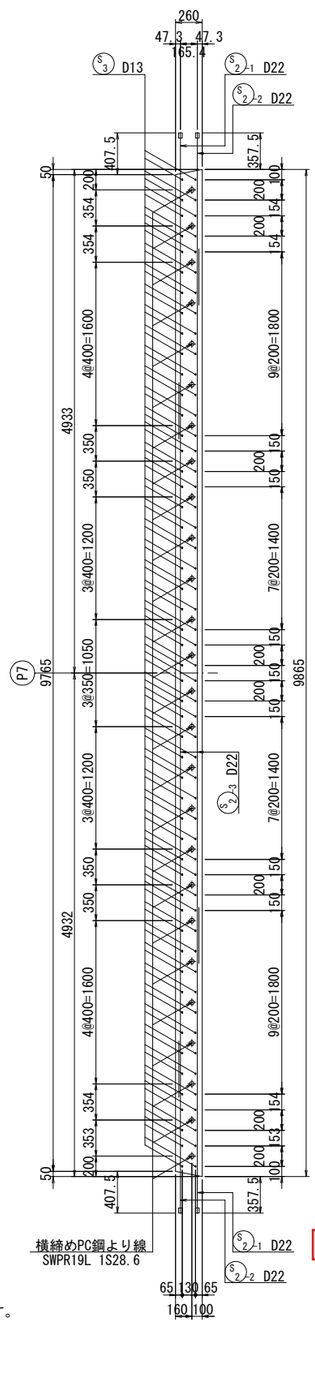
側　面　図

3-3, 7-7



注）＜＞内は7-7を示す。

5-5



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

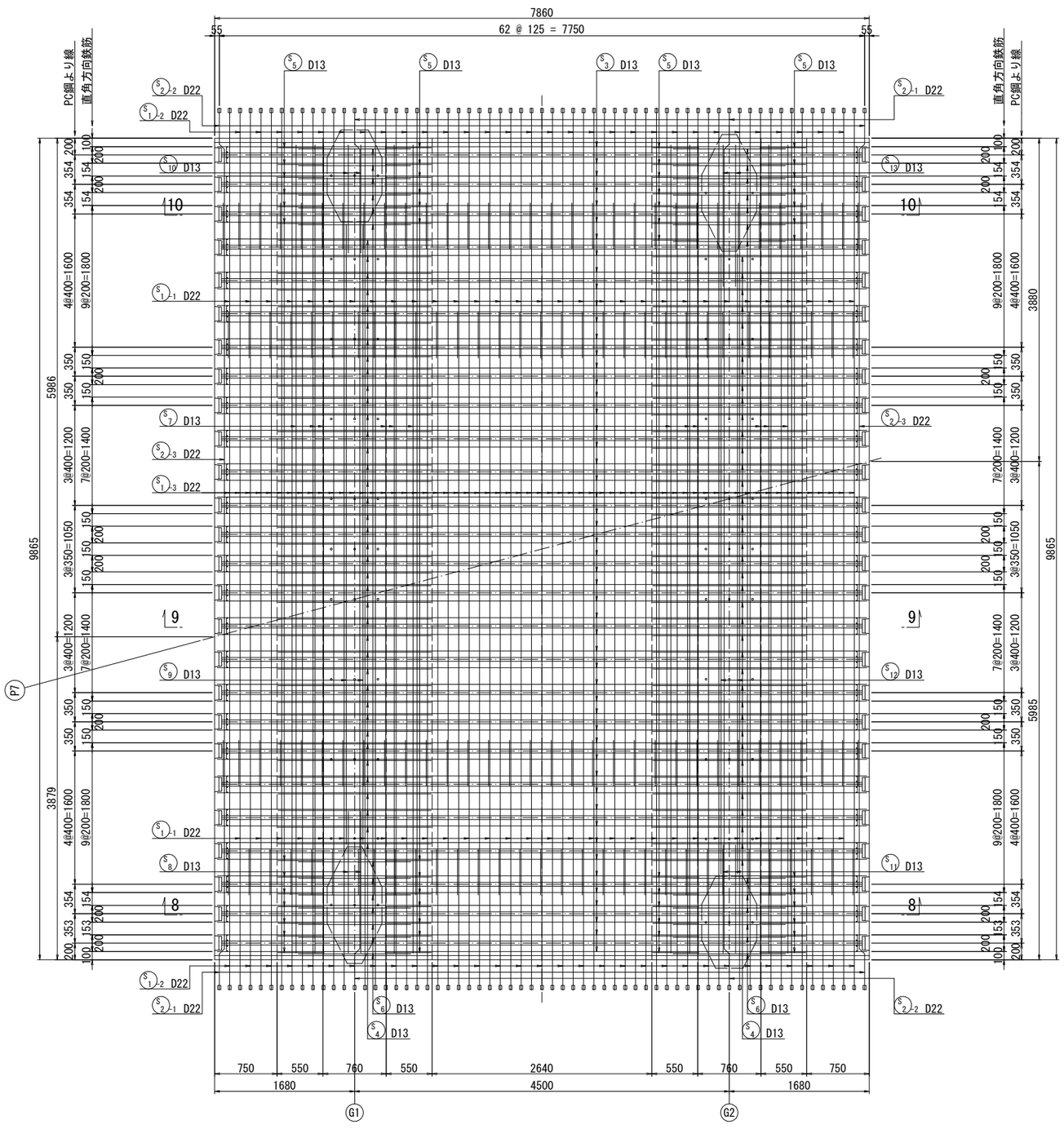
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その７）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	136 / 212

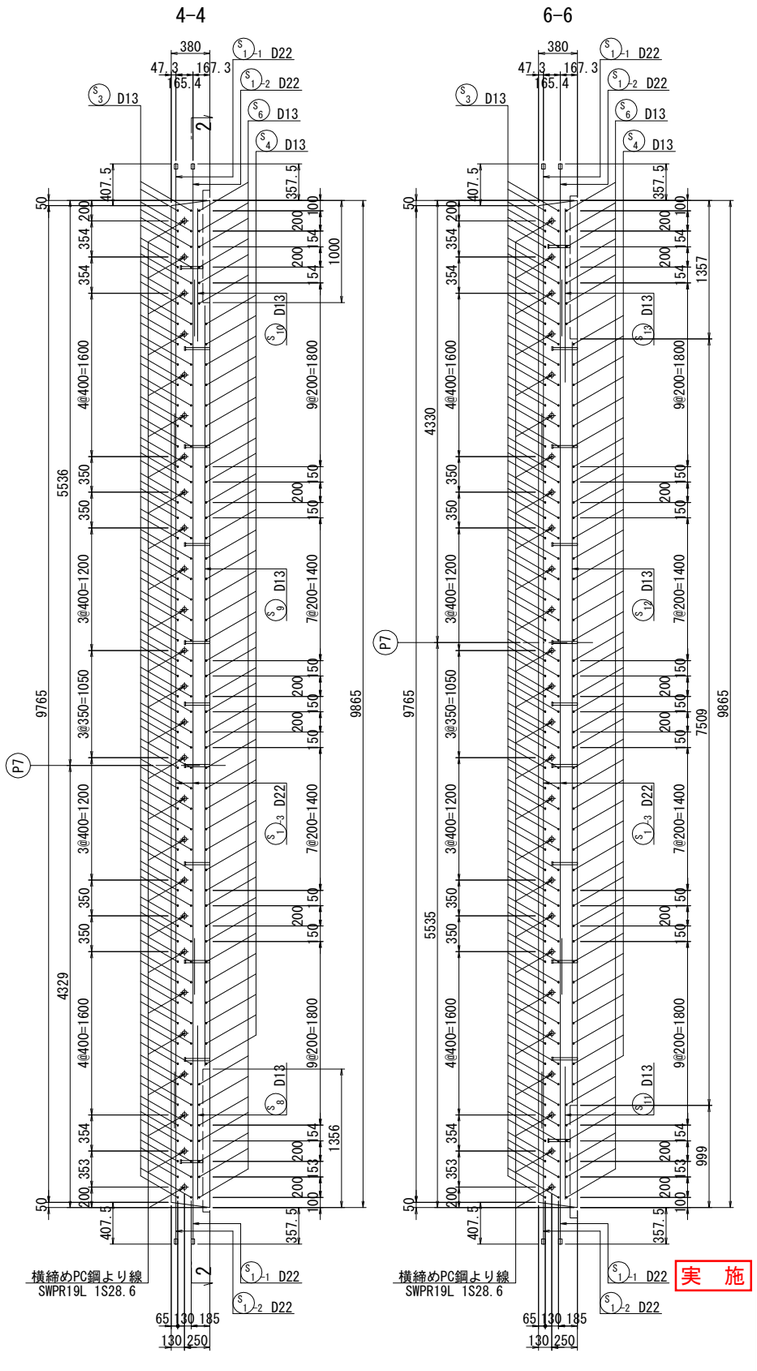
P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その８） S=1:30

P7部

平 面 図



側 面 図



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

実 施

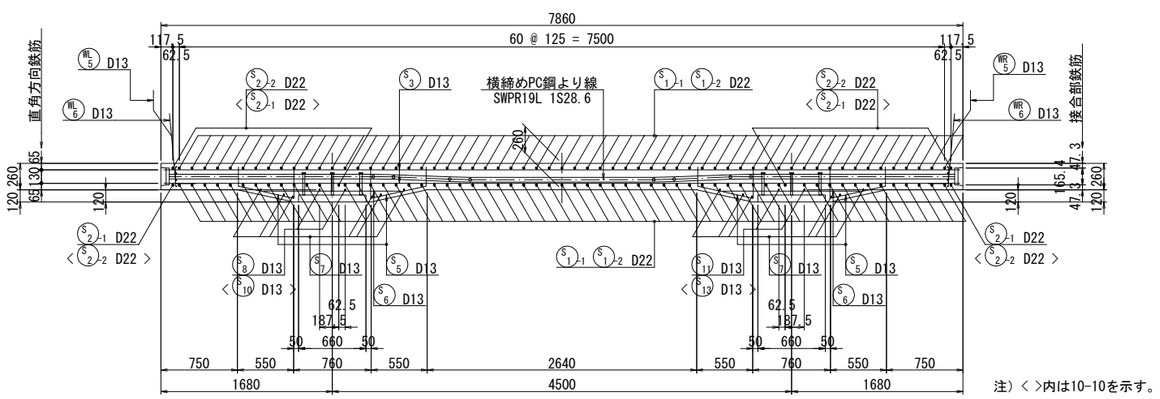
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その８）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	137 / 212

P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その９） S=1:30

P7部

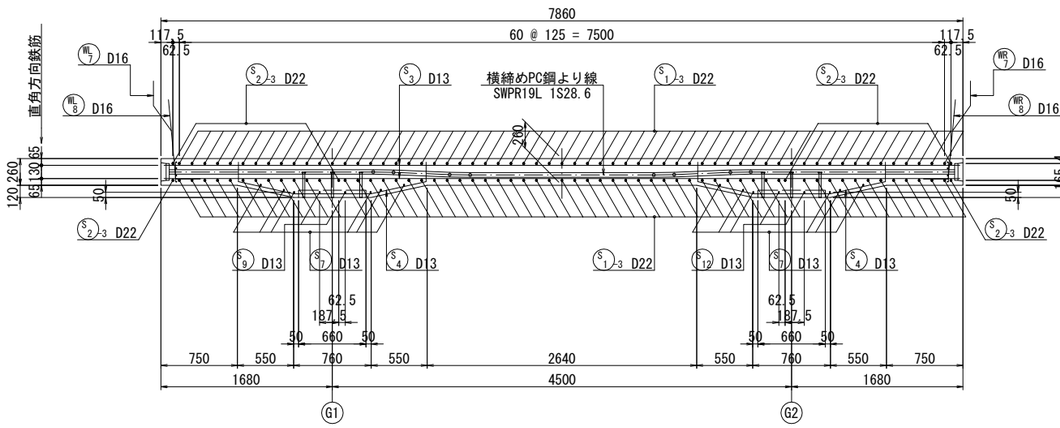
断 面 図

8-8,10-10

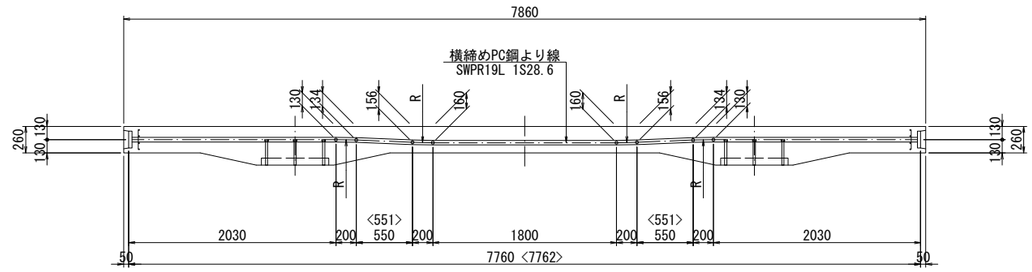


注）＜ ＞内は10-10を示す。

9-9



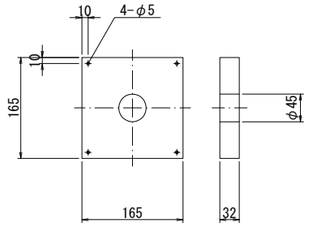
P C 鋼 材 形 状 図



注）鋼材の曲げ半径はR=5000とする。
＜ ＞内は鋼材の実長寸法を示す。

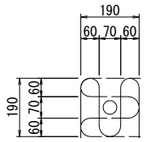
アンカープレート S=1:5

（1S28.6,プレグラウト用）



グリッド筋 S=1:10

（1S28.6用）



2-φ9×877(1組当り)

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

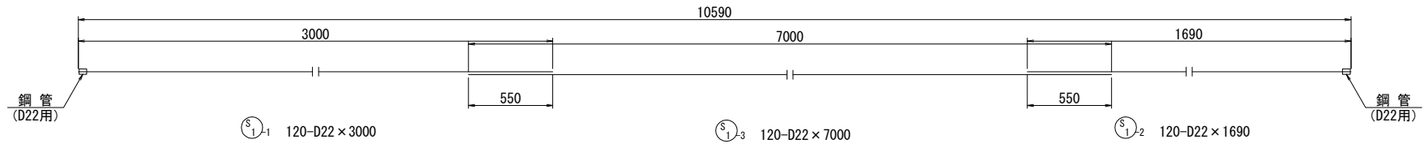
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その９）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	138 / 212

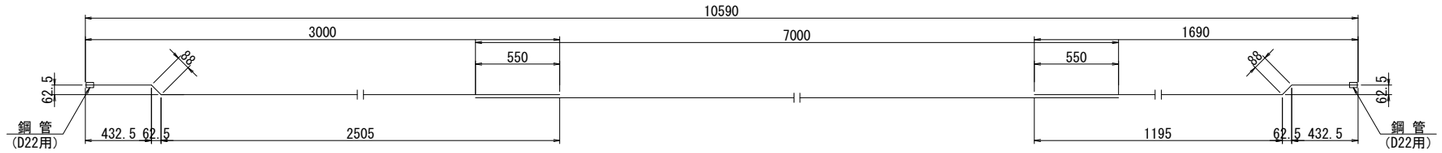
P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その１０）

P7部

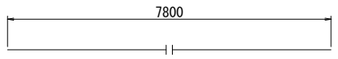
鉄 筋 加 工 図 S=1:20



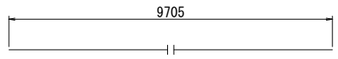
S1-1 120-D22×3000　S1-3 120-D22×7000　S1-2 120-D22×1690



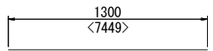
S2-1 6-D22×3030　S2-3 6-D22×7000　S2-2 6-D22×1720



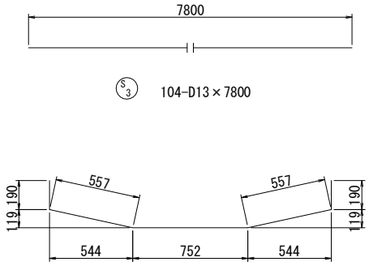
S3 104-D13×7800



S7 12-D13×9710

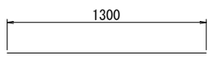


S11 2-D13×1300
〈 S12 2-D13×7450 〉

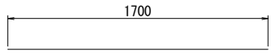


S4 78-D13×2250

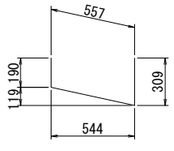
S8 2-D13×1700
〈 S9 2-D13×7450 〉



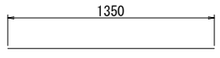
S10 2-D13×1300



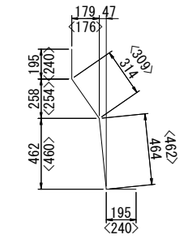
S13 2-D13×1700



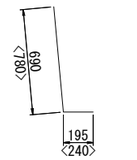
S5 52-D13×1060



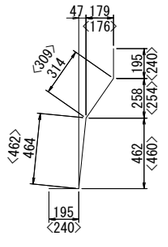
S6 26-D13×1350



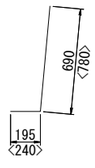
WL5 60-D13×1170
〈 WL7 18-D16×1250 〉



WL6 60-D13×890
〈 WL8 18-D16×1020 〉

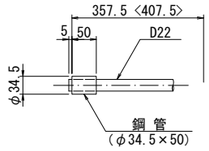


WR5 61-D13×1170
〈 WR7 18-D16×1250 〉



WR6 61-D13×890
〈 WR8 18-D16×1020 〉

鋼管部詳細図 S=1:5



注）〈 〉内は上段側を示す。

鉄 筋 表

(P7部当り)

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1-1	D22	3000	120	3.04	9.12	1094	鋼管
1-2	〃	1690	120	〃	5.14	617	鋼管
1-3	〃	7000	120	〃	21.28	2554	
2-1	〃	3030	6	〃	9.21	55	鋼管
2-2	〃	1720	6	〃	5.23	31	鋼管
2-3	〃	7000	6	〃	21.28	128	
3	D13	7800	104	0.995	7.76	807	
4	〃	2250	78	〃	2.24	175	
5	〃	1060	52	〃	1.05	55	
6	〃	1350	26	〃	1.34	35	
7	〃	9710	12	〃	9.66	116	
8	〃	1700	2	〃	1.69	3	
9	〃	7450	2	〃	7.41	15	
10	〃	1300	2	〃	1.29	3	
11	〃	1300	2	〃	1.29	3	
12	〃	7450	2	〃	7.41	15	
13	〃	1700	2	〃	1.69	3	
WL 5	D13	1170	60	0.995	1.16	70	
6	〃	890	60	〃	0.89	53	
7	D16	1250	18	1.56	1.95	35	
8	〃	1020	18	〃	1.59	29	
WR 5	D13	1170	61	0.995	1.16	71	
6	〃	890	61	〃	0.89	54	
7	D16	1250	18	1.56	1.95	35	
8	〃	1020	18	〃	1.59	29	

SD345	D22	4479	kg
〃	D16	128	kg
〃	D13	1478	kg
〃	合計	6085	kg
鋼管（φ34.5×50）		252	個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

実 施

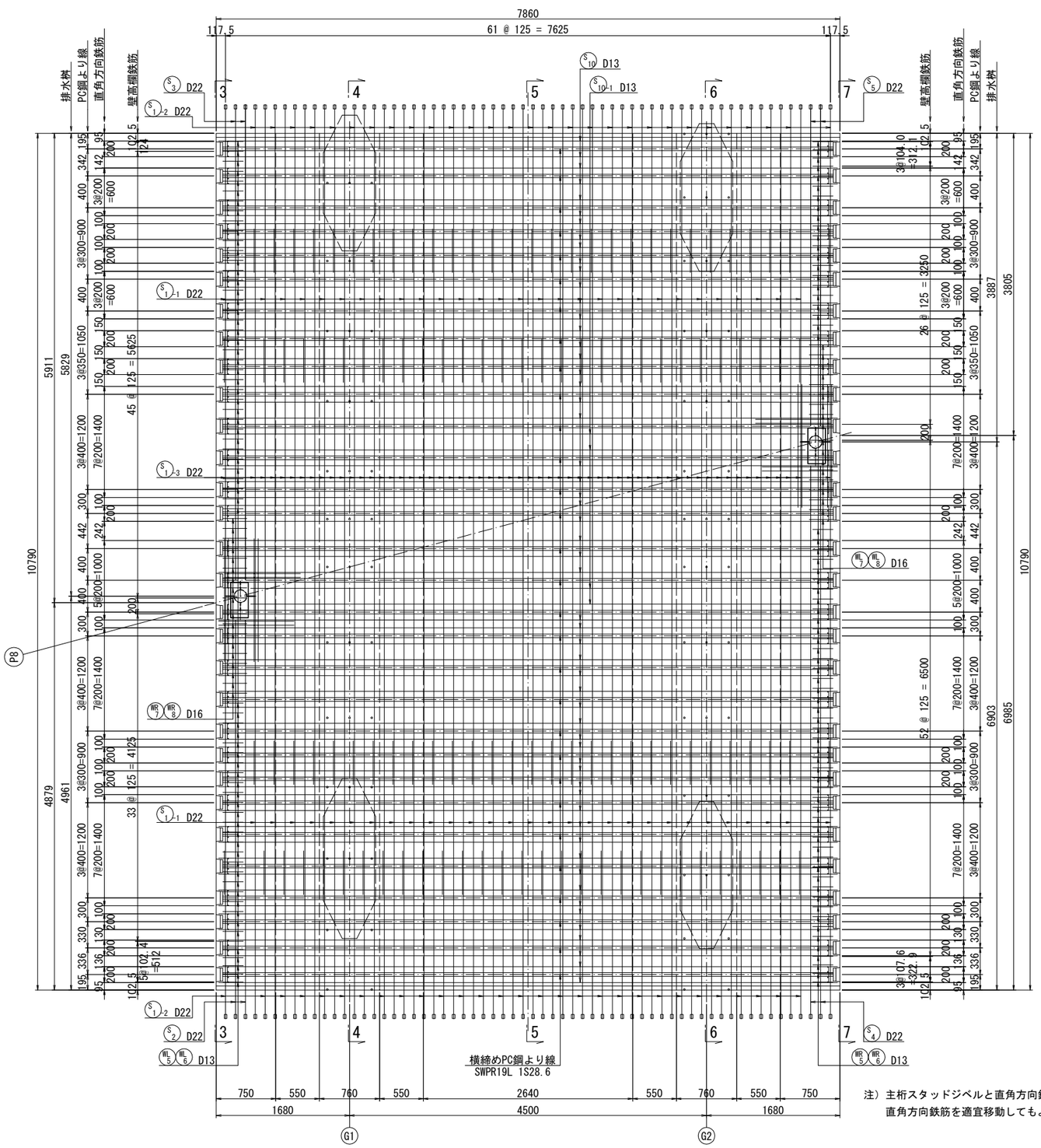
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その１０）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	139 / 212

P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その１１） S=1:30

P8部

平　面　図

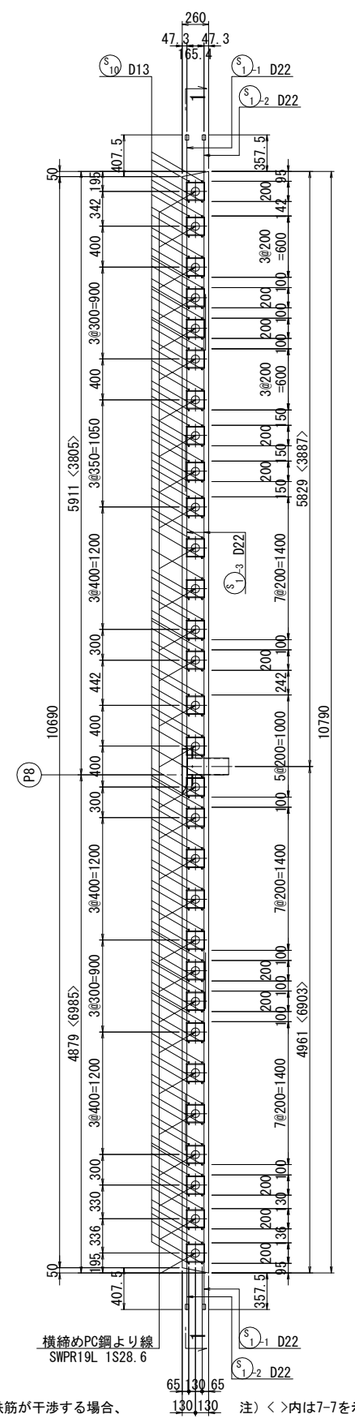
1-1



注）主桁スタッドジベルと直角方向鉄筋が干渉する場合、
直角方向鉄筋を適宜移動してもよい。

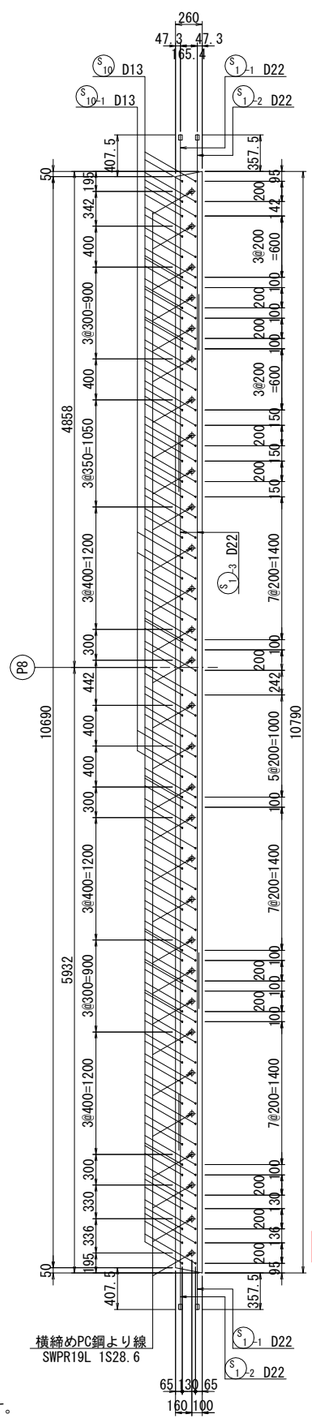
側　面　図

3-3, 7-7



注）〈 〉内は7-7を示す。

5-5



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

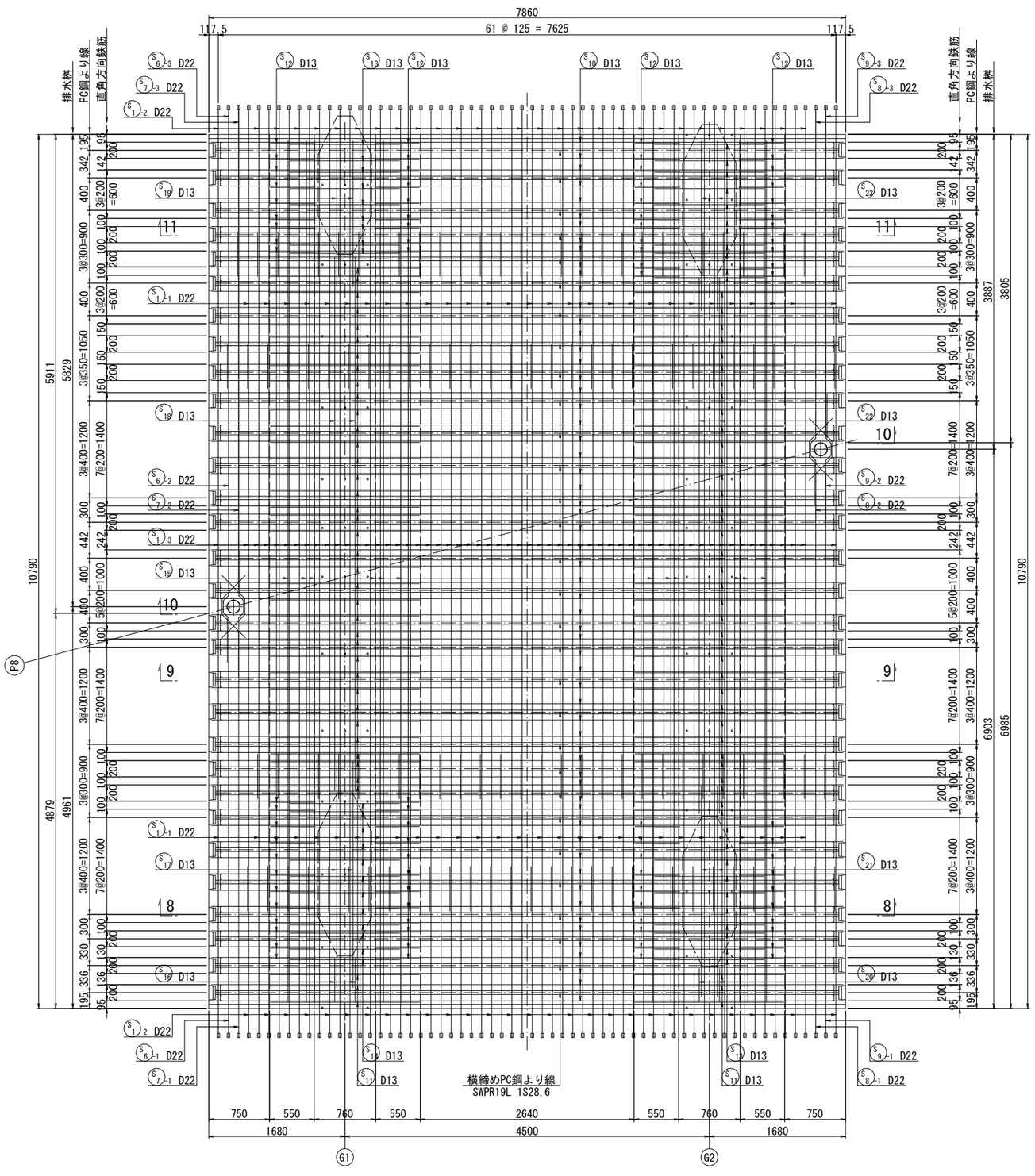
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その１１）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	140 / 212

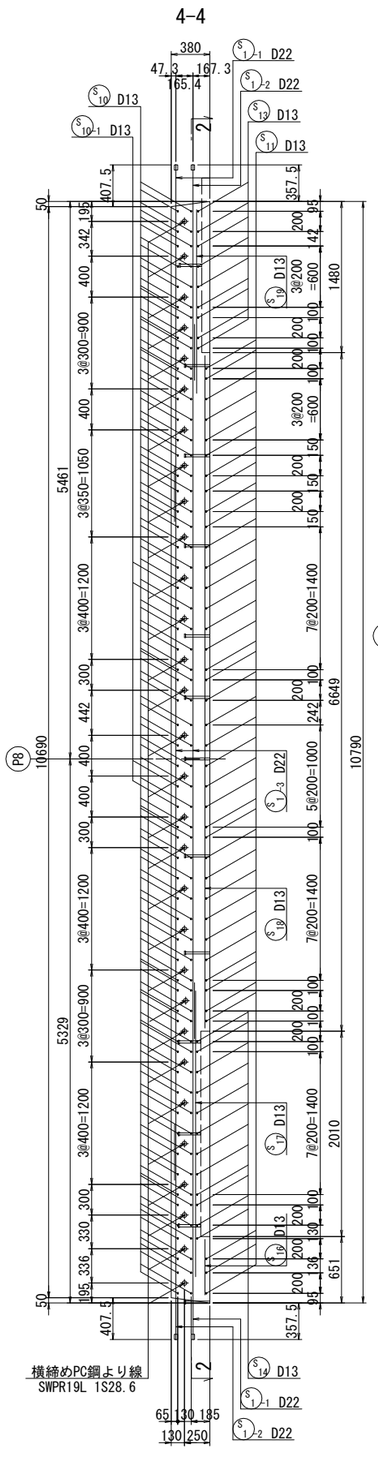
P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その１２）　S=1:30

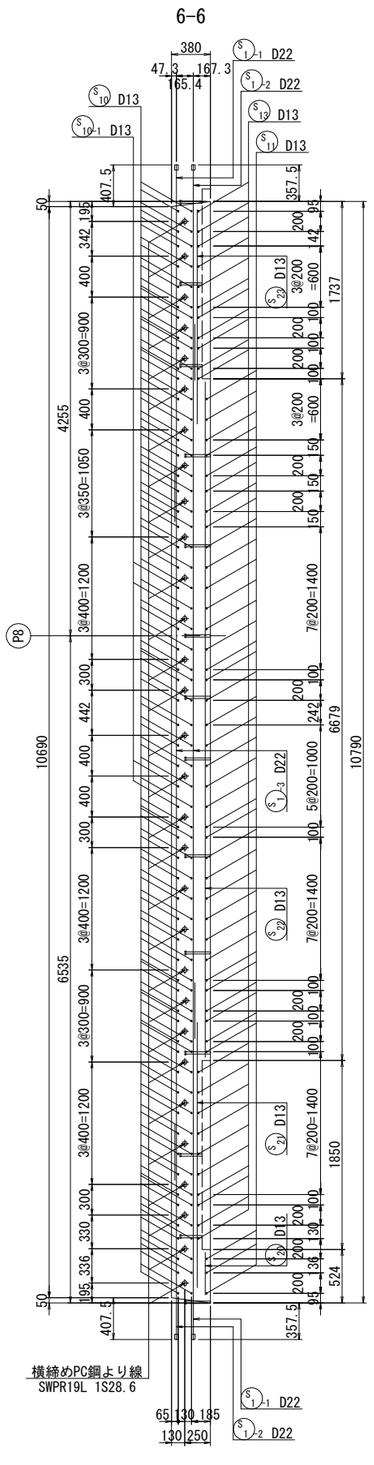
P8部

平　面　図



側　面　図





実　施

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

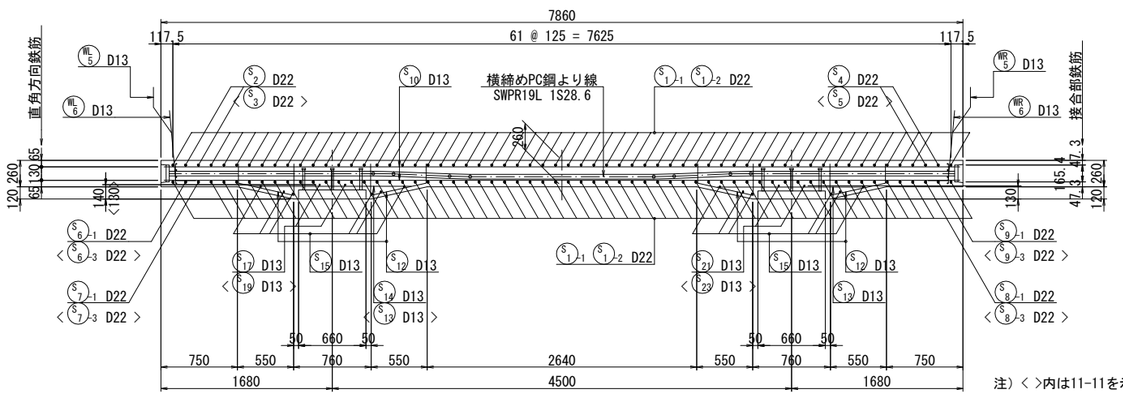
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その１２）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	141 / 212

P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その１３） S=1:30

P8部

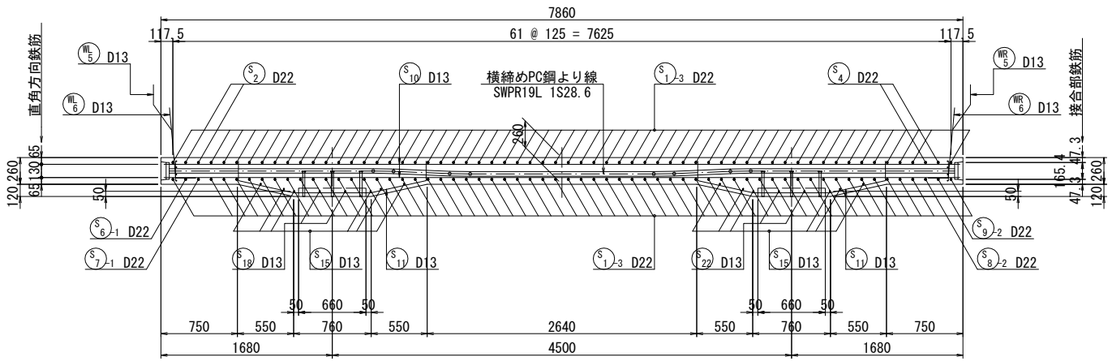
断 面 図

8-8,11-11

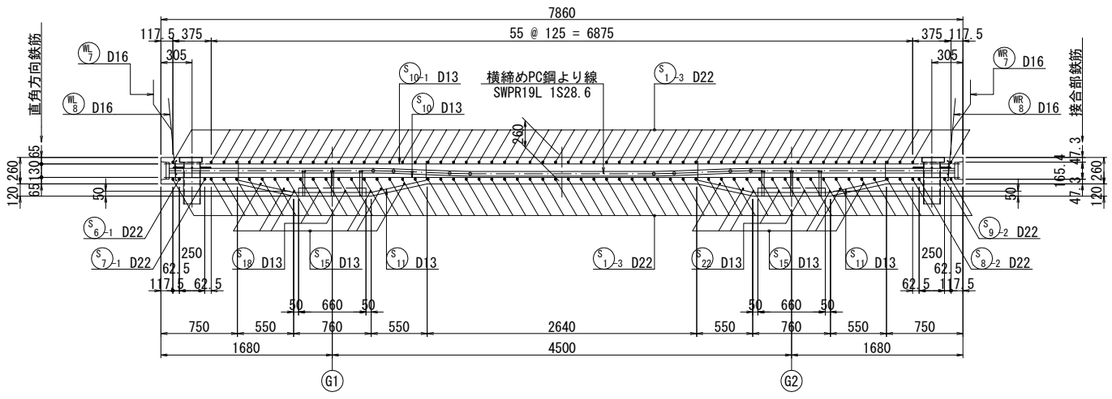


注）< >内は11-11を示す。

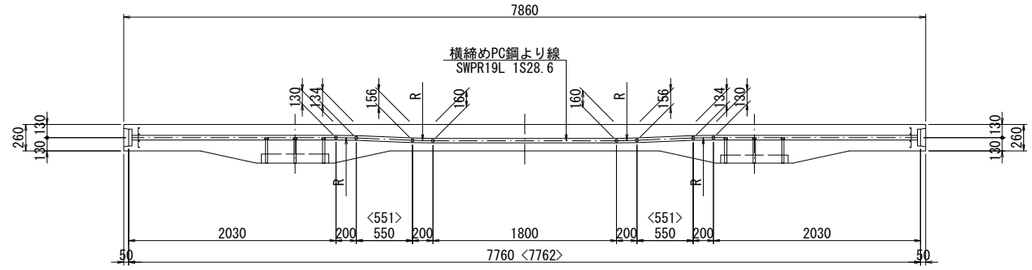
9-9



10-10



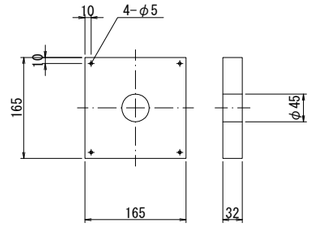
P C 鋼 材 形 状 図



注）鋼材の曲げ半径はR=5000とする。
< >内は鋼材の実長寸法を示す。

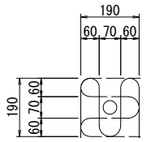
アンカープレート S=1:5

（1S28.6,プレグラウト用）



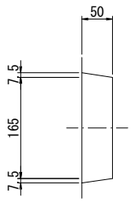
グリッド筋 S=1:10

（1S28.6用）



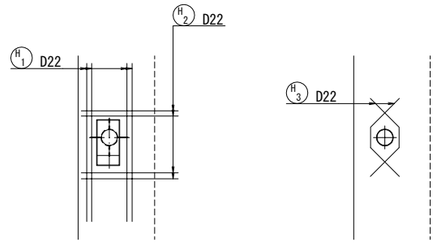
2-φ9×877(1組当り)

横締め定着部切欠き詳細図 S=1:5



排水桝補強筋 S=1:30

上 面　　下 面



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

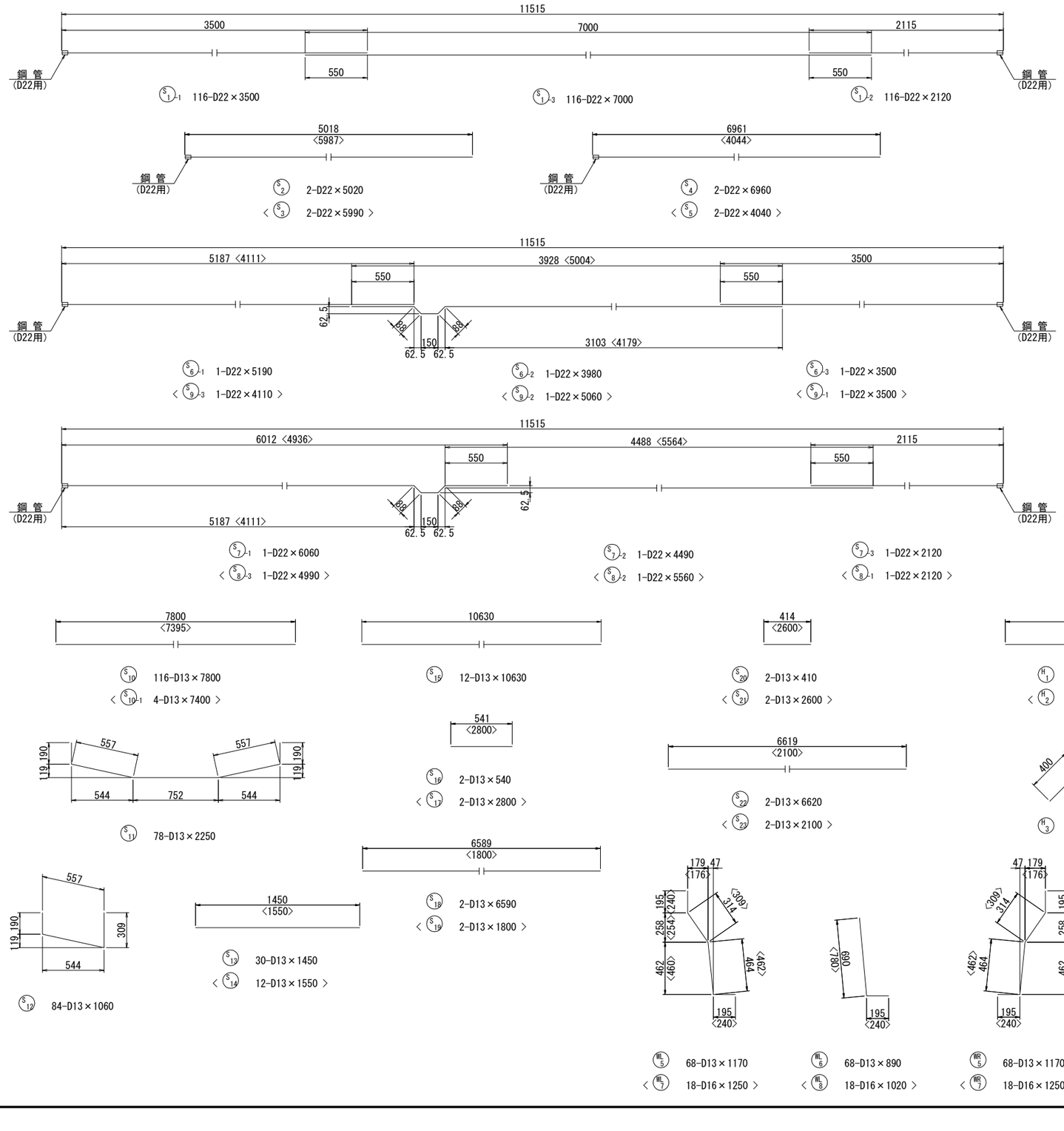
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その１３）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	142 / 212

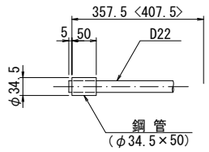
P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その１４）

P8部

鉄 筋 加 工 図 S=1:20



鋼管部詳細図 S=1:5



鉄 筋 表

(P8部当り)

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1-1	D22	3500	116	3.04	10.64	1234	鋼管
1-2	〃	2120	116	〃	6.44	747	鋼管
1-3	〃	7000	116	〃	21.28	2468	
2	〃	5020	2	〃	15.26	31	鋼管
3	〃	5990	2	〃	18.21	36	鋼管
4	〃	6960	2	〃	21.16	42	鋼管
5	〃	4040	2	〃	12.28	25	鋼管
6-1	〃	5190	1	〃	15.78	16	鋼管
6-2	〃	3980	1	〃	12.10	12	
6-3	〃	3500	1	〃	10.64	11	鋼管
7-1	〃	6060	1	〃	18.42	18	鋼管
7-2	〃	4490	1	〃	13.65	14	
7-3	〃	2120	1	〃	6.44	6	鋼管
8-1	〃	2120	1	〃	6.44	6	鋼管
8-2	〃	5560	1	〃	16.90	17	
8-3	〃	4990	1	〃	15.17	15	鋼管
9-1	〃	3500	1	〃	10.64	11	鋼管
9-2	〃	5060	1	〃	15.38	15	
9-3	〃	4110	1	〃	12.49	12	鋼管
10	D13	7800	116	0.995	7.76	900	
10-1	〃	7400	4	〃	7.36	29	
11	〃	2250	78	〃	2.24	175	
12	〃	1060	84	〃	1.05	88	
13	〃	1450	30	〃	1.44	43	
14	〃	1550	12	〃	1.54	18	
15	〃	10630	12	〃	10.58	127	
16	〃	540	2	〃	0.54	1	
17	〃	2800	2	〃	2.79	6	
18	〃	6590	2	〃	6.56	13	
19	〃	1800	2	〃	1.79	4	
20	〃	410	2	〃	0.41	1	
21	〃	2600	2	〃	2.59	5	
22	〃	6620	2	〃	6.59	13	
23	〃	2100	2	〃	2.09	4	
H 1	D22	1550	8	3.04	4.71	38	
2	〃	950	8	〃	2.89	23	
3	〃	1000	4	〃	3.04	12	
WL 5	D13	1170	68	0.995	1.16	79	
6	〃	890	68	〃	0.89	61	
7	D16	1250	18	1.56	1.95	35	
8	〃	1020	18	〃	1.59	29	
WR 5	D13	1170	68	0.995	1.16	79	
6	〃	890	68	〃	0.89	61	
7	D16	1250	18	1.56	1.95	35	
8	〃	1020	18	〃	1.59	29	

SD345	D22	4809 kg
〃	D16	128 kg
〃	D13	1707 kg
〃	合計	6644 kg
鋼管（φ34.5×50）		248 個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

実 施

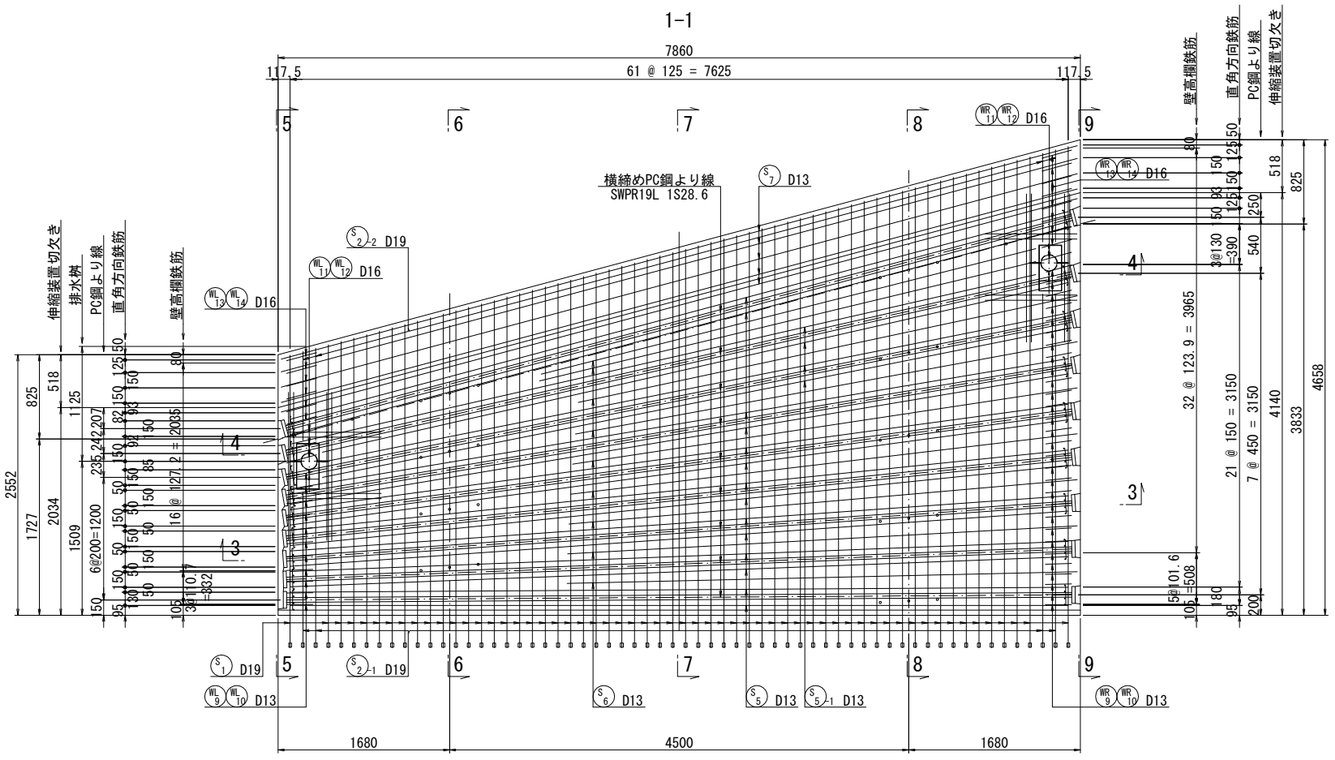
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その１４）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	143 / 212

P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その１５）　S=1:30

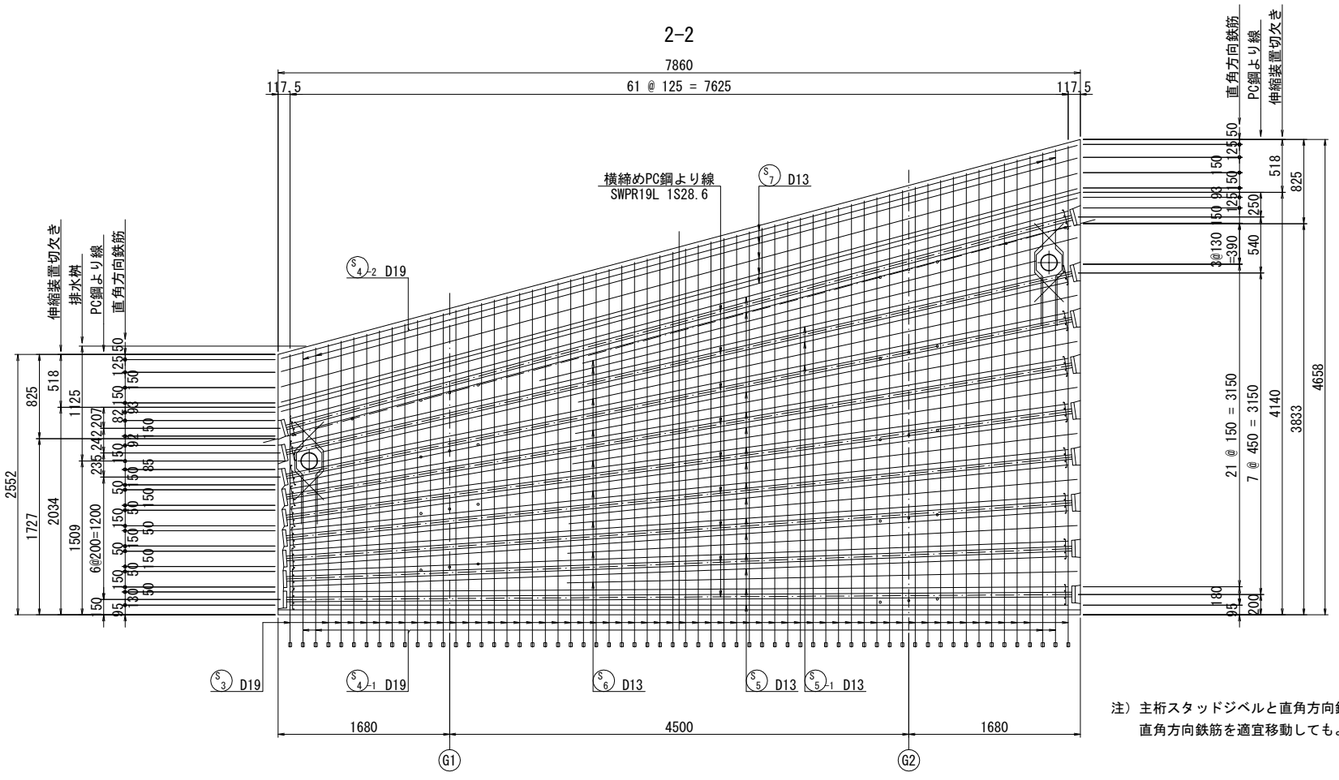
P9部

平　面　図

1-1

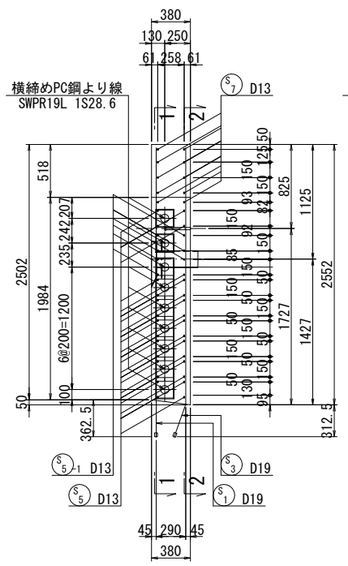


2-2

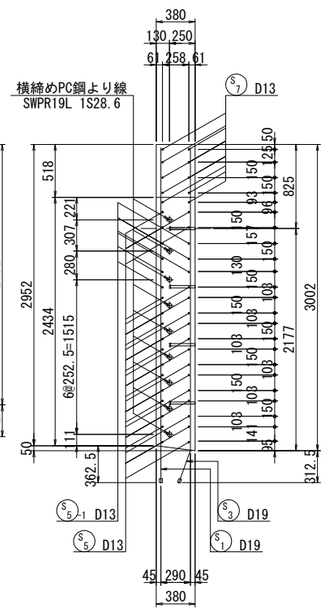


側　面　図

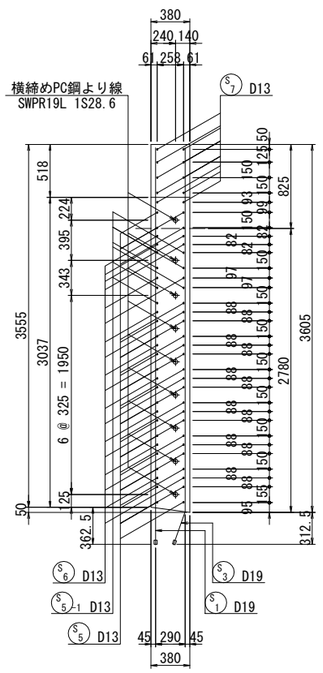
5-5



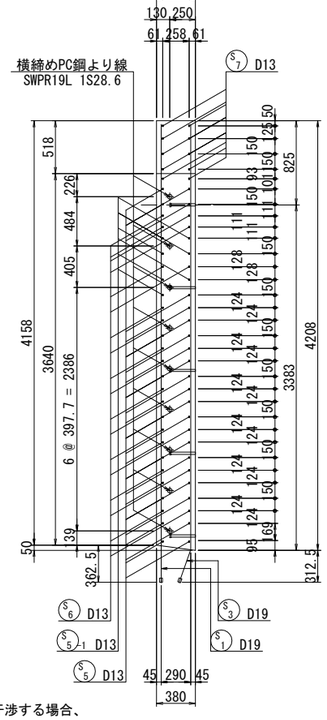
6-6



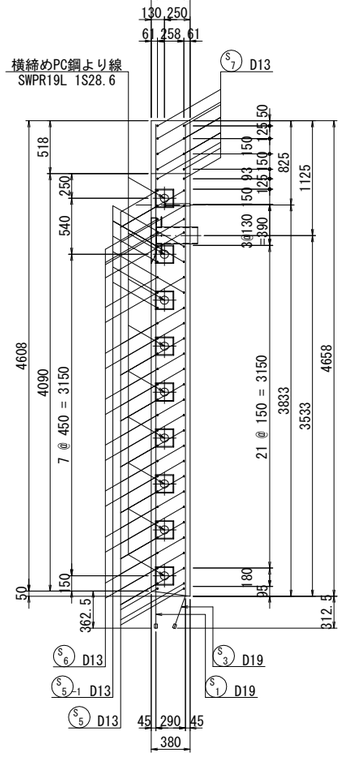
7-7



8-8



9-9



注）主桁スタッドジベルと直角方向鉄筋が干渉する場合、
直角方向鉄筋を適宜移動してもよい。

実　施

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

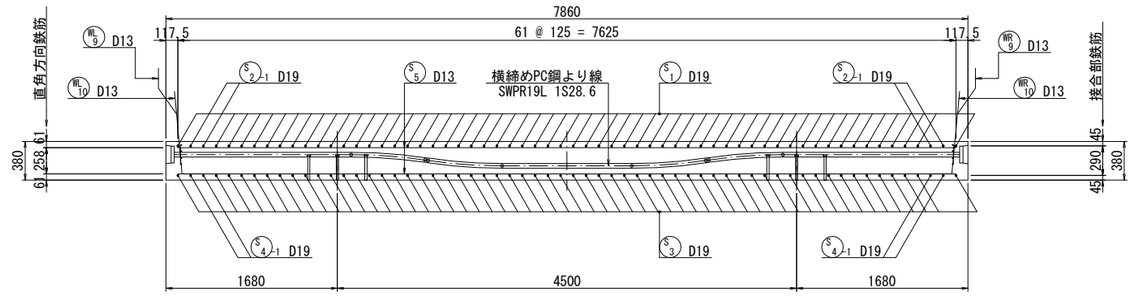
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その１５）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	144 / 212

P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その１６） S=1:30

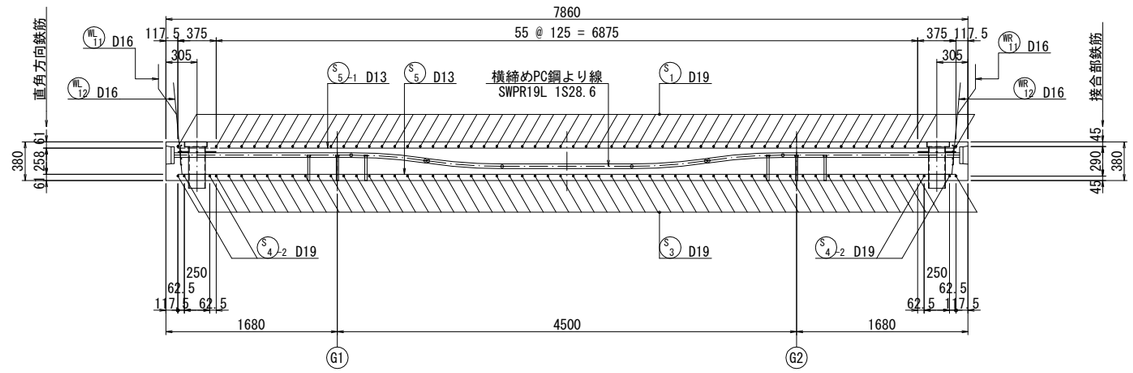
P9部

断　面　図

3-3

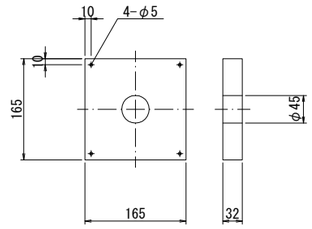


4-4



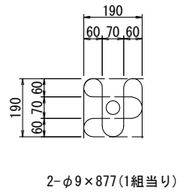
アンカープレート S=1:5

（1S28.6，プレグラウト用）



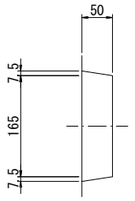
グリッド筋 S=1:10

（1S28.6用）



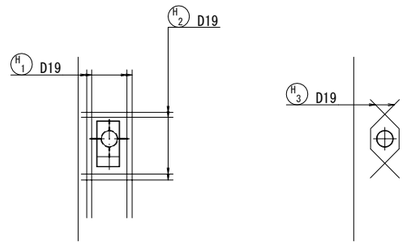
2-φ9×877(1組当り)

横締め定着部切欠き詳細図 S=1:5

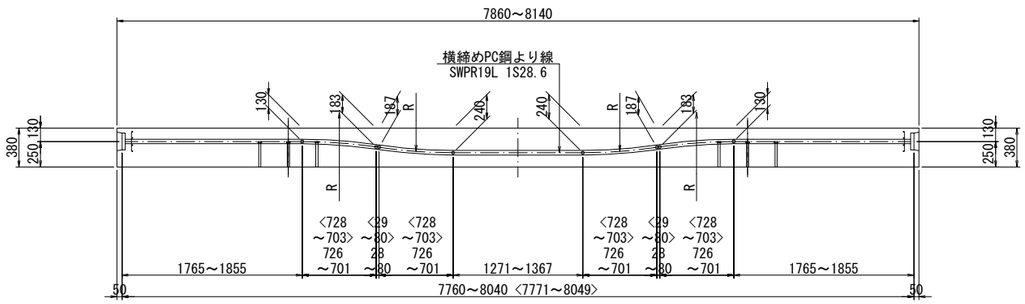


排水桝補強筋 S=1:30

上 面　　下 面



ＰＣ鋼材形状図



注）鋼材の曲げ半径はR=5000とする。
〈 〉内は鋼材の実長寸法を示す。

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

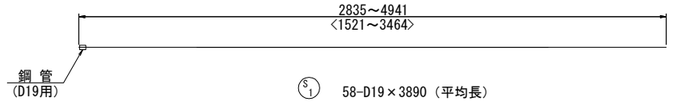
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その１６）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	145 / 212

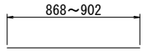
P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その１７）

P9部

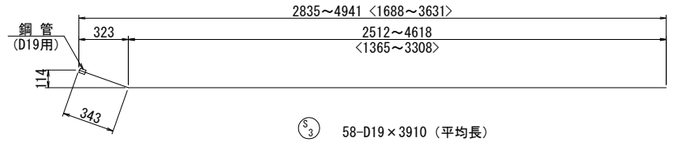
鉄 筋 加 工 図 S=1:20



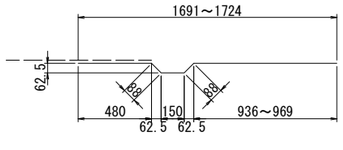
S1 58-D19×3890（平均長）
〈 S2-1 4-D19×2490（平均長）〉



S2-2 4-D19×890（平均長）

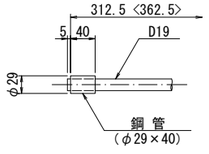


S3 58-D19×3910（平均長）
〈 S4-1 4-D19×2680（平均長）〉

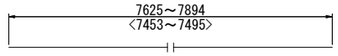


S4-2 4-D19×1760（平均長）

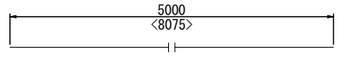
鋼管部詳細図 S=1:5



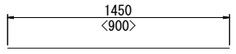
注）〈 〉内は上段側を示す。



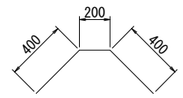
S5 29-D13×7760（平均長）
〈 S5-1 7-D13×7470（平均長）〉



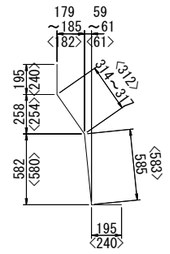
S6 18-D13×5000
〈 S7 10-D13×8080 〉



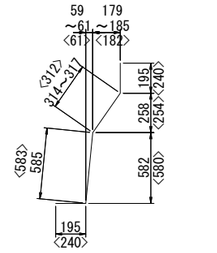
H1 8-D19×1450
〈 H2 8-D19×900 〉



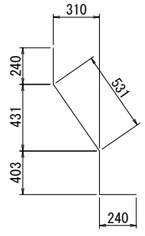
H3 4-D19×1000



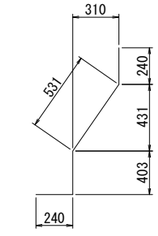
WL9 11-D13×1290（平均長）
〈 WL11 3-D16×1380 〉



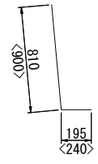
WR9 29-D13×1290（平均長）
〈 WR11 1-D16×1380 〉



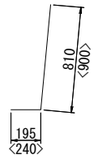
WL13 6-D16×1410



WR13 8-D16×1410



WL10 11-D13×1010
〈 WL12 3-D16×1140 〉
〈 WL14 6-D16×1140 〉



WR10 29-D13×1010
〈 WR12 1-D16×1140 〉
〈 WR14 8-D16×1140 〉

鉄 筋 表

(P9部当り)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S 1	D19	3890	58	2.25	8.75	508	(平均長) 鋼管
2-1	〃	2490	4	〃	5.60	22	(平均長) 鋼管
2-2	〃	890	4	〃	2.00	8	(平均長)
3	〃	3910	58	〃	8.80	510	(平均長) 鋼管
4-1	〃	2680	4	〃	6.03	24	(平均長) 鋼管
4-2	〃	1760	4	〃	3.96	16	(平均長)
5	D13	7760	29	0.995	7.72	224	(平均長)
5-1	〃	7470	7	〃	7.43	52	(平均長)
6	〃	5000	18	〃	4.98	90	
7	〃	8080	10	〃	8.04	80	
H 1	D19	1450	8	2.25	3.26	26	
2	〃	900	8	〃	2.03	16	
3	〃	1000	4	〃	2.25	9	
WL 9	D13	1290	11	0.995	1.28	14	(平均長)
10	〃	1010	11	〃	1.00	11	
11	D16	1380	3	1.56	2.15	6	
12	〃	1140	3	〃	1.78	5	
13	〃	1410	6	〃	2.20	13	
14	〃	1140	6	〃	1.78	11	
WR 9	D13	1290	29	0.995	1.28	37	(平均長)
10	〃	1010	29	〃	1.00	29	
11	D16	1380	1	1.56	2.15	2	
12	〃	1140	1	〃	1.78	2	
13	〃	1410	8	〃	2.20	18	
14	〃	1140	8	〃	1.78	14	
			SD345	D19	1139	kg	
			〃	D16	71	kg	
			〃	D13	537	kg	
			〃	合計	1747	kg	
			鋼管（φ29×40）		124	個	

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

実 施

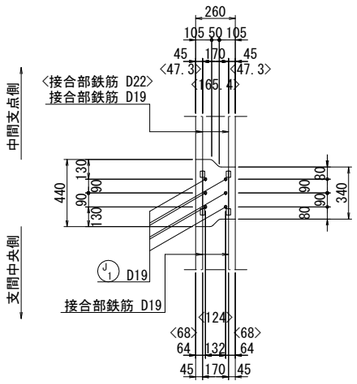
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 場所打ちPC床版配筋図（その１７）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	146 / 212

P5～P9 PC床版接合部配筋図（その１）

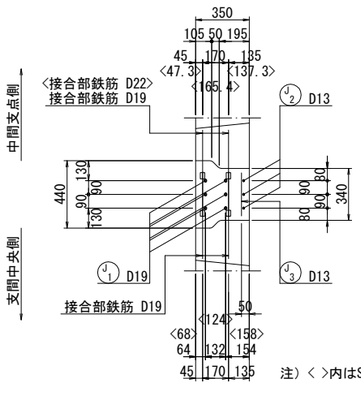
S1 , S1-1 , S1-L , S1-L1 , S1-R , S1-LR , S1-LR1 , S2-L , S2-R タイプ

側　面　図 S=1:20

2-2, 4-4



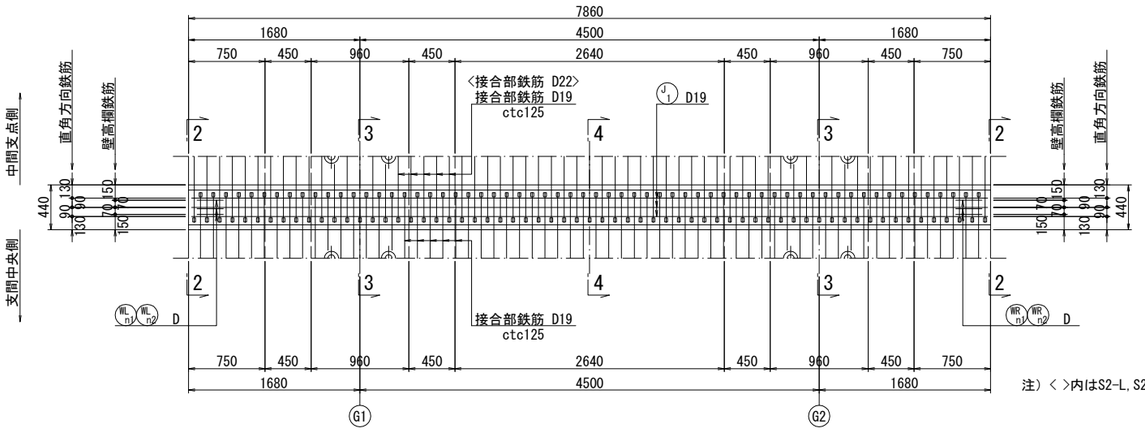
3-3



注）〈 〉内はS2-L, S2-Rタイプを示す。

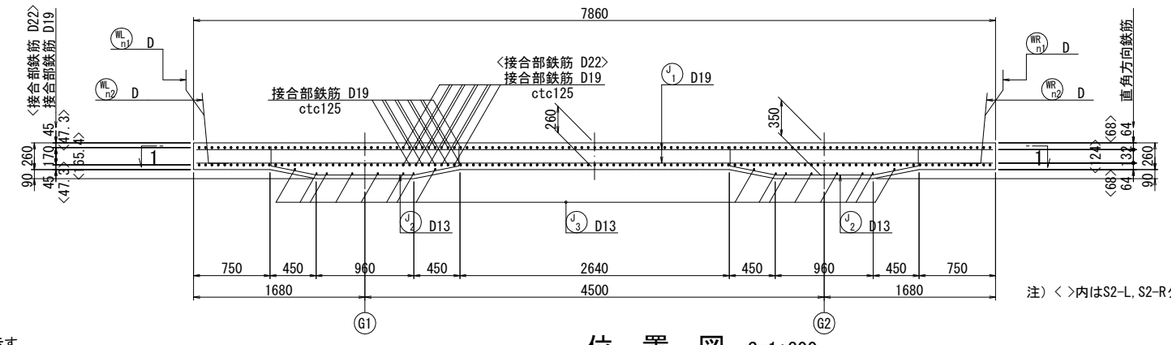
平　面　図 S=1:30

1-1



注）〈 〉内はS2-L, S2-Rタイプを示す。

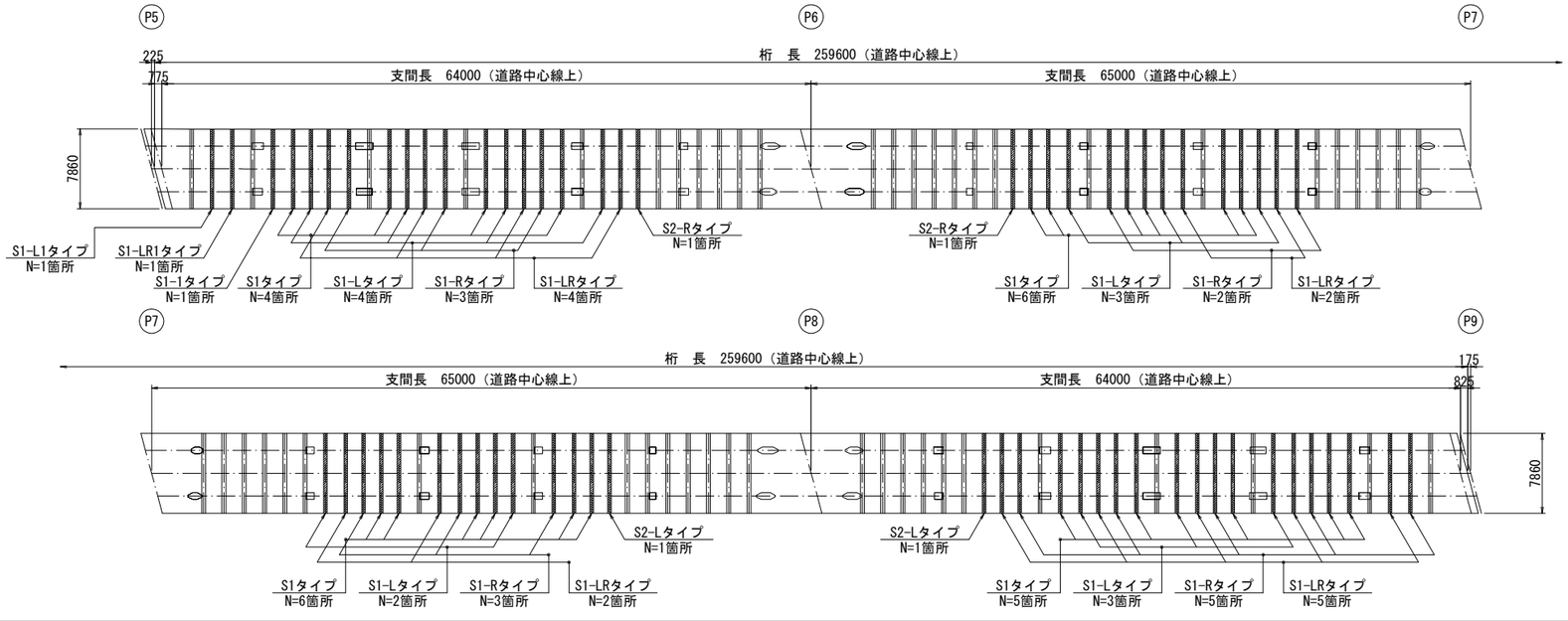
断　面　図 S=1:30



注）〈 〉内はS2-L, S2-Rタイプを示す。

	WLn1 D	WLn2 D	WRn1 D	WRn2 D
S1	WL5 D13	WL6 D13	WR5 D13	WR6 D13
S1-1	WL5 D13	WL6 D13	WR5 D13	WR6 D13
S1-L, S2-L	WL7 D16	WL8 D16	WR5 D13	WR6 D13
S1-L1	WL7 D16	WL8 D16	WR5 D13	WR6 D13
S1-R, S2-R	WL5 D13	WL6 D13	WR7 D16	WR8 D16
S1-LR	WL7 D16	WL8 D16	WR7 D16	WR8 D16
S1-LR1	WL7 D16	WL8 D16	WR7 D16	WR8 D16

位　置　図 S=1:300



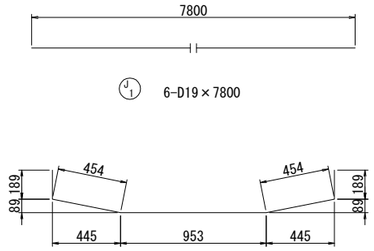
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版接合部配筋図(その1)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	147 / 212

P5～P9 PC床版接合部配筋図（その２）

S1 ， S1-1 ， S1-L ， S1-L1 ， S1-R ， S1-LR ， S1-LR1 ， S2-L ， S2-R タイプ

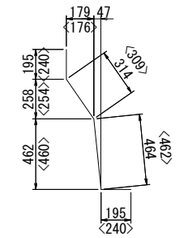
鉄筋加工図 S=1:20



(J1) 6-D19×7800

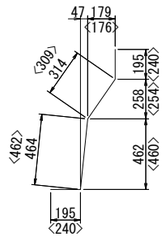
(J2) 6-D13×2240

(J3) 16-D13×280



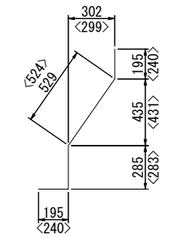
(WL5) 3-D13×1170（S1, S1-1, S1-R, S2-R）

〈 (WL7) 3-D16×1250（S1-L, S1-L1, S1-LR, S1-LR1, S2-L）〉



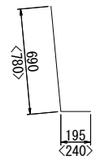
(WR5) 3-D13×1170（S1, S1-L, S2-L）

〈 (WR7) 3-D16×1250（S1-R, S1-LR, S2-R）〉



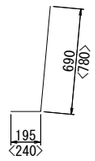
(WR16) 3-D13×1200（S1-1, S1-L1）

〈 (WR17) 3-D16×1290（S1-LR1）〉



(WL6) 3-D13×890（S1, S1-1, S1-R, S2-R）

〈 (WL8) 3-D16×1020（S1-L, S1-L1, S1-LR, S1-LR1, S2-L）〉



(WR6) 3-D13×890（S1, S1-1, S1-L, S1-L1, S2-L）

〈 (WR8) 3-D16×1020（S1-R, S1-LR, S1-LR1, S2-R）〉

鉄筋表

（１箇所当り）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
J 1	D19	7800	6	2.25	17.55	105	
2	D13	2240	6	0.995	2.23	13	
3	〃	280	16	〃	0.28	4	
WL 5	D13	1170	3	0.995	1.16	3	S1, S1-1 S1-R, S2-R
6	〃	890	3	〃	0.89	3	S1, S1-1 S1-R, S2-R
7	D16	1250	3	1.56	1.95	6	S1-L, S1-L1, S1-LR S1-LR1, S2-L
8	〃	1020	3	〃	1.59	5	S1-L, S1-L1, S1-LR S1-LR1, S2-L
WR 5	D13	1170	3	0.995	1.16	3	S1, S1-L, S2-L
6	〃	890	3	〃	0.89	3	S1, S1-1, S1-L S1-L1, S2-L
7	D16	1250	3	1.56	1.95	6	S1-R, S1-LR, S2-R
8	〃	1020	3	〃	1.59	5	S1-R, S1-LR S1-LR1, S2-R
16	D13	1200	3	0.995	1.19	4	S1-1, S1-L1
17	D16	1290	3	1.56	2.01	6	S1-LR1

		S1	S1-1	S1-L, S1-R, S2-L, S2-R
SD345	D19	105 kg	105 kg	105 kg
〃	D16	－ kg	－ kg	11 kg
〃	D13	29 kg	30 kg	23 kg
〃	合計	134 kg	135 kg	139 kg

		S1-L1	S1-LR, S1-LR1
SD345	D19	105 kg	105 kg
〃	D16	11 kg	22 kg
〃	D13	24 kg	17 kg
〃	合計	140 kg	144 kg

実 施

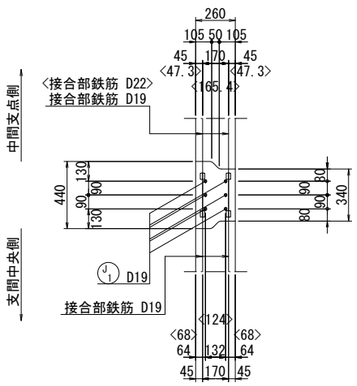
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版接合部配筋図(その2)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	148 / 212

P5～P9 PC床版接合部配筋図（その３）

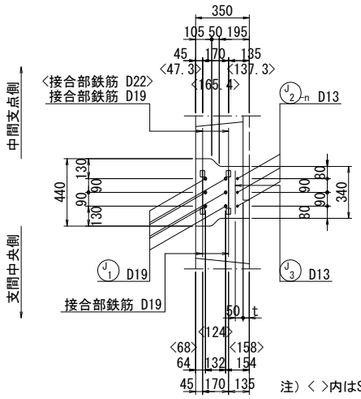
S1-K1 , S1-K1L , S1-K1R , S1-K1LR , S1-K2 , S1-K3 , S1-K4 , S2-K タイプ

側　面　図 S=1:20

2-2, 4-4



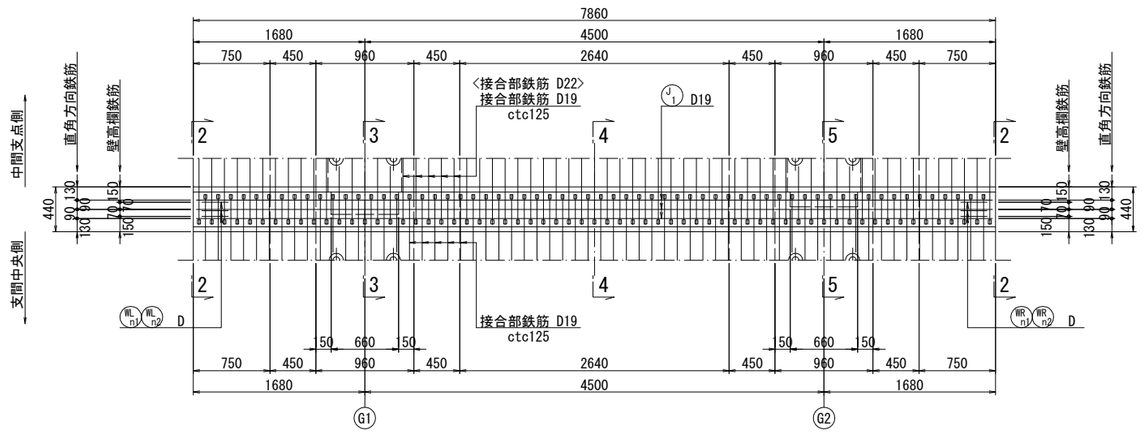
3-3, 5-5



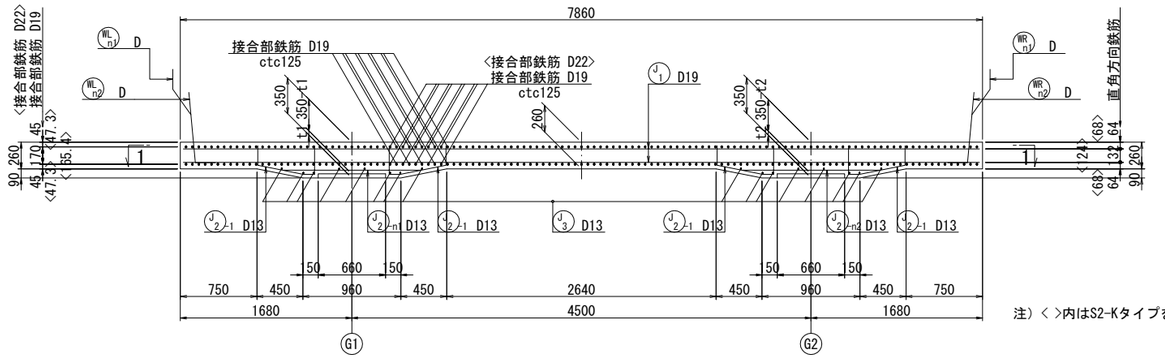
注）〈 〉内はS2-Kタイプを示す。

平　面　図 S=1:30

1-1



断　面　図 S=1:30



注）〈 〉内はS2-Kタイプを示す。

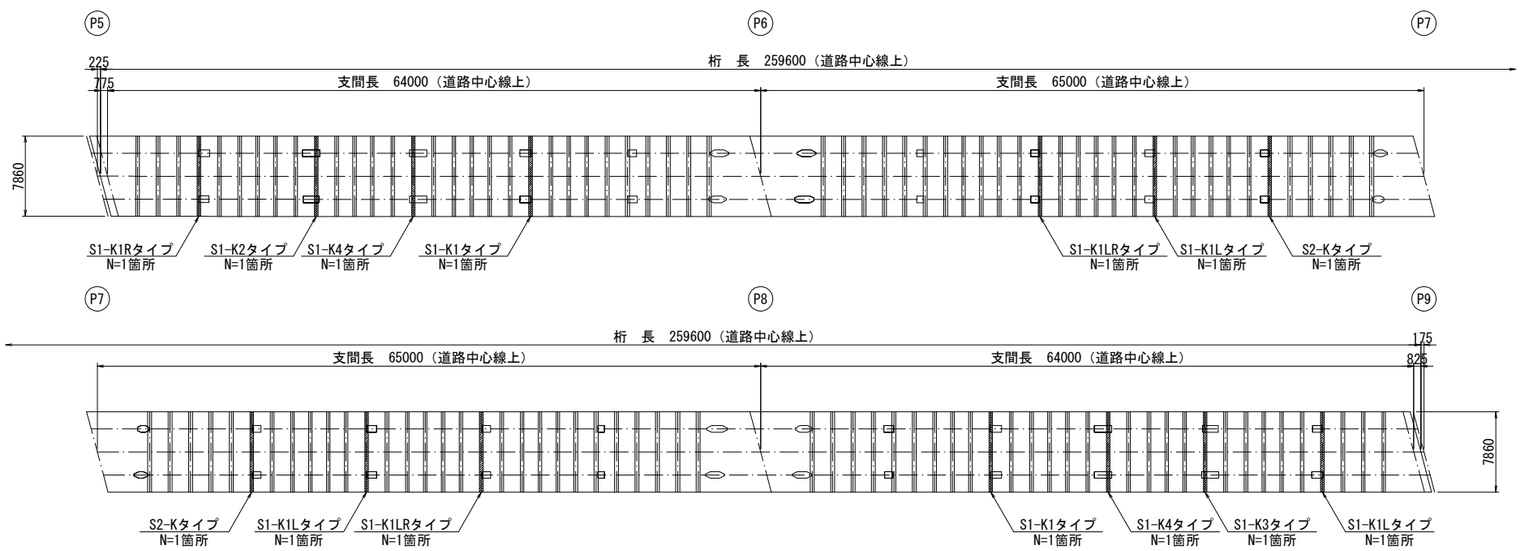
	WLn1 D	WLn2 D	WRn1 D	WRn2 D
S1-K1, S1-K2, S1-K3, S1-K4, S2-K	⑤ D13	⑥ D13	⑤ D13	⑥ D13
S1-K1L	⑦ D16	⑧ D16	⑤ D13	⑥ D13
S1-K1R	⑤ D13	⑥ D13	⑦ D16	⑧ D16
S1-K1LR	⑦ D16	⑧ D16	⑦ D16	⑧ D16

寸　法　表

(mm)

	t1	t2	J2-n1	J2-n2
S1-K1, S1-K1L, S1-K1R, S1-K1LR	40	40	J2-2	J2-2
S1-K2	50	40	J2-3	J2-2
S1-K3	40	50	J2-2	J2-3
S1-K4	50	50	J2-3	J2-3
S2-K	40	40	J2-2	J2-2

位　置　図 S=1:300



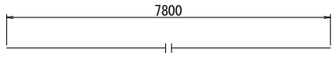
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版接合部配筋図(その3)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	149 / 212

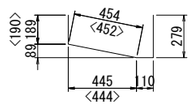
P5～P9 PC床版接合部配筋図（その４）

S1-K1 , S1-K1L , S1-K1R , S1-K1LR , S1-K2 , S1-K3 , S1-K4 , S2-K タイプ

鉄 筋 加 工 図　S=1:20

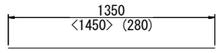


(J1) 6-D19×7800



(J2-1) 12-D13×1030（S1-K1, S1-K1L, S1-K1R, S1-K1LR, S1-K2～S1-K4）

〈 (S2-1) 12-D13×1030（S2-K） 〉



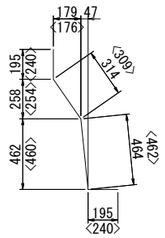
(J2-2) 6-D13×1350（S1-K1, S1-K1L, S1-K1R, S1-K1LR, S2-K）

(J2-2) 3-D13×1350（S1-K2, S1-K3）

〈 (S2-3) 3-D13×1450（S1-K2, S1-K3） 〉

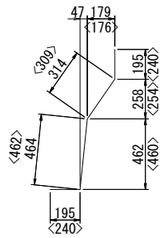
〈 (S2-3) 6-D13×1450（S1-K4） 〉

((J3) 16-D13×280)



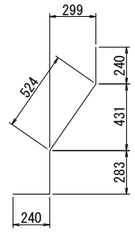
(WL5) 3-D13×1170（S1-K1, S1-K1R, S1-K2, S1-K3, S1-K4, S2-K）

〈 (WL7) 3-D16×1250（S1-K1L, S1-K1LR） 〉

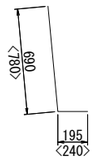


(WR5) 3-D13×1170（S1-K1, S1-K1L, S1-K2, S1-K3, S1-K4, S2-K）

〈 (WR7) 3-D16×1250（S1-K1LR） 〉

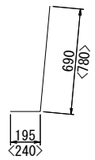


(WR17) 3-D16×1290（S1-K1R）



(WL6) 3-D13×890（S1-K1, S1-K1R, S1-K2, S1-K3, S1-K4, S2-K）

〈 (WL8) 3-D16×1020（S1-K1L, S1-K1LR） 〉



(WR6) 3-D13×890（S1-K1, S1-K1L, S1-K2, S1-K3, S1-K4, S2-K）

〈 (WR8) 3-D16×1020（S1-K1R, S1-K1LR） 〉

鉄 筋 表

（１箇所当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S1-K1, S1-K1L, S1-K1R, S1-K1LR, S2-K							
J 1	D19	7800	6	2.25	17.55	105	
2-1	D13	1030	12	0.995	1.02	12	
2-2	〃	1350	6	〃	1.34	8	
3	〃	280	16	〃	0.28	4	
WL 5	D13	1170	3	0.995	1.16	3	S1-K1, S1-K1R, S2-K
6	〃	890	3	〃	0.89	3	S1-K1, S1-K1R, S2-K
7	D16	1250	3	1.56	1.95	6	S1-K1L, S1-K1LR
8	〃	1020	3	〃	1.59	5	S1-K1L, S1-K1LR
WR 5	D13	1170	3	0.995	1.16	3	S1-K1, S1-K1L, S2-K
6	〃	890	3	〃	0.89	3	S1-K1, S1-K1L, S2-K
7	D16	1250	3	1.56	1.95	6	S1-K1LR
8	〃	1020	3	〃	1.59	5	S1-K1R, S1-K1LR
17	〃	1290	3	〃	2.01	6	S1-K1R
			S1-K1, S2-K	S1-K1L, S1-K1R	S1-K1LR		
SD345	D19		105 kg	105 kg	105 kg		
〃	D16		− kg	11 kg	22 kg		
〃	D13		36 kg	30 kg	24 kg		
〃	合計		141 kg	146 kg	151 kg		
S1-K2, S1-K3							
J 1	D19	7800	6	2.25	17.55	105	
2-1	D13	1030	12	0.995	1.02	12	
2-2	〃	1350	3	〃	1.34	4	
2-3	〃	1450	3	〃	1.44	4	
3	〃	280	16	〃	0.28	4	
WL 5	D13	1170	3	0.995	1.16	3	
6	〃	890	3	〃	0.89	3	
WR 5	〃	1170	3	〃	1.16	3	
6	〃	890	3	〃	0.89	3	
				SD345	D19	105 kg	
				〃	D16	− kg	
				〃	D13	36 kg	
				〃	合計	141 kg	
S1-K4							
J 1	D19	7800	6	2.25	17.55	105	
2-1	D13	1030	12	0.995	1.02	12	
2-2	欠番						
2-3	D13	1450	6	0.995	1.44	9	
3	〃	280	16	〃	0.28	4	
WL 5	D13	1170	3	0.995	1.16	3	
6	〃	890	3	〃	0.89	3	
WR 5	〃	1170	3	〃	1.16	3	
6	〃	890	3	〃	0.89	3	
				SD345	D19	105 kg	
				〃	D16	− kg	
				〃	D13	37 kg	
				〃	合計	142 kg	

実　施

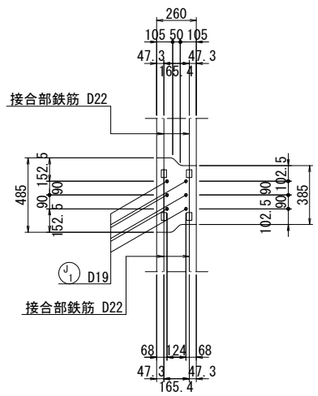
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版接合部配筋図(その4)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	150 / 212

P5～P9 PC床版接合部配筋図（その５）

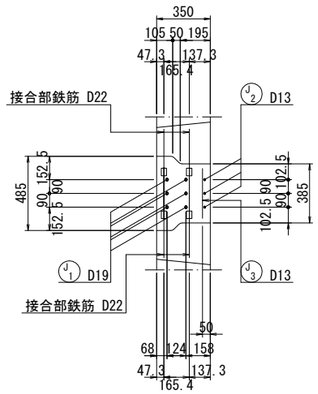
S3 ， S3-L ， S3-R ， S3-LR タイプ

側　面　図 S=1:20

2-2, 4-4

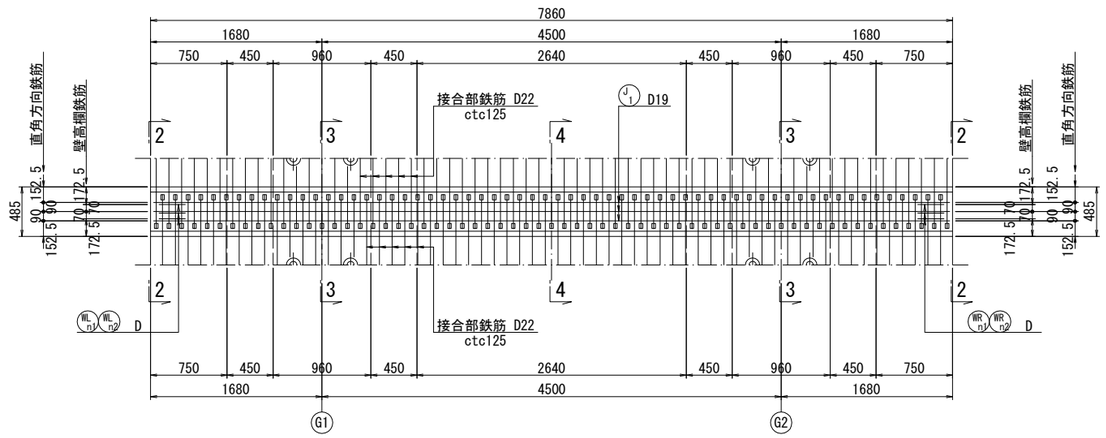


3-3

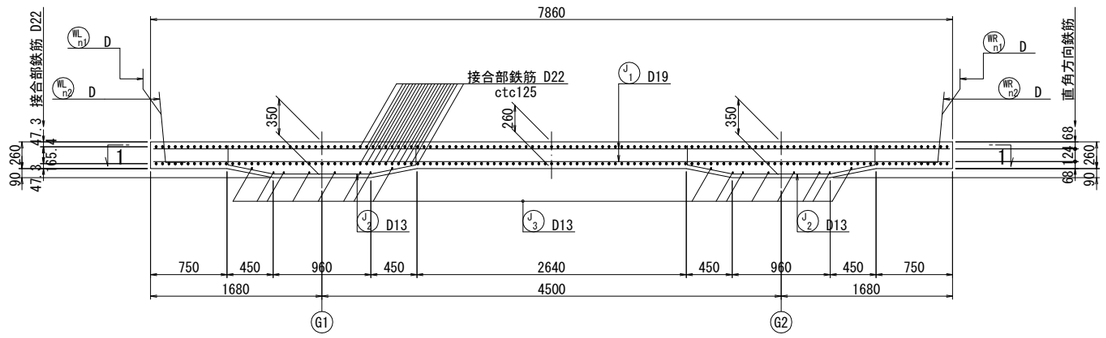


平　面　図 S=1:30

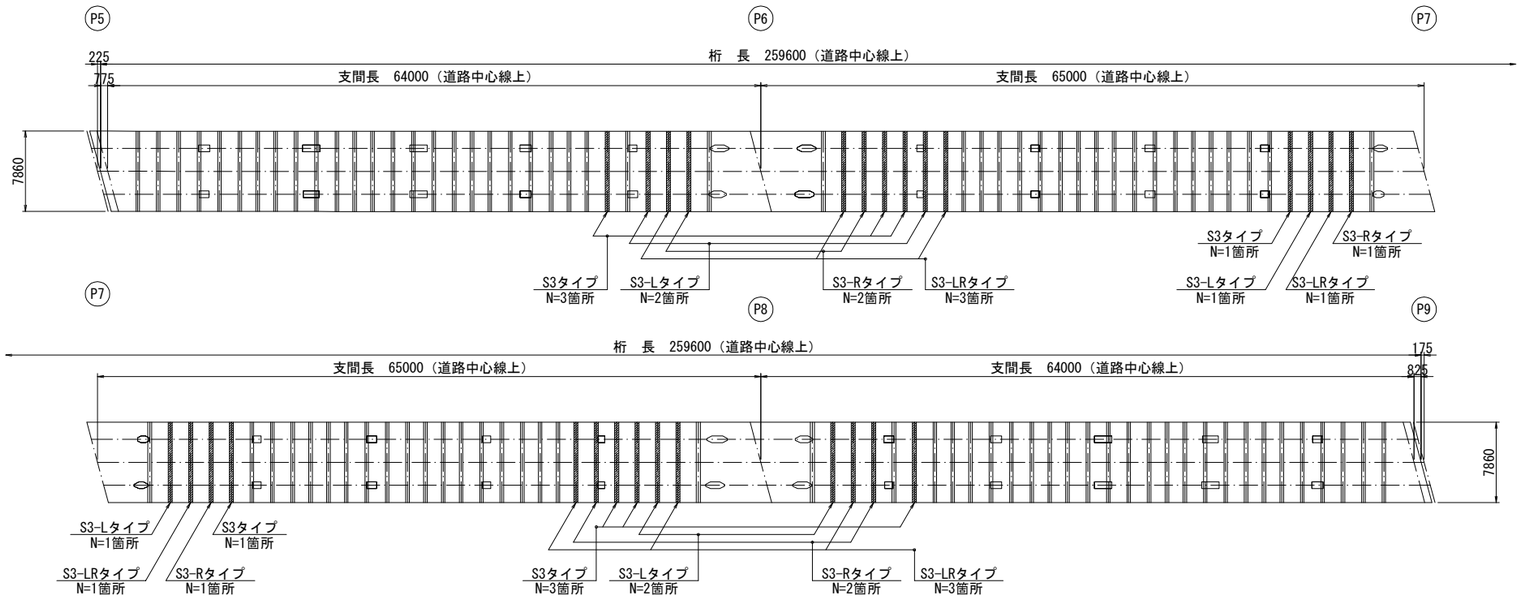
1-1



断　面　図 S=1:30



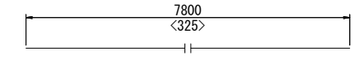
位　置　図 S=1:300



鉄　筋　表

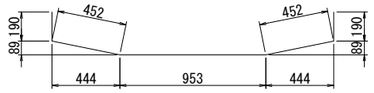
（１箇所当り）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
J 1	D19	7800	6	2.25	17.55	105	——
2	D13	2240	6	0.995	2.23	13	⌒
3	〃	330	16	〃	0.33	5	——
WL 5	D13	1170	3	0.995	1.16	3	S3, S3-R
6	〃	890	3	〃	0.89	3	S3, S3-R
7	D16	1250	3	1.56	1.95	6	S3-L, S3-LR
8	〃	1020	3	〃	1.59	5	S3-L, S3-LR
WR 5	D13	1170	3	0.995	1.16	3	S3, S3-L
6	〃	890	3	〃	0.89	3	S3, S3-L
7	D16	1250	3	1.56	1.95	6	S3-R, S3-LR
8	〃	1020	3	〃	1.59	5	S3-R, S3-LR
			S3	S3-L, S3-R	S3-LR		
SD345	D19		105 kg	105 kg	105 kg		
〃	D16		－ kg	11 kg	22 kg		
〃	D13		30 kg	24 kg	18 kg		
〃	合計		135 kg	140 kg	145 kg		

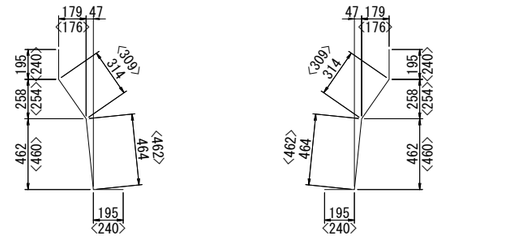


J1 6-D19×7800

〈 J3 16-D13×330 〉



J2 6-D13×2240

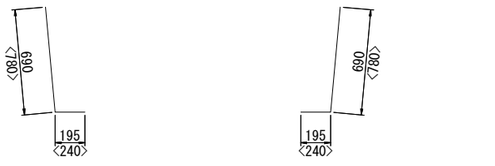


WL5 3-D13×1170（S3, S3-R）

〈 WL7 3-D16×1250（S3-L, S3-LR）〉

WR5 3-D13×1170（S3, S3-L）

〈 WR7 3-D16×1250（S3-R, S3-LR）〉



WL5 3-D13×890（S3, S3-R）

〈 WL8 3-D16×1020（S3-L, S3-LR）〉

WR5 3-D13×890（S3, S3-L）

〈 WR8 3-D16×1020（S3-R, S3-LR）〉

	WLn1 D	WLn2 D	WRn1 D	WRn2 D
S3	WL5 D13	WL6 D13	WR5 D13	WR6 D13
S3-L	WL7 D16	WL8 D16	WR5 D13	WR6 D13
S3-R	WL5 D13	WL6 D13	WR7 D16	WR8 D16
S3-LR	WL7 D16	WL8 D16	WR7 D16	WR8 D16

実　施

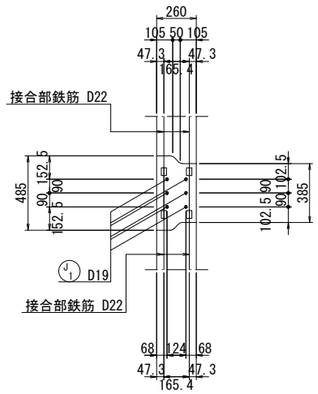
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版接合部配筋図(その5)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	151 / 212

P5～P9 PC床版接合部配筋図（その６）

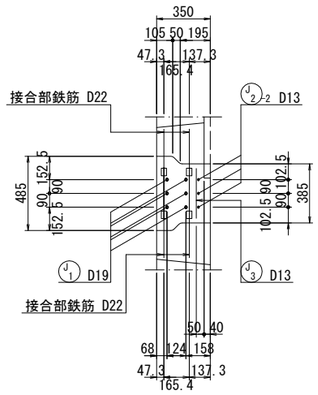
S3-K タイプ

側 面 図 S=1:20

2-2, 4-4

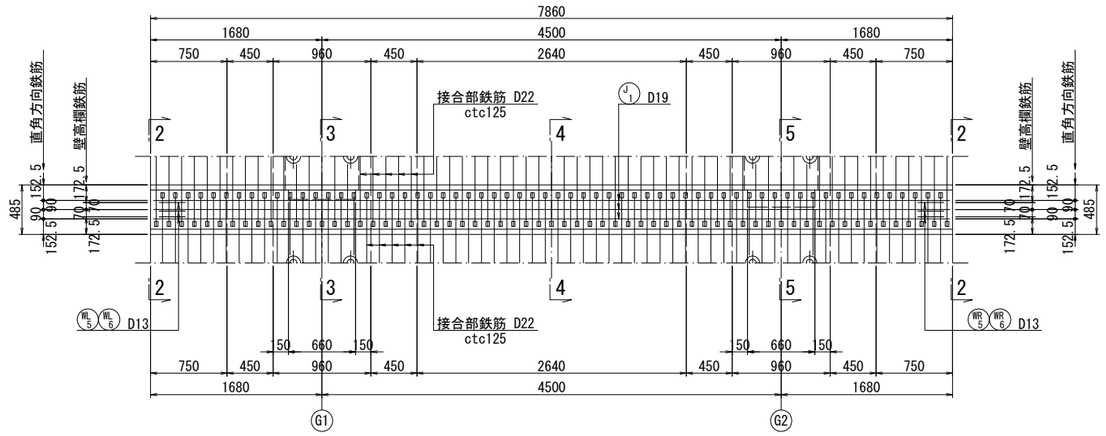


3-3, 5-5

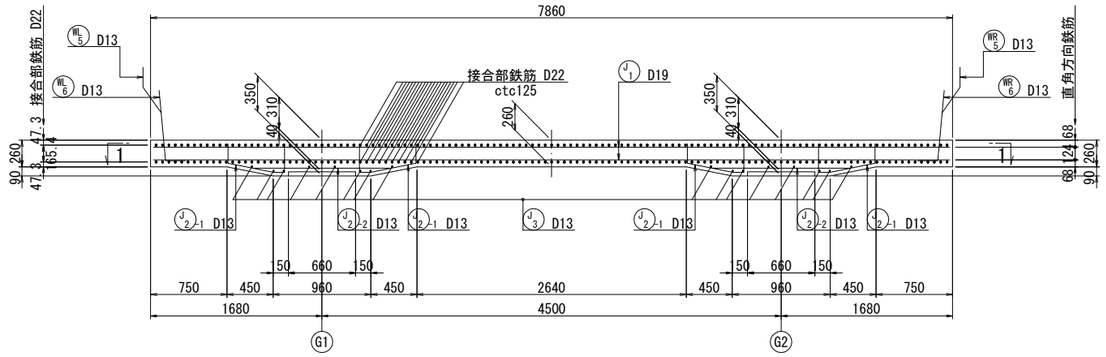


平 面 図 S=1:30

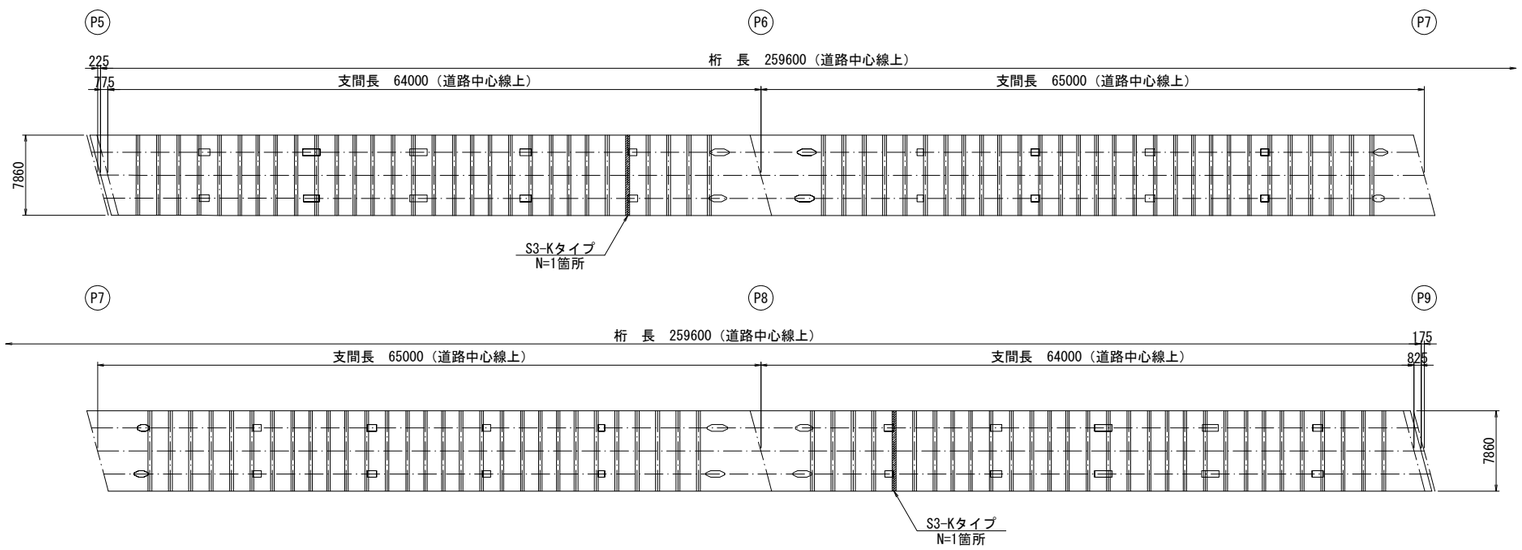
1-1



断 面 図 S=1:30



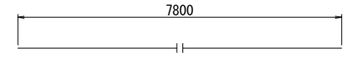
位 置 図 S=1:300



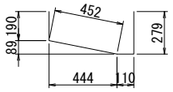
鉄 筋 表

（１箇所当り）

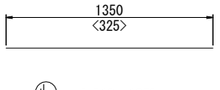
種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
J 1	D19	7800	6	2.25	17.55	105	——
2-1	D13	1030	12	0.995	1.02	12	⌐
2-2	〃	1350	6	〃	1.34	8	——
3	〃	330	16	〃	0.33	5	——
WL 5	D13	1170	3	0.995	1.16	3	⌊
6	〃	890	3	〃	0.89	3	⌊
WR 5	〃	1170	3	〃	1.16	3	⌋
6	〃	890	3	〃	0.89	3	⌋
				SD345	D19	105 kg	
				〃	D13	37 kg	
				〃	合計	142 kg	



J1 6-D19×7800

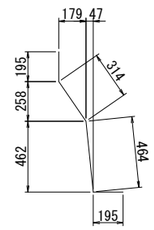


J2-1 12-D13×1030

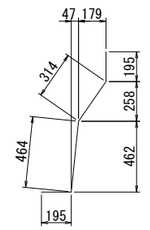


J2-2 6-D13×1350

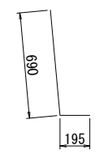
〈 J3 16-D13×330 〉



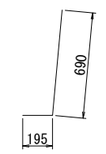
WL5 3-D13×1170



WR5 3-D13×1170



WL6 3-D13×890



WR6 3-D13×890

実 施

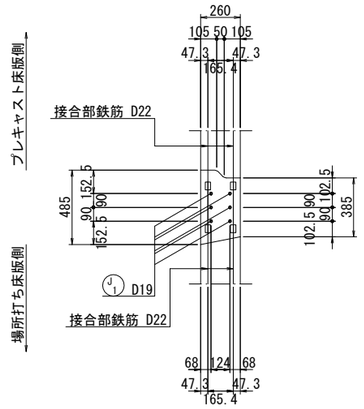
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版接合部配筋図(その6)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	152 / 212

P5～P9 PC床版接合部配筋図（その７）

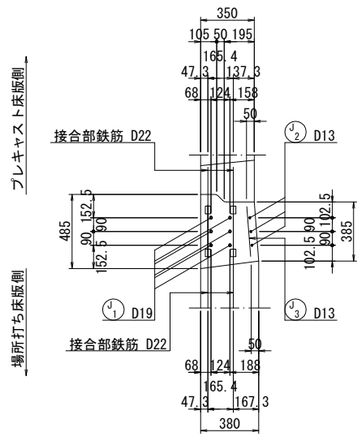
S4-L ， S4-R タイプ

側　面　図 S=1:20

4-4, 6-6

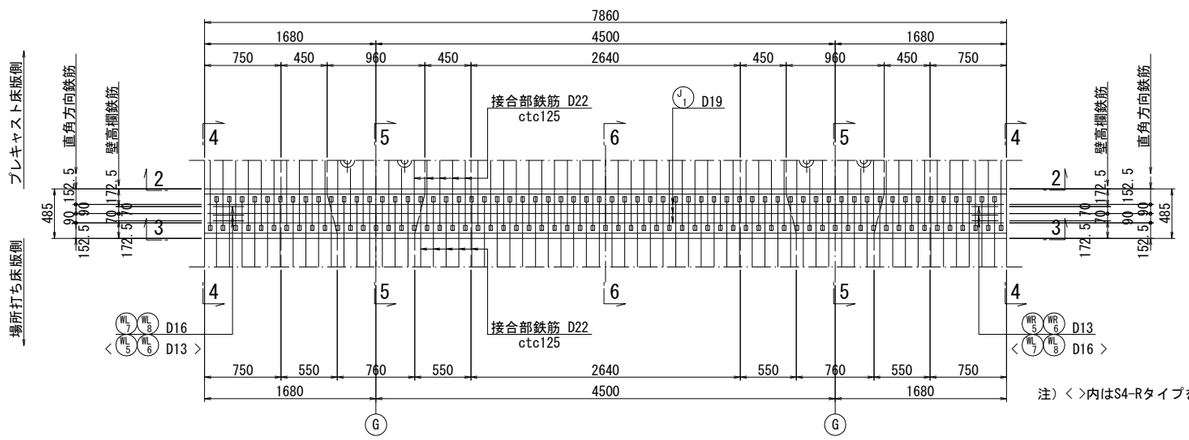


5-5



平　面　図 S=1:30

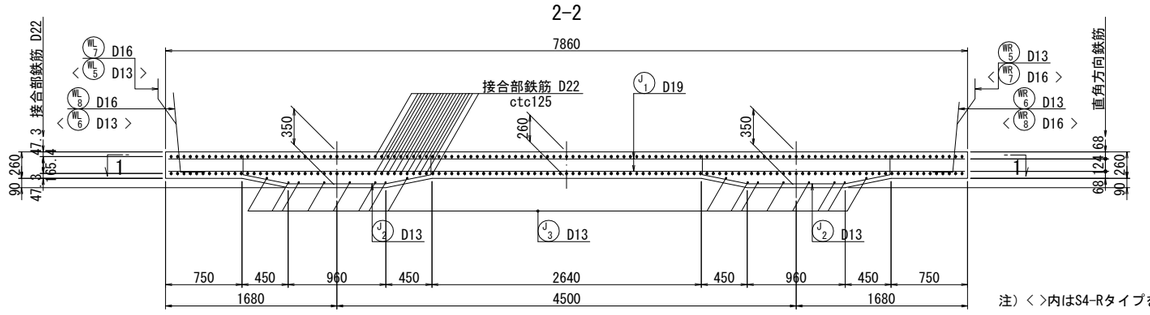
1-1



注）< >内はS4-Rタイプを示す。

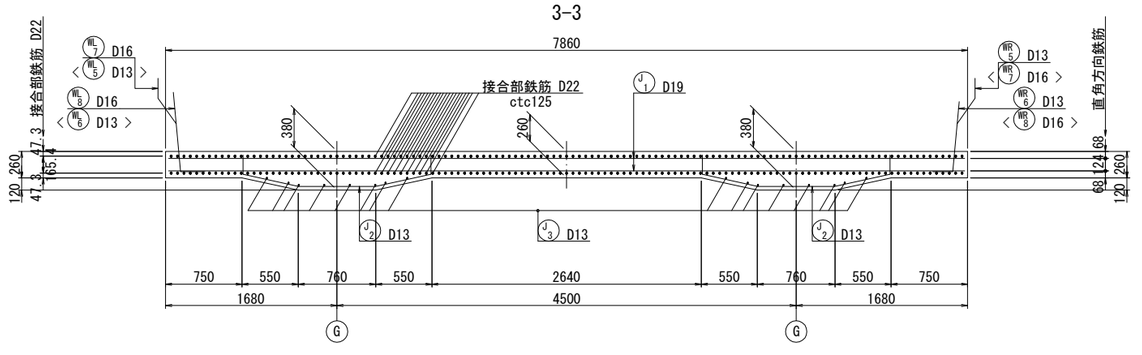
断　面　図 S=1:30

2-2

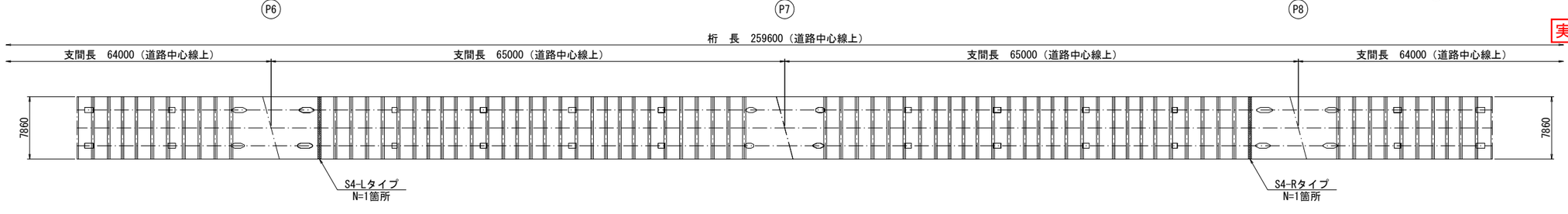


注）< >内はS4-Rタイプを示す。

3-3



位　置　図 S=1:300

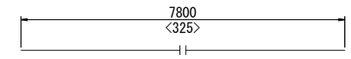


鉄　筋　表

（１箇所当り）

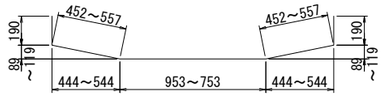
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
J 1	D19	7800	6	2.25	17.55	105	
2	D13	2240	6	0.995	2.23	13	（平均長）
3	〃	330	16	〃	0.33	5	
WL 5	D13	1170	3	0.995	1.16	3	S4-R
6	〃	890	3	〃	0.89	3	S4-R
7	D16	1250	3	1.56	1.95	6	S4-L
8	〃	1020	3	〃	1.59	5	S4-L
WR 5	D13	1170	3	0.995	1.16	3	S4-L
6	〃	890	3	〃	0.89	3	S4-L
7	D16	1250	3	1.56	1.95	6	S4-R
8	〃	1020	3	〃	1.59	5	S4-R

SD345	D19	105 kg
〃	D16	11 kg
〃	D13	24 kg
〃	合計	140 kg

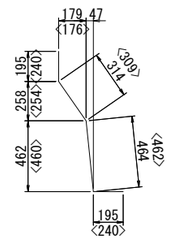


J1 6-D19×7800

< J3 16-D13×330 >

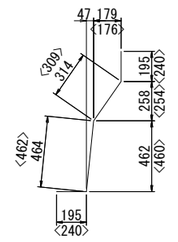


J2 6-D13×2240（平均長）



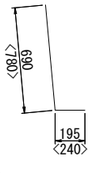
WL5 3-D13×1170（S4-R）

< WL7 3-D16×1250（S4-L）>



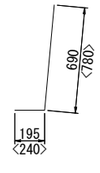
WR5 3-D13×1170（S4-L）

< WR7 3-D16×1250（S4-R）>



WL6 3-D13×890（S4-R）

< WL8 3-D16×1020（S4-L）>



WR6 3-D13×890（S4-L）

< WR8 3-D16×1020（S4-R）>

実　施

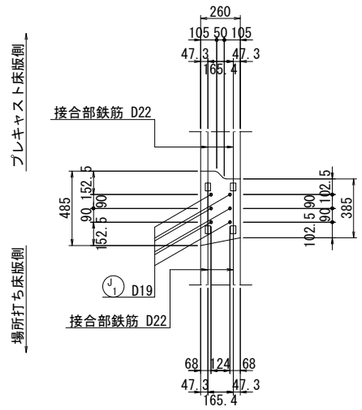
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事
図面名	P5～P9 PC床版接合部配筋図(その7)
縮尺	図示
位置	
設計者	
設計年度	
宮城県	図番 153 / 212

P5～P9 PC床版接合部配筋図（その８）

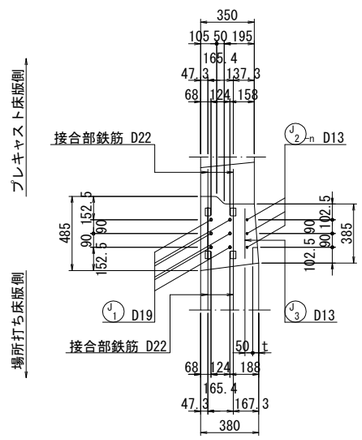
S4-K1 ， S4-K2 ， S4-K3 タイプ

側　面　図 S=1:20

4-4, 6-6



5-5, 7-7



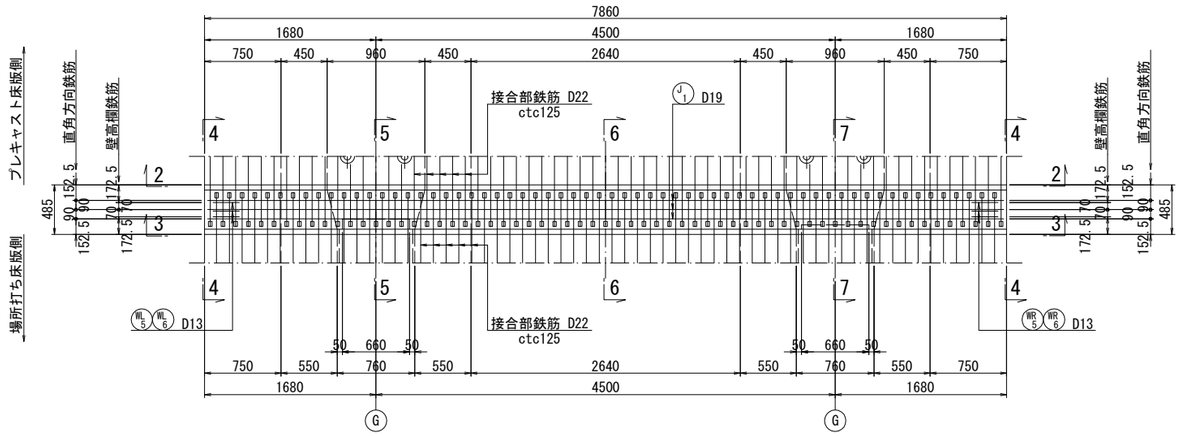
寸　法　表

(mm)

	t1	t2	J_{2-n1}	J_{2-n2}
S4-K1	40	40	J_{2-2}	J_{2-2}
S4-K2	50	60	J_{2-3}	J_{2-4}
S4-K3	60	50	J_{2-4}	J_{2-3}

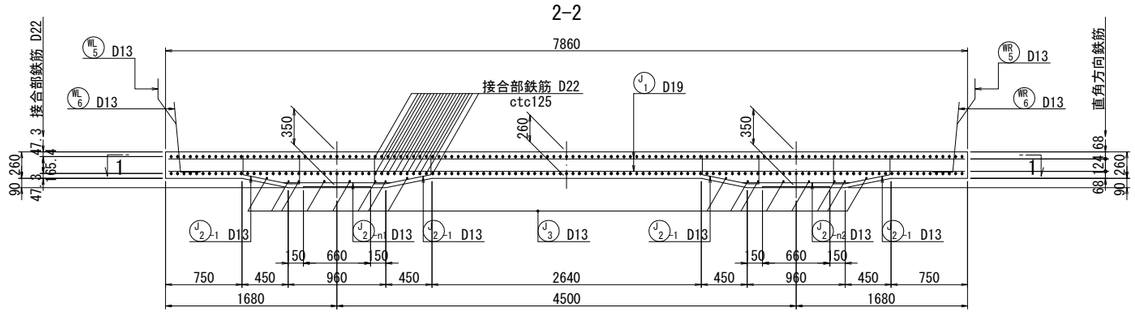
平　面　図 S=1:30

1-1

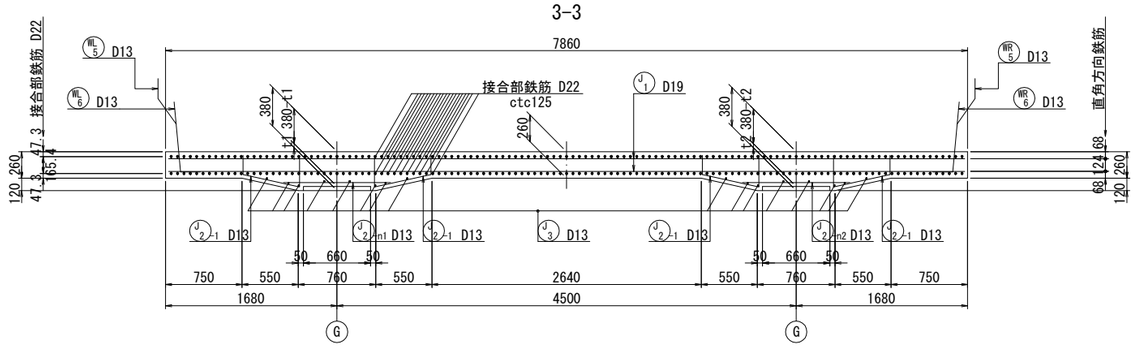


断　面　図 S=1:30

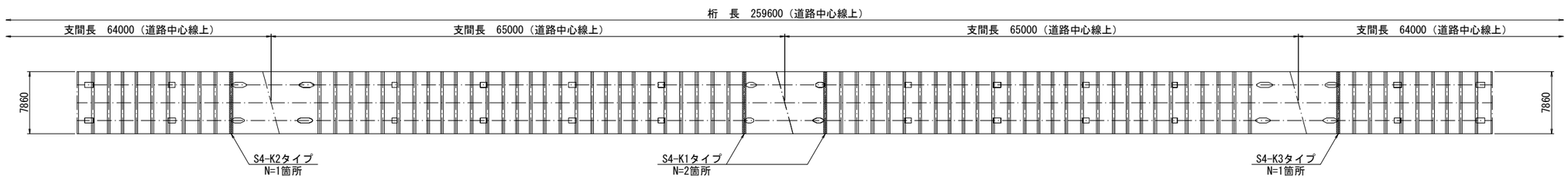
2-2



3-3



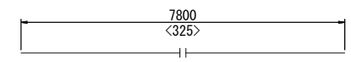
位　置　図 S=1:300



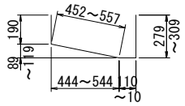
鉄　筋　表

（１箇所当り）

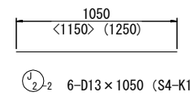
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S4-K1							
J 1	D19	7800	6	2.25	17.55	105	
2-1	D13	1050	12	0.995	1.04	12	（平均長）
2-2	〃	1050	6	〃	1.04	6	
3	〃	330	16	〃	0.33	5	
WL 5	D13	1170	3	0.995	1.16	3	
6	〃	890	3	〃	0.89	3	
WR 5	〃	1170	3	〃	1.16	3	
6	〃	890	3	〃	0.89	3	
				SD345	D19	105 kg	
				〃	D13	35 kg	
				〃	合計	140 kg	
S4-K2, S4-K3							
J 1	D19	7800	6	2.25	17.55	105	
2-1	D13	1050	12	0.995	1.04	12	（平均長）
2-2	欠番						
2-3	D13	1150	3	0.995	1.14	3	
2-4	〃	1250	3	〃	1.24	4	
3	〃	330	16	〃	0.33	5	
WL 5	D13	1170	3	0.995	1.16	3	
6	〃	890	3	〃	0.89	3	
WR 5	〃	1170	3	〃	1.16	3	
6	〃	890	3	〃	0.89	3	
				SD345	D19	105 kg	
				〃	D13	36 kg	
				〃	合計	141 kg	



J_1 6-D19×7800 〈 J_3 16-D13×330 〉



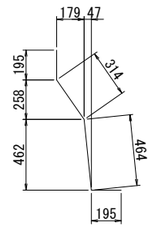
J_{2-1} 12-D13×1050（平均長）

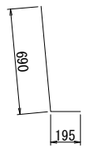


J_{2-2} 6-D13×1050（S4-K1）

〈 J_{2-3} 3-D13×1150（S4-K2, S4-K3）〉

（ S_{2-4} 3-D13×1250（S4-K2, S4-K3）)





WL5 3-D13×1170

WR5 3-D13×1170

WL6 3-D13×890

WR6 3-D13×890

実　施

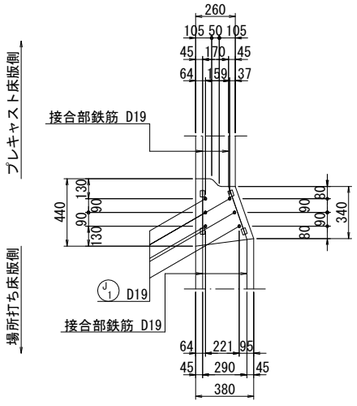
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版接合部配筋図(その8)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	154 / 212

P5～P9 PC床版接合部配筋図（その９）

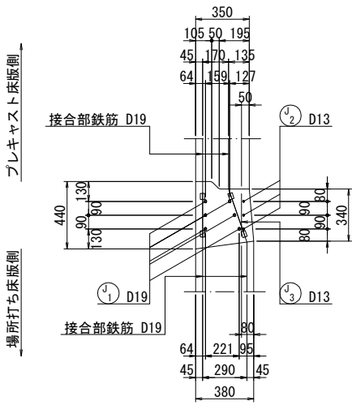
S5-1 , S5-2 タイプ

側　面　図 S=1:20

4-4, 6-6

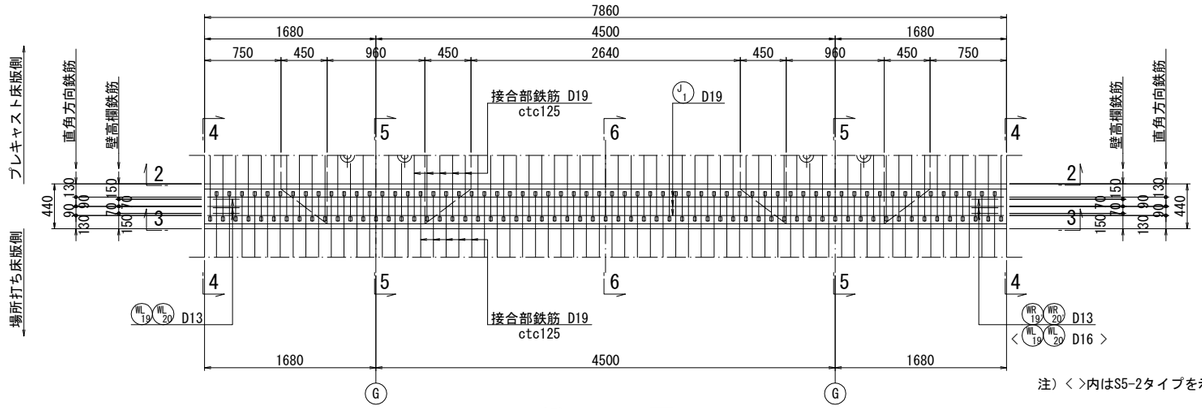


5-5



平　面　図 S=1:30

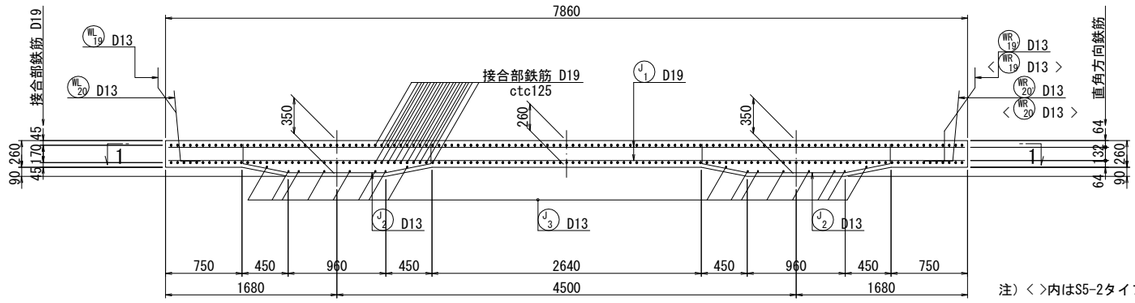
1-1



注）< >内はS5-2タイプを示す。

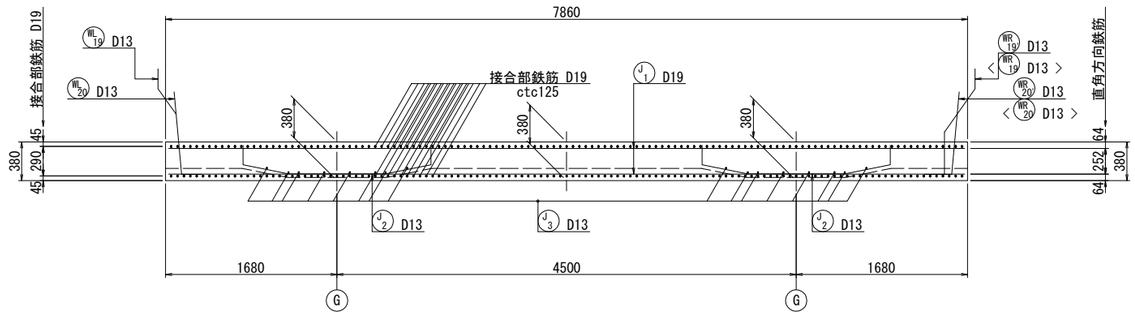
断　面　図 S=1:30

2-2

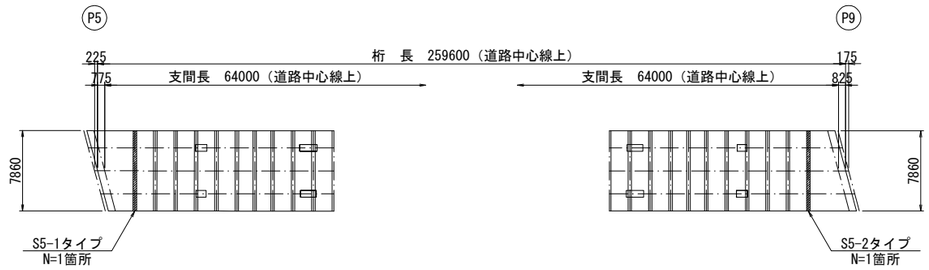


注）< >内はS5-2タイプを示す。

3-3



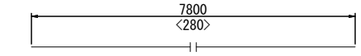
位　置　図 S=1:300



鉄　筋　表

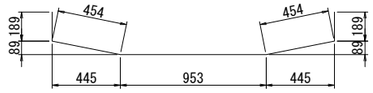
（１箇所当り）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
J 1	D19	7800	6	2.25	17.55	105	——
2	D13	2240	6	0.995	2.23	13	⌒
3	〃	280	16	〃	0.28	4	——
WL 19	D13	1230	3	0.995	1.22	4	L (平均長) S5-1, S5-2
20	〃	950	3	〃	0.95	3	L (平均長) S5-1, S5-2
WR 19	〃	1230	3	〃	1.22	4	ノ (平均長) S5-2
19'	〃	1260	3	〃	1.25	4	ノ (平均長) S5-1
20	〃	950	3	〃	0.95	3	ノ (平均長) S5-2
20'	〃	950	3	〃	0.95	3	ノ (平均長) S5-1
				SD345	D19	105 kg	
				〃	D13	31 kg	
				〃	合計	136 kg	

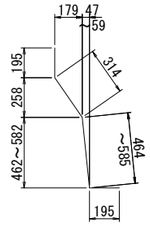


J1 6-D19×7800

< J3 16-D13×280 >

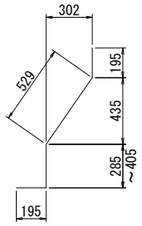


J2 6-D13×2240



WL19 3-D13×1230（平均長）（S5-1, S5-2）

WR19 3-D13×1230（平均長）（S5-2）

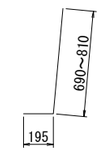


WR19 3-D13×1260（平均長）（S5-1）



WL20 3-D13×950（平均長）（S5-1, S5-2）

WR20 3-D13×950（平均長）（S5-2）



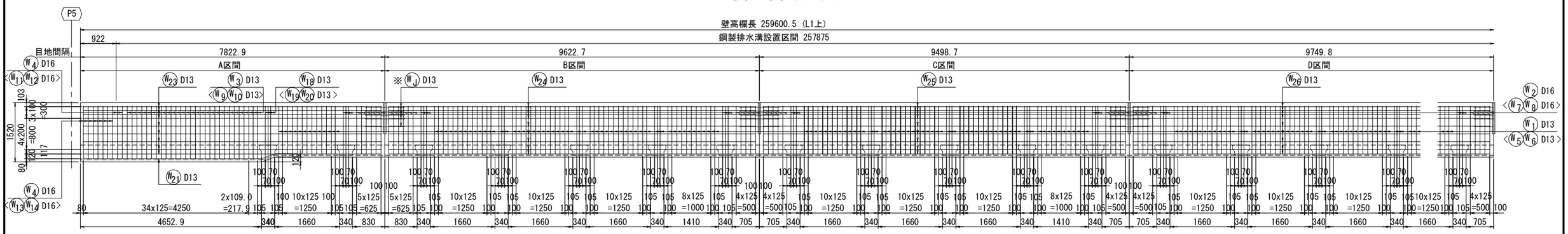
WR20 3-D13×950（平均長）（S5-1）

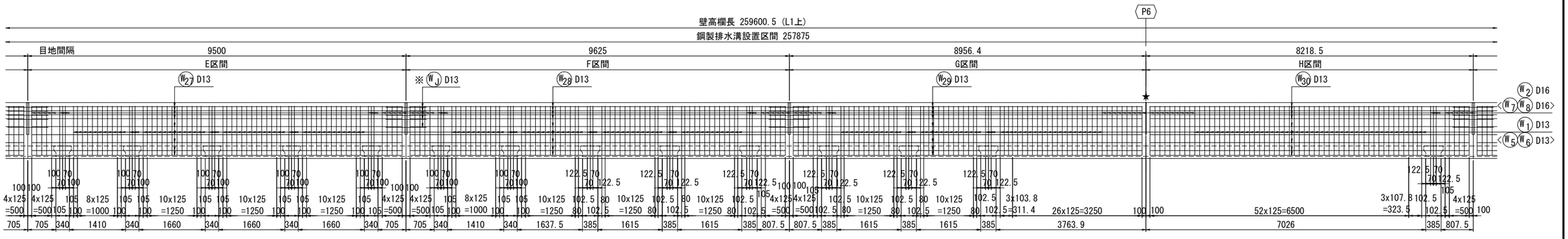
実　施

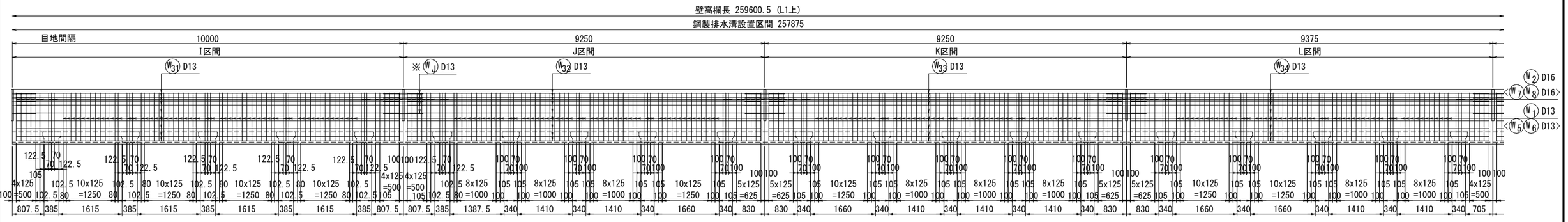
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 PC床版接合部配筋図(その9)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	155 / 212

P5～P9 壁高欄配筋図(その1)　S=1:50

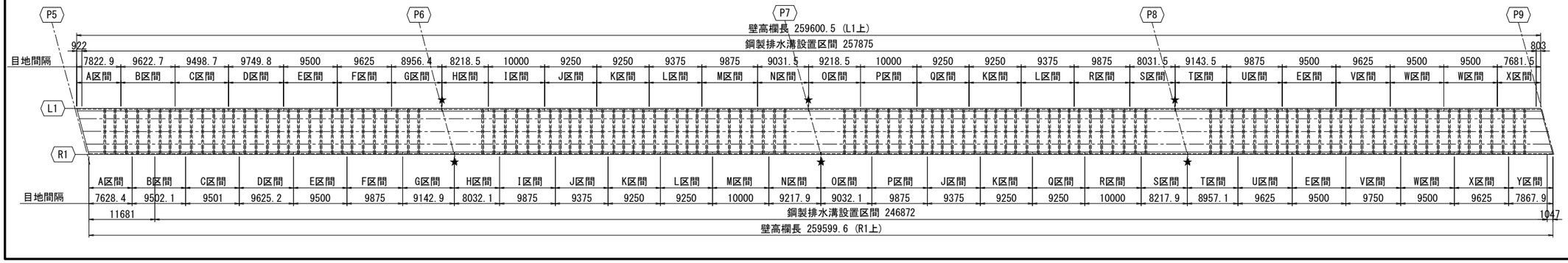
L 側　側 面 図







配 置 図

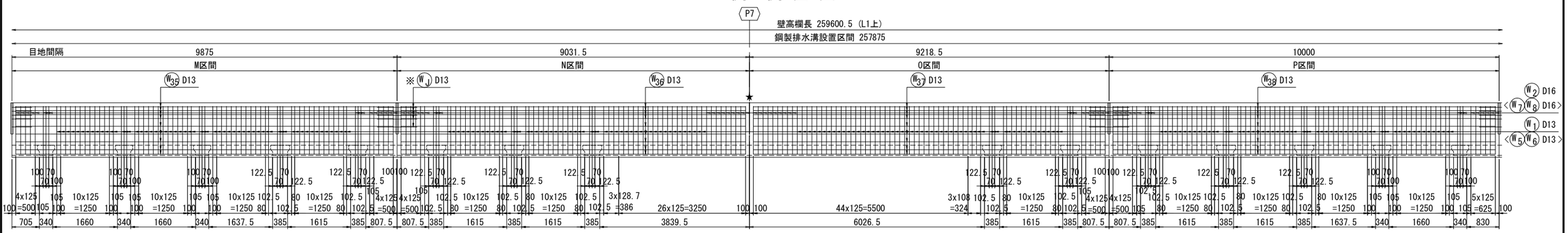


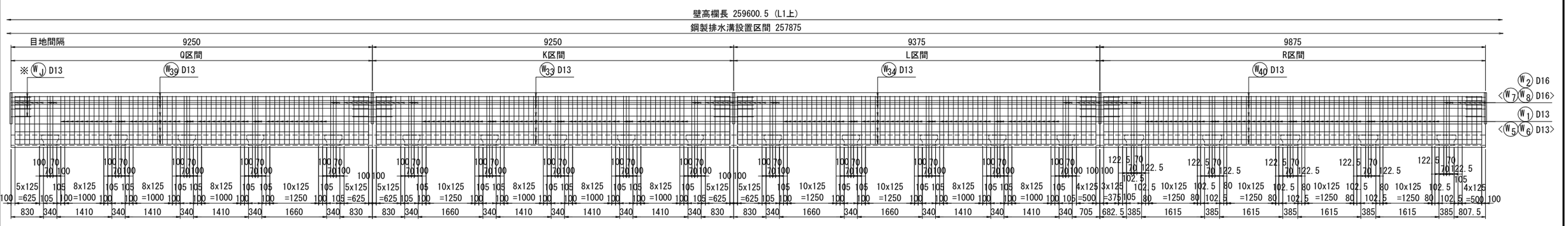
実　施

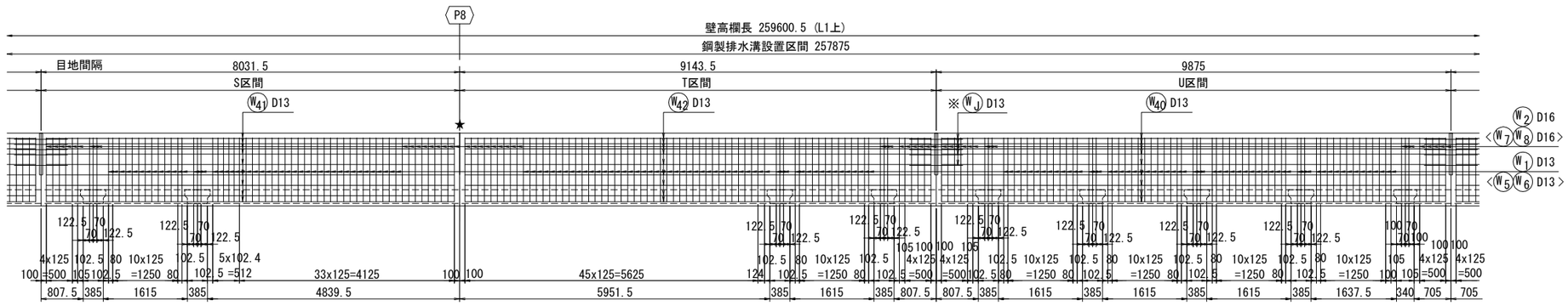
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 壁高欄配筋図(その1)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	156 / 212

P5～P9 壁高欄配筋図(その2)　S=1:50

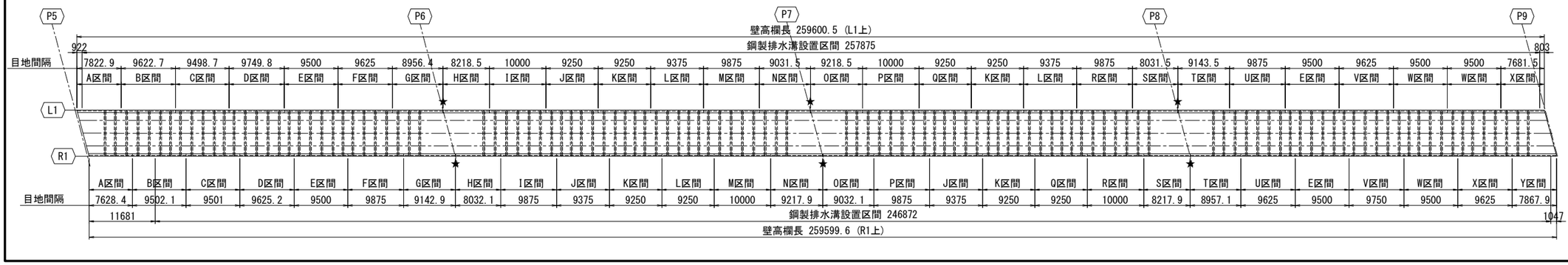
L 側　側 面 図







配 置 図

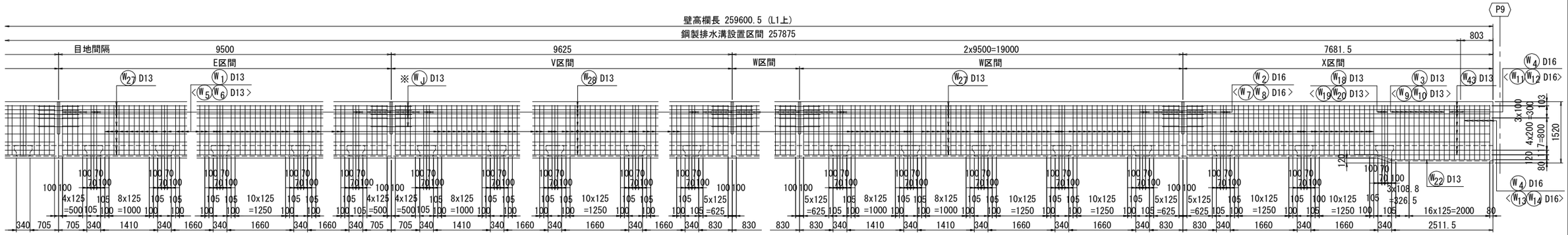


実　施

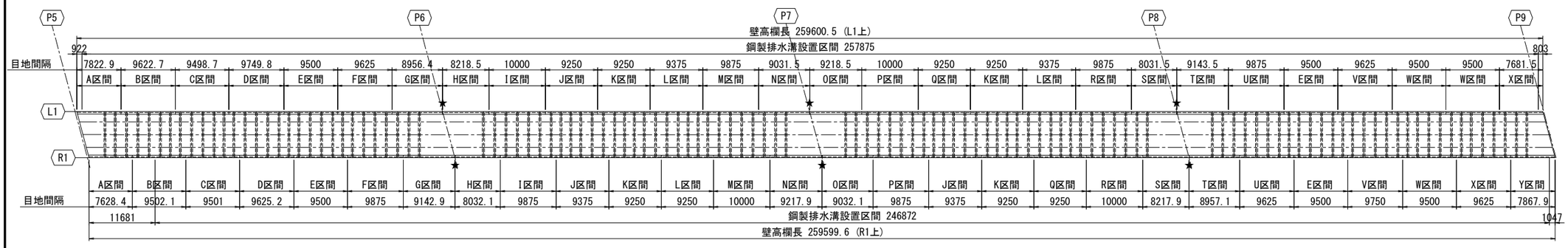
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（1号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 壁高欄配筋図(その2)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	157 / 212

P5～P9 壁高欄配筋図(その3)　S=1:50

L 側　側 面 図



配 置 図

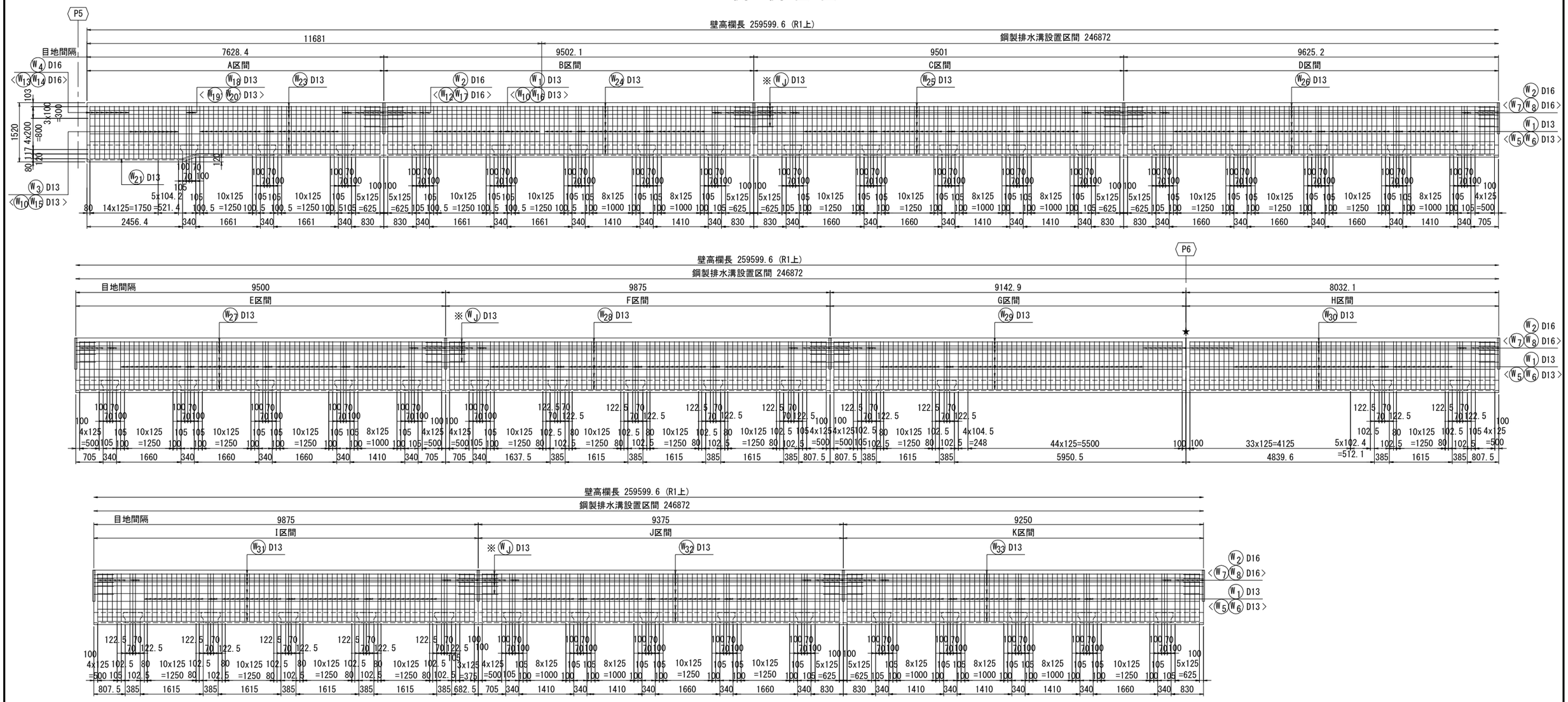


実　施

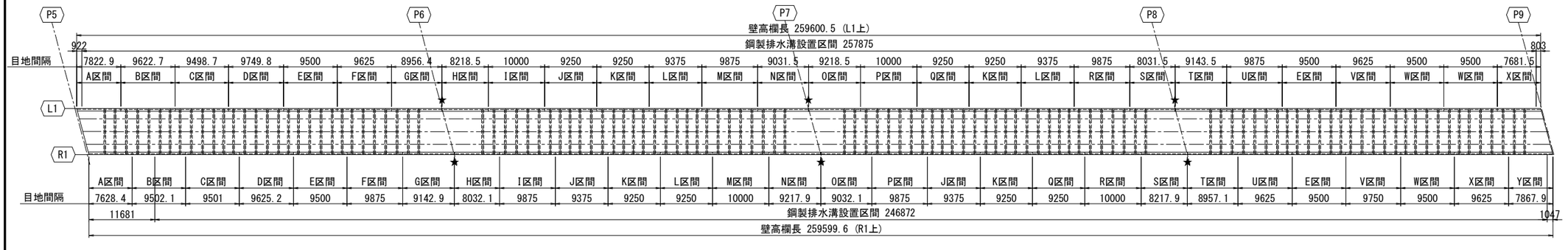
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 壁高欄配筋図(その3)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	158 / 212

P5～P9 壁高欄配筋図(その4)　S=1:50

R 側　側 面 図



配 置 図

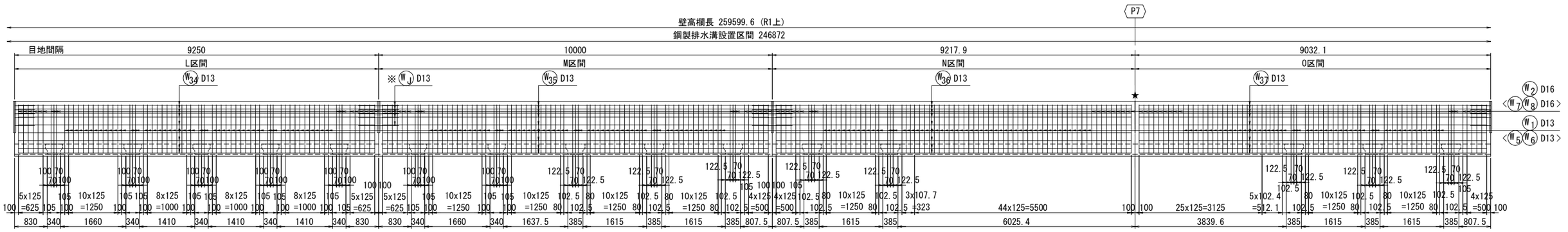


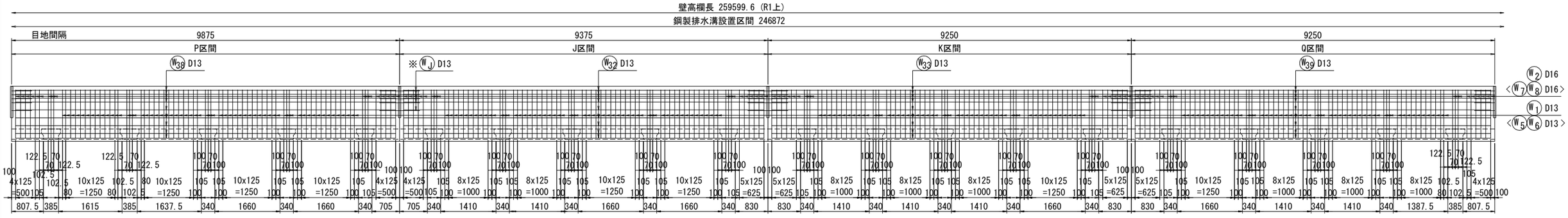
実　施

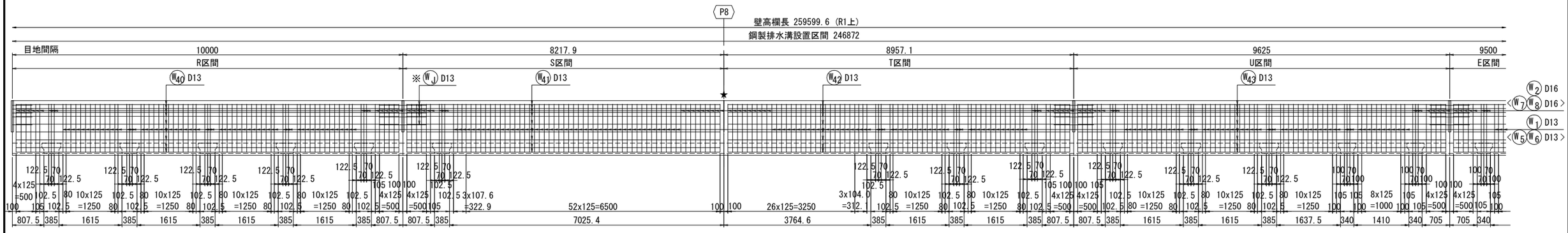
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 壁高欄配筋図(その4)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	159 / 212

P5～P9 壁高欄配筋図(その5)　S=1:50

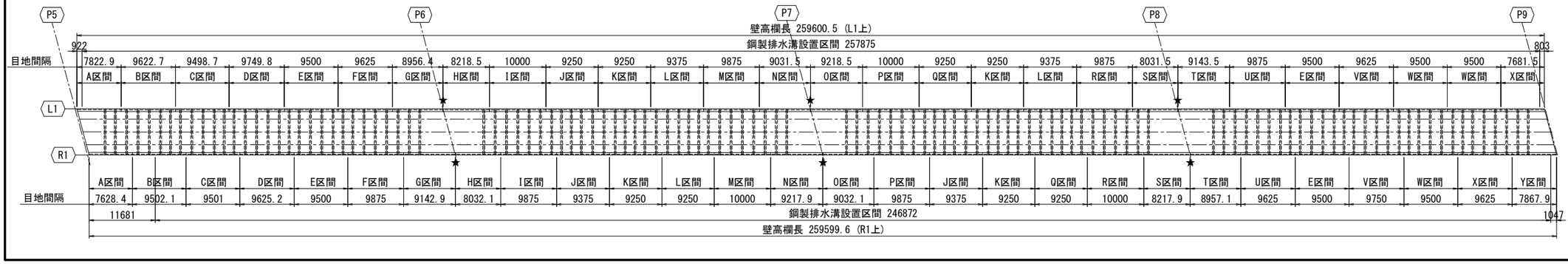
R 側　側 面 図







配 置 図

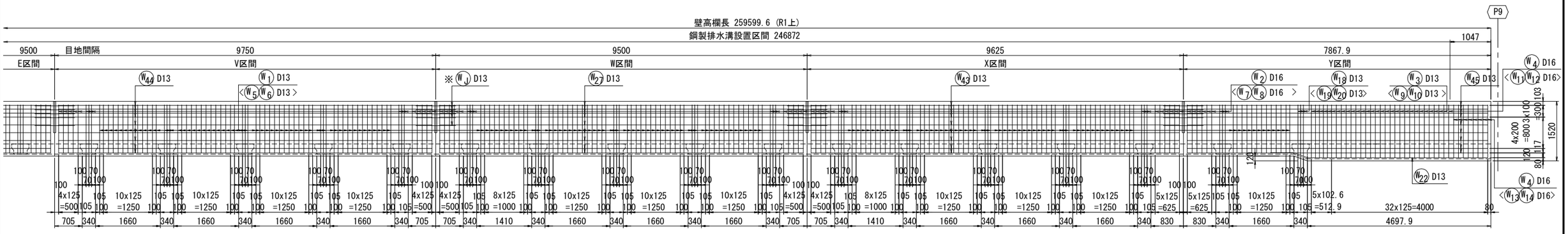


実　施

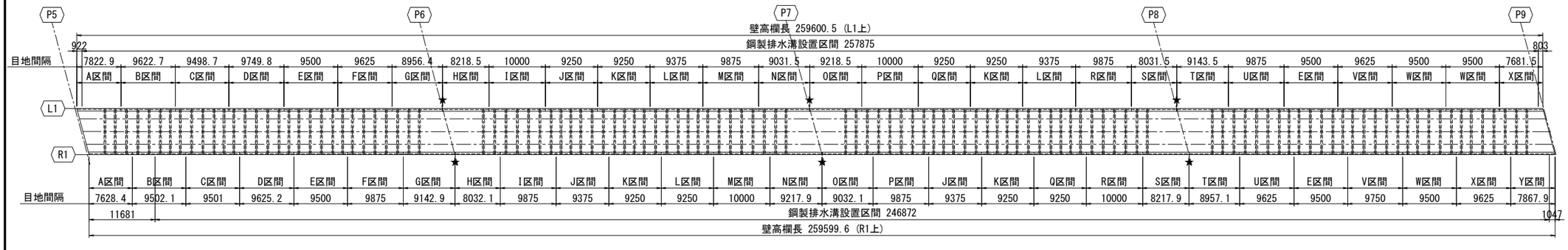
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 壁高欄配筋図(その5)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	160 / 212

P5～P9 壁高欄配筋図(その6)　S=1:50

R 側　側 面 図



配 置 図



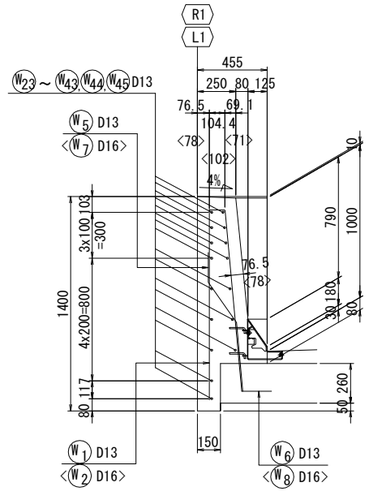
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 壁高欄配筋図(その6)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	161 / 212

P5～P9 壁高欄配筋図(その7)

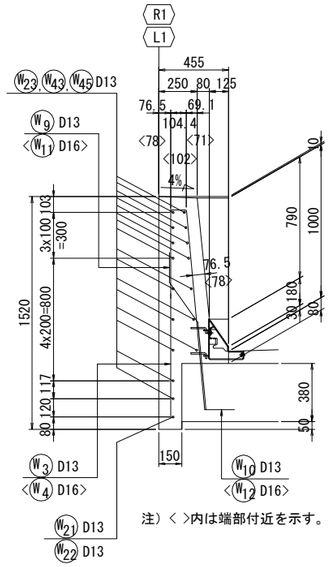
断　面　図 S=1:20

中間部・鋼製排水溝設置区間



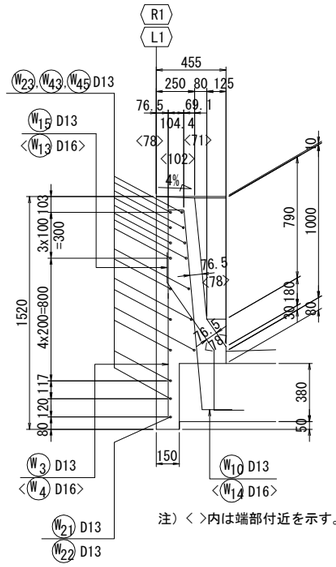
注）〈 〉内は目地付近を示す。

端部・鋼製排水溝設置区間



注）〈 〉内は端部付近を示す。

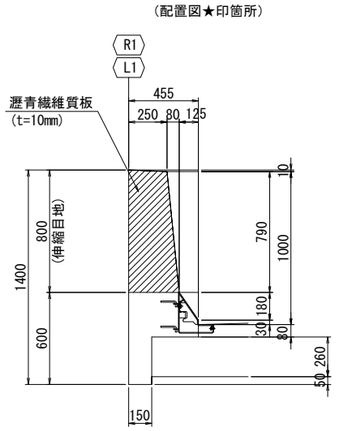
端部・鋼製排水溝未設置区間



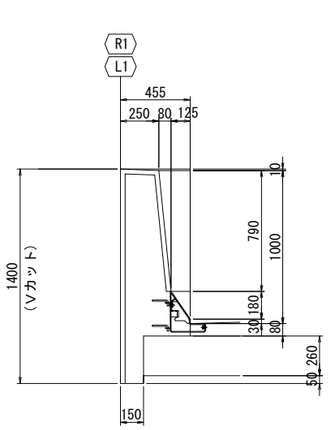
注）〈 〉内は端部付近を示す。

伸縮目地詳細図

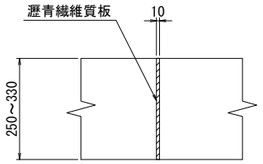
（配置図★印箇所）



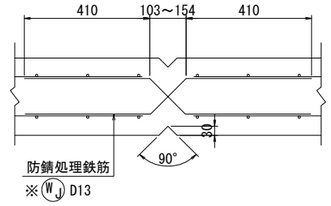
収縮目地詳細図



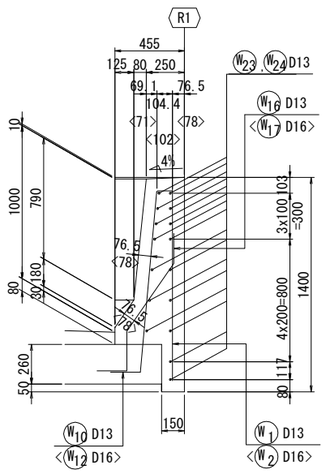
伸縮目地断面図 S=1:10



Vカット部断面図 S=1:10

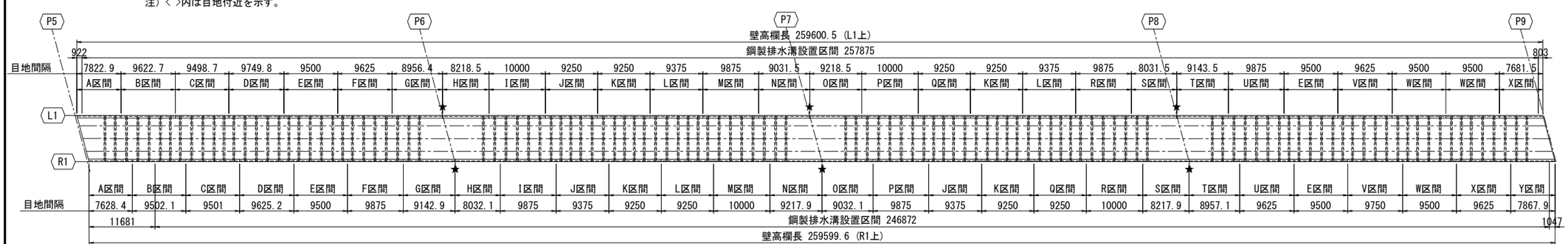


中間部・鋼製排水溝未設置区間



注）〈 〉内は目地付近を示す。

配　置　図

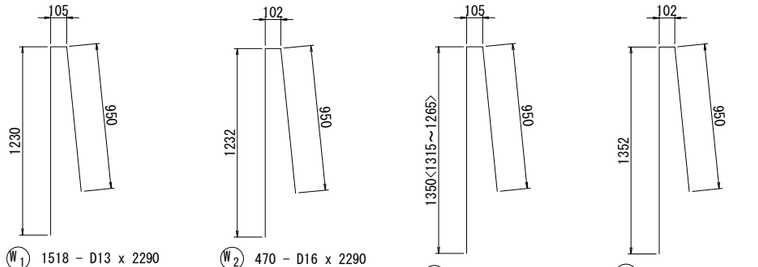


実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 壁高欄配筋図(その7)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	162 / 212

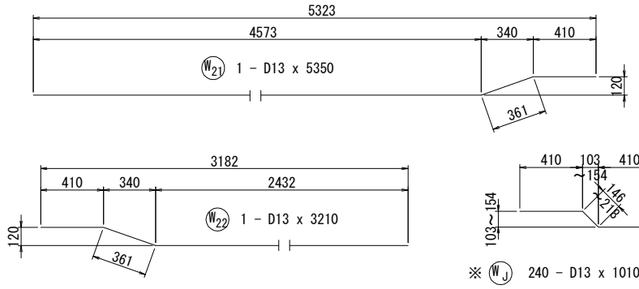
P5～P9 壁高欄配筋図(その8) S=1:20

L側加工筋

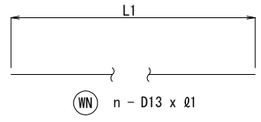


(W1) 1518 - D13 x 2290　(W2) 470 - D16 x 2290　(W3) 39 - D13 x 2410　(W4) 18 - D16 x 2410

< (W18) 6 - D13 x 2350(平均長) >



※ (WJ) 240 - D13 x 1010(平均長)



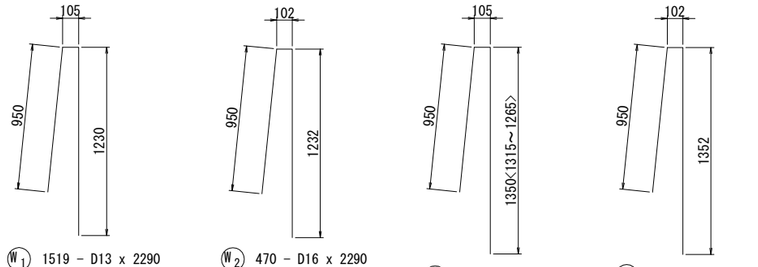
(WN) n - D13 x ℓ1

区間	Wn	L1	ℓ1	n
A	W23	7643	7650	15
B	W24	9423	9430	15
C	W25	9299	9300	15
D	W26	9550	9550	15
E,W	W27	9300	9300	60
F,V	W28	9425	9430	30
G	W29	8756	8760	15
H	W30	8104	8110	15
I	W31	9715	9720	15
J	W32	9050	9050	15
K	W33	9050	9050	30
L	W34	9175	9180	30
M	W35	9675	9680	15
N	W36	8832	8840	15
O	W37	9019	9020	15
P	W38	9800	9800	15
Q	W39	9050	9050	15
R,U	W40	9675	9680	30
S	W41	7832	7840	15
T	W42	8944	8950	15
X	W43	7502	7510	15

材 料 表

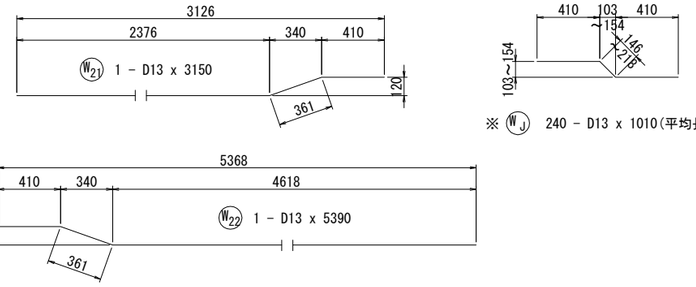
記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (Kg/m)	1本当たり質量 (Kg)	質量 (Kg)	摘 要
壁高欄 L1側							
W 1	D13	2290	1518	0.995	2.28	3461	
W 2	D16	2290	470	1.56	3.57	1678	
W 3	D13	2410	39	0.995	2.40	94	
W 4	D16	2410	18	1.56	3.76	68	
W18	D13	2350	6	0.995	2.34	14	(平均長)
W21	D13	5350	1	0.995	5.32	5	
W22	D13	3210	1	0.995	3.19	3	
W23	D13	7650	15	0.995	7.61	114	
W24	D13	9430	15	0.995	9.38	141	
W25	D13	9300	15	0.995	9.25	139	
W26	D13	9550	15	0.995	9.50	143	
W27	D13	9300	60	0.995	9.25	555	
W28	D13	9430	30	0.995	9.38	281	
W29	D13	8760	15	0.995	8.72	131	
W30	D13	8110	15	0.995	8.07	121	
W31	D13	9720	15	0.995	9.67	145	
W32	D13	9050	15	0.995	9.00	135	
W33	D13	9050	30	0.995	9.00	270	
W34	D13	9180	30	0.995	9.13	274	
W35	D13	9680	15	0.995	9.63	144	
W36	D13	8840	15	0.995	8.80	132	
W37	D13	9020	15	0.995	8.97	135	
W38	D13	9800	15	0.995	9.75	146	
W39	D13	9050	15	0.995	9.00	135	
W40	D13	9680	30	0.995	9.63	289	
W41	D13	7840	15	0.995	7.80	117	
W42	D13	8950	15	0.995	8.91	134	
W43	D13	7510	15	0.995	7.47	112	
※ W J	D13	1010	240	0.995	1.00	240	(平均長)
					合 計	9356 Kg	
鉄筋質量				D16 (SD345)		1746 Kg	
				D13 (SD345)		7370 Kg	
				※エポキシ鉄筋 D13 (SD345)		240 Kg	
					合 計	9351 Kg	

R側加工筋

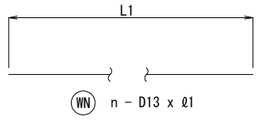


(W1) 1519 - D13 x 2290　(W2) 470 - D16 x 2290　(W3) 40 - D13 x 2410　(W4) 18 - D16 x 2410

< (W18) 6 - D13 x 2350(平均長) >



※ (WJ) 240 - D13 x 1010(平均長)



(WN) n - D13 x ℓ1

区間	Wn	L1	ℓ1	n
A	W23	7448	7450	15
B	W24	9302	9310	15
C	W25	9301	9310	15
D	W26	9425	9430	15
E,W	W27	9300	9300	45
F	W28	9675	9680	15
G	W29	8943	8950	15
H	W30	7832	7840	15
I	W31	9675	9680	15
J	W32	9175	9180	30
K	W33	9050	9050	30
L	W34	9050	9050	15
M	W35	9800	9800	15
N	W36	9018	9020	15
O	W37	8832	8840	15
P	W38	9675	9680	15
Q	W39	9050	9050	15
R	W40	9715	9720	15
S	W41	8103	8110	15
T	W42	8757	8760	15
U,X	W43	9425	9430	30
V	W44	9550	9550	15
Y	W45	7688	7690	15

材 料 表

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (Kg/m)	1本当たり質量 (Kg)	質量 (Kg)	摘 要
壁高欄 R1側							
W 1	D13	2290	1519	0.995	2.28	3463	
W 2	D16	2290	470	1.56	3.57	1678	
W 3	D13	2410	40	0.995	2.40	96	
W 4	D16	2410	18	1.56	3.76	68	
W18	D13	2350	6	0.995	2.34	14	(平均長)
W21	D13	3150	1	0.995	3.13	3	
W22	D13	5390	1	0.995	5.36	5	
W23	D13	7450	15	0.995	7.41	111	
W24	D13	9310	15	0.995	9.26	139	
W25	D13	9310	15	0.995	9.26	139	
W26	D13	9430	15	0.995	9.38	141	
W27	D13	9300	45	0.995	9.25	416	
W28	D13	9680	15	0.995	9.63	144	
W29	D13	8950	15	0.995	8.91	134	
W30	D13	7840	15	0.995	7.80	117	
W31	D13	9680	15	0.995	9.63	144	
W32	D13	9180	30	0.995	9.13	274	
W33	D13	9050	30	0.995	9.00	270	
W34	D13	9050	15	0.995	9.00	135	
W35	D13	9800	15	0.995	9.75	146	
W36	D13	9020	15	0.995	8.97	135	
W37	D13	8840	15	0.995	8.80	132	
W38	D13	9680	15	0.995	9.63	144	
W39	D13	9050	15	0.995	9.00	135	
W40	D13	9720	15	0.995	9.67	145	
W41	D13	8110	15	0.995	8.07	121	
W42	D13	8760	15	0.995	8.72	131	
W43	D13	9430	30	0.995	9.38	281	
W44	D13	9550	15	0.995	9.50	143	
W45	D13	7690	15	0.995	7.65	115	
※ W J	D13	1010	240	0.995	1.00	240	(平均長)
					合 計	9359 Kg	
鉄筋質量				D16 (SD345)		1746 Kg	
				D13 (SD345)		7373 Kg	
				※エポキシ鉄筋 D13 (SD345)		240 Kg	
					合 計	9359 Kg	

注記

1. 鉄筋コンクリート強度は σck = 24N/mm² とする。
2. 鉄筋の材質は全てSD345とする。
3. 平面及び縦断線形等は線形図参照のこと。
4. ※印鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

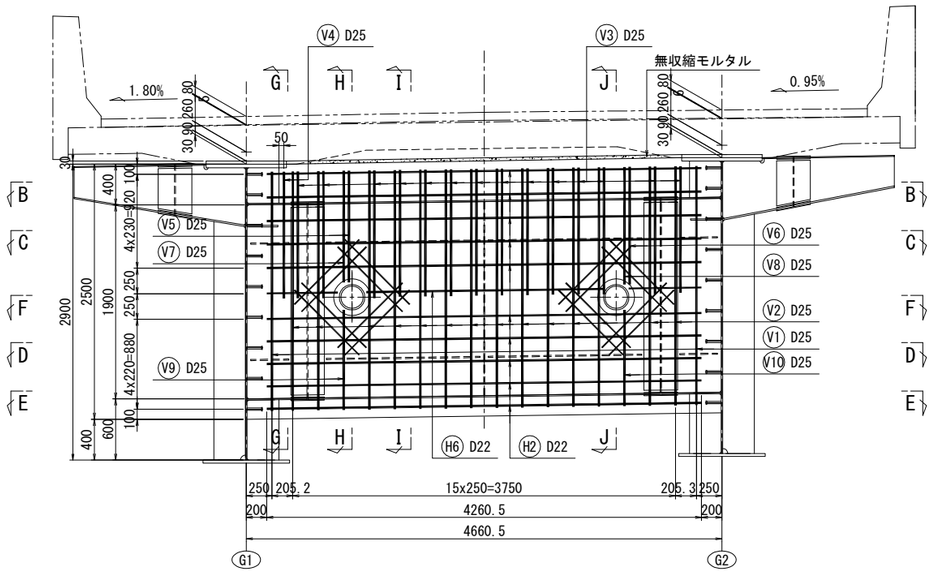
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 壁高欄配筋図(その8)		
縮尺	1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	163 / 212

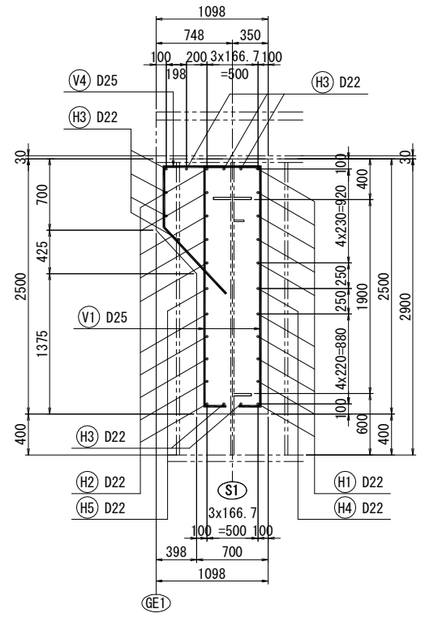
P5～P9 巻き立てコンクリート(その1)　S=1:30

S1 端支点上横桁部

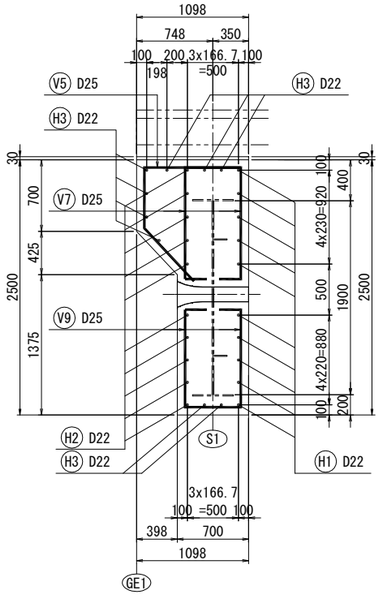
A － A



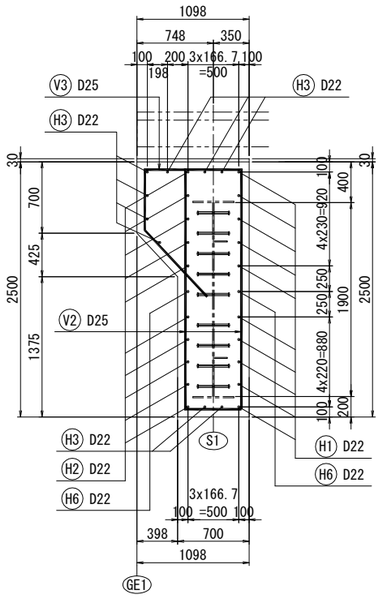
G － G



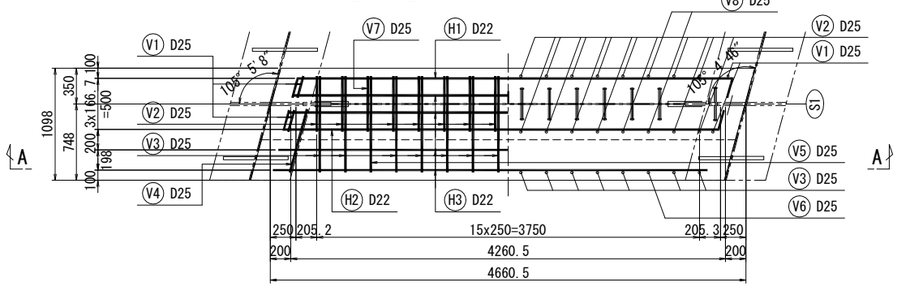
H － H



I － I

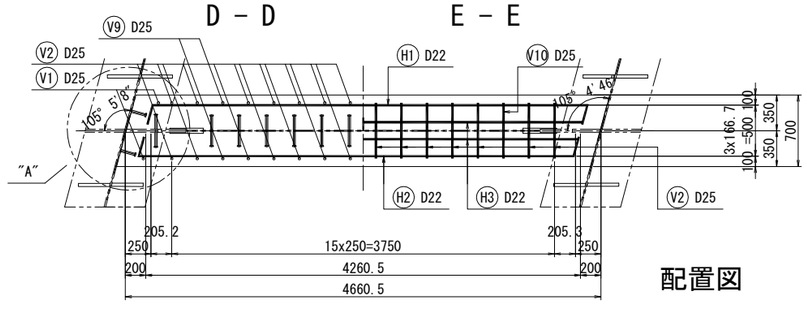


B － B



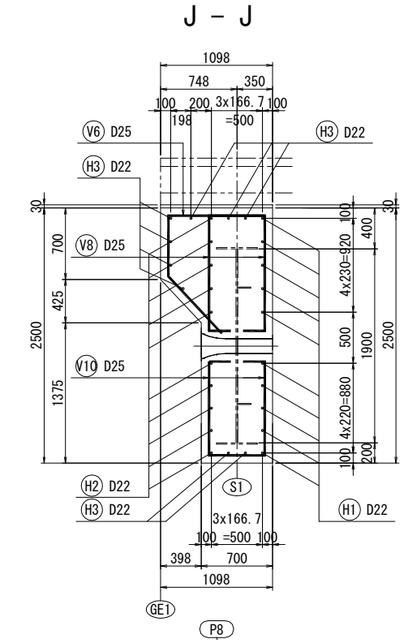
C － C

D － D

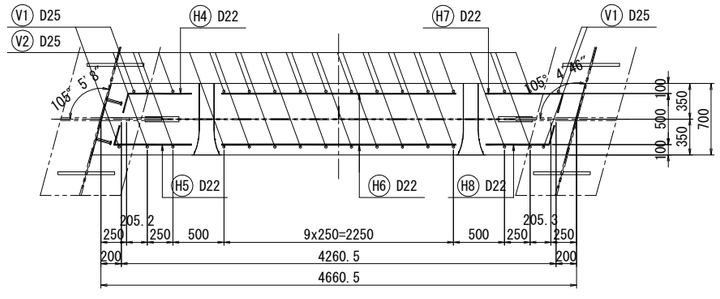


E － E

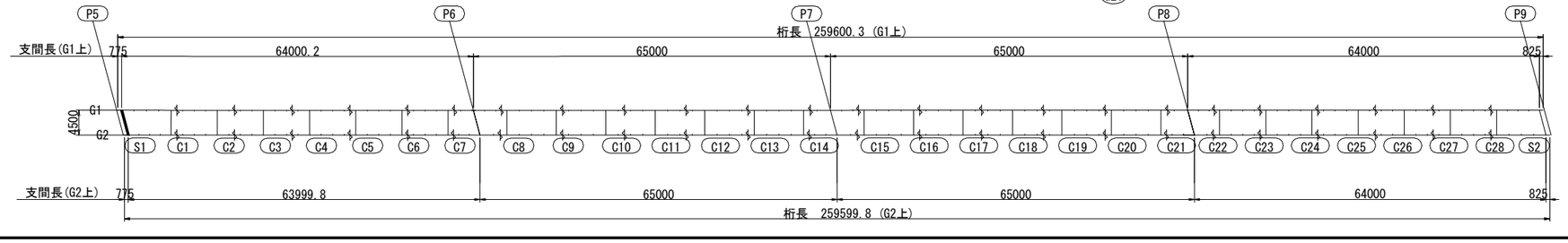
J － J



F － F



配置図

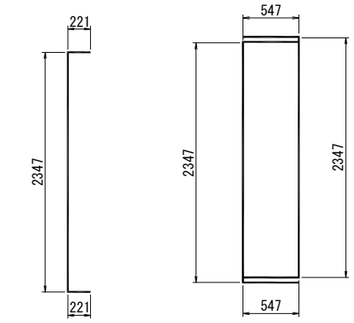


実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 巻き立てコンクリート(その1)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	164 / 212

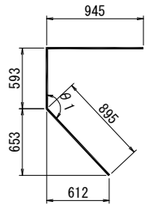
P5～P9 巻き立てコンクリート(その2)　S=1:30

S1 端支点上横桁部

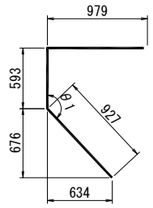


V1　4-D25x2790

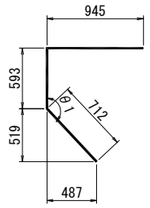
V2　28-D25x3450



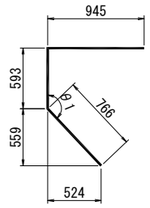
V3　14-D25x2440



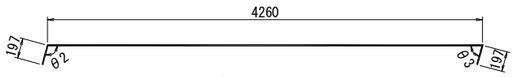
V4　1-D25x2500



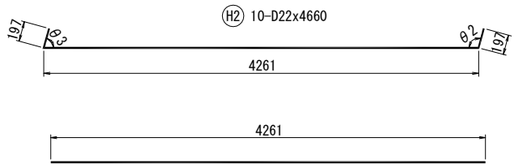
V5　1-D25x2250



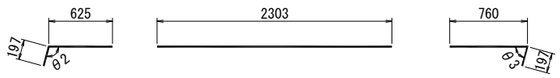
V6　1-D25x2310



H1　10-D22x4660



H3　9-D22x4270

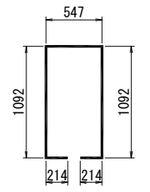


H4　1-D22x830　　H6　2-D22x2310　　H7　1-D22x960

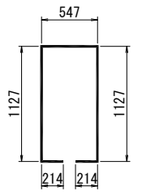


H5　1-D22x960　　H8　1-D22x830

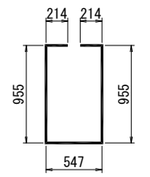
θ1	136° 51′29″
θ2	105° 4′46″
θ3	74° 54′52″



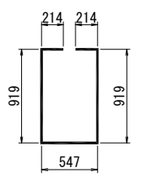
V7　1-D25x3160



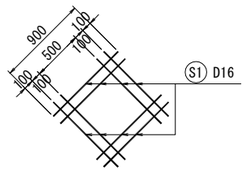
V8　1-D25x3230



V9　1-D25x2890

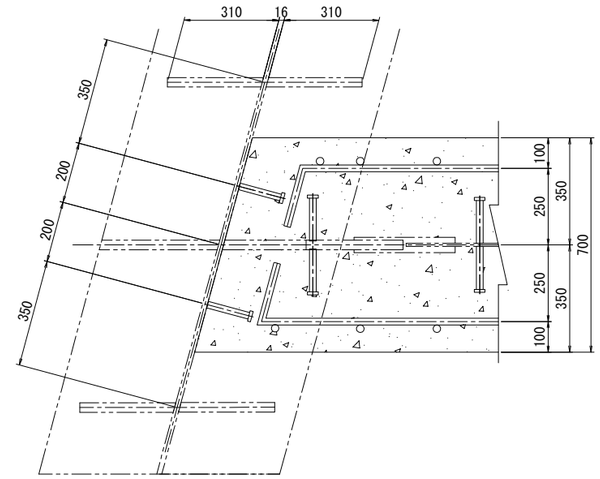


V10　1-D25x2820



S1　32-D16x900

"A"部詳細　S=1:10



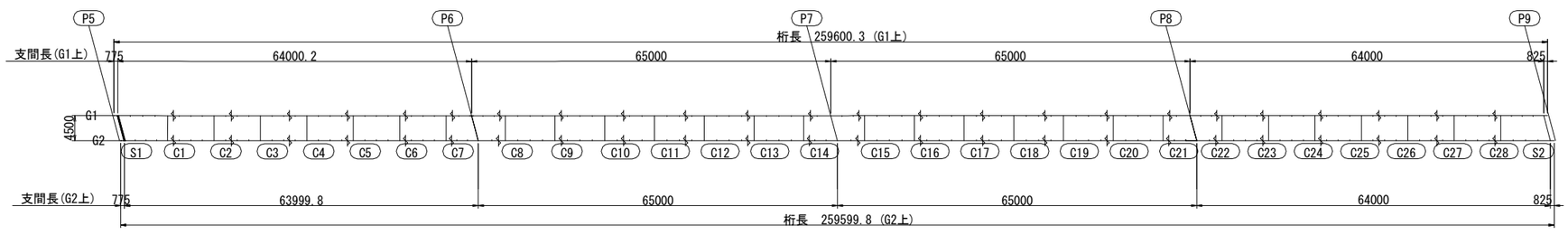
材料表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当質量	質量	摘要
V1	D25	2790	4	3.980	11.10	44	[
V2	D25	3450	28	3.980	13.73	384	[
V3	D25	2440	14	3.980	9.71	136	⊂
V4	D25	2500	1	3.980	9.95	10	⊂
V5	D25	2250	1	3.980	8.96	9	⊂
V6	D25	2310	1	3.980	9.19	9	⊂
V7	D25	3160	1	3.980	12.58	13	□
V8	D25	3230	1	3.980	12.86	13	□
V9	D25	2890	1	3.980	11.50	12	□
V10	D25	2820	1	3.980	11.22	11	□
H1	D22	4660	10	3.040	14.17	142	——
H2	D22	4660	10	3.040	14.17	142	——
H3	D22	4270	9	3.040	12.98	117	——
H4	D22	830	1	3.040	2.52	3	⌐
H5	D22	960	1	3.040	2.92	3	⌐
H6	D22	2310	2	3.040	7.02	14	——
H7	D22	960	1	3.040	2.92	3	¬
H8	D22	830	1	3.040	2.52	3	⌐
S1	D16	900	32	1.560	1.40	45	——

鉄筋質量(SD345)	D16	45 kg
	D22	427 kg
	D25	641 kg
	合計	1113 kg

コンクリート体積 (σck = 30N/mm2)	9.83 m3
無収縮モルタル体積	0.13 m3
型枠面積	27.30 m2

配置図



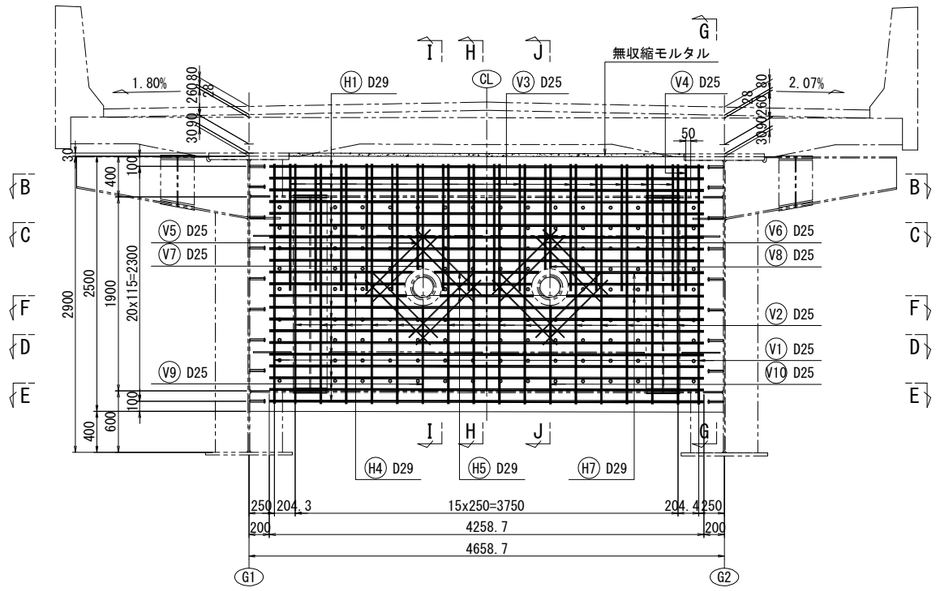
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 巻き立てコンクリート(その2)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	165 / 212

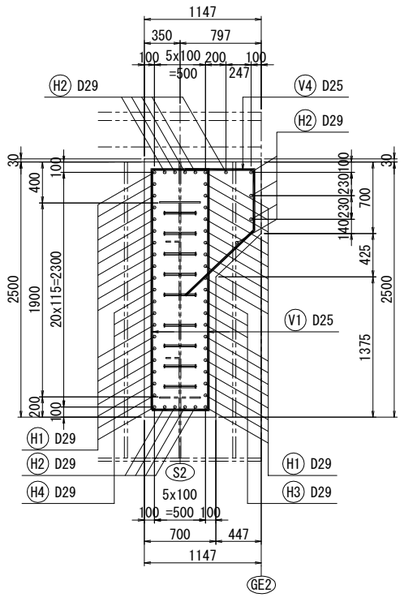
P5～P9 巻き立てコンクリート(その3)　S=1:30

S2 端支点上横桁部

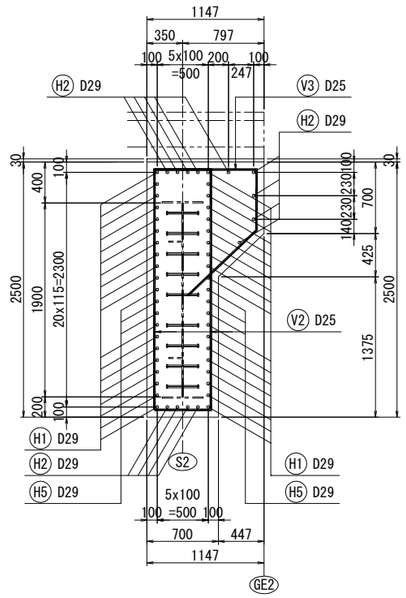
A － A



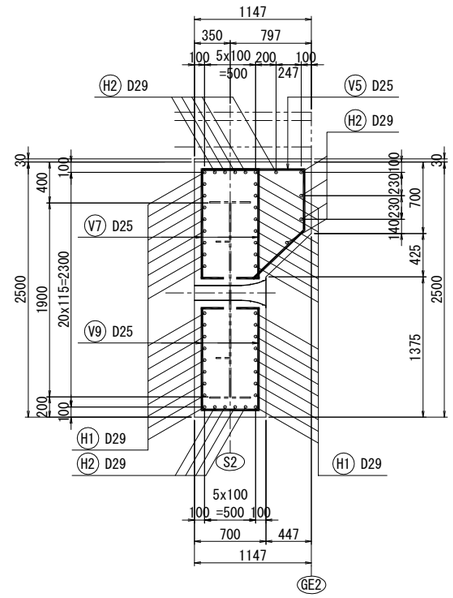
G － G



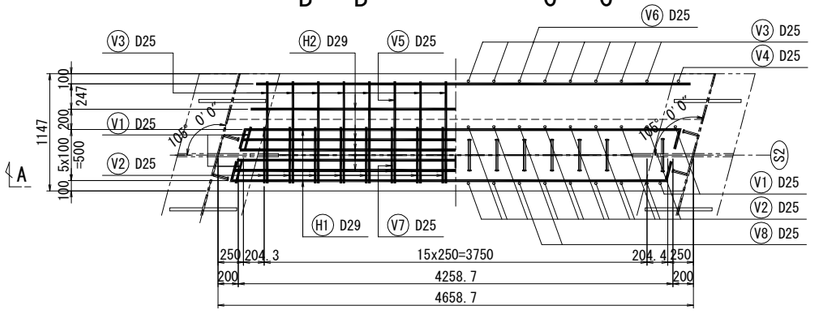
H － H



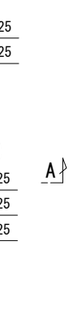
I － I



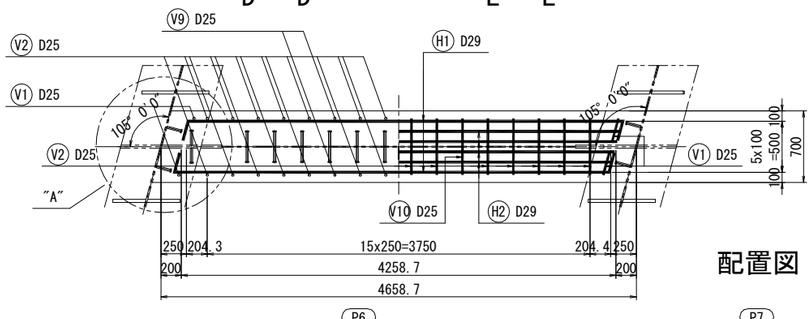
B － B



C － C

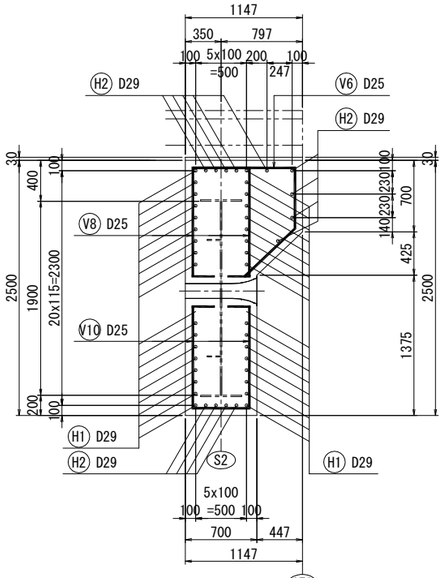


D － D

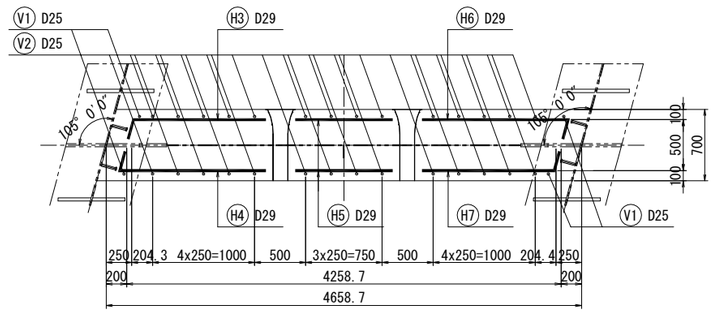


E － E

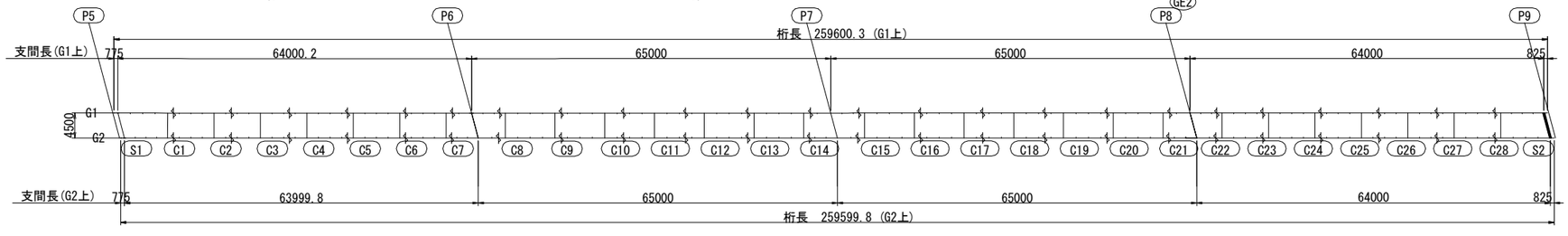
J － J



F － F



配置図



実　施

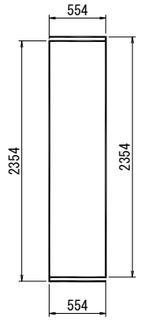
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 巻き立てコンクリート(その3)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	166 / 212

P5～P9 巻き立てコンクリート(その4)　S=1:30

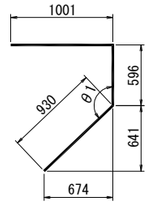
S2 端支点上横桁部



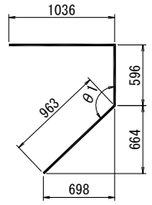
V1　4-D25x2810



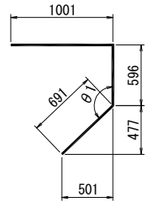
V2　28-D25x3470



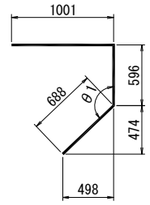
V3　14-D25x2530



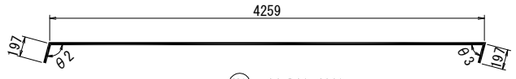
V4　1-D25x2600



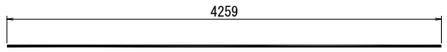
V5　1-D25x2290



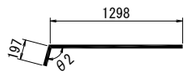
V6　1-D25x2290



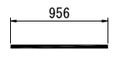
H1　36-D29x4660



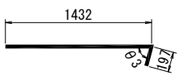
H2　13-D29x4260



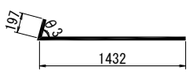
H3　3-D29x1500



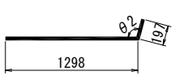
H5　6-D29x960



H6　3-D29x1630

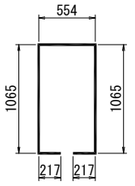


H4　3-D29x1630

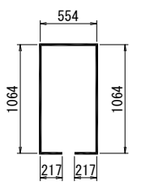


H7　3-D29x1500

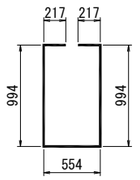
θ1	133° 33′ 45″
θ2	105° 00′ 00″
θ3	75° 00′ 00″



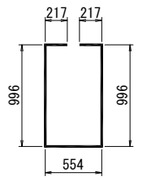
V7　1-D25x3120



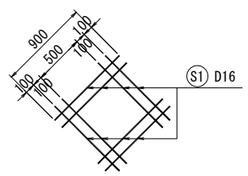
V8　1-D25x3120



V9　1-D25x2980

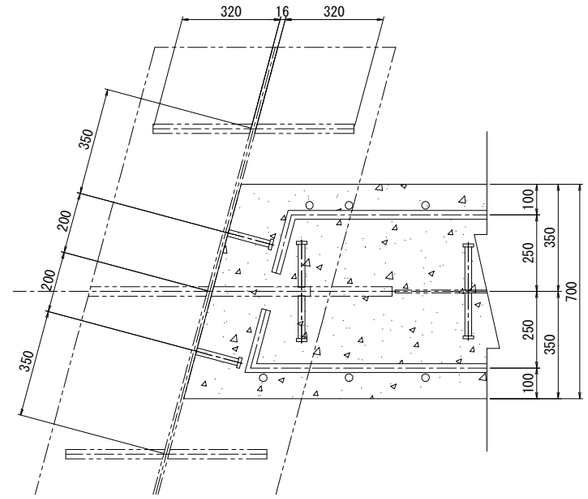


V10　1-D25x2980



S1　32-D16x900

"A"部詳細　S=1:10

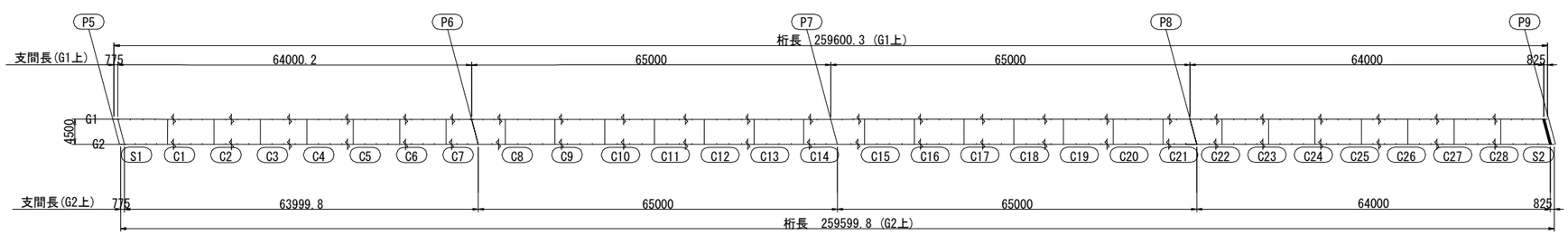


材料表

記 号	径	長 さ	本数	単位質量	1本当質量	質 量	摘 要
V1	D25	2810	4	3.980	11.18	45	[
V2	D25	3470	28	3.980	13.81	387	[
V3	D25	2530	14	3.980	10.07	141	フ
V4	D25	2600	1	3.980	10.35	10	フ
V5	D25	2290	1	3.980	9.11	9	フ
V6	D25	2290	1	3.980	9.11	9	フ
V7	D25	3120	1	3.980	12.42	12	□
V8	D25	3120	1	3.980	12.42	12	□
V9	D25	2980	1	3.980	11.86	12	□
V10	D25	2980	1	3.980	11.86	12	□
H1	D29	4660	36	5.040	23.49	846	――
H2	D29	4260	13	5.040	21.47	279	――
H3	D29	1500	3	5.040	7.56	23	⌙
H4	D29	1630	3	5.040	8.22	25	⌐
H5	D29	960	6	5.040	4.84	29	――
H6	D29	1630	3	5.040	8.22	25	⌙
H7	D29	1500	3	5.040	7.56	23	¬
S1	D16	900	32	1.560	1.40	45	――

鉄筋質量(SD345)	D16	45 kg
	D25	649 kg
	D29	1250 kg
	合計	1944 kg
コンクリート体積 (σck = 30N/mm2)		10.03 m3
無収縮モルタル体積		0.13 m3
型枠面積		27.45 m2

配置図



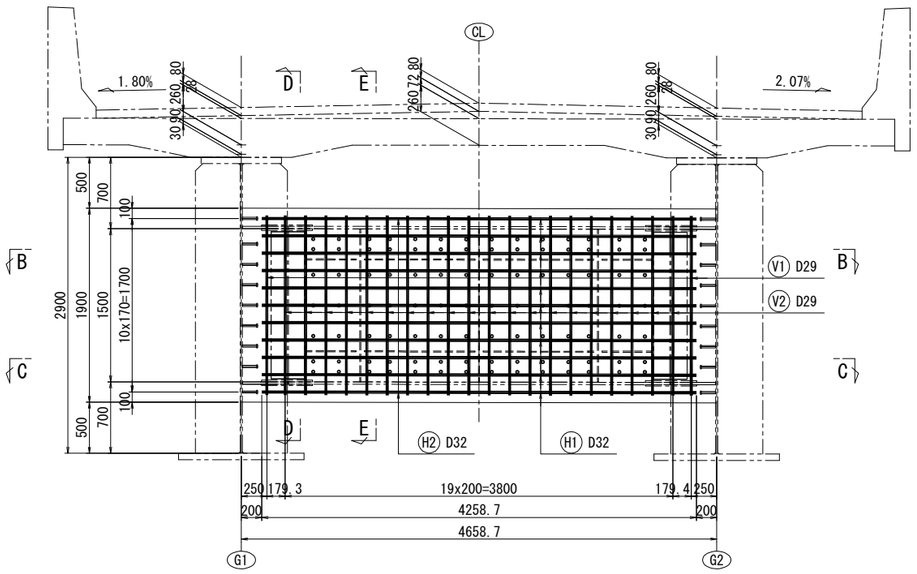
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	**P5～P9 巻き立てコンクリート(その4)**		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	167 / 212

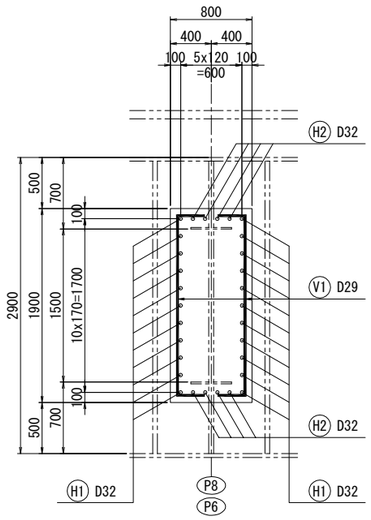
P5～P9 巻き立てコンクリート(その5)　S=1:30

P6,P8 中間支点上横桁部

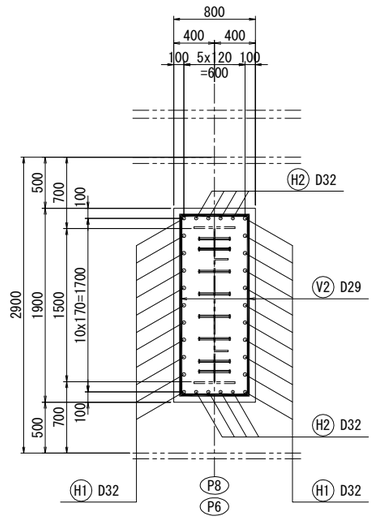
A － A

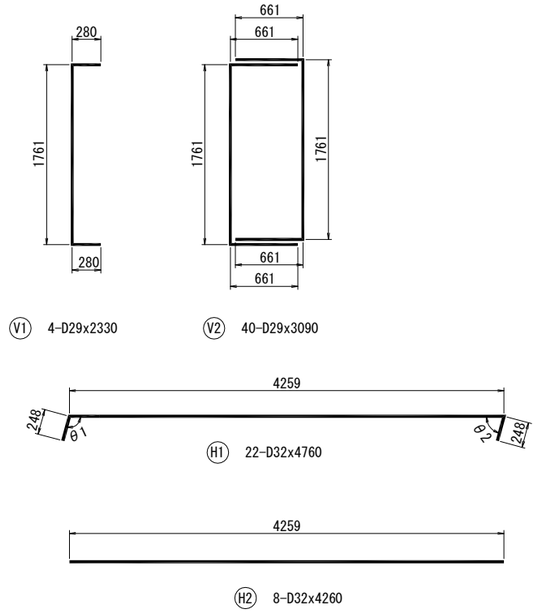


D － D

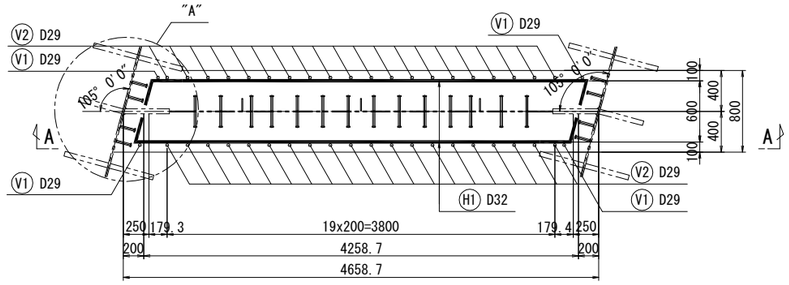


E － E

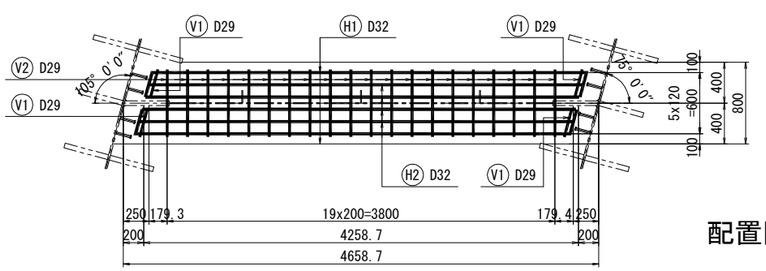




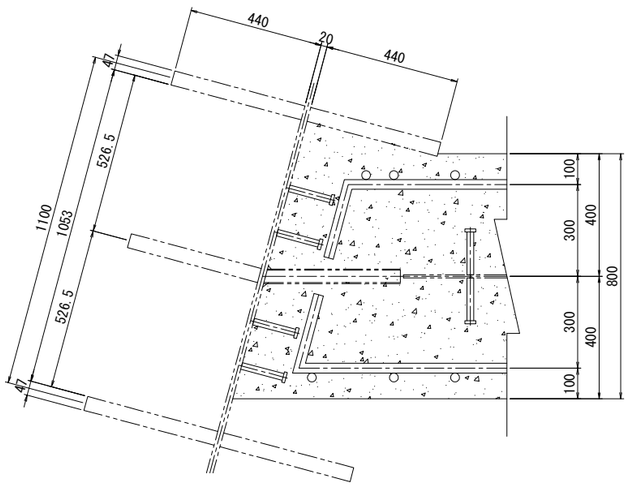
B － B



C － C



"A部詳細"　縮尺=1:10



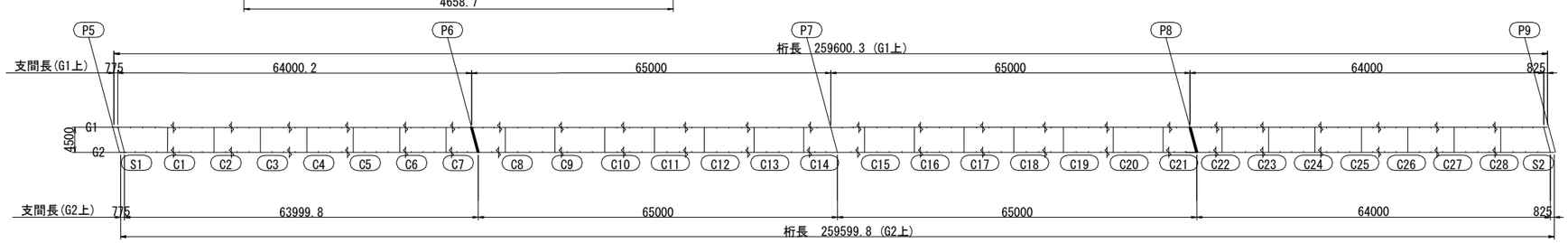
材料表

記 号	径	長 さ	本数	単位質量	1本当質量	質 量	摘 要
V1	D29	2330	4	5.040	11.74	47	[
V2	D29	3090	40	5.040	15.57	623	[
H1	D32	4760	22	6.230	29.65	652	⌒
H2	D32	4260	8	6.230	26.54	212	―

鉄筋質量(SD345)	D29	670 kg
	D32	864 kg
	合計	1534 kg
コンクリート体積 (σck = 30N/mm2)		7.08 m3
型枠面積		21.43 m2

θ1	105° 00' 00"
θ2	75° 00' 00"

配置図



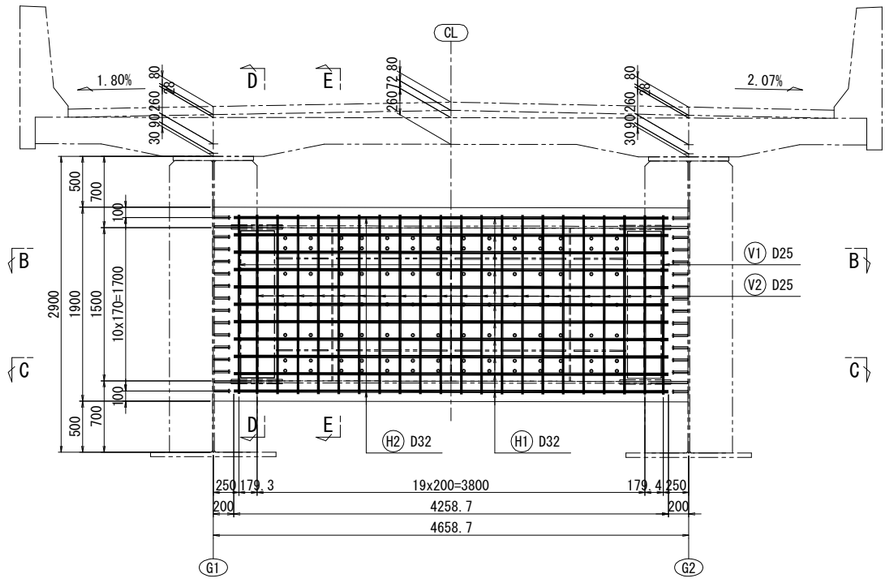
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	**P5～P9 巻き立てコンクリート(その5)**		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	168 / 212

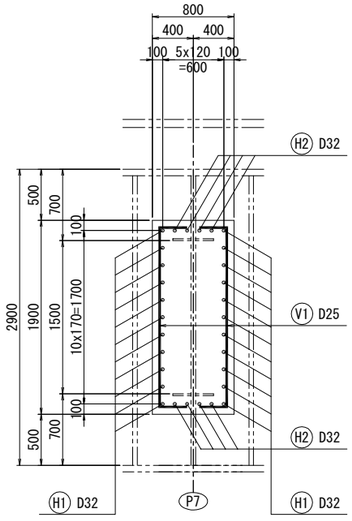
P5～P9 巻き立てコンクリート(その6)　S=1:30

P7 中間支点上横桁部

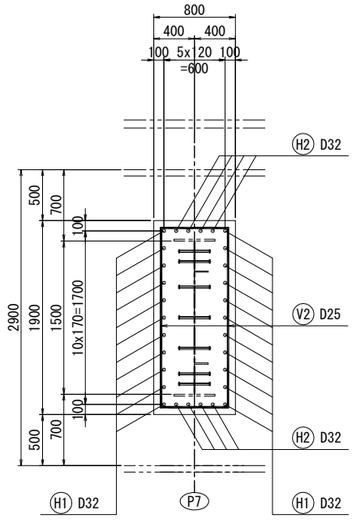
A － A

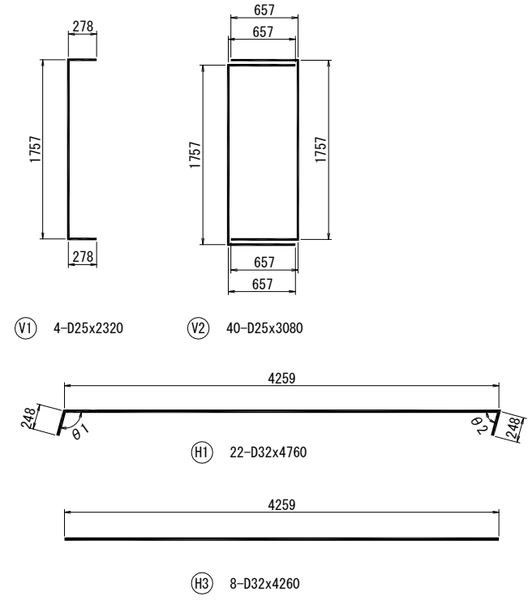


D － D



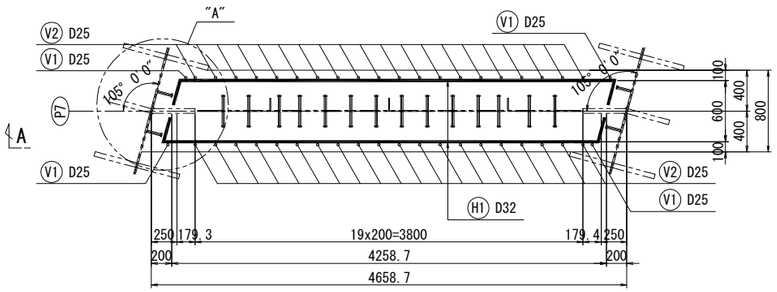
E － E



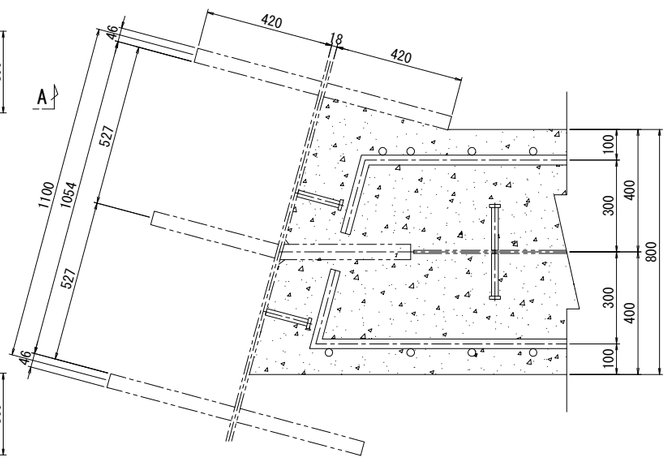


θ1	105° 00′ 00″
θ2	75° 00′ 00″

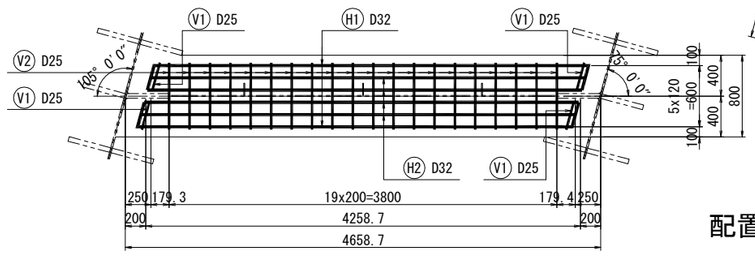
B － B



"A"部詳細　1:10



C － C

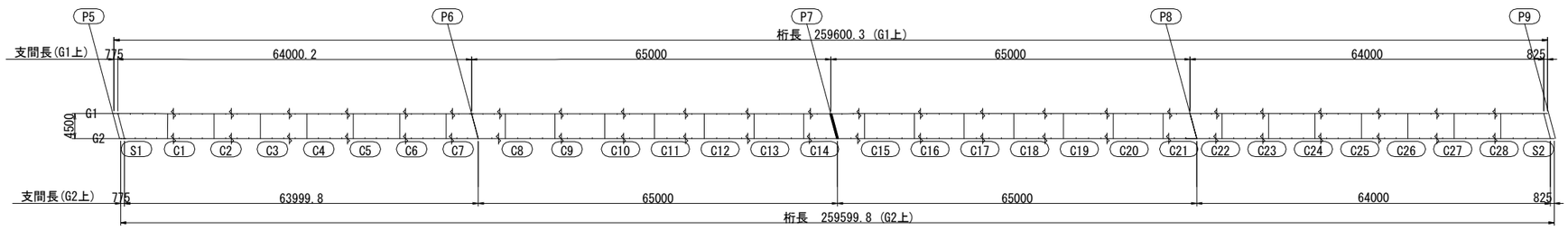


材料表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当質量	質量	摘要
V1	D25	2320	4	3.980	9.23	37	[
V2	D25	3080	40	3.980	12.26	490	[
H1	D32	4760	22	6.230	29.65	652	⌒
H2	D32	4260	8	6.230	26.54	212	―

鉄筋質量(SD345)	D25	527 kg
	D32	864 kg
	合計	1391 kg
コンクリート体積 (σck = 30N/mm2)		7.08 m3
型枠面積		21.43 m2

配置図



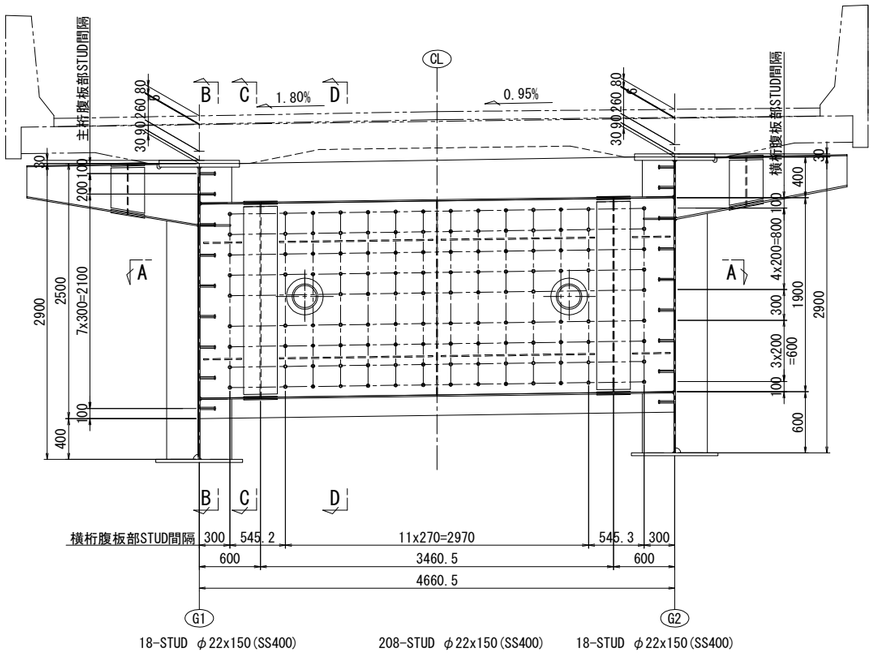
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	**P5～P9 巻き立てコンクリート(その6)**		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	169 / 212

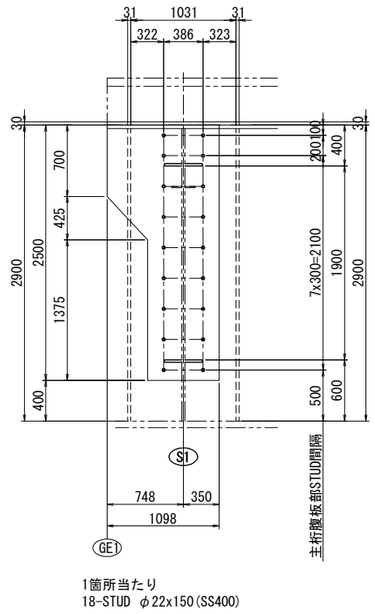
P5～P9 巻き立てコンクリート(その7)　S=1:30

S1 端支点上横桁部スタッド配置図

横桁腹板部

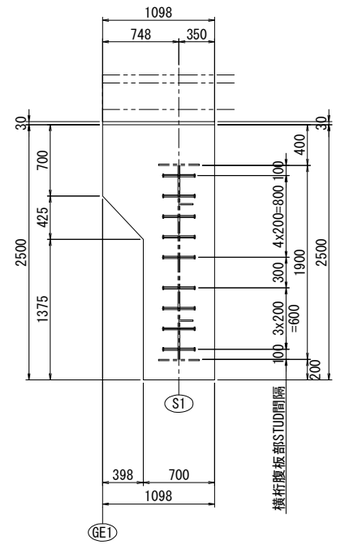


B - B

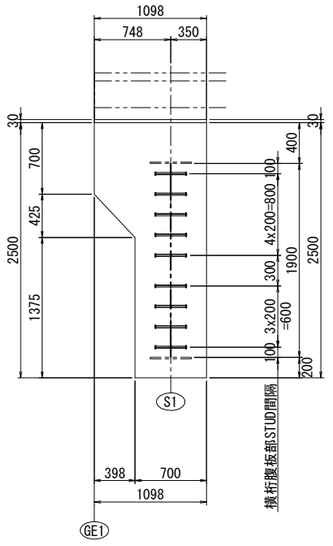


1箇所当たり
18-STUD φ22x150(SS400)

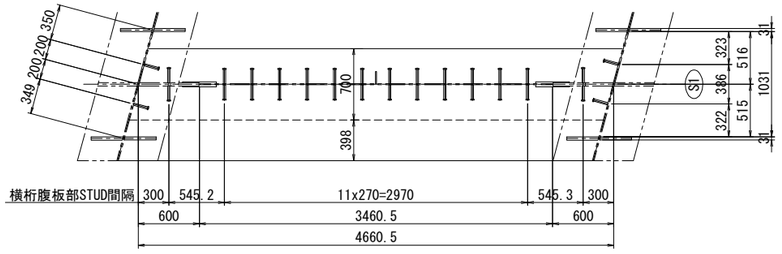
C - C



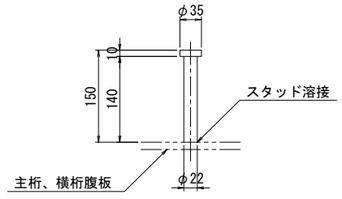
D - D



A - A

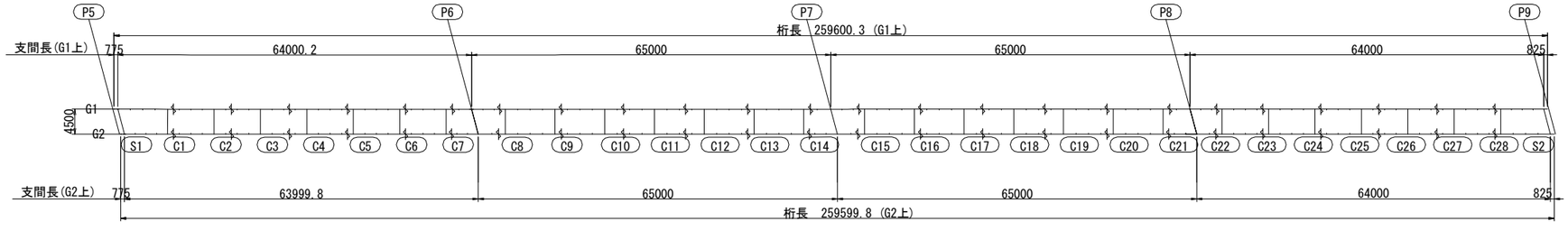


スタッド詳細　S=1:5



1-STUD φ22x150(SS400)

配置図



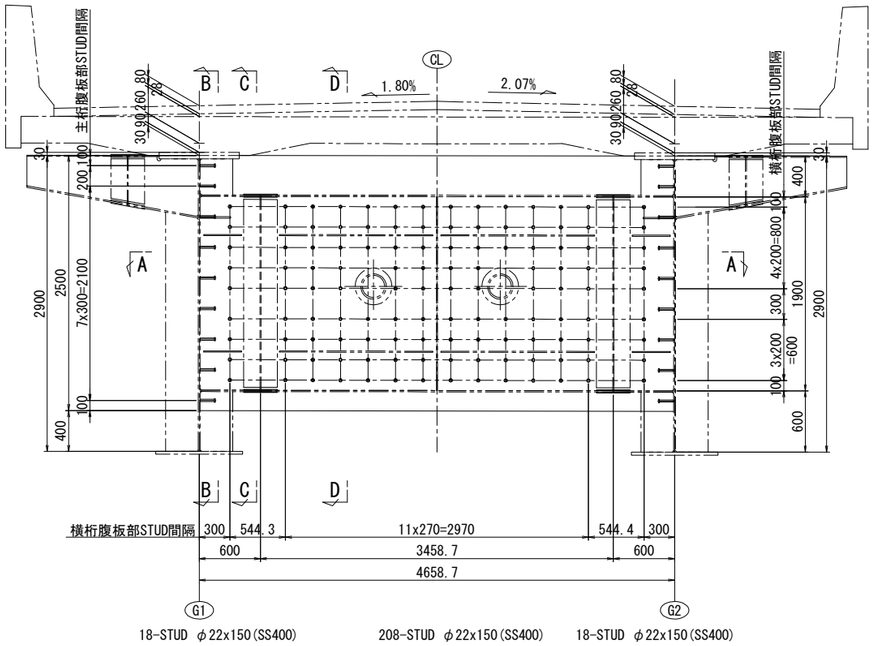
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 巻き立てコンクリート(その7)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	170 / 212

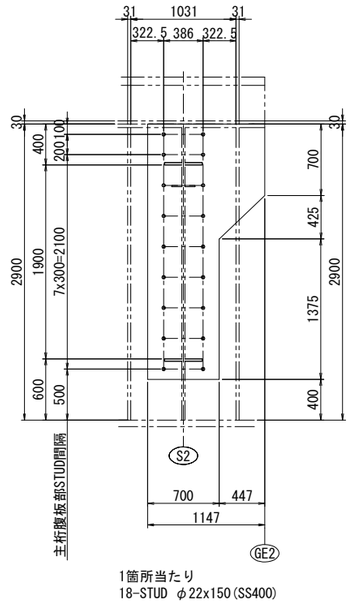
P5～P9 巻き立てコンクリート(その8)　S=1:30

S2 端支点上横桁部スタッド配置図

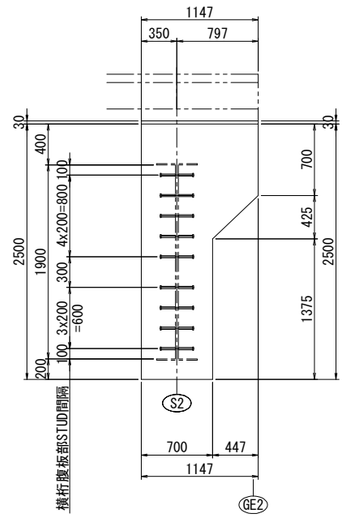
横桁腹板部



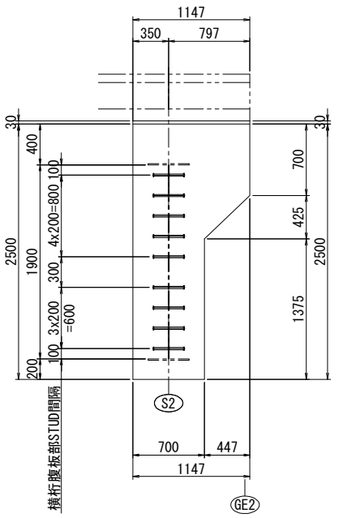
B - B



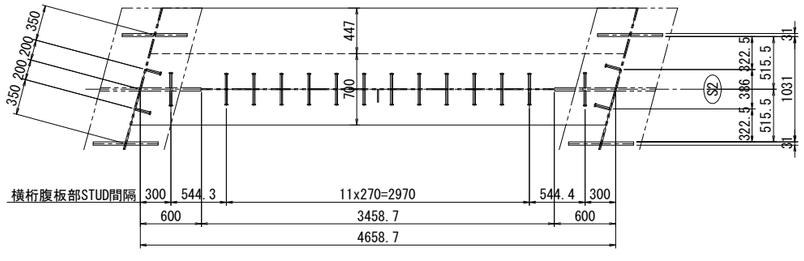
C - C



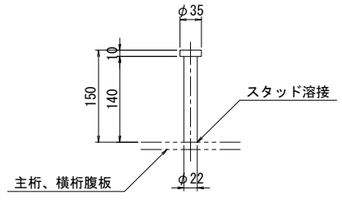
D - D



A - A

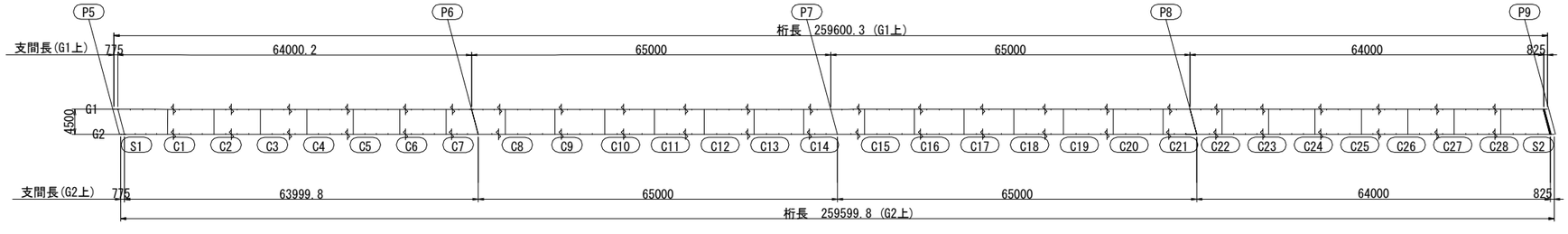


スタッド詳細　S=1:5



1-STUD φ22x150(SS400)

配置図



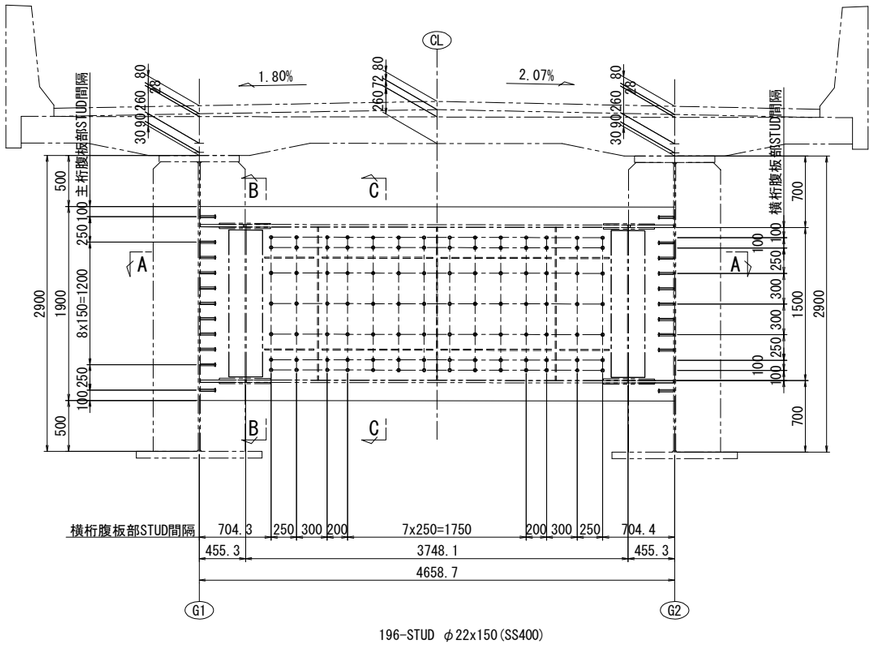
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	**P5～P9 巻き立てコンクリート(その8)**		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	171 / 212

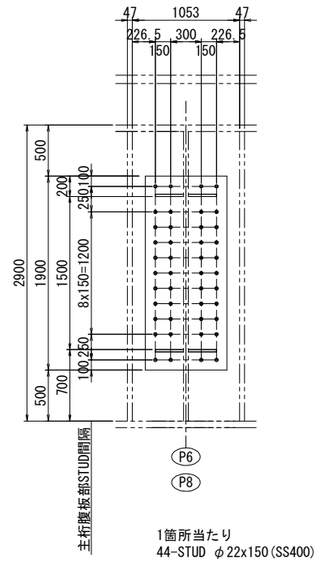
P5～P9 巻き立てコンクリート(その9)　S=1:30

P6,P8 支点上横桁部スタッド配置図

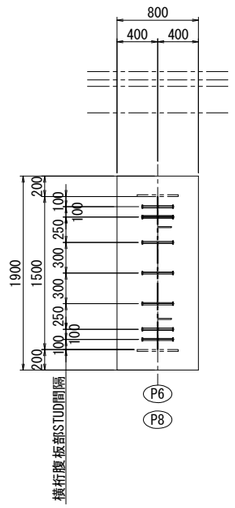
横桁腹板部



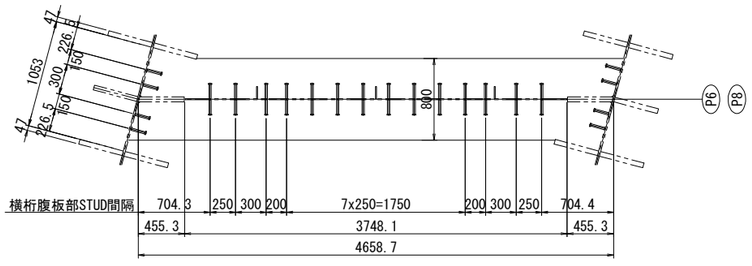
B - B



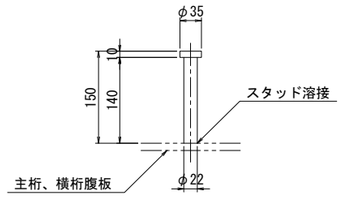
C - C



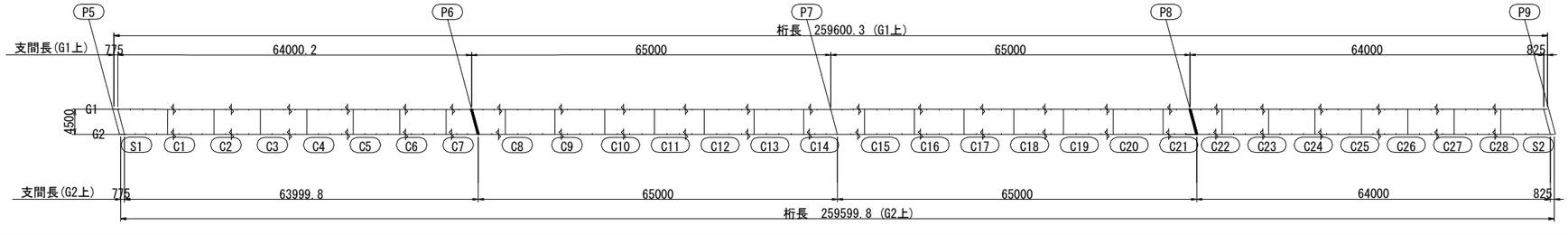
A - A



スタッド詳細　S=1:5



配置図



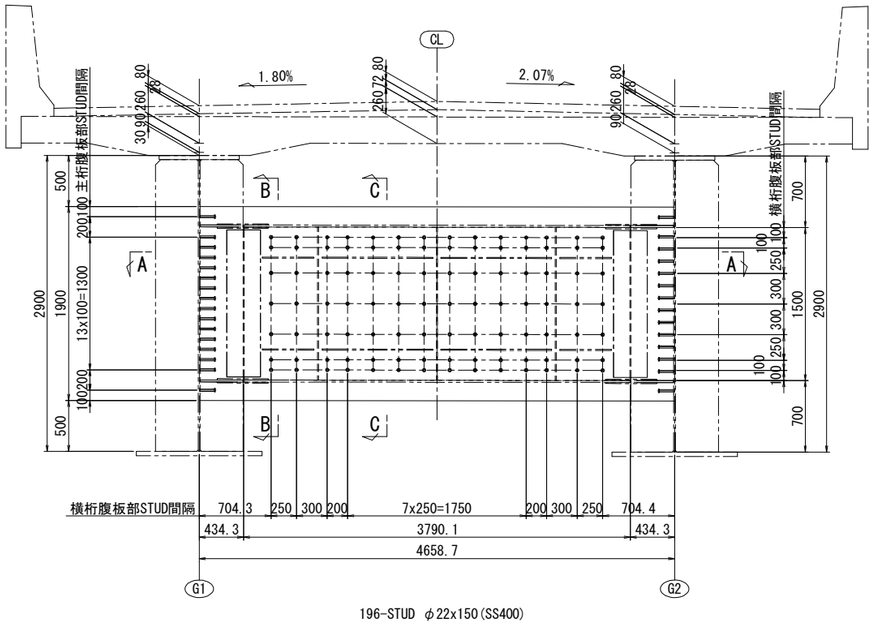
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 巻き立てコンクリート(その9)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	172 / 212

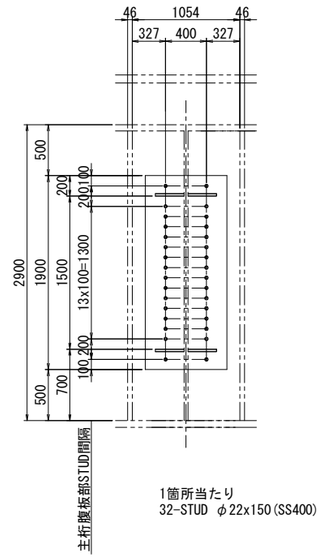
P5～P9 巻き立てコンクリート(その10) S=1:30

P7 支点上横桁部スタッド配置図

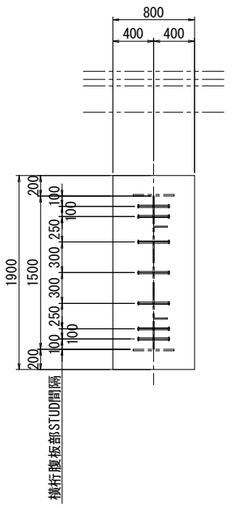
横桁腹板部



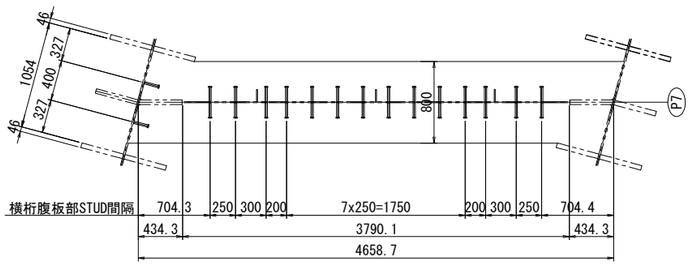
B - B



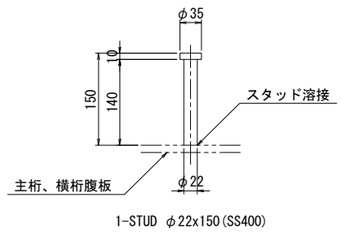
C - C



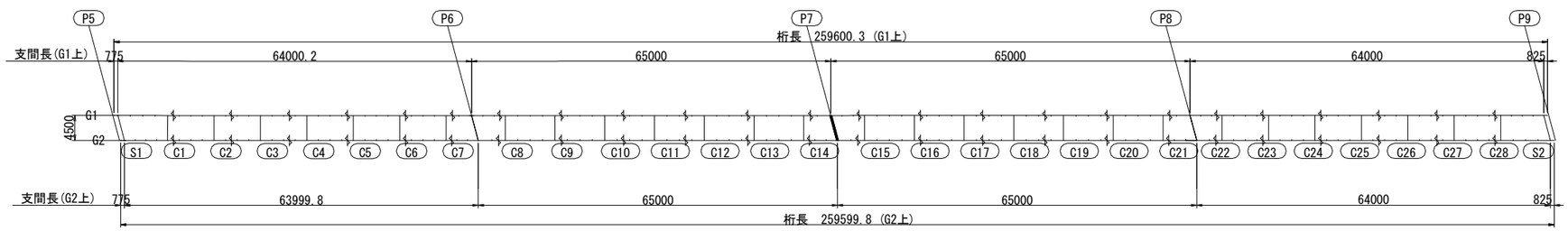
A - A



スタッド詳細 S=1:5



配置図



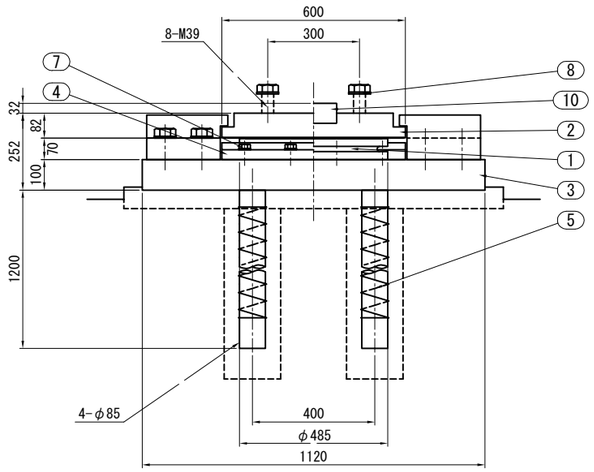
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	**P5～P9 巻き立てコンクリート(その10)**		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	173 / 212

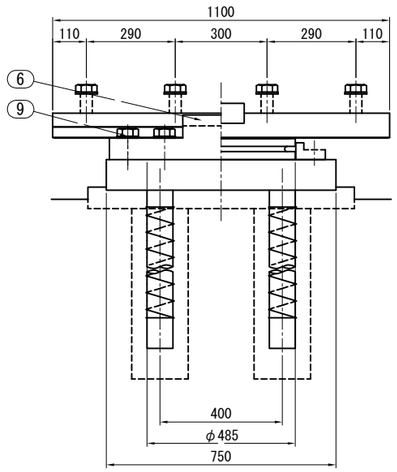
P5～P9 支承詳細図(その1)

(P5R) (P9L) 可動ゴム支承

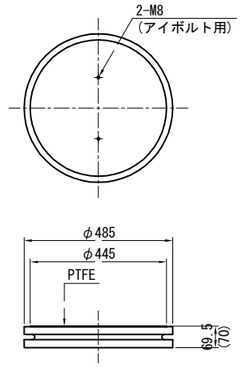
断面図 S=1:10
(橋軸直角方向)



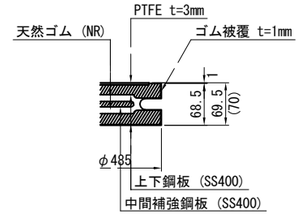
側面図 S=1:10
(橋軸方向)



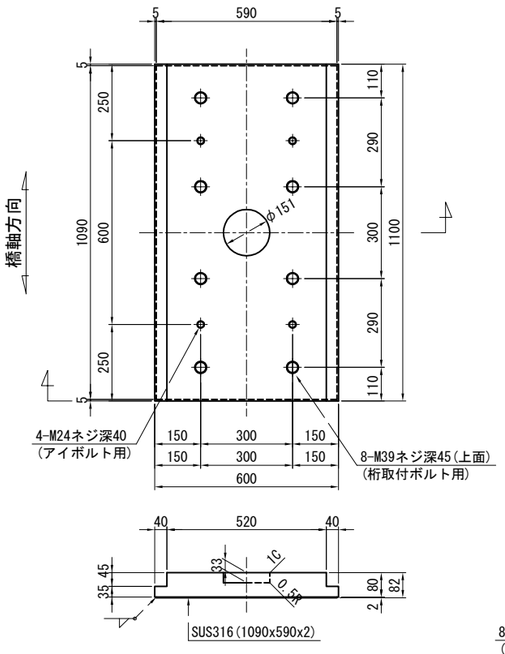
① 弾性荷重支持板 S=1:10
(３０００ＫＮ用)



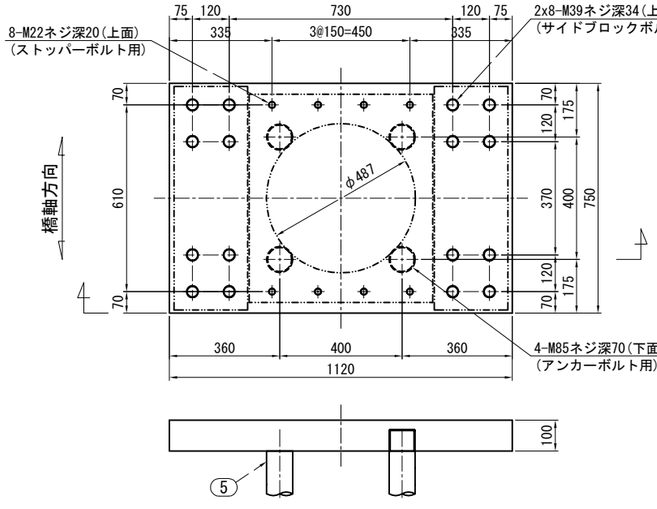
荷重支持板詳細図 S=1:5



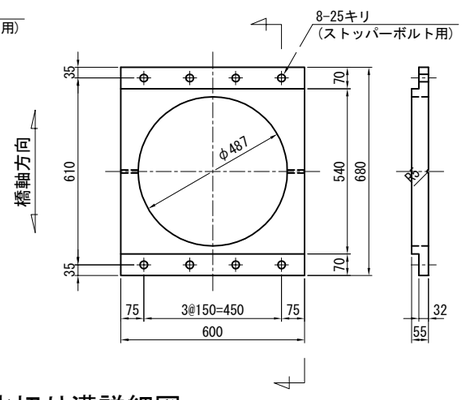
② スライディングプレート S=1:10



③ ベースプレート S=1:10



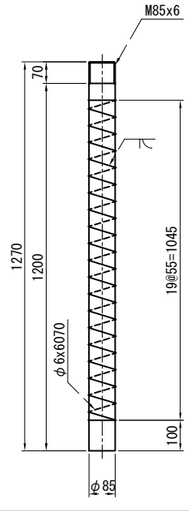
④ ストッパー S=1:10



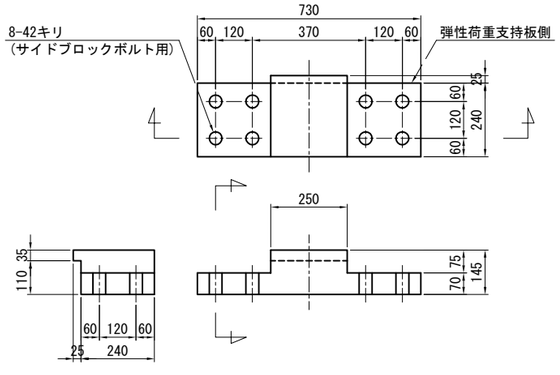
水切り溝詳細図 S=1:3



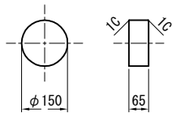
⑤ アンカーボルト S=1:10



⑥ サイドブロック S=1:10



⑩ せん断キー S=1:10
上 用



設計条件

反力 (kN)			P5R	P9L
最大反力		Rmax	2634	2673
最大反力 (回転照査用)		Rmax2	2623	2658
死荷重反力		RD	1696	1733
照査荷重		R1L	469	470
最大水平力	橋軸方向	RHeq1	263	267
	橋軸直角方向	RHeq2	1845	1952
	サイドブロック	RHeq3	1845	1952
上向きの地震力		Ru	-1098	-1216
変位量 (mm)				
照査荷重時の変位量		δcL	0.333	0.333
回転変位量		δr	1.317	1.317
水平変位量	常時・橋軸方向	ΔL1	119	119
	地震時・橋軸方向	ΔLe1	278	302
	地震時・橋軸直角方向	ΔLe2	-	-
性能				
ゴムの種類及び呼び		材料-G	NR-G10	NR-G10
圧縮ばね定数 (kN/mm)		Kv	1410	1410
試験変位量	せん断ひずみ (%)	γS	-	-
	変位量 (mm)	UB	-	-

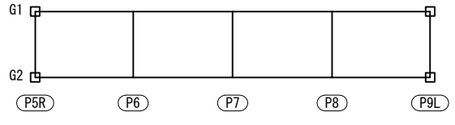
材料表 (１組当り)

部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
1	弾性荷重支持板	NR, SS400, PTFE	1	68.5	NR(天然ゴム)
②	スライディングプレート	SM490A, SUS316	1	386.7	
③	ベースプレート	SM490A	1	641.3	
④	ストッパー	SM490A or SCW480N	1	79.6	
5	アンカーボルト	S35CN, SR235	4	231.5	
⑥	サイドブロック	SM490A or SCW480N	2	254.4	
⑦	ストッパーボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	8	2.1	
⑧	桁取付ボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	8	12.6	
⑨	サイドブロックボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	16	26.7	
⑩	せん断キー	SM490A or S35CN	1	9.0	上 用
11	アイボルト	SS400	-	-	
			合計	1712.4	(kg)

※1 道路橋支承便覧準拠。
※2 使用材料は道路橋支承便覧2.9に適合。
※3 部番を○で囲んだ部品は溶融亜鉛めっきとする。
JIS H 8641 HDZ55、ボルト類はHDZ35とする。
※4 ゴム支承の重量は施工上の参考重量を示す。
※5 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること。
※6 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
※7 アイボルト穴は用済み後穴埋めのこと。
※8 桁取付ボルト重量はL=100mmとして参考に計上する。

⑦ ストッパーボルト, ワッシャー M22 x 55 強度区分 8.8
⑧ 桁取付ボルト, ワッシャー M39 x 100 強度区分 8.8
⑨ サイドブロックボルト, ワッシャー M39 x 110 強度区分 8.8

位置図



実 施

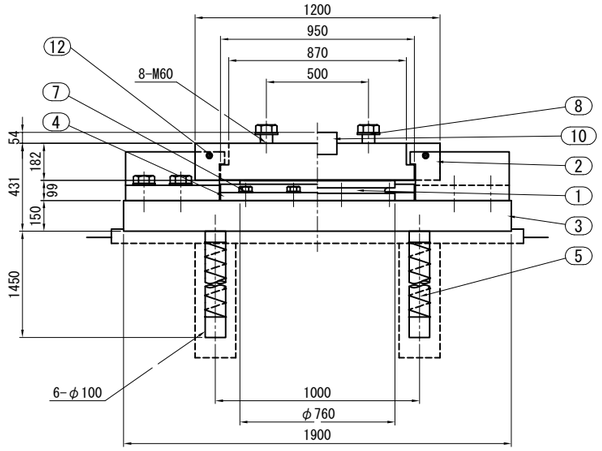
(参考図)

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 支承詳細図(その1)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	174 / 212

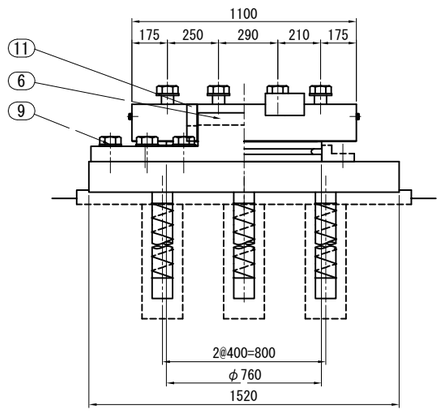
P5～P9 支承詳細図(その2)

(P6) － (P8) 固定ゴム支承

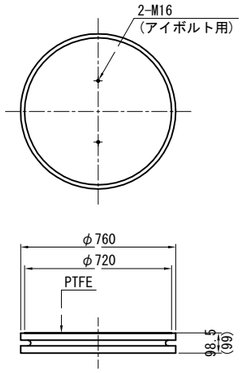
断 面 図 S=1:15
(橋軸直角方向)



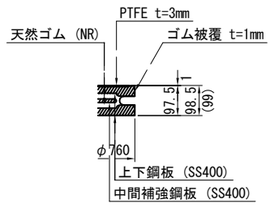
側 面 図 S=1:15
(橋軸方向)



① 弾性荷重支持板 S=1:15
(８０００ＫＮ用)



荷重支持板詳細図 S=1:10



設 計 条 件

反力 (kN)			P6	P7	P8
最大反力		Rmax	6485	5488	6507
最大反力 (回転照査用)		Rmax2	6480	5477	6475
死荷重反力		RD	4677	3782	4699
照査荷重		R1L	-	-	-
最大水平力	橋軸方向	RHeq1	5379	3758	4036
	橋軸直角方向	RHeq2	5063	4353	5080
	サイドブロック	RHeq3	5063	4353	5080
上向きの地震力		Ru	-3154	-2938	-3183
変位量 (mm)					
照査荷重時の変位量		δcL	-	-	-
回転変位量		δr	1.391	1.333	1.391
水平変位量	常時・橋軸方向	ΔL1	-	-	-
	地震時・橋軸方向	ΔLe1	-	-	-
	地震時・橋軸直角方向	ΔLe2	-	-	-
性能					
ゴムの種類及び呼び		材料-G	NR-G10	NR-G10	NR-G10
圧縮ばね定数 (kN/mm)		Kv	2890	2890	2890
試験変位量	せん断ひずみ (%)	γS	-	-	-
	変位量 (mm)	UB	-	-	-

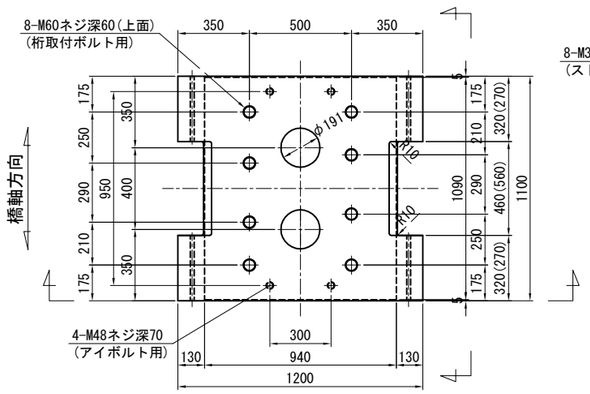
材 料 表 (１組当り)

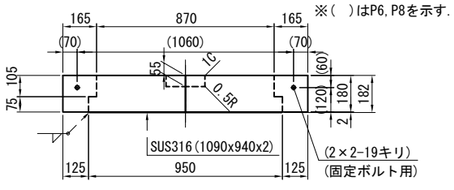
部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
1	弾性荷重支持板	NR, SS400, PTFE	1	231.5	NR(天然ゴム)
②	スライディングプレート	SM490A, SUS316	1	**1655.6(1641.3)**	
③	ベースプレート	SM490A	1	3339.3	
④	ストッパー	SM490A or SCW480N	1	287.7	
5	アンカーボルト	S35CN, SR235	6	575.6	
⑥	サイドブロック	SM490A or SCW480N	2	1312.1	
⑦	ストッパーボルト，ワッシャー	強度区分 8.8	8	8.7	
⑧	桁取付ボルト，ワッシャー	強度区分 8.8	8	35.3	
⑨	サイドブロックボルト，ワッシャー	強度区分 8.8	24	126.9	
⑩	せん断キー	SM490A or SCW480N	2	48.5	
⑪	スペーサー	SM490A	4	(39.0)	
⑫	固定ボルト，ワッシャー	強度区分 8.8	4	(2.4)	
13	アイボルト	SS400	-	-	
			合計	**7621.2(7648.3)**	(kg)

※1 道路橋支承便覧準拠。
※2 使用材料は道路橋支承便覧2.9に適合。
※3 部番を○で囲んだ部品は溶融亜鉛めっきとする。
JIS H 8641 HDZ55、ボルト類はHDZ35とする。
※4 ゴム支承の重量は施工上の参考重量を示す。
※5 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること。
※6 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
※7 アイボルト穴は用済み後穴埋めのこと。
※8 桁取付ボルト重量はL=100mmとして参考に計上する。

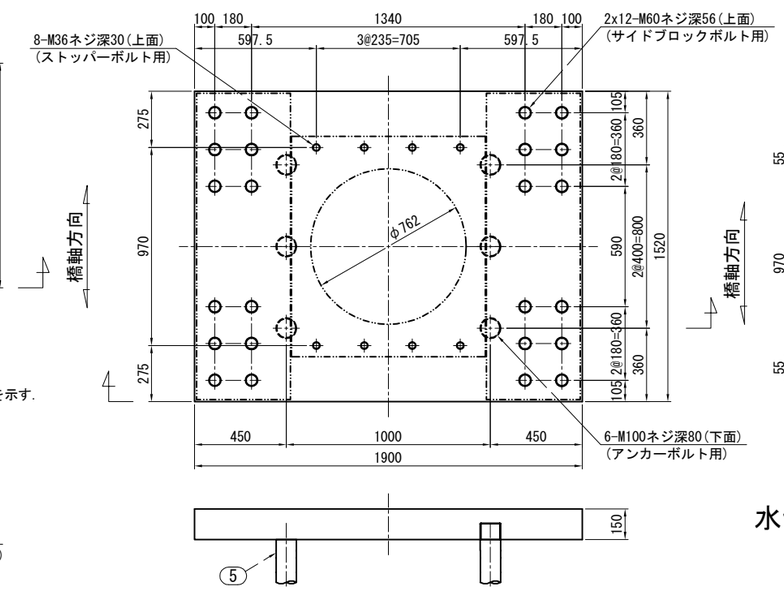
※( )はP6, P8を示す.

② スライディングプレート S=1:15

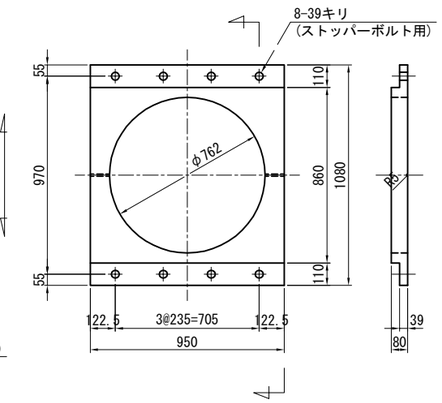




③ ベースプレート S=1:15



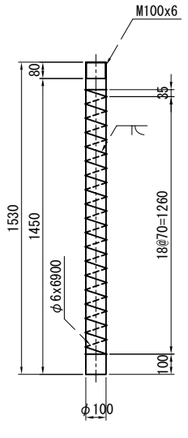
④ ストッパー S=1:15



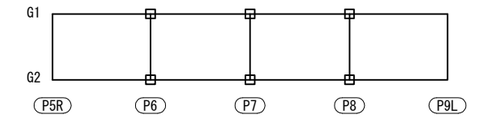
水切り溝詳細図 S=1:3



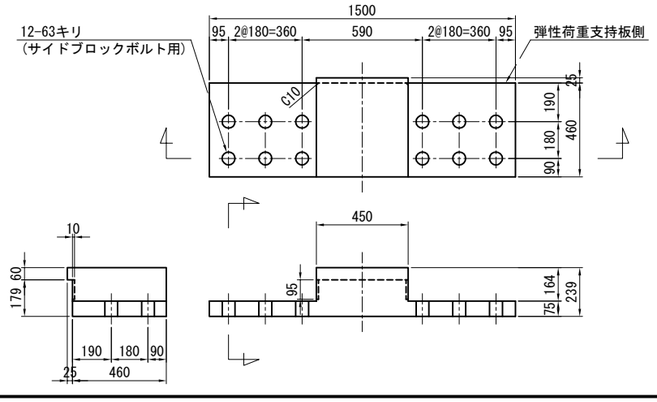
⑤ アンカーボルト S=1:15



位 置 図

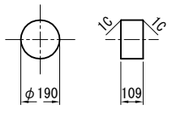


⑥ サイドブロック S=1:15

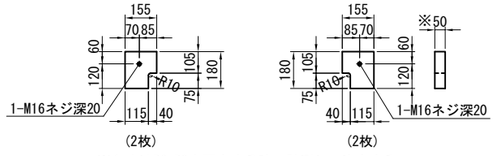


⑦ ストッパーボルト，ワッシャー M36 x 75 強度区分 8.8
⑧ 桁取付ボルト，ワッシャー M60 x 100 強度区分 8.8
⑨ サイドブロックボルト，ワッシャー M60 x 140 強度区分 8.8
⑫ 固定ボルト，ワッシャー M16 x 290 強度区分 8.8

⑩ せん断キー S=1:15
上 用



⑪ スペーサー S=1:15



※( )はP6, P8を固定する時、計測して決定する.

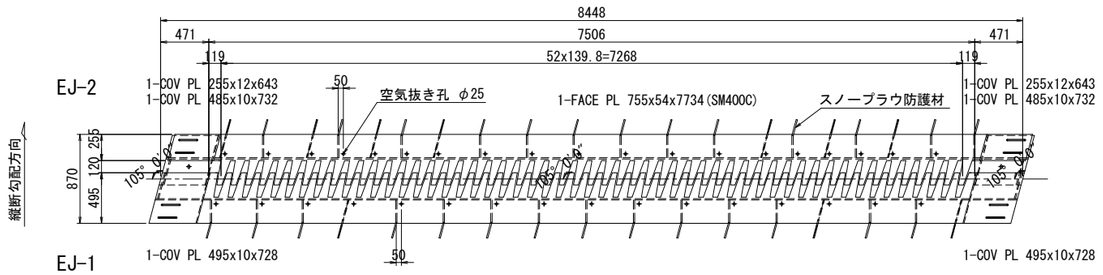
実 施

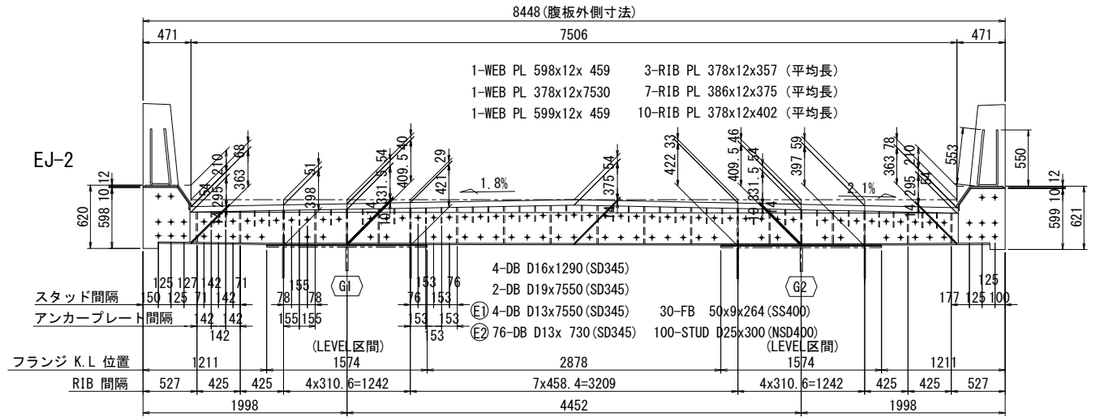
(参考図)

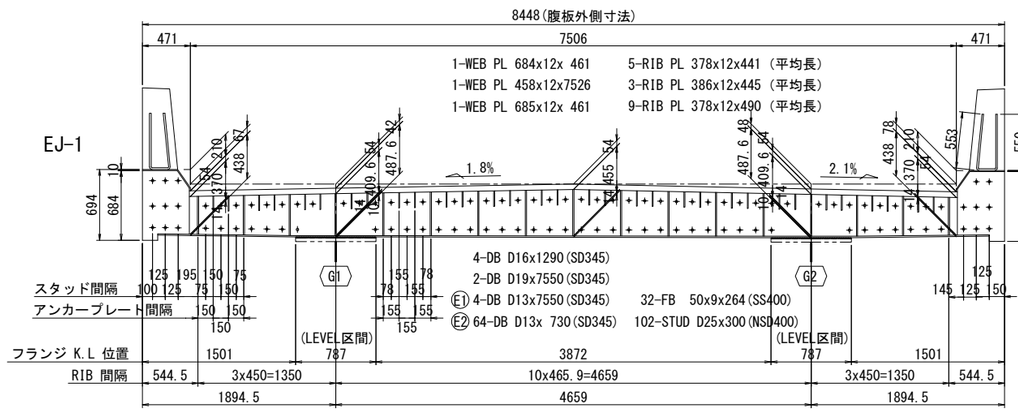
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 支承詳細図(その2)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	175 / 212

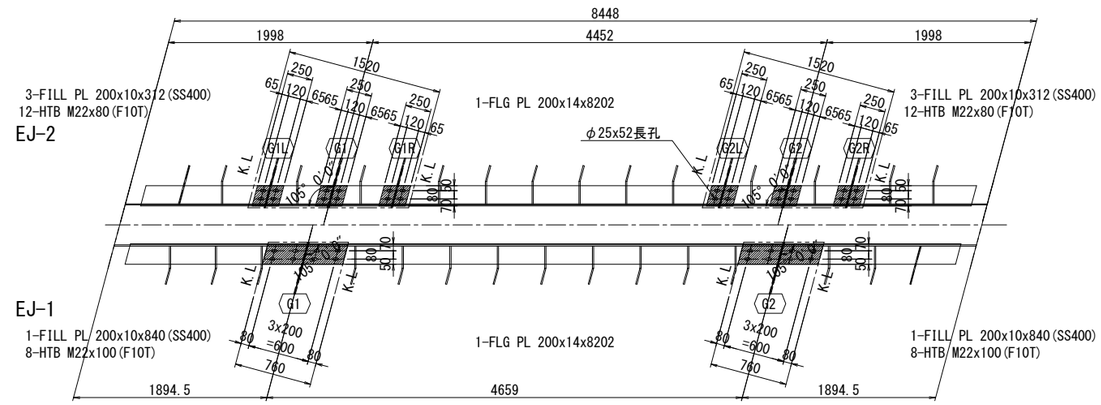
P5～P9 伸縮装置(その1) S=1:30

P9橋脚

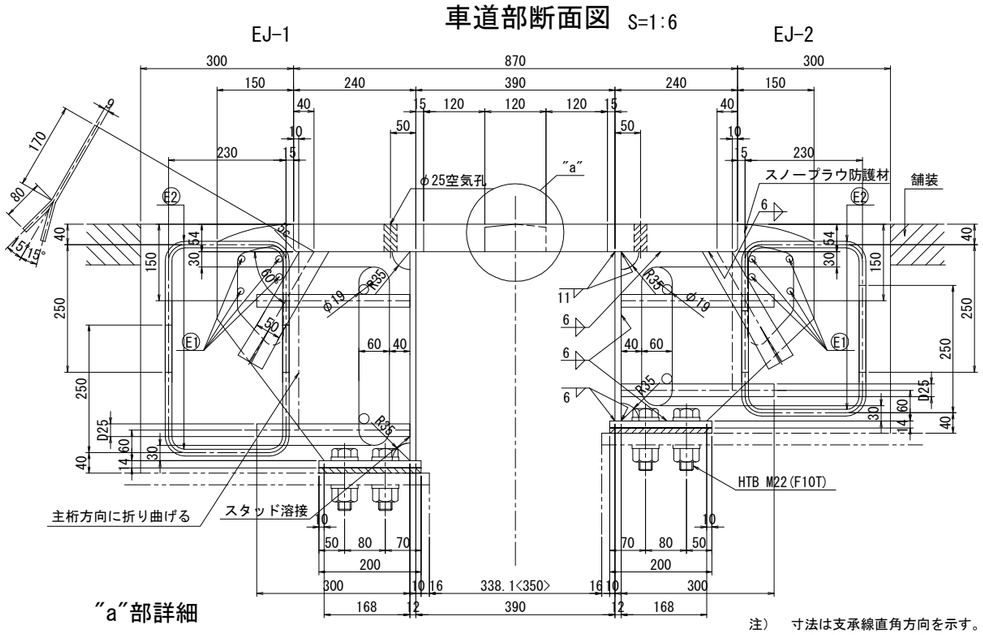






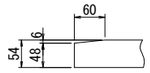


車道部断面図 S=1:6

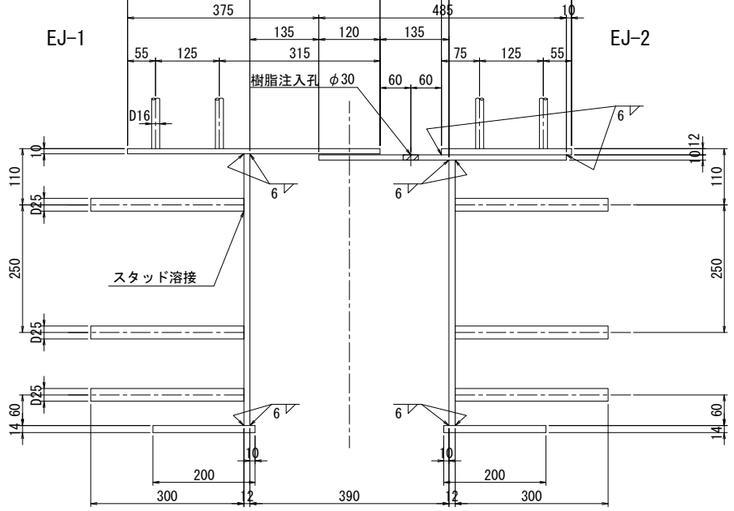


注) 寸法は支承線直角方向を示す。
〈 〉内は橋軸方向を示す。

"a"部詳細

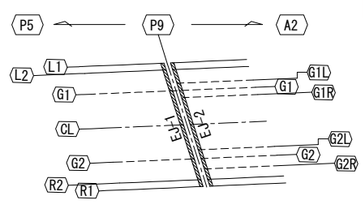


地覆部断面図 S=1:6



注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 平面及び縦,横断線形等は線形図参照のこと。

配置図



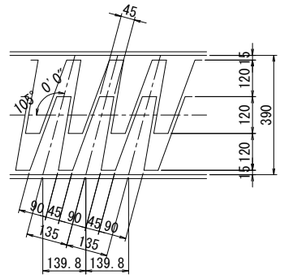
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 伸縮装置(その1)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	176 / 212

P5～P9 伸縮装置(その2) S=1:30

P9橋脚

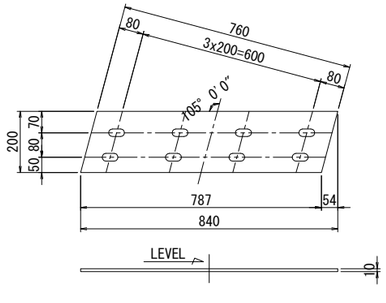
フィンガー詳細 S=1:10



フィラープレート詳細 S=1:10

EJ-1

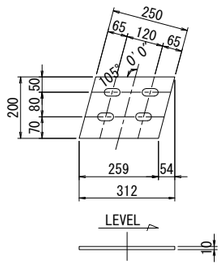
G1, G2



1-FILL PL 200x10x840(SS400)
8-HTB M22x100(F10T)

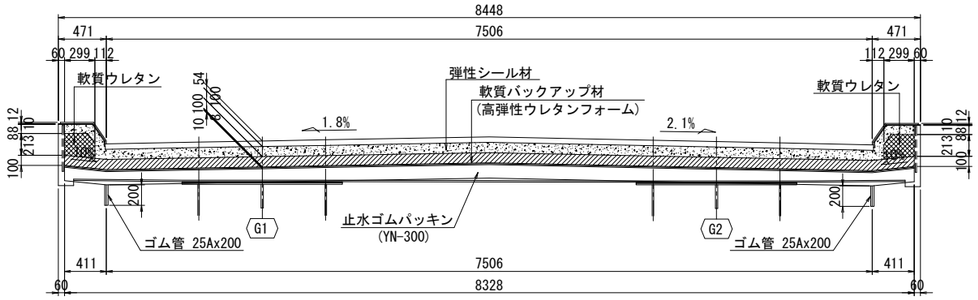
EJ-2

G1L, G1, G1R
G2L, G2, G2R

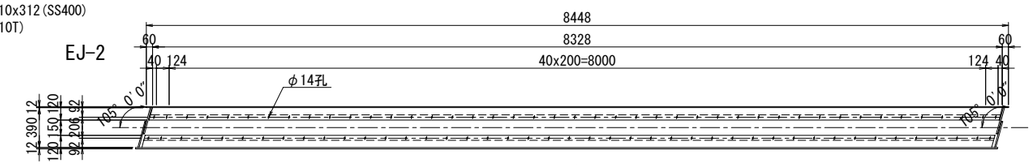


1-FILL PL 200x10x312(SS400)
4-HTB M22x80(F10T)

非排水装置要領図



EJ-2

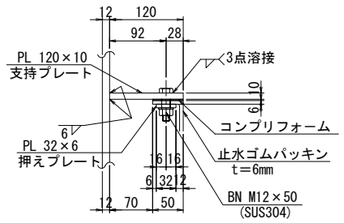


EJ-1

2-PL 120x10x8365
2-FB 32x 6x8342(SS400)

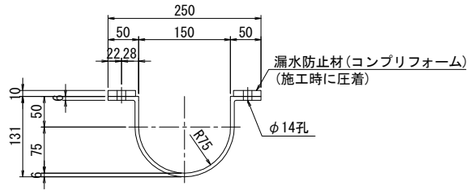
1-止水ゴムパッキン L=8400(YN-300)
86-BN M12x50(1-SW)(SUS304)
2-ジャバラ(専用蓋)
2-ゴム管 25Ax200(クロロプレンゴム)

"a"部詳細 S=1:5



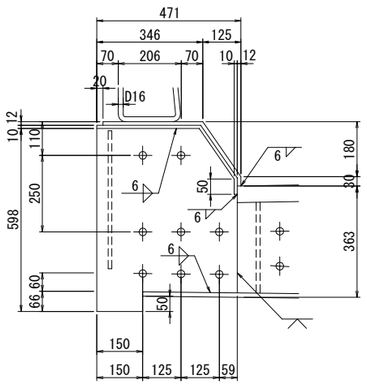
止水ゴムパッキン詳細 S=1:5

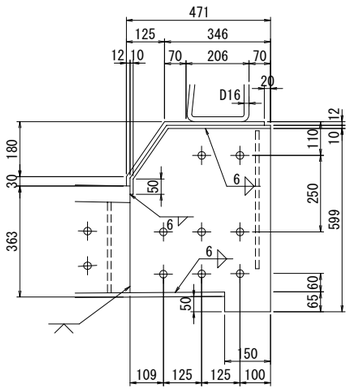
YN-300



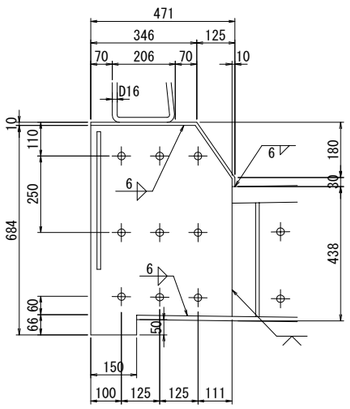
地覆部詳細 S=1:10

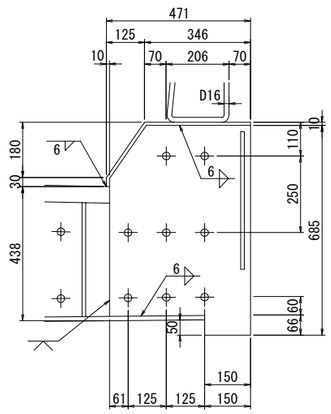
EJ-2





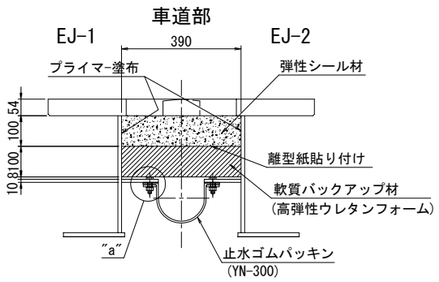
EJ-1



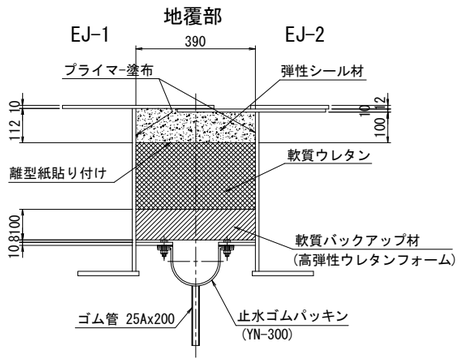


断面図 S=1:10

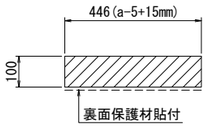
車道部



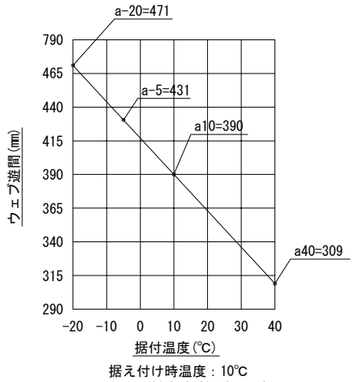
地覆部



バックアップ材詳細



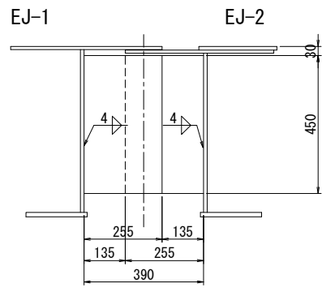
温度変化によるウェブ遊間

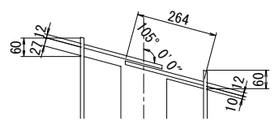


据え付け時温度：10℃
シール材充填時温度：-5℃

エンドプレート詳細 S=1:10

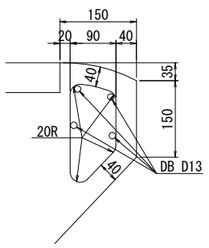
EJ-1 EJ-2



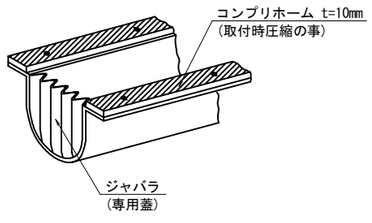


1ヶ所あたり材料
2-END PL 264 x 12 x 450

スノープラウ防護材 S=1:6



端部ジャバラ詳細



注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。

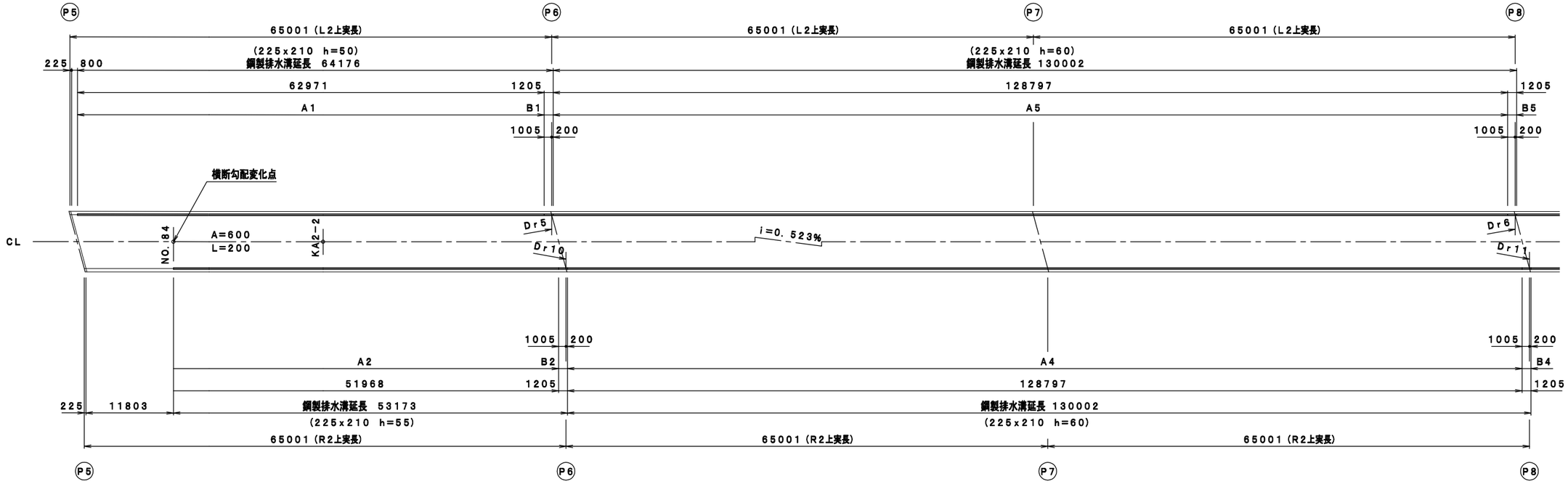
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 伸縮装置(その2)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	177 / 212

P5～P9 鋼製排水溝（その1）

鋼製排水溝設置図 S=1/300

※ 鋼製排水溝延長は実長寸法を示す。（縦断勾配考慮）

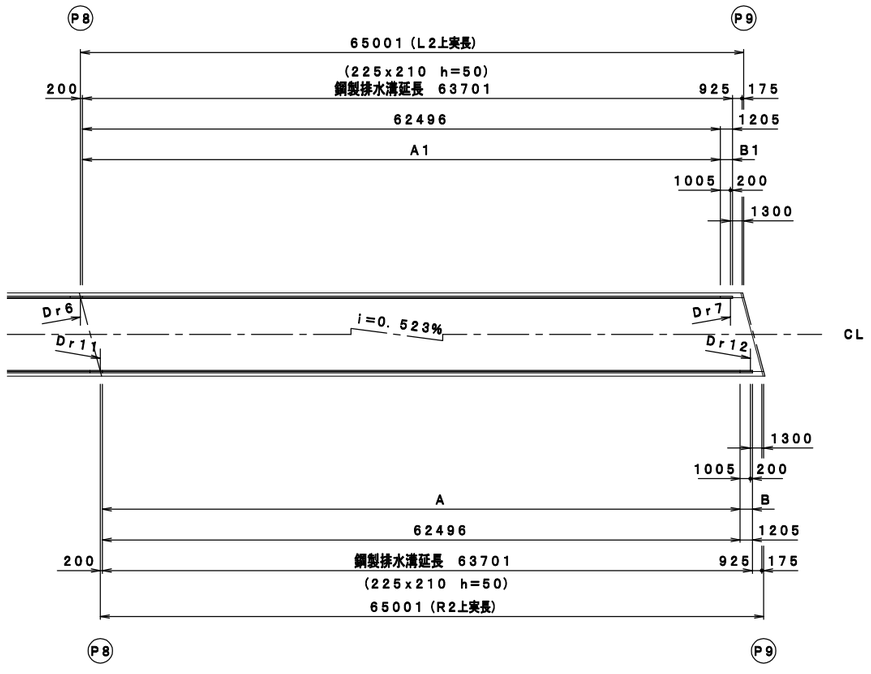


鋼製排水溝 数量表

ドレン符号	寸法	延長(m)	記事
A	225x210 h=50	62.496	標準部
B	225x210 h=50	1.205	流末部、End PL付
A1	225x210 h=50	125.467	標準部
B1	225x210 h=50	2.410	流末部、End PL付
A2	225x210 h=55	51.968	標準部
B2	225x210 h=55	1.205	流末部、End PL付
A4	225x210 h=60	128.797	標準部
B4	225x210 h=60	1.205	流末部、End PL付
A5	225x210 h=60	128.797	標準部
B5	225x210 h=60	1.205	流末部、End PL付
流末管（Dr5～Dr7）		3ヶ所	
流末管（Dr10～Dr12）		3ヶ所	
合計		504.755	

※ hは，鋼製排水溝の埋込深さを示す。

仕様特記 ・製品の表面処理は「溶融亜鉛・アルミニウム合金めっき（Mg入り）」
とし亜鉛付着量３５０g/m² （５０μm）以上とする。
（主要部材の平均付着量とします）
・フタは１セット毎に開口及び立てかけ可能な事。
・フタは跳ね上がり防止機能を有し、跳ね上がり防止機能は流水範囲に
位置しない事。
・視線誘導反射体内蔵型とする。



実 施

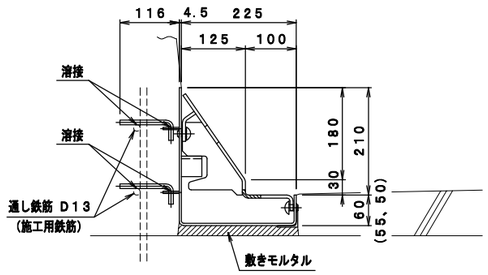
（参考図）

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 鋼製排水溝(その1)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	178 / 212

P5～P9 鋼製排水溝（その2）

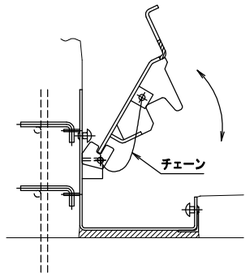
鋼製排水溝断面図 S=1／6

標準部

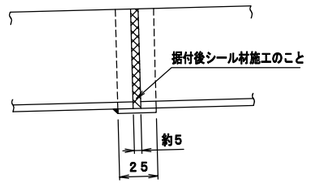


清掃時断面図 S=1／6

※フタは１セット毎に開口及び立てかけ可能
※フタは跳ね上がり防止機能付き

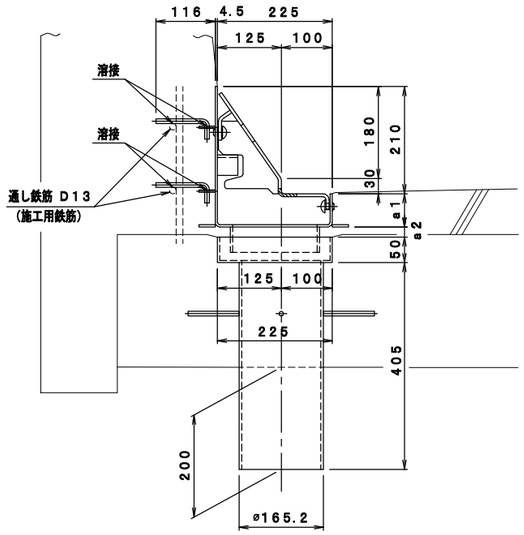


継ぎ手目地詳細図



鋼製排水溝断面図 S=1／6

流末部　Ｄｒ５～Ｄｒ７、Ｄｒ１０～Ｄｒ１２

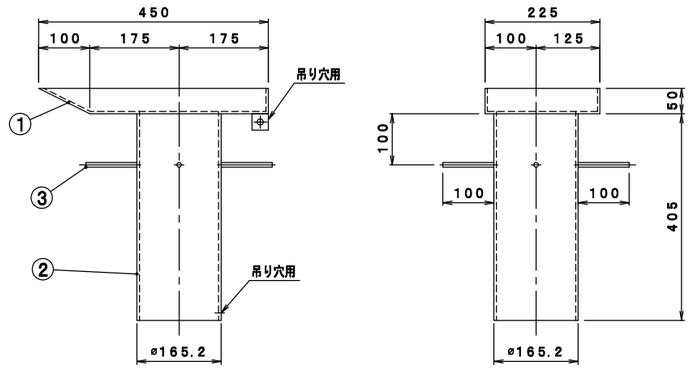


流末部	a1	a2
Ｄｒ５、Ｄｒ７、Ｄｒ１２	５０	３５
Ｄｒ６、Ｄｒ１１	６０	２５
Ｄｒ１０	５５	３０

流末管詳細図 S=1／6

流末管　Ｄｒ５～Ｄｒ７

※　Ｄｒ１０～Ｄｒ１２は、本図に対して線対称とする。



材料表　流末管　Ｄｒ５～Ｄｒ７、Ｄｒ１０～Ｄｒ１２

符号	寸法	重量(kg)
1	PL　450×225×50×4．5	5．32
2	1-GP　ø165．2×5．0×405　（150A：SGP）	8．02
3	4-RB　ø9×100	0．20
合計		13．5

※特記なき材質は全てＳＳ４００とする。
※寸法表記のＰＬは、ＦＢを含む。

注 記
1. 敷きモルタル及び継手目地のシール材施工の際は隙間ができないように入念に施工のこと。

実　施

（参考図）

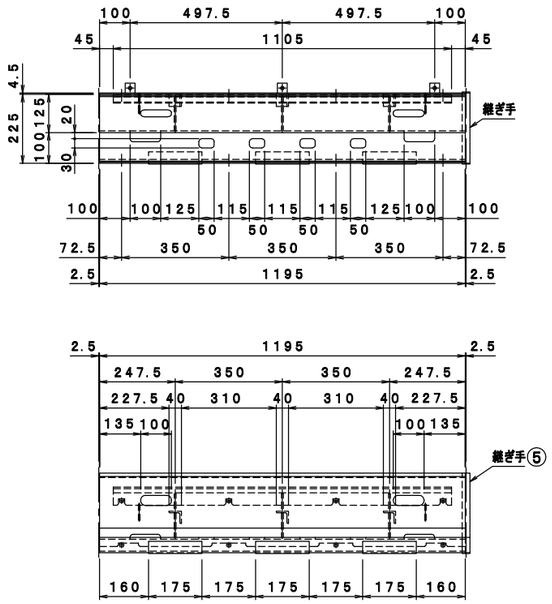
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 鋼製排水溝(その2)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	179 / 212

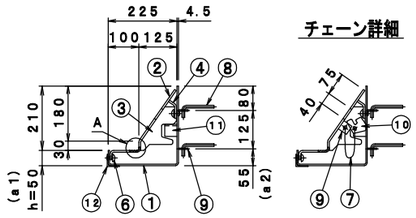
P5～P9 鋼製排水溝（その3）

鋼製排水溝詳細図 S=1/10

A－225x210x1200

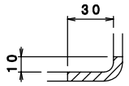
h＝50 標準部





チェーン詳細

A部詳細図



符号	a1	a2
A2	h=55	60
A4、A5	h=60	65

材料表 A－225x210x1200 h＝50

符号	寸法	重量(kg)
1	1－PL 539.5×4.5×1195	22.8
2	1－PL 358×6.0×1195	20.1
3	3－PL 142×6.0×117	1.08
4	1－PL 71×6.0×1105	3.48
5	1－PL 25×3.0×539.5	0.32
6	8－Bolt M12×18（角根丸頭ボルト）（4.6）	0.24
7	1－Chain ø4×200 シャックル付 （SUS）	0.11
8	6－RB ø9×135	0.40
9	7－PL 32×4.5×32	0.28
10	2－PL 50×4.5×56	0.14
11	3－L 40×40×5.0×40	0.36
12	3－L 40×40×3.0×175	0.96
総重量		50.3
m重量		41.9

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

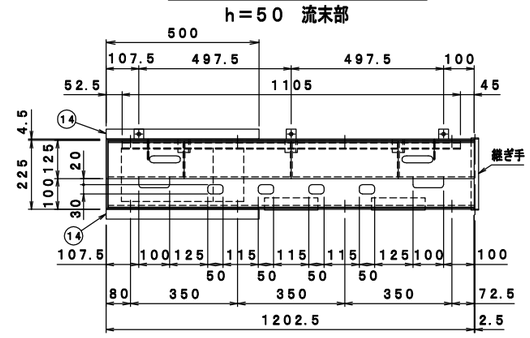
※ A1－ 225×210×1200 h=50 ・・・ 50.3kg（41.9kg／m）
A1は、Aに対して線対称とする。

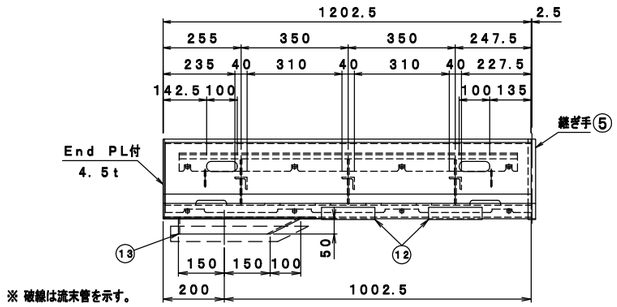
※ A2－ 225×210×1200 h=55 ・・・ 50.7kg（42.3kg／m）
※ A4、A5－ 225×210×1200 h=60 ・・・ 51.1kg（42.6kg／m）
A5、は、本図に対して線対称とする。

鋼製排水溝詳細図 S=1/10

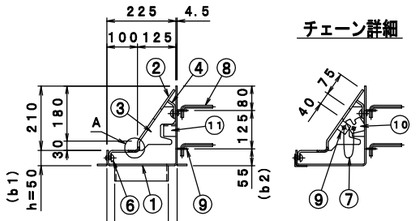
B－225x210x1205

h＝50 流末部





※ 破線は流末管を示す。



チェーン詳細

符号	b1	b2
B2	h=55	60
B4、B5	h=60	65

材料表 B－225x210x1205 h＝50

符号	寸法	重量(kg)
1	1－PL 539.5×4.5×1202.5（End PL付）	23.8
2	1－PL 358×6.0×1195	20.1
3	3－PL 142×6.0×117	1.08
4	1－PL 71×6.0×1105	3.48
5	1－PL 25×3.0×539.5	0.32
6	8－Bolt M12×18（角根丸頭ボルト）（4.6）	0.24
7	1－Chain ø4×200 シャックル付 （SUS）	0.11
8	6－RB ø9×135	0.40
9	7－PL 32×4.5×32	0.28
10	2－PL 50×4.5×56	0.14
11	3－L 40×40×5.0×40	0.36
12	2－L 40×40×3.0×175	0.64
13	PL 400x50x175x4.5	2.19
14	2－PL 32×4.5×500	1.14
総重量		54.3
m重量		45.1

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

※ B1－ 225×210×1205 h=50 ・・・ 54.3kg（45.1kg／m）
B1は、Bに対して線対称とする。

※ B2－ 225×210×1205 h=55 ・・・ 54.8kg（45.5kg／m）
※ B4、B5－ 225×210×1205 h=60 ・・・ 55.2kg（45.8kg／m）
B5は、本図に対して線対称とする。

実 施

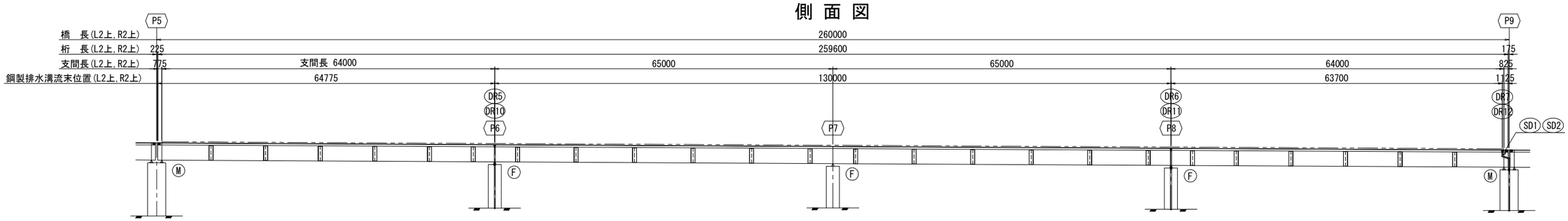
（参考図）

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（1号橋）その2工事		
図面名	P5～P9 鋼製排水溝(その3)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	180 / 212

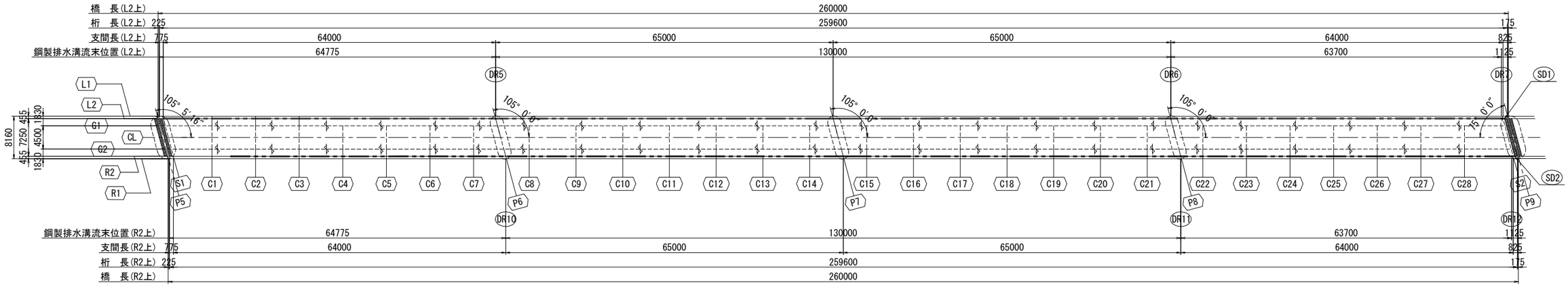
P5～P9 排水装置(その1) S=1:400

排 水 系 統 図

側 面 図

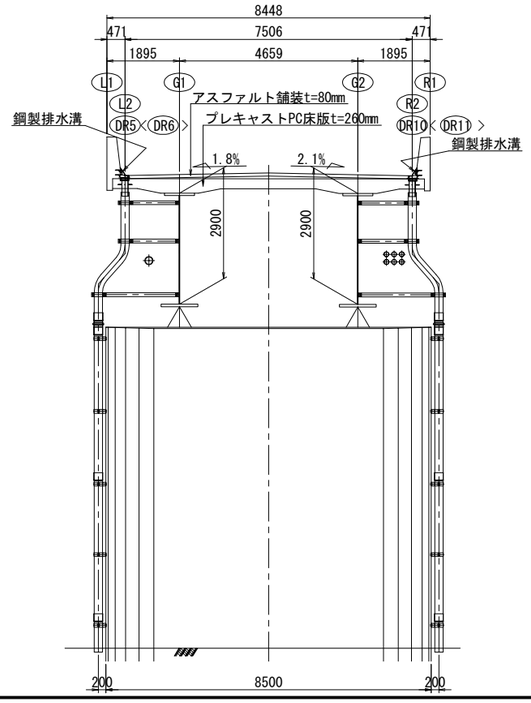


平 面 図

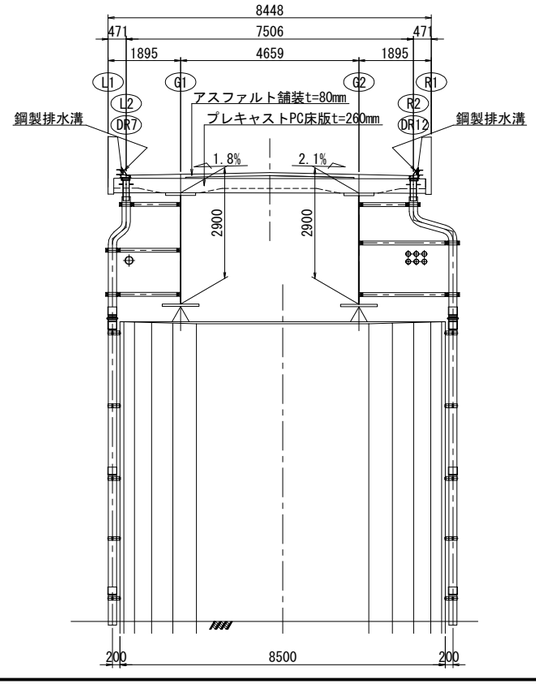


断 面 図 S=1:80

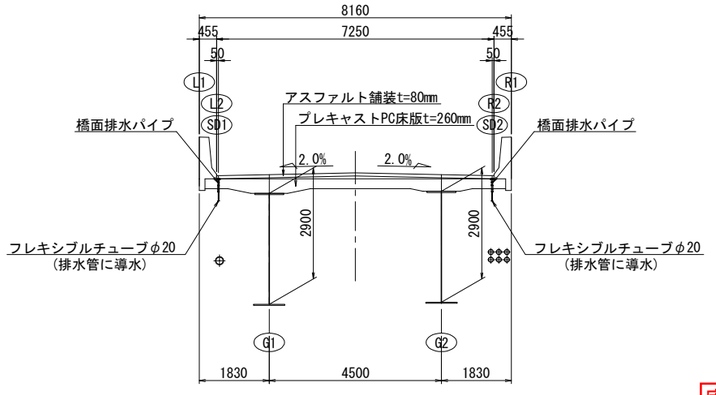
P6, P8橋脚



P9橋脚



橋面排水パイプ部

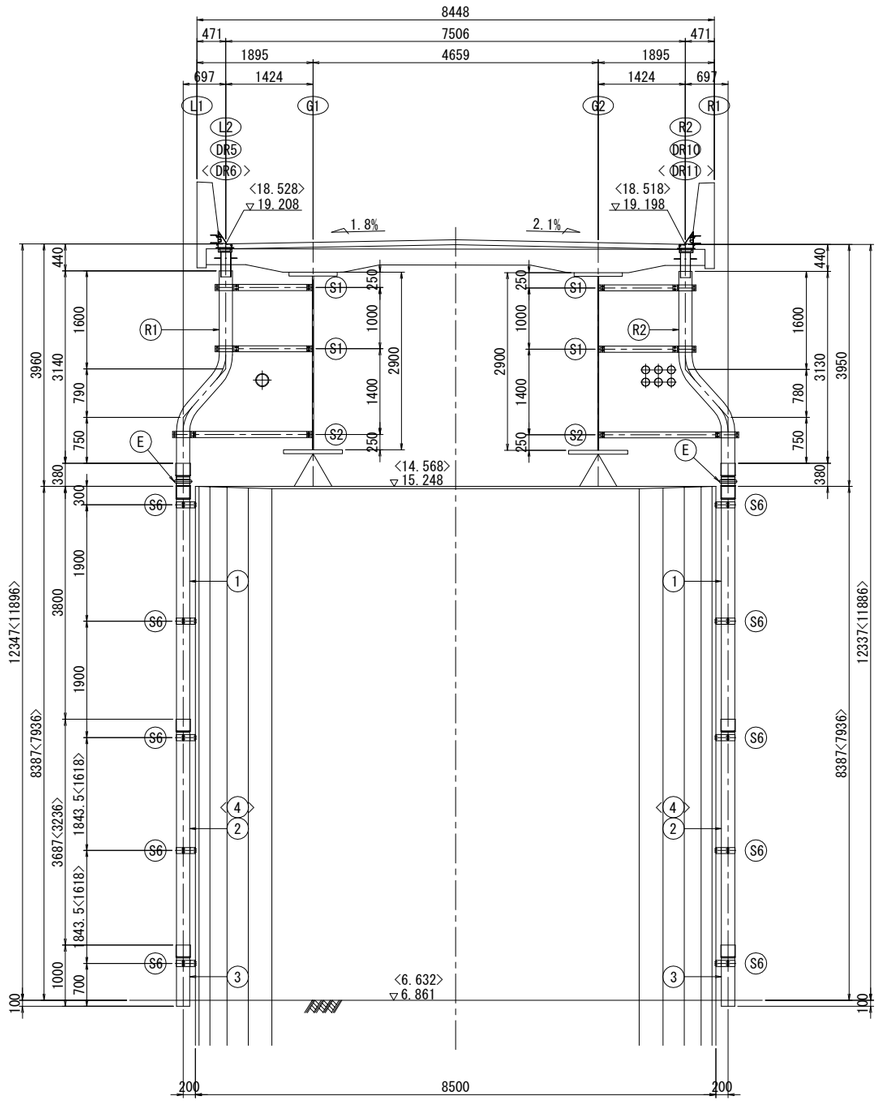


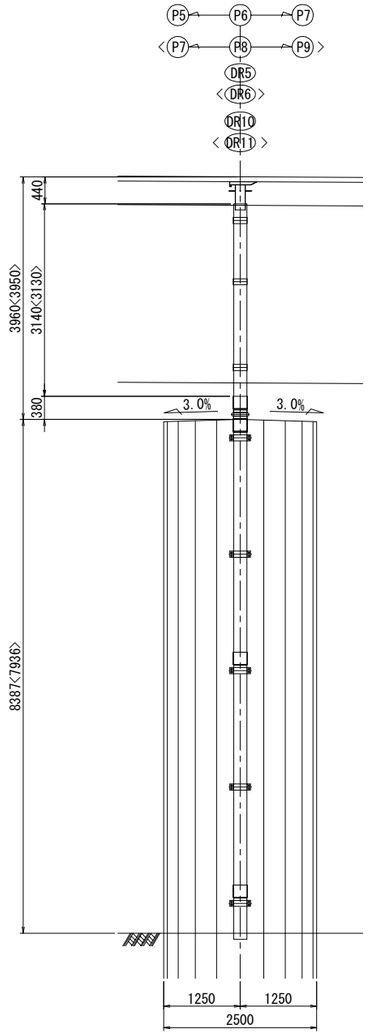
実　施

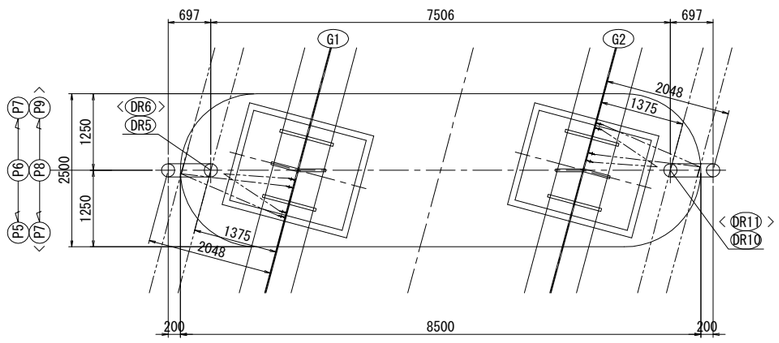
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 排水装置(その1)		
縮尺	1:400, 1:80	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	181 / 212

P5～P9 排水装置(その2) S=1:50

P6<P8>橋脚







P6橋脚部材料表

		記号	数量(個)
上部工付	曲　管	R1	1
		R2	1
	伸縮継手管	E	2
	支持金具	S1	4
		S2	2
下部工付	直　管	1	2
		2	2
		3	2
	支持金具	S6	10

P8橋脚部材料表

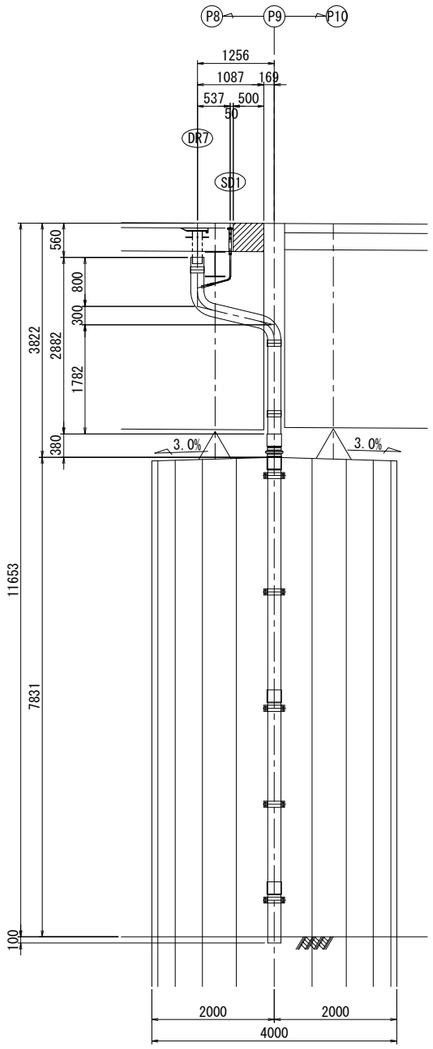
		記号	数量(個)
上部工付	曲　管	R1	1
		R2	1
	伸縮継手管	E	2
	支持金具	S1	4
		S2	2
下部工付	直　管	1	2
		3	2
		4	2
	支持金具	S6	10

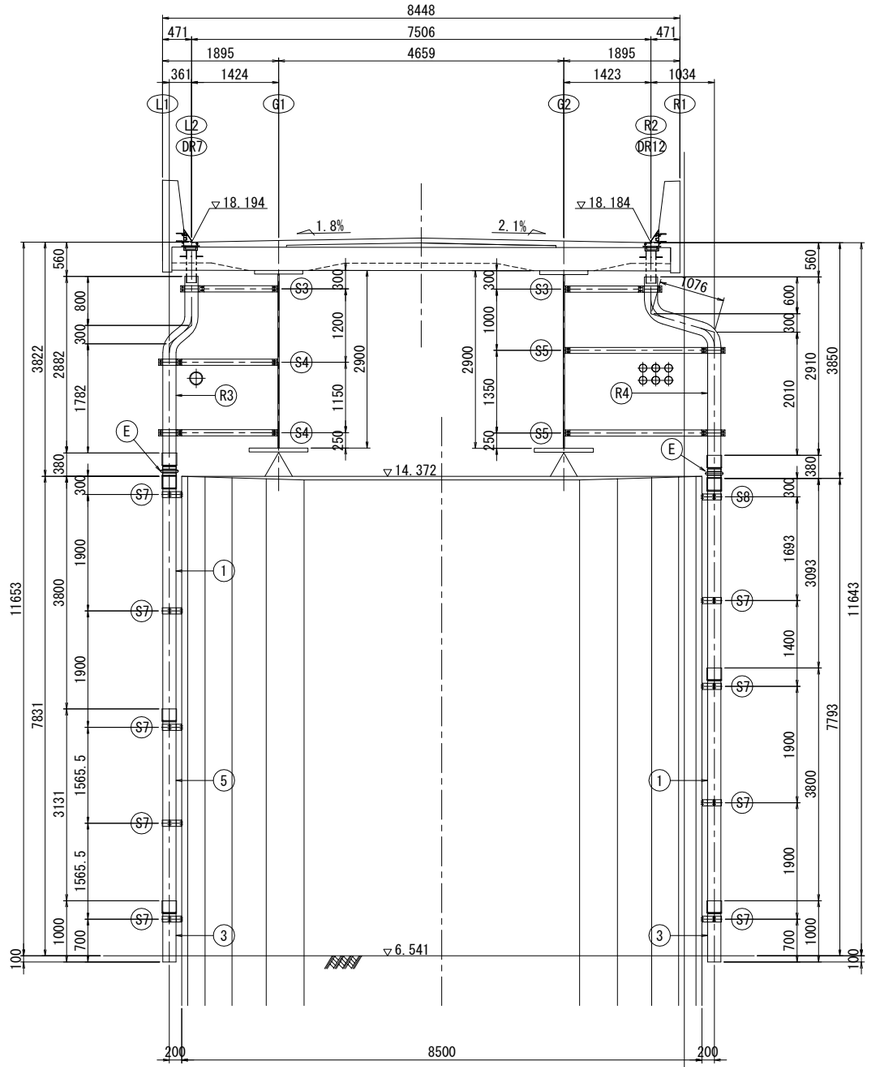
実　施

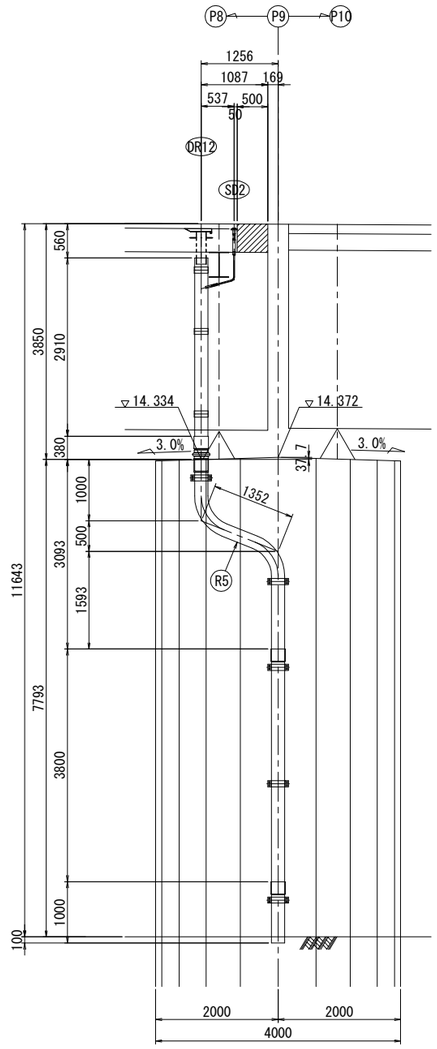
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 排水装置(その2)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	182 / 212

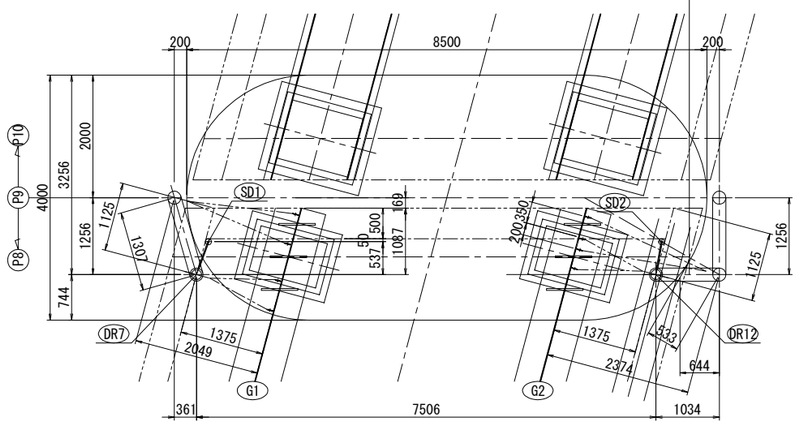
P5～P9 排水装置(その3) S=1:50

P9橋脚









P9橋脚部材料表

		記号	数量(個)
上部工付	曲　管	R3	1
		R4	1
	伸縮継手管	E	2
	支持金具	S3	2
		S4	2
		S5	2
下部工付	直　管	1	2
		3	2
		5	1
	曲　管	R5	1
	支持金具	S7	9
		S8	1

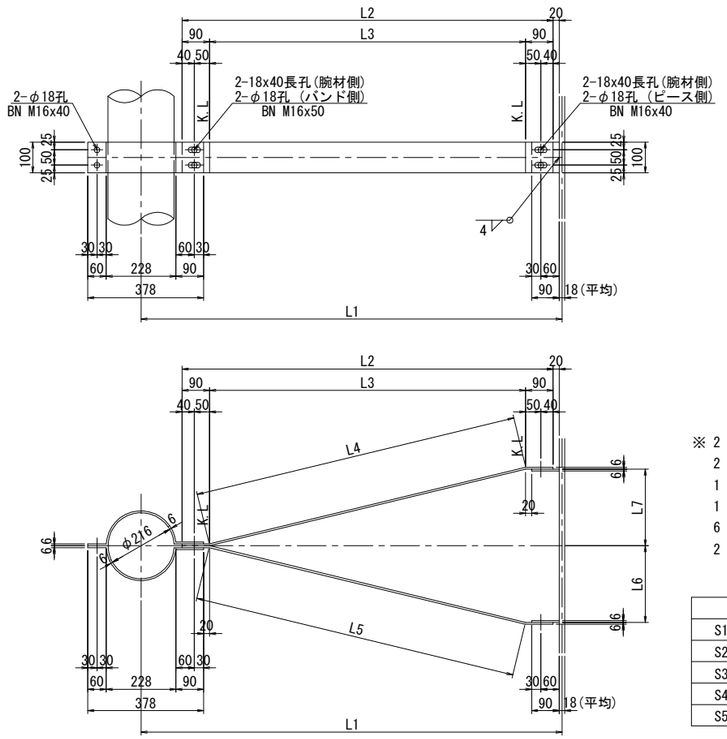
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 排水装置(その3)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	183 / 212

P5～P9 排水装置(その4) S=1:10

支持金具詳細

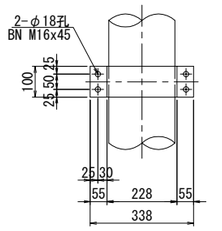
S1 ～ S5

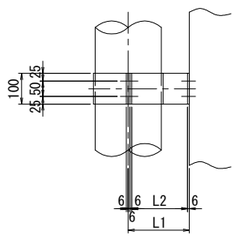


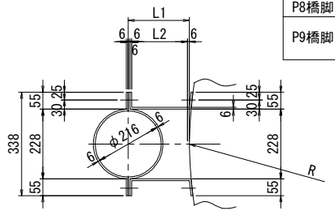
※ 2 - PL 100x6x 90(SM400A)
2 - FB 100x6x493
1 - FB 100x6xLL1
1 - FB 100x6xLL2
6 - BN M16x40(2-W付)
2 - BN M16x50(2-W付)

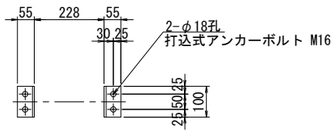
	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	LL1	LL2	製作数
S1	1375	1212	1032	1051	1090	350	200	1231	1270	8
S2	2048	1885	1705	1723	1723	250	250	1903	1903	4
S3	1375	1212	1032	1062	1062	250	250	1242	1242	2
S4	2049	1886	1706	1724	1724	250	250	1904	1904	2
S5	2374	2211	2031	2041	2061	350	200	2221	2241	2

S6 ～ S8







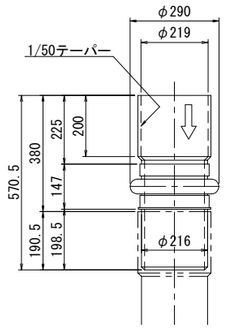


2 - FB 100x6xLL1
2 - FB 100x6x459
4 - BN M16x45(2-W付)
4 - 打込式アンカーボルト M16x125

		R	L1	L2	LL1	製作数
P6橋脚	S6	1250	200	182	297	10
P8橋脚	S6	1250	200	182	297	10
P9橋脚	S7	2000	200	182	295	9
	S8	2000	533	515	629	1

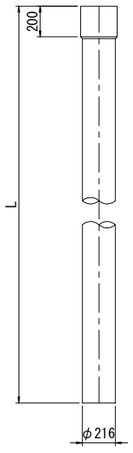
伸縮継手管詳細

E
(製作数：6)



直 管 詳 細 S=1:20

1 ～ 5

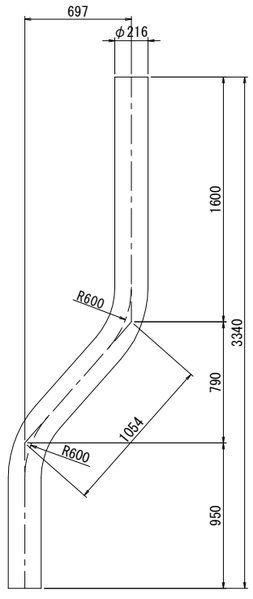


1 - VP 200A x L

	L	製作数
1	4000	6
2	3887	2
3	1000	6
4	3436	2
5	3331	1

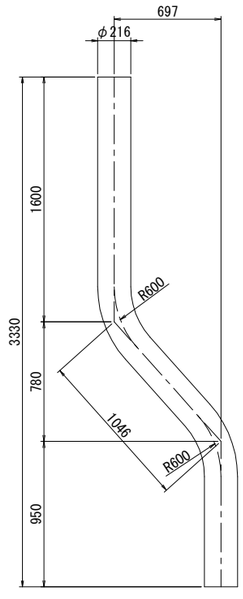
曲 管 詳 細 S=1:20

R1
(製作数：2)



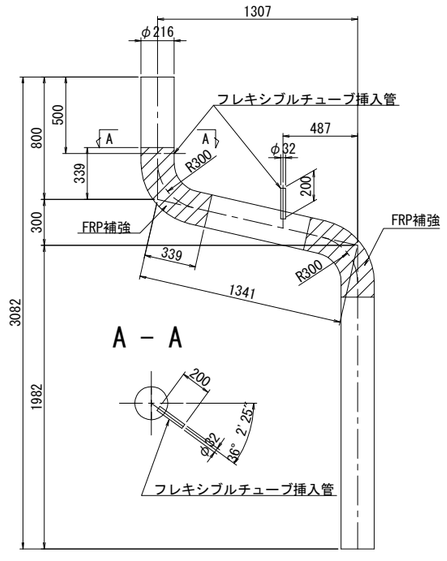
1 - VP 200A x 3564

R2
(製作数：2)



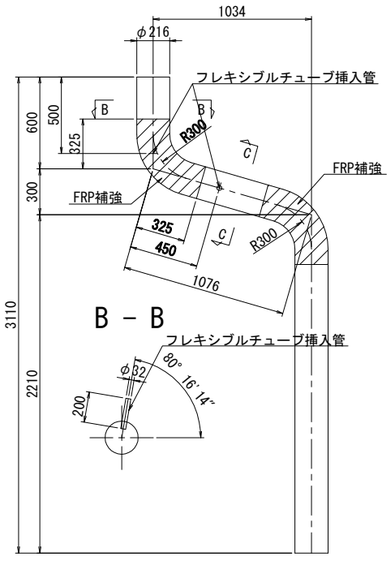
1 - VP 200A x 3556

R3
(製作数：1)



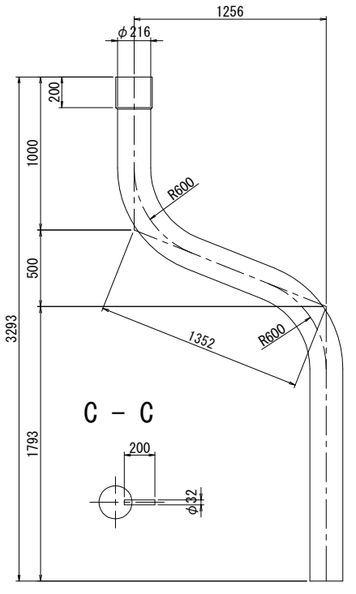
1 - VP 200A x 3974
2 - VP 25A x 200

R4
(製作数：1)



1 - VP 200A x 3758
2 - VP 25A x 200

R5
(製作数：1)



1 - VP 200A x 3948

注 記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. ※印部材は、本体付を示す。
3. ※印部材以外は、全て溶融亜鉛メッキを施す。
   亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
   但し、ボルト・ナット類は、HDZ35とする。
4. ナットは全てゆるみ止めナットを使用し、Wは平丸座金を示す。
5. 主桁付支持金具は、主桁腹板側に滞水が流れないよう
   支持金具腕材に勾配を付けて取付けること。
6. フレキシブルチューブ挿入管の詳細は、P5～P9排水装置
   (その6)図面参照。
7. ▨ は、排水管曲げ加工部FRP補強範囲を示す。

実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 排水装置(その4)		
縮尺	1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	184 / 212

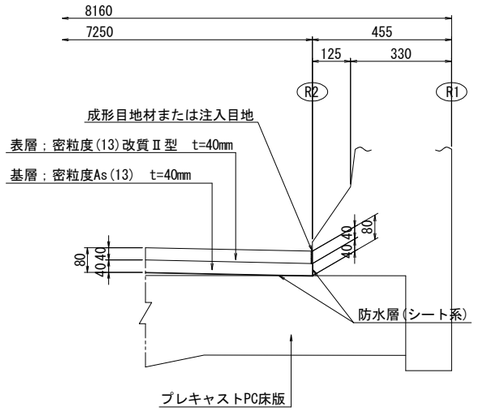
P5～P9 排水装置(その5) S=1:10

橋面排水工(その1)

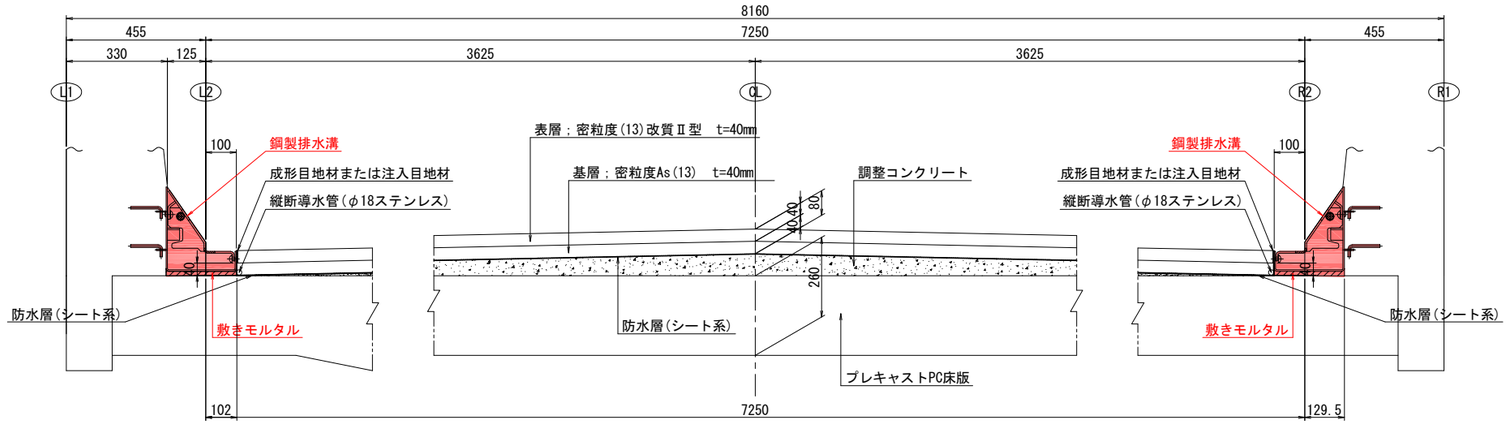
防水層詳細

断　面　図

A － A

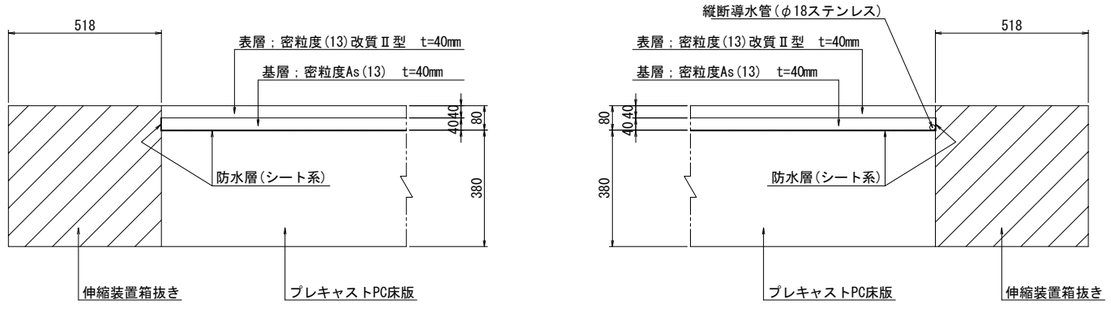


B － B



桁端部側面図

P5側



P9側

防水層面積

舗装部：	258.564 x 7.250	=	1874.589
鋼製排水溝下部：	(257.875 + 246.872) x 0.1295	=	65.365
橋軸方向立ち上がり部：	258.564 x 2 x 0.040	=	20.685
橋軸直角方向立ち上がり部：	(7.509 + 7.506) x 0.040	=	0.601
	合　計		1961.240 m2

導水管延長(φ18ステンレス)

橋軸方向：	258.564 + 246.872	=	505.436
橋軸直角方向：		=	7.506
	合　計		512.942 m

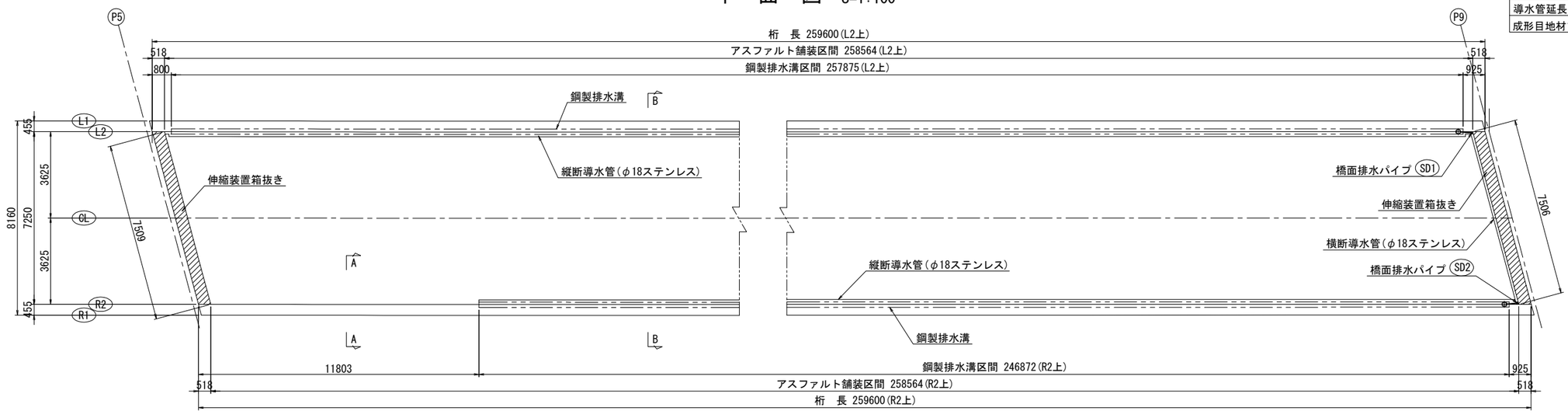
成形目地材または注入目地材延長

258.564 x 2 = 517.128 m

数量総括表

橋面排水パイプ個数	2 個
防水層面積	1961.240 m2
導水管延長(φ18ステンレス)	512.942 m
成形目地材または注入目地材延長	517.128 m

平　面　図 S=1:100



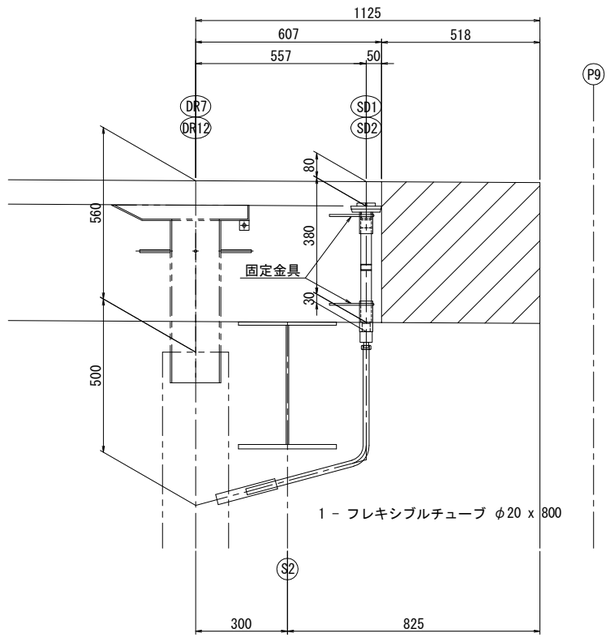
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 排水装置(その5)		
縮尺	1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	185 / 212

P5～P9 排水装置(その6) S=1:10

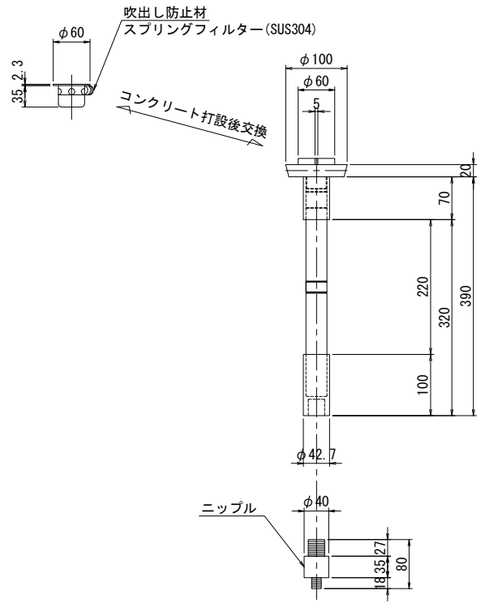
橋面排水工(その2)

橋面排水パイプ取付位置図

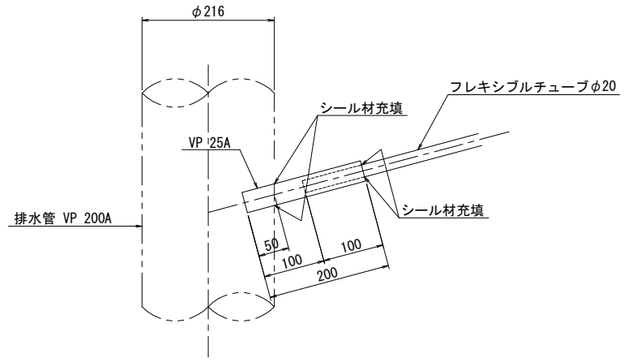


橋面排水パイプ詳細 S=1:5

SD1, SD2

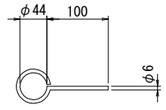


排水管挿入部詳細 S=1:5



固 定 金 具 S=1:5

(製作数 : 4)



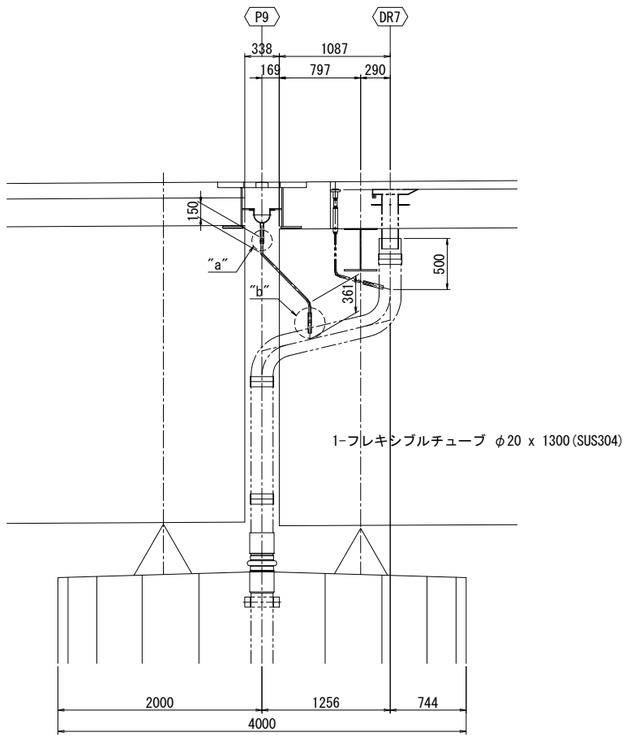
1 - RB φ6 x 260(SR235)

実 施

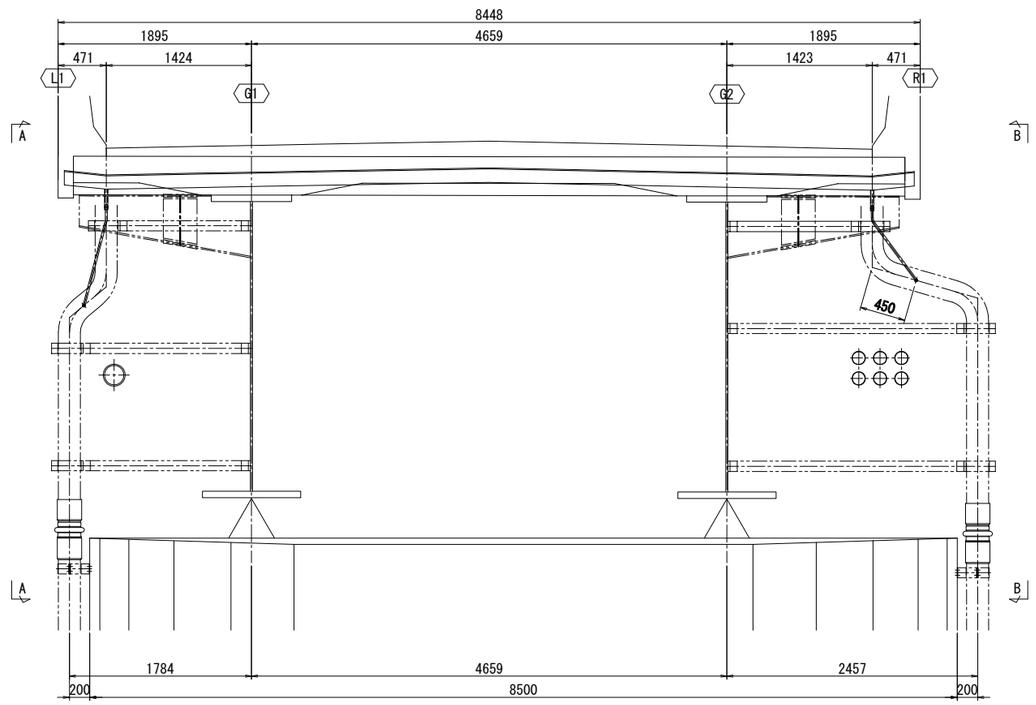
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 排水装置(その6)		
縮尺	1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	186 / 212

P5～P9 排水装置(その7)　S=1:30

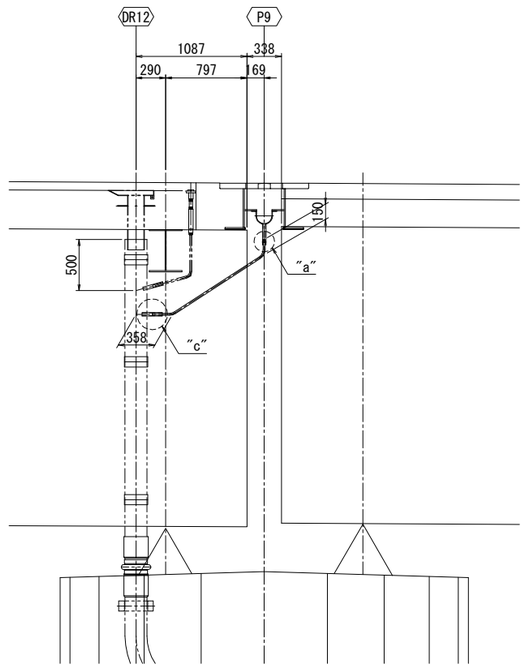
A － A



正 面 図

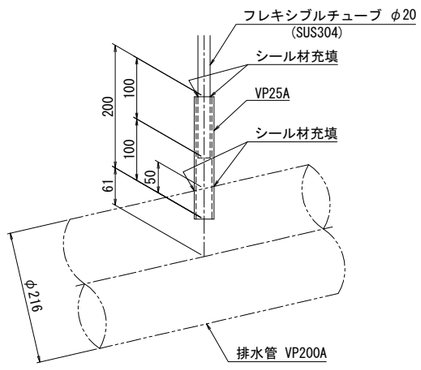


B － B



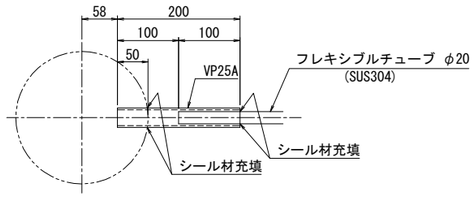
"b"部詳細　S=1:5

箇所数 ： 1

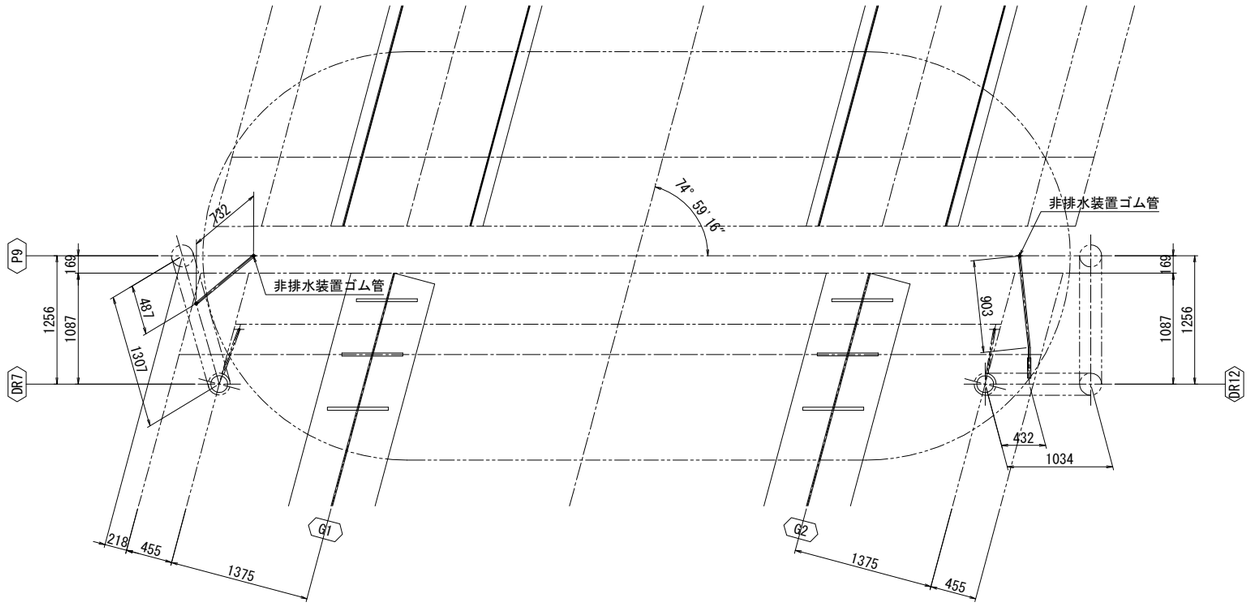


"c"部詳細　S=1:5

箇所数 ： 1

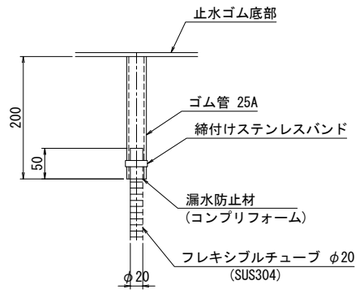


平 面 図



"a"部詳細　S=1:5

箇所数 ： 2



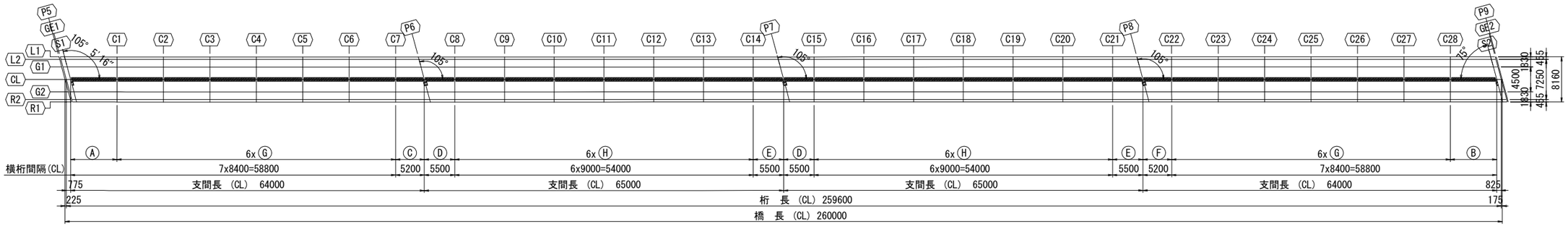
注記
1. フレキシブルチューブの長さは参考長さとする。

実　施

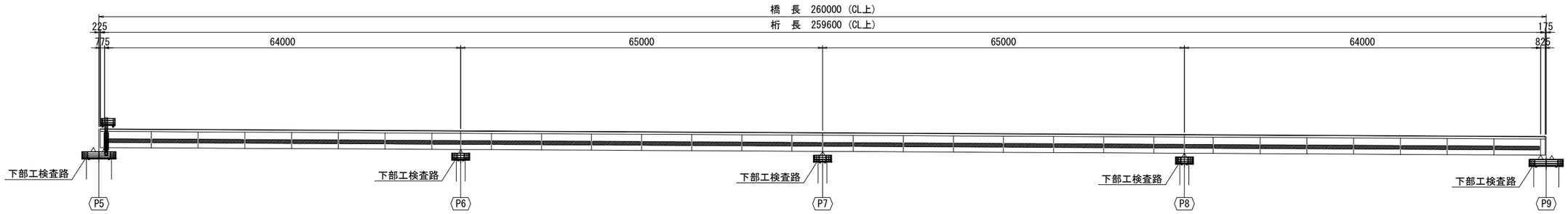
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 排水装置(その7)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	187 / 212

P5～P9 検査路系統図 S=1:400

平 面 図

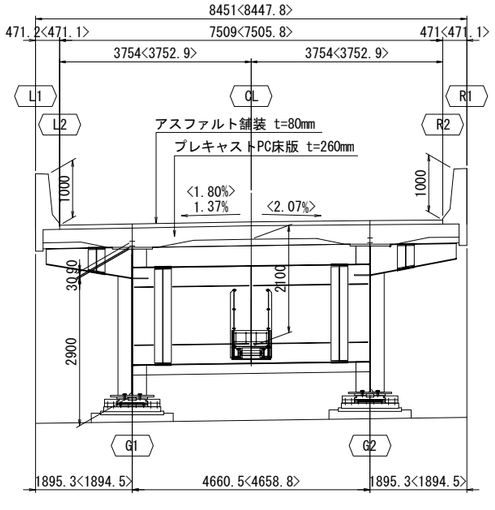


側 面 図

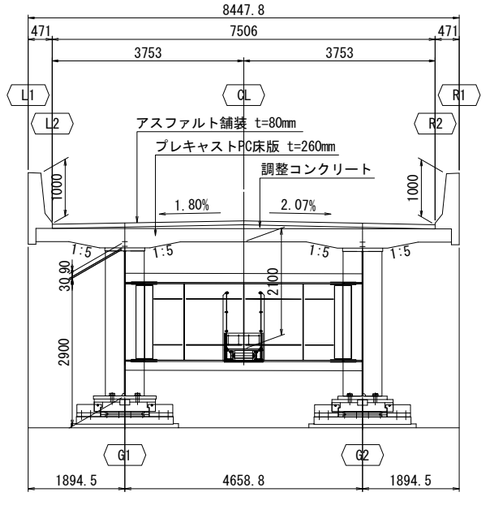


断 面 図 S=1:60

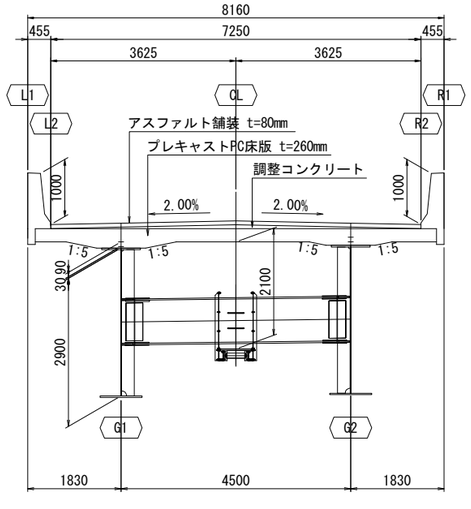
端支点部
S1,<S2>



中間支点部
P6～P8



中間部



タイプ	数量	長さ
A	1	7780
B	1	7780
C	1	4530
D	2	4830
E	2	4830
F	1	4530
G	12	8000
H	12	8600
合計	32	

実 施

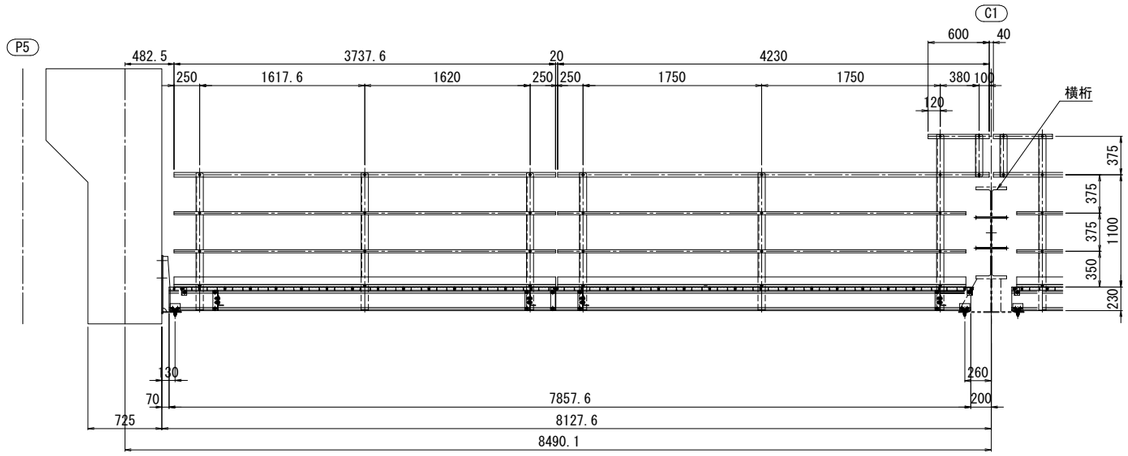
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 検査路系統図		
縮尺	1:400, 1:60	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	188 / 212

P5～P9 上部工検査路(その1) S=1:30

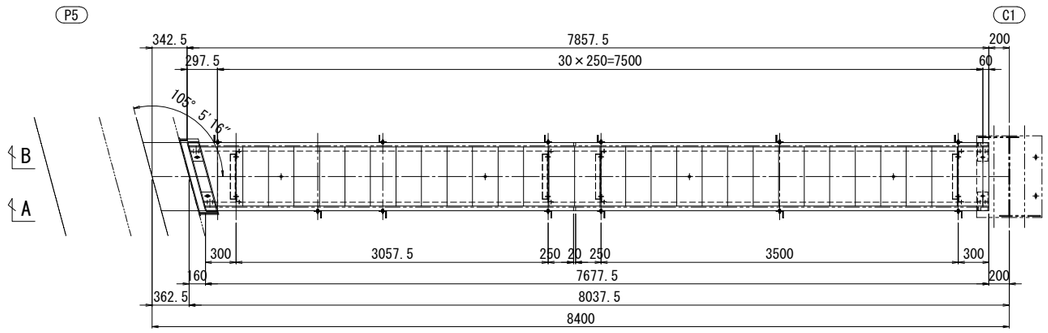
端支点部

タイプ A

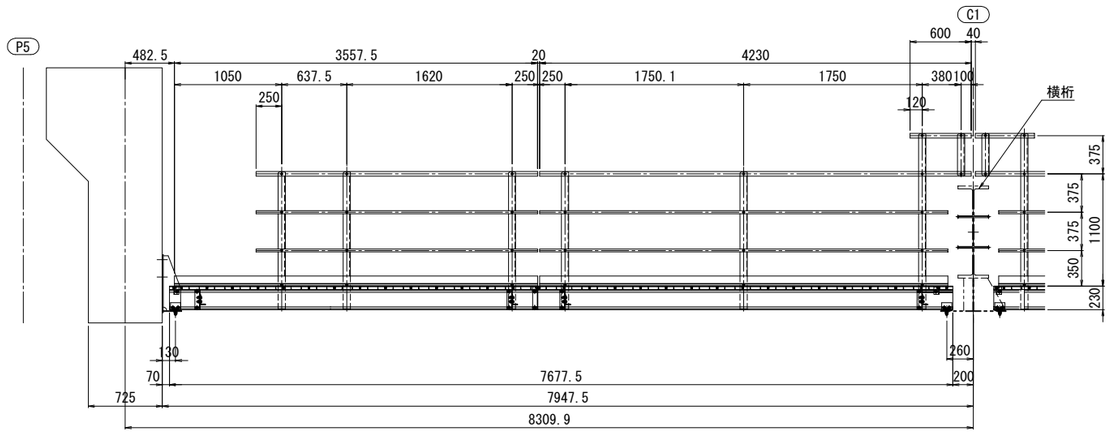
B － B



平面図

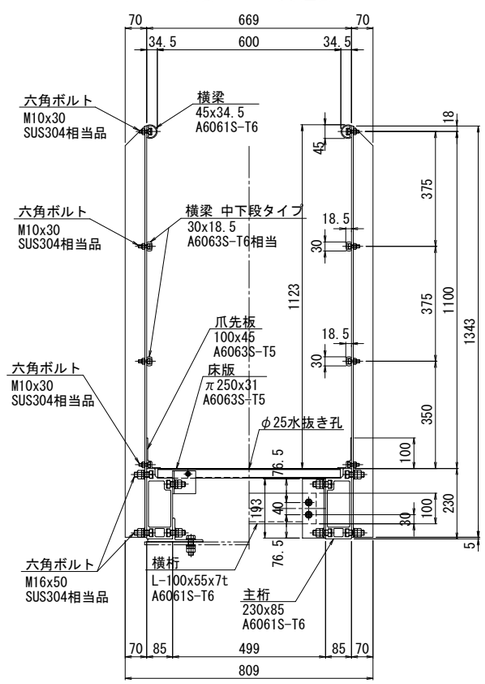


A － A



標準断面図 縮尺=1:10

端 部　　支柱部



注記)
1. 本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3. ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。

実　施

(参考図)

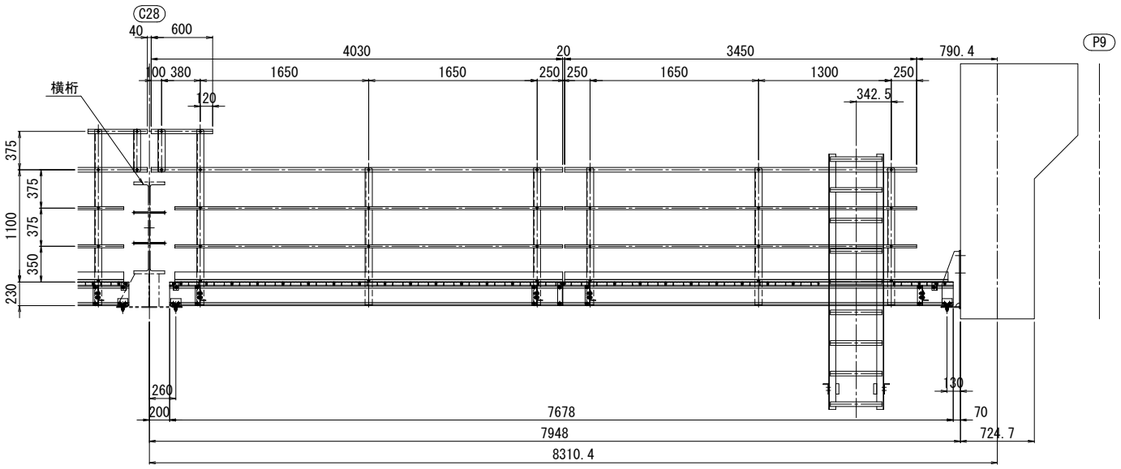
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 上部工検査路(その1)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	189 / 212

P5～P9 上部工検査路(その2) S=1:30

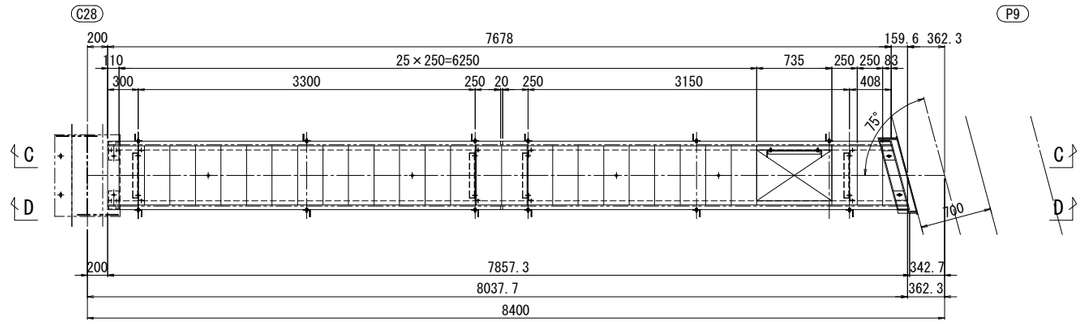
端支点部

タイプ B

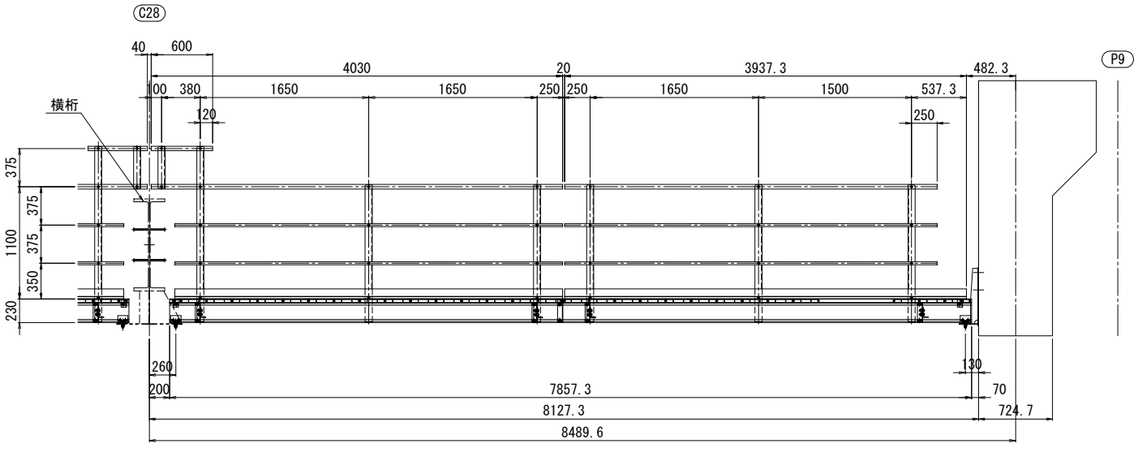
C － C



平面図

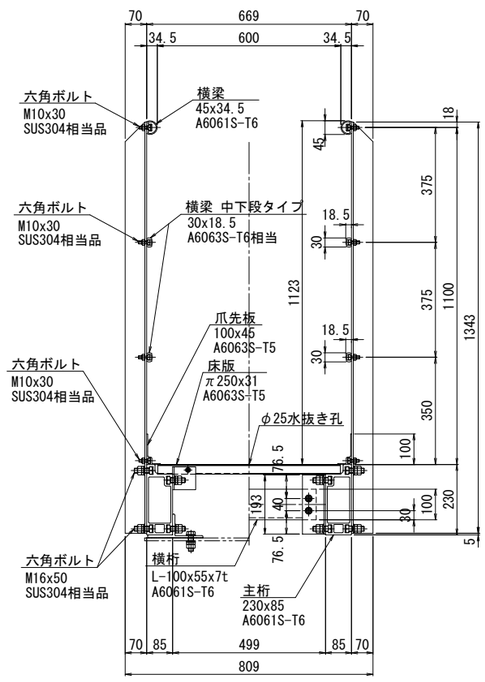


D － D



標準断面図 縮尺=1:10

端 部　　支柱部



注記）
1. 本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3. ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。

実　施

（参考図）

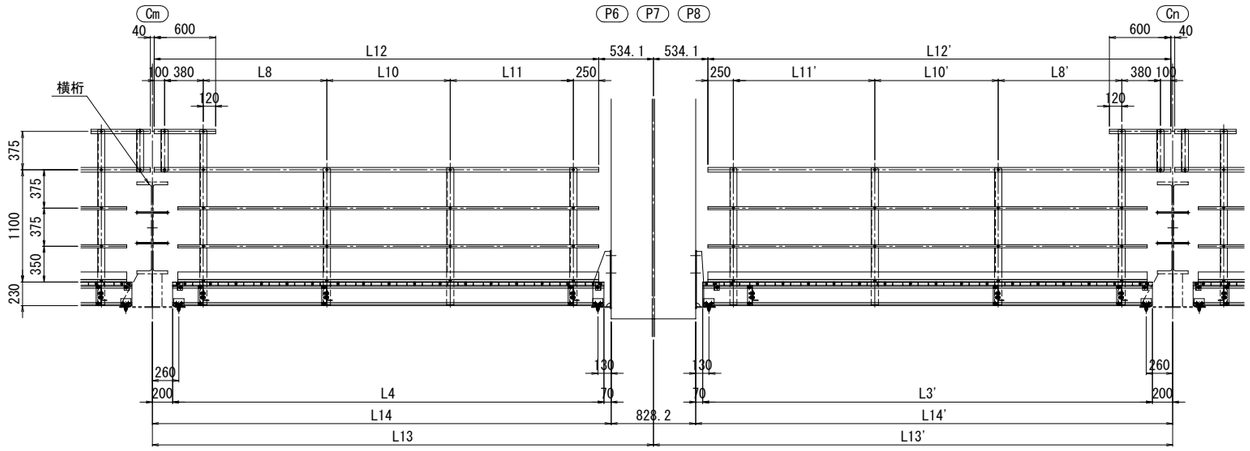
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 上部工検査路(その2)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	190 / 212

P5～P9 上部工検査路(その3) S=1:30

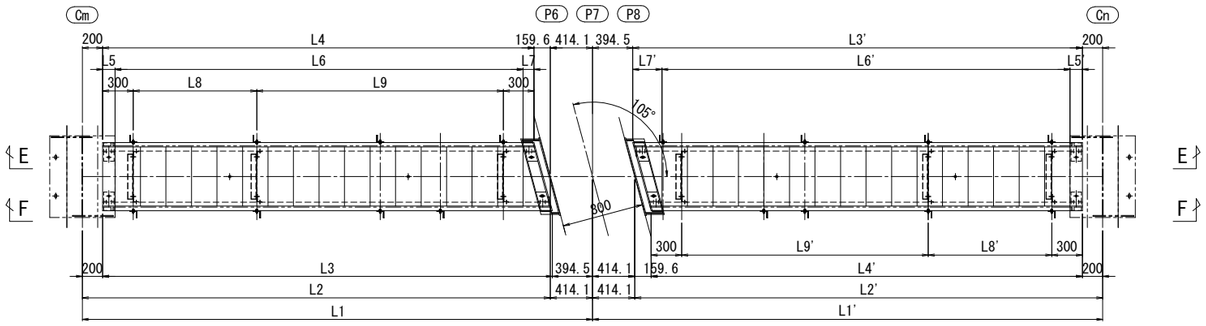
中間支点部

タイプ *1　　タイプ *2

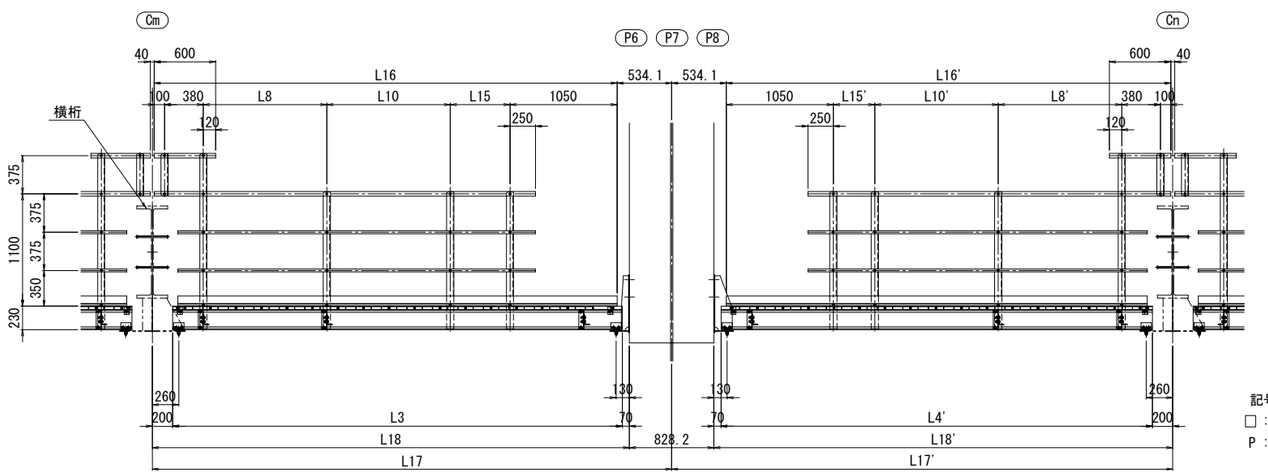
E － E



平面図



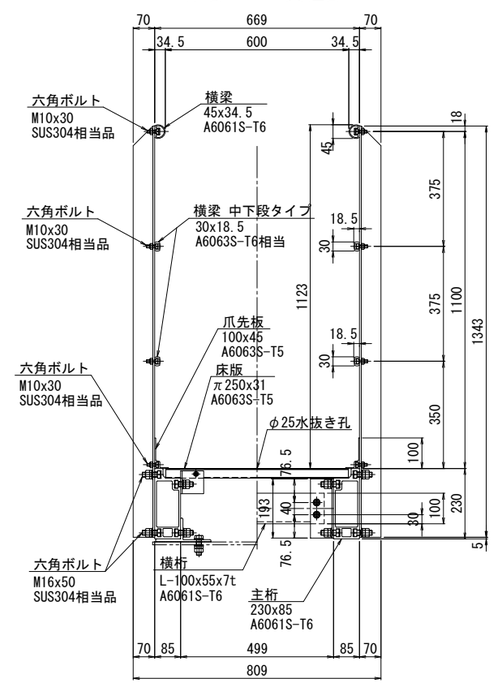
F － F



記号
□ ：検査路
P ：乗り越え手摺

標準断面図 縮尺=1:10

端 部　　支柱部



	タイプ *1	タイプ *2	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	L10	L11	L12
P6	タイプ C	タイプ D	5200	4785.9	4605.5	4426.3	120	17×250＝4250	56.3	1200	2626.3	1300	1326.3	4556.3
P7	タイプ E	タイプ D	5500	5085.9	4905.5	4726.3	170	18×250＝4500	56.3	1300	2826.3	1400	1426.3	4856.3
P8	タイプ E	タイプ F	5500	5085.9	4905.5	4726.3	170	18×250＝4500	56.3	1300	2826.3	1400	1426.3	4856.3

	L13	L14	L15	L16	L17	L18	L1'	L2'	L3'	L4'	L5'	L6'	L7'	L8'
P6	5110.4	4696.3	705.5	4735.5	5289.6	4875.5	5500	5085.9	4905.5	4726.3	170	18×250＝4500	235.5	1300
P7	5410.4	4996.3	805.5	5035.5	5589.6	5175.5	5500	5085.9	4905.5	4726.3	170	18×250＝4500	235.5	1300
P8	5410.4	4996.3	805.5	5035.5	5589.6	5175.5	5200	4785.9	4605.5	4426.3	150	17×250＝4250	205.5	1200

	L9'	L10'	L11'	L12'	L13'	L14'	L15'	L16'	L17'	L18'	構造
P6	2826.3	1400	1605.5	5035.5	5589.6	5175.5	626.3	4856.3	5410.4	4996.3	□P
P7	2826.3	1400	1605.5	5035.5	5589.6	5175.5	626.3	4856.3	5410.4	4996.3	□P
P8	2626.3	1300	1505.5	4735.5	5289.6	4875.5	526.3	4556.3	5110.4	4696.3	□P

注記）
1. 本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3. ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。

実　施

（参考図）

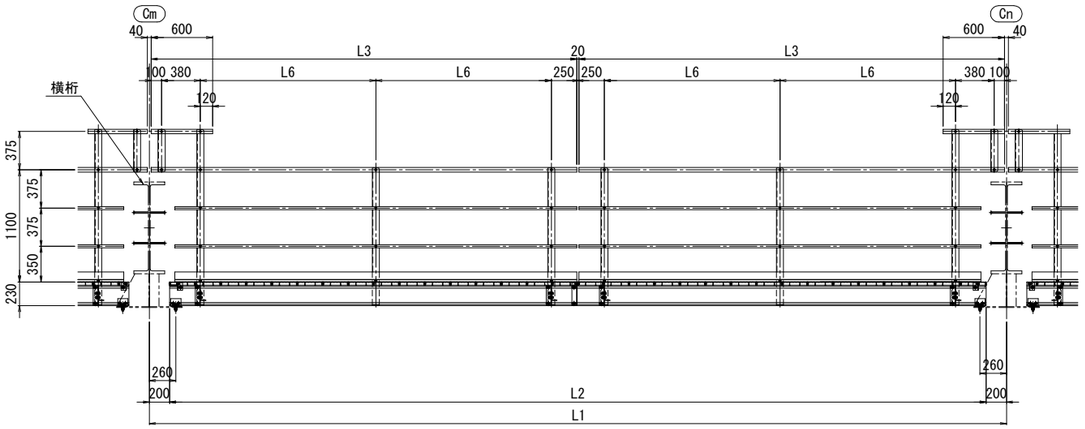
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 上部工検査路(その3)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	191 / 212

P5～P9 上部工検査路(その4) S=1:30

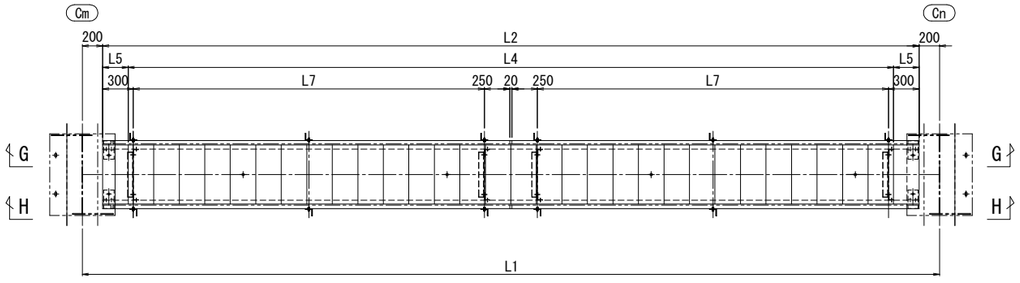
中間部

タイプ＊

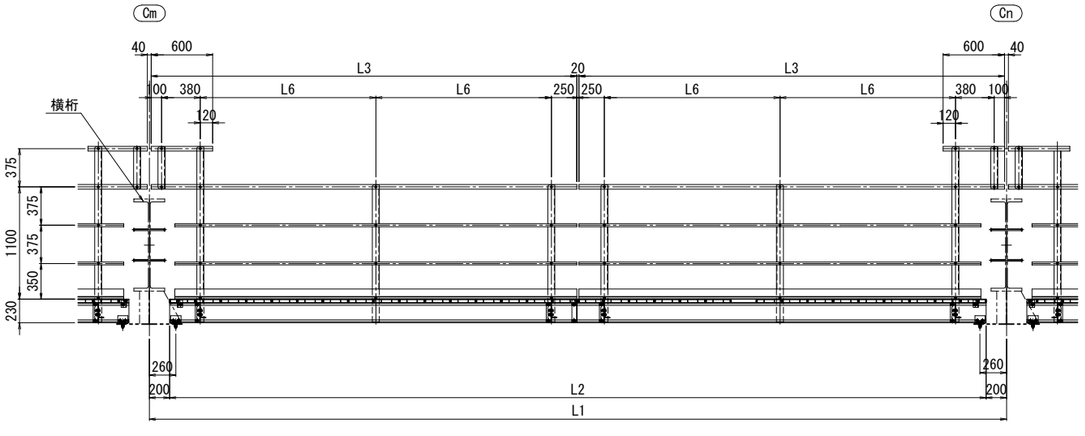
G － G



平面図

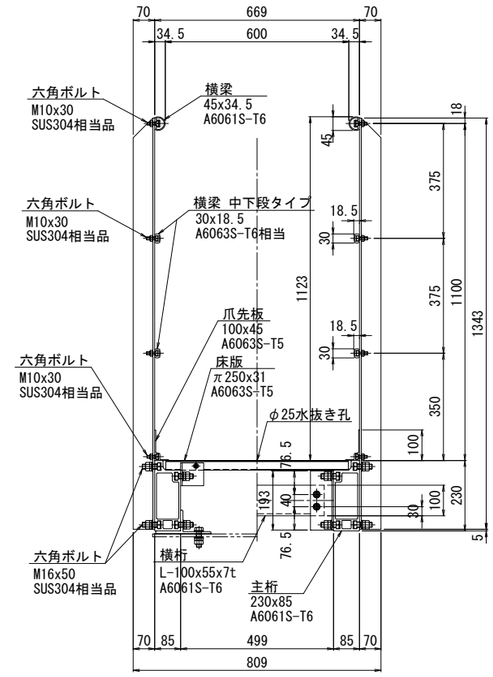


H － H



標準断面図 縮尺=1:10

端 部　　支柱部



タイプ＊	数量	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	構造
タイプ G	12	8400	8000	4170	32×250＝8000	0	1870	3740	□P
タイプ H	12	9000	8600	4470	33×250＝8250	175	1720	3440	□P
合計	24								

記号
□ :検査路
P :乗り越え手摺

注記）
1. 本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3. ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。

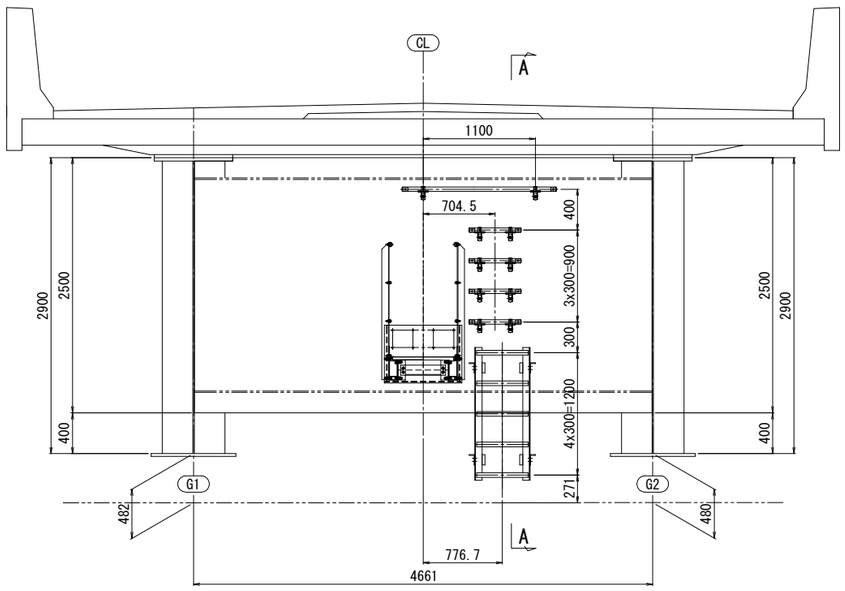
実　施

（参考図）

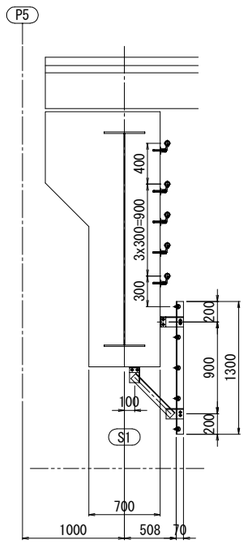
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 上部工検査路(その4)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	192 / 212

P5～P9 上部工検査路(その5) S=1:30

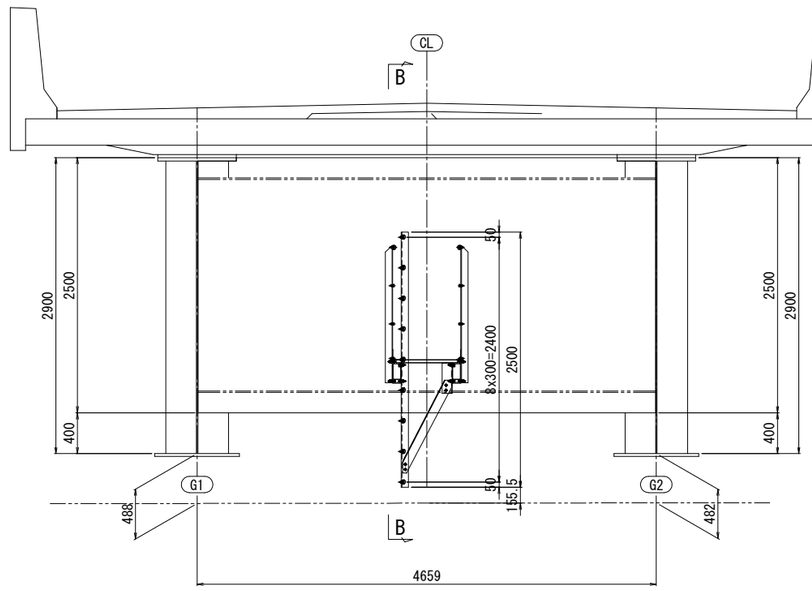
P5(S1) 端支点上横桁部



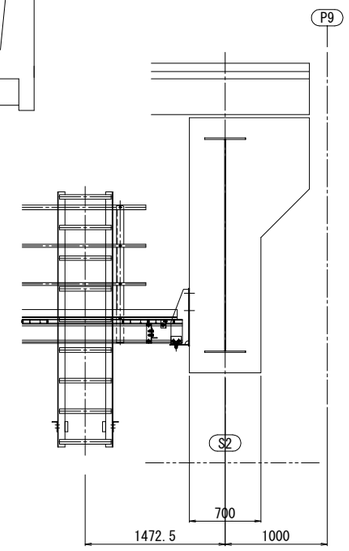
A － A



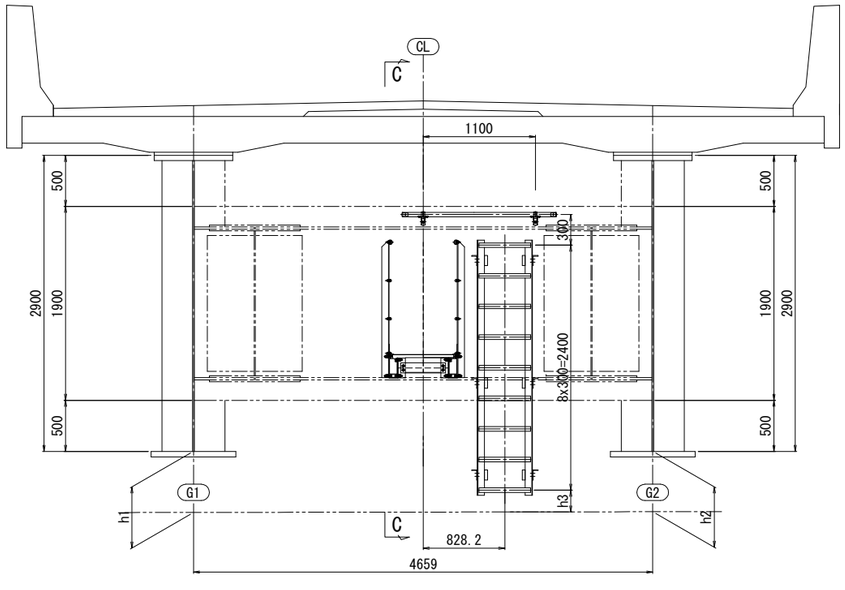
P9(S2) 端支点上横桁部



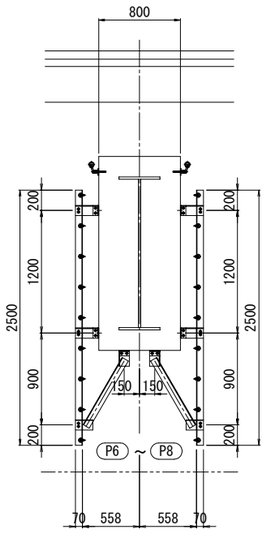
B － B



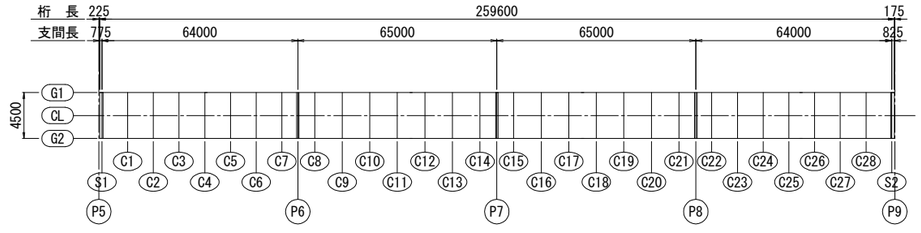
P6～P8 中間支点上横桁部



C － C



配置図



	h1	h2	h3
P6	598	591	213
P7	577	570	292
P8	597	591	213

実 施

(参考図)

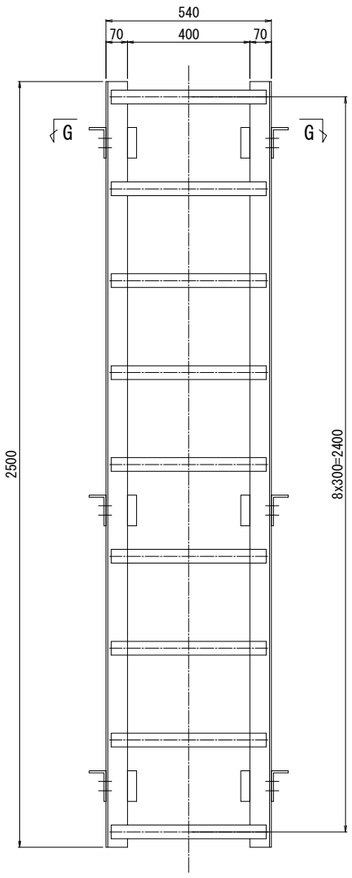
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 上部工検査路(その5)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	193 / 212

P5～P9 上部工検査路(その6) S=1:10

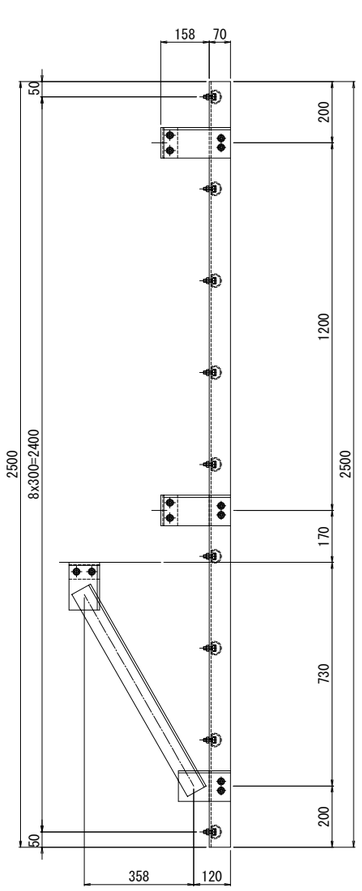
梯子A(P6-P8)

製作数:6組

正 面 図



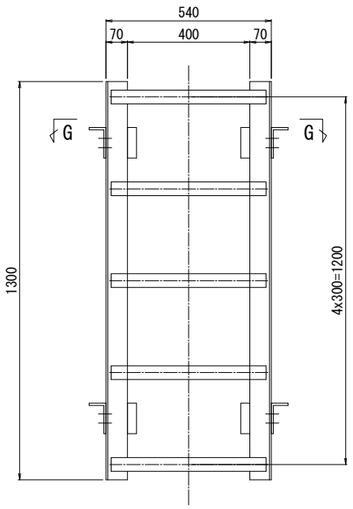
側 面 図



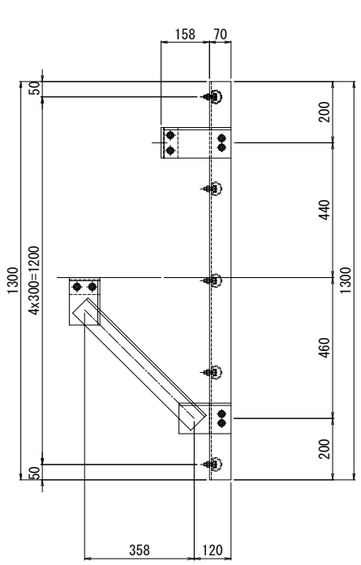
梯子B(S1)

製作数:1組

正 面 図



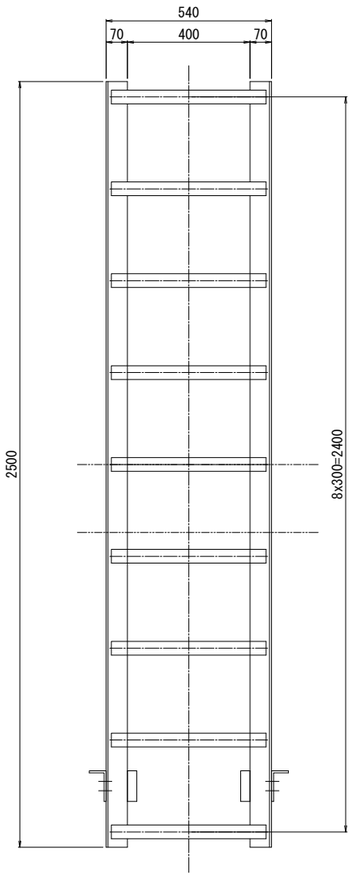
側 面 図



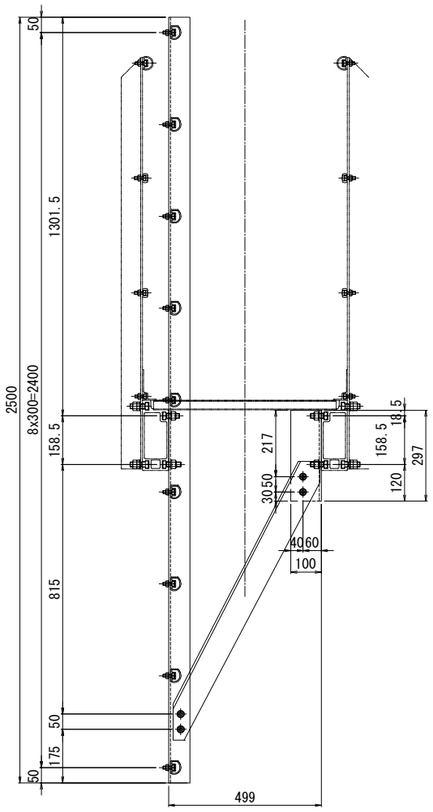
梯子C(S2)

製作数:1組

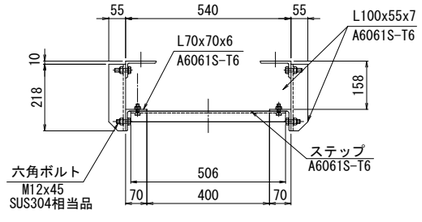
正 面 図



側 面 図

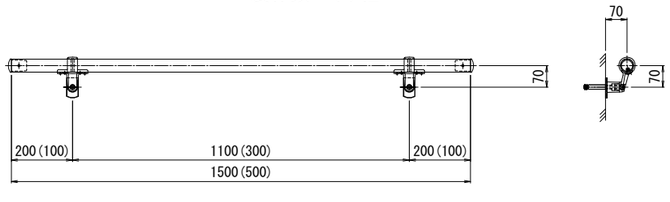


G － G



手摺詳細

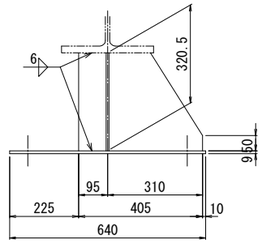
製作数:7(4)組

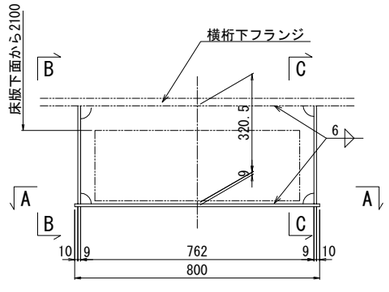


中間横桁部受け台詳細

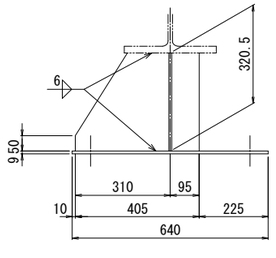
製作数: 28組

B － B

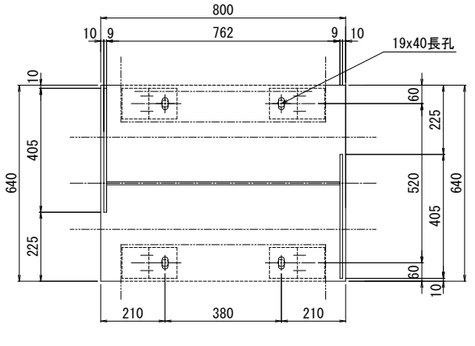




C － C



A － A



1-PL 640x9x 800 (SM400A)
2-PL 405x9x 321 (SM400A)
1-PL 321x9x 762 (SM400A)

注記)
1. 本検査路の表面処理はアルマイト(シルバー色)とする。
2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3. ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。
4. ボルトの取合いは、現地測量後決定のこと。
5. 縦断勾配2%以下については、現地調整とする。
6. 本図の受け台(鋼製)はアルミ検査路範囲外とする。

実 施

(参考図)

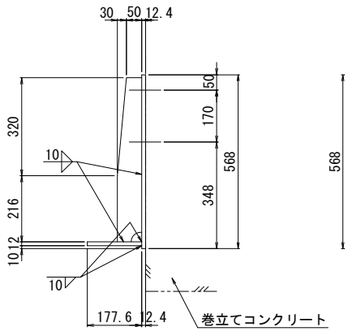
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 上部工検査路(その6)		
縮尺	1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	194 / 212

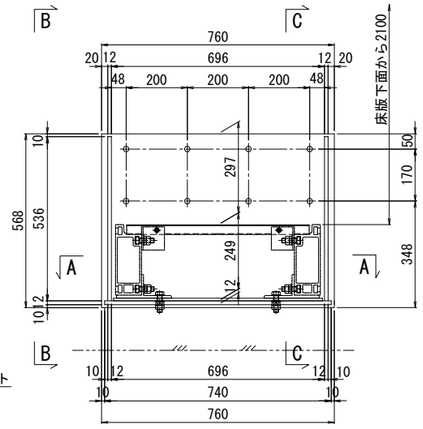
P5～P9 上部工検査路(その7) S=1:10

巻立て部受け台詳細

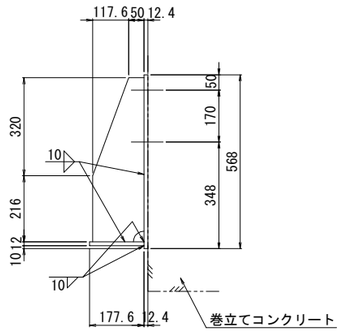
S1 製作数: 1組

B － B

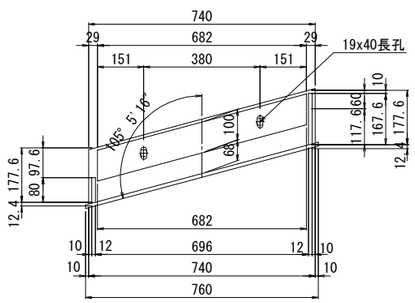




C － C



A － A

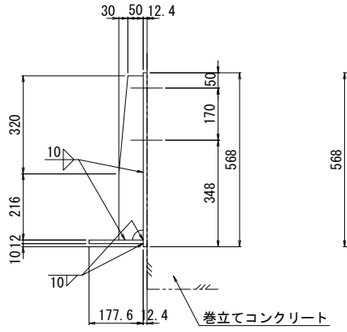


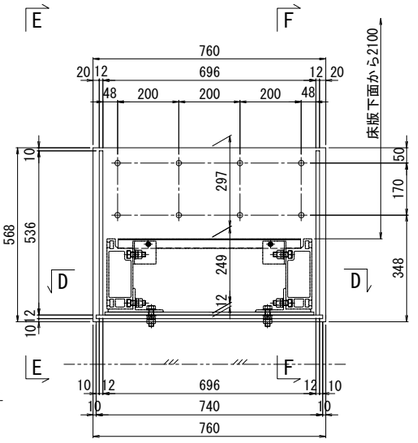
1 － PL 568 x 12 x 787 (A5083P)
1 － PL 168 x 12 x 536 (A5083P)
1 － PL 80 x 12 x 536 (A5083P)
1 － PL 171 x 12 x 813 (A5083P)
1 － PL 97 x 12 x 732 (A5083P)

8 － ANC M16 (N1,3N1,W1付)(SBA1612相当品)

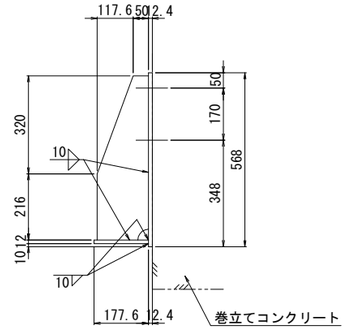
P6-S2 製作数: 7組

E － E

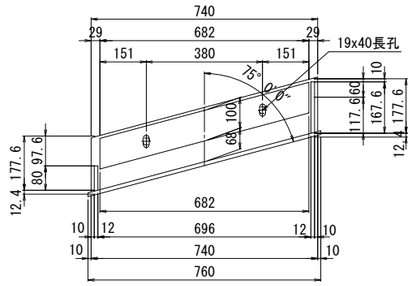




F － F



D － D



1 － PL 568 x 12 x 787 (A5083P)
1 － PL 168 x 12 x 536 (A5083P)
1 － PL 80 x 12 x 536 (A5083P)
1 － PL 172 x 12 x 812 (A5083P)
1 － PL 97 x 12 x 732 (A5083P)

8 － ANC M16 (N1,3N1,W1付)(SBA1612相当品)

注記

1. ボルトの取合いは、現地測量後決定のこと。
2. 本図の受け台(鋼製)はアルミ検査路範囲外とする。
3. 縦断勾配2%以下については、現地調整とする。

実 施

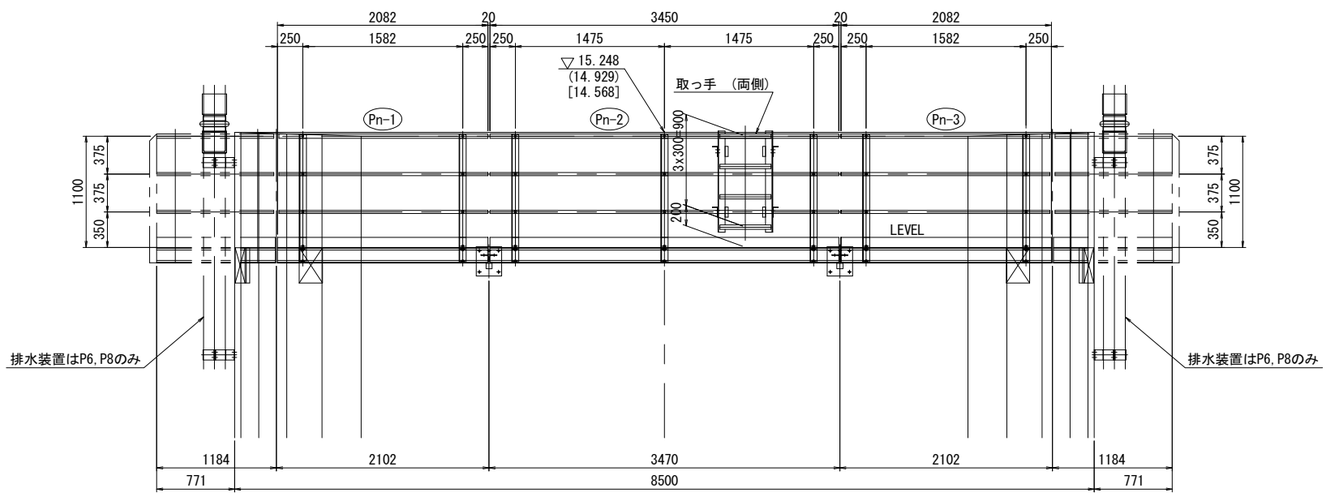
(参考図)

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 上部工検査路(その7)		
縮尺	1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	195 / 212

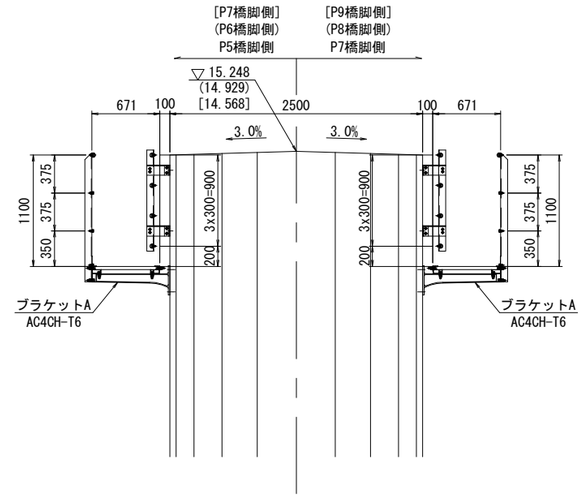
P5～P9 下部工検査路(その1)　S=1:30

P6橋脚，P7橋脚，P8橋脚

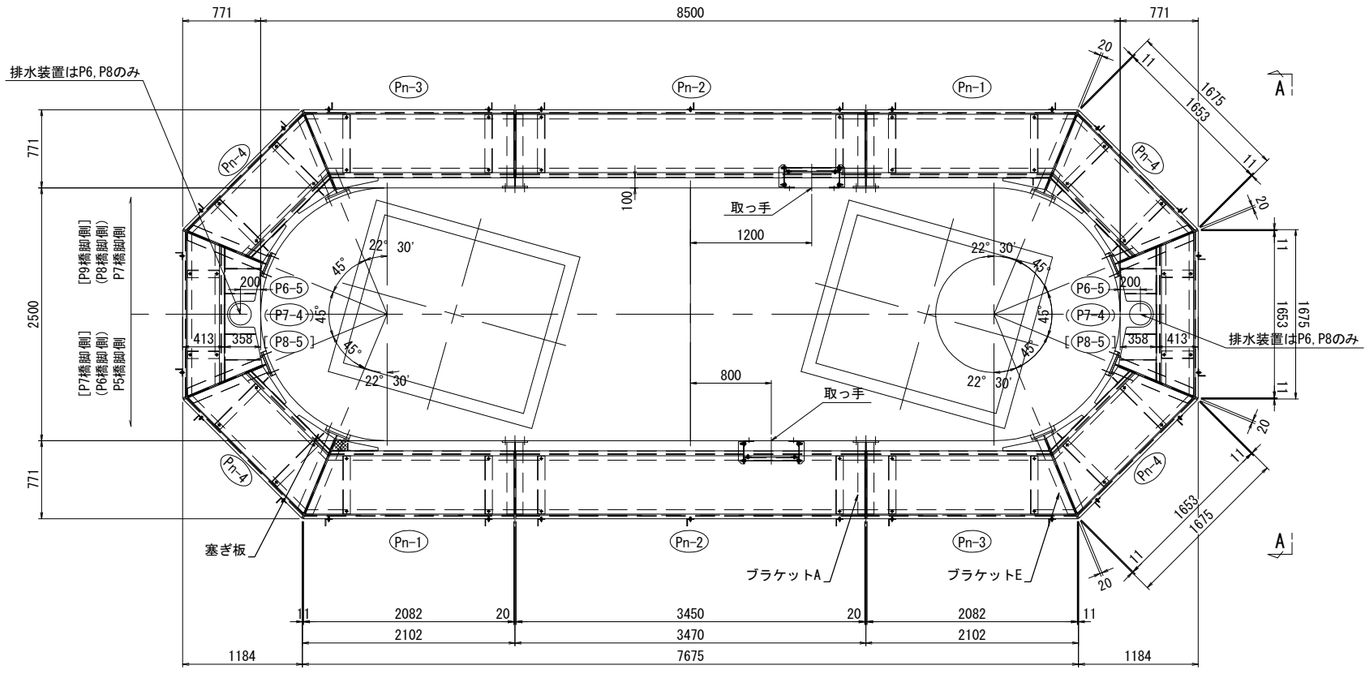
正 面 図



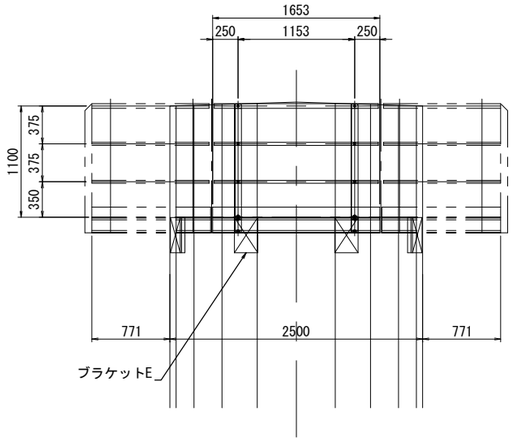
側 面 図



平 面 図



A － A



【検査路ユニット総括表】

	ユニット番号	ユニット長 (mm)	ユニット幅 (mm)	ユニット数 (基)
1	P6-1(P7-1)[P8-1]	2082	671	2(2)[2]
2	P6-2(P7-2)[P8-2]	3450	671	2(2)[2]
3	P6-3(P7-3)[P8-3]	2082	671	2(2)[2]
4	P6-4(P7-4)[P8-4]	1653	671	4(6)[4]
5	P6-5[P8-5]	1653	671	2[2]

【ブラケット総括表】

		ブラケット数 (本)	アンカー本数 (本)
1	ブラケットA	4	20
2	ブラケットE	8	40

【梯子総括表】

		梯子長 (mm)	梯子数 (基)	アンカー本数 (本)
1	取っ手	1000	2	8

※(　)内の値はP7を示す。
※[　]内の値はP8を示す。

実　施

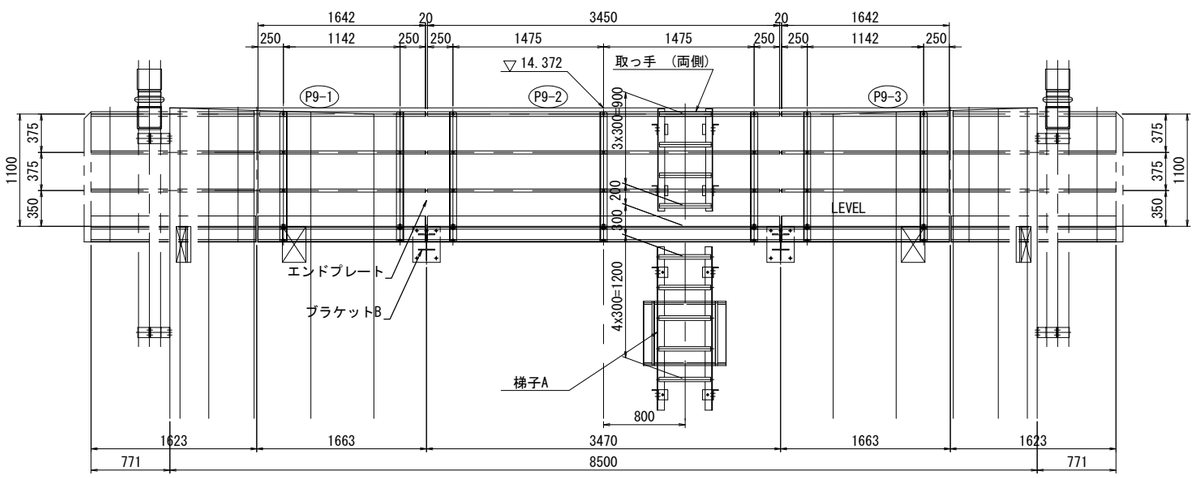
(参考図)

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 下部工検査路(その1)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	196 / 212

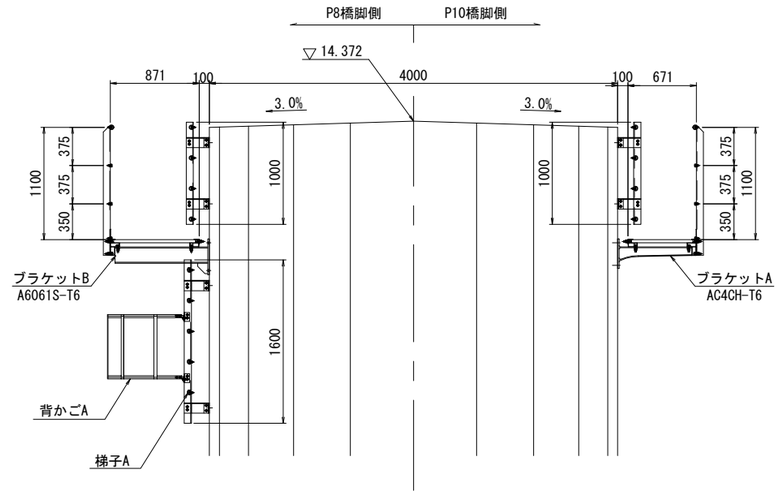
P5～P9 下部工検査路(その2)　S=1:30

P9橋脚

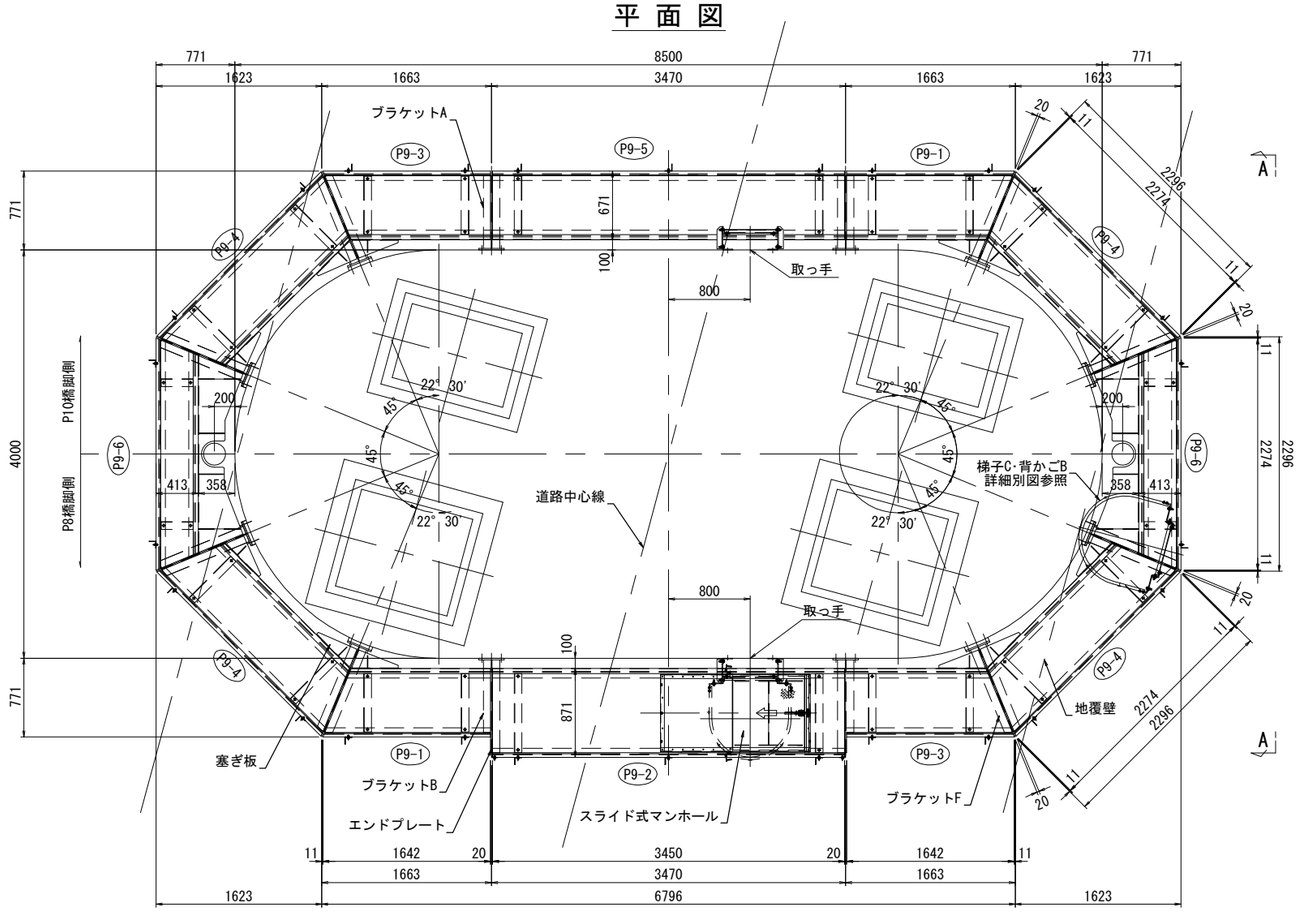
正 面 図



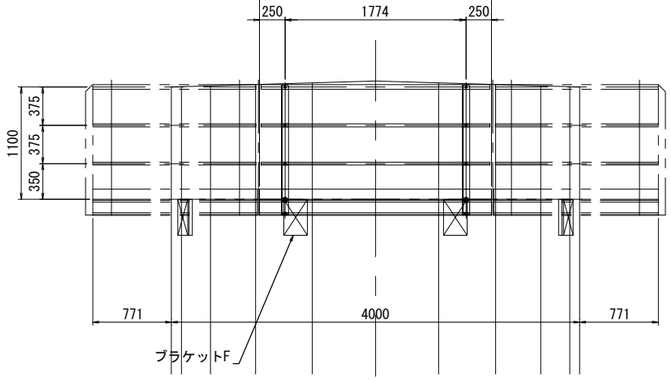
側 面 図



平 面 図



A － A



【検査路ユニット総括表】

	ユニット番号	ユニット長 (mm)	ユニット幅 (mm)	ユニット数 (基)
1	P9-1	1642	671	2
2	P9-2	3450	871	1
3	P9-3	1642	671	2
4	P9-4	2274	671	4
5	P9-5	3450	671	1
6	P9-6	2274	671	2

【梯子総括表】

		梯子長 (mm)	梯子数 (基)	アンカー本数 (本)
1	梯子A	1600	1	4
2	背かごA	630	1	－
3	梯子C	6900	1	－
4	背かごB	3030	1	－
5	取っ手	1000	2	8

【ブラケット総括表】

		ブラケット数 (本)	アンカー本数 (本)
1	ブラケットA	2	10
2	ブラケットB	2	10
3	ブラケットF	8	40

【スライド式マンホール】

		個数 (基)
1	スライド式マンホール	1

【梯子用ステージ総括表】

		長さ (mm)	個数 (基)	アンカー本数 (本)
1	ステージ	2400	1	－
2	ブラケットD	989	2	10

実　施

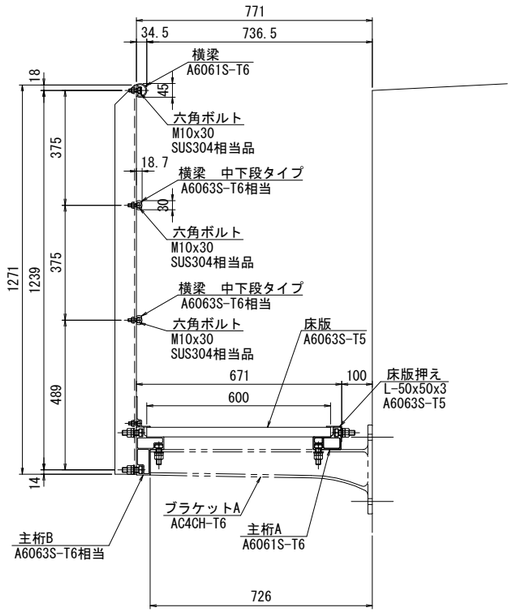
（参考図）

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 下部工検査路(その2)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	197 / 212

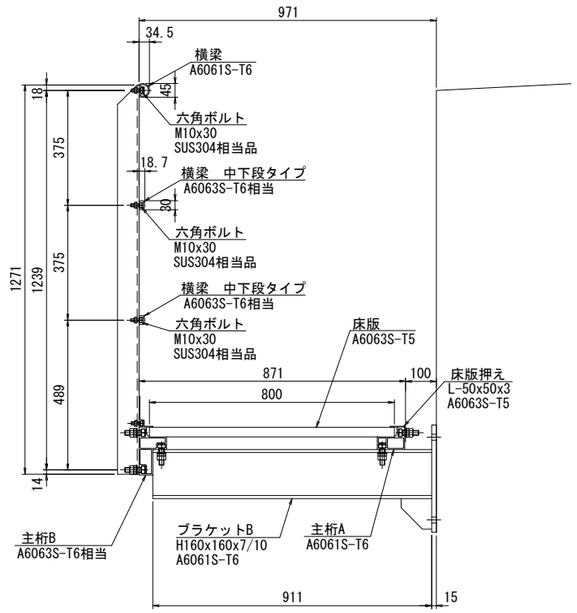
P5～P9 下部工検査路(その3)　S=1:10

各部詳細図

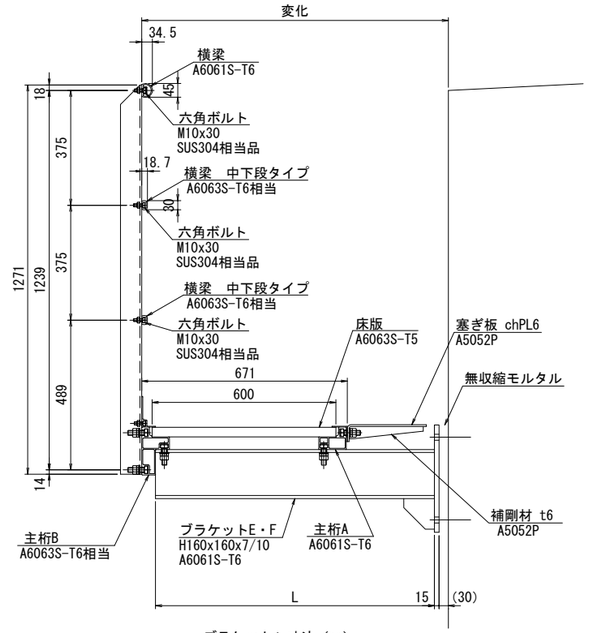
標準断面図



拡幅部断面図



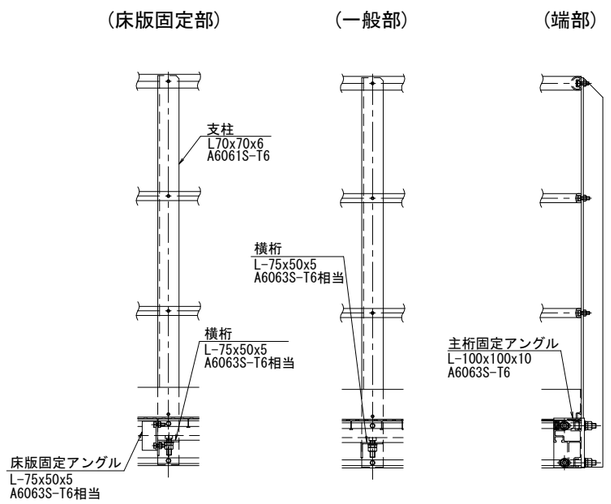
脚柱Ｒ部断面図



ブラケットＬ寸法（mm）

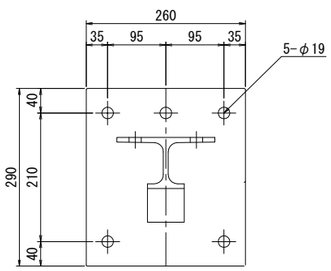
ブラケットE	832
ブラケットF	894

手摺姿図

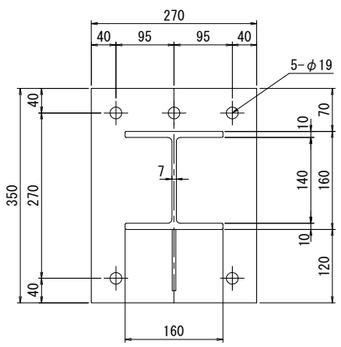


ブラケットベース　縮尺=1:5

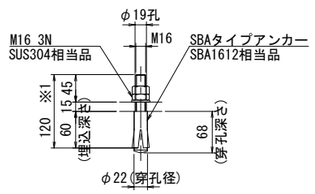
ブラケットA



ブラケットB～



アンカー詳細　縮尺=1:5



無収縮モルタル部はL=160(SBA1616相当品)

注）
1) 本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
但し，アルミブラケット、塞ぎ板は塗装処理とする。
2) ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3) ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。

実　施

（参考図）

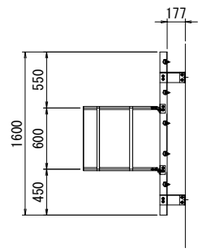
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 下部工検査路(その3)		
縮尺	1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	198 / 212

P5～P9 下部工検査路(その4)　S=1:30

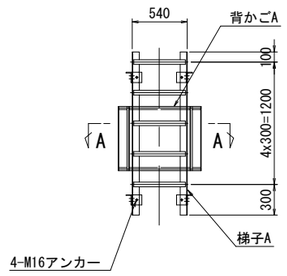
梯子詳細図

P9橋脚

側面図

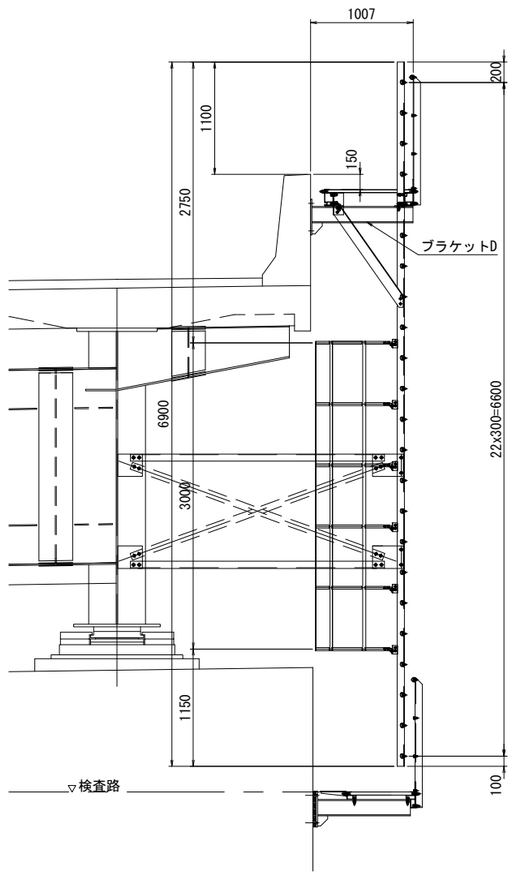


正面図

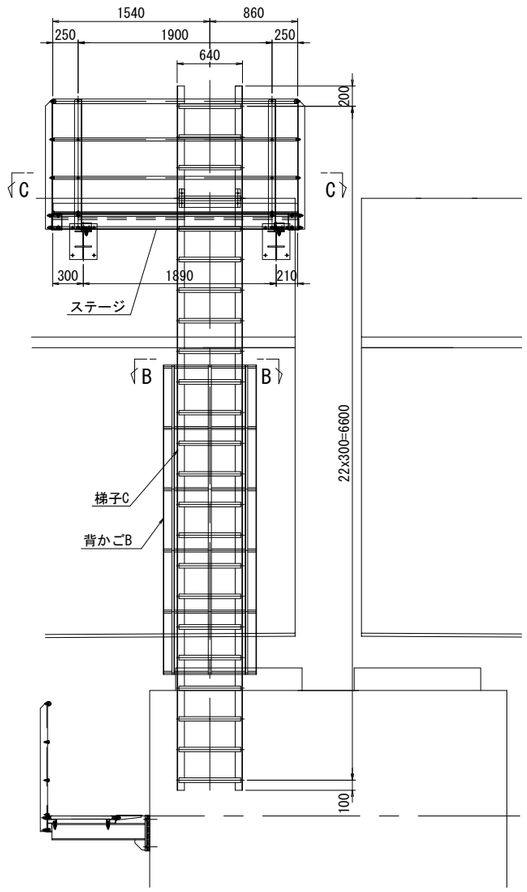


P9橋脚

側面図

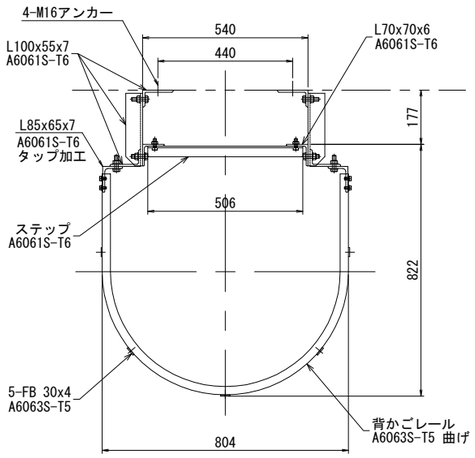


正面図



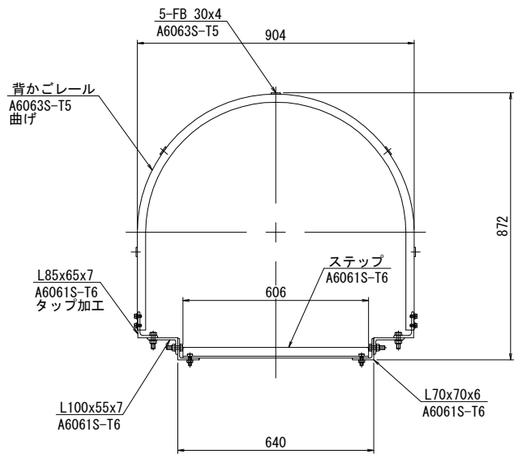
A － A　縮尺=1:10

梯子A・背かごA

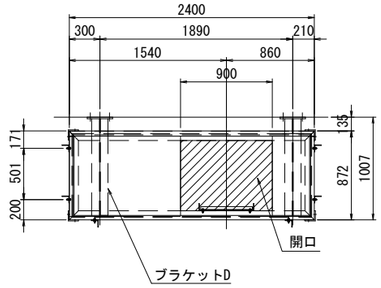


B － B　縮尺=1:10

梯子C・背かごB



C － C



注）
1) 本検査路の表面処理はアルマイト(シルバー色)とする。
　但し，ブラケット、補強材は塗装処理とする。
2) ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3) ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。

実　施　　（参考図）

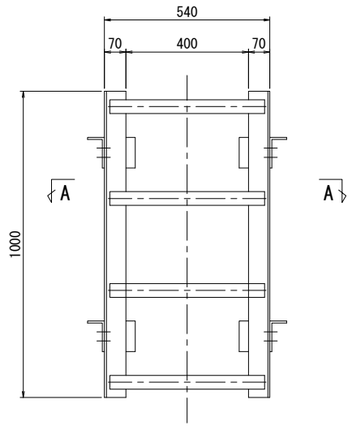
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 下部工検査路(その4)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	199 / 212

P5～P9 下部工検査路(その5)　S=1:10

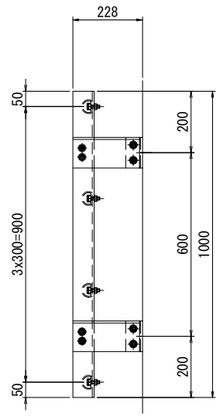
取っ手詳細図

取っ手

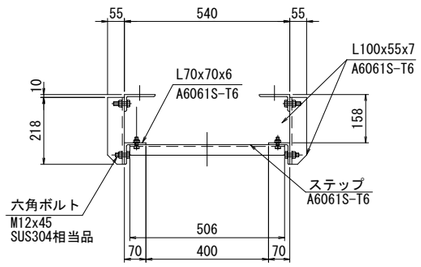
正 面 図



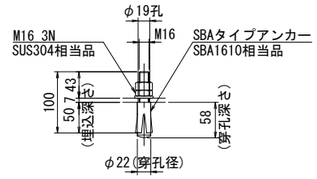
側 面 図



A － A



アンカー詳細　縮尺=1:5



注）
1）本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
2）ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3）ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。

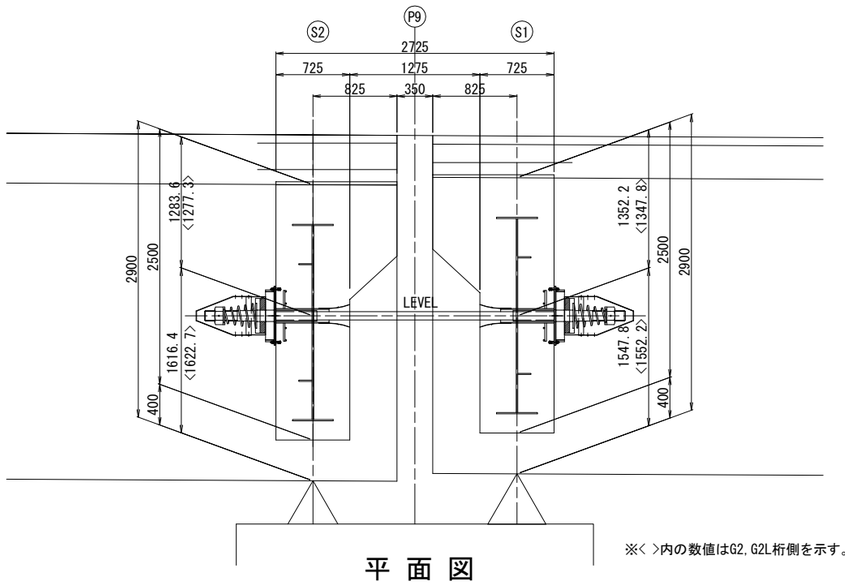
実　施

（参考図）

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 下部工検査路(その5)		
縮尺	1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	200 / 212

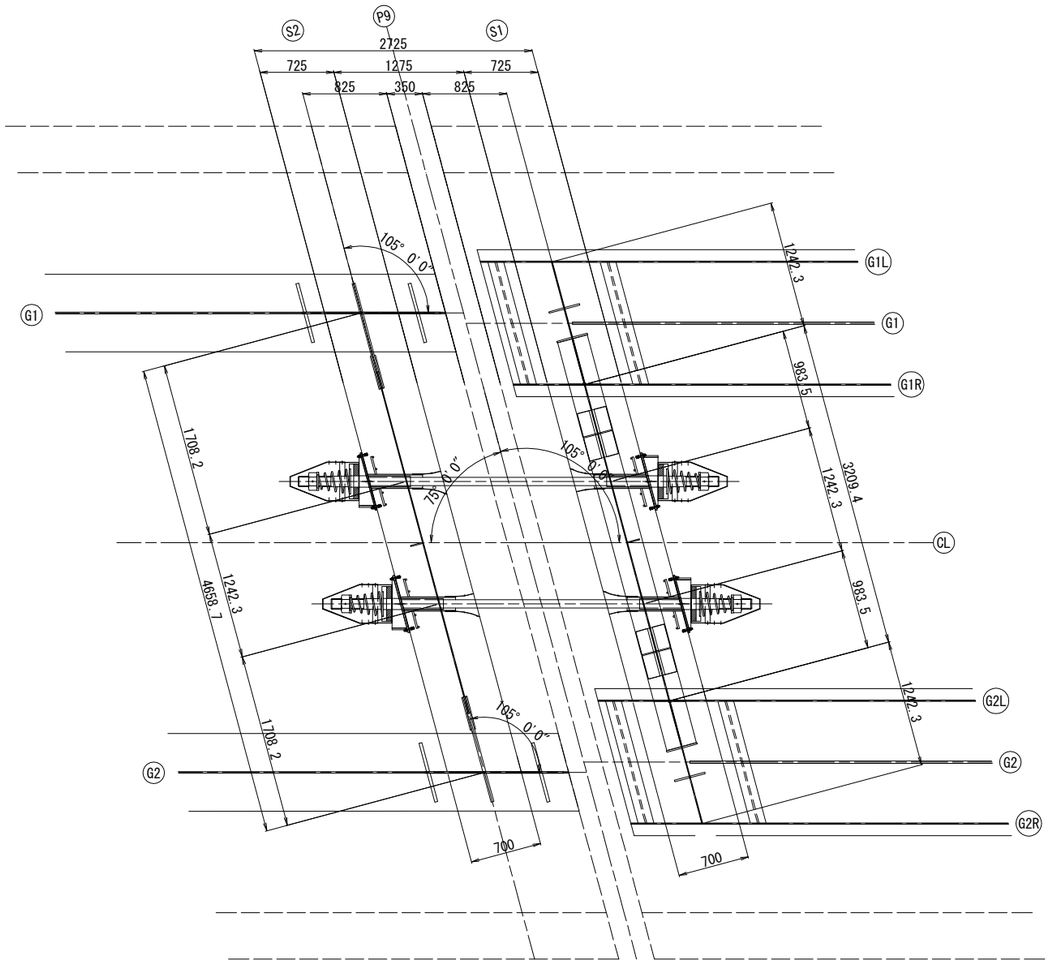
P5～P9 落橋防止構造図(その1) S=1:30

側 面 図



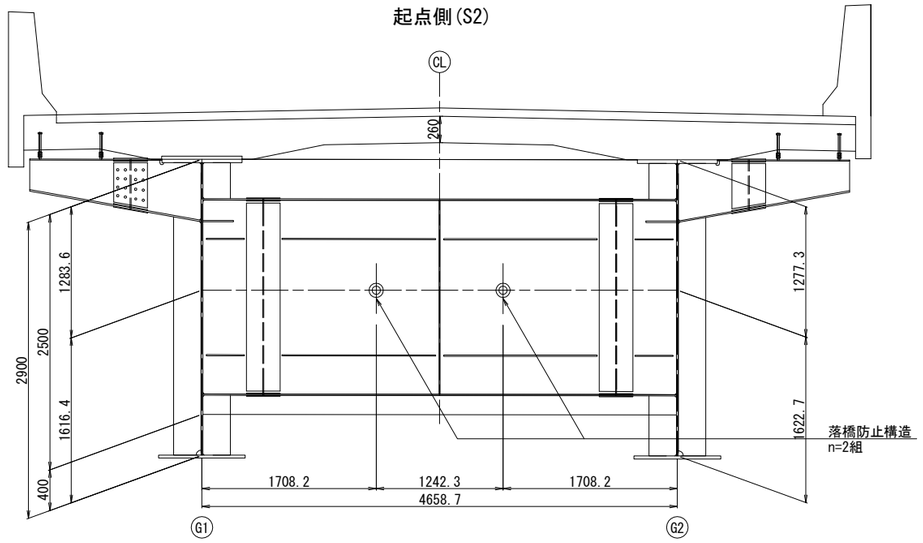
※< >内の数値はG2,G2L桁側を示す。

平 面 図

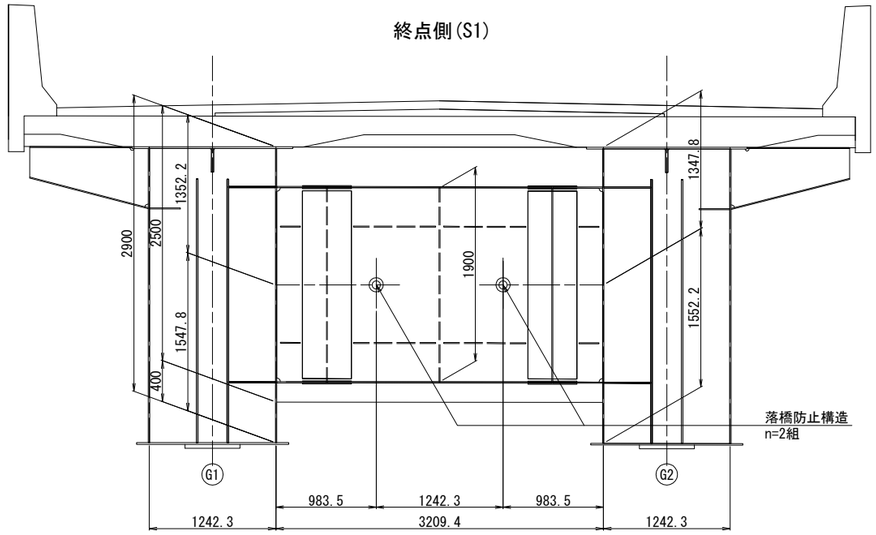


断 面 図

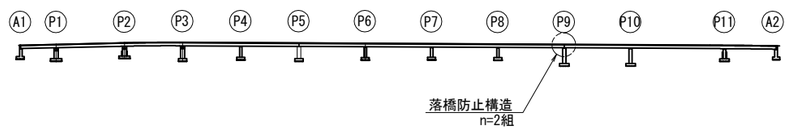
起点側(S2)



終点側(S1)



位 置 図



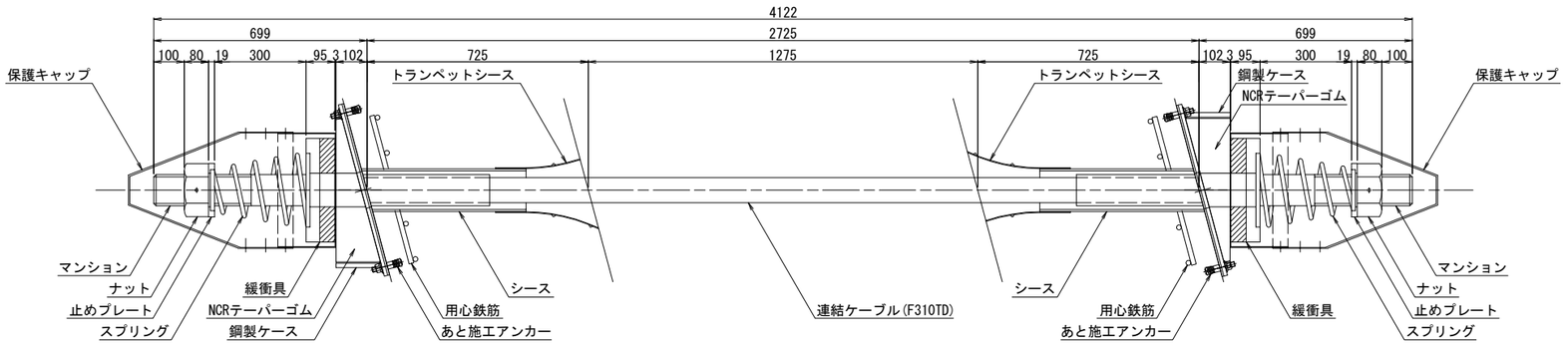
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 落橋防止構造図(その1)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	201 / 212

P5～P9 落橋防止構造図(その2) S=1:10

P9橋脚:取付詳細図及び部品図
(一本当り設計荷重 2573kN以上)

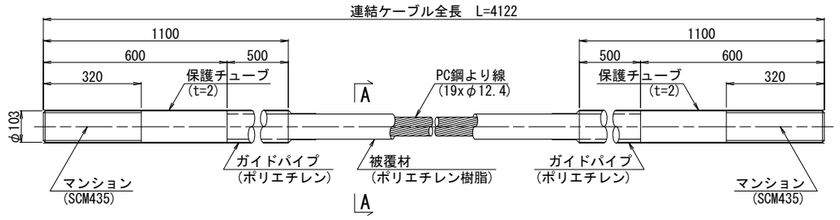
取付詳細図



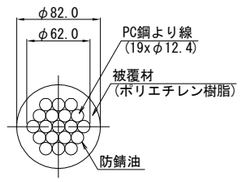
材 料 表 (落橋防止構造1組当たり)　　全2組

名　称	規　格	単位	数量	摘　要
連結ケーブル	L=4122mm	本	1	PC鋼より線,ポリエチレン被覆
(マンション)	標準	個	2	SCM435,ねじきり標準 〈ケーブルに組込〉
(ガイドパイプ)	500mm	本	2	ポリエチレン 〈ケーブルに組込〉
ナット		個	2	S45C:亜鉛めっき(HDZ55)
止めプレート		個	2	SS400相当品:亜鉛めっき(HDZ55)
スプリング	L=450	個	2	SW-C:亜鉛めっき,クロメート処理
緩衝具		個	2	SS400相当品:亜鉛めっき(HDZ55) + 合成ゴム
保護キャップ		組	2	ポリエチレン:6-止めビス付
トランペットシース	TR142	個	2	ポリエチレン
シース	VP125 L=540	本	2	
用心鉄筋	SD345 D16x500	本	16	
N NCRテーパーゴム		個	2	NCRゴム
C 鋼製ケース		個	2	SS400,STK400:亜鉛めっき(HDZ55) ゴムパッキン付
R あと施工アンカー	M16x100	本	8	SS400相当品:亜鉛めっき(HDZ35)

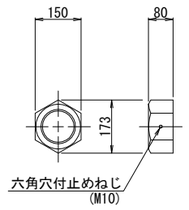
連結ケーブル



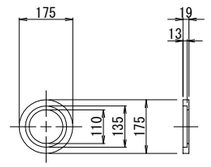
A-A断面図 S=1:3



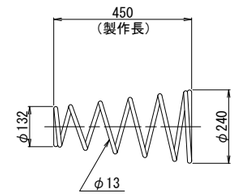
ナット (S45C:亜鉛めっき)



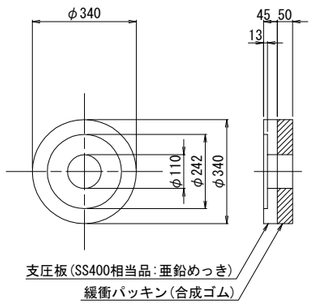
止めプレート (SS400相当品:亜鉛めっき)



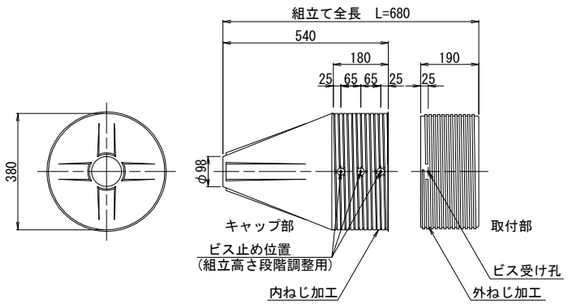
スプリング (SW-C:亜鉛めっき,クロメート処理)



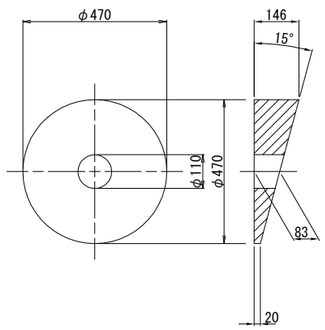
緩 衝 具 (支圧板+緩衝パッキン)



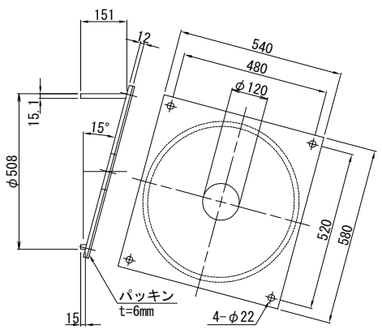
保護キャップ (ポリエチレン)



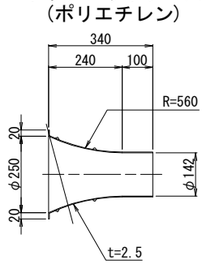
NCRテーパーゴム (NCRゴム)



鋼製ケース (SS400,STK400:亜鉛めっき)

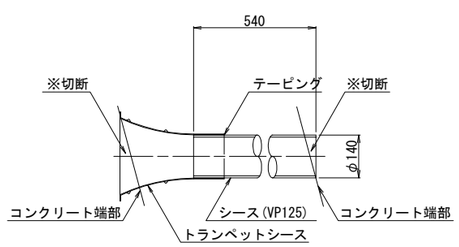


トランペットシース (ポリエチレン)



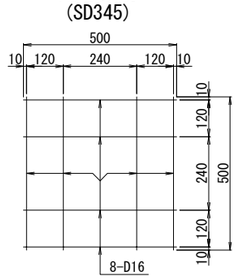
※トランペットシースはコンクリート打設前にセットする。
※端部の処理は箱抜き詳細図を参照のこと。

箱抜き詳細図



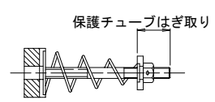
※シースはコンクリート打設前にセットする。
※端部はコンクリート端にあわせて、現場で切断する。

用心鉄筋 (SD345)



※用心鉄筋はコンクリート打設前にセットする。

マンション端部処理



※取付前に保護チューブをはぎ取る。
取付後はマンション先端ねじ部に
防錆処理をおこなうこと。

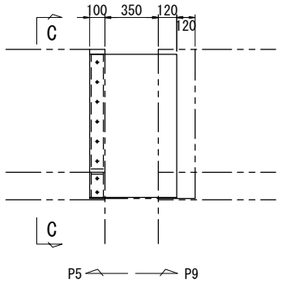
注記)
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間距離を確認のうえ、おこなうこと。
2. 製品は図面と同等品以上とする。

実　施

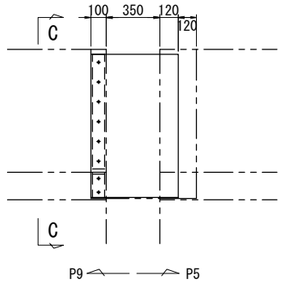
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 落橋防止構造図(その2)		
縮尺	1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	202 / 212

P5～P9 カバープレート詳細図　S=1:20

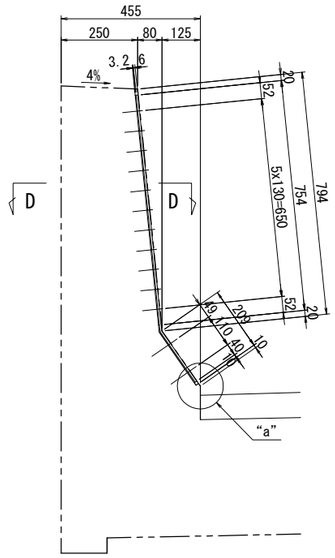
A － A



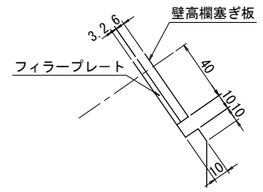
B － B



C － C　S=1:10



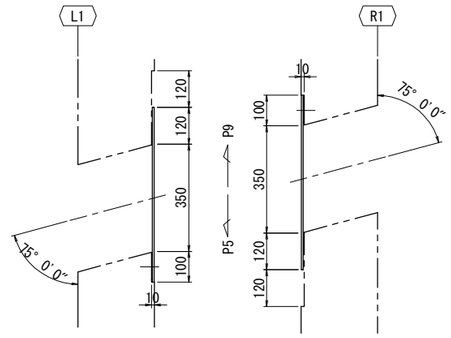
“a” 部詳細図　S=1:2



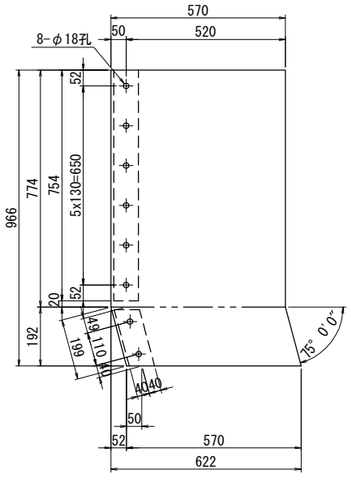
P9側【 製作数：2組 】

1-PL 622 x 6 x 966 (SS400)
1-FILL PL 80 x 3.2 x 754 (SS400)
1-FILL PL 80 x 3.2 x 212 (SS400)
8-コンクリートアンカー M16x100

D － D　S=1:10

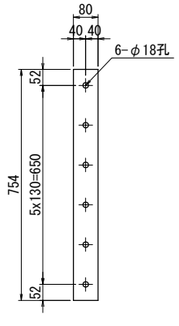


壁高欄塞ぎ板詳細図　S=1:10

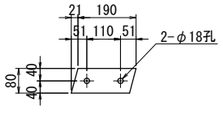


1-PL 622 x 6 x 966 (SS400)

フィラープレート詳細図　S=1:10



1-FILL PL 80 x 3.2 x 754 (SS400)



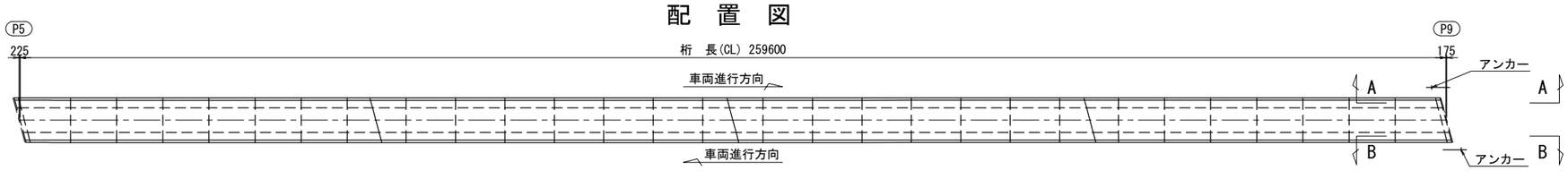
1-FILL PL 80 x 3.2 x 212 (SS400)

注記

1. 高欄カバー取付後、ボルト部にシールを施す。
2. カバープレートは縦断勾配を考慮して製作すること。
3. 部材は全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
   亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
   但し、ボルト・ナット類はHD35とする。

実　施

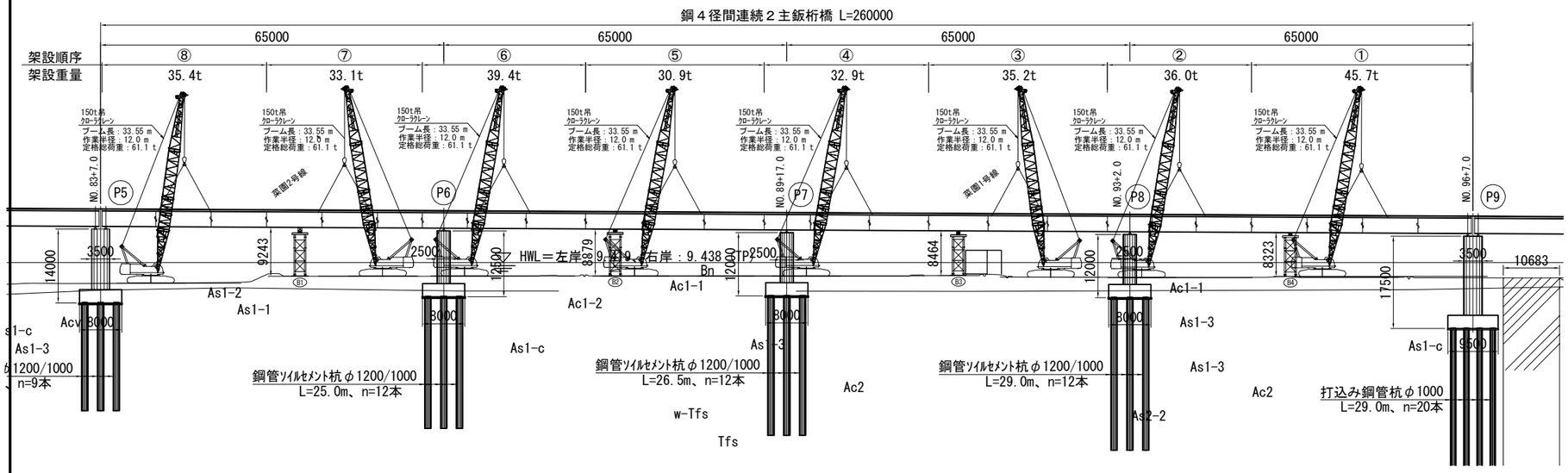
配　置　図



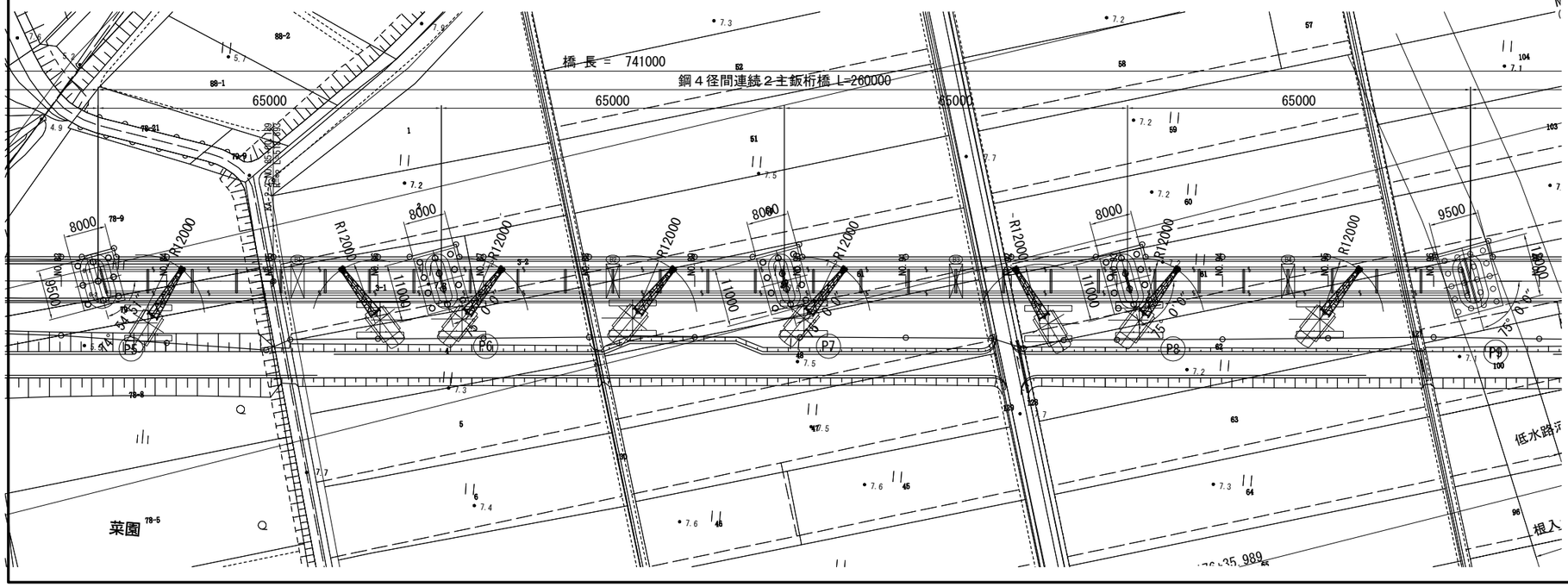
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 （主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9 カバープレート詳細図		
縮尺	1:20,1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	203 / 212

架 設 計 画 図 S=1:1000
P5～P9

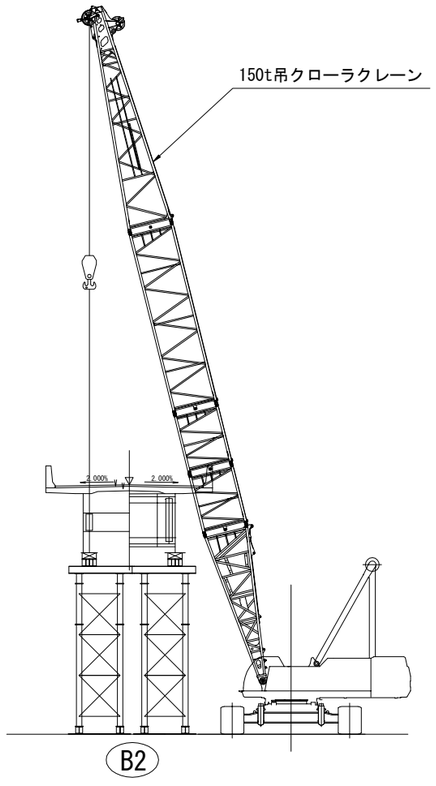
側 面 図 S=1/1000



平 面 図 S=1/1000



断 面 図 S=1/300



SUMITOMO SC1500-Ⅱ

150ｔ吊クローラクレーン定格総荷重表 (tf)

作業半径 (m)	ブーム長(m) 21.35	33.55	42.70	最大地組重量
5.0				
6.0	100.0			
7.0	100.0	100.0/7.7		
8.0	100.0/8.6	100.0/8.6		
9.0	93.8	93.3	80.0/9.5	
10.0	80.1	79.6	79.4	
12.0	61.8	61.1	60.8	45.7
14.0	50.0	49.3	49.0	
16.0	41.8	41.1	40.7	
18.0	35.8	35.0	34.6	
20.0	31.3	30.4	30.0	
22.0		26.7	26.3	

80tフック重量：1400kg

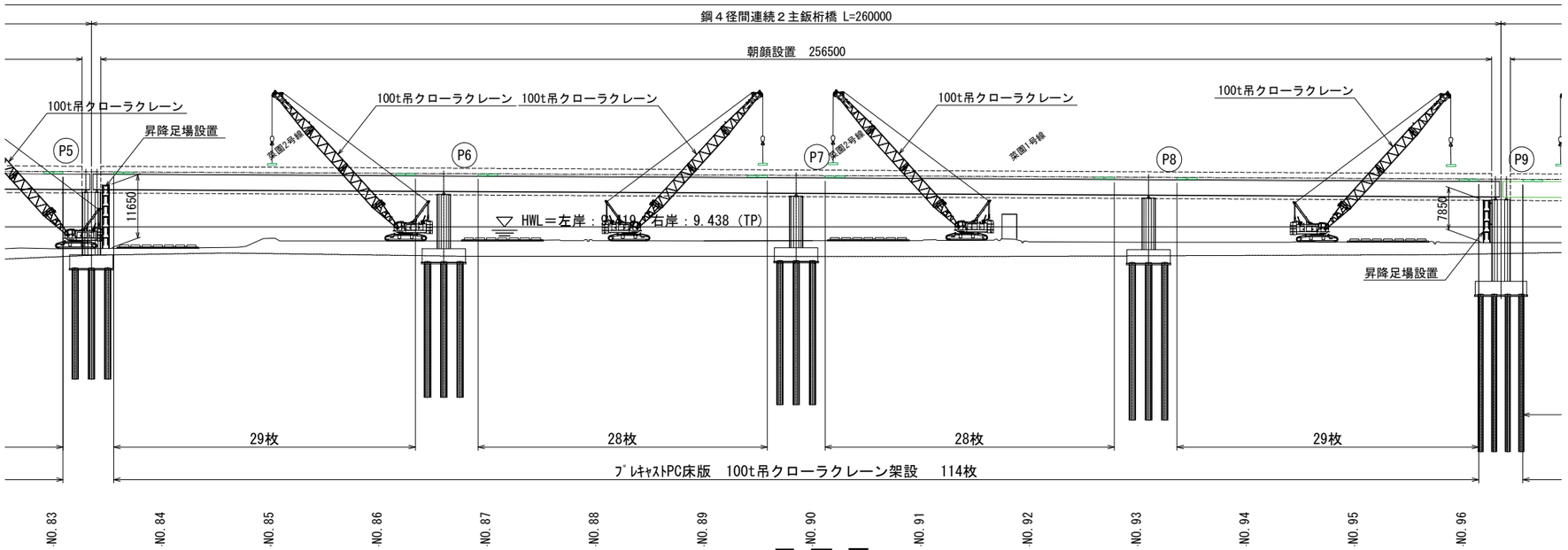
実 施

(参考図)

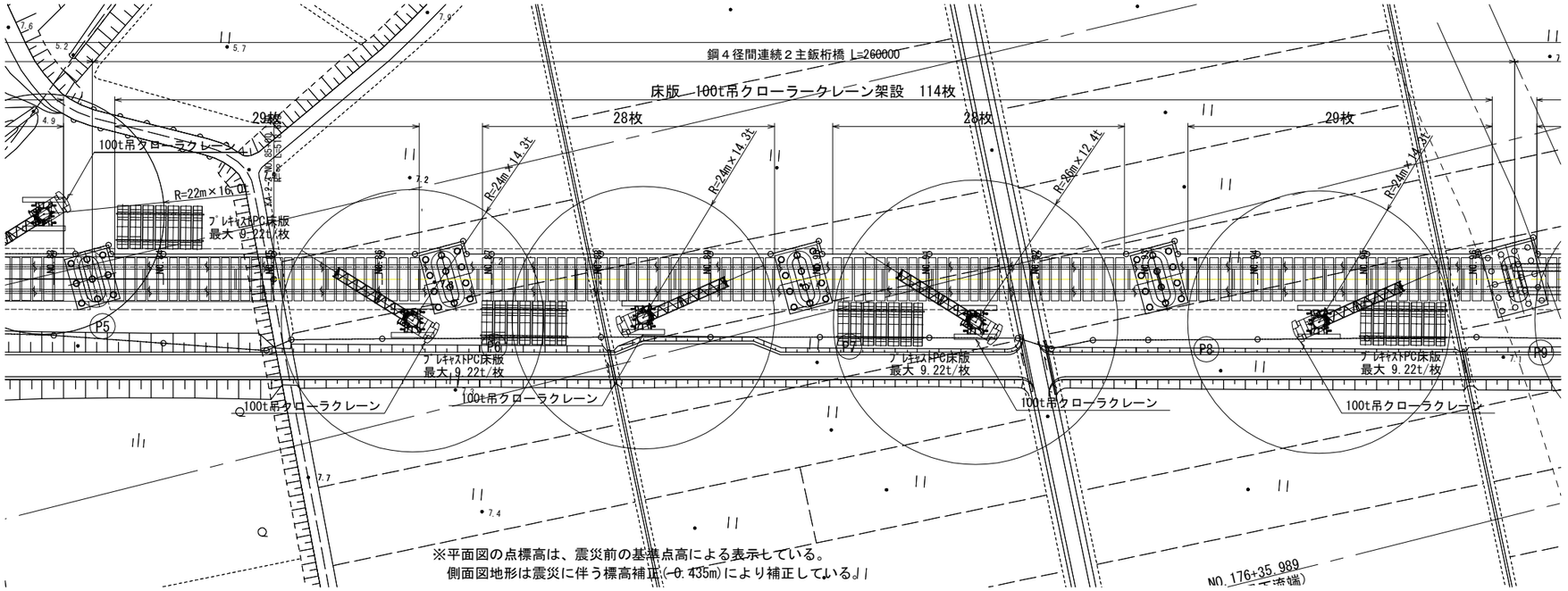
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P5～P9 架設計画図		
縮尺	1:1000	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	204 / 212

プレキャスト床版架設計画図 S=1:500
P5-P9径間

側 面 図

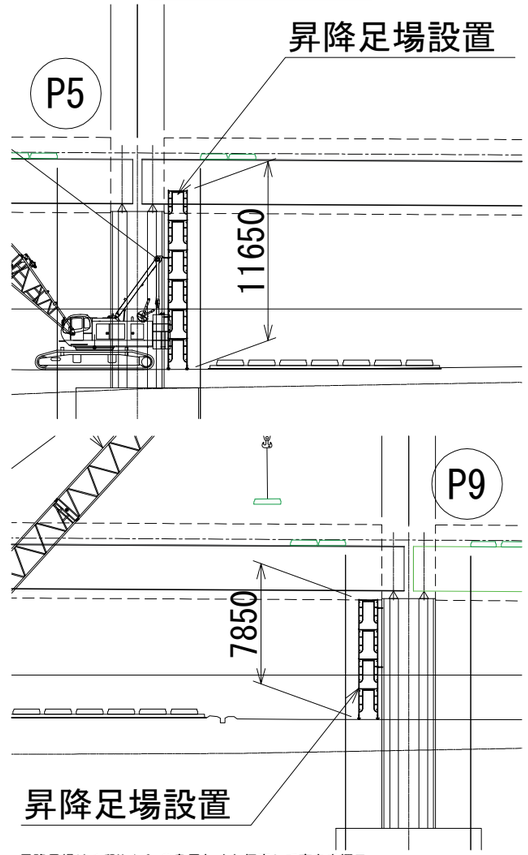


平 面 図



※平面図の点標高は、震災前の基準点高による表示としている。
側面図地形は震災に伴う標高補正(-0.435m)により補正している。

昇降用足場断面図



昇降足場は１段H=1.9mの鳥居わくと仮定して高さを標示

100t吊クローラクレーン能力表(t)

作業半径	ブーム長（m）		
（m）	28.0	31.0	34.0
18.0	21.0	20.9	20.6
20.0	18.3	18.2	17.9
22.0	16.1	16.0	15.8
24.0	14.4	14.3	14.0
26.0	**12.8/25.8**	12.8	12.6
28.0		11.6	11.4
30.0		**11.2/28.4**	10.4

P5-P9径間のﾌﾟﾚｷｬｽﾄPC床版最大重量 9.22t/枚

ﾌｯｸ容量	13t
ﾌｯｸ質量	0.5t

※吊り治具分の余裕として、ﾌｯｸ以外に1tを別途考慮する

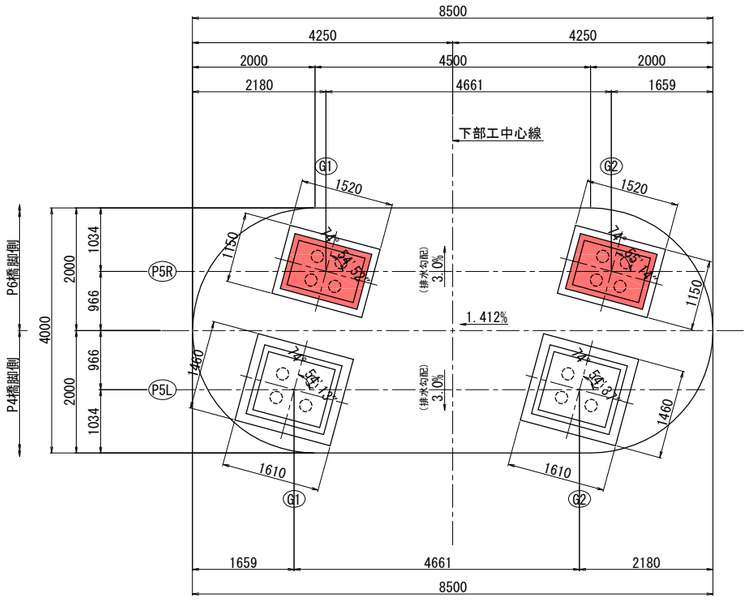
（参考図）

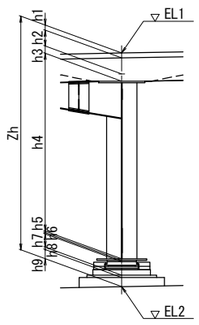
実　施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（１号橋）その２工事		
図面名	P5～P9径間 ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ床版架設計画図		
縮尺	1:500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	205 / 212

P5橋脚構造一般図(その2)

橋 座 平 面 図 S = 1:50





支点上構造高さ

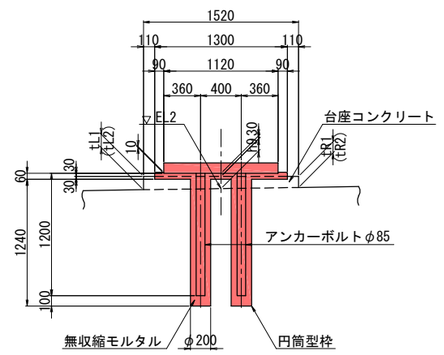
(m)

		P4橋脚側(P5L)		P6橋脚側(P5R)	
		G1	G2	G1	G2
道路面高	EL1	19.579	19.648	19.569	19.633
舗装厚＋調整コン	h1	0.083	0.084	0.085	0.085
床版厚	h2	0.260	0.260	0.260	0.260
ハンチ高	h3	0.120	0.120	0.120	0.120
主桁高	h4	2.900	2.900	2.900	2.900
下フランジ厚	h5	0.026	0.026	0.030	0.026
ソールプレート厚	h6	0.046	0.046	0.039	0.039
支承高	h7	0.230	0.230	0.252	0.252
モルタル厚	h8	0.030	0.030	0.030	0.030
台座コンクリート	h9	0.170	0.172	0.131	0.133
構造高計	Zh	3.865	3.868	3.847	3.845
下部工橋座高	EL2	15.714	15.780	15.722	15.788

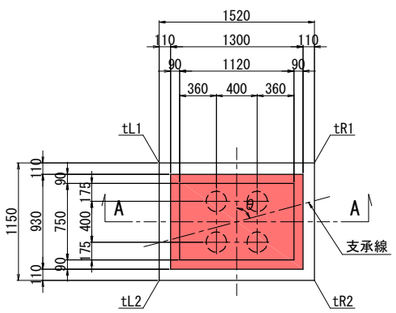
支承箱抜き詳細図 S = 1:30

P6橋脚側(P5R)支承

直角方向(A-A)



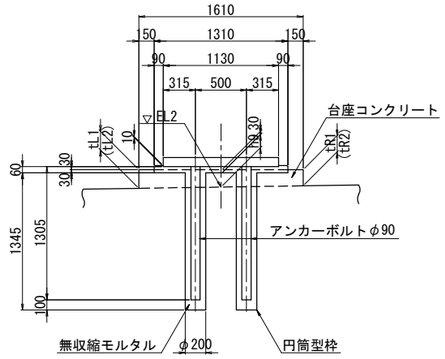
平 面 図



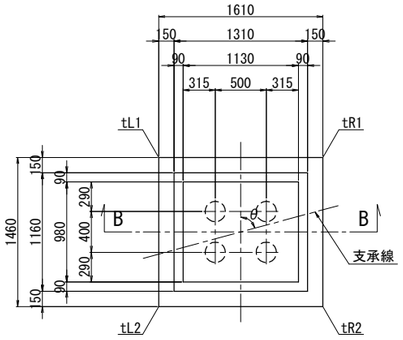
G1 θ=74° 54′ 52″
G2 θ=74° 54′ 14″

P4橋脚側(P5L)支承

直角方向(B-B)



平 面 図



G1 θ=74° 54′ 13″
G2 θ=74° 54′ 37″

台座寸法表

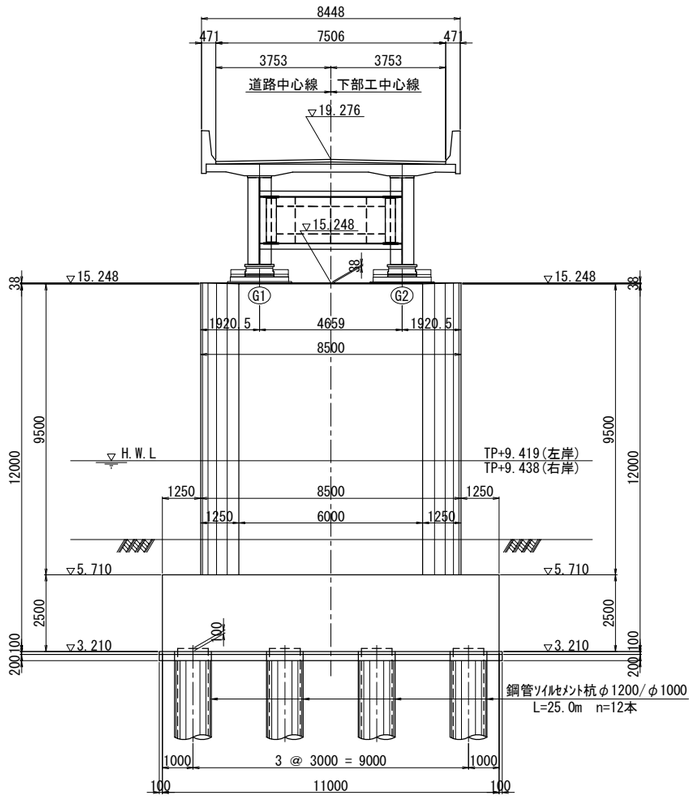
	P4橋脚側(P5L)		P6橋脚側(P5R)	
	G1	G2	G1	G2
台座中心高(h9)	170	172	131	133
tL1	151	153	162	164
tL2	199	201	133	135
tR1	141	143	129	131
tR2	189	191	100	102

実 施

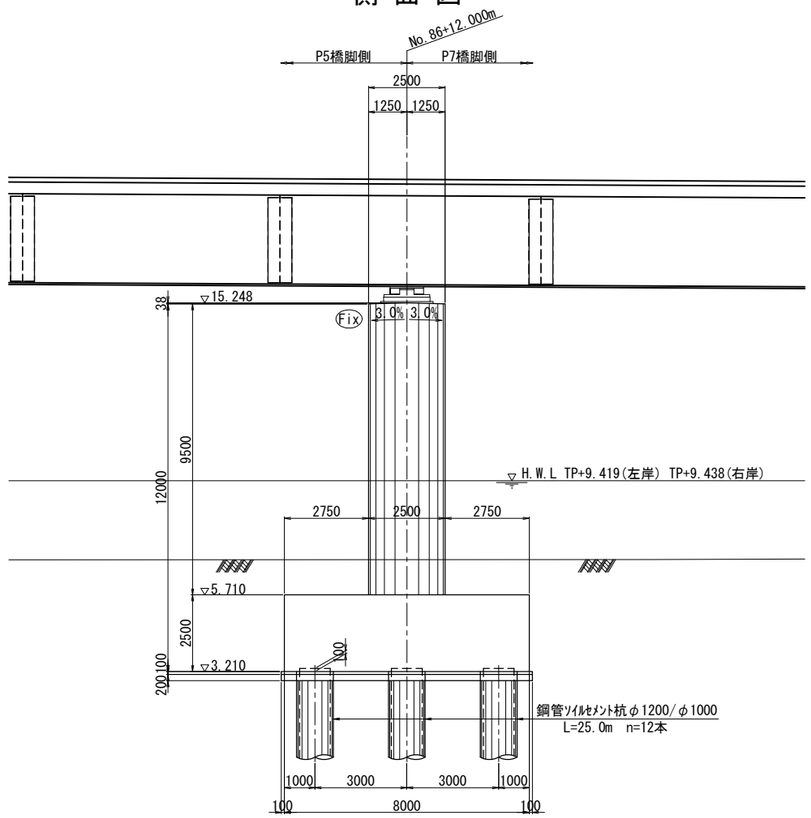
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5橋脚構造一般図(その2)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	206 / 212

P6橋脚構造一般図 S = 1:100

正 面 図

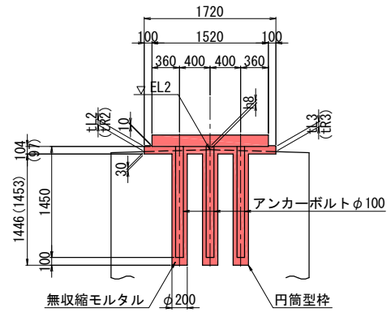


側 面 図

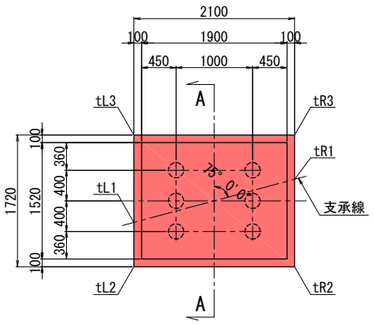


支承箱抜き詳細図 S = 1:40

橋軸方向(A-A)



平 面 図

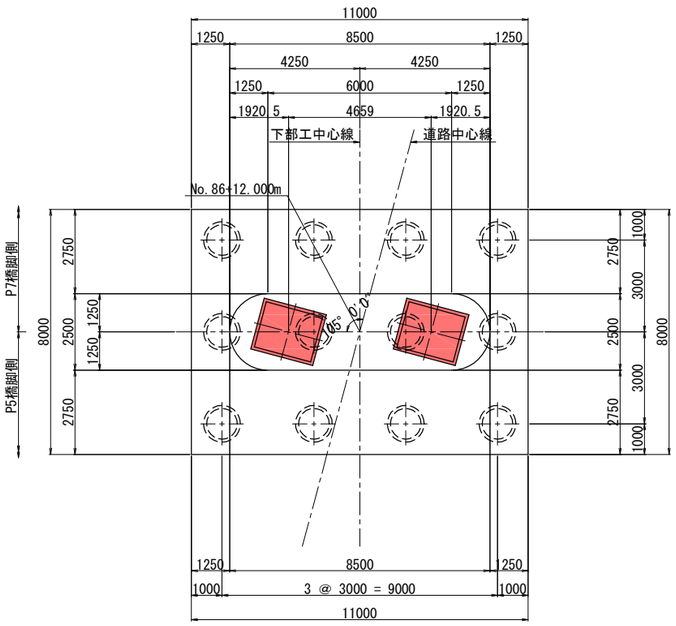


※( )内はG2側を示す。

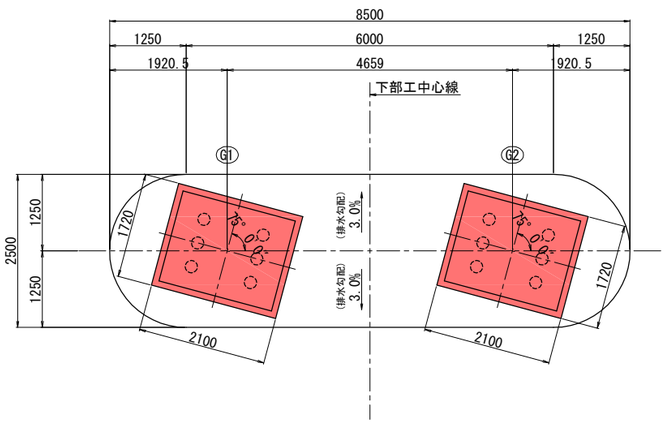
モルタル寸法表

	G1	G2
モルタル中心高(h8)	41	34
tL1	41	34
tL2	58	51
tL3	74	67
tR1	41	34
tR2	74	67
tR3	58	51

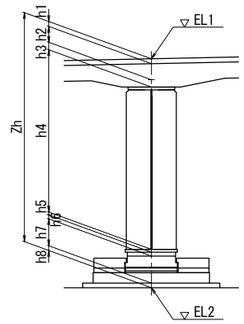
平 面 図



橋 座 平 面 図 S = 1:50



支点上構造高さ



(m)

		G1	G2
道路面高	EL1	19.234	19.227
舗装厚＋調整コン	h1	0.108	0.108
床版厚	h2	0.260	0.260
ハンチ高	h3	0.120	0.120
主桁高	h4	2.900	2.900
下フランジ厚	h5	0.064	0.064
ソールプレート厚	h6	0.062	0.062
支承高	h7	0.431	0.431
モルタル厚	h8	0.041	0.034
構造高計	Zh	3.986	3.979
下部工橋座高	EL2	15.248	15.248

使用材料一覧表

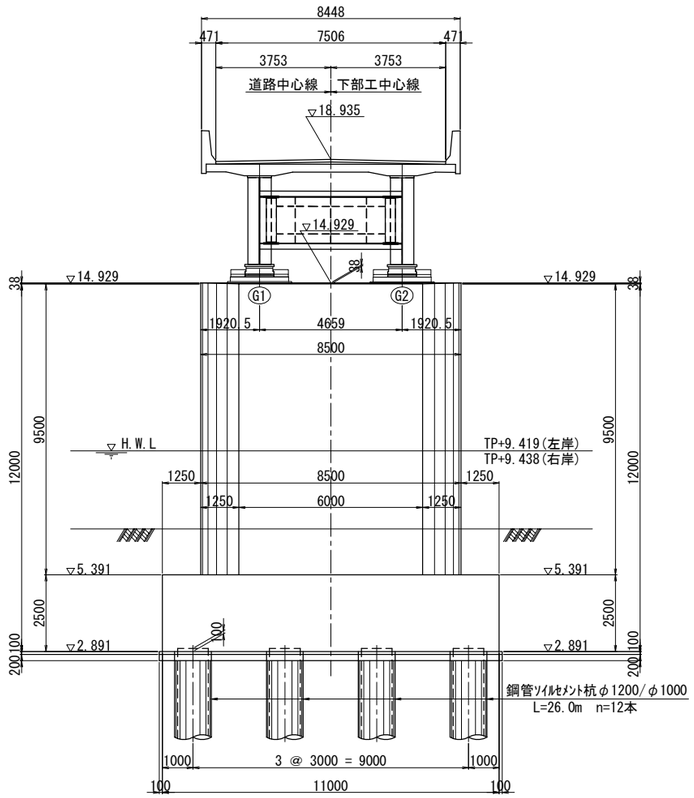
コンクリート	柱	σck=24N/mm²
	底版	σck=30N/mm²
	均し	σck=18N/mm²
鉄筋	柱主鉄筋	SD345
	その他	SD345
	杭頭鉄筋	SD490
基礎杭	鋼管杭材質	SKK490
基礎砕石		RC-40

実 施

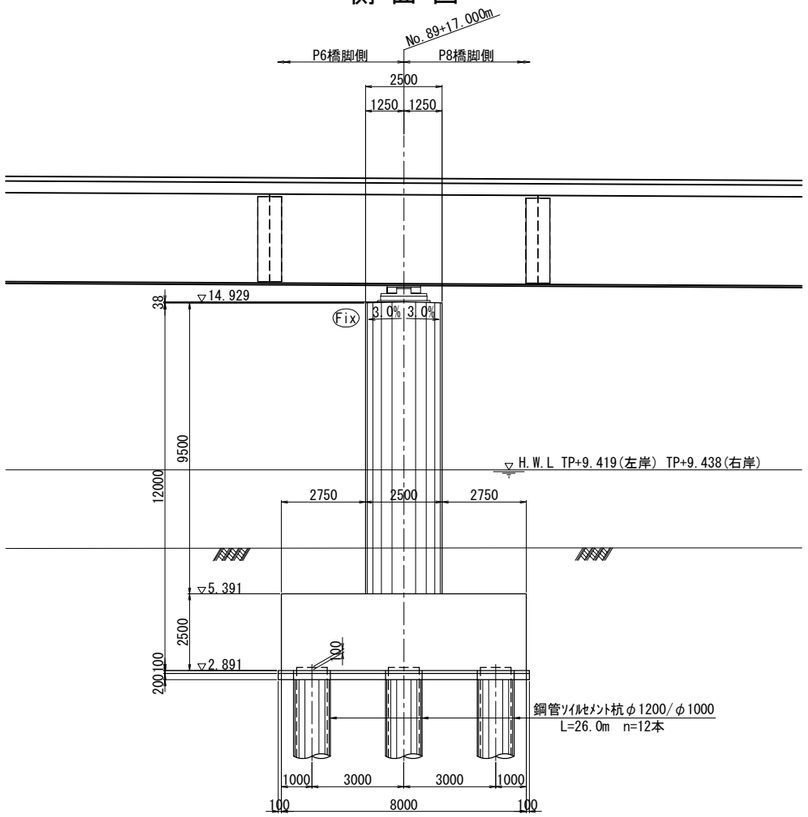
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P6橋脚構造一般図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	207 / 212

P7橋脚構造一般図 S = 1:100

正 面 図

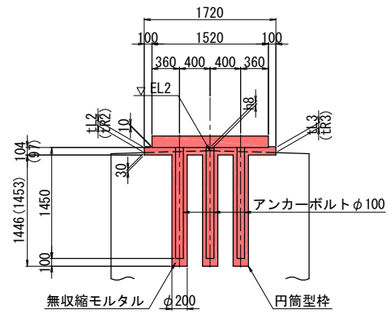


側 面 図

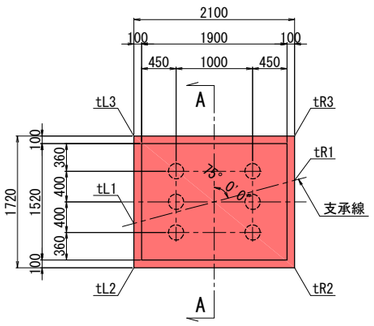


支承箱抜き詳細図 S = 1:40

橋軸方向(A-A)



平 面 図

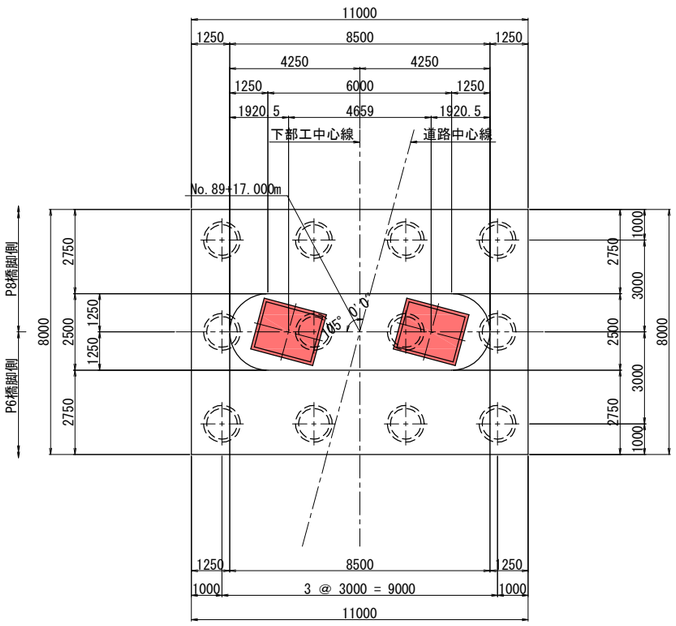


※( )内はG2側を示す。

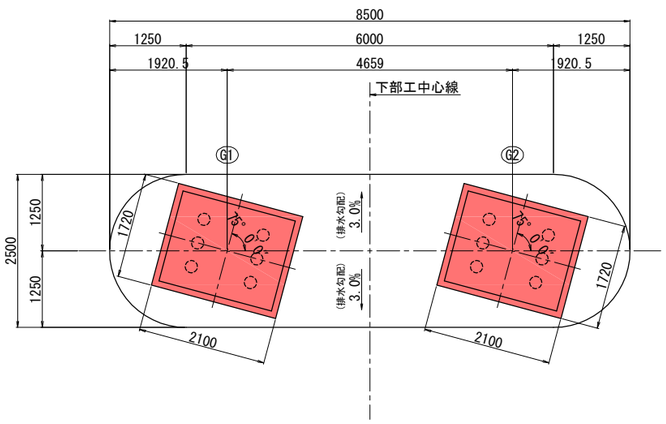
モルタル寸法表

	G1	G2
モルタル中心高(h8)	41	34
tL1	41	34
tL2	58	51
tL3	74	67
tR1	41	34
tR2	74	67
tR3	58	51

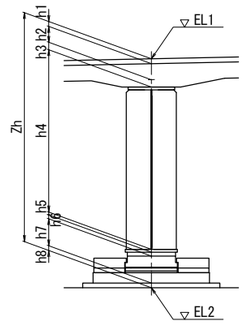
平 面 図



橋 座 平 面 図 S = 1:50



支点上構造高さ



(m)

		G1	G2
道 路 面 高	EL1	18.894	18.887
舗装厚＋調整コン	h1	0.108	0.108
床 版 厚	h2	0.260	0.260
ハ ン チ 高	h3	0.120	0.120
主 桁 高	h4	2.900	2.900
下フランジ厚	h5	0.043	0.043
ソールプレート厚	h6	0.062	0.062
支 承 高	h7	0.431	0.431
モ ル タ ル 厚	h8	0.041	0.034
構 造 高 計	Zh	3.965	3.958
下部工橋座高	EL2	14.929	14.929

使用材料一覧表

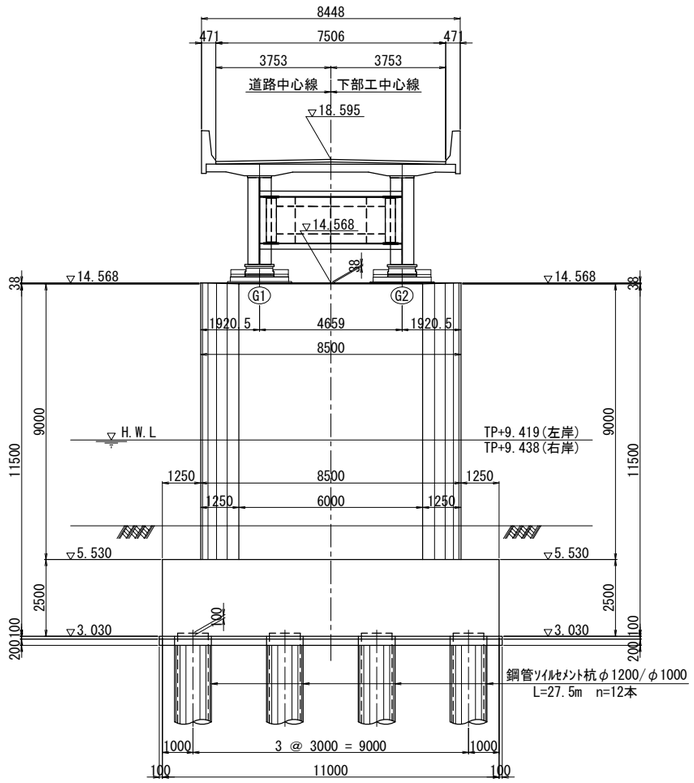
コンクリート	柱	σck=24N/mm²
	底 版	σck=30N/mm²
	均 し	σck=18N/mm²
鉄 筋	柱主鉄筋	SD345
	その他	SD345
	杭頭鉄筋	SD490
基礎杭	鋼管杭材質	SKK490
基礎砕石		RC-40

実 施

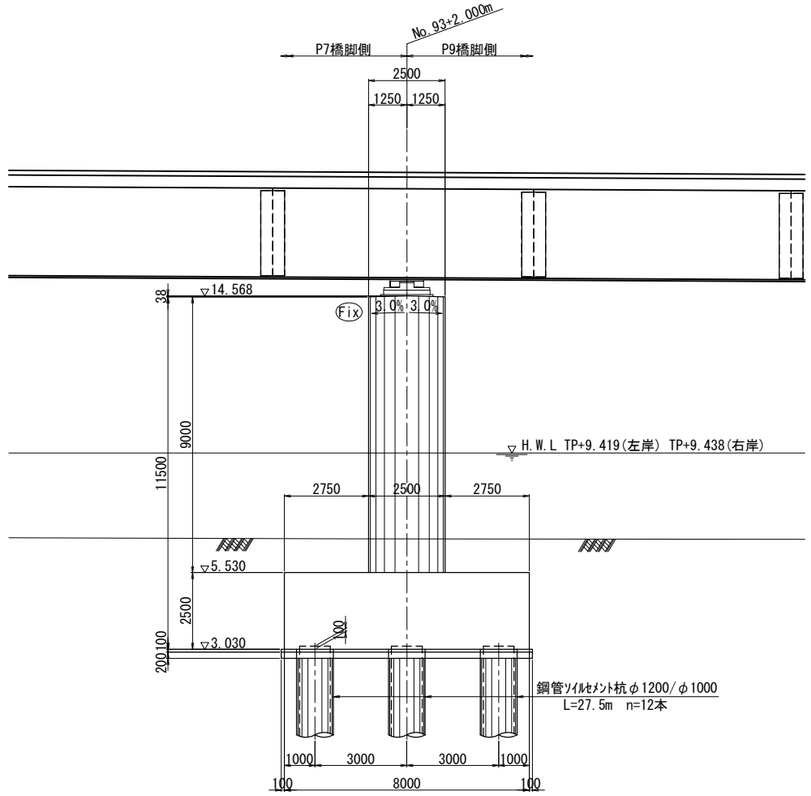
工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P7橋脚構造一般図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮 城 県		図番	208 / 212

P8橋脚構造一般図 S = 1:100

正 面 図

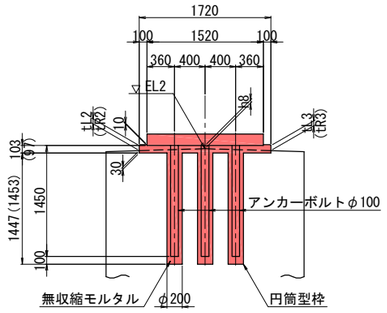


側 面 図

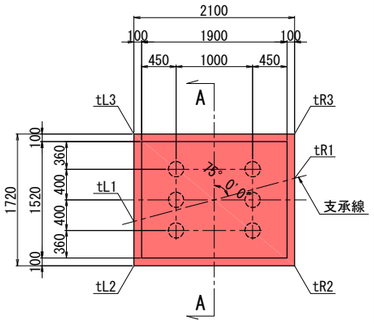


支承箱抜き詳細図 S = 1:40

橋軸方向(A-A)



平 面 図

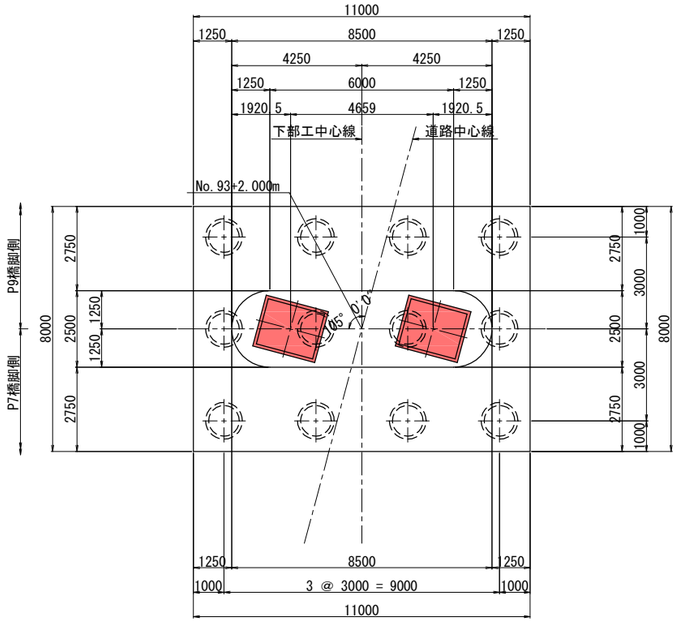


※( )内はG2側を示す。

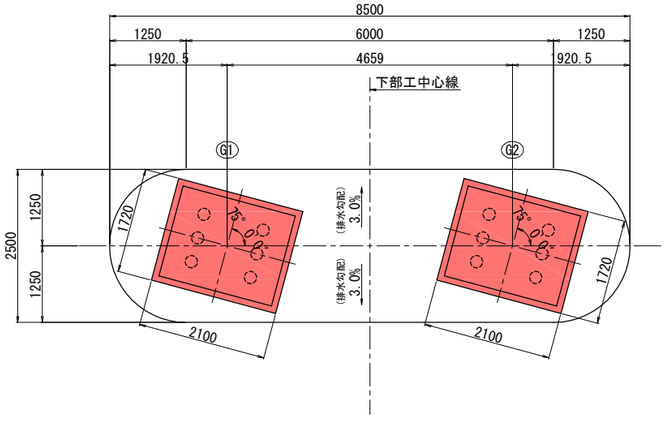
モルタル寸法表

	G1	G2
モルタル中心高(h8)	40	34
tL1	40	34
tL2	57	51
tL3	73	67
tR1	40	34
tR2	73	67
tR3	57	51

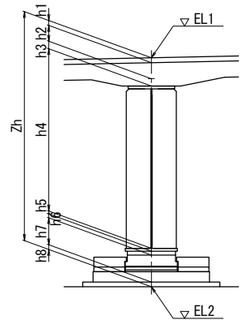
平 面 図



橋 座 平 面 図 S = 1:50



支点上構造高さ



(m)

		G1	G2
道路面高	EL1	18.553	18.547
舗装厚＋調整コン	h1	0.108	0.108
床版厚	h2	0.260	0.260
ハンチ高	h3	0.120	0.120
主桁高	h4	2.900	2.900
下フランジ厚	h5	0.064	0.064
ソールプレート厚	h6	0.062	0.062
支承高	h7	0.431	0.431
モルタル厚	h8	0.040	0.034
構造高計	Zh	3.985	3.979
下部工橋座高	EL2	14.568	14.568

使用材料一覧表

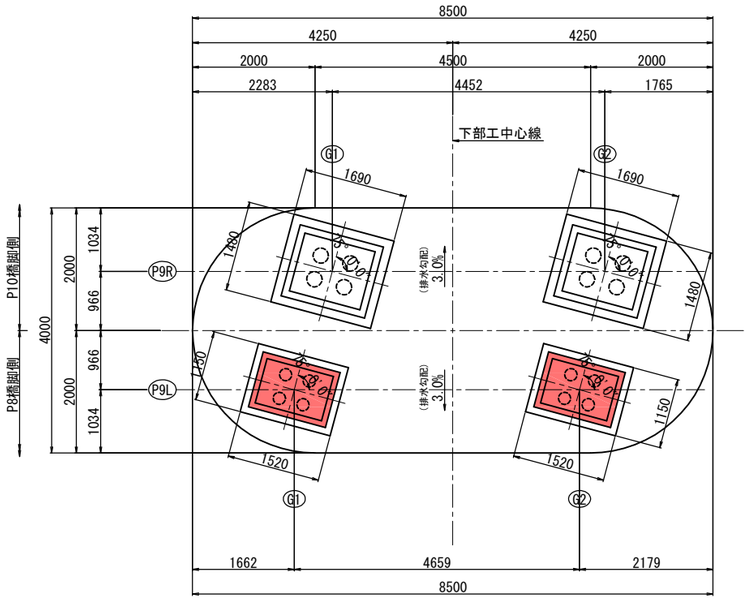
コンクリート	柱	σck=24N/mm²
	底版	σck=30N/mm²
	均し	σck=18N/mm²
鉄筋	柱主鉄筋	SD345
	その他	SD345
	杭頭鉄筋	SD490
基礎杭	鋼管杭材質	SKK490
基礎砕石		RC-40

実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(１号橋)その２工事		
図面名	P8橋脚構造一般図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	209 / 212

P9橋脚構造一般図(その2)

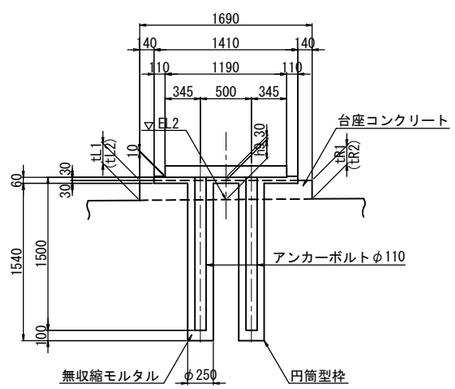
橋 座 平 面 図 S = 1:50



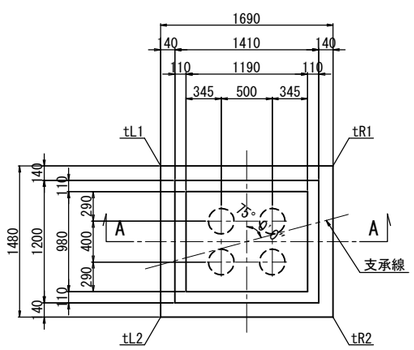
支承箱抜き詳細図 S = 1:30

P10橋脚側(P9R)支承

直角方向(A-A)

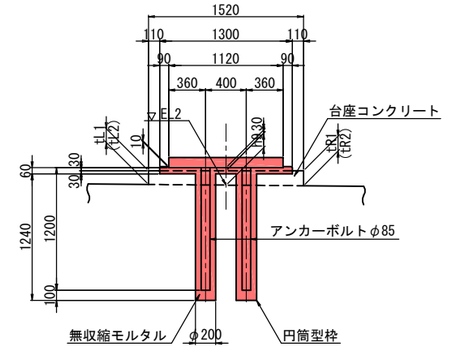


平 面 図

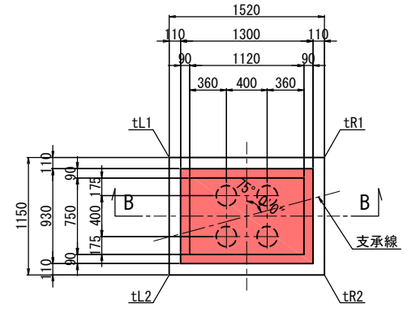


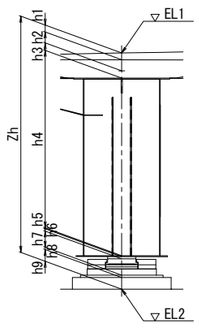
P8橋脚側(P9L)支承

直角方向(B-B)



平 面 図





支点上構造高さ

(m)

		P8橋脚側(P9L)		P10橋脚側(P9R)	
		G1	G2	G1	G2
道路面高	EL1	18.218	18.212	18.210	18.204
舗装厚＋調整コン	h1	0.107	0.107	0.110	0.110
床版厚	h2	0.260	0.260	0.180	0.180
ハンチ高	h3	0.120	0.120	0.120	0.120
主桁高	h4	2.900	2.900	2.900	2.900
下フランジ厚	h5	0.026	0.031	0.015	0.015
ソールプレート厚	h6	0.039	0.039	0.046	0.046
支承高	h7	0.252	0.252	0.277	0.277
モルタル厚	h8	0.030	0.030	0.030	0.030
台座コンクリート	h9	0.141	0.130	0.189	0.183
構造高計	Zh	3.875	3.869	3.867	3.861
下部工橋座高	EL2	14.343	14.343	14.343	14.343

台座寸法表

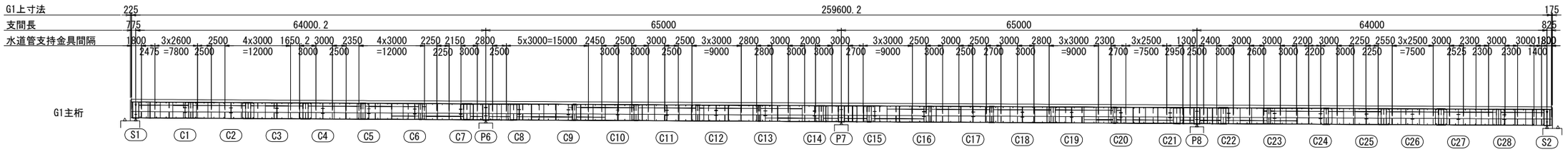
	P8橋脚側(P9L)		P10橋脚側(P9R)	
	G1	G2	G1	G2
台座中心高(h9)	141	130	189	183
tL1	118	107	217	211
tL2	152	141	174	168
tR1	130	119	204	198
tR2	164	153	161	155

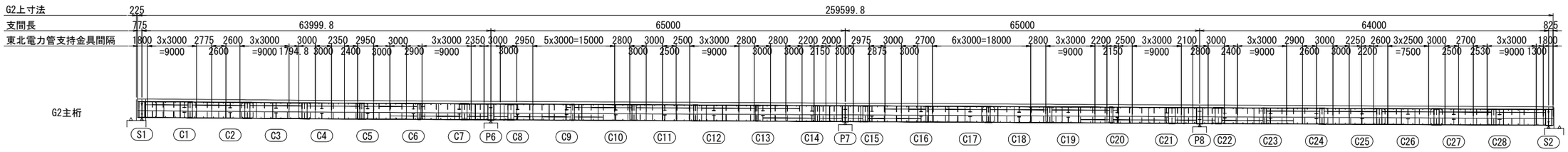
実 施

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P9橋脚構造一般図(その2)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	210 / 212

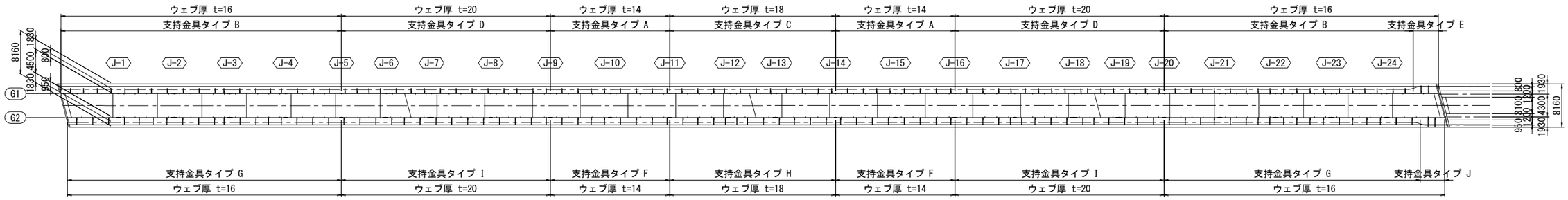
P5～P9 添架物支持金具(その1)　S=1:400

側 面 図

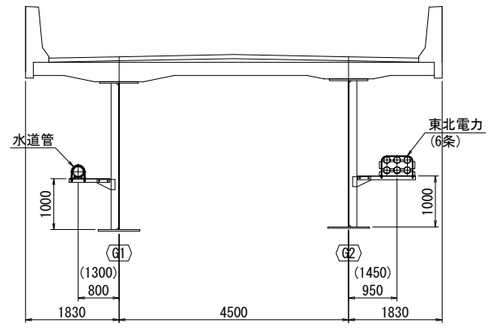




平 面 図



断 面 図　S=1:60



注 記
1. 添架物支持金具及び専用補剛材は製作前に
支持ピッチ、金具形状を添架物業者に確認して
確定のこと。

実　施

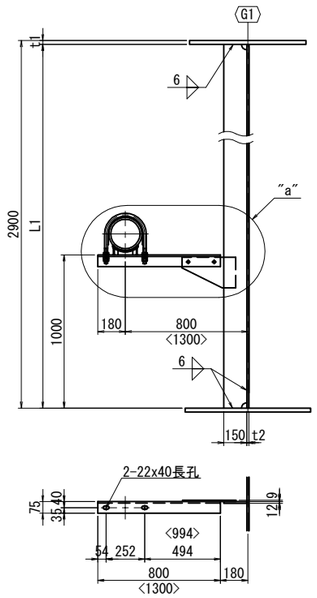
(参考図)

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 添架物支持金具(その1)		
縮尺	1:400, 1:60	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	211 / 212

P5～P9 添架物支持金具(その2)　S=1:20

吊金具詳細

TYPE-A～D<E>
製作数:n

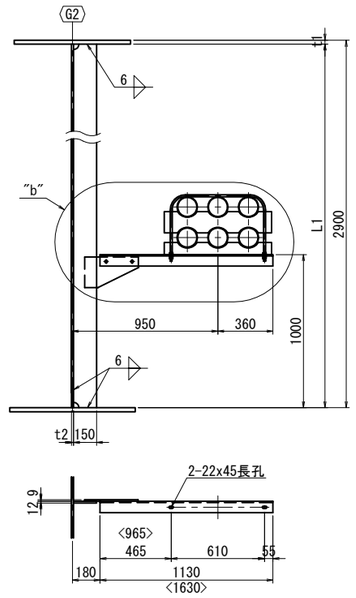


	t1	t2	L1	L2	L3	n	TYPE
B1	35	16	2865	22	78	4	B
B2	44	16	2856	22	78	4	B
B3	47	16	2853	22	78	4	B
B4	44	16	2856	22	78	4	B
B5	35	16	2865	22	78	3	B
B6	43	20	2857	20	80	4	D
B7	62	20	2838	20	80	3	D
B8	37	20	2863	20	80	4	D
B9	33	20	2867	20	80	4	D
B10	35	14	2865	23	77	4	A
B11	35	14	2865	23	77	4	A
B12	33	18	2867	21	79	4	C
B13	41	18	2859	21	79	3	C
B14	27	18	2873	21	79	4	C
B15	35	14	2865	23	77	4	A
B16	35	14	2865	23	77	4	A
B17	32	20	2868	20	80	4	D
B18	45	20	2855	20	80	4	D
B19	63	20	2837	20	80	4	D
B20	47	20	2853	20	80	3	D
B21	37	16	2863	22	78	4	B
B22	45	16	2855	22	78	4	B
B23	47	16	2853	22	78	4	B
B24	43	16	2857	22	78	4	B
B25	34	16	2866	22	78	2	B
	34	16	2866	22	78	2	E

【1組当り材料】
1-L 75x75x9x800<1300>
1-GUSS PL 350x9x200(SM400A)
2-BN M16x45(U-NUT,2-W)
※ 1-PL 150x12x L1(SM400A)
1-RB φ20x784
4-1種NUT M20
2-3種NUT M20
4-WASHER M20

< >寸法はTYPE-Eを示す。

TYPE-F～I<J>
製作数:n



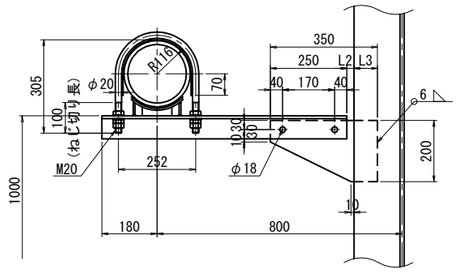
	t1	t2	L1	L2	L3	n	TYPE
B1	34	16	2866	22	78	3	G
B2	43	16	2857	22	78	4	G
B3	47	16	2853	22	78	4	G
B4	45	16	2855	22	78	4	G
B5	37	16	2863	22	78	3	G
B6	47	20	2853	20	80	3	I
B7	63	20	2837	20	80	3	I
B8	47	20	2853	20	80	4	I
B9	32	20	2868	20	80	4	I
B10	35	14	2865	23	77	4	F
B11	35	14	2865	23	77	4	F
B12	27	18	2873	21	79	4	H
B13	40	18	2860	21	79	3	H
B14	32	18	2868	21	79	4	H
B15	35	14	2865	23	77	4	F
B16	35	14	2865	23	77	4	F
B17	33	20	2867	20	80	4	I
B18	37	20	2863	20	80	4	I
B19	62	20	2838	20	80	3	I
B20	43	20	2857	20	80	3	I
B21	36	16	2864	22	78	4	G
B22	45	16	2855	22	78	4	G
B23	47	16	2853	22	78	4	G
B24	45	16	2855	22	78	4	G
B25	35	16	2865	22	78	2	G
	35	16	2865	22	78	2	J

【1組当り材料】
1-L 75x75x9x1130<1630>
1-GUSS PL 350x9x200(SM400A)
2-BN M16x45(U-NUT,2-W)
※ 1-PL 150x12x L1(SM400A)
1-RB φ13x1386
4-1種NUT M12
2-3種NUT M12
4-WASHER M12

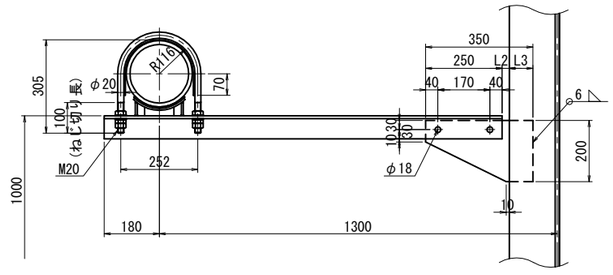
< >寸法はTYPE-Jを示す。

"a"部詳細　S=1:10

TYPE:A～D

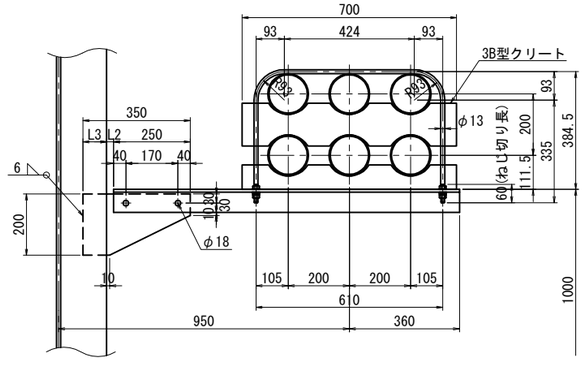


TYPE:E

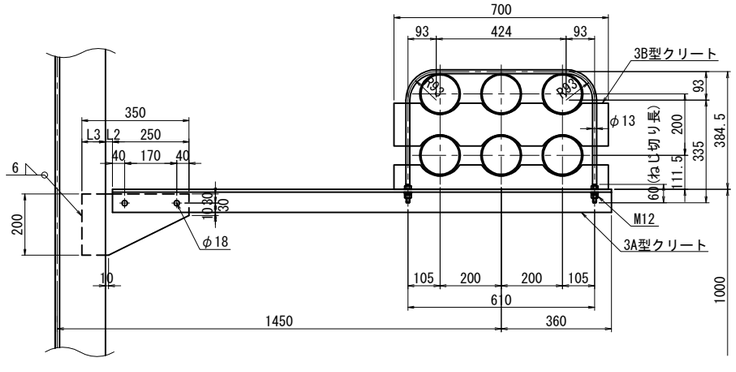


"b"部詳細　S=1:10

TYPE:F～I



TYPE:J



注 記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. ※印以外の部材は全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナットは、HDZ35とする。
4. 添架物支持金具及び専用補剛材は製作前に
支持ピッチ、金具形状を添架物業者に確認して
確定のこと。

実　施　（参考図）

工事番号	平成29年度 受(Ⅲ)橋第1-2-2号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主) 築館登米線		
施工箇所	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(1号橋)その2工事		
図面名	P5～P9 添架物支持金具(その2)		
縮尺	1:20,1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	212 / 212